このたびはOUTLANDERをお買い上げいただき、ありがとうございます。

J19200100177

この取扱説明書は、お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また、お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので、ご使用前に必ずお読みください。

- 取扱説明書はお車の中に保管してください。
- 保証および点検、整備内容については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- スマートフォン連携ナビゲーションの取り扱い要領については、別冊の取扱説明書をお読みください。
- 三菱自動車販売会社で取り付けられた装備の取り扱い要領については、その装備に添付の取扱説明書をお読みください。
- お車をゆずられるときは、取扱説明書およびメンテナンスノートを車に付けておいてください。

- **装備仕様の変更などにより、本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。**
- **ご不明な点は、担当営業スタッフにお問い合わせください。**

安全に関する表示

- 運転者や他の人が傷害を受けたり、お車が故障や損傷するおそれがあることと、その回避方法を次の表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告　記載事項を守らないと、死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

⚠注意　記載事項を守らないと、傷害や事故またはお車の故障や損傷につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。(イラスト内に表示されています)

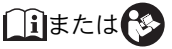
その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは、次の表示で記載しています。

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと。知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

- お車や装備品に貼られているラベルなどに表示されているマークの意味は、次の通りです。


または　取扱説明書をお読みください。

目次

イラスト目次／クイックリファレンス 1

プラグインハイブリッドEVシステム 2

充電のしかた 3

安全なドライブのために 4

メーターの見かた 5

各部の操作 6

運転のしかた 7

室内装備 8

トラブルがおきたときは 9

メンテナンス 10

さくいん 11

1 イラスト目次／クイックリファレンス

外観フロント 1-1
外観リヤ 1-2
車室内 1-3
運転席まわり 1-4

クイックリファレンス

インストルメントパネル 1-5
プラグインハイブリッド EV システム 1-6
ワイパー･ウォッシャースイッチ 1-12
パワースイッチ 1-13
ライトスイッチ 1-13
ハンドル周りのスイッチ 1-15
セレクターレバー周り 1-17
エアコン 1-21
便利な機能 1-23

2 プラグインハイブリッド EV システム

プラグインハイブリッド EV システムの特徴

プラグインハイブリッド EV システム車について 2-2

安全にご利用いただくために

点検･整備をするときは 2-7
事故が起きたときの注意事項 2-8
植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は 2-9
酷暑時の注意事項と対処方法 2-11
極寒時の注意事項と対処方法 2-12

プラグインハイブリッド EV システム車と上手に付き合うために

燃費を良くするためのポイント 2-14

便利なサポート機能

My MITSUBISHI CONNECT 2-15

3 充電のしかた

充電について

充電に関する注意事項 3-2
バッテリーについて 3-5
充電 3-6

充電に関する装備

充電ケーブル（コントロールボックス付） 3-6
充電リッド 3-9
今すぐ充電スイッチ 3-10
充電コネクターロック 3-11

充電する

充電の種類 3-14
充電中の電装品の使いかた 3-21

充電で困ったときは
充電トラブルシューティングガイド 3-24

4 安全なドライブのために

運転する前に
運転前の準備 4-2
運転するときに注意すること 4-3
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項 4-5

シートベルト
シートベルトについて 4-7
3 点式シートベルト 4-8
シートベルトの注意事項 4-9

エアバッグ
SRS エアバッグ 4-11
運転席 & 助手席 SRS エアバッグ 4-13
SRS サイドエアバッグ 4-15
SRS カーテンエアバッグ 4-16
運転席 SRS ニーエアバッグ 4-17

お子さまの安全のために
お子さまを乗せるときに注意すること 4-18
チャイルドシート 4-20

盗難防止機能
イモビライザー（盗難防止装置） 4-27
セキュリティーアラーム 4-27

5 メーターの見かた

計器類
各部名称（クラシック表示） 5-2
各部名称（エンハンス表示） 5-3
メーター 5-4

警告灯･表示灯
警告灯の表示位置（クラシック表示） 5-10
警告灯の表示位置（エンハンス表示） 5-11
表示灯の表示位置（クラシック表示） 5-12
表示灯の表示位置（エンハンス表示） 5-13

マルチインフォメーションディスプレイ
マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー） 5-14
車両情報画面 5-15
マルチインフォメーションディスプレイとは（ショートカットメニュー） 5-26
各種設定画面 5-30
その他の表示機能 5-45

ヘッドアップディスプレイ
ヘッドアップディスプレイとは 5-48
走行支援機能画面 5-49
各種設定画面 5-50

メーターの明るさの調節
イルミネーションコントロール 5-52

6 各部の操作

キー

キー（キーレスオペレーションキー）.....6-2
キー（キーレスオペレーションキー）に関する注意事項.....6-4

ドアの施錠と解錠

ドア.....6-5
テールゲート.....6-9
エレクトリックテールゲート.....6-11
シートの調節.....6-20

シートの調節

フロントシート.....6-21
リヤ（セカンド）シート.....6-28
サードシート.....6-32

ハンドルの調節

ハンドル.....6-34

ミラーの調節

ミラーの調節.....6-34
ルームミラー.....6-34
デジタルルームミラー (フレームレス).....6-35
ドアミラー.....6-40
窓ガラスの開閉.....6-42

窓ガラスの開閉

パワーウインドウ.....6-42
電動パノラマサンルーフ.....6-44

充電リッドの開閉

充電リッド.....6-47

フューエルリッド（燃料補給口）の開閉

フューエルリッド（燃料補給口）.....6-49

エアコンの操作

各スイッチの名称と機能.....6-52
吹き出し口.....6-58
エアコンの上手な使いかた.....6-59
エアコンを使うときに注意すること.....6-59
リモートエアコン.....6-61

オーディオ

オーディオの使いかた.....6-61
ステアリングスイッチ.....6-62

7 運転のしかた

起動する

パワースイッチ.....7-2
ACC 電源オートオン / オフ機能.....7-5

運転する

セレクターレバー.....7-5
回生レベルセレクター（パドル式）.....7-7
電動パーキングブレーキ.....7-8
ブレーキオートホールド.....7-10
発進.....7-12

停車･駐車 7-14
ライトスイッチ 7-16

ランプをつける、ワイパーを使う

ヘッドライトレベリング 7-22
非常点滅灯スイッチ 7-23
フォグランプスイッチ..... 7-23
ワイパー･ウォッシャースイッチ 7-24

運転支援システム

イノベーティブペダル オペレーションモード..... 7-27
ドライブモードセレクター 7-29
EV モードセレクタースイッチ..... 7-32
エマージェンシーストップシグナルシステム [ESS]..... 7-34
S-AWC （Super-All wheel control）..... 7-35
S-AWC (Super-All wheel control) 車の扱いかた..... 7-36
アンチロックブレーキシステム [ABS]..... 7-37
アクティブスタビリティコントロール [ASC]..... 7-38
ヒルスタートアシスト [HSA] 7-40
ヒルディセントコントロール [HDC]..... 7-41
車両接近通報装置 [AVAS]..... 7-42
走行支援システム..... 7-44
マイパイロット（ナビリンク機能付）..... 7-46
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]..... 7-68
前方衝突予測警報 [PFCW] 7-73
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]..... 7-76
車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援
機能 [LDP] 7-85
後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能
付)[BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援
システム [ABSA] 7-90
後退時車両検知警報システム [RCTA] 7-98
ふらつき警報 [DAA].....7-101
標識認識システム [TSR].....7-103

カメラシステム

マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付）.....7-107
マルチアラウンドモニターに関する注意事項 7-117

8 室内装備

室内灯

室内灯.....8-2
マップ＆ルームランプ（フロント）／パーソナル
ランプ 8-2
ルームランプ.....8-3
ラゲッジルームランプ / テールゲートランプ 8-3
フットランプ.....8-4

収納装備

グローブボックス.....8-4
車検証入れ 8-5
フロアコンソールボックス 8-5
ラゲッジアンダーボックス（5 人乗り車）.....8-5
ラゲッジアンダーボックス（7 人乗り車）.....8-6
サングラスホルダー 8-6
ドリンクホルダー / ボトルホルダー.....8-7

その他の室内装備

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）.....8-8

ステアリングヒーター 8-18
シートヒーター 8-19
シートベンチレーション....8-20
アクセサリーソケット（DC12V）....8-20
充電用 USB ポート....8-21
ワイヤレス充電器....8-22
アクセサリーコンセント....8-23
フロアマット....8-26
サンバイザー／バニティミラー（照明付き）....8-27
カードホルダー 8-27
ロールサンシェード....8-28
アシストグリップ／コートハンガー....8-28
ラゲッジフック 8-29

9 トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは 9-2
発炎筒....9-3
けん引について 9-3

緊急時の対処方法

パンクしたときは....9-6
ドアが開かないときは 9-11
燃料給油口が解錠できなくなったときは....9-12
充電リッドが解錠できなくなったときは....9-13
充電コネクターロックが解除できなくなったときは....9-14
プラグインハイブリッド EV システムの起動や
充電ができないときは....9-14
キーレスオペレーションキーで起動できないときは....9-15
補機用バッテリーがあがったときは....9-17
警告灯がついたときは 9-21
表示灯がついたときは 9-32
警告メッセージが表示されたときは....9-34
警報音（ブザー）が鳴ったときは 9-65
窓ガラスがくもったときは 9-66
オーバーヒートしたときは 9-67
雪道やぬかるみにはまったときは 9-69
水没したときは 9-69
ヒューズが切れたときは....9-70
外装ランプが点灯しないときは....9-74

10 メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備について 10-2

工具･ジャッキ

工具･ジャッキについて 10-2

点検と整備

エンジンルーム 10-4
ウォッシャー液の補給 10-6
寒冷時の取り扱い 10-7
タイヤ 10-9
冬用タイヤ･タイヤチェーン.... 10-11
ワイパー....10-12
キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換 10-13
補機用バッテリー 10-14
エンジンオイル....10-14

清掃･お手入れ

外装のお手入れ 10-15
内装のお手入れ 10-20

サービスデータ

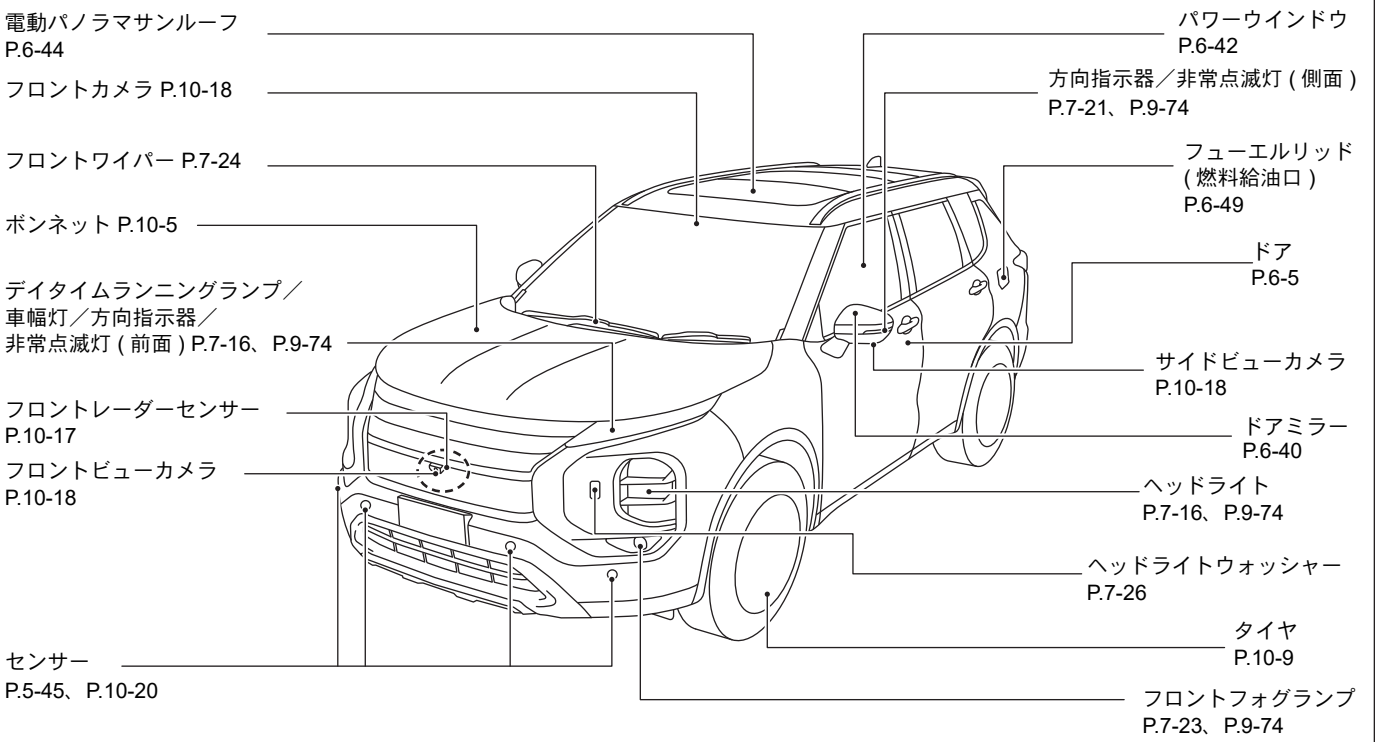
点検値／交換油脂類 10-23
車両仕様 10-26
イベントデータレコーダ（EDR） 10-28
車両状態記録機能 10-29
電波認証 10-30
ソフトウェア 10-30

11 さくいん

1

外観フロント

J17000100054

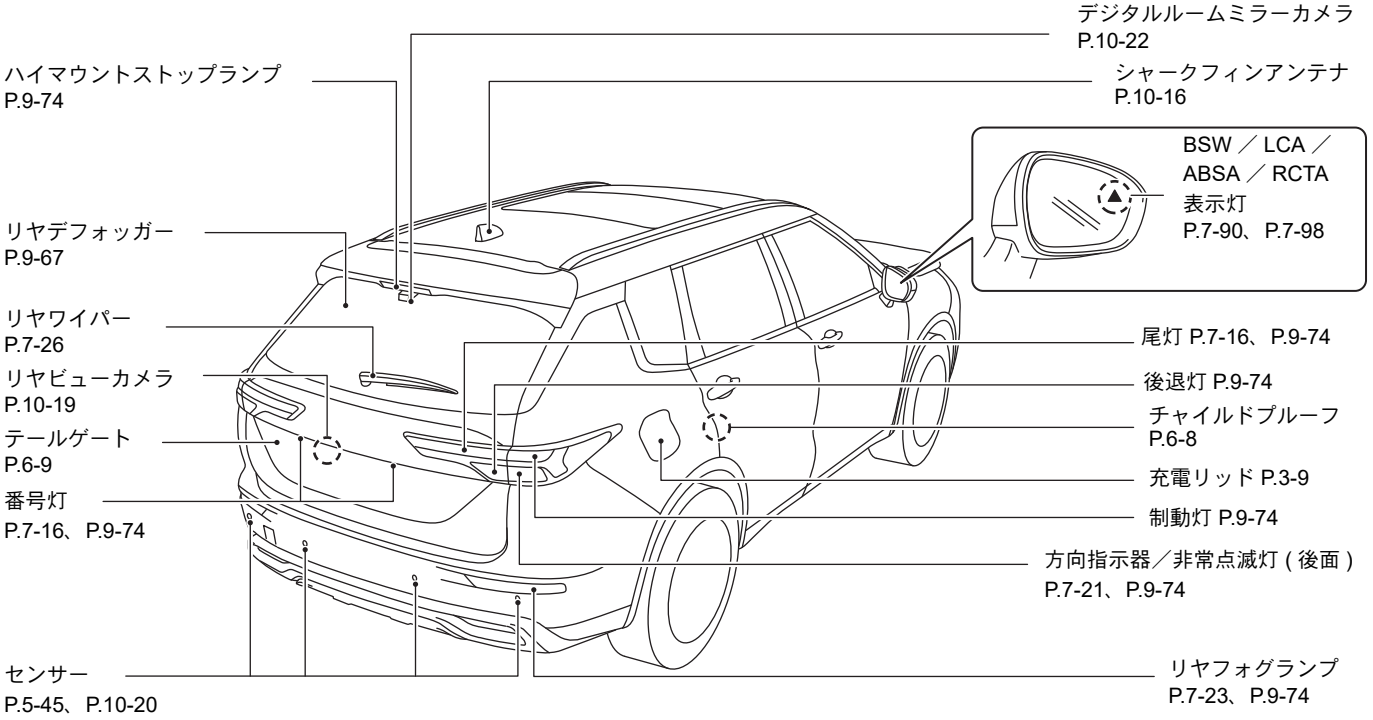


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AL5100078

外観リヤ

J17001300040



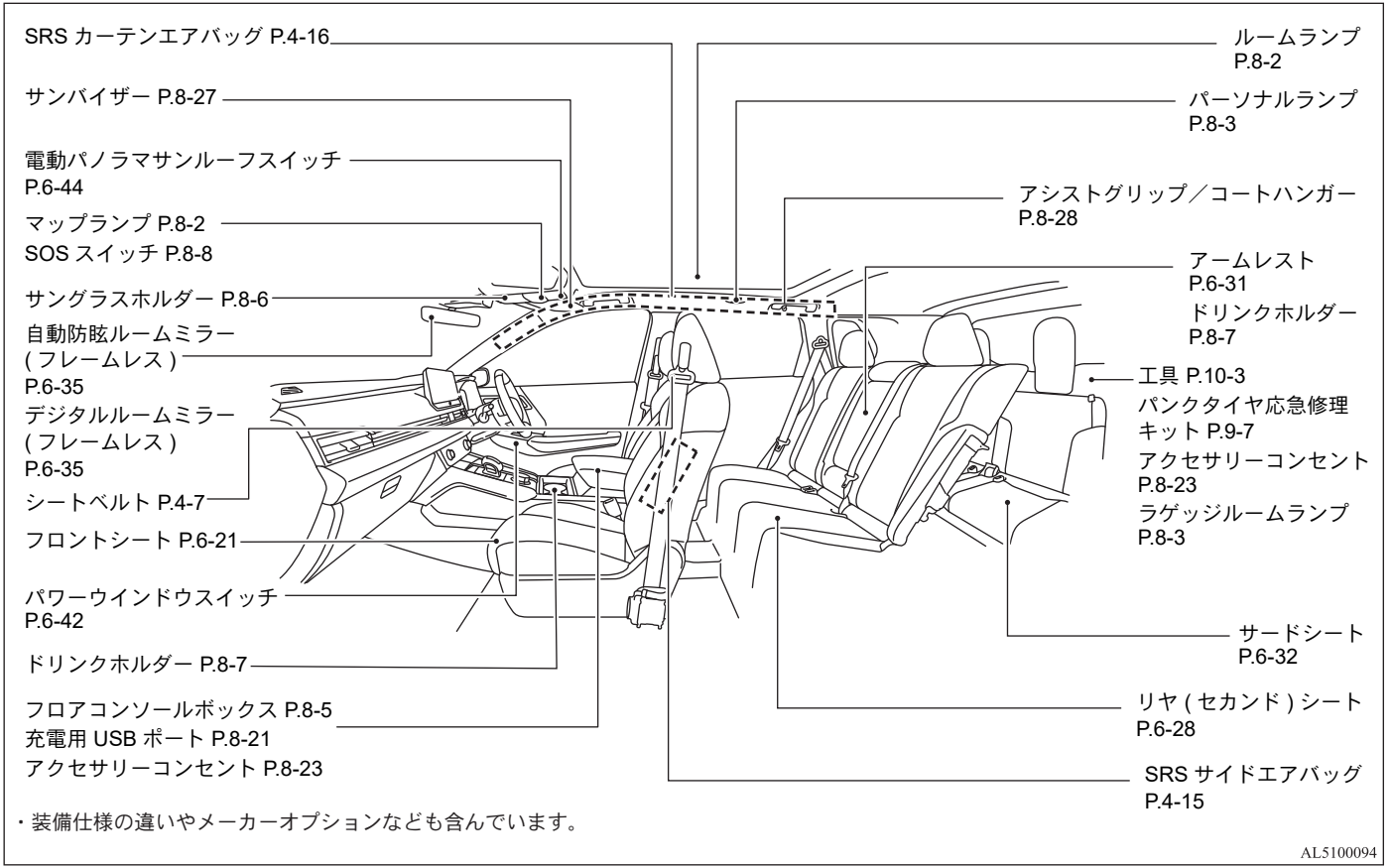
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AL5100081

1

車室内

J17000300043

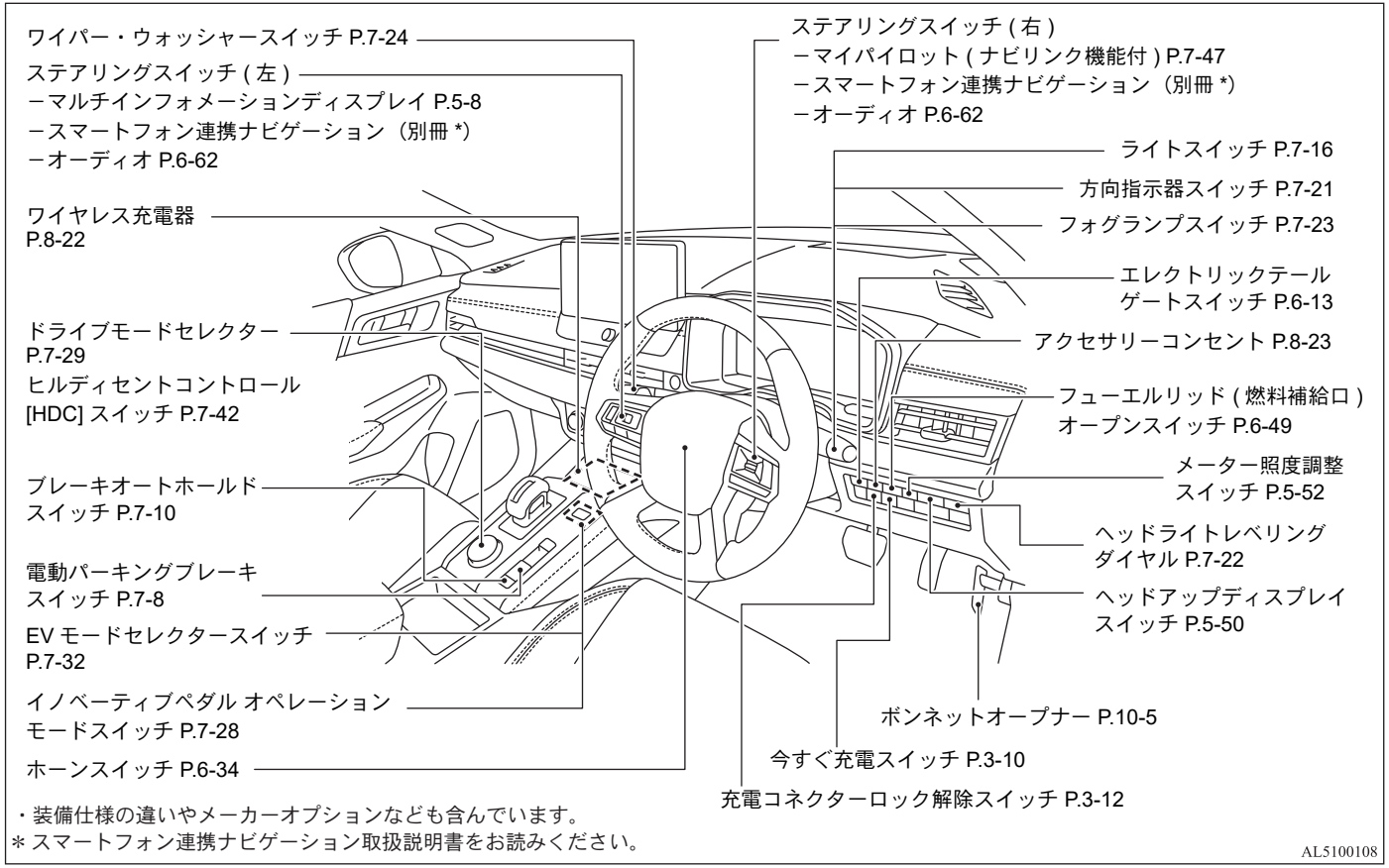


・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AL5100094

運転席まわり

J17000400044



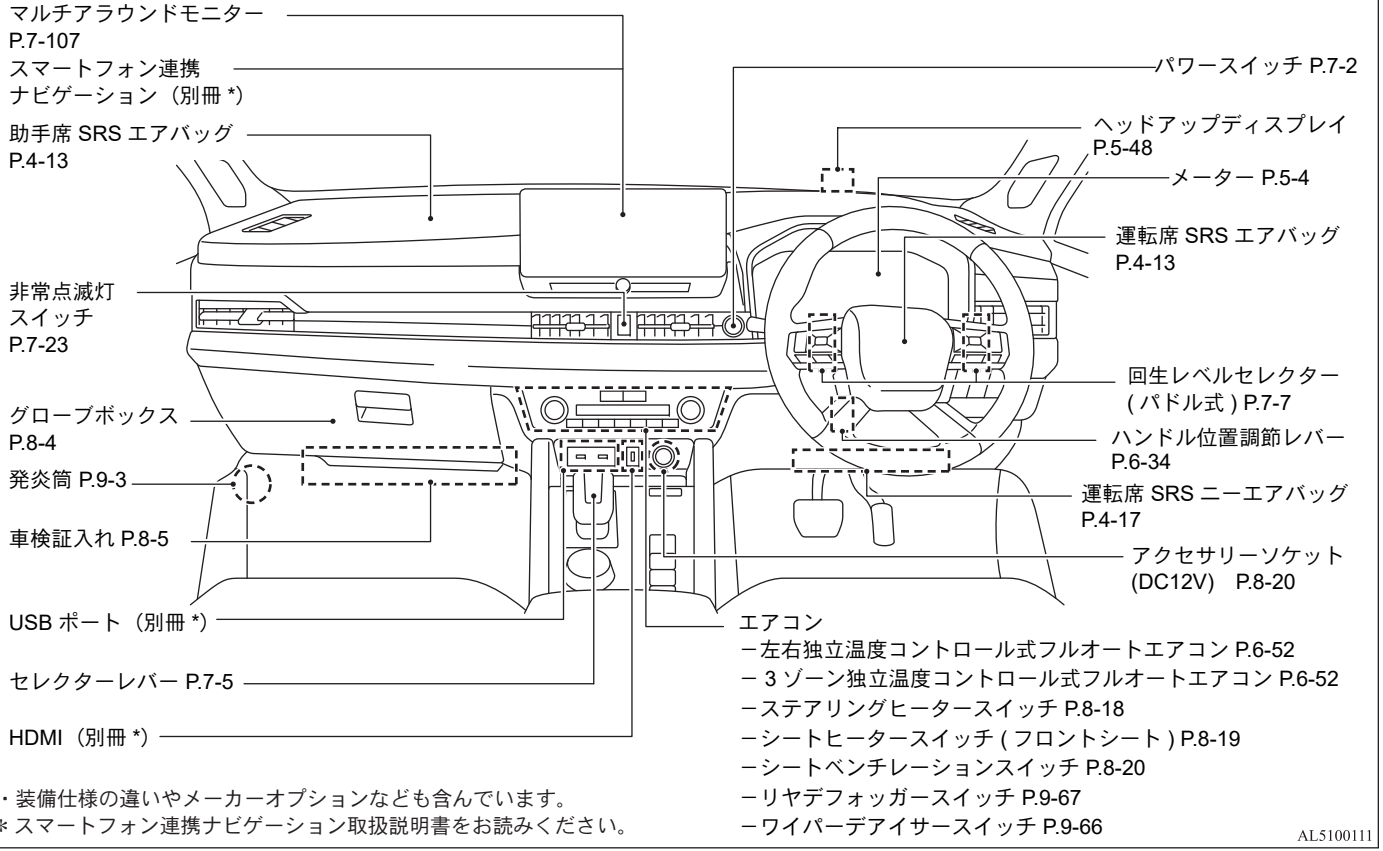
・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
＊スマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

AL5100108

1

インストルメントパネル

J17000500045



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
＊スマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

AL5100111

プラグインハイブリッド EV システム

J17001200023

主な特徴

J17001400038

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用して、バッテリー残量に応じて EV 走行モードで電気自動車として走行します。
  駆動用バッテリーに残量がある場合は、積極的に EV 走行モードになります。
  走行可能距離は、駆動用バッテリー残量や車速、エアコンの使用状況によって変わります。
- 駆動用バッテリー残量が減少したときや走行状況に応じて、EV 走行モードからエンジンを併用するシリーズ走行モードやパラレル走行モードに自動制御します。
- 駆動用バッテリーの温度が極端に低い (-30 ℃以下) の場合はプラグインハイブリッド EV システムが起動出来ない場合があります。その場合は、気温が上がるのを待ってから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。
- 高性能モーターの採用により、走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し、アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します（駆動用バッテリーの状況により充電しない場合もあります）。
- AC 200V(AC 200V 普通充電ケーブル使用時) または AC 100V(AC 100V 普通充電ケーブル(この車種専用の100V充電ケーブルは販売しておりません) 使用時) の EV 充電用コンセントから充電することができます。
- CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器または V2H 機器による充電も可能です。
  CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています。

アドバイス

- 詳しくは、→ 主な特徴（P.2-3）をお読みください。

EV 走行モードとは

J17001500026

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用してモーターのみで走行するモードです。

シリーズ走行モードとは

J17001600027

- 駆動用バッテリー残量が減少した場合や急加速時、上り坂など力強い走りを必要とするときに、エンジン発電した電力を使用し、モーターのみで走行するモードです。

パラレル走行モードとは

J17001700028

- エンジンの効率が良くなる高速走行時に、エンジンの駆動力を利用して、モーターがアシストしながら走行するモードです。

各走行モードでのモーターとエンジンの役割

J17001800029

	モーター	エンジン
EV 走行モード	駆動	停止
シリーズ走行モード	駆動	発電
パラレル走行モード	駆動アシスト可	前輪駆動可＋発電可

回生ブレーキとは

J17001900020

- モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。この変換時にブレーキ力が発生し、変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。
  - 走行中アクセルペダルから足を離したときに、エンジン車のエンジンブレーキに相当するブレーキ力が発生します。
    また、シフトポジションを Ⓓ から Ⓑ にすると回生ブレーキの効きが強くなります。走行状況に合わせて、回生レベルセレクター（パドル式）を Ⓑ 3 ～ Ⓑ 5 に操作してください。
  - 回生レベルセレクター（パドル式）で回生ブレーキの効きを調整できます。
  - ブレーキペダルを踏み込んだときは、より強い回生ブレーキが得られます。

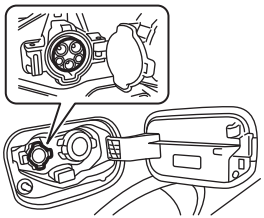
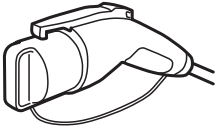
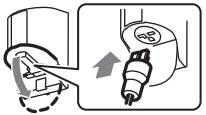
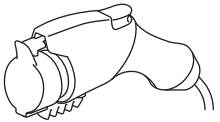
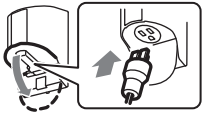
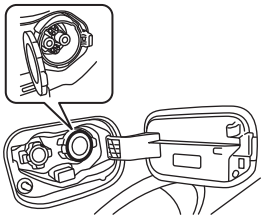
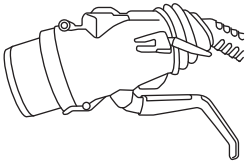
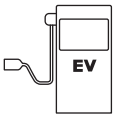
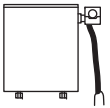
アドバイス

- 詳しくは、→ 回生ブレーキとは（P.2-4）をお読みください。

充電の種類

J17002000044

駆動用バッテリーを充電するには以下の方法があります。（詳しくは、→ 充電の種類（P.3-14）をお読みください。）

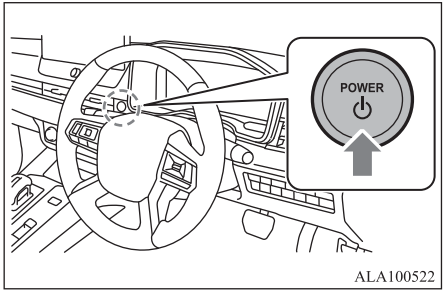
種類	充電給電口*1	充電コネクター	充電	充電時間*2
普通充電 (AC 200V)				約7.5時間
普通充電 (AC 100V)*3				AC 100V電源からでも充電することができますが、AC 200V電源での充電に比べると充電時間が長くなります。
急速充電				約32分*4 （満充電の80%まで）
V2H充電*5				V2H機器やご家庭の電力事情により異なります。

*1: 充電給電口は車両の右側後方にあります。
*2: 充電時間は駆動用バッテリーの状態、車両の使用環境、急速充電器またはV2H機器の仕様によって異なります。
また、高温および低温時ならびに電装品使用時には充電時間が長くなる場合があります。
*3: この車種専用の100V充電ケーブルは販売しておりません。
*4: 急速充電器の出力が50kW仕様の場合の充電時間です。
*5: V2H充電をするためには、V2H機器の設置が必要です。

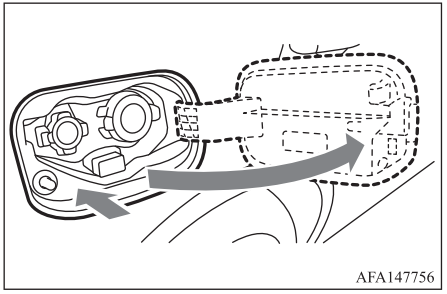
普通充電のしかた

J17002100045

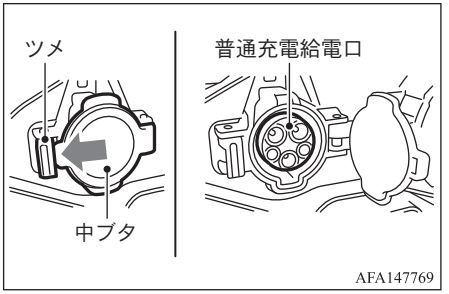
1. シフトポジションを Ⓟ にし、電動パーキングブレーキを確実にかけます。
2. ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチの電源モードを OFF にします。



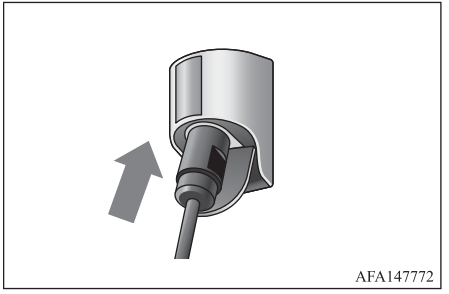
3. 運転席ドアを解錠した後、充電リッドの後方を奥まで押して充電リッドを開けます。



4. ツメを押して中ブタを開けます。

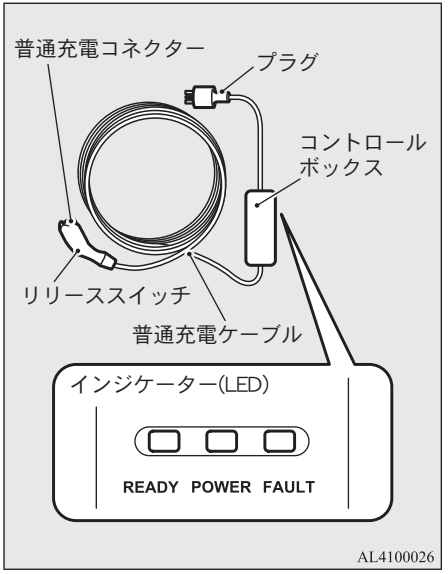


5. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み、コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。

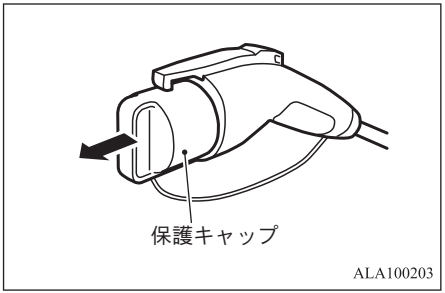


6. 充電ケーブルのコントロールボックスのインジケータが READY（緑）点灯していることを確認します。

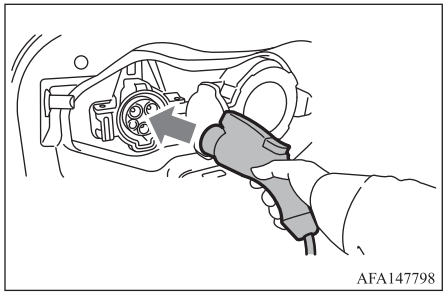
充電ケーブルのコントロールボックスが READY（緑）点滅している場合は、コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。
→ 充電ケーブル（コントロールボックス付）（P.3-6）



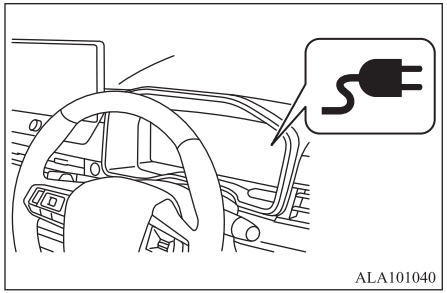
7. 普通充電コネクターの保護キャップを取り外し、普通充電コネクターおよび普通充電給電口の先端部にほこりなど異物が付いていないことを確認します。



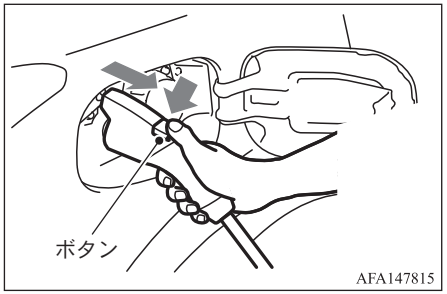
8. 図のように普通充電コネクターの下部を握り、ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。
コネクターロックモードをLOCKに設定しているときは、充電開始直前に充電コネクタ ― が自動的にロックされます。



9. メーター内の充電表示灯が赤色に点滅していることを確認します。
充電表示灯が赤色に点滅しない場合は、充電が開始されていません。
普通充電コネクターおよびプラグが正しく接続されているか確認しながら、再度手順 7 からやり直してください。



10. 充電表示灯の点滅が止まり、消灯したら充電は完了です。



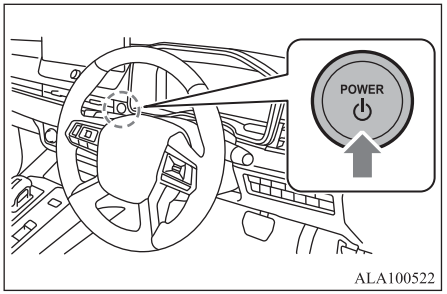
アドバイス

- 詳しくは、→ 普通充電のしかた（P.3-15）をお読みください。

急速充電のしかた

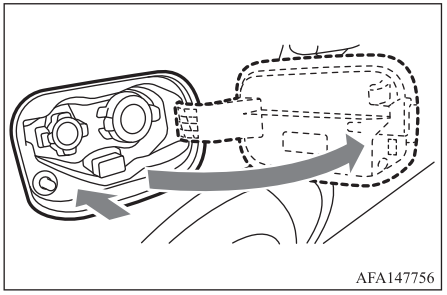
J17002200046

1. シフトポジションを Ⓟ にし、電動パーキングブレーキを確実にかけます。
2. ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチの電源モードを OFF にします。

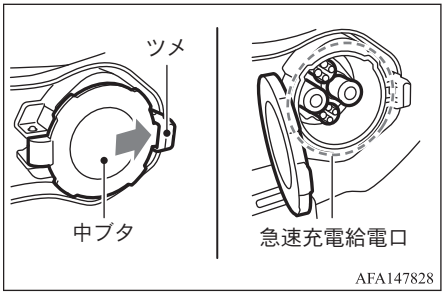


ALA100522

3. 運転席ドアを解錠した後、充電リッドの後方を奥まで押して充電リッドを開けます。

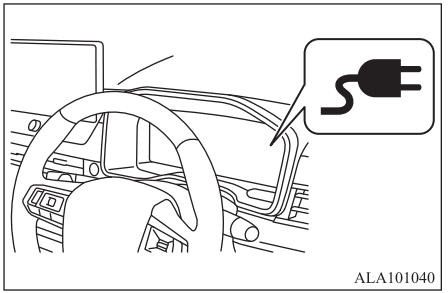

AFA147756

4. ツメを押して中ブタを開けます。



AFA147828

5. 急速充電給電口に急速充電コネクターを取り付け、急速充電、V2H 充電または V2H 給電を開始します。
取り付け方、取り外し方については、各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
6. 停電時に V2H 充電・V2H 給電が実施できないとき
— 今すぐ充電スイッチを長押しすると車両から V2H 機器へ電源供給を開始します。
— 電源供給した場合、充電表示灯が点滅します。
電源供給開始後、各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
→ 今すぐ充電スイッチ（P.3-10）
7. 急速充電または V2H 充電のとき
— 充電表示灯が点滅しない場合は、充電が開始されていません。各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
V2H 給電のとき
— 充電表示灯が点滅しない場合は、給電が開始されていません。各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
— 給電を停止した後は、各 V2H 機器のマニュアルに従って急速充電コネクターを取り外し、充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを閉じます。


ALA101040

8. 充電表示灯が消灯したら充電は完了です。充電は下記の条件で終了します。
— ほぼ満充電になったとき
— 急速充電器または V2H 機器側で充電停止操作を行ったとき

— 急速充電器または V2H 機器側に設定されている停止条件（充電量・充電時間）となったとき

アドバイス

- 詳しくは、→ 急速充電･ V2H 充電･ V2H 給電のしかた（P.3-17）をお読みください。

ワイパー･ウォッシャースイッチ

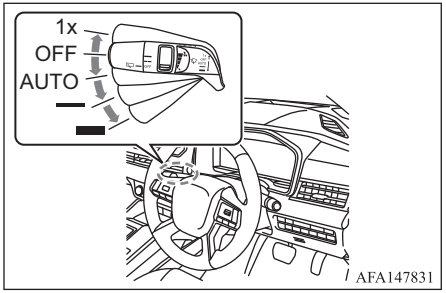
J17002300021

フロントワイパーの使いかた

J17002400022

- スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
1X	スイッチを上げている間作動します。
OFF	停止します。
AUTO	自動制御で作動します。
▬	低速で連続して作動します。
▬	高速で連続して作動します。



AFA147831

アドバイス

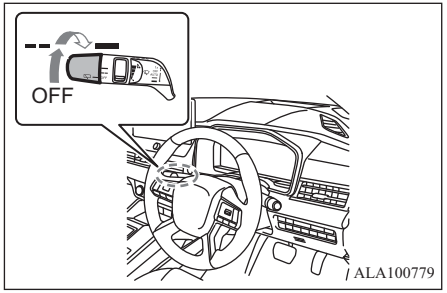
- 詳しくは、→ フロントワイパーの使いかた（P.7-24）をお読みください。

リヤワイパーの使いかた

J17002500049

- スイッチを回すと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
▬ ▬	間けつで作動します。
▬	低速で連続して作動します。



ALA100779

アドバイス

- 詳しくは、→ リヤワイパーの使いかた（P.7-26）をお読みください。

ウォッシャーの使いかた

J17002600024

フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

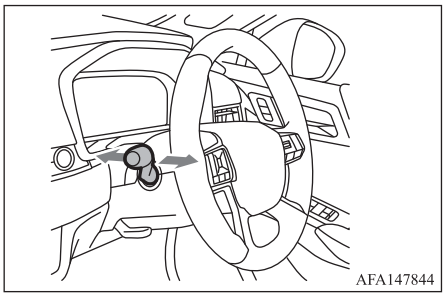
リヤウォッシャー

- スイッチを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。

●スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

ヘッドライトウォッシャー

●ヘッドライトが点灯しており、パワースイッチの電源モードがONの位置にある場合、以下の条件で作動します。
- パワースイッチの電源モードが ONになってから初めてフロントウォッシャーを作動させたとき。以降、フロントウォッシャーを10回作動させるごとに1度作動します。
- スイッチを手前に引き続けたとき。



アドバイス

●詳しくは、→ ウォッシャーの使いかた（P.7-26）をお読みください。

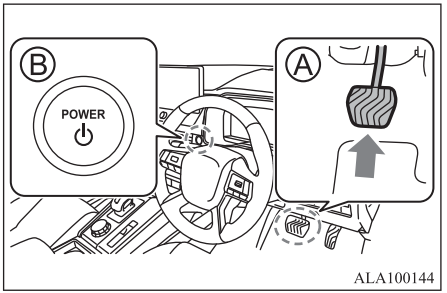
パワースイッチ

J17002700025

プラグインハイブリッドEVシステムの起動のしかた

J17002900043

1. 充電コネクターが車両に接続されていないことを確認します。
2. アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。
3. 電動パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルⒶをしっかりと踏み込みながら、パワースイッチⒷを1回押します。
   メーター内のREADY（走行可能）表示灯が点滅から点灯に変わるまで、ブレーキを踏み続けてください。



5. メーター内のREADY（走行可能）表示灯が点滅から点灯に変わると、プラグインハイブリッドEVシステムの起動は完了し、走行できるようになります。

アドバイス

●詳しくは、→ プラグインハイブリッドEVシステムの起動のしかた（P.7-2）をお読みください。

ライトスイッチ

J17003000041

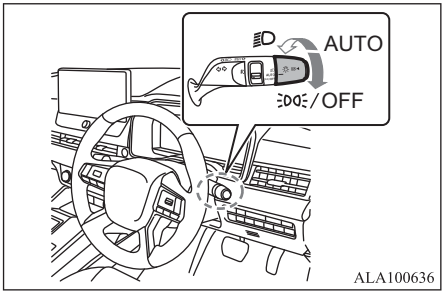
ライトスイッチの使いかた

J17003100055

スイッチを回すと、次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
≡D	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
AUTO	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
≡D⊂≡ /OFF	停時に ≡D⊂≡ /OFF の位置に回すと車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。 停時に ≡D⊂≡ /OFF の位置で 1.5 秒以上保持すると、全ランプが消灯します。 走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯・消灯します。



アドバイス

- 詳しくは、→ ライトスイッチの使いかた（P.7-16）をお読みください。

オートマチックハイビーム [AHB]

タイプ別装備　J17010800025

- 先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、ヘッドライトが上向き（ハイビーム）のときに下向き（ロービーム）への切り換えや上向き（ハイビーム）への復帰を自動的に行います。
- 約30km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 25km/h 以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

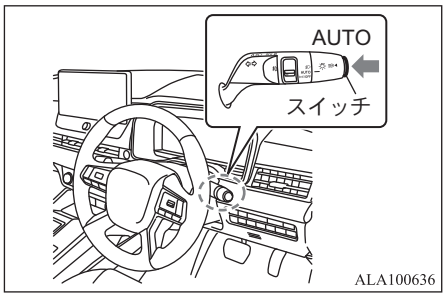
アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]

タイプ別装備　J17003200030

- 先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。
- 約30km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 25km/h 以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]/オートマチックハイビーム [AHB] を ON にする方法

- ライトスイッチがAUTOの位置でヘッドランプが点灯しているときにスイッチを押すと、ALH または AHB が ON になります。（メーター内のアダプティブ LED ヘッドライト [ALH] 表示灯 ≡Ⓐ またはオートマチックハイビーム [AHB] 表示灯 ≡Ⓐ が点灯）



アドバイス

- 詳しくは、→ アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]/ オートマチックハイビーム [AHB]（P.7-18）をお読みください。

ハンドル周りのスイッチ

J17003300028

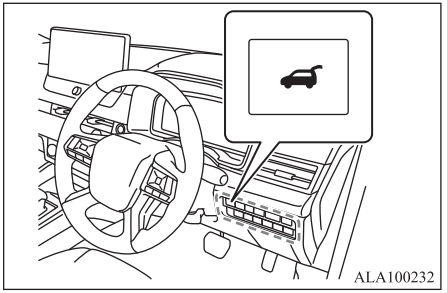
エレクトリックテールゲートスイッチ

タイプ別装備

J17003400032

開閉操作をするときは、テールゲート周囲の安全を確認してください。

- テールゲート全閉時にスイッチを約 1 秒間押すと、テールゲートが自動的に開きます。
  テールゲートが施錠されているときは、解錠され自動的に開きます。
- テールゲート全開時にスイッチを約 1 秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約 1 秒間押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。



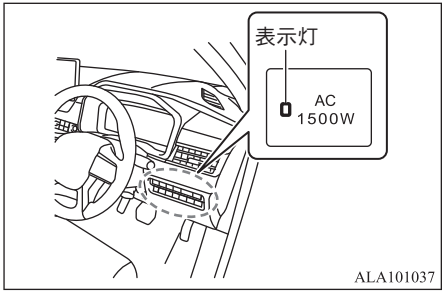
アドバイス

- 詳しくは、→ エレクトリックテールゲートの使いかた（P.6-12）をお読みください。

アクセサリーコンセントスイッチ

J17010900026

- アクセサリーコンセントスイッチを押すと表示灯が点灯して、使用可能な状態になります。スイッチをもう一度押すと、表示灯が消灯します。
- アクセサリーコンセントはフロアコンソールボックスとラゲッジルームにあります。
- 必ず、AC100V で消費電力が 1500W 以下の電気製品を使用してください。



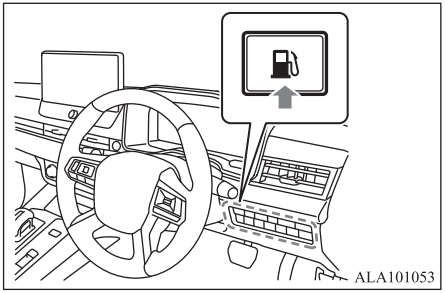
アドバイス

- 詳しくは、→ アクセサリーコンセントの使いかた（P.8-23）をお読みください。

フューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチ

J17003600034

- 給油する前に、パワースイッチを押してプラグインハイブリッド EV システムを停止させてください。



アドバイス

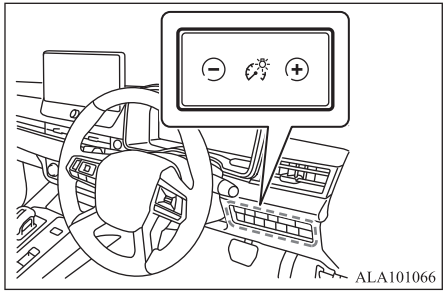
- 詳しくは、→ 開けかた、閉めかた (P.6-49) をお読みください。

メーター照度調整スイッチ

J17003700035

パワースイッチの電源モードが ON のとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



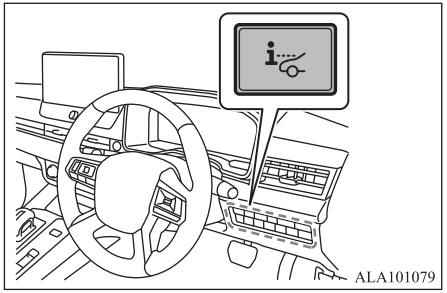
アドバイス

- 詳しくは、→ メーターの明るさの調節のしかた（P.5-52）をお読みください。

ヘッドアップディスプレイスイッチ

J17003800036

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、ヘッドアップディスプレイスイッチを押すと表示します。
- ヘッドアップディスプレイスイッチを押すごとに、ON・OFF を切り替えることができます。



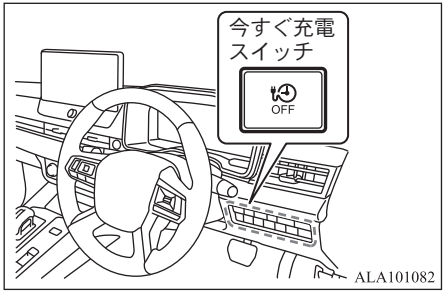
アドバイス

- 詳しくは、→ON・OFF のしかた (P.5-50) をお読みください。

今すぐ充電スイッチ

J17003900037

タイマー充電の設定を一時的にキャンセルし、すぐに充電を開始したいときは、今すぐ充電スイッチを押します。



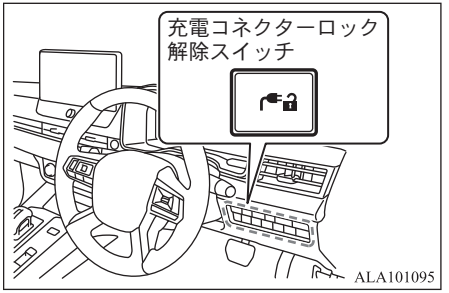
アドバイス

- 詳しくは、→ 今すぐ充電スイッチの使いかた（P.3-11）をお読みください。

充電コネクターロック解除スイッチ

J17004000035

充電コネクターロック解除スイッチを押す、またはドアロックスイッチかキーレスオペレーションキーでドアロックを解錠するとピッピッピッと音が鳴り、充電コネクターロックが解除されます。



アドバイス

- 詳しくは、→ 充電コネクターロックの解除のしかた（P.3-12）をお読みください。

セレクターレバー周り

J17004100023

セレクターレバー

J17004200037

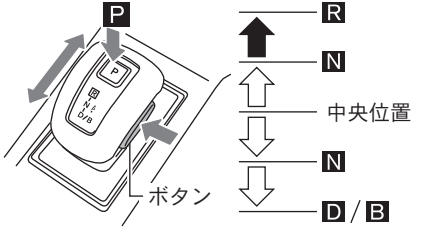
メーター内の READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。

シフトポジションの切り替え方法

J17004300038

Ⓟ	セレクターレバーにある (P) スイッチを押します。
Ⓡ	ブレーキペダルを踏みながら、ボタンを押して車両前方へ 2 段階スライドさせます。
Ⓝ	Ⓟのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方、または車両後方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。 Ⓓ·Ⓑのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。 Ⓡのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両後方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。
Ⓓ	ブレーキペダルを踏みながら、車両後方に 2 段階スライドさせます。
B3 または B5	Ⓓのときに車両後方に 2 段階スライドさせると B3 に切り替わります。 もう一度車両後方に 2 段階スライドさせるとⒹに戻ります。 なお、B3 の状態から車両後方に 1 段階スライドさせると B5 に切り替わります。

セレクターレバーの動かし方



セレクターレバー操作	
➡	ボタンを押して操作します。
⇨	ボタンを押さずにそのまま操作します。

AL3100029

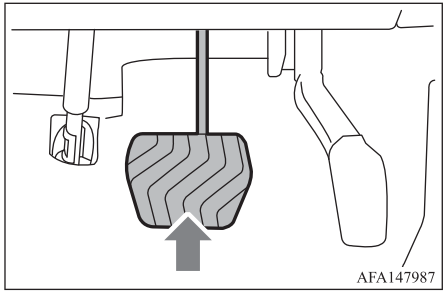
アドバイス

- 詳しくは、→ シフトポジションの切り替え方法（P.7-5）をお読みください。

電動パーキングブレーキのかけかた

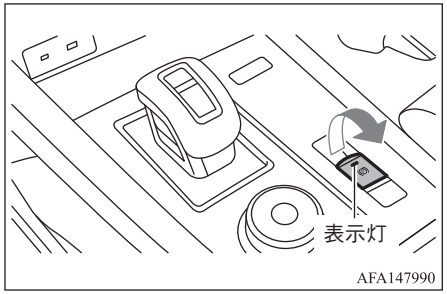
J17004700029

1. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



AFA147987

2. 電動パーキングブレーキスイッチを引き上げます。
   スイッチを引き上げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が点灯し、メーター内の電動パーキングブレーキ警告灯 (Ⓟ) が点灯します。



AFA147990

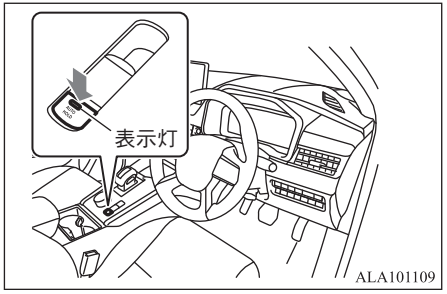
アドバイス

- 詳しくは、→ 電動パーキングブレーキのかけかた／解除の仕方（P.7-8）をお読みください。

ブレーキオートホールド機能について

J17004800033

- ブレーキオートホールド機能は、運転者のブレーキ操作によって停車した際に、ブレーキ力を保持する機能です。ブレーキ力が保持されているときにアクセルペダルを踏むと、ブレーキが解除され、発進することができます。



ALA101109

1

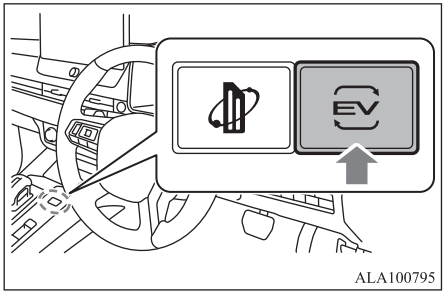
アドバイス

- 詳しくは、→ ブレーキオートホールド機能について（P.7-10）をお読みください。

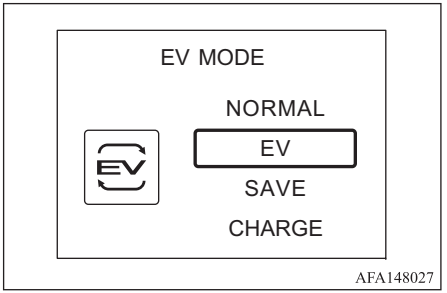
EV モードの切り替えかた

J17004900034

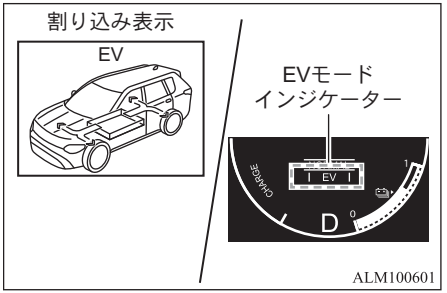
1. パワースイッチの電源モードが ON のとき、EV モードセレクタースイッチを押すごとに次の順でモードが切り替わります。
「NORMAL」(ノーマルモード)⇒「EV」(EV　プライオリティモード）⇒「SAVE」(バッテリーセーブモード)⇒「CHARGE」(バッテリーチャージモード) ⇒「NORMAL」(ノーマルモード)



2. EV モードセレクタースイッチを押すと、マルチインフォメーションディスプレイに EV モードが表示されます。モードを選択して約 2 秒間待機すると、モードが確定します。



3. 選択されたモードがマルチインフォメーションディスプレイに数秒間割り込み表示され、EVモードインジケーターが切り替わります。



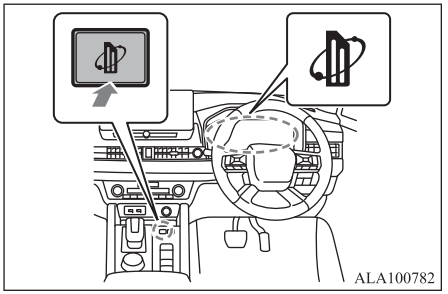
アドバイス

- 詳しくは、→EV　モードの切り替えかた（P.7-32）をお読みください。

イノベーティブペダル オペレーションモードの使いかた

J17011000024

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、イノベーティブペダル オペレーションモードスイッチを押すごとに ON・OFF が切り替わります。（メーター内のイノベーティブペダル オペレーションモード表示灯に状態を表示します。）



アドバイス

- 詳しくは、→イノベーティブペダル オペレーションモードの使いかた（P.7-28）をお読みください。

1

エアコン

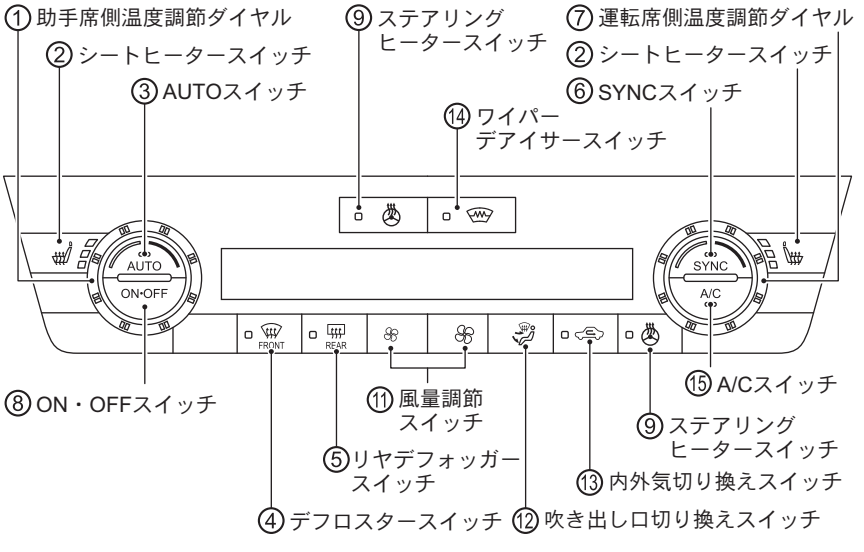
J17005100033

吹き出し口、風量の切り替えを自動制御して設定した温度に保ちます。また、内気循環／外気導入を自動制御に設定することで、内気循環／外気導入を自動制御します。パワースイッチの電源モードが ON で、READY（走行可能）表示灯が点灯していないときは送風のみとなります。

左右独立温度コントロール式フルオートエアコン

タイプ別装備

J17005200021

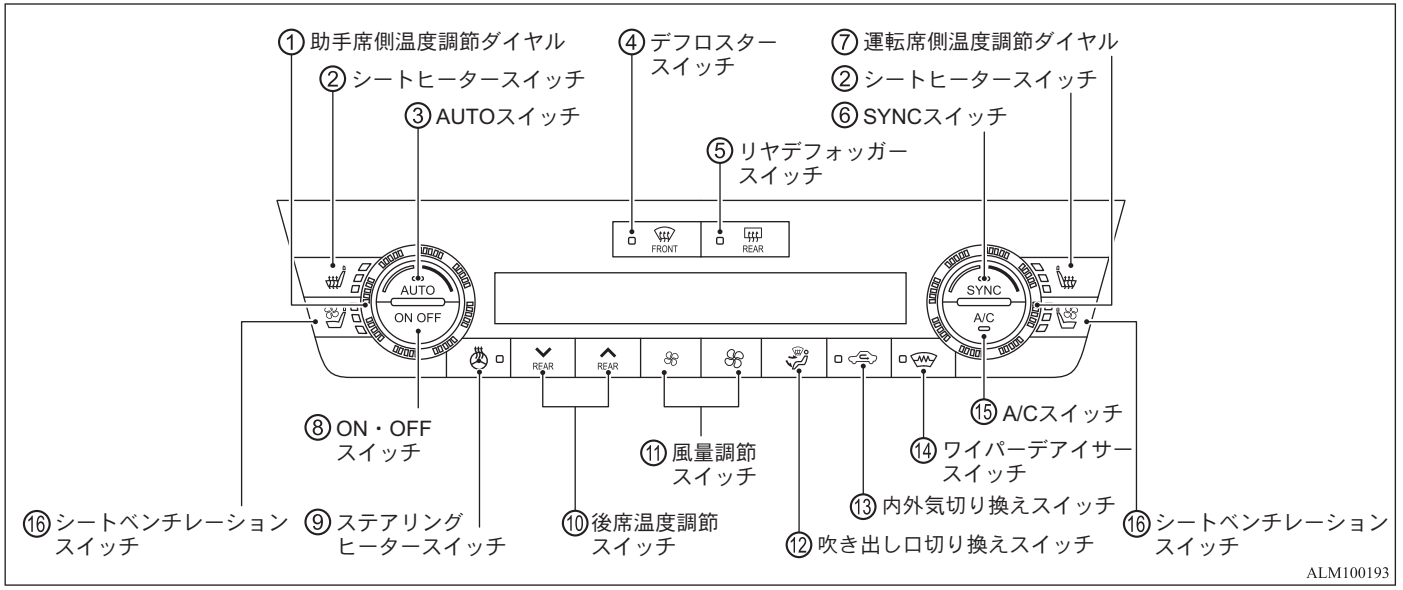


AFM119944

3ゾーン独立温度コントロール式フルオートエアコン

タイプ別装備

J17005300035



① **助手席側温度調節ダイヤル**
助手席側の設定温度を切り替えます。
左右独立モードが OFF のときは、運転席側で温度を調節すると助手席側も同時に温度調節します。

② **シートヒータースイッチ**
スイッチを押すごとに暖房(強)⇒暖房 (中) ⇒暖房 (弱) ⇒ OFF ⇒暖房 (強) の順に切り替わります。

③ **AUTO スイッチ**
自動制御に切り替えます。吹き出し口、風量調整、内外気切り替え、温度調整およびエアコンの ON・OFF を自動調整します。

④ **デフロスタースイッチ**
仕様によって位置が異なります。

フロントガラスのくもりが取れます。

⑤ **リヤデフォッガースイッチ**
仕様によって位置が異なります。テールゲートガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し、霜やくもりが取れます。

⑥ **SYNC スイッチ**
タッチするごとに左右独立モードの ON ／ OFF が切り替わります。ON にすると、運転席と助手席の温度が同じになります。

⑦ **運転席側温度調節ダイヤル**
運転席側の設定温度を切り替えます。

⑧ **ON・OFF スイッチ**
オートエアコンのON･OFFを切り替えます。

⑨ **ステアリングヒータースイッチ**
仕様によって位置が異なります。ステアリングヒーターのON･OFFを切り替えます。

⑩ **後席温度調節スイッチ**
後席用吹き出し口の設定温度を調節します。

⑪ **風量調節スイッチ**
風量を切り替えます。

⑫ **吹き出し口切り換えスイッチ**
吹き出し口を切り替えます。

⑬ **内外気切り換えスイッチ**
スイッチをタッチするごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。(内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。)

⑭ **ワイパーデアイサースイッチ（タイプ別装備）**
仕様によって位置が異なります。ワイパーデアイサーのON･OFFを切り替えます。

⑮ **A/C スイッチ**
冷房･除湿機能の ON・OFF を切り替えます。

⑯ **シートベンチレーションスイッチ（タイプ別装備）(→P.8-20)**
スイッチを押すごとに風量(強)⇒風量 (中) ⇒風量 (弱) ⇒ OFF ⇒風量 (強) の順に切り替わります。

アドバイス

- 詳しくは、→　各スイッチの名称と機能（P.6-52）をお読みください。

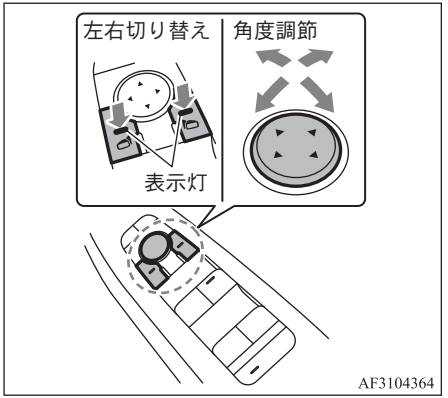
便利な機能

J17005400023

ドアミラーの角度調節のしかた

J17005700026

- 調節したいミラー側の左右切り替えスイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
- 角度調節スイッチを前後左右に押して、鏡面角度を調節します。



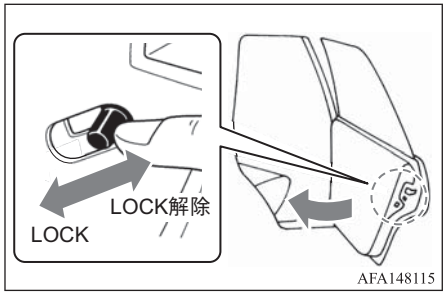
アドバイス

- 詳しくは、→ ドアミラーの角度調節のしかた（P.6-40）をお読みください。

ドアミラーの格納のしかた

J17005800027

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納します。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



アドバイス

- 詳しくは、→ ドアミラーの格納のしかた（P.6-40）をお読みください。

アドバイス

- 詳しくは、→ チャイルドプルーフ（P.6-8）をお読みください。

チャイルドプルーフ

J17005900028

リヤ（セカンド）シートに乗せたお子さまなどが、誤って後席のドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

ドアを開けるには

- 解錠しているとき、車外からドアハンドルを引きます。

プラグインハイブリッドEV システム

プラグインハイブリッド EV システムの特徴
プラグインハイブリッド EV システム車について 2-2

安全にご利用いただくために
点検･整備をするときは 2-7
事故が起きたときの注意事項 2-8
植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は 2-9
酷暑時の注意事項と対処方法 2-11
極寒時の注意事項と対処方法 2-12

プラグインハイブリッド EV システム車と上手に付き合うために
燃費を良くするためのポイント 2-14

便利なサポート機能
My MITSUBISHI CONNECT 2-15

プラグインハイブリッド EV システム車について

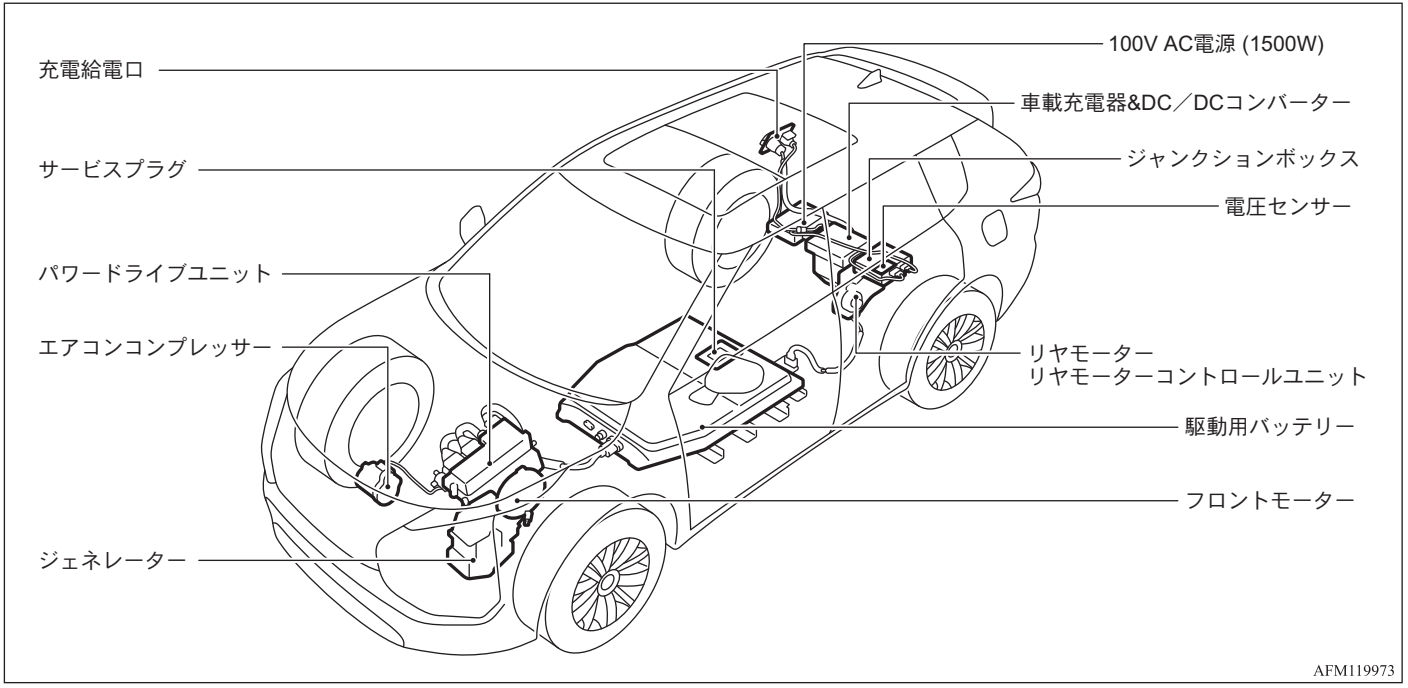
J17100100026

ガソリンエンジンとモーターという 2 つの異なる動力を効率的に組み合わせて走行する自動車です。

2

主な高電圧部位

J17100200027



主な高電圧部位の注意事項

J17100300031

⚠警告

- **車両に貼り付けられているラベルにしたがい、高電圧と高温に注意する。**
  プラグインハイブリッド EV システムは、最大で 650V の直流高電圧が使用されるため、システム起動中や起動後、車両が止まったときに高温になることがあります。
- **READY(走行可能)表示灯が消灯しているときでも、駆動用バッテリーおよび関連部品には高電圧がかかっていることがあるので注意してください。**
- **READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、および充電表示灯が点灯･点滅しているときは、高電圧システムが作動しています。また、READY(走行可能) 表示灯や充電表示灯が消灯している時でも、高電圧システムが作動している場合があるので、高電圧部位の整備は絶対に行わないでください。**

主な特徴

J17100400032

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用して、バッテリー残量に応じて EV 走行モードで電気自動車として走行します。
  駆動用バッテリーに残量がある場合は、積極的に EV 走行モードになります。
  走行可能距離は、駆動用バッテリー残量や車速、エアコンの使用状況によって変わります。
- 駆動用バッテリー残量が減少したときや走行状況に応じて、EV 走行モードからエンジンを併用するシリーズ走行モードやパラレル走行モードに自動制御します。
- 駆動用バッテリーの温度が極端に低い (-30 ℃以下) の場合はプラグインハイブリッド EV システムが起動出来ない場合があります。その場合は、気温が上がるのを待ってから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。
- 高性能モーターの採用により、走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し、アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します（駆動用バッテリーの状況により充電しない場合もあります）。
- AC 200V (AC 200V 普通充電ケーブル使用時）または AC 100V（AC 100V 普通充電ケーブル（この車種専用の 100V 充電ケーブルは販売しておりません）使用時）の EV 充電用コンセントから充電することができます。
- CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器または V2H 機器による充電も可能です。
  →V2H（ヴィーツーエッチ）とは (P.3-15)
  CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています。

EV 走行モードとは

J17100500020

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用してモーターのみで走行するモードです。ただし、駆動用バッテリー残量や車速、エアコンの使用状況により、EV 走行モードが解除されるので次の点に注意してください。
  - インフォメーション画面でEV航続可能距離を確認してください。
    →EV 航続可能距離について（P.2-6）
    →EV航続可能距離表示／総合航続可能距離表示（P.5-4）
  - 急加速、急減速を避け、なるべく控えめな速度で運転することを心がけてください。急加速、急減速を繰り返すと駆動用バッテリー残量が早く減少し、EV 走行可能距離が極端に短くなります。

●エンジンを始動させずに、できるだけEV 走行モードで走りたいときは、EV プライオリティモードを選択してください。
→EV（EV プライオリティ）モード (P.7-33)

シリーズ走行モードとは

J17100600021

●駆動用バッテリー残量が減少した場合や急加速時、上り坂など力強い走りを必要とするときに、エンジン発電した電力を使用し、モーターのみで走行するモードです。

パラレル走行モードとは

J17100700022

●エンジンの効率が良くなる高速走行時に、エンジンの駆動力を利用して、モーターがアシストしながら走行するモードです。

各走行モードでのモーターとエンジンの役割

J17100800023

	モーター	エンジン
EV 走行モード	駆動	停止
シリーズ走行モード	駆動	発電
パラレル走行モード	駆動アシスト可	前輪駆動可＋発電可

回生ブレーキとは

J17100900024

●モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。この変換時にブレーキ力が発生し、変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。
- 走行中アクセルペダルから足を離したときに、エンジン車のエンジンブレーキに相当するブレーキ力が発生します。
  また、シフトポジションを Ⓓ から Ⓑ にすると回生ブレーキの効きが強くなります。走行状況に合わせて、回生レベルセレクター（パドル式）を $Ⓑ_3$ ～ $Ⓑ_5$ に操作してください。
- 回生レベルセレクター（パドル式）で回生ブレーキの効きを調整できます。
  → 回生レベルセレクター（パドル式）(P.7-7)
- ブレーキペダルを踏み込んだときは、より強い回生ブレーキが得られます。
- プラグインハイブリッドEVシステムに異常があるときは、回生ブレーキの働きは制限されます。このとき、フットブレーキは働きます。
- ABS やアクティブスタビリティコントロール [ASC] が作動しているときは、回生ブレーキの働きは制限されます。

アドバイス

●回生ブレーキは、駆動用バッテリーの残量が満充電に近いほど、温度が低温ほど、充電できるエネルギーが制限され、ブレーキ力が弱くなります。

ガソリンエンジン作動について

J17101000035

●EV走行モードで走行していても、次の場合、自動で EV 走行モードが解除され、シリーズ走行モードまたはパラレル走行モードに切り替わることがあります。
- プラグインハイブリッドEVシステムが高温または低温のとき
- 急加速をしたとき
- エアコンを使用しているとき
- 上り坂や高速道路などでアクセルペダルを大きく踏み込んでいるとき
- 外気温が低いとき

- 長期間給油していないとき
- 駆動用バッテリー残量が減少したとき
- セレクターレバーまたはパドルシフトでⒷを選択したとき（減速度を生成するため）
- バッテリーセーブモードまたはバッテリーチャージモードを選択したとき

上記のほかにも EV 走行モードが解除され、エンジンを併用した走行に切り替わることがあります。

- 停車中でも次の場合、自動でエンジンが作動することがあります。
  - 駆動用バッテリー残量が減少したとき
  - プラグインハイブリッドEVシステムが高温または低温のとき
  - エアコンを使用したとき
  - お車を長期間使用していなかったとき
  - エンジンが長期間作動していなかったとき
  - 長期間給油していないとき
  - バッテリーセーブモードまたはバッテリーチャージモードを選択したとき

⚠注意

- **EV 走行が多く、燃料の消費量が少ない場合、燃料タンク内の燃料が長時間滞留することがあります。**
  このような場合、燃料タンク内の燃料の変質によって、エンジンや燃料系の部品に悪影響をおよぼし、エンジンの不調や故障につながるおそれがあります。そのため OUTLANDER では、約 3ヶ月間一度も 20ℓ 以上の給油が確認できなかった場合、自動的にエンジンを始動する機能を備えています。
  エンジンが始動しているときは、駆動用バッテリーを充電している状態になり、バッテリーチャージモード表示画面が表示されますが、満充電にはなりません。この機能を終了させるには、燃料残量表示が半分以下になるまで燃料を消費し、20ℓ 以上給油してください。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの充電量が高めのとき、高温、または低温になった場合に、シフトポジションをⒷにしたときは、ジェネレーターでエンジンを駆動することで回生電力を消費させ、回生ブレーキをサポートします。シフトポジションをⒹに切り替えると、エンジンは停止します。

燃料（ガソリン）の補給について

J17101100036

⚠注意

- **燃料残量警告表示が表示された場合には、ただちに燃料を補給するようにしてください。**
  この車は、燃料切れになると、発電が必要な状況においてもエンジンがかからず、次のような性能低下が生じます。
  - 走行性能が低下する（駆動用バッテリーのエネルギーしか走行に使えないため）
  - ヒーターが効かない（ヒートポンプ無車）
  - ヒーターが効きにくくなる（ヒートポンプ付車）
  - 触媒装置が異常高温となり損傷するおそれがある

  → フューエルリッド（燃料補給口）（P.6-49）
  → 燃料残量計（P.5-4）
- **お車の使用状況によっては燃料タンク内の燃料が消費されず長期間滞留し、燃料の品質が変化し、エンジンや燃料系の部品に悪影響をおよぼす可能性があります。**
  予防のため、次のことをお守りください。
  - 3ヶ月以内に一度はバッテリーチャージモードを選択してエンジンを始動する

  →CHARGE（バッテリーチャージ）モード」（P.7-33）

⚠注意

- 3ヶ月以内に一度は1回で20ℓ以上給油してください。燃料残量計の表示が、半分以下になれば、確実に 20ℓ 以上給油可能となります
  → フューエルリッド（燃料補給口）(P.6-49)

駆動用バッテリーとは

J17101200024

- モーターおよびエアコンなどを作動させるバッテリーです。
  この車には駆動用バッテリーの他に照明、ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーも搭載しています。
  - この車には、密閉式のリチウムイオン高電圧電池が搭載されています。リチウムイオン電池は、不適切な方法で処分すると、重度のやけどや感電により重大な傷害または死亡につながるおそれがあるだけでなく、環境汚染につながります。
  - リチウムイオン電池の特性については (→P.2-6) をお読みください。

駆動用バッテリーの特性

J17101300025

- 一般的なリチウムイオン電池と同様に時間の経過や使用状況に伴い、バッテリー容量が低下します。これに伴い、EV 航続可能距離が短くなり、動力性能も低下します。
  使用年月や使用条件により徐々に容量が低下します。
  特に、急な加減速の繰り返し、頻繁な急速充電の実施、酷暑地での使用、高温での車両保管などの場合は低下の割合が大きくなります。
- 外気温により性能が変化することがあります。特に低温時は常温時に比べて、EV 航続可能距離が短くなり、充電時間が長くなります。また、満充電になる前に充電が停止することがあります。
- 駆動用バッテリー残量が満充電付近にあっても、外気温が低くなるほどエンジンが始動しやすくなります。また、低温ほど駆動用バッテリーの出力が低下するため、エンジン始動時に大きく振動することがあります。
- エンジンが始動する頻度が多くなることで、燃費および EV 航続可能距離が低下します。
- 使用しなくても徐々に放電しバッテリー残量が減っていきます。
- 充電前にバッテリー残量を使い切る必要はありません。

駆動用バッテリー取り扱いの注意点

J17101400026

- 長期間お車を使用されない場合は、3ヶ月ごとに駆動用バッテリー残量表示の目盛を確認してください。目盛が 0 の場合は、目盛が表示されるまで充電するかプラグインハイブリッド EV システムを起動して自動で始動したエンジンが停止するのを待ってからパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。
- 駆動用バッテリーの回収を行っていますので、廃車するときは必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

EV 航続可能距離について

J17101500027

- エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため、過度に使用するとEV 航続可能距離が短くなります。冷やしすぎや暖めすぎにならないように、風量をこまめに絞り、さらに設定温度を控えめに調整してください。

- 充電量が同じでも走行状況によってEV 航続可能距離は変化します。高速走行や山道の登坂は、通常よりも駆動用バッテリーの電力を消費するため、EV 航続可能距離が短くなります。
- 道路状況に合わせて回生レベルセレクター（パドル式）を Ⓑ3 ～Ⓑ5 に操作し、回生ブレーキを上手に使用して､駆動用バッテリーを充電すればEV航続距離を延ばすことができます。

車両接近通報装置 [AVAS] について

J17101600028

- 車速が約 30km/h 以下でエンジンが作動していないとき、通報音で歩行者などに車両の接近などを知らせる装置です。
  → 車両接近通報装置 [AVAS]（P.7-42）
- AVAS が鳴っていても、歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気付かずに、事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

充電中またはリモートエアコン中の作動音について

J17114000026

- パワースイッチの電源モードが OFF でも、充電中に駆動用バッテリーを冷却するための冷却ファンなどの作動音や、リモートエアコン中にエアコンコンプレッサーなどの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- リモートエアコンの詳細についてはスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書（別冊）をお読みください。

点検･整備をするときは

J17101800020

点検･整備をするときは、以下のことに注意して作業してください。

⚠警告

- **点検・整備をするときは、必ず以下の操作をすべて実施し、パワースイッチの電源モードがOFFになっていることを確認してから行う。**
  - **充電コネクターが接続されているときは、充電コネクターを抜く**
  - **点検・整備が終わるまでは充電、プラグインハイブリッド EV システムを起動しない**

⚠警告

- **ボンネットとテールゲートを開けたまま作業を実施する**
- **パワースイッチの電源モードをONにして、再度パワースイッチを 5 秒以上長押しする**
- **点検・整備後は必ずプラグインハイブリッド EV システムの起動、または充電が行えることを確認する**

- **高電圧部位に触れない。**
  高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し、分解などは絶対に行わないでください。また、普通充電ケーブル、普通充電コネクター、プラグ、コンセントの分解は絶対に行わないでください。感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。
  必要な整備については、三菱自動車販売会社へ依頼してください。
- **ボンネットを開けてブザーが鳴った場合はすぐにボンネットを閉じる。**
  ボンネットを開けてブザーが鳴った場合は、高電圧部品が駆動中でエンジンルーム内が危険な状態にあることを示しています。感電やエンジン作動部品への接触によるケガややけどの危険がありますので、エンジンルーム内には手を触れずにボンネットを閉じてください。

⚠警告

- **リヤ（セカンド）シートの足元にあるサービスプラグには、絶対にさわらない。**
  サービスプラグは車両を修理するときなどに、三菱自動車販売会社で駆動用バッテリーの高電圧をしゃ断するためのものです。
  取り扱いを誤ると感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

事故が起きたときの注意事項

J17101900021

万一、事故が起きたときは

J17102000029

- 事故などにより車体に衝撃を受けたときに、プラグインハイブリッド EV システムの作動を停止する場合があります。この場合、プラグインハイブリッド EV システムを再起動できなくなりますので三菱自動車販売会社へご連絡ください。緊急処置が必要となるような事故が発生した場合は、エンジン車と同様の処置をしてください。また、重大な傷害または死亡につながるおそれのある重度のやけどや感電を防止するため、次のことに注意してください。

事故が起きたときの注意事項

J17102100033

⚠警告

- **続発事故を防ぐため、走行可能な場合は、車両を現場付近の路肩など安全な場所に移動する。**
  また、可能な場合は次の処置を行い、緊急隊員が到着するまで交通のじゃまにならない場所で待機する。
  - 輪止めをする
  - シフトポジションを Ⓟ にする
  - 電動パーキングブレーキをかける
  - 窓、ドアおよびテールゲートを開ける
  - パワースイッチの電源モードを OFF にする
  - 非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板などで故障表示をする
  - 意図しないスイッチ操作（パワースイッチへの接触など）によるシステム起動や事故などの影響による予期しないシステム起動の可能性を低減させるため、キーレスオペレーションキーは車両から離れた場所（車外）に保管する
- **モーターや駆動用バッテリーなどの高電圧の配線ならびにそのコネクター、他の高電圧部位に触れない。**
  車両の内部または外部から露出した電線が見える場合は、感電するおそれがあります。高電圧部位については（→P.2-2）をお読みください。

⚠警告

- **車外を確認し、液体の漏れ（エアコンの水以外）が見つかったときは、燃料系統が損傷している可能性があるため、プラグインハイブリッド EV システムを起動しない。**
  起動すると燃料に引火し火災や爆発するおそれがあります。また三菱自動車販売会社に連絡するときは併せて状況を伝えください。
- **車体や駆動用バッテリー損傷にかかわらず駆動用バッテリー液の漏れや火花、煙、火炎、ゴボゴボ音、シューシュー音、またはパーンという音がする場合は、車両に触れないようにし、バッテリー火災のおそれがあるため、すぐに消防に通報する。**
  駆動用バッテリー液の漏れ、車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。
  車内または車外に液体の漏れが見つかったときは、火気を近づけないでください。また、絶対に触れないでください。
  駆動用バッテリー液が皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。
- **ブレーキ液の漏れが見つかったときは、そのまま使用せず三菱自動車販売会社へ連絡する。**
  ブレーキ液の漏れがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は

J17102200034

⚠警告

- **万一、車両火災が発生したときは、自分で消火しようとせず、できるだけ早く車両から離れて、消防に通報する。**
  駆動用バッテリーの消火には多量の水が継続的に必要となります。
  不適切な消火器の使用、小量の水での消火は重大な傷害または感電死につながるおそれがあります。
- **避難する際、有毒ガスや可燃性ガスが室内にこもらないよう、また乗員救助や消火作業を容易にするため、可能であれば窓やドア、テールゲートを開ける。**
- **他の車両火災の場合と同様に、車両から出る煙、蒸気、ガスは有毒である可能性があるため、吸わないようにする。**
  風上の高い場所に移動し、消防が来るまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
- **車両または駆動用バッテリーが損傷している場合は、有毒ガスや可燃性ガスが発生して発火するおそれがあるため注意する。**
  事故後しばらく時間が経過してからガスが発生することもあるため注意してください。
- **けん引される場合は、必ず4輪とも持ち上げて搬送する。**
  車輪が接地した状態でけん引すると、モーターが発電して火災の原因となります。
  →けん引について（P.9-3）

⚠警告

- **損傷している車を自分で修理しようとせず、三菱自動車販売会社に修理を依頼する。**
- **ボデー修理や塗装の補修が必要なときは、駆動用バッテリーやインバーター、配線などの高電圧部品の取り外しが必要になるため、三菱自動車販売会社に連絡する。**
  駆動用バッテリーが塗装ブースで高温にさらされると、バッテリー容量が低下します。また、駆動用バッテリーが損傷している場合、訓練されていない方が整備作業を行うと危険です。

アドバイス

- 次の場合は自動的に高電圧遮断機能が作動し、高電圧システムが起動しなくなることがあります。
  - 強い衝撃を車両に受けたとき
  - プラグインハイブリッドEVシステムが故障しているとき
- 高電圧遮断機能が作動しているとき、READY（走行可能）表示灯は消灯しています。
- 高電圧遮断機能が作動した場合は、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

⚠警告

- **普通充電をする前に充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行う。**
  充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
  →普通充電のしかた（P.3-15）
- **普通充電をするときは次のことを守る。**
  - 普通充電するときは、充電コネクター、充電ケーブル、コントロールボックス、普通充電スタンドに植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器の植え込み部位を近づけないようにしてください
  - 車内にとどまらないでください
  - 物を取るときなどに、ラゲッジルームを含めた車内に入り込まないでください

  →普通充電のしかた（P.3-15）

⚠警告

- **急速充電、V2H 充電または V2H 給電はしない、急速充電器または V2H 機器には近づかない**
  次のことをお守りください。電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
  - 急速充電器または V2H 機器を使用しないでください
  - 急速充電器または V2H 機器を設置している場所には、可能な限り近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合は、立ち止まらずすみやかに離れてください
  - 急速充電器または V2H 機器を操作する必要がある場合は、他の方にお願いしてください
    → 急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた（P.3-17）
- **走行中はリヤシートの足元に身体を近づけたり、ラゲッジルームに乗らない。また、走行中はラゲッジルームに医療用電気機器を使用している方を乗せない。**
  医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠警告

- **アクセサリーコンセントを使用しているときは、リヤ（セカンド）シート / サードシートの床面、ラゲッジルームの床面、アクセサリーコンセントの周辺には近づかない。**
  電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
  → アクセサリーコンセントの使いかた（P.8-23）

酷暑時の注意事項と対処方法

J17102300035

バッテリー温度により、つぎのような現象になる場合があるので、それぞれの対処方法を行ってください。

バッテリー温度表示	現象		対処方法
	走行に関して	●モーター出力が制限され、動力性能が低下する場合があります。また、EV プライオリティモードが使用できない場合があります。 ●動力性能の低下を補うためエンジンを始動します。	●加減速を抑え、ゆっくりとした運転を心がけてください。
	充電に関して	●連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合、電池温度が上昇します。電池温度が高い状態で充電した場合、電池の発熱を抑制するために充電電流を制限します。 それに伴い、充電時間が長くなる場合があります。 ●満充電にならない場合があります。	●普通充電中であれば充電し、駆動用バッテリークーラーを ON（→P.5-37）にして下さい。 ●パワースイッチの電源モードをOFFにせず、READY（走行可能）表示灯を点灯させたまま、風通しのよい日陰に駐車してください。
	走行に関して	●車両が停止する場合があります。	●急速充電を控えてください。駆動用バッテリー冷却システム異常の可能性があります。安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
		●回生ブレーキ力が低下する場合があります。	●減速するときは、ブレーキペダルを踏み足してください。

バッテリー温度表示	現象		対処方法
	充電に関して	●連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合、電池温度が上昇します。電池温度が高い状態で充電した場合、電池の発熱を抑制するために充電電流を制限します。 それに伴い、充電時間が長くなる場合があります。 ●満充電にならない場合があります。	●普通充電が可能であれば充電し、駆動用バッテリークーラーを ON（→P.5-37）にして下さい。 ●パワースイッチの電源モードをOFFにせず、READY（走行可能）表示灯を点灯させたまま、風通しのよい日陰に駐車してください。

極寒時の注意事項と対処方法

J17102400036

バッテリー温度により、つぎのような現象になる場合があるので、それぞれの対処方法を行ってください。

バッテリー温度表示	現象		対処方法
	走行に関して	●モーター出力が制限され、動力性能が低下する場合があります。 また、EV プライオリティモードが使用できません。 ●動力性能の低下を補うためエンジンを始動します。	●周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ●周りの車両と同程度の速度が出せない場合は、安全な場所へ停止し充電するか、安全に十分注意して走行してください。
		●回生ブレーキ力が低下する場合があります。	●減速するときは、ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電に関して	●パワースイッチの電源モードを OFF にしたときに「充電して下さい」と警告が出た場合は、充電してください。 ●充電時間が延びる場合があります。また、満充電にならない場合があります。	●警告に従い充電してください。 ●走行後すぐなど、駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。
	走行に関して	●駆動用バッテリーの残量が少ない場合、起動直後にエンジンが掛かりにくいことがあります。	●エンジンが始動しやすいように、前照灯、ワイパー、シートヒーター等の電装品を OFF にしてください。
	充電に関して	●充電ができなくなる場合があります。 ●パワースイッチの電源モードを OFF にしたときに「充電して下さい」と警告が出た場合は、充電してください。	●警告に従い充電してください。

バッテリー温度表示	現象		対処方法
-30 ℃以下	走行に関して	●駆動用バッテリー低温警告表示が表示されるとプラグインハイブリッド EV システムが起動しない場合があります。	●日中、気温が上がるのを待つなどして、駆動用バッテリー周辺温度が上がってから、起動してください。
	充電に関して	●充電ができません。 ●充電中に駆動用バッテリー温度が低下し、充電が途中で停止した場合は、自動的にパワースイッチの電源モードが OFF になります。	●気温が上昇するのを待つなどして、駆動用バッテリー周辺温度が上がってから、起動して下さい。

燃費を良くするためのポイント

J17102500024

燃費は、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。
次のようなことに気をつけ電力の消費を抑えると、燃費が良くなります。

お出かけ前に

J17102600038

電力の消費が少ないルートを選択する。

●登り坂の走行は電力の消費が多くなります。登り坂の少ないルートを選択すると電力の消費を抑えられます。

不要な荷物は積んだままにしない。

●荷物を減らし、車両重量を軽くすることで、電力の消費を抑えられます。

適切なタイヤ空気圧にする。

●タイヤ空気圧が低下していると、より多くの電力を消費します。
→ タイヤの点検項目（P.10-9）

アドバイス

●燃費が大幅に悪化する場合は、次のようなことが原因として考えられます。
- 走行するルートの地形に登り坂が多い
- 高速道路など、高速で走行を続けている
- 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている

運転するときは

J17102700039

なめらかに発進、加速する。

●急発進、急加速をすると、より多くの電力を消費し、燃費が悪くなります。
●パワーメーター（→P.5-6）で電力の消費状況を確認しながら加速することで、電力の消費を抑えた加速ができます。

車間距離に余裕を持ち、必要以上の減速を極力避ける。

●必要以上の減速を避けることで、再加速するための電力の消費を抑制できます。

高速道路などで速度を出しすぎない。

- 速度の出しすぎは、電力を無駄に消費します。

エアコンの設定温度を控えめにし、必要がなければこまめに OFF にする。

- エアコンによる余分な電力の消費を抑えられます。

寒いときは、エアコンの代わりにシートヒーターやステアリングヒーターを使用する。

- エアコンを使わずにシートヒーターやステアリングヒーターを活用することで、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。
  → シートヒーター（P.8-19）
  → ステアリングヒーター（P.8-18）

デフロスターは必要以上に使用しない。

- 窓のくもりが取れたら、他の吹き出し口に切り替えることで、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。

速度はできるだけ一定に

- 法定速度を守り、できるだけ一定のスピードで運転してください。

駐車時はパワースイッチの電源モードを OFF に

- READY（走行可能）表示灯が点灯したまま長い間駐車すると、航続可能距離が短くなります。

My MITSUBISHI CONNECT

タイプ別装備

J17102800030

My MITSUBISHI CONNECT とは

J17102900028

- 車両から離れていてもお手持ちのスマートフォンで、駆動用バッテリー残量などを確認することができるアプリです。また、充電やエアコンの操作もできます。
  詳しくはスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

充電のしかた

充電について
充電に関する注意事項 3-2
バッテリーについて 3-5
充電 3-6

充電に関する装備
充電ケーブル（コントロールボックス付） 3-6
充電リッド 3-9
今すぐ充電スイッチ 3-10
充電コネクターロック 3-11

充電する
充電の種類 3-14
充電中の電装品の使いかた 3-21

充電で困ったときは
充電トラブルシューティングガイド 3-24

充電に関する注意事項

J17200100030

充電するときは、火災や感電事故などを防ぐため、次のことを必ずお守りください。

3

⚠警告

- **20A以上の専用分岐回路に接続されたEV充電用コンセントを使用する。また、電源回路には漏電遮断器を設置し、コンセントには必ずアース接続を行う。**
  EV 充電用以外のコンセントを使用した場合、または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常発熱、ブレーカーによる電気回路の遮断、他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- **設置場所が屋外、または雨水などで濡れる可能性がある場合には、防水処理された EV 充電用コンセントを使用する。**
- **雨や雪の日に充電するときは感電を防止するため、次のことに注意する。**
  - 充電給電口、充電コネクター、コンセント、プラグを濡れた手でさわらない
  - 充電給電口、充電コネクター、コンセント、プラグの端子部が濡れないように接続する
  - 大雨、大雪、強風などの悪天候のときや、今後悪天候が予想されるときは、屋外での充電は行わない

⚠警告

- 落雷のおそれがある場合は充電を行わない。万一、普通充電中に急に雷が鳴り出した場合は、車両および充電コネクターにはさわらず、ブレーカーを OFF にする
- **充電リッドおよび中ブタを空けたままにしたり、充電ケーブルを屋外に放置しない。**
  充電給電口や充電コネクターに水が入ると漏電の原因となり、火災、感電のおそれがあります。
- **充電中にコンセントの接続部分が雪に埋もれてしまったときは、先にコンセントにつながっている手元スイッチまたはブレーカーを切ってから、雪を除去してプラグを抜く。**
  充電中に車両が雪に埋もれてしまった場合も雪を除去してから、充電コネクターを抜いてください。
- **外出先で普通充電をする場合、普通充電器の一部（他社製の普通充電ケーブル含む）は、この車両に対応していないことがあります。また、充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。**
- **充電や外部給電を使用するとき以外は、充電リッドを開けない。**
- **安全のため、充電はお子さまや不慣れな方だけで行わない。また、充電コネクターを幼児の手の届くところで使用しない。**

⚠警告

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→ 心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項（P.4-5）をお読みください。**
- **普通充電ケーブルを束ねたり、巻き付けた状態で充電しない。**
  普通充電ケーブルが異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。
- **充電前に、充電給電口および充電コネクターにほこりなどの異物が入っていないことを確認する。**
  このとき充電給電口に手を触れないようにしてください。ほこりなどの異物が入り込んでいる場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- **充電コネクターと充電給電口を接続する際、接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにする。**
  水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災、感電の原因となります。接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。
- **火災、感電、ショートの原因になるため、充電機器を取り扱うときは次の点に注意する。**
  - 普通充電ケーブルを抜き差しするときは、ケーブル部を引っ張って抜かないでください。プラグ部を持って抜いてください

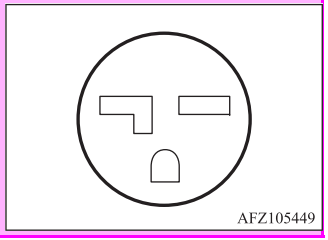
⚠警告

- 普通充電コネクター、コントロールボックス、プラグは水の中につけないでください

- **感電など充電中の事故を防ぐため、次のことを守る。**
  - 三菱自動車が販売している普通充電ケーブルを使用する
  - 防水処置のされているコンセントを使用する
  - 濡れた手でプラグの抜き差しをしない。
- **普通充電ケーブルやプラグが損傷していたり、異物が入り接続できない場合は、無理に接続しない。**
- **プラグや充電ケーブル、コントロールボックスに異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止する。**
  使用中表面が暖かくなることがありますが故障ではありません。
- **いつもと違う臭いがしたり、車両から煙が出ているときは、すみやかに充電を中止する。**
- **周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しない。また補機用バッテリーに火気を近づけない。**
  充電の際に補機用バッテリーから発生する可燃性ガスが建物内などに充満して、爆発するおそれがあります。
  やむを得ず充電するときは、換気を十分に行ってください。

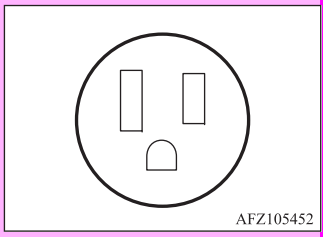
⚠警告

- **充電中は冷却ファンに手を近づけない。**
  充電中、パワースイッチの電源モードがOFF でも、エンジンルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
- **次の種類以外のコンセントおよび、専用回路ではないコンセントには、絶対に接続しない。**
  AC200V コンセント (AC200V 普通充電ケーブル使用時) : 日本配線システム工業会規格 JWDS-0033
  EV 充電用コンセント 20A 250V



⚠警告

AC100V コンセント (AC100V 普通充電ケーブル(この車種専用の 100V 充電ケーブルは販売しておりません) 使用時) : 日本配線システム工業会規格 JWDS-0033
EV 充電用コンセント 15A 125V



- **普通充電給電口の中ブタおよびリッドを開けたまま長時間放置しない。**
  普通充電給電口に水やほこりなどが入ると漏電の原因となり、火災、感電の原因となります。
- **普通充電給電口および普通充電コネクターの金属端子部に手を触れない。**
  感電、故障の原因となります。
- **使用する前にコンセントにプラグが根元までしっかり差し込まれていることを確認する。**
  根元まで十分に差し込まれていない状態で充電を続けると、異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。
- **設置場所が屋外、または雨水などで濡れる可能性がある場合には、防水処理された EV 充電用コンセントを使用する。**

⚠警告

- **コンセントとプラグの間に延長コードやアース変換プラグなどを絶対に接続しない。**
  これらを接続すると、異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。
- **充電が終わった後は普通充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉める。また、普通充電給電口、中ブタおよび普通充電コネクターに水やほこりが入らないように注意する。**
  水やほこりなどが入ると漏電の原因となり、火災、感電の原因となります。
- **内部の車両部品に触れない。**
  READY（走行可能）表示灯が点灯していない時や、充電していない時でも、車両内部では高電圧部品が動いている可能性があります。荷室内のカバーを外し内部の車両部品に触れるようなことは感電のおそれがあるのでしないでください。

⚠注意

- 発電機などコンセント以外の電源から充電を行わないでください。故障の原因となります。
- 普通充電コネクターや普通充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは、無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると、充電装置と車両が破損するおそれがあります。

⚠注意

- 充電中は盗難などを防ぐため、必ずドアを施錠してください。
- 普通充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして普通充電給電口内に水が溜まったときは、充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 普通充電給電口が凍結したときは、ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま普通充電コネクターを無理に接続しようとすると、故障の原因になります。
- プラグを差し込んだあと、時計回りに回して固定するものがありますが、このタイプは使用しないでください。このタイプは、庭園灯、看板灯、屋外で使用される電動工具などのために設置されているものなので、電気自動車の充電には使用できません。
- 次の場所に設置されているコンセントは使用する前に、この車両に対応しているか確認してください。
  - 自宅やマンションなどに設置されているコンセント
  - 一般の駐車場や車庫に設置されているコンセント

⚠注意

- 普通充電コネクターを短時間に何度も抜き差ししないでください。充電が開始されない場合があります。
  充電が開始されないときは、駆動用バッテリーの保護機能が一時的に作動している可能性があります。
  詳しくは、→ プラグインハイブリッド EV システムの起動や充電ができないときは（P.9-14）をお読みください。
- 普通充電コネクターを普通充電給電口に接続したままで、パワースイッチの電源モードを ON にしても、プラグインハイブリッド EV システムの起動はできません。
- 充電中にオーディオなどの電気製品を使用するためにパワースイッチの電源モードを ACC または ON にした後、パワースイッチの電源モードを OFF にする場合は、シフトポジションがⓅにあることを確認し、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。ブレーキペダルを踏んだ状態では、パワースイッチの電源モードを OFF にすることはできません。
- 充電コネクターを充電給電口に差し込むと充電表示灯 (→P.9-32) が赤色に点灯します。充電が開始されると “ ピッ ” と音が鳴り、充電表示灯が赤色に点滅します。

⚠注意

- 充電中に駆動用バッテリーの充電量や充電完了までの推定時間を確認したい場合は、パワースイッチの電源モードが OFF のときはいずれかのドアを開けると、マルチインフォメーションディスプレイに表示する充電情報で確認できます。また、パワースイッチの電源モードが ON のときは、ステアリングスイッチを操作しマルチインフォメーションディスプレイにエネルギーモニターを表示させることで確認できます。
- 予測充電時間は現時点の予測値であり、充電中の駆動用バッテリー冷却システムの作動状態や充電状況により、実際の時間とは異なることがあります。また、充電中に駆動用バッテリー冷却システムが作動している場合は値が変動する可能性があります。
- 充電中に電装品を使用した場合、充電完了までにかかる時間が長くなる場合があります。
- 中ブタを閉めずにリッドを閉めると、中ブタの破損や充電リッドが傷付くおそれがありますので確実に閉じてください。
- 充電リッドが開いた状態で、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使ってドアおよびテールゲートを施錠したときは、充電リッドを閉じると充電リッドも施錠されます。

⚠注意

- 充電リッドが完全に閉まっていないとパワースイッチの電源モードを ON にしたとき、マルチインフォメーションディスプレイに充電リッド開表示を表示します。
  → 充電リッド（P.3-9）
  警告メッセージ (→P.9-35)
- 充電時の操作サポートのお知らせとして“ピッ”音が鳴ります。
- 2 週間に 1 回程度は、普通充電で満充電にしてください。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの容量を維持するため、次のことをおすすめします。
  - 急速充電のみを繰り返し行う場合、2 週間に 1 回程度は、普通充電で満充電にする
  - 満充電付近で充電を繰り返さない
  - できるだけ普通充電で充電する
- 普通充電コネクターと急速充電コネクターを同時に差し込まないでください。同時に差し込むと普通充電ができない場合があります。
- 充電中、パワースイッチの電源モードが OFF でも、駆動用バッテリーを冷却するための冷却ファンなどの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

アドバイス

- 普通充電中に停電が発生したときは、電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。

バッテリーについて

J17200200028

バッテリーの種類

J17200300032

- お車にはモーター（パワーユニット）およびエアコンなどを作動させる駆動用バッテリーとプラグインハイブリッド EV システムの起動、照明、ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーの 2 種類が搭載されています。

アドバイス

- バッテリーチャージモードで駆動用バッテリーを満充電近くまで充電することができます。
  →CHARGE（バッテリーチャージ）モード（P.7-33）
- 補機用バッテリーは READY（走行可能）表示灯の点灯中または駆動用バッテリーの充電中に自動的に充電されます。

アドバイス

- 補機用バッテリーがバッテリー上がりを起こしているときは、プラグインハイブリッド EV システムを起動できません。また、充電もできません。
  → 補機用バッテリーがあがったときは（P.9-17）
- 車両を長期間使用しないときは、駆動用バッテリーを十分に充電しておいてください。
- 補機用バッテリー上がりを確実に防ぐものではありませんので、車両の長期放置はなるべくしないでください。

充電

J17200400020

充電について

J17200500021

- 普通充電はAC 200VのEV充電用コンセントを電源として、車載の普通充電ケーブルを使用して行います。
- AC 100V 普通充電ケーブルをお持ちの場合は、AC 100V の EV 充電用コンセントを電源として、AC100V の普通充電を行います。
  ただし、この車種専用の AC 100V 充電ケーブルは販売しておりません。
- 急速充電は、CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器または V2H 機器で行います。(CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています)
- なお、普通充電は、公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器を使用して行うことも可能です。ただし、これらの充電器には、この車の充電に対応していないものや、車載の普通充電ケーブルとは充電時間が異なるものがある可能性がありますので、各充電器の取扱説明書および仕様をご確認の上、ご使用ください。

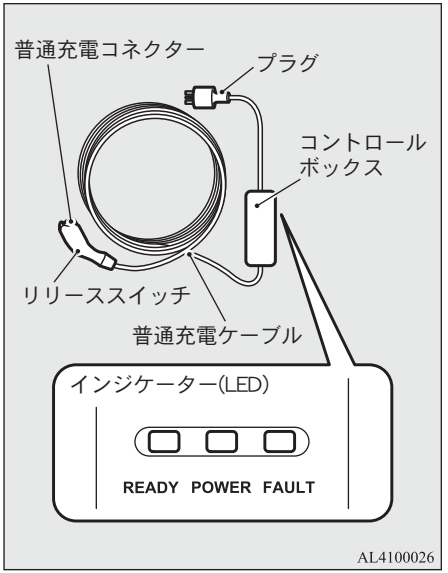
充電ケーブル（コントロールボックス付）

J17200600022

ラゲッジフロアの専用袋（7 人乗り車）またはラゲッジアンダーボックス内（5 人乗り車）に普通充電ケーブル (AC200V 普通充電ケーブル 7.5m) が入っています。
→ ラゲッジアンダーボックス（5 人乗り車）（P.8-5）

充電ケーブル（コントロールボックス付）の各部の名称

J17200700036



コントロールボックス

- 表示灯で充電の状態などを知らせます。

プラグ

●AC200V の電源に接続します。

普通充電コネクター

●車両の普通充電ポートに接続します。

リリーススイッチ

●車両から充電コネクターを抜くときに押します。

アドバイス

●7 人乗りの充電ケーブルを車両に収納するときは、専用袋にしまった後に付属のカラビナでラゲッジフックに固定してください。
→ラゲッジフック（P.8-29）

コントロールボックスのインジケーターについて

J17200800037

インジケーターは以下の状況で点灯、点滅します。また、以下以外の点灯・点滅の際には三菱自動車販売会社へ問い合わせてください。

READY（緑）	POWER（オレンジ）	FAULT（赤）	作動状態
点灯	点灯	点灯	●普通充電ケーブルのプラグをコンセントに接続するたびに、作動確認のため、すべてのインジケーターが約 0.5 秒点灯します。
点灯	消灯	消灯	●普通充電ケーブルが車両に未接続で、コンセントに接続されている状態です。または、車両に接続されており、普通充電が完了・タイマー充電がセットされている状態です。
点灯	点灯	消灯	●車両に電力が供給されていることを示します。（充電中、リモートエアコン作動中など）

READY（緑）	POWER（オレンジ）	FAULT（赤）	異常検知時作動状態および必要な対応
点灯	消灯	点滅	●漏電しているか、普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
点灯	消灯または点滅	点灯	●プラグまたはコントロールボックスの温度検知回路が故障しています。充電電流を制限しているため、すぐに使用を中止して三菱自動車販売会社にご連絡ください。
消灯	消灯	消灯	●コンセントに通電していないか、普通充電ケーブルが故障しています。 コンセントに電源が来ているにもかかわらず、プラグをコンセントに接続してもインジケーターが点灯しないときは、すぐに使用を中止して、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
点滅	消灯	消灯	●コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。それでも改善できない場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。
点滅	消灯または点滅	点灯	●普通充電ケーブルの温度検知回路が故障しています。三菱自動車販売会社にご連絡ください。
点滅	消灯または点滅	点滅	●プラグまたはコントロールボックスが高温のため、充電電流を制限しています。すぐに使用を中止して三菱自動車販売会社にご連絡ください。
点灯	点滅	点滅	●コンセントの電圧異常を検知し、充電電流を制限しています。すぐに使用を中止し、使用されている普通充電ケーブルの定格電圧に合った EV 充電用コンセントに接続してください。その後、再び同じ状態が続く場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

コントロールボックスの取り扱い

J17200900025

⚠警告

●コントロールボックスが損傷すると火災、感電、けがの原因になるため、コントロールボックスを取り扱うときは次の点に注意する。

- 改造・分解はしない
- 水の中につけない
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしない

⚠注意

●ケーブルやコントロールボックスに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、コンセントおよびプラグが破損するおそれがありますので、注意してください。

コントロールボックスに関する注意事項

J17201000023

⚠警告

- **コントロールボックスの POWER（オレンジ）と READY（緑）インジケーターが点灯しないとき、または充電中に FAULT（赤）インジケーターが点滅または点灯したときは、すぐに普通充電ケーブルを取り外し、三菱自動車販売会社で点検を受ける。**
- **普通充電ケーブルの改造・分解はしない。**
  火災、感電、けがの原因となります。
- **普通充電ケーブルを使用しないときは普通充電コネクターの保護キャップを必ず取り付け、水で濡れたりほこりが入らない場所に保管する。**
  普通充電コネクターやプラグの金属端子部に水やほこりなどの異物が入ると火災、故障の原因となります。
- **普通充電ケーブル、普通充電給電口、普通充電コネクター、プラグ、コンセントに損傷、腐食、さびがある場合、またプラグを挿してグラグラするような劣化したコンセントでは充電しない。**
  火災、感電、ショートの原因になります。
- **普通充電ケーブルが損傷すると火災、感電、ショートの原因になるため、ケーブルを取り扱うときは次の点に注意する。**
  - 落としたり、強い衝撃を与えない
  - 無理に引っ張ったり、曲げたりしない

⚠警告

- ねじらない
- 引きずらない
- 上にものを載せない
- ストーブなどの熱器具に近づけない

⚠注意

- 普通充電ケーブルをこの車両以外に使用しないでください。
- 普通充電ケーブルは、日本国内の EV 充電用 AC 200V コンセント専用です。
- プラグをコンセントに差し込んだとき、作動確認のためコントロールボックスのすべてのインジケーターが一瞬点灯し、その後に READY（緑）インジケーターが点灯し続けます。
- 充電を開始すると、READY（緑）インジケーターと POWER（オレンジ）インジケーターが点灯し続けます。
- 充電が完了したとき、コントロールボックスの READY（緑）インジケーターが点灯し続けます。

普通充電ケーブルのお手入れ

J17201100024

- ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、軽くふき取ります。
- 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。
- 水分をよくふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠警告

- **プラグ、コンセントに差したまま普通充電コネクターのお手入れをしない。また、濡れた手で抜き差ししない。**
  感電の原因となります。
- **普通充電コネクターおよびプラグの金属端子部には水や中性洗剤を付けないようにする。**
  水などが付いたままで使用すると火災、感電の原因となります。

⚠注意

- **ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しない。**
  変形、変色、故障の原因になります。また、各種クリーナ類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますので、よくご確認のうえ使用してください。

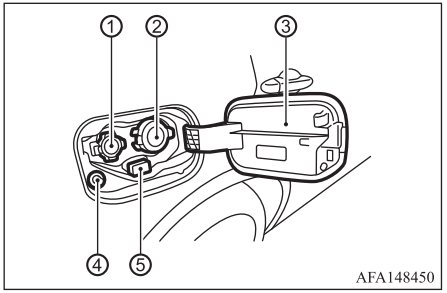
充電リッド

J17201200025

充電を行うとき充電ケーブルを接続する場所です。

充電リッドの各部の名称

J17201300039



① **普通充電ポート（左側）**
普通充電のときに使用します。
② **急速充電ポート（右側）**
急速充電または V2H 充電 /V2H 給電のときに使用します。
③ **充電リッド**
充電するときに開けます。
④ **アクチュエータ**
⑤ **充電口照明（→P.3-10）**
充電リッドを開けると点灯します。

充電リッドの開閉については、(→P.6-48)をお読みください。

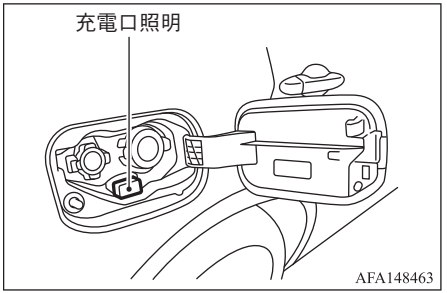
⚠注意

- 充電リッドを開けたときはアクチュエータに触れないように注意してください。充電リッドを閉じる前にアクチュエーターを押し込んでしまったときは、（→P.6-48）をお読みください。

充電口照明

J17201500031

- シフトポジションがⓅのときに充電リッドを開けると白色に点灯し、約 3 分後に自動的に消灯します。
再度点灯させたいときは充電リッドを開閉してください。また、充電コネクターを充電給電口に差し込み充電が開始されると、充電口照明が緑色に点滅します。



アドバイス

- 充電口照明が消灯しているとき、My MITSUBISHI CONNECT（タイプ別装備）を操作すると充電口照明が点灯することがあります。
- 充電口照明の点灯パターンは以下の通りです。
  - 緑（点灯）：コネクター接続
  - 緑（点滅）：充電中
  - 紫（点滅）：V2H 作動中（充電／給電）→V2H（ヴィーツーエッチ）とは（P.3-15）
  - 青（点灯）：タイマー充電待機中
    タイマー充電については別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。
  - 赤（点滅）：コネクター接続不良、エラー

今すぐ充電スイッチ

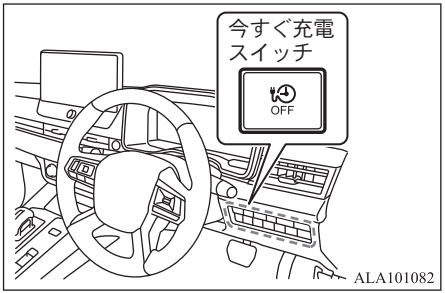
J17201600029

タイマー充電を設定しているときに、キャンセルしてすぐに充電を開始したいときに使用します。
タイマー充電については、（→P.3-21）をお読みください。

今すぐ充電スイッチの使いかた

J17201700033

タイマー充電の設定を一時的にキャンセルし、すぐに充電を開始したいときは、今すぐ充電スイッチを押します。



アドバイス

- 今すぐ充電スイッチは、充電ケーブルを接続する前に押しても、接続後に押しても、どちらでもタイマー充電をキャンセルしてすぐに充電を開始できます。
- 急速充電コネクターを接続したあとに今すぐ充電スイッチを長押しするとV2Hへの電源供給をすることができます。
  →V2H（ヴィーツーエッチ）とは（P.3-15）

充電コネクターロック

J17201800021

普通充電をしている間、充電コネクターをロックして車両から抜けなくする機能です。
いたずら防止効果があります。

充電コネクターロックモードの使い分けかた

J17201900022

充電コネクターロックモードは、状況に応じて次のように使い分けます。

LOCK

- いたずら防止のため、充電中以外の時間帯でも常時ロックしたいときに使用します。
  普通充電コネクター接続中は、常にロックします。
  例）道路に面した自宅の駐車場、外出先で車載の充電ケーブルを使用して充電する場合など

UNLOCK

- ロック機能を使わないときに使用します。
  普通充電コネクターを接続してもロックしません。
  例）自宅のシャッター付ガレージ、公共の充電ステーションで普通充電コネクターのロックが禁止されているエリアなど

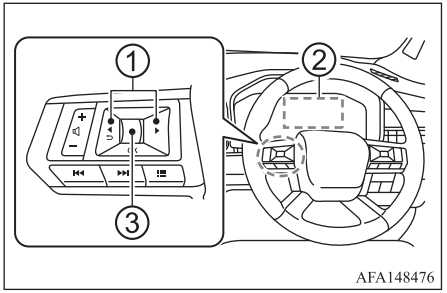
アドバイス

- 公共の充電ステーションでLOCKを使用すると、充電が終了しても普通充電コネクターが抜けなくなるため、次に順番待ちをしている車両に迷惑がかかることがあります。公共の充電ステーションでの充電は、UNLOCKで行ってください。
- 急速充電中は、充電コネクターロックモードの位置にかかわらず、急速充電コネクターを抜くことができません。

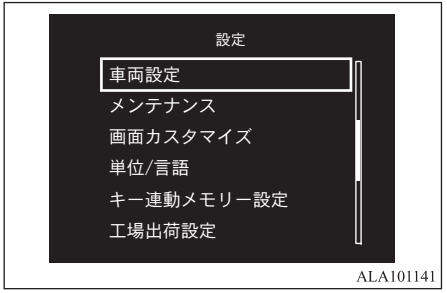
充電コネクターロックモードの設定のしかた

J17202000033

1. ステアリングスイッチの ◀▶スイッチ①を数回押し、マルチインフォメーションディスプレイ②に「設定 ⚙」画面を表示します。



2. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチ③を回して「車両設定」を選択し、ダイヤルスイッチ③を押して決定します。



3. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチ③を回して、「充電コネクターロック」を選択し、ダイヤルスイッチ③を押して決定します。

4. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチ③を回して設定したいモードを選択し、ダイヤルスイッチ③を押して決定します。

アドバイス

- 公共の充電ステーションに設置されている普通充電器の場合、普通充電コネクターの形状によりロックできない場合があります。

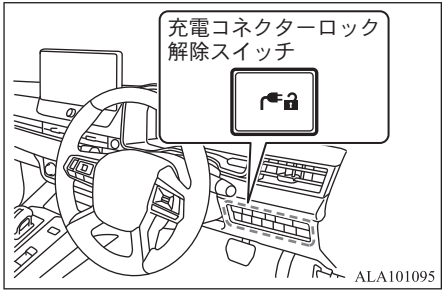
アドバイス

- 充電コネクターロックは、シフトポジションが**P**のときに作動します。
- 充電コネクターロックは、普通充電コネクターが正しく接続されていないと作動しません。
- 充電コネクターロックは盗難防止を保障するものではありません。

充電コネクターロックの解除のしかた

J17202100034

充電コネクターロック解除スイッチを押す、またはドアロックスイッチかキーレスオペレーションキーでドアロックを解錠するとピッピッピッと音が鳴り、充電コネクターロックが解除されます。



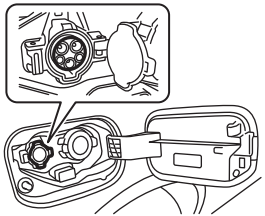
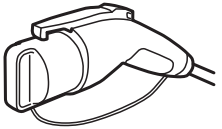
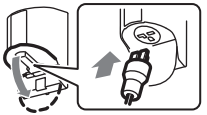
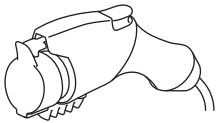
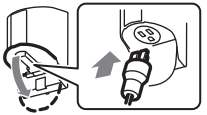
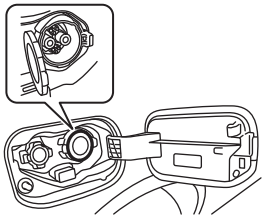
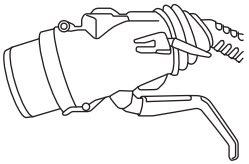
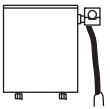
アドバイス

- 充電コネクターロックが解除されている約 30 秒間に 普通充電コネクターを車両から取り外さなかった場合は、再度ロックされます。
- 充電コネクターロックが解除できなくなったときは、(→P.9-14) をお読みください。

充電の種類

J17202200035

駆動用バッテリーを充電するには以下の方法があります。

種類	充電給電口*1	充電コネクター	充電	充電時間*2
普通充電 (AC 200V)				約7.5時間
普通充電 (AC 100V)*3				AC 100V電源からでも充電することができますが、AC 200V電源での充電に比べると充電時間が長くなります。
急速充電				約32分*4 （満充電の80%まで）
V2H充電*5				V2H機器やご家庭の電力事情により異なります。

*1: 充電給電口は車両の右側後方にあります。
*2: 充電時間は駆動用バッテリーの状態、車両の使用環境、急速充電器またはV2H機器の仕様によって異なります。
また、高温および低温時ならびに電装品使用時には充電時間が長くなる場合があります。
*3: この車種専用の100V充電ケーブルは販売しておりません。
*4: 急速充電器の出力が50kW仕様の場合の充電時間です。
*5: V2H充電をするためには、V2H機器の設置が必要です。

V2H（ヴィーツーエッチ）とは

J17202300023

●「Vehicle to Home」の略で、車両の電力を家庭用の電力供給源として利用することができます。
急速充電と同じCHAdeMO（チャデモ）規格の急速充電コネクターを使い、車両と自宅などの双方向充給電を行うものです。
V2H 本体から車両へ充電を行うことを V2H 充電、V2H 本体を経由して車両から自宅へ電力供給することを V2H 給電といいます。
V2H の詳細については、各 V2H メーカーのカタログ、取扱説明書などでご確認していただくか、V2H メーカーにお問い合わせください。

アドバイス

●急速充電コネクターを接続したあとに今すぐ充電スイッチを長押しするとV2Hへの電源供給をすることができます。
→ 今すぐ充電スイッチ（P.3-10）

V2L(ヴィーツーエル）とは

J17202400024

●「Vehicle to Load」の略で、車両の電力を家電機器等の放電器へ電力供給し利用することができます。
急速充電と同じCHAdeMO（チャデモ）規格の急速充電コネクターを使い、車両の電力を家電機器等の放電器へ電力供給を行うものです。
V2L の詳細については、各 V2L メーカーのカタログ、取扱説明書などでご確認していただくか、V2L メーカーにお問い合わせください。

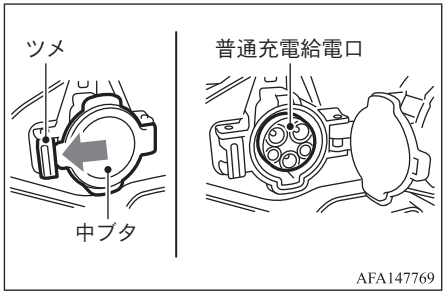
普通充電のしかた

J17202500038

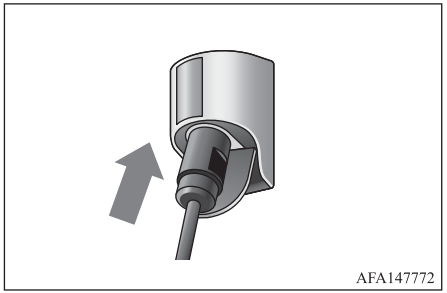
⚠注意

●普通充電コネクターを充電ポートに接続した際、ブザーの音と共に充電口照明が赤色に点滅し、充電が開始されない場合、コネクターが正しく挿入されていない可能性があります。その場合は点滅が終わった後、一度コネクターを抜いてから、再度接続してください。
●再度接続してもブザーおよび赤点滅が同様に出る場合、充電システムに異常の可能性があります。一度販売会社へお問合せください。
●普通充電コネクターの頭部を握らない。
●リッドの内側の突起物に気をつける。
●充電中は普通充電コネクターに無理な力を加えない。
普通充電コネクターや普通充電給電口が破損して、充電ができなくなる可能性があります。

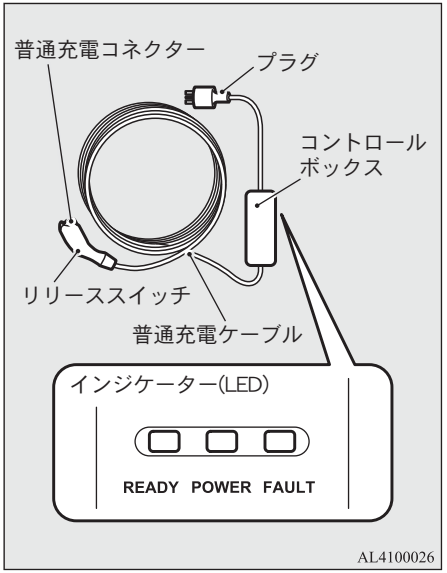
1. 充電リッドを開けます。
→ 充電リッドの開けかた、閉めかた（P.6-48）
2. ツメを押して中ブタを開けます。



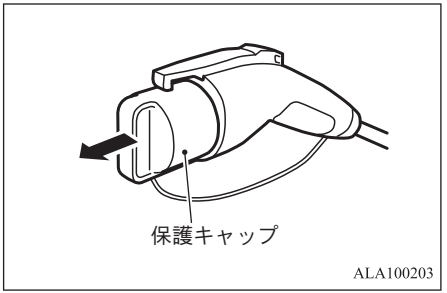
3. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み、コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。



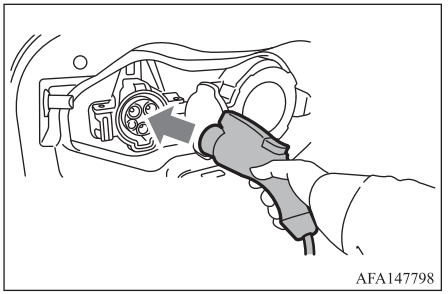
4. 充電ケーブルのコントロールボックスのインジケータがREADY(緑)点灯していることを確認します。
充電ケーブルのコントロールボックスが READY(緑) 点滅している場合は、コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。
→ 充電ケーブル（コントロールボックス付）（P.3-6）



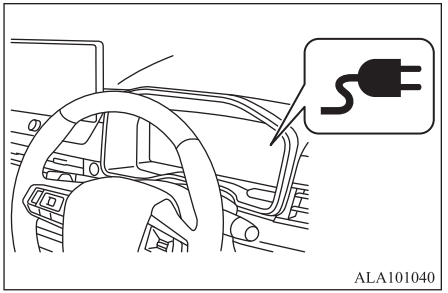
5. 普通充電コネクターの保護キャップを取り外し、普通充電コネクターおよび普通充電給電口の先端部にほこりなど異物が付いていないことを確認します。



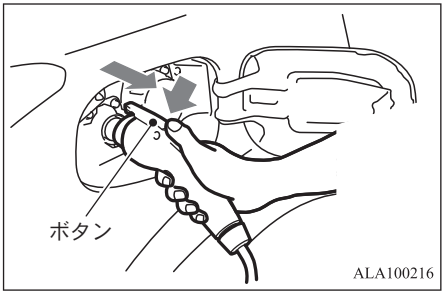
6. 図のように普通充電コネクターの下部を握り、ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。
コネクターロックモードをLOCKに設定しているときは、充電開始直前に充電コネクタ ― が自動的にロックされます。



7. メーター内の充電表示灯が赤色に点滅していることを確認します。
充電表示灯が赤色に点滅しない場合は、充電が開始されていません。
普通充電コネクターおよびプラグが正しく接続されているか確認しながら、再度手順 5 からやり直してください。



8. 充電表示灯の点滅が止まり、消灯したら充電は完了です。普通充電コネクターの下部を握り、ボタンを押しながら引き抜き、普通充電コネクターの保護キャップを取り付けます。



9. 中ブタを閉じてから、充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを閉じます。
10. プラグをコンセントから引き抜き、普通充電ケーブルを専用袋に入れてラゲッジに（7 人乗り車）、またはラゲッジアンダーボックス内に（5 人乗り車）保管します。

⚠注意

- **充電が終わった後は、必ず普通充電コネクターが普通充電給電口から取り外されていることを確認する。**
  普通充電コネクターが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合、パワースイッチを操作すると READY（走行可能）表示灯が点灯し、走行可能状態にできるため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- コンセントは地上 1m 前後に設置されたものを使用してください。コンセントの接地位置が低い場合、コントロールボックスが地面に接し、水没や踏みつけてしまうなど、トラブルの原因となります。

アドバイス

- 充電を途中で中止することもできます。この場合、充電コネクターロックを解除し（→P.3-12）、ボタンを押しながら普通充電コネクターを引き抜きます。

駆動用バッテリークーラー

J17203600023

普通充電の際に、駆動用バッテリーの冷却を停止することができます。
冷却中のエアコンコンプレッサーなどの作動音を一時的に消したいときにご使用ください。バッテリー容量低下の割合を小さくするために、通常は駆動バッテリークーラーの設定を ON にしておくことをおすすめします。

アドバイス

- 駆動用バッテリークーラーの ON/OFF 設定は、パワースイッチの電源モードを OFF にしても記憶しています。
- 駆動用バッテリーの温度によって、冷却の作動を自動的に制御します。
- 急速充電中は、駆動用バッテリークーラーの設定を OFF にしても冷却を停止することはできません。

急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた

J17202600039

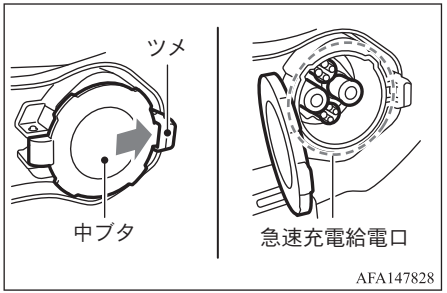
⚠注意

- 停電時等で車両から電源を V2H 機器または V2L 機器に供給する場合、V2H 機器または V2L 機器側で電源供給機能に対応していない場合は使用できません。

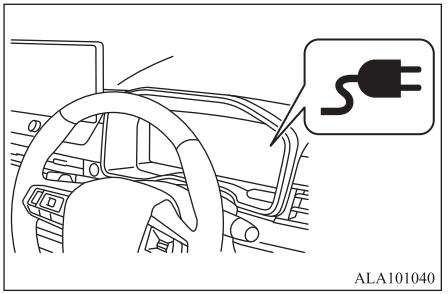
アドバイス

- 急速充電、V2H 充電または V2H 給電は、CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電コネクターを使用して行います。
  （CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています）
- 急速充電終了後にプラグインハイブリッド EV システムを起動させると、車室内後方から作動音が聞こえることがあります。これは充電用部品の動作をチェックしているためで異常ではありません。

1. 充電リッドを開けます。
   → 充電リッドの開けかた、閉めかた（P.6-48）
2. ツメを押して中ブタを開けます。



3. 急速充電給電口に急速充電コネクターを取り付け、急速充電、V2H 充電または V2H 給電を開始します。
   取り付け方、取り外し方については、各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
4. 停電時に V2H 充電・V2H 給電が実施できないとき
   — 今すぐ充電スイッチを長押しすると車両から V2H 機器へ電源供給を開始します。
   — 電源供給した場合、充電表示灯が点滅します。
   電源供給開始後、各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
   → 今すぐ充電スイッチ（P.3-10）
5. 急速充電または V2H 充電のとき
   — 充電表示灯が点滅しない場合は、充電が開始されていません。各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
   V2H 給電のとき
   — 充電表示灯が点滅しない場合は、給電が開始されていません。各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。
   — 給電を停止した後は、各 V2H 機器のマニュアルに従って急速充電コネクターを取り外し、手順 6 を行ってください。



6. 充電表示灯が消灯したら充電は完了です。充電は下記の条件で終了します。
   — ほぼ満充電になったとき
   — 急速充電器または V2H 機器側で充電停止操作を行ったとき
   — 急速充電器または V2H 機器側に設定されている停止条件（充電量・充電時間）となったとき
   各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルにしたがって、急速充電コネクターを取り外します。
7. 中ブタを閉じてから、充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを閉じます。

急速充電、V2H 充電、V2H 給電の注意事項

J17202700030

⚠警告

- **必ず、CHAdeMO　　規格に準拠し、CHAdeMO 協議会の認証を受けた急速充電器または V2H 機器を使用する。**
  それ以外の急速充電器または V2H 機器を使用すると火災、故障の原因となります。
- **急速充電器または V2H 機器の操作は、各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルにしたがって正しく行う。**
  無理な操作を行うと故障の原因となります。
- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→ 心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項（P.4-5）をお読みください。**
- **急速充電口を開けてから閉めるまでの間、急速充電口および急速充電コネクターに水やほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。**
  火災、感電、漏電、故障の原因となります。
- **充電中は、急速充電コネクターをむりやり外そうとしたり、ゆすったりしない。**
  火災、感電、故障の原因となります。
- **30m を超えるケーブルを使用しないでください。**
  思わぬ故障の原因となります。

⚠警告

- **充電中は、冷却ファンに手を近づけない。**
  充電中、パワースイッチの電源モードが OFF でも、エンジンルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
- **急速充電給電口および急速充電コネクターの金属端子部に手を触れない。**
  感電、故障の原因となります。

⚠注意

- **急速充電器または V2H 機器は、使用可能時間内に充電が終了するように余裕を持って使用してください。**
  充電中または給電中に急速充電器または V2H 機器の電源が OFF になった場合、車両故障につながるおそれがあります。
- **急速充電コネクターを落とさないように注意する。**
  ケガをしたり、車両や急速充電コネクター、急速充電給電口を破損したりするおそれがあります。
- **急速充電コネクターを差し込むときは、急速充電給電口に対してまっすぐに根元まで差し込む。**
  急速充電コネクターが根元まで差し込まれないまま充電を開始すると、駆動用バッテリーが充電されなかったり充電機器または V2H 機器が破損するおそれがあります。

⚠注意

- **充電中は急速充電コネクターに触らない。**
  充電中は急速充電コネクターがロックされ取り外すことができません。無理に急速充電コネクターを外そうとすると急速充電コネクターが破損する可能性があります。途中で充電を止めるときは、充電機器または V2H 機器の表示手順に従って充電を停止して、充電が中止されたことを確認してから急速充電コネクターを取り外してください。
- **充電が終わった後は急速充電コネクターを取り付けたまま放置しない。**
  誤ってケーブルに足を引っかけて転倒したり、いたずらにより急速充電給電口を破損するおそれがあります。
- **走行する前は、必ず急速充電コネクターが急速充電給電口から取り外されていることを確認する。**
  急速充電コネクターが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合、パワースイッチを操作すると READY（走行可能）表示灯が点灯し、走行可能状態にできるため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 充電中には急速充電コネクター、ケーブルが車体よりはみ出すため、体に引っ掛けたり、隣の車両に接触しないように注意してください。

⚠注意

- 急速充電コネクターや急速充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは、無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると、充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため、必ずドアを施錠してください。
- 急速充電器は、使用可能時間内に充電が終了するように余裕を持って使用してください。充電中に急速充電器の電源がOFF になった場合、車両故障につながるおそれがあります。
- 急速充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして急速充電給電口内に水が溜まったときは、充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 急速充電給電口が凍結したときは、ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま急速充電コネクターを無理に接続しようとすると、故障の原因になります。
- パワースイッチの電源モードをOFFにしてすぐに充電を開始すると、充電が開始されない場合があります。パワースイッチの電源モードを OFF にした場合、しばらくしてから充電を開始してください。
- 充電表示灯は、急速充電コネクターを急速充電給電口に差し込むと点灯し、充電が開始されると点滅に切り替わります。

⚠注意

- 充電口照明は、充電が開始されると、緑色に点滅します。
- 充電中に駆動用バッテリーの充電量を確認したい場合は、いずれかのドアを開けるか、パワースイッチの電源モードがOFF 以外のときにステアリングスイッチを操作するとマルチインフォメーションディスプレイに駆動用バッテリー残量表示が点灯し、確認することができます。
- 充電中は、車体から冷却ファンやエアコンプレッサーなどの作動音が聞こえることがあります。
  これは駆動用バッテリー冷却システムが作動したためで異常ではありません。
- 駆動用バッテリー冷却システムはエアコンシステムの一部を利用するため、自動的にエアコンコンプレッサーが作動します。
  充電後車体下が濡れていても、透明でサラサラしていればエアコンの除湿水であり異常ではありません。
- 充電中に電装品を使用した場合、充電完了までにかかる時間が長くなる可能性があります。
- 急速充電は満充電付近になると充電される速度が遅くなります。次に待っている人がいるときは、必要な量で充電を停止し、次の方にゆずってあげてください。
- 充電終了後は、充電器の前に車両を駐車したままにせず、すみやかに車両を移動してください。

⚠注意

- 急速充電またはV2H充電は、充電量が100％になる前に充電が完了します。これはCHAdeMO 規格の仕様であり、故障ではありません。
- 急速充電コネクターを急速充電給電口に接続したままではプラグインハイブリッド EV システムの起動はできません。起動させる前に、必ず急速充電コネクターを外してください。
- 充電が終わった後、急速充電給電口の中ブタを閉めずにリッドを閉めると、中ブタの破損や充電リッドが傷付くおそれがありますので確実に閉じてください。
- 充電リッドが開いた状態で、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使って施錠したときは、充電リッドを閉じると充電リッドも施錠されます。
- 充電リッドが完全に閉まっていないとパワースイッチの電源モードを ON にしたとき、マルチインフォメーションディスプレイに充電リッド開表示を表示します。
  充電リッドの開閉（→P.6-48）
  警告メッセージ（→P.9-35）

タイマー充電

J17202800028

- My MITSUBISHI CONNECT（タイプ別装備）やスマートフォン連携ナビゲーションを使用してタイマー充電を設定することができます。
- 普通充電ケーブル接続状態で、充電開始時間および充電終了時間を指定しておくと、その時間に充電を行います。
- タイマー充電の設定の仕方については、スマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書（別冊）をお読みください。

アドバイス

- タイマー充電を使用するときは、車載の普通充電ケーブルを使用してください。公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器を使用すると、タイマー充電が開始できない場合があります。

充電中の電装品の使いかた

J17202900029

普通充電、急速充電、V2H 充電、V2H 給電中にパワースイッチの電源モードを ON にすると、エアコンなどを使用することができます。V2Hについては（→P.3-15）をお読みください。

電装品を使用するときは

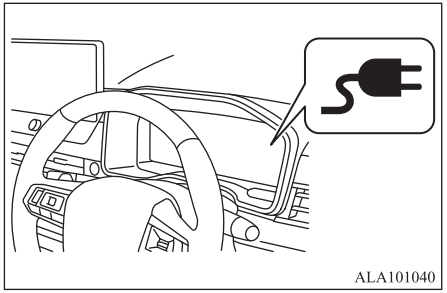
J17203000030

⚠注意

- 充電中に電装品を使用すると、電装品で電力が消費されるため、次のようになります。
  - 普通充電時：
    充電時間が長くなる場合があります。また、電力消費量が充電量よりも大きくなり、駆動用バッテリーへ充電されず、駆動用バッテリーの残量が低下する場合があります。
  - 急速充電時、V2H 充電時：
    充電時間が長くなる場合があります。また、急速充電器または V2H 機器の仕様によっては、充電されず、充電量が低下する場合があります。
- 充電中または給電中にエアコンなどを使用すると、強い電磁波またはノイズによりラジオが聞こえなくなることがあります。

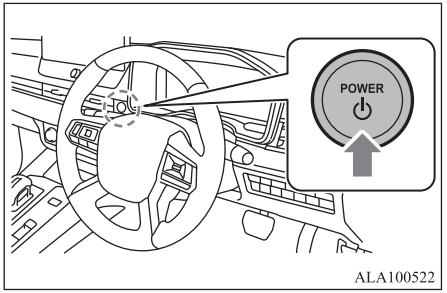
1. 普通充電、急速充電、V2H 充電または V2H 給電を開始します。
   → 普通充電のしかた（P.3-15）
   → 急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた（P.3-17）
2. メーター内の充電表示灯が点滅していることを確認します。

充電表示灯が点滅していないと、電装品が作動しません。充電が正しく行われているか確認してください。



3. パワースイッチの電源モードを OFF から ON にします。
   必ず充電表示灯が点滅してから、パワースイッチの電源モードを ON にしてください。充電表示灯が点滅する前に、パワースイッチの電源モードを ON にすると充電を開始しない場合があります。
   パワースイッチの電源モードが ON のときは、キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠することができません。
   車両から離れる場合は、パワースイッチの電源モードを OFF に切り替えて、施錠してください。

→ パワースイッチの電源モードの切り替えかた（P.7-4）



4. エアコンなどの電装品が使用できます。
   パワースイッチの電源モードはONにして使用してください。
   ヒートポンプ無車では、充電中に暖房を使用できません。
   充電中はアクセサリーコンセントは使用できません。
   メーター表示画面をエネルギーフロー表示に切り替えると、駆動用バッテリーの充電、給電の状態が分かります。
   → 車両情報（P.5-19）
5. 電装品の使用を止めるときはパワースイッチの電源モードを OFF にします。
   パワースイッチの電源モードを OFF にしても充電は継続します。
   パワースイッチの電源モードを OFF にすると、エアコンなどは停止します。
   → パワースイッチの電源モードの切り替えかた（P.7-4）

⚠注意

電源モードオートカット機能

- パワースイッチの電源モードが ON のままで約 30 分経過すると、エアコンなどが作動中でも電源を自動的にカットする機能です。
  パワースイッチを操作すると、再び電源が入ります。

エアコンの自動停止

J17203100028

- 駆動用バッテリーの残量が低下し、「駆動用バッテリー残量低下のためエアコンを現在使用できません」と警告が表示されたときは自動的にエアコンが停止します。
  エアコンが停止するとエアコンパネルが消灯します。

アドバイス

- エアコンが自動停止した後、「エアコンが使用可能になりました」とメッセージが表示されれば、エアコンを再度使用できるようになります。

エネルギーフロー表示

J17203200029

- 充電時のエネルギーの流れを表示します。詳しくは、（→P.5-19）をお読みください。

低外気温での暖房

J17203300020

- 低外気温では、ヒートポンプのみでは十分な暖房性能が得られない場合があります。暖房性能低下時は「現在 暖房能力が低下しています」というメッセージが表示されますが、異常ではありません。
- 外気温が −15°C 近くまで下がると、ヒートポンプが停止し暖房が使用できません。

充電中の電装品の使いかたの注意事項

J17203400021

⚠警告

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→ 心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項（P.4-5）をお読みください。**

⚠警告

- **お子さまや介護を必要とされる方や、ペットなどを車内に残して使用しない。**
  システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。炎天下では車内の温度は急速に上昇し、熱中症や脱水症状になるおそれがあります。また、外気温が低い場合は、車内の温度は急速に下がることがあります。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。また、ワイパーや電動パーキングブレーキなどが操作できる状態になるため、誤操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **周囲の安全を確認してから使用する。**
- **セレクターレバーを動かさない。**
  車両が意図せず動き出す可能性があります。

充電トラブルシューティングガイド

J17203500022

症状	原因	対処方法
充電が開始されない	●パワースイッチの電源モードが ON になっている	●充電前に、パワースイッチの電源モードを OFF にしてください。
	●駆動用バッテリーがすでに満充電になっている	●駆動用バッテリーがすでに満充電になっているときは、充電が行われません。
	●駆動用バッテリーの温度が極端に低い	●駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。 → 極寒時の注意事項と対処方法（P.2-12）
	●補機用バッテリーがあがっている	●プラグインハイブリッド EV システムが起動できないため、駆動用バッテリーが充電できません。補機用バッテリーを充電するときは、必ず三菱自動車販売会社に依頼してください。 → 補機用バッテリーがあがったときは（P.9-17）
	●車両または充電ケーブルに異常がある	●車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のプラグインハイブリッド EV システム警告灯 (→P.9-21) が点灯してないか確認してください。 また、コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。 → 充電ケーブル（コントロールボックス付）（P.3-6） 警告が表示された場合は、すぐに充電を中止し三菱自動車販売会社に連絡してください。
	●短時間のうちにプラグインハイブリット EV システム起動／停止や充電コネクターの抜き差しを繰り返していた	●駆動用バッテリーの保護機能が一時的に作動している可能性があります。詳しくは、→ プラグインハイブリッド EV システムの起動や充電ができないときは（P.9-14）をお読みください。

症状	原因	対処方法
充電が開始されない (充電口照明が赤く点滅)	●車両もしくは充電器の異常	●一度充電コネクターを抜いてプラグインハイブリッド EV システムを起動し、EV モードを CHARGE（バッテリーチャージ）モードにしてから、パワースイッチの電源モードを OFF にして充電を開始してください。それでも改善できない場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。
普通充電が開始されない	●コンセントまで電力がきていない	●停電していたり、漏電遮断機が作動していないか確認してください。なお、電源にタイマー機能がついている場合、電源に設定されている時間帯までは、コンセントに電力が供給されないものもあります。 ●コントロールボックスの READY（緑）インジケーターが点灯しているか確認してください。
	●充電コネクターが正しく接続されていない	●普通充電コネクターが正しく接続されているか確認してください。
	●他のメーカーの普通充電ケーブルを使用している	●三菱自動車が販売している普通充電ケーブルを使用してください。
	●この車両に対応していない普通充電器を使用している	●この車両に対応した普通充電器であるか管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また、充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。
	●My MITSUBISHI CONNECT（タイプ別装備）またはスマートフォン連携ナビゲーションでタイマー充電の設定をしている	●タイマー充電を設定しているときに、普通充電ケーブルを接続しても普通充電は開始しません。すぐに普通充電を開始したい場合は、今すぐ充電スイッチを押すか、すべてのタイマー充電の設定を解除してください。 → 今すぐ充電スイッチ（P.3-10） → タイマー充電（P.3-21） ●スマートフォン連携ナビゲーションでタイマー充電の設定を解除する場合は、別冊の取扱説明書をご覧ください。
	●EV 充電用コンセントのアース接続不良	●コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。コントロールボックスのインジケーターを確認してください。 → 普通充電のしかた（P.3-15）

症状	原因	対処方法
普通充電が途中で止まってしまう	●コンセントまで電力がきていない	●充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりした可能性があります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電も再開されます。
	●普通充電ケーブルが抜けてしまっている	●普通充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	●充電コネクターのボタンが押されている	●充電コネクターのボタンがしばらく押されたままになっていると、充電が停止します。 もう一度充電開始操作を行ってください。
	●駆動用バッテリーの温度が極端に低い	●駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。 → 極寒時の注意事項と対処方法（P.2-12）
	●普通充電のタイマーで終了している	●普通充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり、この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは、一度充電コネクターを取り外し、もう一度充電開始操作を行ってください。
	●普通充電開始後に My MITSUBISHI CONNECT（タイプ別装備）またはスマートフォン連携ナビゲーションでタイマー充電の設定をした	●すべてのタイマー充電の設定を解除してください。 → タイマー充電（P.3-21） ●タイマー充電の設定を解除する場合は、別冊の取扱説明書をご覧ください。解除すると自動的に充電が再開されます
	●EV 充電用コンセントのアース接続不良	●コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。コントロールボックスのインジケーターを確認してください。 → 普通充電のしかた（P.3-15）

症状	原因	対処方法
	●車両または充電ケーブルに異常がある	●車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のプラグインハイブリッド EV システム警告灯（→P.9-21）が点灯してないか確認してください。 また、コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。 → 充電ケーブル（コントロールボックス付）（P.3-6） 警告が表示された場合は、すぐに充電を中止し三菱自動車販売会社に連絡してください。
急速充電、V2H 充電または V2H 給電が開始されない	●充電コネクターが正しく接続されていない	●急速充電コネクターが正しく接続されているか確認してください。
	●急速充電器または V2H 機器のセルフチェック機能で NG になった	●車両、急速充電器または V2H 機器が故障している可能性があります。ただちに充電または給電を停止して、次のいずれかの担当者へ連絡してください。 •三菱自動車販売会社 •急速充電器または V2H 機器の管理者 •急速充電器または V2H 機器のメーカー
	●急速充電器または V2H 機器の電源が OFF になっている	●急速充電器または V2H 機器の電源を確認してください。OFF である場合、次のいずれかの担当者へ連絡してください。 •急速充電器または V2H 機器の管理者 •急速充電器または V2H 機器のメーカー

症状	原因	対処方法
急速充電、V2H 充電または V2H 給電が途中で止まってしまう	●急速充電器または V2H 機器のタイマーで終了している	●急速充電器または V2H 機器本体には、一定時間で充電または給電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり、この時間が経過した場合は充電または給電が停止されます。さらに充電または給電したいときは、各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従って、もう一度充電または給電開始操作を行ってください。
	●急速充電器または V2H 機器の電源が OFF になってしまった	●急速充電器または V2H 機器の電源を確認してください。OFF である場合、次のいずれかの担当者へ連絡してください。 •急速充電器または V2H 機器の管理者 •急速充電器または V2H 機器のメーカー
急速充電、V2H 充電または V2H 給電した後にプラグインハイブリッド EV システムが起動しない	●車両に異常がある	●車両が故障している可能性があります。パワースイッチの電源モードを ON にして、シフトポジションを Ⓝ にした後、同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押して移動させてください。 移動したら三菱自動車販売会社へご連絡ください。
充電中に、ピピピッと音が鳴る	●高電圧部品が駆動している状態でボンネットが開いたとき、エンジンルーム内が危険な状態である事をお知らせするため、ピピピッと音が鳴り続けます。	●エンジンルーム内には手を触れずにボンネットを閉じて下さい。

安全なドライブのために

運転する前に
運転前の準備 4-2
運転するときに注意すること 4-3
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への
注意事項 4-5

シートベルト
シートベルトについて 4-7
3 点式シートベルト 4-8
シートベルトの注意事項 4-9

エアバッグ
SRS エアバッグ 4-11
運転席 & 助手席 SRS エアバッグ 4-13
SRS サイドエアバッグ 4-15
SRS カーテンエアバッグ 4-16
運転席 SRS ニーエアバッグ 4-17

お子さまの安全のために
お子さまを乗せるときに注意すること 4-18
チャイルドシート 4-20

盗難防止機能
イモビライザー（盗難防止装置）..... 4-27
セキュリティーアラーム 4-27

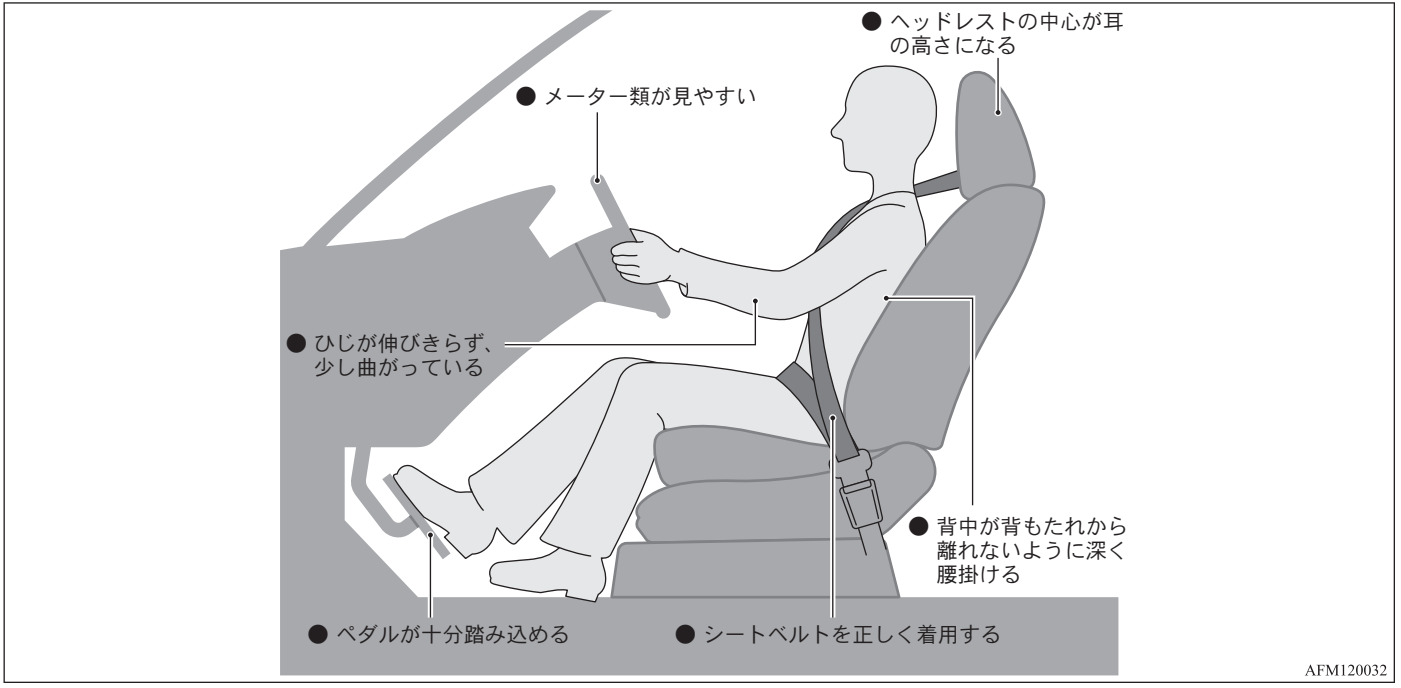
運転前の準備

J17300100028

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル（→P.6-34）、シート（→P.6-24）、ミラー（→P.6-40）を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について

4



⚠警告

- **ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。**
  走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。**
  固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。**
  運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **出発前に運転席の足元付近を点検する。**
  ブレーキペダルやアクセルペダルの下に物が挟まると、ペダル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **フロアマットは、車に合ったものを正しく敷く。**
  正しく敷かないと、ペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。
  → フロアマット（P.8-26）

シートベルトの着用

J17300300020

- 必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。
  → シートベルト（P.4-8）
- 小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。
  → チャイルドシート（P.4-20）

ミラーの調節

J17300400034

- シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ドアミラーおよびルームミラーを調節してください。
  → ドアミラー（P.6-40）
  → ルームミラー（P.6-34）
- デジタルルームミラー(フレームレス)（タイプ別装備）は、デジタルルームミラー(フレームレス) が OFF の状態（ルームミラーモード）で、確実に後方確認ができる位置に調節してください。
  → デジタルルームミラー(フレームレス)（P.6-35）

運転するときに注意すること

J17300500022

⚠警告

排気ガスには十分注意する

⚠警告

- **排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。**
- **以下の状況では、プラグインハイブリッド EV システムを長時間作動したままにしない。**
  排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
  - 雪が積もった場所に駐停車するとき
  - 降雪時に駐停車するとき
  - 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
  - 仮眠や長時間の駐車をするとき
  - 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
  - 他車の排気口が近くにあるとき
- **走行する前に、テールゲートが確実に閉まっていることを確認する。**
  走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- **車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。**
- **排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、三菱自動車販売会社で点検を受ける。**
  排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

⚠警告

- **お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。**
  炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意を

- **診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。補機用バッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。**

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- **ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。**
  引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- **操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしない。**
  荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- **灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。**
  紙くずなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

⚠警告

- **排気音が大きくなったときは、三菱自動車販売会社で点検を受ける。**
  排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。
- **事故などでランプが破損したまま走行しない。**
  内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

プラグインハイブリッド EV システムを作動したまま仮眠をしない

- 万一、シフトポジションがP以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクターレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

⚠注意

アクセサリーをウインドウに取り付けない

- **ウインドウにアクセサリーを取り付けない。**
  視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRS エアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

改造しない

- **市販の不適合品のマフラー取り付けや、三菱自動車純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。**
  正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **電装品などを取り付けるときは、必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRS エアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。**

雨天時や水たまりを走行するときは

- **雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし、ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。**
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- **水たまり走行後や洗車後、ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。**
  ブレーキの効きが悪いときは、前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。

⚠注意

- **わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。**

車体床下に強い衝撃を受けたときは

- **車体床下に強い衝撃を受けたときは、すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検する。**
  駆動用バッテリー液の漏れ、車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは、そのまま使用せず消防に通報してください。
- **車内または車外に液体の漏れが見つかったときは、火気を近づけない。また、絶対に触れない。**
  駆動用バッテリー液が皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。
- **ブレーキ液の漏れが見つかったときは、そのまま使用せず三菱自動車販売会社へ連絡する。**
  思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- バッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。各システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠注意

- 三菱自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。
  また、三菱自動車純正以外の部品を装着すると、車の性能や機能に影響し、思いがけない事故が発生するおそれがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を三菱自動車販売会社にてご提供します。

ルーフレールについて

- ルーフレールに三菱自動車純正のキャリア（別売り）を使用すると、荷物の積載が可能です。三菱自動車純正のキャリアを使用しないと、車体を破損するおそれがあります。
- 走行中に積載物が落下すると、重大な事故につながるおそれがありますので、しっかりと固定してください。固定方法などはキャリアに付属の取扱説明書に従ってください。
- ルーフレール付車は、次のことをお守りください。
  - 樹脂カバーに物を載せたり引っ掛けたりしない。

⚠注意

- キャリアを取り付けるときは、三菱自動車販売会社に相談する。

心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項

J17300600036

心臓ペースメーカーなどをご使用されている方は、次のことにご注意ください。

⚠警告

プラグインハイブリッド EV システムについて

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は（P.2-9）をお読みください。**

充電について

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は、充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行う。**
  充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠警告

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は、充電中に次のことを守る。**
  - 充電コネクター、充電ケーブル、コントロールボックス、普通充電スタンドに植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器の植え込み部位を近づけないようにしてください。
  - 車内にとどまらないでください。
  - 物を取るときなどに、ラゲッジルームを含めた車内に入り込まないでください。
- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は、電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあるので、次のことを必ず守る。**
  - 急速充電器または V2H 機器を使用しないでください。
  - 急速充電器または V2H 機器を設置している場所には、可能な限り近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合は、立ち止まらず速やかに離れてください。
  - 急速充電器または V2H 機器を操作する必要がある場合は、他の方にお願いしてください。

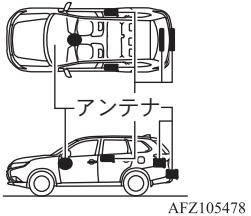
充電中の電装品の使いかたについて

⚠警告

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は、充電中にエアコンを使用しているときに乗車しない。**
  医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションキーについて

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約 22cm 以下の範囲に装着部位を近づけない。**
  ドアおよびテールゲート開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



⚠警告

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。**
  キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）について

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。**
  SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）は無線通信機能を利用しているため、医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

ワイヤレス充電器について

- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。**
  ワイヤレス充電器の電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

シートベルトについて

J17300700024

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。
走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

J17300800025

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトがロックし身体を固定します。
- ベルトをすばやく引き出すことにより、ベルトがロックするか確認できます。

⚠注意

- **プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使用してプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。**
  誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト（リヤ（セカンド）シート中央席およびサードシート（タイプ別装備）を除く）について

J17300900026

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。
- 衝撃の強さなどによっては、運転席 & 助手席 SRS エアバッグと同時に作動する場合と、プリテンショナーのみ作動する場合があります。
  →SRS エアバッグ（P.4-11）

⚠警告

- **プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため、次のことをお守りください。**
  - シートを正しい位置に調整してください。
    → フロントシート（P.6-21）
    → リヤ（セカンド）シート（P.6-28）
  - シートベルトを正しく着用してください。
    → シートベルト（P.4-8）
- **プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。**
- **メーター内の　SRS　エアバッグ警告灯 が点灯しているときは走行しない。**
  パワースイッチの電源モードを ON にしてから約 7 秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ず SRS エアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠注意

- **廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず三菱自動車販売会社に相談する。**
- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。

⚠注意

- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず三菱自動車販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

アドバイス

- プリテンショナーはシートベルトを装着していなくても、前方および側方からの強い衝撃を受けると作動します。

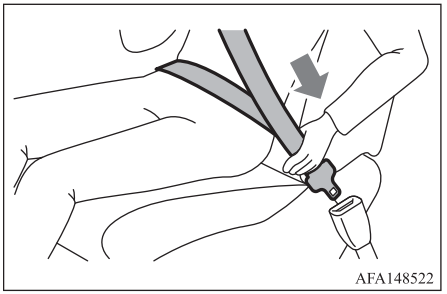
3 点式シートベルト

J17301000024

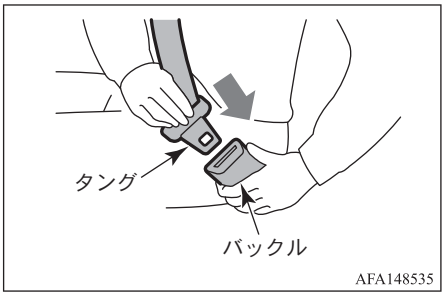
シートベルトの着用のしかた

J17301100025

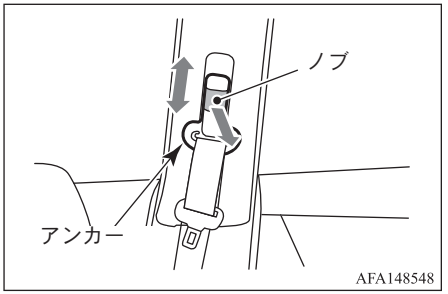
1. 正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
   ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



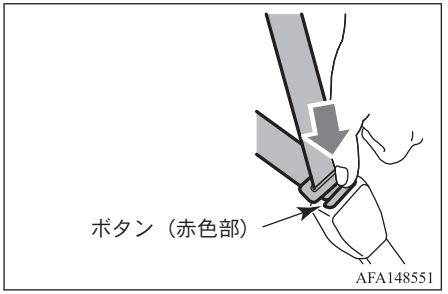
2. ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



3. アンカー位置の高さを調節します。（フロントシートのみ）
   ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。調節後はアンカーが固定されていることを確認します。



4. 外すときは、バックルのボタン（赤色部）を押し、タングを持ってゆっくり戻します。



⚠警告

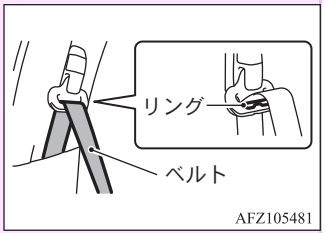
- **シートベルトを使用するときは、必ずタングがバックルに差し込まれた状態にしてください。差し込まれていない状態で使用すると、シートベルトが十分な効果を発揮できず、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。**
  万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。
- ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

⚠注意

- ベルトやリングが汚れていると、ベルトがスムーズに巻き取られないことがあります。見た目で分からなくても実際は汚れている場合がありますので、ベルトを全て引き出し、中性洗剤を使用してベルト全体やリングを拭いてください。
  見えない汚れを取ることで、ベルトの動きが元に戻ることがあります。
  → シートベルトのお手入れ（P.10-22）



シートベルトの注意事項

J17301200026

⚠警告

- **走行する前に全員がシートベルトを着用する。**
  着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告

- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
  シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
  - 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
  - 2 人以上で 1 本のベルトを使用しないでください。
  - ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
  - 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
  - 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
  - クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

⚠警告

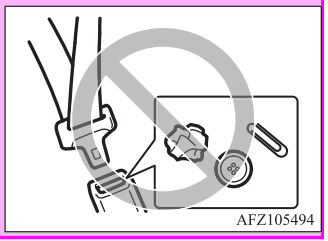
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
  シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
  シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**
  ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
  お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
  →チャイルドシート（P.4-20）

⚠警告

- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、三菱自動車販売会社に点検を依頼する。**
  一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。
- **シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰掛けた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。**
  →正しい運転姿勢について（P.4-2）
- **ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。**
- **お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。**
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一、シートベルトが外せなくなったときは、はさみなどでベルトを切断してください。
- **ほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず、性能を十分発揮できないおそれがあります。**

⚠警告

- **万一、事故に遭ってシートベルトに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり、性能を十分発揮できないおそれがあります。**
- **シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。**
- **バックルや巻き取り装置の内部に異物（ビニール片、クリップ、ボタンなど）を入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り外し、取り付けをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。**



⚠注意

- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**
  ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮しないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRS エアバッグ

J17301300027

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。
シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRS エアバッグの作動

J17301400031

SRS エアバッグは、パワースイッチの電源モードが ON のときに作動可能です。
パワースイッチの電源モードを ON にしたあと、約 7 秒間はメーター内の SRS エアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRS エアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
SRS エアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならないときは、作動しないことがあります。
SRS エアバッグが作動するような衝撃を感知すると、非常点滅灯が自動的に点滅します。非常点滅灯スイッチを押すと消灯しますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。

⚠警告

- **SRS エアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**
  - パワースイッチの電源モードを ON にした直後、SRS エアバッグ警告灯が約 7 秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
  - SRS エアバッグ警告灯が点灯し続けるとき

⚠警告

SRS エアバッグが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 助手席 SRS エアバッグ、助手席側の SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグは、乗員がいなくても作動します。

SRS エアバッグの注意事項

J17301500029

⚠警告

- **正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。**
  SRS エアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRS エアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRS エアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

⚠警告

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
  SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
  →チャイルドシート（P.4-20）

- **必ず次のことを守る。**
  SRS エアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告

- SRS エアバッグ格納部を修理するときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。また、SRS エアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず三菱自動車販売会社で交換してください。
  運転席 & 助手席 SRS エアバッグの格納場所は（→P.4-13）をお読みください。
  SRS サイドエアバッグの格納場所は（→P.4-15）をお読みください。
  SRS カーテンエアバッグの格納場所は（→P.4-16）をお読みください。
  運転席 SRS ニーエアバッグの格納場所は（→P.4-17）をお読みください。
- SRS エアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用して SRS エアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

- **SRS エアバッグが作動したときは、30 分経過するまでエアバッグにさわらない。**
  高温になるため、やけどをするおそれがあります。

⚠警告

- **SRS エアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
  皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

⚠注意

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
- SRS エアバッグは、一度ふくらむと再使用できません。三菱自動車販売会社で交換してください。

アドバイス

- SRS エアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRS エアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。
- SRS とは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

運転席 & 助手席 SRS エアバッグ

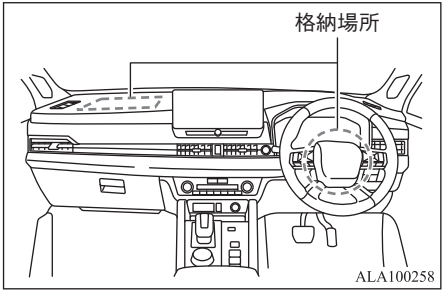
J17301600020

車両前方から強い衝撃を受けたときに、運転席&助手席SRSエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

J17301700034

運転席 SRS エアバッグは、ハンドル部に格納されています。
助手席 SRS エアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



運転席 & 助手席 SRS エアバッグが作動するとき

J17301800022

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

- 約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき

⚠注意

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。

アドバイス

- 運転席&助手席SRSエアバッグはふくらんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。
- コンクリートのような固い壁でなく、衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形、移動するもの）に衝突した場合は、運転席 & 助手席 SRS エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

運転席 & 助手席 SRS エアバッグが作動しないことがあるとき

J17301900023

衝突により車両前部が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

- 電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき
- トラックなどの荷台へ潜り込んだとき
- 斜め前方から衝突したとき

運転席 & 助手席 SRS エアバッグが作動しないとき

J17302000021

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また、一度作動した SRS エアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

- 追突されたとき
- 側面から追突されたとき
- 横転、転覆したとき

運転席 & 助手席 SRS エアバッグが作動することがあるとき

J17302100022

走行中、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

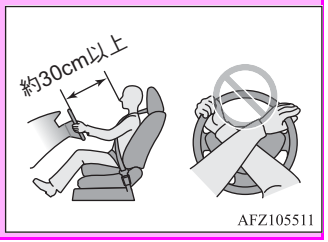
- 中央分離帯や縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ちたとき
- ジャンプして地面にぶつかったとき

運転席 & 助手席 SRS エアバッグの注意事項

J17302200036

⚠警告

- **運転席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。**
  ハンドルから顔をできるだけ（約 30cm 以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRS エアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



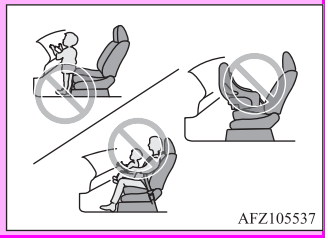
⚠警告

- **不適正なハンドルに交換したり、SRS エアバッグ格納部にステッカーなどを貼らない。**
  SRS エアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **フロントガラスにアクセサリーなどを付けない。**
  SRS エアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- **助手席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。**
  SRS エアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
  SRS エアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまを SRS エアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、リヤ（セカンド）シートに乗せてください。

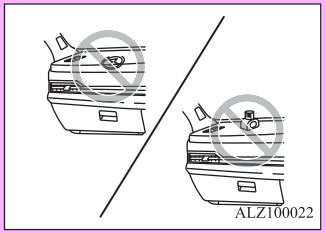
⚠警告

- **チャイルドシートはリヤ（セカンド）シートまたはサードシートに取り付ける。**
  SRS エアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
  やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ずリヤ（セカンド）シートまたはサードシートに取り付けてください。
- **チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
  固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



⚠警告

- **SRS エアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリーや芳香剤などを置かない。**
  SRS エアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRS サイドエアバッグ

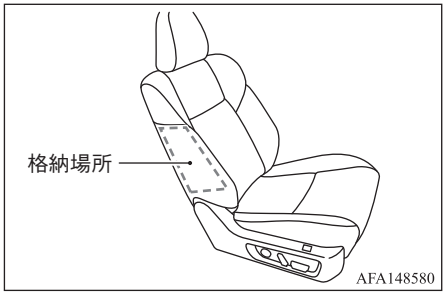
J17302300024

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

J17302400025

SRS サイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれ側面（外側）に格納されています。



⚠警告

- **SRS サイドエアバッグの格納部に近づかない。**
  ドアにもたれるなど、フロントシートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、フロントシートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **フロントシートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。**

4

⚠警告

- **三菱自動車純正以外のシートカバーは使用しないでください。**
  取り付けるときはシートカバーに添付の取扱説明書に従い確実に取り付けてください。
  また、シートの SRS サイドエアバッグが収納されている付近にドリンクホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。
  SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり、膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
  SRS サイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRS サイドエアバッグが作動するとき

J17302500026

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

- 横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき
- 正面衝突したとき
- 追突されたとき

SRS サイドエアバッグが作動しないことがあるとき

J17302600027

衝突により車両側面が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものの形状や状態などによってSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

- 客室部以外の側面に衝撃を受けたとき
- 斜め側方から衝撃を受けたとき
- 横転や転覆したとき
- 側面にバイクが衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRS サイドエアバッグが作動しないとき

J17302700028

SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。また、一度作動したSRSサイドエアバッグおよびSRS カーテンエアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

SRS カーテンエアバッグ

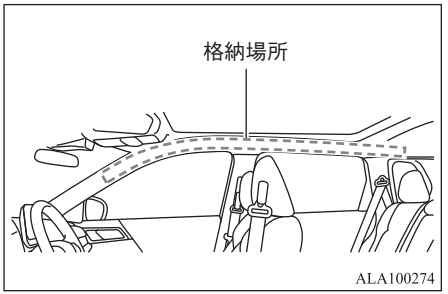
J17302800029

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

J17302900033

SRS カーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。



⚠警告

- **SRS カーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
  万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。**
  SRS カーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
  SRS カーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRS カーテンエアバッグが作動するとき

J17303000028

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

- 横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき

SRS カーテンエアバッグが作動しないことがあるとき

J17303100029

衝突により車両側面が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものの形状や状態などによってSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

- 客室部以外の側面に衝撃を受けたとき
- 斜め側方から衝撃を受けたとき
- 横転や転覆したとき
- 側面にバイクが衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRS カーテンエアバッグが作動しないとき

J17303200020

SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。また、一度作動したSRSサイドエアバッグおよびSRS カーテンエアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

- 正面衝突されたとき
- 追突されたとき

運転席SRSニーエアバッグ

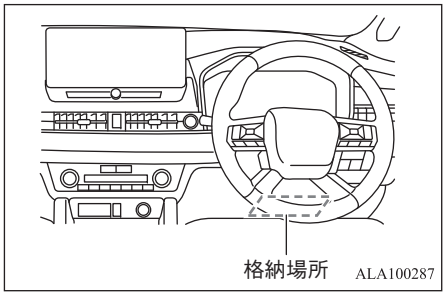
J17303300021

車両前方から強い衝撃を受けたときに、SRS ニーエアバッグが瞬時にふくらみ、運転者の下肢部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

J17303400035

SRS ニーエアバッグは、ハンドル下のインストルメントパネル部に格納されています。



⚠警告

- **SRS ニーエアバッグの格納部に近づかない。**
  万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **SRS ニーエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリーなどを取り付けない。**
  SRS ニーエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

SRS ニーエアバッグが作動するとき

J17303500023

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

- 約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく、衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形、移動するもの）に衝突した場合は、SRS ニーエアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

SRS ニーエアバッグが作動しないことがあるとき

J17303600024

衝突により車両前部が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものの形状や状態などによってSRSニーエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSニーエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

- 電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき
- トラックなどの荷台へ潜り込んだとき
- 斜め前方から衝突したとき

SRS ニーエアバッグが作動しないとき

J17303700025

SRS ニーエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。

また、一度作動した SRS ニーエアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

- 追突されたとき
- 側面から追突されたとき
- 横転、転覆したとき

SRS ニーエアバッグが作動することがあるとき

J17303800026

走行中、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

- 中央分離帯や縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ちたとき
- ジャンプして地面にぶつかったとき

お子さまを乗せるときに注意すること

J17303900030

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

⚠警告

お子さまにもシートベルトを着用する

⚠警告

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
  お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
  → シートベルトの着用のしかた（P.4-8）

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
  →チャイルドシート（P.4-20）

チャイルドシートはリヤ（セカンド）シートに取り付ける

- **チャイルドシートはリヤ（セカンド）シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
  固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

⚠警告

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
  SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

- **6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。**
- **チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。**
  車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまはリヤ（セカンド）シート / サードシートに乗せる

⚠警告

- **お子さまを助手席に乗せるのは避ける。**
  お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
  また、助手席 SRS エアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などで SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドウなどは大人が操作する

- **ドアやウインドウなどの開閉は、お子さまには操作させない。**
  開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **チャイルドプルーフ（→P.6-8）やパワーウインドウロックスイッチ（→P.6-42）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。**

窓から手や顔を出さない

- **お子さまが腕や顔を出さないように注意する。**
  急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- **車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろす。**
  炎天下での車内は高温となるため、熱射病になったり最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

⚠警告

- **お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

- **後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは、チャイルドシートに座ったお子様に十分注意する。**
  お子さまがシートとチャイルドシートの間に挟まれるおそれがあります。

チャイルドシート

J17304000025

お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

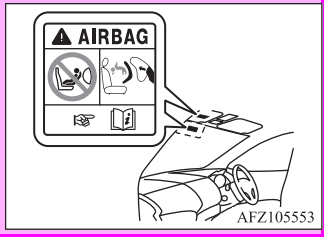
チャイルドシートについて

J17304100026

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車は UN R44 または R129 の基準に適合した i-Size チャイルドシート、ISOFIX 対応取付装置を標準装備しています。

⚠警告

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
  SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

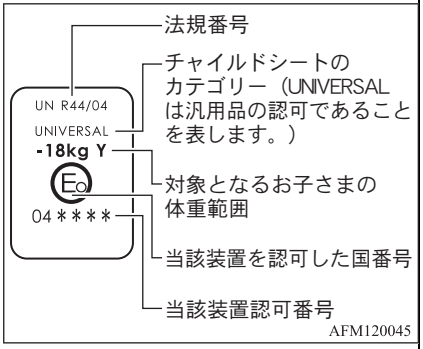


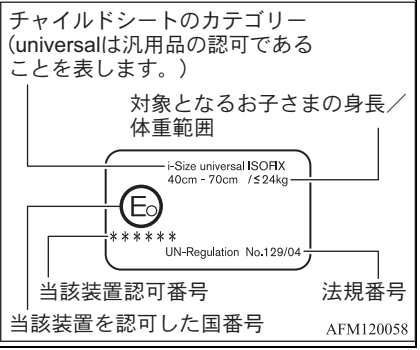
アドバイス

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。

アドバイス

- UN R44 または R129 はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44 または R129 の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。





チャイルドシートの選びかた

J17304500020

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、i-Size および ISOFIX チャイルドシートを取り付けることができます。i-Size および ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けできます。

シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。
→ シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた（P.4-25）

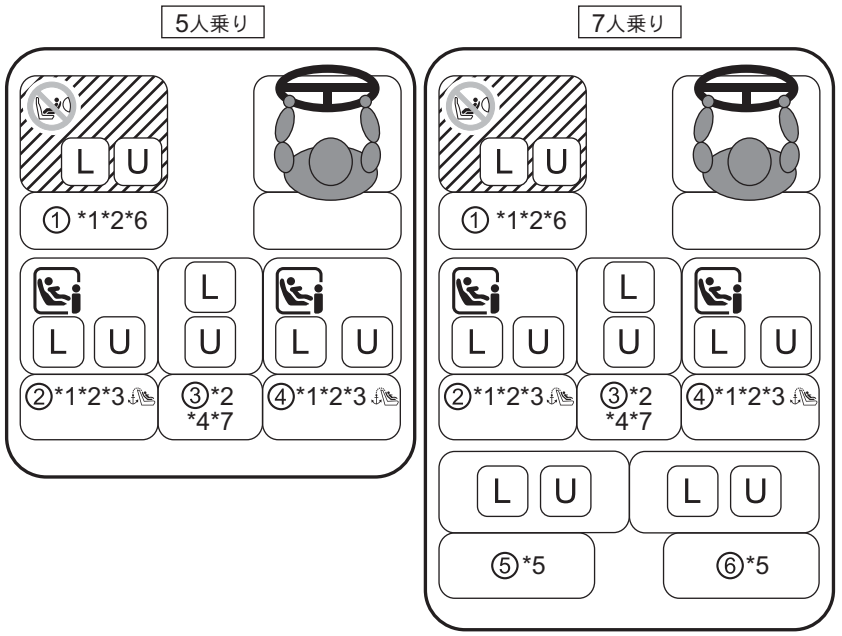
i-Size および ISOFIX チャイルドシート

リヤ（セカンド）シートに付属している ISOFIX 取付装置で固定します。
→i-Size および ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた（P.4-25）

使用できるチャイルドシートについて

J17304600021

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。



凡例

マーク	説明
L	添付リストに記載された三菱自動車純正チャイルドシートの装着が可能
U	車両のシートベルトで固定するタイプのユニバーサルチャイルドシートの装着が可能
	i-SizeおよびISOFIXチャイルドシートの装着が可能
	前向きのチャイルドシートのみ装着が可能
	後ろ向きのチャイルドシート装着禁止
	ISOFIXチャイルドシート上部取付金具装備座席

AFM120061

*1 チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外してください。ただし、ブースタークッションを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外さないでください。
*2 チャイルドシートを取り付けるときは、シート前後位置を調整できる場合は最後方にしてください。
また、シートの高さ調整ができる場合は、一番高い位置に調整してください。
*3 リヤ（セカンド）シートに L1、L2 カテゴリーのチャイルドシートを取り付けたときは、その席以外のリヤ（セカンド）シートに座らないでください。

*4 リヤ（セカンド）シート中央席にチャイルドシートを取り付けたときは、リヤ（セカンド）シート左側席に座らないでください。
*5 サードシートにチャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを使用位置にしてください。
*6 助手席にサポートレッグ付チャイルドシートを取り付けたときにフロアの凸部と当たり不安定になる場合は、シートスライドを最も後ろに下げた位置から 7 ノッチ前に調節してください。
*7 リヤ（セカンド）シート中央席にチャイルドシートを取り付けるときはヘッドレストを格納位置にし、ブースタークッションを取り付けるときはヘッドレストを上げて使用してください。
なお、サポートレッグ付チャイルドシートを取り付けたときにフロアの凸部と当たる場合は、使用しないでください。

⚠注意

- **リヤ（セカンド）シートにチャイルドシートを取り付けるときは、お子さまの脚やチャイルドシートが当たらないように、フロントシートの前後位置や背もたれの角度を調整してください。**

チャイルドシートメーカーに関する詳細情報

J17304700035

シート位置番号	① 助手席	リヤ（セカンド）シート			サードシート	
		②左側席	③中央席	④右側席	⑤左側席	⑥右側席
汎用ベルト式に適する着席位置（有 / 無）	有 （前向きのみ）	有	有	有	有	有
i-Size および ISOFIX 着座位置（有 / 無）	無	有	無	有	無	無
横向き固定具に適する着席位置（L1/L2）	無	L1 *	無	L2 *	無	無
適する最大の後ろ向き固定具 （R1/R2X/R2/R3）	無	R3	無	R3	無	無
適する最大の前向き固定具（F2X/F2/F3）	無	F3	無	F3	無	無
適する最大のブースター固定具（B2/B3）	B3	B3	無	B3	B3	B3

*： リヤ（セカンド）シートに L1、L2 カテゴリーのチャイルドシートを取り付けたときは、その席以外のリヤ（セカンド）シートに座らないでください。

三菱自動車純正チャイルドシート一覧

三菱自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

固定方式	チャイルドシート品名	適用範囲	①助手席	リヤ（セカンド）シート			サードシート	
				②左側席	③中央席	④右側席	⑤左側席	⑥右側席
ISOFIX	i-Size チャイルドシート（後ろ向き）	身長　100cm 以下 体重　18kg 以下	×	○	×	○	×	×
	i-Size チャイルドシート（前向き）*	身長　76 ～ 100cm 体重　18kg 以下	×	○	×	○	×	×

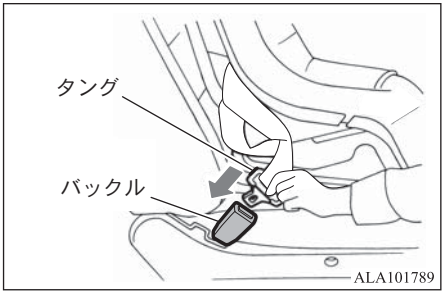
*：身長 76cm 以上、かつ月齢が 15ヵ月を超えるまでは前向きで使用しないでください。

固定方式	チャイルドシート品名	質量グループ（お子さまの体重）		①助手席	リヤ（セカンド）シート			サードシート	
					②左側席	③中央席	④右側席	⑤左側席	⑥右側席
シートベルト	チャイルドシート（後ろ向き）	0+	13kg まで	×	○	○	○	○	○
	チャイルドシート（前向き）	I	9 ～ 18kg	○	○	○	○	○	○
	ジュニアシート	II & III	15 ～ 36kg	○	○	○	○	○	○

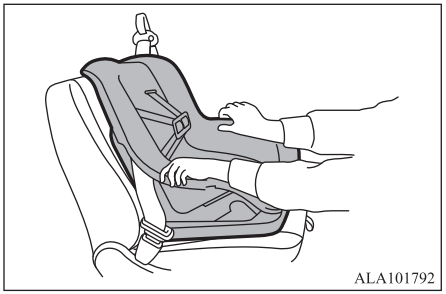
シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

J17304800036

1. 助手席、またはリヤ（セカンド）シート左右席に取り付けるときはヘッドレストを外し、チャイルドシートを座席に置きます。
→　ヘッドレストの調節のしかた（P.6-25）
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

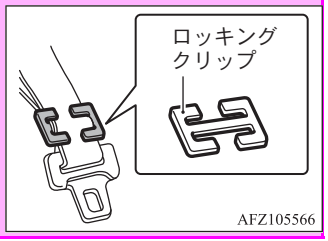


2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠警告

- **チャイルドシートを取り付けるときは、必ずチャイルドシートの取扱説明書に従って正しく取り付ける。**
チャイルドシートの種類によって取付方法が異なります。
チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

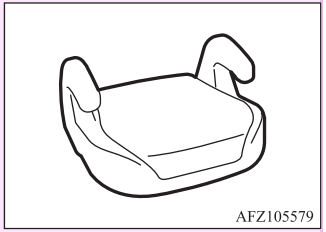


⚠警告

- **チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。**
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

⚠注意

- ブースタークッションを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外さないでください。

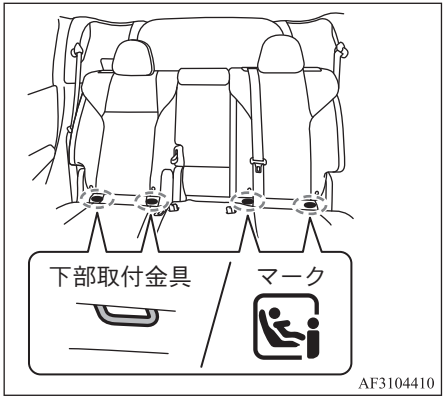


i-Size および ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた

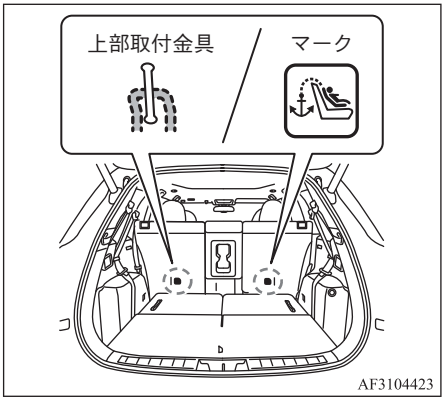
J17304900024

1. ISOFIX チャイルドシート下部取付金具は、リヤ（セカンド）シート左右背もたれのマーク下側にあります。

ヘッドレストを外して、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってISOFIX チャイルドシート下部取付金具に固定します。
→　ヘッドレストの調節のしかた (P.6-25)



2. ISOFIX チャイルドシート上部取付金具は、リヤ（セカンド）シート背もたれ裏側にあります。
ISOFIX チャイルドシート上部取付金具にフックを固定し、テザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠警告

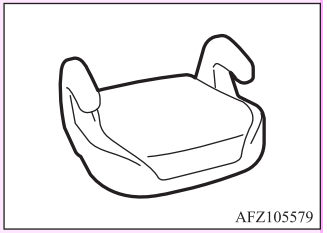
- **下部取付金具および上部取付金具はチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には利用しないでください。**
- **チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。**
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

⚠警告

- **チャイルドシートを取り付けるときは、ISOFIX チャイルドシート用取付金具周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。**
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- **ブースタークッションを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外さないでください。**



アドバイス

- ISOFIX チャイルドシート用取付金具は、ISOFIX チャイルドシート下部取付金具と ISOFIX チャイルドシート上部取付金具の 2 種類があります。
  ISOFIX チャイルドシート下部取付金具は、リヤ（セカンド）シート左右背もたれのマーク下側にあり、ISOFIX チャイルドシート上部取付金具は背もたれ裏側にあります。
- 下部取付金具および上部取付金具を用いてチャイルドシートを固定する際は、シートカバーを使用しないでください。

イモビライザー（盗難防止装置）

J17305000022

イモビライザー（盗難防止装置）について

J17305100023

- 車両盗難防止のため、あらかじめ登録されたキー以外ではプラグインハイブリッド EV システムが起動しないようにした装置です。

アドバイス

- 周囲の環境や条件により、車がキーからの信号を受信できずプラグインハイブリッド EV システムが起動できないことがあります。
  プラグインハイブリッド EV システムが起動できないときは（→P.9-14）をお読みいただくか、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- キーを紛失したときや、新しいキーを作りたいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

セキュリティーアラーム

J17305200024

セキュリティーアラームについて

J17305300025

- ドアが不正な方法で解錠されたり、テールゲートやボンネットを開けられたときに周囲に異常を知らせるシステムです。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態や、窓ガラスが開いた状態でもシステムは作動します。
  システム本来の目的以外の作動はまわりの迷惑となりますので作動させないでください。
- 三菱自動車純正品以外の部品を装着すると、セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。
- ドアハンドルのスイッチ、テールゲートオープナースイッチ、またはキーレスオペレーションキーによる施錠・解錠操作後、方向指示灯が点滅しない場合は、セキュリティーアラームシステムが誤動作している可能性があります。セキュリティーアラームが故障したときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

セットのしかた

1. 全ての窓ガラスを閉めたあと、パワースイッチの電源モードを OFF にし、全ドア、テールゲート、ボンネットを閉めます。
2. ドアハンドルのスイッチ、テールゲートオープナースイッチ、またはキーレスオペレーションキーのスイッチで施錠します。

- 約30秒経過すると、自動的にセット状態になります。

アドバイス

- 内蔵キー（エマージェンシーキー）またはロックノブを使用して施錠した場合、セキュリティーアラームはセットされません。
- 準備状態、またはセット状態のとき以下の操作を行うと解除します。
  - パワースイッチを ON にしたとき
  - いずれかのドアをドアハンドルのスイッチまたはキーレスオペレーションキーのスイッチで解錠したとき
  - テールゲートをオープナースイッチまたはキーレスオペレーションキーのスイッチで解錠したとき

アラームの作動

- 不正な行為が行われると、約 30 秒間ホーンを鳴らすと共に非常点滅灯を点滅させ、周囲に異常を知らせます。
- 以下の不正な行為が行われると、盗難のおそれがあると判断し作動します。
  - ドアハンドルのスイッチ、テールゲートオープナースイッチ、またはキーレスオペレーションキーのスイッチ以外の方法で解錠し開けたとき
  - ボンネットを開けたとき
  - バッテリーが切断されたとき

アドバイス

- 内蔵キー（エマージェンシーキー）で解錠してからドアを開けると、セキュリティーアラームが作動します。
- たとえ警報が止まったとしても、不当措置が再びとられるならば、警報は再開します。

アラームを停止するには

- セキュリティーアラーム作動中に次の操作を行うと、作動を停止します。
  - パワースイッチを ON にしたとき
  - いずれかのドアをドアハンドルのスイッチまたはキーレスオペレーションキーのスイッチで解錠したとき
  - テールゲートをオープナースイッチまたはキーレスオペレーションキーのスイッチで解錠したとき
- 約30秒経過し、アラーム作動が終了すると、再びセット状態になります。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が切れている場合は、キーの裏面をパワースイッチに接触させてからパワースイッチの電源モードを ON にしてください。

メーターの見かた

計器類
各部名称（クラシック表示）..... 5-2
各部名称（エンハンス表示）..... 5-3
メーター 5-4

警告灯･表示灯
警告灯の表示位置（クラシック表示）..... 5-10
警告灯の表示位置（エンハンス表示）.....5-11
表示灯の表示位置（クラシック表示）..... 5-12
表示灯の表示位置（エンハンス表示）..... 5-13

マルチインフォメーションディスプレイ
マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）..... 5-14
車両情報画面 5-15
マルチインフォメーションディスプレイとは（ショートカットメニュー）..... 5-26
各種設定画面 5-30
その他の表示機能 5-45

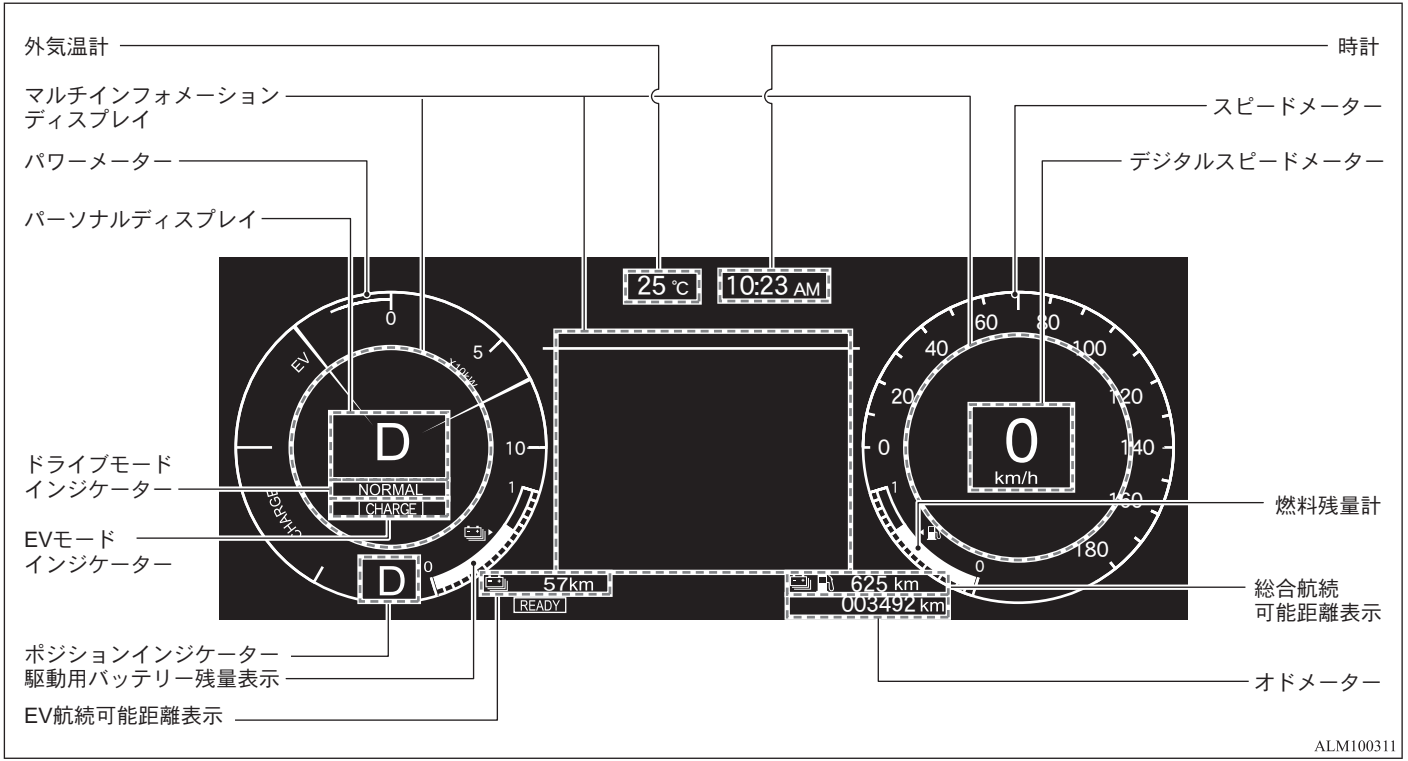
ヘッドアップディスプレイ
ヘッドアップディスプレイとは 5-48
走行支援機能画面 5-49
各種設定画面 5-50

メーターの明るさの調節
イルミネーションコントロール 5-52

各部名称（クラシック表示）

J17400100032

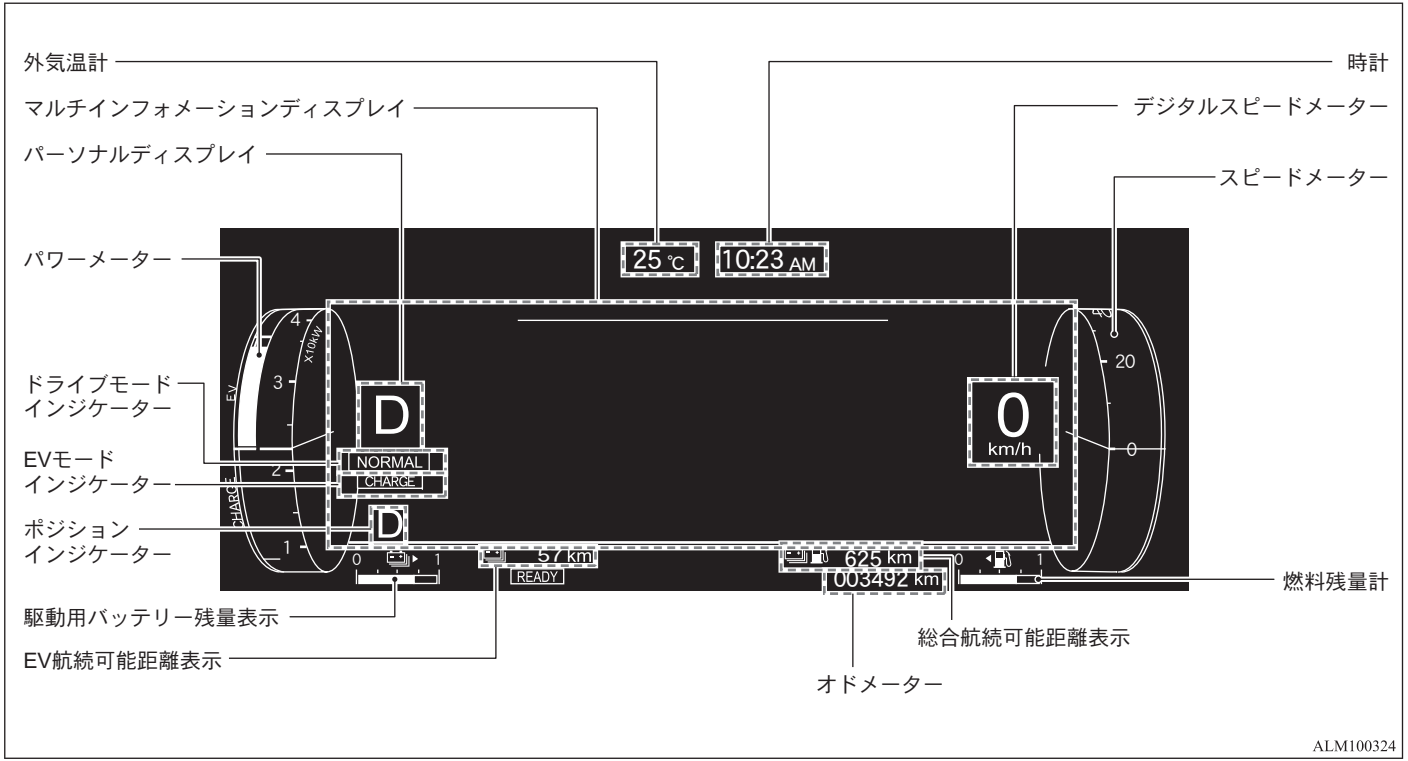
パワースイッチの電源モードを ON にすると、計器類が表示されます。



各部名称（エンハンス表示）

J17400200033

パワースイッチの電源モードを ON にすると、計器類が表示されます。



メーター

J17400300021

メーターには、スピードメーター、マルチインフォメーションディスプレイ、パワーメーターなどがあります。
パワースイッチの電源モードを ON にすると表示します。

スピードメーター／デジタルスピードメーター

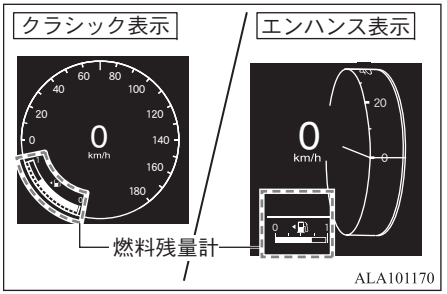
J17400400022

走行速度を表示します。

燃料残量計

J17400500036

- 燃料の残量を表示します。
  1- 満タンです。
  0- 燃料を補給してください。
- 燃料が約 6ℓ 以下になると、燃料残量表示⛽が黄色に点灯します。
- 燃料タンクの容量は約 53ℓ です。



⚠注意

- ⛽の矢印はフューエルリッド（燃料補給口）が車両左側にあることを示しています。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。
- 燃料補給後、表示が安定するまで少し時間がかかります。
- パワースイッチの電源モードが ON のまま燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示できません。

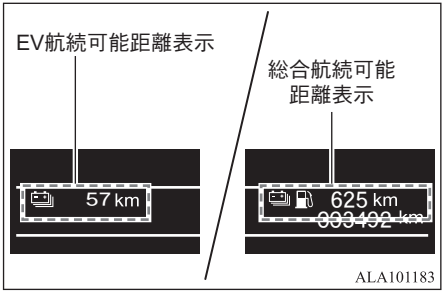
⚠注意

- 駆動用バッテリーの残量やプラグインハイブリッド EV システムの制御状態によっては、バッテリーセーブモードまたはバッテリーチャージモードを選択してもエンジンが始動しない場合があります。
  また、燃料の残量によっては、バッテリーセーブモードまたはバッテリーチャージモードに切り替わらない場合があります。

EV 航続可能距離表示／総合航続可能距離表示

J17400600037

- おおよその航続可能距離（あと何km走行できるか）を表示します。
- EV 航続可能距離表示：駆動用バッテリーの現在の残量で走行できる距離
- 総合航続可能距離表示：駆動用バッテリーの現在の残量と燃料残量で走行できる距離



アドバイス

- 表示される距離は、現在の状態で走行を続けた場合に走れる距離の目安を示しています。これらの距離表示と実際の走行可能距離は異なる場合があります。
- それぞれの距離表示は、主に次のような情報をもとに算出しています。
  EV 航続可能距離表示
  - 現在の駆動用バッテリー残量
  - 直近の電力消費率
  - エアコンの運転状態

  総合航続可能距離表示
  - EV 航続可能距離表示値
  - 現在の燃料残量
  - 直近の燃料消費率
  - エンジンの運転状態

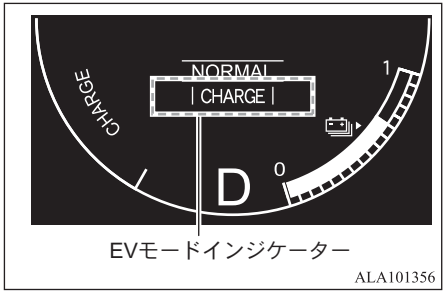
アドバイス

- EV 航続可能距離表示は、走行のしかたにより変化します。直前の走行が、渋滞路、登坂、高速走行などのため電力を多く消費した場合や、走行時にエアコンが作動している場合は、駆動用バッテリーが満充電の状態でも、メーターに表示される数値が減少する場合があります。また、これと同様に、総合航続可能距離表示も走行のしかたにより変化します。表示はあくまでも参考としてご利用ください。
  また、補機用バッテリーの端子を外したときは、それまでとは異なった値が表示されることがあります。
- 駆動用バッテリーを充電したり、燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。ただし、充電量や給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので、充電するときや給油するときはできるだけ満充電、満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合、まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで、故障ではありません。
- EV 航続可能距離が約 1km 未満になると、EV 航続可能距離表示は “---” を表示します。
- 総合航続可能距離が約 30km 以下になると、総合航続可能距離表示は “---” を表示します。

EV モードインジケーター

J17400700038

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、現在選択中の EV モードを表示します。EV モードは EV モードセレクタースイッチを押して切り替えます。
  →EV　モードセレクタースイッチ（P.7-32）



オドメーター

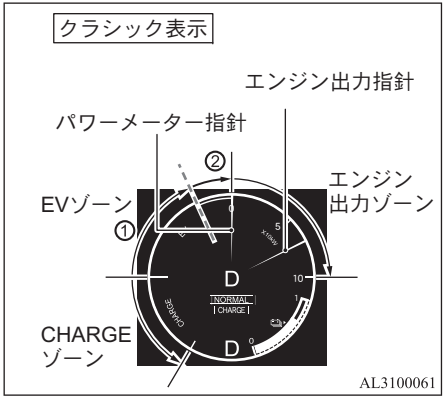
J17400800026

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、積算走行距離を表示します。
  パワースイッチの電源モードを OFF にしたときも、一定時間、積算走行距離を表示します。

5 パワーメーター

J17400900030

EV ゾーン



- EV ゾーンは、EV 走行時（エンジンが停止した状態での走行）の出力を示します。
  EV ゾーンは、イラスト内の①と②を合わせたゾーンとなり、①のゾーンはEV走行を持続できる状態を示し、②のゾーンはエンジンが始動する可能性の高い状態を示します。モーター出力が大きくなるとパワーメータの指針の振れが大きくなります。
  また、エンジンが停止した状態、モーター出力および回生ブレーキによる電気エネルギーが無い状態ではパワーメーターの指針は水平位置を示します。
  エンジン作動中は、EV ゾーンの表示はモーターからの出力を表します。

アドバイス

- 車両状態により（暖房ご使用時、高負荷運転継続時、満充電付近の減速時など）パワーメーターの指針が②のゾーン（エンジンが始動する可能性の高いゾーン）の以外でエンジンが始動することがあります。
- EV プライオリティモード選択中にてエンジンが始動しない場合においても、パワーメーターの指針が②のゾーン（エンジンが始動する可能性の高いゾーン）を示すことがあります。

アドバイス

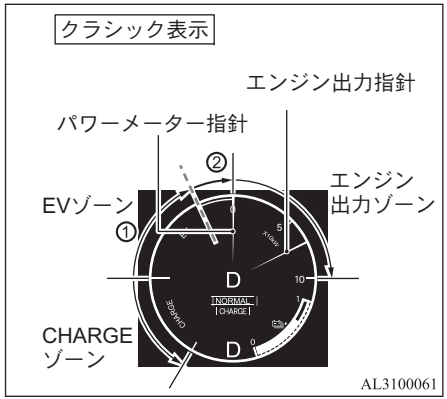
- 車両状態により、パワーメーターの指針の動きが異なったり、変動することがあります。
- ①のゾーンで指針の振れが小さい状態で運転することで、より ECO な運転が出来ます。

Charge ゾーン

- 回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。
  振れる量が大きいほど、電気エネルギーを多く充電しています。
  満充電に近いほど、パワーメーターの指針は Charge ゾーンには振れなくなります。

エンジン出力ゾーン

- エンジン出力を示します。



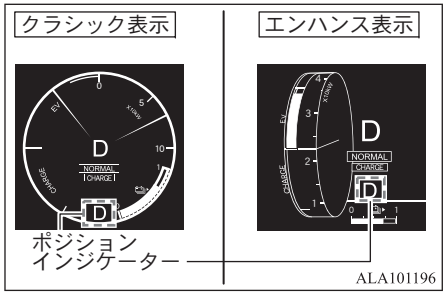
アドバイス

- エンジン出力指針はエンジンが作動しているときに、エンジンの瞬間出力量（kW）を示します。

ポジションインジケーター

J17401000038

- シフトポジションを表示します。



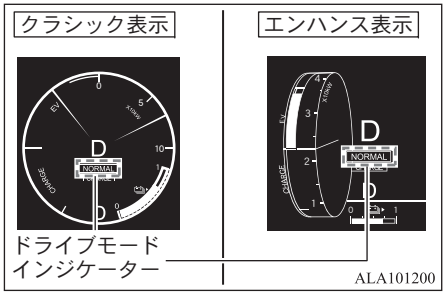
⚠注意

- セレクターレバーを中央の位置以外で保持し続けないでください。ポジションがずれたまま走行を続けると、故障の原因となります。
- パーソナルディスプレイでシフトポジションを選択しているときは、パーソナルディスプレイ側にポジションインジケーターが表示されます。
  → パーソナルディスプレイ（P.5-8）

ドライブモードインジケーター

J17401100039

- 現在選択中のドライブモードが表示されます。
  →ドライブモードセレクター（P.7-29）



時計

J17401200030

- 時刻を表示します。（→P.5-2）（→P.5-3）
- スマートフォン連携ナビゲーションの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「時計」⇒「時計設定」を選択すると、時刻の調整が行えます。

設定の詳細については、時計をお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
→ 時計（P.5-36）

アドバイス

- 時刻の表示は、12 時間表示または 24 時間表示を選択できます。

外気温計

J17401300028

- 外気温を表示します。（→P.5-2、→P.5-3）

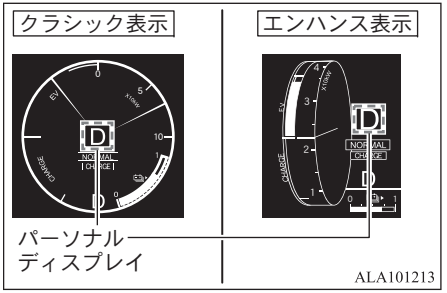
アドバイス

- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

パーソナルディスプレイ

J17401400032

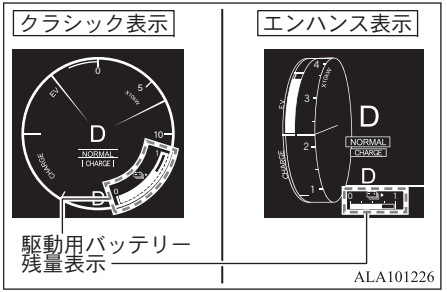
- パーソナルディスプレイで設定した項目を表示します。
  → パーソナルディスプレイ（P.5-34）



駆動用バッテリー残量表示

J17401500033

- 現在の駆動用バッテリーの残量をゲージで表示します。



アドバイス

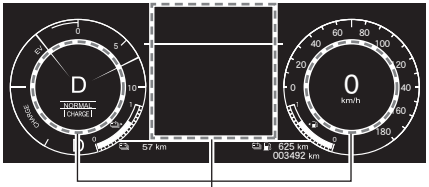
- 駆動用バッテリーの温度によって、駆動用バッテリー残量が増減することがあります。

マルチインフォメーションディスプレイ

J17401600034

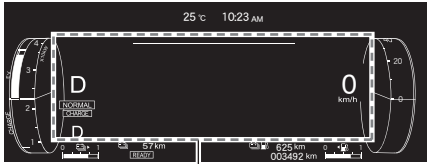
- マルチインフォメーションディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。
  - ホーム
  - 運転情報
  - 車両情報
  - ナビゲーション情報
  - オーディオ情報
  - 走行支援グループ
  - 警告
  - 設定
  - 走行支援機能画面
  - その他の表示機能

マルチインフォメーションディスプレイについては、（→P.5-14）をお読みください。



マルチインフォメーションディスプレイ

ALA101239



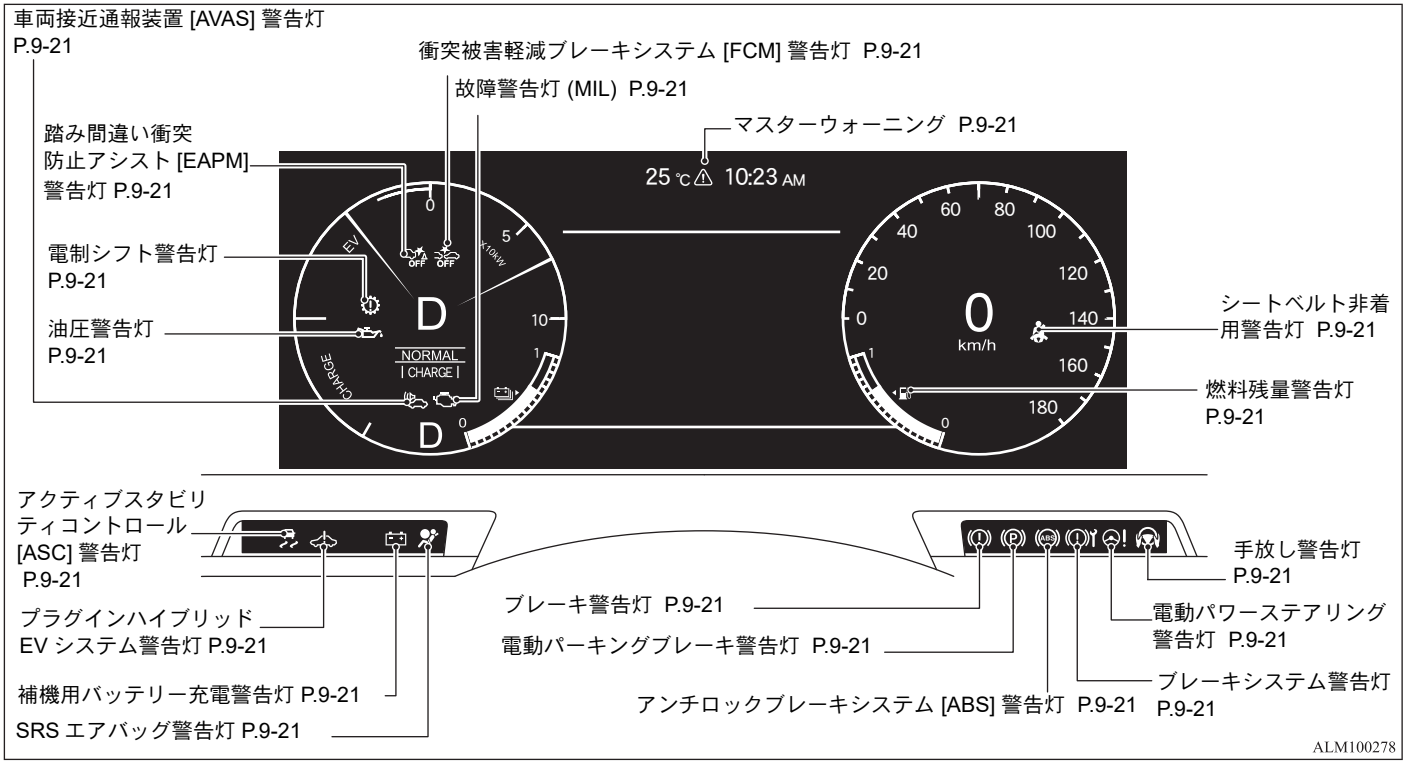
マルチインフォメーションディスプレイ

ALA101242

警告灯の表示位置（クラシック表示）

J17401700035

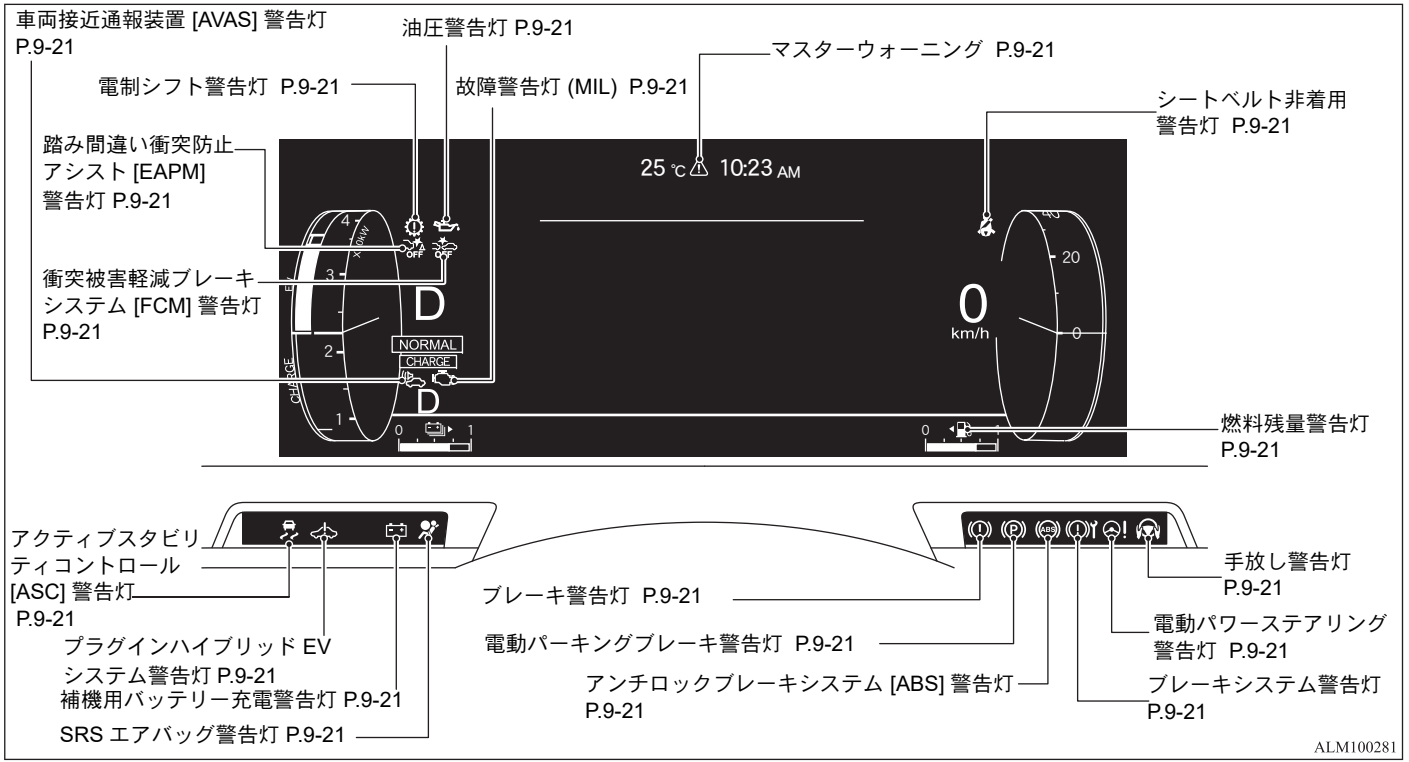
次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



警告灯の表示位置（エンハンス表示）

J17401800036

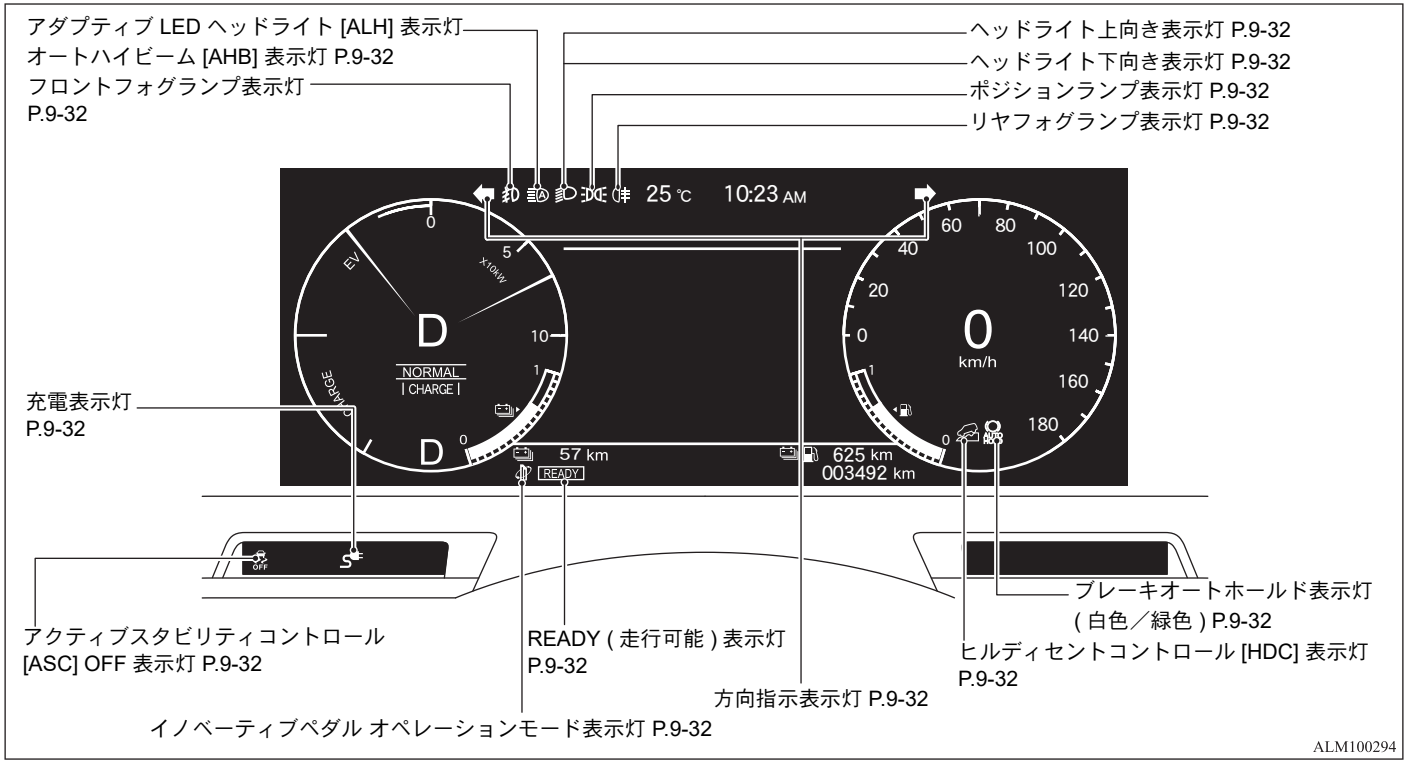
次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



表示灯の表示位置（クラシック表示）

J17402000035

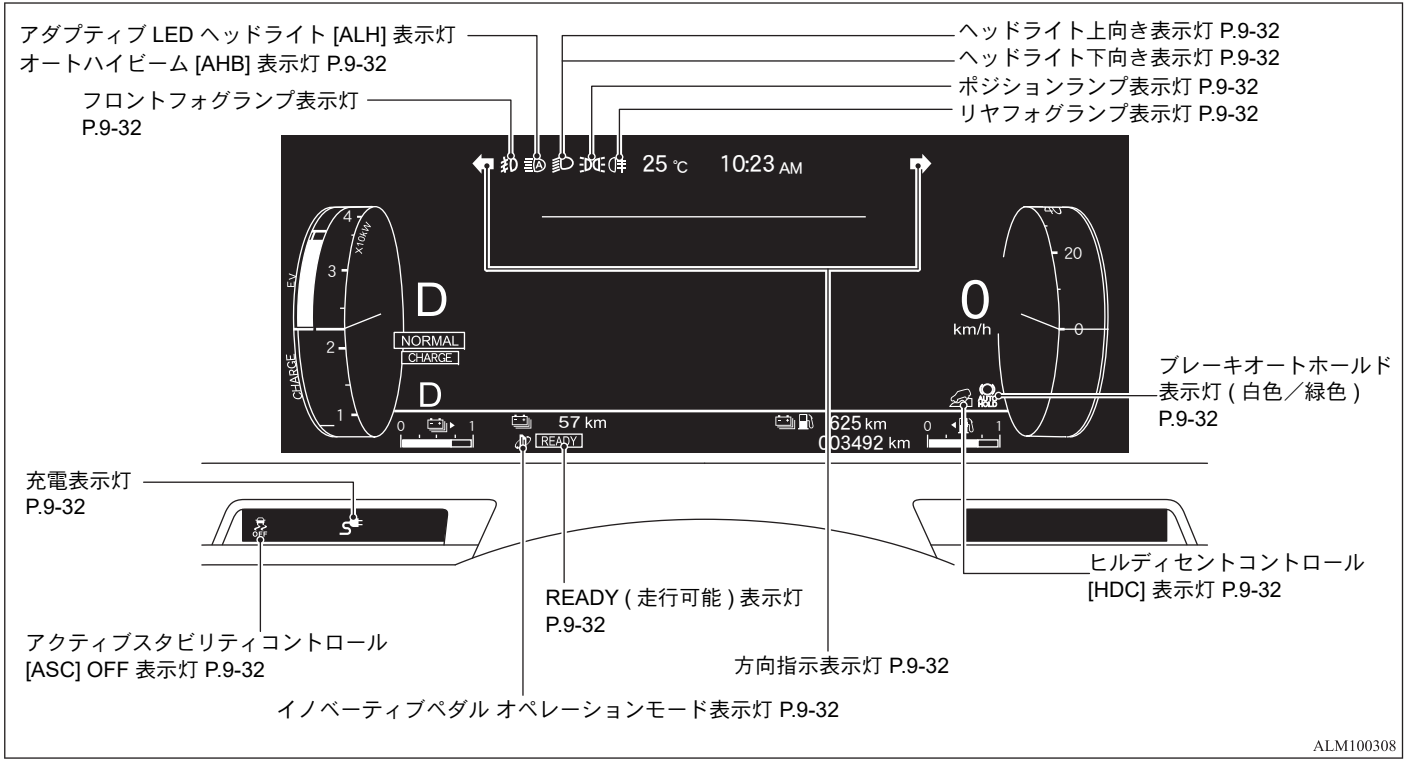
次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯の表示位置（エンハンス表示）

J17402100036

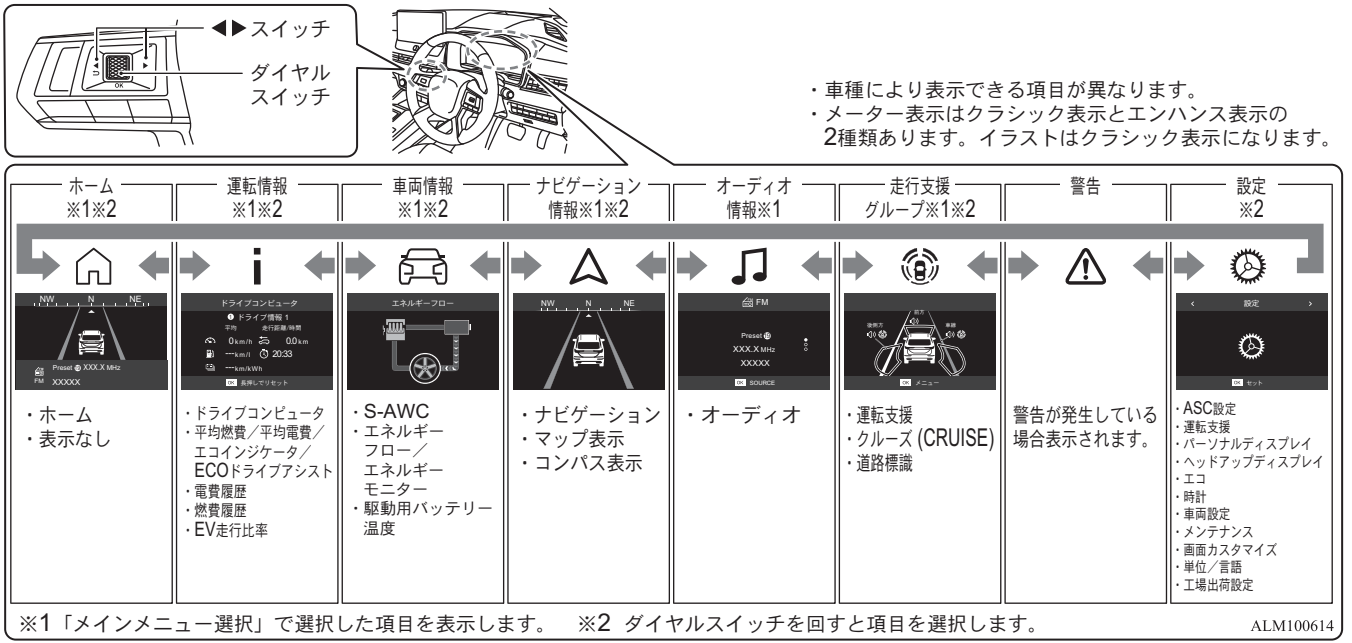
次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯します。



マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）

J17402300038

マルチインフォメーションディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。パワースイッチの電源モードが ON のとき、ハンドル左側にある◀▶スイッチを押すと、ホーム、運転情報、車両情報、ナビゲーション情報、オーディオ情報、走行支援グループ、警告、設定の順で表示項目が切り替わります。



車両情報画面

J17402500027

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

ホーム⌂

J17402600031

パワースイッチの電源モードが ON のとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチでホーム⌂を選択し、ダイヤルスイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。

マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「画面カスタマイズ」⇒「メインメニュー選択」で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ホーム	●次の情報を表示します。 •オーディオ情報 •スマートフォン連携ナビゲーション情報	アドバイス ●オーディオやスマートフォン連携ナビゲーションの使用状況によって、表示される項目は変わります。
-	表示なし	●マルチインフォメーションディスプレイに何も表示されません。	-

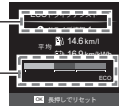
運転情報 i

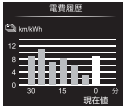
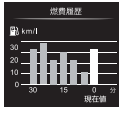
J17402700032

パワースイッチの電源モードが ON のとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、運転情報 i を選択し、ダイヤルスイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。

マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「画面カスタマイズ」⇒「メインメニュー選択」で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ドライブコンピュータ	●ドライブコンピュータを表示します。ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すとドライブ情報 1、ドライブ情報 2、給油後走行情報の順で画面が切り替わります。 表示されている情報をリセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチのダイヤルスイッチを長押しします。その後「リセット」メニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押します。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては（→P.5-14）をお読みください。 給油後走行情報は、給油するたびにリセットされます。	アドバイス ●ドライブコンピュータの項目 •平均電費 •平均燃費 •平均車速 •走行距離（トリップメーター） •走行時間 ●ドライブコンピュータの平均燃費／平均電費をリセットすると、「平均燃費／平均電費／エコインジケータ／ ECO ドライブアシスト」の平均燃費／平均電費も連動してリセットされます。

画面表示	項目	概要	詳細説明
① 	平均燃費／平均電費／エコインジケータ／ECO ドライブアシスト	●ドライブモードがECOモードのときに表示します。 ●①リセットしてからの平均燃費／平均電費を表示します。ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すとドライブ情報 1、ドライブ情報 2、給油後走行情報の順で画面が切り替わります。 表示されている情報をリセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチのダイヤルスイッチを長押しします。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては（→P.5-14）をお読みください。 給油後走行情報は、給油するたびにリセットされます。 ●②マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「エコ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコインジケータ」の設定を ON にしているとき、アクセルペダル操作に応じてエコインジケータが 3 段階で点灯します。 ●③走行しているとき、アクセルペダルの踏み加減を表示します。	アドバイス ●平均燃費／平均電費は、補機用バッテリー交換後やリセット後は、「---」と表示します。 ●平均燃費／平均電費は約 1km ごとに更新されます。 ●詳細については、（→P.5-18）をお読みください。 ●平均燃費／平均電費をリセットすると、「ドライブコンピュータ」の平均燃費／平均電費も連動してリセットされます。
② ③  			

画面表示	項目	概要	詳細説明
	電費履歴	●5 分ごとの平均電費を最大 60 分まで棒グラフで表示します。 ●クラシック表示は 30 分、エンハンス表示は 60 分で表示します。 ●右端に現在の瞬間電費を表示します。(電費履歴のみ)	-
	燃費履歴		
	EV 走行比率	●電気で走行した時間とエンジンを併用して走行した時間の割合を表示します。 ●電気で走行した比率は円グラフ（青色）とパーセントで表示します。	●EV 走行比率は、駆動用バッテリーが満充電になるとリセットされ、表示が 100％になります。また、手動でリセットすることもできます。

5

エコインジケータ

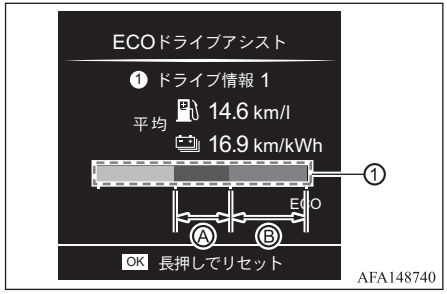
J17402800033

- マルチインフォメーションディスプレイで ECO ドライブアシストを表示して走行しているとき、アクセルペダル操作に応じてエコインジケータ①が 3 段階で点灯します。
- エコドライブをするほど、点灯範囲が大きくなります。
- マルチインフォメーションディスプレイで、「設定」⇒「エコ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコインジケータ」を選択すると、エコインジケータの ON・OFF を切り替えられます。
  → エコ（P.5-36）
- シフトポジションがⓇのときは、点灯しません。

ECO ドライブアシスト

J17402900034

- マルチインフォメーションディスプレイで ECO ドライブアシストを表示して走行しているとき、アクセルペダルの踏み加減を①に表示します。
- アクセルペダルの踏み加減をエコ運転領域Ⓐに入るように調整することで、燃費向上につながります。
  アクセルペダルの踏み加減をⒷの範囲内に調整することでさらなる燃費向上につながります。
- シフトポジションがⓇのときは、表示しません。



車両情報

J17403000032

パワースイッチの電源モードが ON のとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、車両情報を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。
マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「メインメニュー選択」で選択していると表示します。

S-AWC（Super-All wheel control）

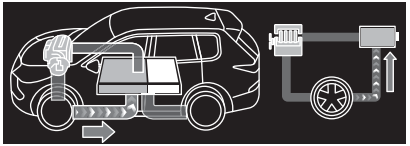
- S-AWC のヨーコントロール機能制御とトルク配分機能制御を表示します。→S-AWC（Super-All wheel control）（P.7-35）

エネルギーフロー／エネルギーモニター

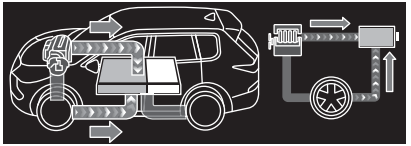
- 充電器、エンジン、駆動用バッテリーおよびタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。
- 通常はエネルギーフロー、充電コネクターが接続されるとエネルギーモニターを表示します。
- 画面は実際の表示とは異なる場合があります。
- エンジンからの矢印は、エンジンで発電したエネルギーが流れている状態を示すものです。
- プラグインハイブリッド EV システムでは、発電しなくてもエンジンが作動することがあります。発電していないときは矢印は表示されません。
- 発電や充電のエネルギー量が多い場合、矢印の流れが速くなります。
- ブレーキランプが点灯しているときは、ディスプレイ内のブレーキランプも点灯します。（エンハンス表示のみ）

エネルギーフロー（例）

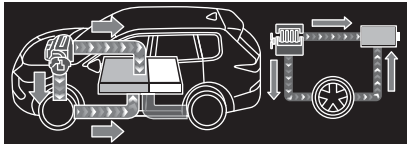
・駆動用バッテリーに蓄えられたエネルギーを使って走行している状態



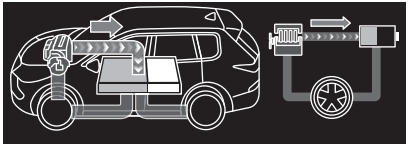
・回生ブレーキを使って駆動用バッテリーを充電している状態



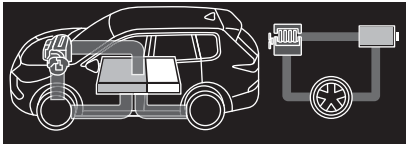
・エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態



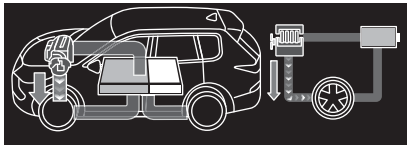
・エンジンで発電したエネルギーで、走行と充電の両方をしている状態
・エンジンで発電したエネルギーと駆動用バッテリーに蓄えられたエネルギー、両方を使って走行している状態
・エンジンで発電したエネルギーを使って走行している状態



・エンジンで発電したエネルギーで駆動用バッテリーを充電している状態



・エネルギーの流れがない状態



・エンジンのエネルギーで走行している状態

エンジン表示色

灰色：エンジン停止状態
・エンジンが停止しているときは、灰色で表示します。
白色：エンジン回転状態
・エンジンが回転しているときは、白色で表示します。

バッテリー表示

・バッテリー残量を表示します。
・バッテリー残量が少ないときは、通常よりも駆動出力が低下することがあります。

エネルギーモニター (例)

・駆動用バッテリーに充電されている状態

・エアコンやオーディオなどの車両装備が電力を消費している状態

・V2H給電を使用して駆動用バッテリーからエネルギーを供給している状態

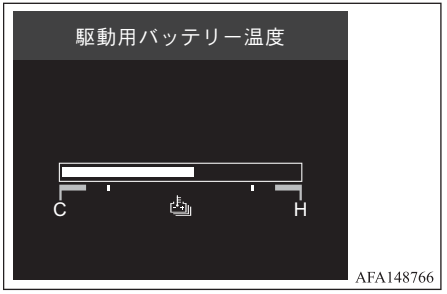
・充電が行われず、駆動用バッテリーから車両装備に電力が供給されている状態

・エネルギーの流れがない状態

5

駆動用バッテリー温度

●電池の温度状態をバーで表示します。



ナビゲーション情報△

J17403100033

5

パワースイッチの電源モードが ON のとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、ナビゲーション情報△を選択し、ダイヤルスイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。

マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「画面カスタマイズ」⇒「メインメニュー選択」で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ナビゲーション	●スマートフォン連携ナビゲーションで目的地を設定していると、ナビゲーションシステムと連動し、次の右左折点までの距離などを表示します。 ●目的地を設定していないときは、表示されません。 ●エンハンス表示のときは、表示されません。	●スマートフォン連携ナビゲーションの取り扱いについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。
	マップ表示	●スマートフォン連携ナビゲーションで目的地を設定していると、スマートフォン連携ナビゲーションと連動し、ルートガイドを表示します。 ●目的地を設定していないときは、表示されません。	
	コンパス表示	●コンパス（車両の進行方位）を表示します。 ●目的地を設定しているときは表示されません。	-

オーディオ情報♫

J17403200034

パワースイッチの電源モードがONのとき、ステアリングスイッチの◂▸スイッチで、オーディオ情報♫を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。

マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「画面カスタマイズ」⇒「メインメニュー選択」で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	オーディオ	●現在使用中のオーディオ情報を表示します。 ●この画面を表示中に、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すと、オーディオの種類を切り替えることができます。	●オーディオの取り扱いについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

走行支援グループ

J17403300035

パワースイッチの電源モードが ON のとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、走行支援グループを選択し、ダイヤルスイッチを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。
マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「メインメニュー選択」で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	運転支援	●走行支援システムの ON・OFF 状態を表示します。 ●この画面を表示中に、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すと、走行支援システムのメニュー画面を表示し、各システムの ON・OFF を設定できます。	●詳しくは運転支援 (→P.5-28) の中の該当項目をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	クルーズ（CRUISE）	●マイパイロット（ナビリンク機能付）の作動状態を表示します。 ●ステアリングスイッチのマイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㊙を押すと、運転支援画面を表示してから数秒後にクルーズ画面に切り替わります。 ●この画面を表示中に、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すと、マイパイロット（ナビリンク機能付）のメニュー画面を表示し、車線維持支援機能 [LKA] の ON・OFF を設定できます。詳しくは運転支援（→P.5-28）の中の該当項目をお読みください。	●マイパイロット（ナビリンク機能付）については、（→P.7-46）をお読みください。 ●ブレーキランプが点灯しているときは、メーター内のブレーキランプも点灯します。
	道路標識	●道路標識の検知状態を表示します。	●詳しくは、→ 標識認識システム [TSR]（P.7-103）をお読みください。

警告⚠

J17403400036

警告について

●異常を検知するとマスターウォーニングが点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに警告を表示します。
警告を一時的に消すときは、ダイヤルスイッチを押します。

●警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

異常を検知している場合、パワースイッチの電源モードが ON のときにステアリングスイッチの◀▶スイッチで警告⚠を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。
警告メッセージの表示画面については、（→P.9-34）をお読みください。
ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。

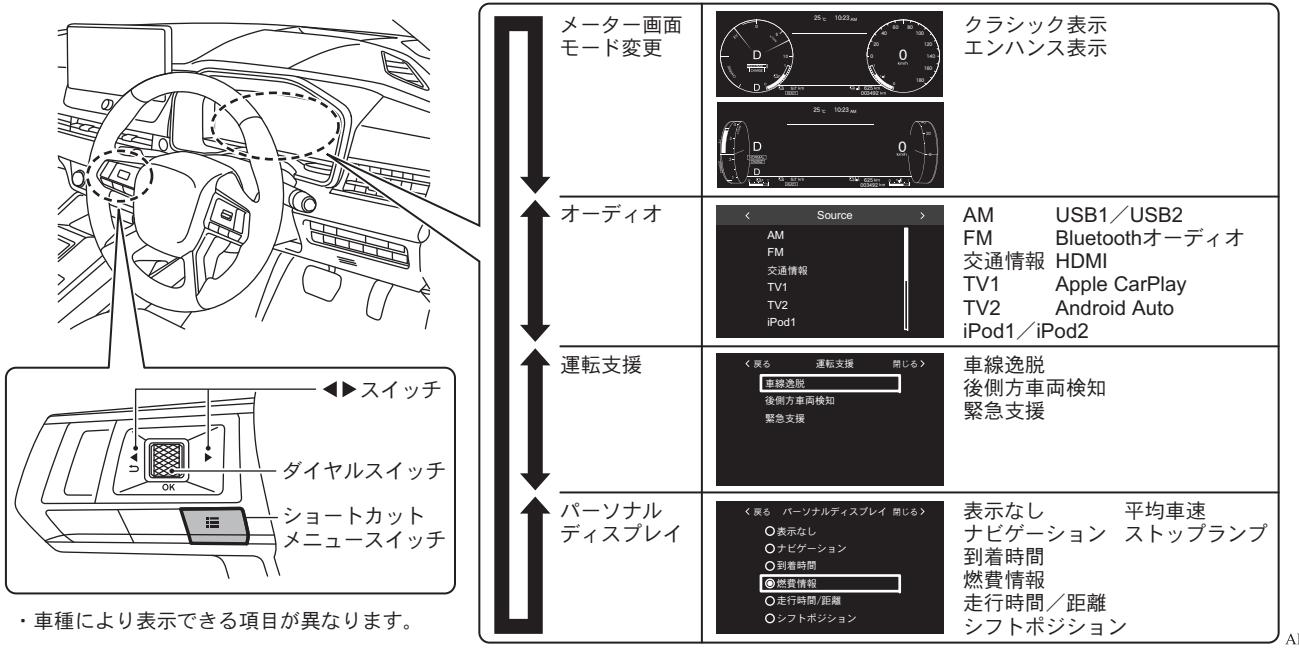
マルチインフォメーションディスプレイとは（ショートカットメニュー）

J17403500024

パワースイッチの電源モードが ON のとき、ハンドル左側にあるショートカットメニュースイッチを押すと、よく使用する設定項目画面をすばやく表示することができます。メーター画面モード変更、オーディオ、運転支援、パーソナルディスプレイのいずれかの表示項目を選択できます。

画面の切り替えかた（ショートカットメニュー）

J17403600038



・車種により表示できる項目が異なります。

ALM100379

メーター画面モード変更

J17403700039

- パワースイッチの電源モードがONのとき、ステアリングスイッチの☰スイッチでメーター画面モード変更を選択し、ダイヤルスイッチを押すと表示画面が切り替わります。なおメーター表示は、クラシック表示とエンハンス表示の2種類あります。
  ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-26）をお読みください。
  各種設定画面からメーター画面モード変更を選択することができます。
  設定方法については（→P.5-30）をお読みください。

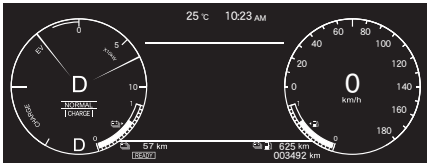
クラシック表示

- 左側にパワーメーター、右側にスピードメーターが大きく表示される画面です。

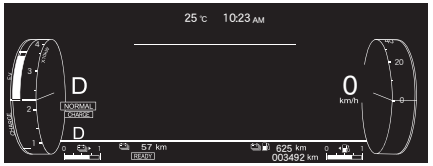
エンハンス表示

- 左右のアナログメーター表示を縮小し、中央のマルチインフォメーションディスプレイを拡大した画面です。

クラシック表示



エンハンス表示



AL4100071

オーディオ

J17403800027

ステアリングスイッチの☰スイッチでオーディオを選び、ダイヤルスイッチを回して選択します。ダイヤルスイッチを押して決定することができます。

項目	詳細説明
AM	●オーディオの取り扱いについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。
FM	
交通情報	
TV1	
TV2	
iPod1 ／ iPod2	
USB1 ／ USB2	
Bluetooth オーディオ	
HDMI	
Apple CarPlay	
Android Auto	

運転支援

J17403900028

ステアリングスイッチの スイッチで運転支援を選び、ダイヤルスイッチを回して選択します。ダイヤルスイッチを押して決定することができます。

項目 1	項目 2	詳細説明
車線逸脱	車線逸脱警報	●設定の詳細については、設定(各種設定画面）の運転支援をお読みください。 → 設定（各種設定画面）（P.5-30）
	車線逸脱防止支援	
後側方車両検知	後側方車両検知警報	
	後側方衝突防止支援	
緊急支援	前方衝突防止支援	
	踏み間違い衝突防止アシスト	

パーソナルディスプレイ

J17404000026

ステアリングスイッチのスイッチでパーソナルディスプレイを選び、ダイヤルスイッチを回して項目を選択します。ダイヤルスイッチを押して決定することができます。

項目 1	項目 2	詳細説明
表示なし		●設定の詳細については、設定⏲(各種設定画面）のパーソナルディスプレイをお読みください。 → パーソナルディスプレイ（P.5-8） ●燃費情報や走行時間 / 距離、平均車速はドライブ情報 1、ドライブ情報 2、給油後走行情報のいずれかをパーソナルディスプレイに表示できます。
ナビゲーション		
到着時間		
燃費情報	ドライブ情報 1	
	ドライブ情報 2	
	給油後走行情報	
走行時間 / 距離	ドライブ情報 1	
	ドライブ情報 2	
	給油後走行情報	
シフトポジション		
平均車速	ドライブ情報 1	
	ドライブ情報 2	
	給油後走行情報	
ストップランプ		

各種設定画面

J17404100030

運転支援システムの ON・OFF 設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。ステアリングスイッチの使いかたは（→P.5-14）をお読みください。

設定⏲(各種設定画面)

J17404200028

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。ステアリングスイッチの◂▸スイッチで設定⏲を選び、ダイヤルスイッチを回して選択します。ダイヤルスイッチを押して決定することができます。

→ 設定例 1（画面カスタマイズ）（P.5-43）
→ 設定例 2（オイル交換時期）（P.5-44）

ASC 設定

J17404300032

項目	機能
システム	●アクティブスタビリティコントロール [ASC] 機能の ON・OFF を設定します。 →ASC の停止のしかた（P.7-39）

運転支援

J17404400033

項目 1	項目 2	機能
ハンドル支援		●車線維持支援機能 [LKA] の ON・OFF を設定します。 → 車線維持支援機能 [LKA] の作動（P.7-60）
車線逸脱	車線逸脱警報	●車線逸脱警報 [LDW] の ON・OFF を設定します。 → 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85）
	車線逸脱防止支援	●車線逸脱防止支援機能 [LDP] の ON・OFF を設定します。 → 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85）
後側方車両検知	後側方車両検知警報	●後側方車両検知警報システム(レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] の ON・OFF を設定します。 → 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90）
	後側方衝突防止支援	●後側方衝突防止支援システム [ABSA] の ON・OFF を設定します。 → 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90）

項目 1	項目 2	機能
緊急支援	前方衝突防止支援	●衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]、前方衝突予測警報 [PFCW] の ON・OFF を設定します。走行中は操作できません。 → 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） → 前方衝突予測警報 [PFCW]（P.7-73）
	踏み間違い衝突防止アシスト	●踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] の ON・OFF を設定します。 → 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（P.7-76）
道路標識		●最高速度標識検知の ON・OFF を設定します。 → 標識認識システム [TSR]（P.7-103）
ルート連動減速		●マイパイロット（ナビリンク機能付）のルート減速支援機能の ON・OFF を設定します。 → ルート減速支援機能について（P.7-55）
制限速度支援	OFF 手動 自動	●標識認識システム [TSR] で検出した速度をマイパイロット（ナビリンク機能付）の設定車速に反映させる機能の ON（スイッチによる連動／自動連動）・OFF を設定します。 → 制限速度支援機能について（P.7-52）
進入禁止標識		●進入禁止標識検知 / 一時停止標識検知の ON・OFF を設定します。 → 標識認識システム [TSR]（P.7-103） 進入禁止 / 一時停止標識表示は、標識検知支援を ON にしていても道路標識表示を OFF にしていると、ヘッドアップディスプレイに表示されません。

項目 1	項目 2	機能
パーキングセンサー	移動物検知	●移動物 検知の ON・OFF を設定します。 → 移動物検知機能 [MOD] について（P.7-112）
	センサー自動表示	●障害物に近づいたときの、割り込み表示の ON・OFF を設定します。 → パーキングセンサー機能（P.5-45）
	前方センサー	●フロントセンサーの ON・OFF を設定します。 → パーキングセンサー機能（P.5-45）
	後方センサー	●リヤセンサーの ON・OFF を設定します。 → パーキングセンサー機能（P.5-45）
	センサー検知距離	●センサー感度を、遠、中、近から選択します。障害物をより遠い状態から検知させたいときは、センサー感度を「遠」に設定します。 → パーキングセンサー機能（P.5-45）
	センサー音量	●センサーの音量を、大、中、小から選択します。 → パーキングセンサー機能（P.5-45）
後退時車両検知警報システム		●後退時車両検知警報システム [RCTA] の ON・OFF を設定します。 → 後退時車両検知警報システム [RCTA]（P.7-98)）
ドライバーモニター	ふらつき警報	●ふらつき警報 [DAA] の ON・OFF を設定します。 → ふらつき警報 [DAA]（P.7-101）

項目 1	項目 2	機能
タイマーアラーム設定	--- 分／ --- 分	●設定した時間まで連続走行したことをお知らせします。 ダイヤルスイッチを回すと分が切り替わり、ダイヤルスイッチを押すと決定します。走行中は操作できません。 •最大 360 分まで設定できます。 •設定時間は 30 分単位で切り替わります。 （◀スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。）
	リセット	（はい）を選択すると、走行した時間をリセットできます。走行中は操作できません。
凍結注意		●外気温が3℃以下になったときに表示する凍結注意表示のON･OFFを設定します。

パーソナルディスプレイ

J17404500034

走行中は操作できません。

項目 1	項目 2	機能
表示なし		●パーソナルディスプレイに何も表示されません。
ナビゲーション		●パーソナルディスプレイにナビゲーションを表示します。
到着時間		●パーソナルディスプレイに到着時間を表示します。
燃費情報	ドライブ情報 1	●パーソナルディスプレイに燃費情報を表示します。
	ドライブ情報 2	
	給油後走行情報	

項目 1	項目 2	機能
走行時間 / 距離	ドライブ情報 1	●パーソナルディスプレイに走行時間 / 距離を表示します。
	ドライブ情報 2	
	給油後走行情報	
シフトポジション		●パーソナルディスプレイにシフトポジションを表示します。
平均車速	ドライブ情報 1	●パーソナルディスプレイに平均車速を表示します。
	ドライブ情報 2	
	給油後走行情報	
ストップランプ		●パーソナルディスプレイに車両を表示します。ブレーキランプが点灯しているときは、車両のブレーキランプも点灯します。

ヘッドアップディスプレイ

J17404600035

走行中は操作できません。

項目 1	項目 2	機能
明るさ		●ヘッドアップディスプレイの明るさを調整します。
高さ		●ヘッドアップディスプレイの上下位置を調整します。
傾き		●ヘッドアップディスプレイの左右の傾きを調整します。
表示項目選択	ナビゲーション	●ヘッドアップディスプレイに表示する情報を選択します。 ●オーディオ項目については、ステアリングスイッチでの操作時のみ 表示されます。
	運転支援	
	道路標識	
	オーディオ	
	TEL/SMS	

項目 1	項目 2	機能
リセット		●ヘッドアップディスプレイの各設定を初期設定に戻します。

エコ

J17404700036

走行中は操作できません。

項目 1	項目 2	機能
エコモード設定	空調	●ECO モード使用時に燃費を優先する機能の ON・OFF を設定します。 →ドライブモードセレクター（P.7-29）
エコ情報設定	エコインジケータ	●エコインジケータの ON・OFF を設定します。 OFF にすると、エコインジケータが表示されなくなります。 →運転情報（P.5-15）
	エコドライブレポート	●エコドライブレポートの ON・OFF を設定します。 OFF にすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。 →エコドライブレポートについて（P.5-46）
履歴リセット		●電費履歴画面を表示します。 ●リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押します。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すとリセットされます。

時計

J17404800037

走行中は操作できません。

項目	機能
表示	●時計表示の ON・OFF を切り替えます。

項目	機能
時計設定モード	時刻情報をスマートフォン連携ナビゲーションから自動で取得するか手動で設定するかを切り替えます。 自動にしている場合は、時計設定は操作できません。
時計表示	●ダイヤルスイッチを押すと 12 時間表示、24 時間表示を切り替えます。
時計設定	時計を調整します。 (1) ダイヤルスイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 (2) ダイヤルスイッチを回して「時」を調整します。 (3) ダイヤルスイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 (4) ダイヤルスイッチを回して「分」を調整します。 (5) ダイヤルスイッチを押すと時刻が設定されます。 （◀スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。）

車両設定

J17404900038

走行中は操作できません。

項目 1	項目 2	項目 3	機能
充電コネクターロック	LOCK		●充電コネクターロックモードを設定します。 → 充電コネクターロック（P.3-11）
	UNLOCK		
エレクトリックテールゲート			●エレクトリックテールゲートの作動の ON・OFF を設定します。 → エレクトリックテールゲート（タイプ別装備）（P.6-11）

項目 1	項目 2	項目 3	機能
ライト / 照明	ウエルカムライト		●ウェルカムライト機能の ON・OFF を設定します。 → ウェルカムライト機能（P.7-22）
	自動室内灯		●室内灯の自動点灯機能の ON・OFF を設定します。 → 室内灯（P.8-2）
	室内間接照明		●LED ルームイルミネーションの輝度を調節します。

項目 1	項目 2	項目 3	機能
ロック	ドアハンドルスイッチ		●ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠機能の ON・OFF を設定します。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
	ドア限定アンロック		●運転席ドア限定アンロック機能の ON・OFF を設定します。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
	オートドアアンロック	シフト連動	●オートドアアンロックを設定します。 シフトポジションを Ⓟ にすると解錠します。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
		パワー OFF 連動	●オートドアアンロックを設定します。 パワースイッチの電源モードを OFF にすると解錠します。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
		OFF	●オートドアアンロック機能を OFF にします。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
	オートドアロック	車速	●オートドアロックを設定します。 車速が 15km/ 以上になると施錠します。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
		シフトを P からはずす	●オートドアロックを設定します。 シフトポジションを Ⓟ 以外にすると施錠します。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）
		OFF	●オートドアロック機能を OFF にします。 → ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（P.6-5）

項目 1	項目 2	項目 3	機能
ワイパー	車速連動		●ワイパー間けつ作動時の車速連動機能の ON・OFF を設定します。 → フロントワイパーの使いかた（P.7-24）
	雨滴感知		●ワイパー自動制御（雨滴感知）の ON・OFF を設定します。自動制御（雨滴感知）を OFF にすると、ワイパーは間けつ作動をします。 → 雨滴感知式ワイパーの使いかた（P.7-25）
	リバース連動		●リバース連動機能の ON・OFF を設定します。 → リヤワイパーの使いかた（P.7-26）
運転姿勢	降車時シート退避		●シートの退避･復帰機能の ON・OFF を設定します。 → ドライバーメモリーセッティング（タイプ別装備）の設定のしかた（P.6-25）
ドアミラー	自動格納 OFF		●ドアミラー自動格納 / 復帰機能が OFF になります。 → ドアミラー自動格納 / 復帰機能について（P.6-41）
	始動時展開		●ドアミラー自動格納 / 復帰機能が ON になります。パワースイッチの電源モードを ON にしたときにドアミラーが開く設定になります。 → ドアミラー自動格納 / 復帰機能について（P.6-41）
	解錠時展開		●ドアミラー自動格納 / 復帰機能が ON になります。キーレスオペレーションキーまたは、ドアハンドルのスイッチで解錠すると、ドアミラーが開く設定になります。また、パワースイッチの電源モードを ON にしたときもドアミラーが開きます。 → ドアミラー自動格納 / 復帰機能について（P.6-41）
駆動用バッテリークーラー			●駆動用バッテリークーラーの ON・OFF を設定します。 → 駆動用バッテリークーラー（P.3-17）

メンテナンス

J17405000036

走行中は操作できません。

項目	機能
オイル交換時期 タイヤ ユーザー	●[メンテナンス] では、次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。(定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。） •ダイヤルスイッチを回すと距離が切り替わり、ダイヤルスイッチを押すと決定します。（◀スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。） •500km ～ 30,000km までの範囲内で距離を設定できます。 •設定距離は 500km 単位で切り替わります。 • リセットを選択してダイヤルスイッチを押すとリセット画面が表示されます。「はい」を選択し、再度ダイヤルスイッチを押すと走行した距離をリセットできます。 ●機能を停止することができます。 •停止する場合は、距離表示を「——」に合わせダイヤルスイッチを押し決定します。

5

画面カスタマイズ

J17405100037

走行中は操作できません。

項目 1	項目 2	項目 3	機能
メーター画面モード変更			●メーター画面モードのクラシック表示・エンハンス表示 を選択することができます。 → メーター画面モード変更（P.5-27）
メインメニュー選択			●車両情報画面で表示させたい項目を選択することができます。 → 車両情報画面（P.5-15）
ナビゲーション設定			●走行中、次の右左折点に接近したとき、メーター 内にポップアップでお知らせする機能の ON・OFF を設定します。

項目 1	項目 2	項目 3	機能
クルーズ画面自動切替			●クルーズ画面切替の ON・OFF を設定します。 ON にすると、マイパイロット（ナビリンク機能付）のシステムを ON にしたとき、画面がクルーズ画面に切り替わります。 → マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46）
メーター演出	オープニング演出		●ディスプレイ演出の ON・OFF を設定します。 OFF にすると、プラグインハイブリッド EV システム起動時のアニメーションが OFF になります。
オペレーションガイダンス	ライト		●ライトスイッチを回したとき、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能の ON・OFF を設定します。
	ワイパー	フロント	●ワイパースイッチを動かしてフロントワイパーを作動させたときに、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能の ON・OFF を設定します。
		リヤ	●ワイパースイッチを回してリヤワイパーを作動させたときに、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能の ON・OFF を設定します。
	ALH/AHB		●アダプティブLEDヘッドライト[ALH]/オートマチックハイビーム[AHB]を ON にしたとき、メーター内にポップアップで表示する機能の ON・OFF を設定します。
	シートメモリー		●シートメモリーを登録したときに、メーター内にポップアップで表示する機能の ON・OFF を設定します。 → ドライバーメモリーセッティング（タイプ別装備）の設定のしかた（P.6-25）

5

単位 / 言語

J17405200038

走行中は操作できません。

項目	機能
距離／燃費	●距離と燃費の表示単位を km, km/ｌ または km, l/100km に切り替えます。
温度	●温度の単位を ℃ または F° に切り替えます。
言語	●表示言語を、日本語または English に切り替えます。

キー連動メモリー設定

タイプ別装備

J17412100026

走行中は操作できません。

機能
マルチインフォメーションディスプレイの時計、画面カスタマイズ、単位 / 言語などの設定についてお手持ちのキーとの連動設定の ON・OFF を切り替えます。

工場出荷設定

J17405300039

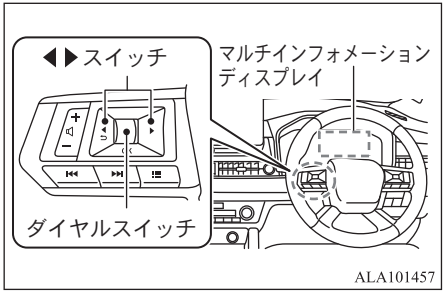
走行中は操作できません。

機能
工場出荷時の設定にリセットすることができます。 ●「はい」を選択すると、各種設定が初期化されます。

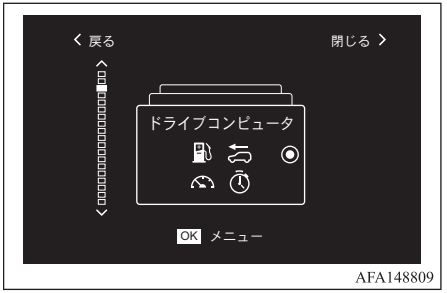
設定例 1（画面カスタマイズ）

J17405400030

1. ステアリングスイッチの◀▶スイッチを数回押し、「設定⚙」画面を表示してダイヤルスイッチを押します。



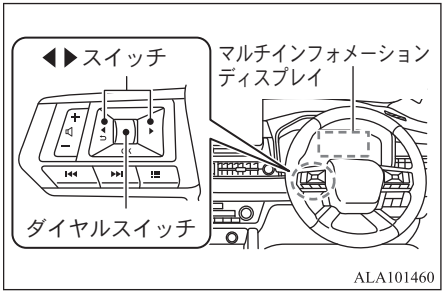
2. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを回して、「画面カスタマイズ」を選択し、ダイヤルスイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを回して、「メインメニュー選択」を選択し、ダイヤルスイッチを押して決定します。
4. 表示させたい項目を、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを回して選択し、ダイヤルスイッチを押して選択すると表示できるようになります。



設定例 2（オイル交換時期）

J17405500031

1. ステアリングスイッチの◀▶スイッチを数回押し、「設定」画面を表示してダイヤルスイッチを押します。



2. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを回して、「メンテナンス」を選択し、ダイヤルスイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを回して、「オイル交換時期」を選択し、ダイヤルスイッチを押して決定します。
4. 「オイル交換時期」画面でステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押して、次回メンテナンスを行う距離の設定画面に進みます。（「---km/---km」の右側の表示）
   *「---km/---km」の左側は、設定以降走行した距離を表示します。

- 手順 4 でリセットを選択してステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すと走行した距離をリセットできます。(「---km /---km」の左側の表示)

5. 次回メンテナンスを行う距離を設定できます。（手順 4「---km/---km」右側の表示）
ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを回して、距離を切り替え、ダイヤルスイッチを押して決定します。
設定距離は 500km 単位で切り替わります。
* 機能を停止する場合は、距離表示を「---」にあわせダイヤルスイッチを押して決定します。

AFA148841

その他の表示機能

J17406400037

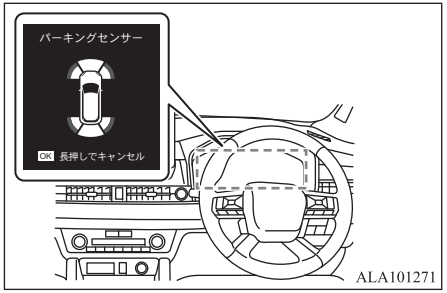
パーキングセンサー機能

J17406500038

- 車両が障害物に近づくと、メーター内ディスプレイのパーキングセンサー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音（ブザー）が鳴ります。

表示色	警報音（ブザー）
緑	ピッ、ピッ、ピッ・・・
黄	ピピピピピ・・・
赤	ピー

- 次の場合にパーキングセンサー機能が作動します。
  - シフトポジションをⓇにしたとき（約 10km/h 以下）
  - シフトポジションがⒹまたはⒷで障害物を検知したとき（約10km/h以下）
  - パーキングセンサー表示中にステアリングスイッチのダイヤルスイッチ、または⮌スイッチを押すと一時的にパーキングセンサー機能を停止できます。



ALA101271

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「パーキングセンサー」を選択すると、パーキングセンサー機能の各種設定が行えます。
設定の詳細については、運転支援をお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
→ 運転支援（P.5-28）
- パーキングセンサー表示の見かたについては、（→P.7-114）をお読みください。
- パーキングセンサーが障害物を検知すると、パーキングセンサー画面が割り込み表示します。割り込み表示は OFF にすることができます。
→ 運転支援（P.5-28）

- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
  - シフトポジションをⓅにしたとき
  - 約 12km/h 以上で走行したとき
- パーキングセンサーについては、（→P.10-20）をお読みください。

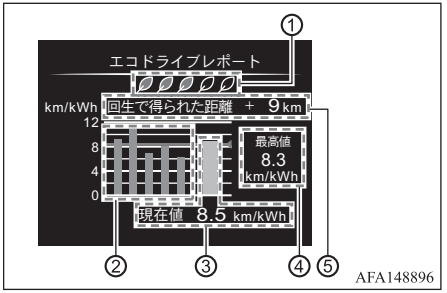
アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイの走行支援画面については、（→ P.7-48）をお読みください。

エコドライブレポートについて

J17406700043

パワースイッチの電源モードをOFFにするとエコドライブレポート画面を表示します。
今回の評価などの結果表示は、約 10 分以上走行したときに表示します。



① **今回の評価**
エコドライブするほど緑の葉が増えます。

② **履歴**
過去 5 回分の平均燃費を表示します。

③ **現在値**
今回の平均燃費を表示します。

④ **最高値**
過去のベスト燃費を表示します。

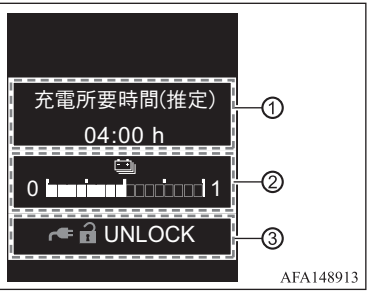
⑤ **回生電力量**
今回の走行で回生した電力量を距離換算で表示します。

- パワースイッチの電源モードを OFF にしてから、約 30 秒間表示されます。
- 表示中に画面切り替え操作を行うと、表示時間が操作から 30 秒延長されます。
- パワースイッチの電源モードを OFF にして、ドアを施錠すると、表示が消えます。
- 走行したルートのほとんどが下り坂だった場合、回生量が大きく、回生で得られた距離が走行した距離以上になることがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「エコ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコドライブレポート」を選択すると、「エコドライブレポート」の表示・非表示を切り替えることができます。
  設定の詳細については、エコをお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 設定（各種設定画面）（P.5-30）

充電情報について

J17406800044

パワースイッチの電源モードをOFFにすると充電情報画面を表示します。



① **充電所要時間（推定）**
充電完了までに必要な推定所要時間を表示します。(充電コネクターを接続した場合のみ表示されます。)
充電所要時間 (推定) は、以下の状態で --:-- を表示します。
- ●充電完了時
- ●充電待機中
- ●駆動用バッテリー暖房中
- ●V2H 給電中

(充電中に電装品を使用する際にも電装品の使用電力量によっては、充電所要時間 (推定) を --:-- で表示することがあります。)

② 現在の駆動用バッテリーの充電状態を表示します。

③ 充電コネクターロック状態を表示します。

→ 充電コネクターロック（P.3-11）

着信表示

J17406900029

●携帯電話をハンズフリー接続しているときに、着信すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

通話表示

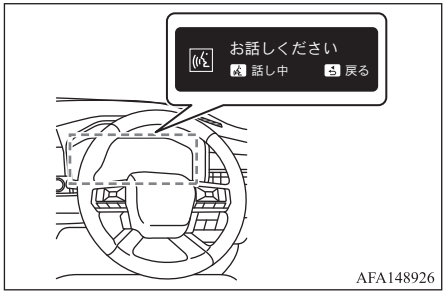
J17407000027

●携帯電話をハンズフリー接続しているときに、通話すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

音声操作表示

J17407100028

●スマートフォン連携ナビゲーションで音声操作を行うと、マルチインフォメーションディスプレイに音声操作表示をします。
音声操作については、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書をお読みください。

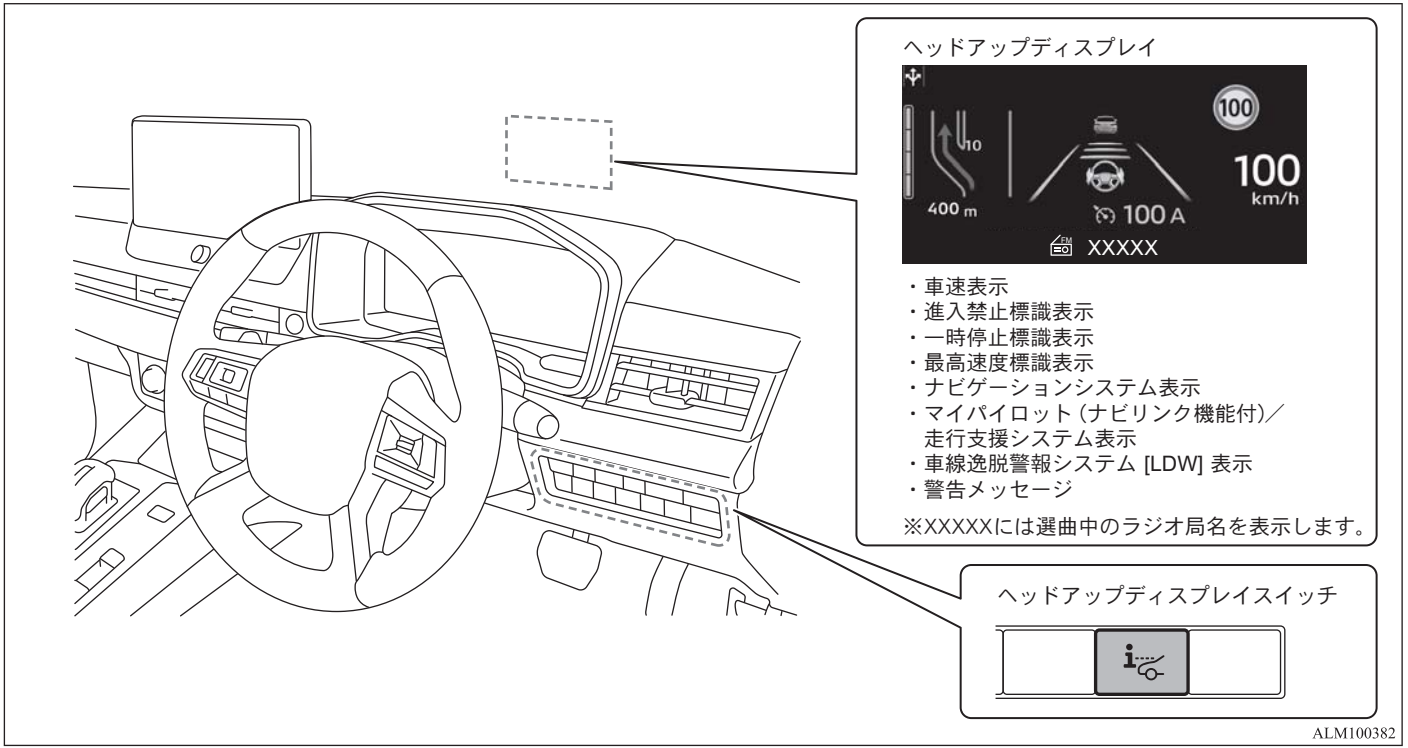


ヘッドアップディスプレイとは

タイプ別装備

J17407200032

ヘッドアップディスプレイは車速、走行支援システム、ナビゲーションのルートガイドなど、様々な機能の作動状態をフロントガラスに投影することができます。



走行支援機能画面

J17407300020

車速表示

J17407400034

- 走行速度を表示します。

ALA101284

進入禁止標識表示

J17407500035

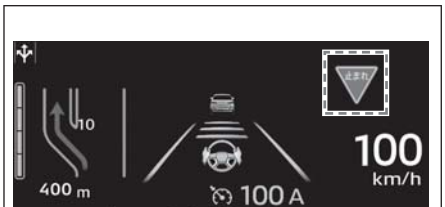
- 検知した進入禁止標識を表示します。

ALA101297

一時停止標識表示

J17407600036

- 検知した一時停止標識を表示します。

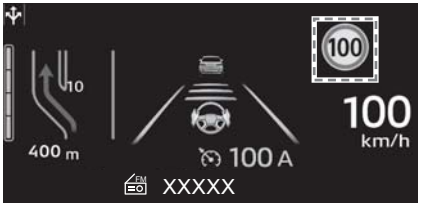


ALA101301

最高速度標識表示

J17407700037

- 検知した速度標識を表示します。

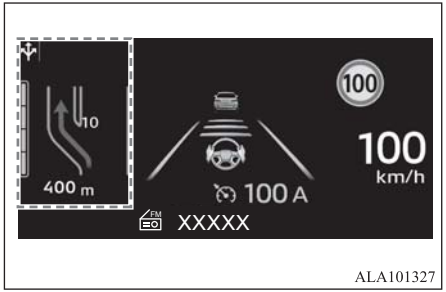


ALA101314

ナビゲーションシステム表示

J17407800038

- スマートフォン連携ナビゲーションで目的地を設定していると、スマートフォン連携ナビゲーションと連動し、次の右左折地点までの距離などを表示します。



ALA101327

5

マイパイロット（ナビリンク機能付）／走行支援システム表示

J17407900039

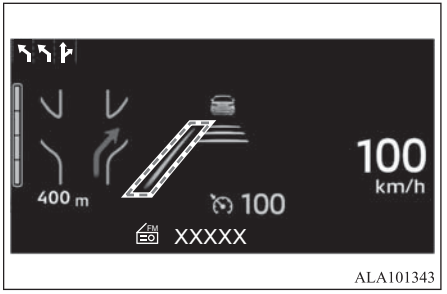
- マイパイロット（ナビリンク機能付）の作動状態、先行車や車線の検知状態を表示します。
  詳しくは、マイパイロット（ナビリンク機能付）の説明をお読みください。
  → マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46）

ALA101330

車線逸脱警報システム [LDW]

J17408000037

- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、LDW表示がオレンジ色に点滅します。
  詳しくは、車線逸脱警報システム [LDW]（→P.7-85）の説明をお読みください。

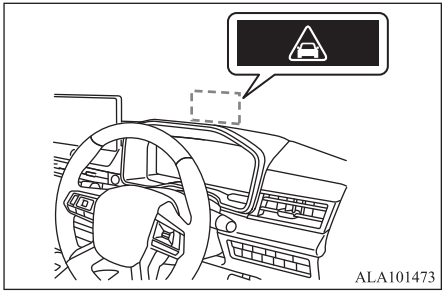


ALA101343

警告メッセージ

J17408100038

- 次のシステムが作動すると警告メッセージが表示されます。
  詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。
  - マイパイロット（ナビリンク機能付）（→P.7-46）
  - 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（→P.7-68）
  - 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（→P.7-76）
  - 車線維持支援機能 [LKA]（→P.7-61）
- 警告メッセージの表示画面については、（→P.9-34）をお読みください。


ALA101473

アドバイス

- ヘッドアップディスプレイスイッチがOFF の場合でも、警告メッセージは表示されます。

各種設定画面

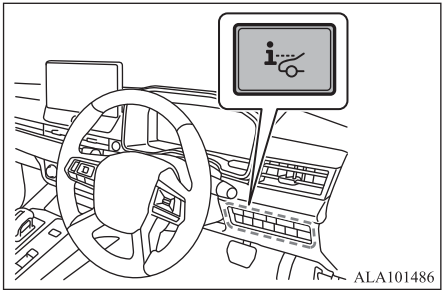
J17408200026

ON・OFF のしかた

J17408300030

- パワースイッチの電源モードがONのとき、ヘッドアップディスプレイスイッチを押すと表示します。
- ヘッドアップディスプレイスイッチを押すごとに、ON・OFF を切り替えることができます。

● ヘッドアップディスプレイスイッチの ON・OFF 設定は、プラグインハイブリッド EV システムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。



⚠注意

● **ヘッドアップディスプレイの明るさ、および表示位置を適正に調整する。**
運転者の視界が妨げられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

● **ヘッドアップディスプレイを見続けない。**
車両、歩行者、障害物などが見えにくくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

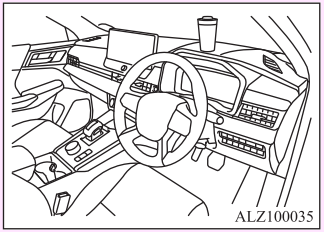
● **ヘッドアップディスプレイの調整は、必ず走行前に行う。**
走行中に調整すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

● ヘッドアップディスプレイの映写部に物を置いたり、シールなどを貼り付けたりしないでください。ヘッドアップディスプレイの表示の妨げとなります。

● ヘッドアップディスプレイ部には手を触れないでください。故障の原因となります。

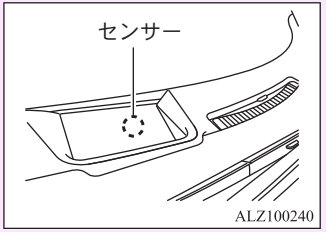
● ヘッドアップディスプレイ周辺には飲み物を置かないでください。液体がヘッドアップディスプレイの開口部にかかると車両故障の原因となる場合があります。



● ヘッドアップディスプレイの映写部に強く触れたり、とがったものを押し付けたりすると故障する原因になります。

⚠注意

● ヘッドアップディスプレイには、映像の明るさをコントロールするためのセンサーが内蔵されています。センサーを物で塞いでしまうとディスプレイが暗くなってしまい、表示が見えにくくなります。



● ヘッドアップディスプレイのセンサーに強い光を当てないでください。故障する原因になります。

アドバイス

● 偏光サングラスを着用すると表示が見えにくくなることがあります。

● 気象条件（雨、雪、太陽の光、温度など）によっては、表示が見えにくくなることがあります。

● マルチインフォメーションディスプレイの「表示項目選択」で選択されたメニューは、各システムと連動して、ヘッドアップディスプレイスイッチが OFF になっていても表示される場合があります。
詳しくは、(→P.5-35) をお読みください。

アドバイス

- 本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
  (1) パナソニック株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
  (2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
  (3) オープンソースソフトウェア
  上記 (3) に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス情報が適用される様々なソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。
  → ソフトウェア (P.10-30)
  また、下記 web サイトにもライセンス情報が記載されています。
  http://car.panasonic.jp/oss/j03llnna

ヘッドアップディスプレイの調整のしかた

J17408400028

- マルチインフォメーションディスプレイで、ヘッドアップディスプレイの表示を調整することができます。
  →ヘッドアップディスプレイ (P.5-35)

アドバイス

- ヘッドアップディスプレイは走行環境に合わせて、フロントガラスに投影する画像の明るさを自動で調整します。

イルミネーションコントロール

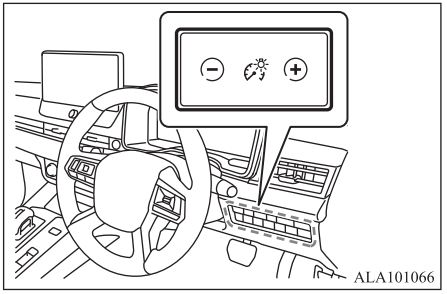
J17408500029

メーターの明るさの調節のしかた

J17408600033

パワースイッチの電源モードが ON のとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



アドバイス

- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。

アドバイス

- 補機用バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

キー
キー（キーレスオペレーションキー） 6-2
キー（キーレスオペレーションキー）に関する
注意事項 6-4

ドアの施錠と解錠
ドア 6-5
テールゲート 6-9
エレクトリックテールゲート 6-11
シートの調節 6-20

シートの調節
フロントシート 6-21
リヤ（セカンド）シート 6-28
サードシート 6-32

ハンドルの調節
ハンドル 6-34

ミラーの調節
ミラーの調節 6-34
ルームミラー 6-34
デジタルルームミラー (フレームレス) 6-35
ドアミラー 6-40
窓ガラスの開閉 6-42

窓ガラスの開閉
パワーウインドウ 6-42
電動パノラマサンルーフ 6-44

充電リッドの開閉
充電リッド 6-47

フューエルリッド（燃料補給口）の開閉
フューエルリッド（燃料補給口） 6-49

エアコンの操作
各スイッチの名称と機能 6-52
吹き出し口 6-58
エアコンの上手な使いかた 6-59
エアコンを使うときに注意すること 6-59
リモートエアコン 6-61

オーディオ
オーディオの使いかた 6-61
ステアリングスイッチ 6-62

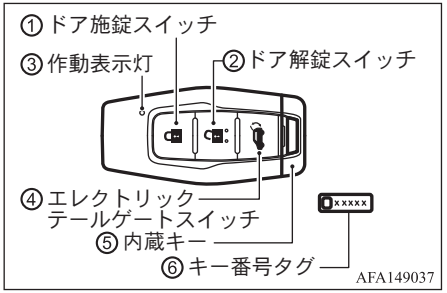
キー（キーレスオペレーションキー）

J17500100033

キーを携帯するだけでドア、テールゲート、充電リッドの施錠・解錠およびプラグインハイブリッド EV システム起動操作ができます。ドアの施錠・解錠のしかたは（→P.6-5）、テールゲートの施錠・解錠のしかたは（→P.6-9）、充電リッドの施錠・解錠のしかたは（→P.6-48）、起動操作は（→P.9-15）をお読みください。

各部名称と機能

J17500200034



① **ドア施錠スイッチ**
全ドア、テールゲートおよび充電リッドが施錠されます。

② **ドア解錠スイッチ**
全ドア、テールゲートが解錠されます。

- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅灯
施錠	—	1 回点滅
解錠	—	2 回点滅

③ **作動表示灯**
各スイッチを押すと点滅します。

④ **エレクトリックテールゲートスイッチ（タイプ別装備）(→P.6-13)**
エレクトリックテールゲートの開閉ができます。

アドバイス

- 次の条件がそろったとき、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使用した運転席ドアの解錠に連動して充電リッドが解錠します。
  - •READY（走行可能）表示灯が消灯しているとき
  - •シフトポジションがPのとき
- キーは 2 個ついています。

アドバイス

- キーは同じ車両で最大 4 個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 作動表示灯が点滅しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。
  → キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換（P.10-13）
- キーの電池が切れても、ドアの施錠･解錠やプラグインハイブリッド EV システムの起動を行うことができます。
  → ドアが開かないときは（P.9-11）
  → キーレスオペレーションキーで起動できないときは（P.9-15）

⑤ **内蔵キー（エマージェンシーキー）**
キーの電池が切れたときや、補機バッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
→内蔵キー(エマージェンシーキー）でのドアの開けかた（P.9-11）

⑥ **キー番号タグ**
キーを紛失した場合、キー番号から三菱自動車販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。

アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定 ⚙」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「ドア限定アンロック」を選択すると、解錠スイッチを押したときに、運転席ドアのみ解錠する設定にも変更できます。(→P.6-4)
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 車両設定（P.5-37）
- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。三菱自動車販売会社にご相談ください。
  → キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換（P.10-13）
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（エマージェンシーキー）で施錠・解錠ができます。
  → 内蔵キー（エマージェンシーキー）でのドアの開けかた（P.9-11）
- 次のような場合は、キーのスイッチを押しても作動しません。
  - パワースイッチの電源モードがONのとき
  - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
    （解錠のみできます）
  - 車から離れすぎているとき
  - キーの電池が切れているとき

アドバイス

タイマー機構

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約 30 秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

ドアミラー自動格納 / 復帰機能

- ドアの施錠・解錠に連動させて、ドアミラーを格納・復帰することができます。詳しくは (→P.6-41) をお読みください。

キー（キーレスオペレーションキー）に関する機能について

J17500300022

アンサーバック機能

J17511000029

- ドアの施錠･解錠時に、作動確認のために非常点滅灯が作動します。（施錠時 1 回、解錠時 2 回）

ウェルカムライト

J17511100033

- ドアの施錠･解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。(施錠時約10秒、解錠時約 30 秒)
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定 ⚙」⇒「車両設定」⇒「ライト / 照明」⇒「ウエルカムライト」を選択すると、ウェルカムライト機能の設定を変更することができます。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー) (P.5-14)
  → 車両設定（P.5-37）

キー連動室内照明システム

J17511200021

- ドアを解錠すると､室内照明が約15秒間点灯します。

タイマー機構

J17511300022

- 解錠スイッチを押してから約 30 秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため全ドアが施錠されます。
  (施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約 30 秒後に施錠されます。)

運転席ドア限定アンロック機能

J17511400023

●運転席以外のドアからの不正侵入を防止するため、キーレスエントリー機能、またはキーレスオペレーション機能で解錠されるドアを運転席のみに限定することができます。
キーレスオペレーションキーのドア施錠スイッチとドア解錠スイッチを同時に 4 秒以上長押しするか、マルチインフォメーションディスプレイの設定 ⚙ から変更することができます。
詳しくは、車両設定（→P.5-37）をお読みください。

キー（キーレスオペレーションキー）に関する注意事項

J17500500024

⚠警告

●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→ 心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項（P.4-5）をお読みください。

⚠警告

●航空機内ではキーのスイッチを押さない。
万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

●キーは運転者が必ず携帯してください。
●キーは、必ず内蔵キー（エマージェンシーキー）を内蔵した状態で携帯してください。
●キーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
●キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
●キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
・近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき

アドバイス

・無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき
・キーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
・近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
・キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
・コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
・近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
・極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
●キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
・電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
・日本国内のみで使用する
●キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約 2 年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
→ キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換（P.10-13）
●キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

アドバイス

- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  - 長時間高温になる場所に置かない
  - 分解しない
  - 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
  - 水にぬらさない
  - 超音波洗浄器などにかけない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
  - テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- キーレスオペレーションキーは、常時受信動作をしているため、強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ、パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。
- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。

ドア

J17500600025

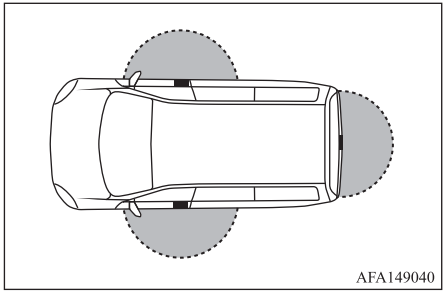
ドアハンドルのスイッチやキー（キーレスオペレーションキー）のスイッチで施錠・解錠します。
施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

ドアの施錠･解錠の作動範囲

J17511800027

作動範囲は各ドアハンドルから周囲約70cm 以内です。作動範囲は各ドアハンドルを中心に球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
キーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠･解錠できます。

- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずパワースイッチの電源モードを OFF にして施錠してください。

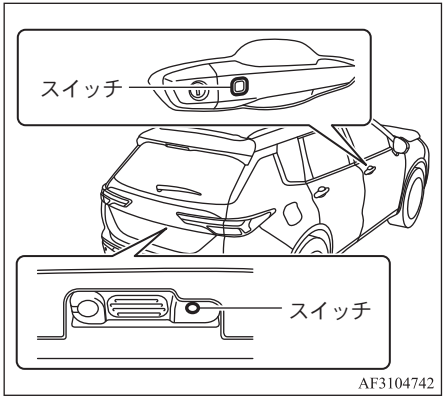


ドアハンドルのスイッチでの施錠･解錠のしかた

J17500700039

- キーを携帯し、運転席ドアまたはテールゲートにあるスイッチを押すとすべてのドア、テールゲートが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲 70cm 以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅灯
施錠	1 回	1 回点滅
解錠	2 回	2 回点滅



⚠注意

- **ドアハンドルのスイッチを使用してドアをロックするときは、キーが車両に残らないように、スイッチを操作する前に必ずキーを携帯してください。**
- **ドアハンドルのスイッチは、キーの電波が検出された場合にのみ動作します。**
- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。
- 必ずキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。車内の次の場所などにキーを置いたままでも、周囲の環境または電波状態などにより、施錠されることがあります。

⚠注意

- グローブボックスなどの小物入れ
- インストルメントパネル周辺
- ドアポケット
- ラゲッジルーム

アドバイス

- 次の条件がそろったとき、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使用した運転席ドアの解錠に連動して充電リッドが解錠します。
  - READY（走行可能）表示灯が消灯しているとき
  - シフトポジションがPのとき
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「ドアハンドルスイッチ」を選択すると、ドアハンドルのスイッチでの施錠･解錠機能のON･OFFを切り替えることができます。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）

アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「ドア限定アンロック」を選択すると、スイッチを押したときに、運転席のドアのみ解錠する設定にも変更できます。
  →（P.6-4）
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）
- 次のような場合は、作動しません。
  - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
  - キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
  - キーの電池が切れているとき

タイマー機構

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドアハンドルのスイッチを押して解錠したときは、約 30 秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

衝撃感知ドアロック解除システム

アドバイス

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、車両が前後方向、または側面から強い衝撃を受けるとシステムが作動し、約 3 秒後に全ドアが自動的に解錠されます。衝撃の強さなどによっては、作動しないことがあります。システム作動後にシステムを解除させる（ドアをロックする）には、一旦パワースイッチの電源モードを OFF にしてください。

車速感応オートドアロック

- 車速が約 15km/h 以上になる、またはシフトポジションがⓅ以外の位置になると、全ドアが自動的に施錠されます。
- パワースイッチの電源モードを OFF にする、またはシフトポジションがⓅの位置になると、全ドアが自動的に解錠されます。
- 車速感応オートドアロックの作動・非作動を切り替えることができます。（工場出荷時は「作動」に設定されています。）
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）
  また、次の手順でも設定を切り替えることができます。ただし、車両設定の項目で「シフトを P からはずす」に設定している場合は、切り替えることができません。
  1. 全ドアを閉めます。
  2. パワースイッチの電源モードを ON にします。
  3. パワースイッチの電源モードを ON にしたあと、20 秒以内にドアロックスイッチの施錠側を 5 秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。
     作動：非常点滅表示灯が 2 回点滅
     非作動：非常点滅表示灯が 1 回点滅

ドアミラー自動格納 / 復帰機能

- ドアの施錠・解錠に連動させて、ドアミラーを格納・復帰することができます。詳しくは (→P.6-41) をお読みください。

キーのスイッチでの施錠･解錠のしかた

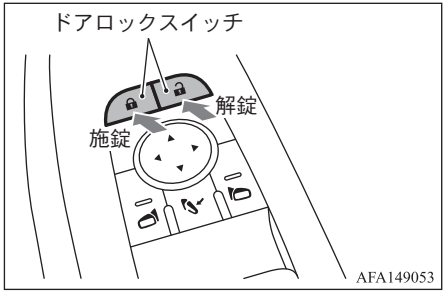
J17500800030

キーのスイッチで施錠・解除ができます。
→ 各部名称と機能（P.6-2）
→ キー（キーレスオペレーションキー）に関する機能について（P.6-3）

ドアロックスイッチでの施錠･解錠のしかた

J17500900031

- 施錠するときは、施錠側🔒のドアロックスイッチを押します。
- 解錠するときは、解錠側🔓のドアロックスイッチを押します。



アドバイス

- ドアロックスイッチを押すと、すべてのドア、テールゲートが施錠または解錠します。
- 次の条件がそろったとき、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使用した運転席ドアの解錠に連動して充電リッドが解錠します。
  - READY（走行可能）表示灯が消灯しているとき
  - シフトポジションがⓅのとき

⚠注意

- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のためドアロックスイッチを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

⚠注意

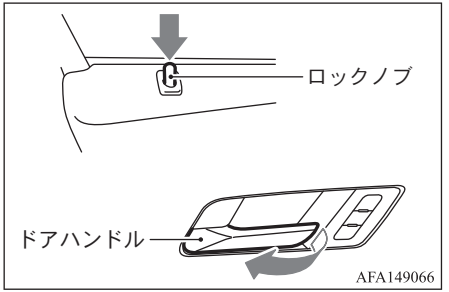
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。詳しくは、→ プラグインハイブリッド EV システムの起動や充電ができないときは（P.9-14）をお読みください。

ロックノブでの施錠･解錠のしかた

J17501000026

施錠するには

- 施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。



⚠注意

- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のため運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

解錠するには

- 運転席ドアを解錠するときは、解錠するドアの車内側ドアハンドルを引くと、解錠と同時にドアが開きます。
- 助手席ドア、リヤドアを解錠するときは、解錠するドアの車内側ドアハンドルを引きます。

キーを使用しない施錠のしかた

J17501100027

助手席、後席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

チャイルドプルーフ

J17501200028

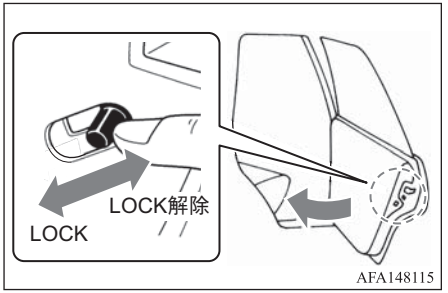
リヤ（セカンド）シートに乗せたお子さまなどが、誤って後席のドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

ドアを開けるには

- 解錠しているとき、車外からドアハンドルを引きます。



アドバイス

- 万が一、車室内から開ける場合は、ドアロックノブが解錠していることを確認し、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

ドアに関する注意事項

J17501300029

⚠警告

- **ドアの開閉はお子さまにはさせない。**
  手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
  後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にドアを確実に閉める。**
  走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **車から離れるときは、火災や盗難などを未然に防ぐため、必ずプラグインハイブリッド EV システムを停止してからドアを施錠する。**
  法的にも義務付けられています。お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

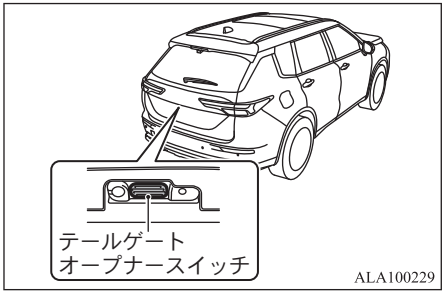
テールゲート

J17501400020

テールゲートの開けかた

J17501500034

- 解錠されているときは、テールゲートオープナースイッチを押し、テールゲートを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キーを携帯してテールゲートオープナースイッチを押し、テールゲートを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）



⚠注意

- テールゲートオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。

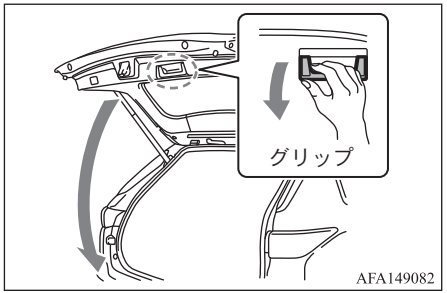
アドバイス

- テールゲートオープナースイッチを押した後すぐに開けないと、テールゲートは持ち上がりません。持ち上がらない場合はもう一度スイッチを押してテールゲートを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり、バッテリー端子を外しているときは、テールゲートを開けることはできません。

テールゲートの閉めかた

J17501600022

- グリップに手を掛け、テールゲートを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



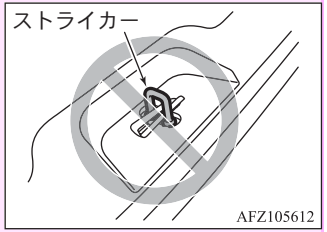
⚠注意

- **テールゲートのグリップに手をかけたまま直接テールゲートを閉じない。**
  手や腕をはさみ、けがをするおそれがあります。

6

⚠注意

●テールゲートを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやテールゲートのロックが破損し、テールゲートが閉まらなくなるおそれがあります。



6

テールゲートに関する注意事項

J17501700036

⚠警告

●**テールゲートの開閉はお子さまにはさせない。**
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

●**テールゲートを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。

⚠警告

●**ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。**
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

●**走行前にテールゲートが確実に閉まっていることを確認する。**
テールゲートを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

●**テールゲートや車体側に手を触れたままテールゲートを閉めない。**
手を挟まれてケガをするおそれがあります。

●**テールゲートを閉めるときは、テールゲートのふちやその周辺に手をかけない。**
手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。

●**テールゲートを開ける前に、テールゲートに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。**
重量物が付いたままテールゲートを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。

⚠警告

●**テールゲートを開けたときは、テールゲートが必ず全開で停止していることを確認してください。途中までしか開いていないと、突然閉まるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもテールゲートの開閉がしにくかったり、急に開いたり閉じたりするおそれがあります。**

⚠注意

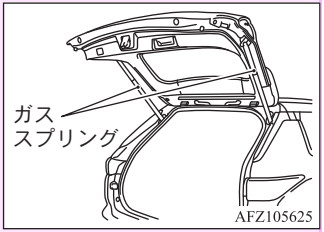
●**ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たない。**
排気熱によりやけどをするおそれがあります。

●**風が強いときにテールゲートを開ける場合は特に注意する。**
風にあおられ、急に閉まることがあります。

テールゲートガススプリングについて

⚠注意

- **テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。**



損傷や作動不良を防止するため、つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手を掛けてテールゲートを閉めたり、押したり引いたりしないでください。
- ビニール片、テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物を掛けないでください。

- **テールゲートが損傷しないように、テールゲートを開ける前にテールゲートの上や後ろに障害物がないか確認してください。**

エレクトリックテールゲート

タイプ別装備

J17501800024

エレクトリックテールゲートは、テールゲートを自動的に開閉することができます。

エレクトリックテールゲートの機能について

J17501900025

エレクトリックテールゲートは、次の方法でテールゲートを開閉することができます。

運転席側エレクトリックテールゲートスイッチ

- 運転席側エレクトリックテールゲートスイッチでテールゲートの開閉ができます。（→P.6-13）

エレクトリックテールゲート開閉スイッチ

- キー（キーレスオペレーションキー）のスイッチでテールゲートの開閉ができます。（→P.6-13）

テールゲートオープナースイッチ

- テールゲートオープナースイッチでテールゲートを開けることができます。（→P.6-14）

ハンズフリーセンサー（タイプ別装備）

- 車体中心付近のリヤバンパーの下側に足先を出し入れするだけで、スイッチなどを押さずにテールゲートの開閉ができます。（→P.6-14）

エレクトリックテールゲートクローズスイッチ

- エレクトリックテールゲートクローズスイッチでテールゲートを閉めることができます。（→P.6-15）

エレクトリックテールゲートクローズアンドロックスイッチ

- エレクトリックテールゲートクローズアンドロックスイッチでテールゲートを閉めると同時にロックすることができます。（→P.6-15）

また、エレクトリックテールゲートには、次の機能があります。

セーフティー機構

オート作動中に手を挟むなど、挟み込みや引っかかりを検知すると、安全のため反対方向に作動します。(→P.6-15)

テールゲートイージークローザー

テールゲートを半ドア状態まで閉めると、自動的に全閉します。(→P.6-16)

停止位置メモリー機能

オート作動時にテールゲートを途中までしか開かなくすることができます。屋根の低い場所で開閉するときなどに、天井にテールゲートがぶつからないように設定できます。
(→P.6-17)

アドバイス

- オート作動でテールゲートが閉まるときは、半ドア位置までテールゲートが閉まると、テールゲートイージークローザー機能で全閉します。(→P.6-16)
- テールゲートイージークローザー機能が作動しているときに、テールゲートオープナースイッチや、キーレスオペレーションキー、運転席エレクトリックテールゲートスイッチ、ハンズフリーセンサーの操作を行うと、イージークローザー機能の作動を停止し、テールゲートが全閉しない場合があります。
- オート作動の開始時にはブザーが鳴ります。
- エレクトリックテールゲート機能が ON のとき、テールゲートを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。(停車またはテールゲートを閉めると鳴り止みます。)

エレクトリックテールゲートの作動について

J17502000036

- オート作動は、以下の条件が満たされたときに作動させることができます。
  - マルチインフォメーションディスプレイ内でエレクトリックテールゲートが ON に設定されているとき
    → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー)(P.5-14)
    → 車両設定(P.5-37)
  - 車両が停止し、シフトポジションがⓅのとき

注意

- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。
- シフトポジションが Ⓟ になってないと運転席側エレクトリックテールゲートスイッチによる開操作は行えません。

アドバイス

- 補機用バッテリーが弱っている(電圧が 11V 未満)ときは作動しません。

エレクトリックテールゲートの使いかた

J17502100037

マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「エレクトリックテールゲート」を選択すると、オート開閉機能のON･OFFを切り替えることができます。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー)(P.5-14)

→ 車両設定（P.5-37）

⚠警告

● 開閉作動中にエレクトリックテールゲート機能を OFF にしたときは、作動が停止して手動操作に切り替わります。このとき、エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがあります。

アドバイス

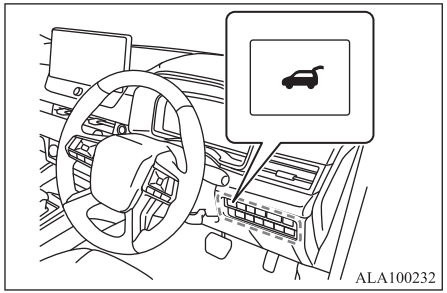
- エレクトリックテールゲート機能を OFF にしてもテールゲートイージークローザーは作動します。
- エレクトリックテールゲートは、次の条件下では正常に動作しません。
  - 急な坂道に駐車したとき
  - 強風のとき
  - 雪で覆われているとき

運転席側エレクトリックテールゲートスイッチによる開けかた･閉めかた

J17502200038

開閉操作をするときは、テールゲート周囲の安全を確認してください。

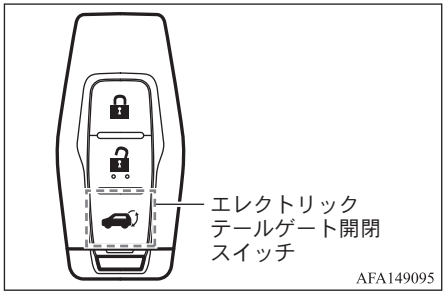
- テールゲート全閉時にスイッチを約1秒間押すと、テールゲートが自動的に開きます。
  テールゲートが施錠されているときは、解錠され自動的に開きます。
- テールゲート全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約 1 秒間押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。



キー（キーレスオペレーションキー）のスイッチによる開けかた･閉めかた

J17502300026

- 車に近づき、キーのスイッチを約 1 秒以上押します。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約 1 秒以上押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。



アドバイス

- テールゲートが施錠されていても作動します。
- パワースイッチの電源モードが ON のときはキーのスイッチでの開閉はできません。

テールゲートオープナースイッチによる開けかた

J17502400027

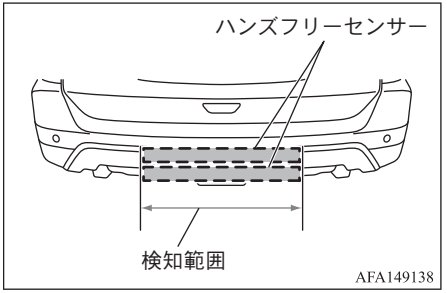
- テールゲートが施錠時にキーを携帯し、テールゲートオープナースイッチを押すとテールゲートが自動的に開きます。
- テールゲートが施錠されていないときは、キーを携帯していなくてもテールゲートオープナースイッチを押すとテールゲートが自動的に開きます。
- オート開作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを押すと全閉して停止します。
  → テールゲートの開けかた（P.6-9）

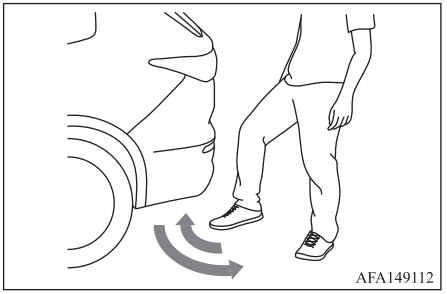
ハンズフリーセンサーによる開けかた

タイプ別装備

J17502500028

- リヤバンパー下部のセンサーによって足の動きを感知し、テールゲートの開閉を自動的に行います。
- キー（キーレスオペレーションキー）を携帯し、車体中心付近のリヤバンパーの下側に足先を入れてすぐに引くと自動的に開閉します。
  （リヤバンパーの下に足を入れたままにしていると作動しません。）
- 施錠時は全ドアが同時に解錠し、テールゲートが自動で全開します。
- オート作動中に、足先を入れて引く動作を行うと、その位置でオート作動を停止します。再度、足先を入れて引く動作を行うと、作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。





⚠注意

- **トレーラーヒッチメンバー装着車でけん引の際は、脱落防止チェーンや着脱作業をセンサーが検知することによる、不意のゲート開閉作動を防止するため、エレクトリックテールゲートをOFFにしてください。**

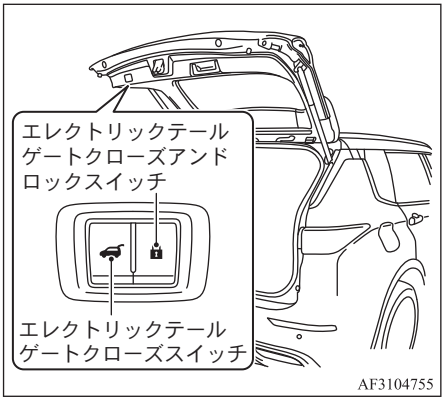
アドバイス

- ハンズフリーセンサー周辺が汚れている場合は作動しない場合があります。きれいな布で拭いてください。
  → エレクトリックテールゲートに関する注意事項（P.6-18）
- センサー周辺に水をかけると誤作動するおそれがあります。

エレクトリックテールゲートクローズスイッチによる閉めかた

J17502600029

- テールゲートが開いているときスイッチを押すと、自動的に全閉します。このとき、警報音が鳴ります。
- オート閉作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。



エレクトリックテールゲートクローズアンドロックスイッチによる閉めかた

J17502700020

- テールゲートが開いているとき、キー（キーレスオペレーションキー）を携帯し、スイッチを押すと自動的に全閉してロックします。
- オート閉作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。

アドバイス

- 車から離れるときは、全てのドアおよびテールゲートが施錠されていることを確認してください。

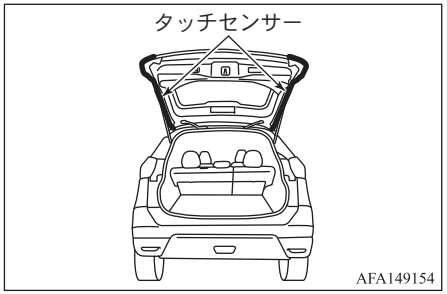
アドバイス

- クローズ＆ロック機構が作動中に次の操作をすると、エレクトリックテールゲートが反対方向に作動、または停止し、全てのドアおよびテールゲートが解錠されます。
  - セーフティ機構が作動したとき
  - エレクトリックテールゲートの開閉操作をしたとき
- クローズ＆ロック機構が作動中に、解錠操作をすると、全てのドア及びテールゲートは解錠され、エレクトリックテールゲートは全閉位置まで閉まります。
- 車内にキーレスオペレーションキーを置いたまま、クローズ＆ロック機構を作動させると、警告ブザーが鳴り、全てのドア及びテールゲートの施錠ができません。必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

セーフティー機構について

J17502800021

- テールゲートがオート作動中に、挟み込み、引っ掛かりなどを感知すると、テールゲートが反対方向に動き、全開または全閉して停止します。
- テールゲートがオート閉作動中にテールゲート左右端部のタッチセンサーに触れると、テールゲートが反対方向に動き、全開位置で停止します。



⚠注意

- **手などを挟まないように十分注意する。**
  挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。
- **次の場合はセーフティー機構が働かないようになってるので、手や指などをはさまないように注意する。**
  - 閉め切り直前（エレクトリックテールゲートを確実に閉めるため）
  - エレクトリックテールゲートを手動で閉めるとき

⚠注意

- **連続してセーフティー機構が働いた場合は、手動操作に切り替わることがあるので注意する。**
  このとき、エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがあります。
  手動操作に切り替わった場合は、エレクトリックテールゲートを一度全開または全閉すれば元通りに自動操作ができるようになります。
- テールゲート左右端部のタッチセンサーを傷つけないでください。タッチセンサーが切断されると、オート（自動開閉）機能は作動しなくなります。
- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためにすみやかに三菱自動車販売会社に連絡をしてください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知するとテールゲートは反転せずに停止することがあります。
- 挟み込み防止機構が繰り返し作動すると、テールゲートが停止します。その場合は、テールゲートを手動で閉めてください。
- テールゲートがオート作動時に乗り降りなどで車両が揺れると、テールゲートが反転することがあります。

テールゲートイージークローザーについて

J17502900022

- テールゲートイージークローザーは、自動的にテールゲートを全閉させる機能です。
  閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。

⚠注意

- **テールゲートイージークローザー作動中に手や指などをはさまないように注意する。**
  作動中に手や指などをはさみそうになったときは、エレクトリックテールゲートのテールゲートオープナースイッチを押すか、ハンズフリーセンサーを作動させてください。エレクトリックテールゲートが半ドアの位置まで戻ります。
- **エレクトリックテールゲート内側のラッチに触れない。**
  テールゲートイージークローザーが作動してラッチで指などをはさむおそれがあります。
- 次のような場合はテールゲートイージークローザーが作動しません。マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されているときは、テールゲートを一旦開け再度閉め直してください。
  - テールゲートを開けて0.5秒以内に閉めたとき
  - テールゲートオープナースイッチを押したあと、テールゲートを開けなかったとき
- 補機用バッテリーが弱っているとイージークローザーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかプラグインハイブリッド EV システムを起動してから閉め直してください。
- イージークローザーの故障によりテールゲートが閉まりきらないときは、テールゲートを一旦開け、再度手で閉めてください。
- 荷物の積みすぎなどによりイージークローザーで閉めきれない状態を繰り返すと、イージークローザーが作動しなくなります。そのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- エレクトリックテールゲート機能が OFF のときでもテールゲートイージークローザーは作動します。
- 環境や走行条件により、手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると、セーフティ機構が働くことがあります。

停止位置メモリー機能について

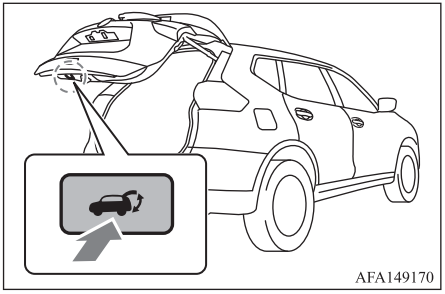
J17503000020

テールゲートを自動で開くとき、お好みの高さでテールゲートを止める機能です。

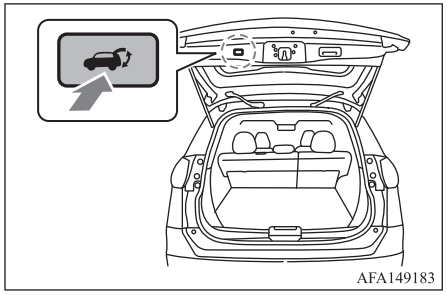
停止位置メモリー機能の設定 / 解除のしかた

J17503100034

1. セレクターレバーの (P) スイッチを押してシフトポジションをⓅにします。
2. 設定する場合：設定したい高さの位置までテールゲートを開け、エレクトリックテールゲートクローズスイッチを約 3 秒押し続けます。



3. 解除する場合：全開位置までテールゲートを手動で開けて、エレクトリックテールゲートクローズスイッチを約 3 秒押し続けます。



4. ブザーが 2 回鳴れば設定 / 解除完了です。
   設定した場合：オートで開くと、テールゲートが設定した高さで停止します。

⚠注意

- **テールゲートの止まる位置を床面から 1,400mm 以下の高さに設定しない。**
  テールゲートの止まる位置を床面から 1,400mm 以下に設定しても、自動的に床面から 1,400mm の高さに設定されます。設定した高さよりも開くため、思わぬケガや破損につながるおそれがあります。

正常に作動しないとき

J17503300036

エレクトリックテールゲートがオートで動かないときは、つぎの内容を確認してください。

- 連続作動後に動かないときは、エレクトリックテールゲートを約 5 分間以上作動させずに放置した後、作動させます。
- エレクトリックテールゲートが開いた状態のときは、一度手動で閉めてから作動させます。
- 補機用バッテリーが弱っている（電圧が 11V 未満）と、エレクトリックテールゲートがオート開閉できないことがあります。その場合は、プラグインハイブリッド EV システムを起動してから作動させます。
- エレクトリックテールゲートが開いているときにヒューズを交換すると、自動的に閉じることができません。このとき、エレクトリックテールゲート機能を一度 OFF にしてから再度操作をしてください。
- エンジンルーム内にあるヒューズボックスを確認します。
  ヒューズの交換のしかた（→P.9-70）

ヒューズを交換した後も、エレクトリックテールゲートのヒューズが切れるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

- マルチインフォメーションディスプレイ内でエレクトリックテールゲートがONになっていることを確認してください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー)(P.5-14)
  → 車両設定（P.5-37）
- ハンズフリー機能を使うときは、キーレスオペレーションキーを携帯しているか確認してください。
- ハンズフリー機能を使うときは、センサー位置および足の動かしかたが正しいか確認してください。
  → ハンズフリーセンサー(タイプ別装備）による開けかた（P.6-14）
- ハンズフリー機能を使うときは、リヤバンパーに足が接触しないようにしてください。センサーが正しく機能しない場合があります。
- ハンズフリー機能は電波塔付近などの電波環境下では正常に作動しないことがあります。その場合はテールゲートオープナースイッチ、またはエレクトリックテールゲートクローズスイッチを押して開閉してください。
- ハンズフリーセンサーが作動しないときは、次の操作を確認します。

•テールゲートのスイッチが作動することを確認します。
•再度ハンズフリーセンサーの作動を確認します。
•作動しないときは、一度補機用バッテリーのマイナス端子を外してリセットし、再度確認します。

上記操作を行っても作動しないときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

- ドアハンドルのスイッチでの施錠･解錠機能を OFF にすると、テールゲートのスイッチによる解錠機能やハンズフリー機能も OFF になります。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー)(P.5-14)
  → 車両設定（P.5-37）

エレクトリックテールゲートに関する注意事項

J17503400024

⚠注意

- **確実に停車している状態で開閉操作をする。**

⚠注意

- **開閉操作をするときは、エレクトリックテールゲート周囲の安全を十分確認する。**
  エレクトリックテールゲートに当たり、ケガをしたり物を損傷するおそれがあります。
- **車が大きく傾いている状態ではオート作動をしない。**
- **オート作動中にエレクトリックテールゲートを押したり引いたりしない。**
  反転して挟まれたり、エレクトリックテールゲートに当たりケガをするおそれがあります。

ハンズフリーセンサーについて

- **足以外でも、キーレスオペレーションキーを携帯したままハンズフリーセンサーに物を近づけると、エレクトリックテールゲートが開閉することがあるので注意する。**
  ハンズフリーセンサーが反応してエレクトリックテールゲートが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。
- **洗車、ワックス掛け、整備を行うとき、ボディーカバーを付け外しするとき、ハンズフリーセンサー周りに水を掛けるときなどは、エレクトリックテールゲート機能を OFF にする。**
  ハンズフリーセンサーが反応してエレクトリックテールゲートが突然開き、思わぬケガをするおそれがあります。

⚠注意

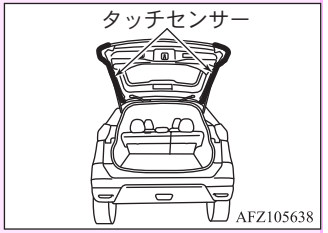
- **エレクトリックテールゲート付近にキーレスオペレーションキーを携帯した人がいた場合、キーを携帯していない人がハンズフリーセンサーを使用して、エレクトリックテールゲートを開閉できる場合があるので注意する。**
  思わぬケガをするおそれがあります。
- **マフラー付近で足を出し入れする場合は、やけどしないように注意する。**
  マフラー付近は排気の熱で熱くなっている場合があります。
- **坂道や未舗装路、凍結した路面などで足を出し入れするときは注意する。**
  転んで思わぬケガをするおそれがあります。
- **大雨などでリヤバンパーに大量の水がかかっているときは、キーを動作範囲内に持ち込まない。**
  ハンズフリーセンサーが反応してエレクトリックテールゲートが突然開き、思わぬケガをするおそれがあります。
- **トレーラーヒッチメンバー装着車でけん引の際は、脱落防止チェーンや着脱作業をセンサーが検知することによる、不意のゲート開閉作動を防止するため、エレクトリックテールゲートをOFFにしてください。**
- **エレクトリックテールゲートを開閉するときは、無理な力を加えないでください。**
- **足を動かすときはリヤバンパーとハンズフリーセンサーを傷つけないように注意して下さい。**

⚠注意

- 連続で開閉動作を行うと、安全装置が働き一定時間自動開閉できなくなることがあります。その場合は、少し時間をおいてから再度開閉してください。
- プラグインハイブリッド EV システム停止時に何回も作動させないでください。補機用バッテリーがあがりプラグインハイブリッド EV システムの始動ができなくなります。
- オート作動中はプラグインハイブリッド EV システムを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、エレクトリックテールゲートが全閉していることを確認してください。閉作動中に発進すると、反転して開き出すおそれがあります。
- 次の場合は、エレクトリックテールゲート機能を OFF にしてください。
  - エレクトリックテールゲートが故障したとき
  - エレクトリックテールゲートを長時間開けたままにするとき
  - 洗車や整備を行うとき
  - 手動で使用するとき

⚠注意

- エレクトリックテールゲート左右端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されるとオートで作動しなくなります。また、オート閉作動中に切断されると、ドアが作動停止します。その後のオート閉作動もしません。



- 補機用バッテリーあがりなどでエレクトリックテールゲートへの電源供給が断たれたときや、オート作動中に反転作動（挟み込み防止機構を含む）を連続して作動させたときは、正常に作動しなくなることがあります。その場合は、一旦手動でエレクトリックテールゲートを完全に閉めてください。

ハンズフリーセンサーについて

- 次のような使用環境では、ハンズフリーセンサーが反応せず、正常に作動しない場合があります。
  - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
  - コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）

6

⚠注意

- ゴム長靴など、電気を通しにくい物を履いているとき
- 洗車、雨等によりリヤバンパーに水が付着した場合

●次のような足の動かしかたでは、ハンズフリーセンサーが反応せず、正常に作動しない場合があります。
- 検知範囲内に足を入れたままにしているとき
- 足を左右に動かしたとき
- 足の動かしかたが早過ぎたとき

●ハンズフリーセンサー付近に、メッキ部品や金属部品などを貼ったり組み付けたりしないでください。ハンズフリーセンサーが反応せず、正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

●閉作動時、半ドア位置までエレクトリックテールゲートが閉まると、イージークローザー機能で全閉します。
→ テールゲートイージークローザーについて（P.6-16）

●テールゲートが開くときに、ブザーが鳴ります。

●テールゲートが閉じるときに、ハザードランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

アドバイス

●エレクトリックテールゲート機能が ON のとき、エレクトリックテールゲートを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。（停車またはエレクトリックテールゲートを閉めると鳴り止みます。）

シートの調節

J17511500037

⚠警告

●**シートは必ず走行前に調節する。**
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●**シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。**
固定されていないと突然姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●**背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。**
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

●**シートの下に物を置かないでください。**
物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シートなどの故障の原因になります。

フロントシート

⚠警告

●**背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。**
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

●**シートの調整は必ず大人が行う。**
お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。

●**シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。**
挟まれてケガをするおそれがあります。

●**シートの下に手を入れるときは注意する。**
車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

●**背もたれを起こすときや角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。**
顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

フロントシート

⚠注意

- **リヤ（セカンド）シートを折りたたんだ状態でフロントシートを調整するときは、折りたたんだリヤ（セカンド）シートに強い力が掛からないように注意する。**
  無理にフロントシートを調整すると、フロントシートのカバーに穴が開いたり、リヤ（セカンド）シートクッションの取り付け金具が変形するおそれがあります。

サードシート

- **記載の操作手順と異なる順番で操作しない。**
  挟まれてケガをするおそれがあります。
- **シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。**
  シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- **背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれで挟み込んでいないことを確認する。**
  挟み込まれていると、シートベルトが正しく着用できません。

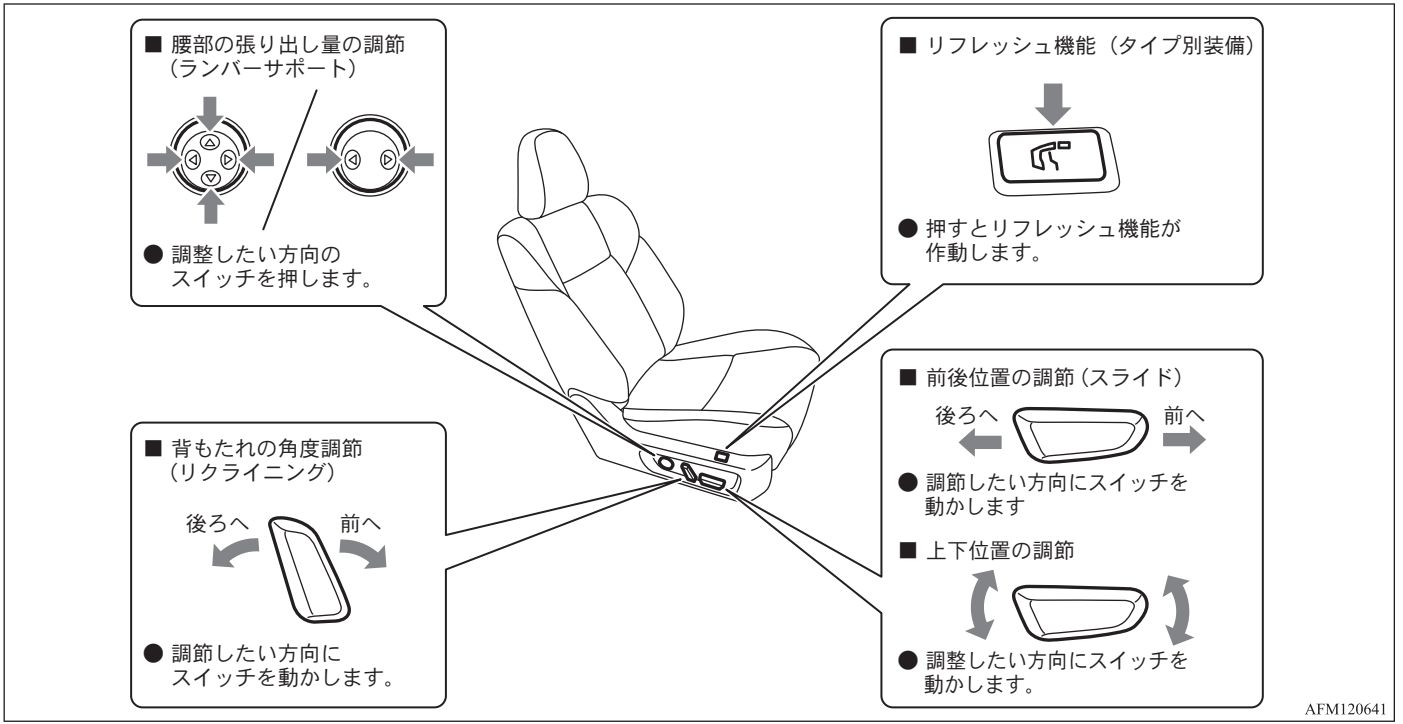
フロントシート

J17503500041

シートの調節のしかた（パワーシート）

タイプ別装備

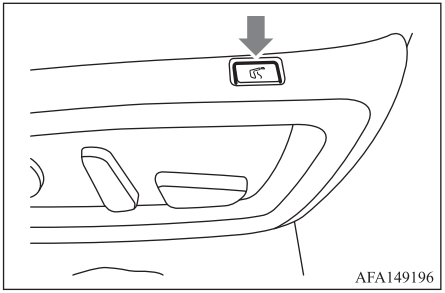
J17503600039

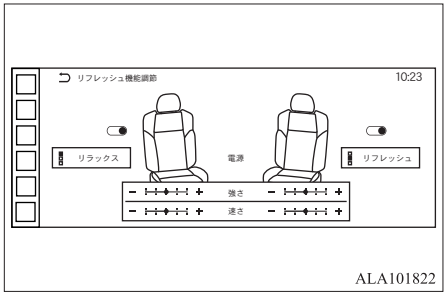


1. シート横のスイッチを押します。

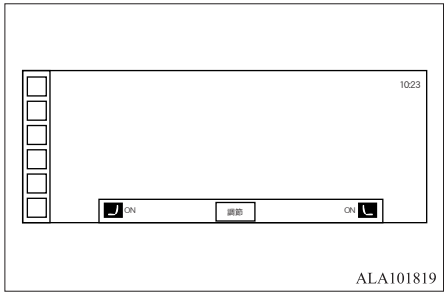
リフレッシュ機能

タイプ別装備





2. スマートフォン連携ナビゲーションの画面上部に「調節」というタッチボタンが表示されるので、タッチします。



3. リフレッシュ機能画面が表示されるので、お好みに合わせて調節します。

アドバイス

- リフレッシュ機能は一定時間作動後、自動的に停止します。
- リフレッシュ機能はエンジン始動時、一時的に停止します。
- 次の操作をすると、リフレッシュ機能の作動が停止します。
  - スマートフォン連携ナビゲーションの画面に表示されている「ON」をタッチする
  - リフレッシュ機能作動中にシート横のスイッチを押す
  - ドアを開けたとき（READY（走行可能）表示灯が点灯しているときは助手席のみ停止します）

シートの調節のしかた（マニュアルシート）

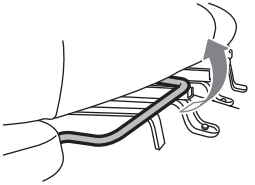
タイプ別装備

J17503700030

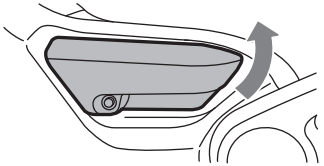
■ 腰部の張り出し量の調節
（運転席／ランバーサポート）（タイプ別装備）

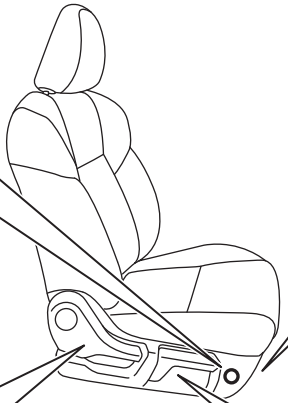
● 調整したい方向のスイッチを押します。

■ 前後位置の調節（スライド）
● レバーを引いたまま調節したい方向にシートを動かします。

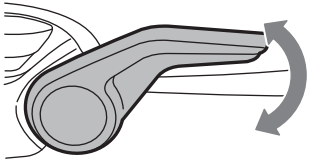


■ 背もたれの角度調節
（リクライニング）
● レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。





■ 上下位置の調節
（運転席／ハイトアジャスター）
● 引き上げると高くなります。
● 押し下げると低くなります。



AFM120654

6

⚠注意

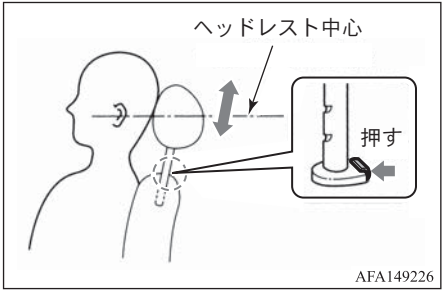
- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用すると、フロントシートベルト非着用警告音（→P.9-21）が正常に作動しなくなるおそれがあります。

ヘッドレストの調節のしかた

J17503800028

ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときは、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠警告

- **ヘッドレストを外したまま走行しない。**
  万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

- **ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。**
  万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。**
  万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの外しかた、付けかた

J17503900029

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ヘッドレストを差し込みます。

ドライバーメモリーセッティングの設定のしかた

タイプ別装備

J17504000030

ドライバーメモリーセッティングは、ユーザーのドライビングポジションを登録することができるシステムです。システムには次のような機能があります。

- シートの退避・復帰機能
- キー連動メモリー機能
- スイッチメモリー機能

アドバイス

- すべての機能は、シフトポジションがⓅのときに作動します。
- 以下のときは機能が作動しない、または作動が停止します。
  - シフトポジションをⓅ以外にしたとき
  - シート、ドアミラーの調節スイッチを操作したとき
  - セットスイッチ、メモリースイッチのいずれかを押したとき
  - 走行しているとき（約 3 km/h 以下の場合は、復帰機能が作動します。）
  - シートが記憶された位置に移動されたとき
  - シート位置が記憶されていないとき

6

シートの退避・復帰機能

運転席シートが動き、乗り降りを楽にします。

退避機能

パワースイッチの電源モードをOFFにして運転席ドアを開ける、または運転席ドアを開けた状態でパワースイッチの電源モードをONからOFFにすると、運転席シートが乗り降りしやすい位置に動きます。

復帰機能

パワースイッチの電源モードをONにすると、運転席シートが選択しているユーザーの設定した位置に戻ります。

キー連動メモリー機能

次の手順でキー連動メモリー機能に運転ポジション（シート位置、ドアミラー鏡面角度（タイプ別装備））を記憶することができます。

1. あらかじめユーザー登録の完了しているキーを携帯し、パワースイッチの電源モードをONにします。
2. 運転席のシートポジション、ドアミラーの鏡面角度を調節し、パワースイッチの電源モードをOFFにします。

次回から、キーを携帯してパワースイッチの電源モードをONにすると、記憶した運転ポジション（シート位置、ドアミラー鏡面角度（タイプ別装備））を呼び出します。

アドバイス

- キー連動メモリー機能には運転ポジション以外（スマートフォン連携ナビゲーションなど）の設定も記憶されます。

スイッチメモリー機能

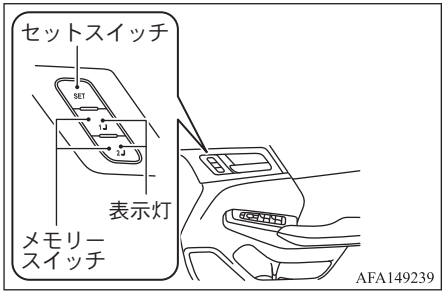
2名分の運転ポジション（シート位置、ドアミラー鏡面角度（タイプ別装備））をスイッチに記憶させ、呼び出すことができます。

記憶のしかた

1. 正しい運転姿勢が取れる運転ポジションに調節します。
   → ハンドルの調節（P.6-34）
   → シートの調節のしかた（パワーシート）（P.6-22）
   → ドアミラー（P.6-40）
2. セットスイッチを押し、押してから5秒以内に記憶させたい方のメモリースイッチを1秒以上押します。
   記憶が完了すると、ブザーが鳴るとともに記憶させたスイッチの表示灯が5秒間点灯します。

呼び出しかた

シフトポジションを🅿にします。
記憶を呼び出したいメモリースイッチを呼び出しが開始するまで押し続けます。
呼び出し中はスイッチの表示灯が点滅し、完了すると約5秒間点灯します。



アドバイス

- キー連動メモリー設定機能で記憶した運転ポジションとは別にスイッチに記憶されます。

アドバイス

- 既にシート位置が記憶されているメモリースイッチに新しいメモリ位置を保存すると、新しい保存位置が上書きされます。
- 運転ポジション以外の設定はスイッチに記憶しません。
- セットスイッチを押したとき、記憶されていると約 5 秒間表示灯が点灯します。
- 状況により、メモリースイッチを押してから呼び出しが開始するまで数秒かかることがあります。

設定の切り替えかた

シートの退避・復帰機能の作動・非作動を切り替えることができます。

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「運転姿勢」⇒「降車時シート退避」を選択します。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 車両設定（P.5-37）

リヤ（セカンド）シート

J17504100028

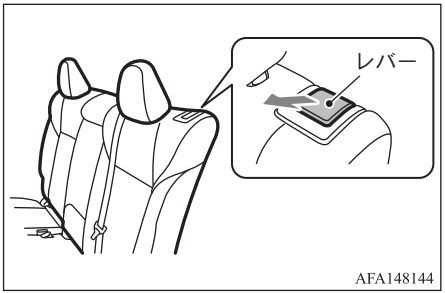
シートの調節のしかた

J17504200029

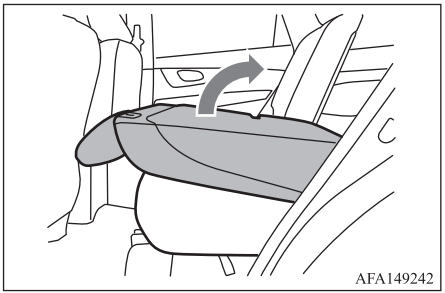
シートの折りたたみかた（5 人乗り車）

J17504300033

1. シート背もたれにあるレバーを引きます。



2. 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



⚠警告

- **シートは必ず固定する位置で使用する。**

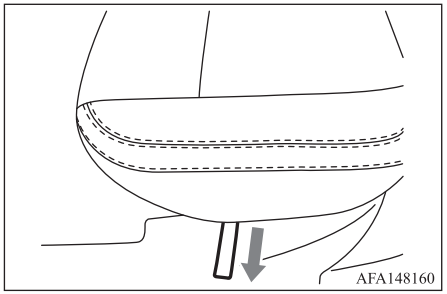
⚠注意

- **シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。**
  シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- **背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。**
  急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。
- フロントシートに当たりシートが折りたためないときは、フロントシートの前後位置を調節してください。

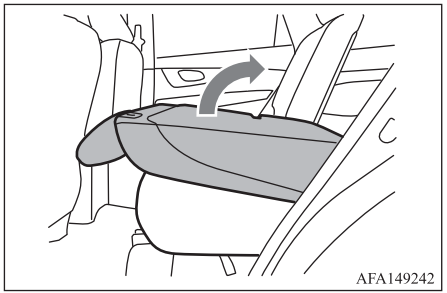
シートの折りたたみかた（7 人乗り車）

J17504400034

1. シート座面下にあるストラップを引きます。



2. 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



⚠警告

- **シートは必ず固定する位置で使用する。**

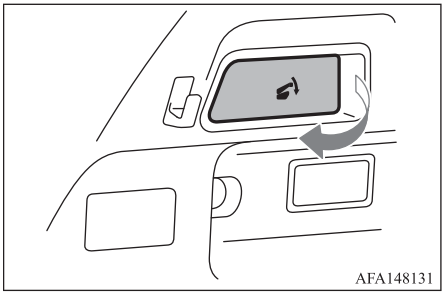
⚠注意

- **シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。**
  シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- **背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。**
  急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。
- フロントシートに当たりシートが折りたためないときは、フロントシートの前後位置を調節してください。

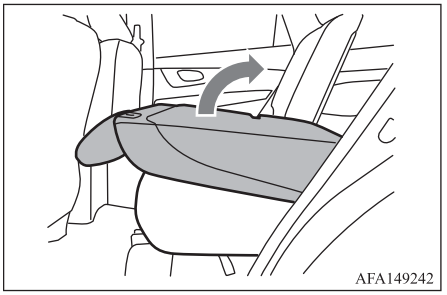
シートの折りたたみかた（ラゲッジルームのレバー）

J17504500035

1. サードシート（タイプ別装備）の背もたれを倒し（→P.6-33）、ラゲッジルーム壁面左右にあるレバーを引きます。



2. 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



⚠警告

- **シートは必ず固定する位置で使用する。**

⚠注意

- **シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。**
  シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- **背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。**
  急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。
- フロントシートに当たりシートが折りたためないときは、フロントシートの前後位置を調節してください。

ヘッドレストの使いかた

J17504600023

- リヤ（セカンド）シート左右席のヘッドレストは、差し込んでロックする位置で使います。
- リヤ（セカンド）シート中央席のヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
  - 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。

•下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

⚠注意

- リヤ（セカンド）シート中央席のヘッドレストは、格納状態では機能が十分に発揮できません。ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してください。

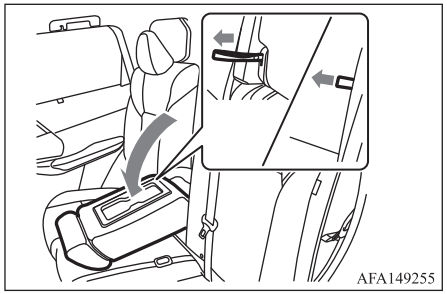
ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 脱着のしかたは、フロントシートと同じです。
  → ヘッドレストの外しかた、付けかた（P.6-25）

アームレストの使いかた

J17504700037

- ストラップを引いて、アームレストを前に倒します。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。
- アームレストを倒すとドリンクホルダー（リヤ（セカンド）シート用）があります。
  → ドリンクホルダー/ ボトルホルダー（P.8-7）



⚠注意

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

サードシート

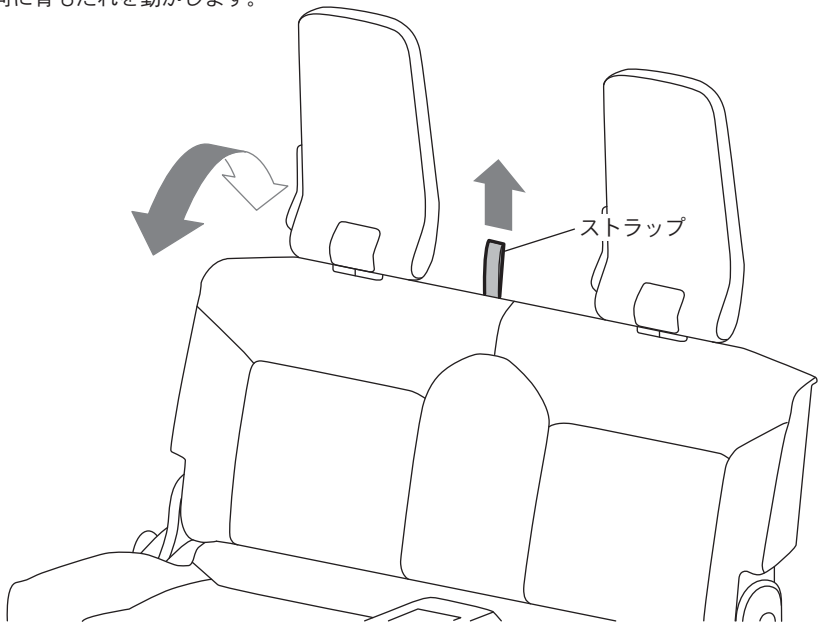
タイプ別装備

J17504800025

サードシート

J17504900026

■ 背もたれの角度調節（リクライニング）
● ストラップを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。

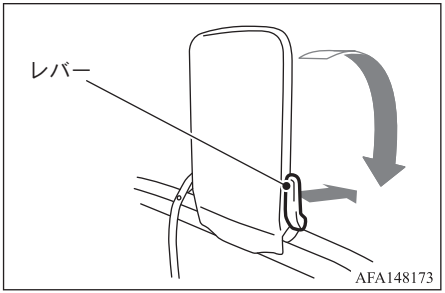


AFM120670

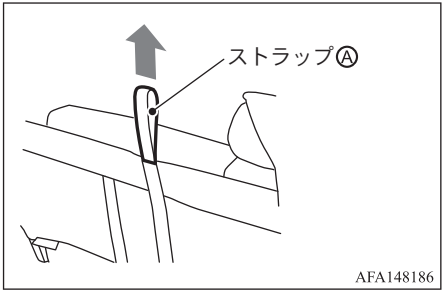
シートの格納のしかた

J17505000037

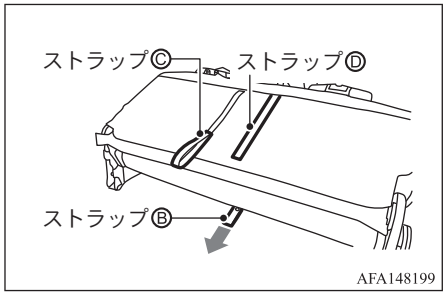
1. シートベルトのバックルを前に倒し格納します。
2. レバーを押し、ヘッドレストを折りたたみます。



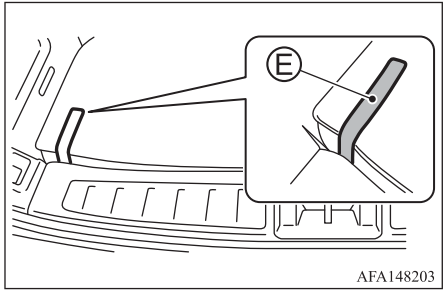
3. シート背面にあるストラップⒶを引き、背もたれを前に倒します。



4. シート座面下にあるストラップⒷを引いて座面のロックを解除し、シート背面にあるストラップⒸを引いて、サードシートを座面ごと後ろに回転させて格納します。



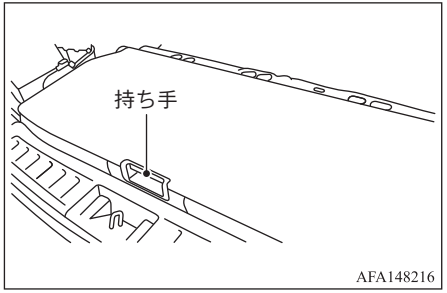
5. シートをストラップⒺで固定します。



アドバイス

- シート格納後はリヤエンドトリム左側にあるストラップⒺでシートを固定してください。固定されていないと、走行時に音がするおそれがあります。

6. 元に戻すときは、ストラップⒺを外し、持ち手を持ってサードシートを座面ごと前に回転させ、ストラップⒹを引いて背もたれを起こして固定し、ヘッドレストを元に戻します。



⚠注意

- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。

ヘッドレストの使いかた

J17505100025

- ヘッドレストは、引き起こした状態で使います。
  - 高さの調節はできません。

⚠注意

- サードシートを使用する際は、ヘッドレストが確実に固定されていることを確認してください。

ハンドル

J17505200026

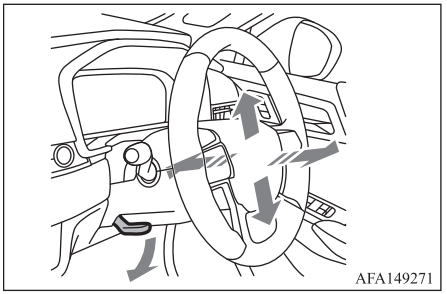
6

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

ハンドル位置の調節のしかた

J17505300027

- ハンドル左下のレバーを押し下げ、ハンドルを前後・上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。



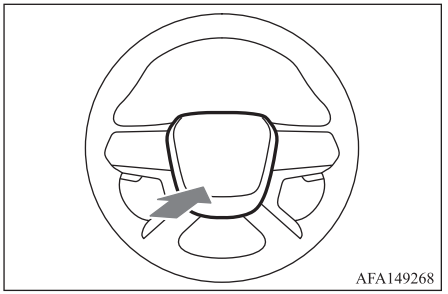
⚠警告

- **ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。**
  走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。**
  ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ホーンの鳴らしかた

J17505400028

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



ミラーの調節

J17511600038

⚠警告

- **ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行う。**
  走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラー

J17505500029

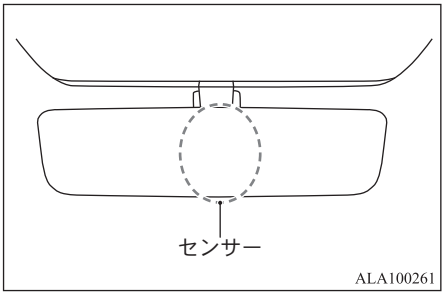
ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節します。

自動防眩ルームミラー(フレームレス) の調節のしかた

タイプ別装備

J17513300026

- 自動防眩ルームミラー(フレームレス)は、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を調整します。
- ミラー本体を持ち、上下左右に動かして角度を調節して適切な位置に合わせます。



⚠注意

- ルームミラーに物をかけたり、ガラスクリーナーを使用しないでください。センサーの感度が低下し、作動不良の原因となるおそれがあります。

アドバイス

- 外気温が低いときは自動防眩機能の切り替え速度が遅くなります。

デジタルルームミラー (フレームレス)

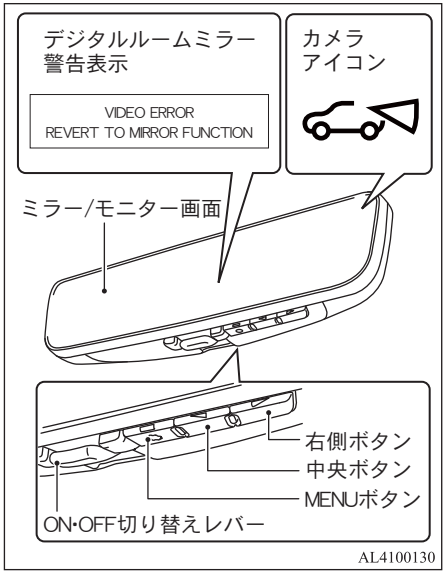
タイプ別装備

J17513400027

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF 切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

デジタルルームミラー(フレームレス) の使いかた

J17513500028



⚠注意

- **走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。**
  ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、デジタルルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。
- **デジタルルームミラーモード中に警告表示を表示したときは、すぐにルームミラーモードに戻す。**
  しばらくたっても警告表示が消えない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- **デジタルルームミラーモード中にモニター画面の映像が映らなくなり、カメラアイコンが非表示になったときは、すぐにルームミラーモードに戻す。**
  しばらくたっても画面とカメラアイコンが表示されない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 各ボタンは下側から上方向に押します。

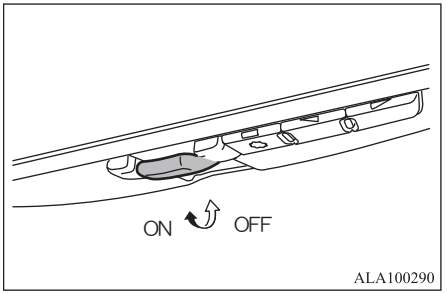
ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

デジタルルームミラーモード

- モニターとして使用します。
  デジタルルームミラーモード中はカメラアイコンが表示されます。

1. パワースイッチの電源モードを ON にします。
2. デジタルルームミラーの ON・OFF 切り替えレバーを手前に引きます。



3. デジタルルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
   デジタルルームミラーの ON・OFF 切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面が OFF になり、ルームミラーモードとして使用できます。

アドバイス

- 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたりしたときはデジタルルームミラーモードを OFF にし、ルームミラーモードでご使用ください。

デジタルルームミラー(フレームレス) の調節

J17513600029

デジタルルームミラーモードのときに MENU ボタンを押すと、モニター画像の各種調節ができます。MENU ボタンを押すごとに調節項目が切り替わります。
MENU（通常画面）⇒ BRIGHTNESS（明るさ）⇒DOWN/UP（上下）⇒LEFT/RIGHT（左右）⇒ ROTATION（回転）⇒ INDICATION（モニター文字表示、非表示の切り替え）⇒ DIMMING MIRROR（防眩ミラーの設定）⇒ LANGUAGE（言語の設定）⇒ MENU（通常画面）

アドバイス

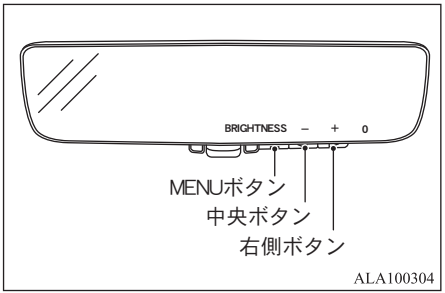
- MENU ボタンで調節する項目を切り替えるときは、前の項目で調節したあと、5 秒以内にボタンを押して切り替えてください。

明るさ調節のしかた

MENU ボタンを 1 回押すと、明るさ調節（BRIGHTNESS）モードになります。

- 中央ボタンを押すと、画面が暗くなります。

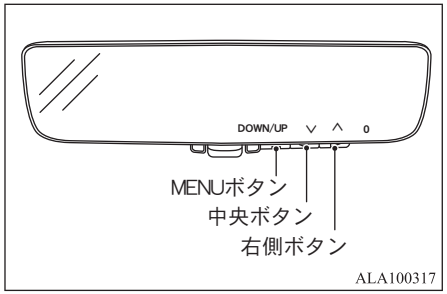
- 右側ボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-2（暗い）～ +2（明るい）



画面の上下位置調節のしかた

MENU ボタンを 2 回押すと、画像位置の上下調節（DOWN/UP）モードになります。

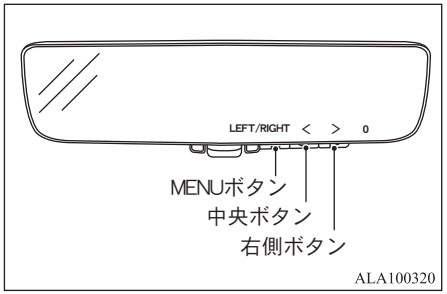
- 中央ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-5（下方向）～ +5（上方向）



画面の左右位置調節のしかた

MENU ボタンを 3 回押すと、画像位置の左右調節（LEFT/RIGHT）モードになります。

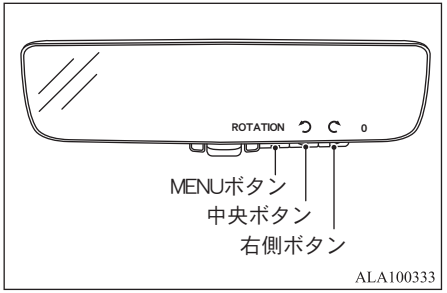
- 中央ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-3（左方向）～ +3（右方向）

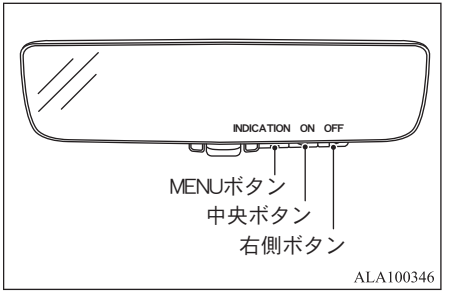


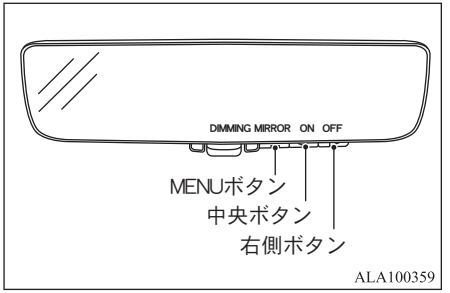
画面の回転位置調節のしかた

MENU ボタンを 4 回押すと、画像位置の回転調節（ROTATION）モードになります。

- 中央ボタンを押すと、画像が左に回転します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-6（左回り）～ +6（右回り）







モニター文字表示の ON・OFF のしかた

6

MENU ボタンを 5 回押すと、モニター文字表示、非表示を切り替える（INDICATION）モードになります。

- 中央ボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。
- 右側ボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。

防眩ミラーモードの切り替えかた

MENU ボタンを 6 回押すと、後続車両のヘッドライトによる眩しさを軽減する、防眩ミラーの設定（DIMMING MIRROR）モードになります。

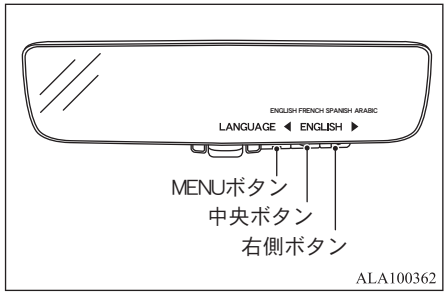
- 中央ボタンを押すと、ルームミラーモードの自動防眩機能が ON になります。
- 右側ボタンを押すと、ルームミラーモードの自動防眩機能が OFF になります。

言語の切り替えかた

MENU ボタンを 7 回押すと、モニターの言語表示を切り替える（LANGUAGE）モードになります。英語、フランス語、スペイン語、アラビア語に切り替えることができます。(工場出荷時は英語に設定されています。)

- 中央ボタンを押すと、左隣に表示されている言語を選択します。
- 右側ボタンを押すと、右隣に表示されている言語を選択します。

もう一回 MENU ボタンを押す（通常画面から 8 回）と、通常画面に戻ります。



デジタルルームミラー(フレームレス) 使用時の注意事項

J17513700020

⚠警告

- **あらかじめ死角範囲を確認する。**
  デジタルルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- **ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。**
  異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し三菱自動車販売会社にご相談ください。
- **走行中に操作しない。**
  走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- **ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。**
  破損や車両火災の原因となります。

⚠注意

- **デジタルルームミラーが故障したときは、すぐにルームミラーモードに戻す。**
- **モニターを凝視しない。**
  - 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- **太陽や後方車両のヘッドライトなどの強い光源がカメラに入ると、デジタルルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。**
- **エンジンが停止している間にデジタルルームミラーを長時間使用すると補機用バッテリーがあがるおそれがあります**

アドバイス

- 無線機のアンテナをデジタルルームミラー近くに取り付けないでください。無線機の電波により、デジタルルームミラーの映像に乱れが出ることがあります。

アドバイス

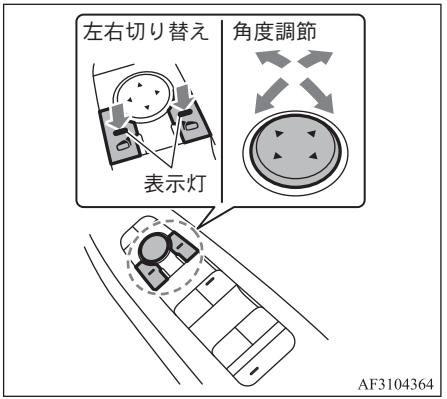
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障したりするおそれがあります。
- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED 光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。デジタルルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心がけてください。
- モニターの明るさを明るく調節し過ぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。

アドバイス

- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくように見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、デジタルルームミラーカメラ前面のテールゲートガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。
  → 外観リヤ（P.1-2）
  → デジタルルームミラー (フレームレス) のお手入れ（P.10-22）
- テールゲートガラスがくもった場合は、リヤデフォッガーを使用し、テールゲートガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまでルームミラーモードで使用してください。
- デジタルルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがありますが、故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがありますが、故障ではありません。
- デジタルルームミラーのお手入れについては (→P.10-22) をお読みください。

ドアミラー

J17505700021



パワースイッチの電源モードが ON または OFF（ACC 状態）のときに操作できます。
ACC 状態については、→ACC 電源オートオン/オフ機能 (P.7-5) をお読みください。

ドアミラーの角度調節のしかた

J17505800022

- 調節したいミラー側の左右切り替えスイッチを押します。
  (スイッチの表示灯が点灯)
- 角度調節スイッチを前後左右に押して、鏡面角度を調節します。

⚠注意

- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。凸面鏡は平面鏡に比べ、物が遠くに見え、実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

ドアミラーの格納のしかた

J17505900023

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納します。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。

⚠注意

- **ミラーが動いているときは手を触れない。**
  手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。

⚠注意

- **ミラーを格納したまま走行しない。**
  後方確認ができないため危険です。
- 手動でミラーを開閉しないでください。手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。
- ミラーを手で動かしたり、人や物にぶつけて動かしたりすると、スイッチを押しても元の位置に戻せない場合があります。この場合は、スイッチを押してミラーを一度折りたたんでから、再度スイッチを押してミラーを元の位置に戻します。

アドバイス

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉すると、パワースイッチの電源モードを ON にしたときに、スイッチの位置によりミラーが動き出すことがあります。
- パワースイッチの電源モードをOFFにした直後はミラーを開閉することができます。

アドバイス

- パワースイッチの電源モードがOFFのときにはドアミラー格納スイッチを押しても作動しないことがあります。その時は、パワースイッチの電源モード ON にしてからドアミラー格納スイッチを押してください。

ドアミラー自動格納/復帰機能について

J17506000034

ドアの施錠・解錠に連動させ、ミラーを格納・復帰することができます。

- リモコン、ドアハンドルまたはテールゲートのスイッチで施錠すると、左右のミラーが格納されます。
- リモコン、ドアハンドルまたはテールゲートのスイッチで解錠すると、左右のミラーが復帰します。

アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定 ⚙ 」⇒「車両設定」⇒「ドアミラー」を選択すると、ドアミラー自動格納 / 復帰機能の設定を変更することができます。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）

ヒーテッドドアミラーの使いかた

J17506100022

- パワースイッチの電源モードがONのとき、リヤデフォッガースイッチ（→P.9-67）を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。
- ヒーターは約 20 分後に自動的に停止します。

リバース連動機能

タイプ別装備

J17506200023

- シフトポジションをⓇに入れると、左または右のドアミラーの鏡面が下を向き、後方の路面を確認しやすくする機能です。

- シフトポジションがⓇに入った状態で、ドアミラーの左右切り替えスイッチの一方を押すと、対象のミラーの鏡面が下を向きます。
- リバース連動機能作動中にミラーの鏡面を調節すると、その角度がメモリーされます。
→ ドアミラーの角度調節のしかた（P.6-40）

⚠注意

以下の状態になると、ドアミラーの鏡面が元の角度に戻ります。

- 左右切り替えスイッチの一方を再び押した場合
- シフトポジションがⓇ以外の位置になり、車速が 8km/h を超えたとき
- シフトポジションがⓇ以外の位置になり、9 秒間経過したとき
- パワースイッチの電源モードが OFF になったとき

窓ガラスの開閉

J17511700026

⚠警告

- **乗員の操作を含めすべての窓ガラスや電動パノラマサンルーフ開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。**

⚠警告

- 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまにはパワーウインドウを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウインドウロックスイッチを押し込んでください。
- 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
- 電動パノラマサンルーフを開閉するときは、手や首などを挟まないよう注意してください。また、お子さまには操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあります。
- 車から離れるときはパワースイッチの電源モードを OFF にし、キーとお子さまを車内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- **指などを挟まれないように注意する。**
  - 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。
  - 電動パノラマサンルーフを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

パワーウインドウ

J17506300024

パワースイッチの電源モードが ON のとき操作できます。

パワーウインドウの開けかた、閉めかた

J17506400025

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

閉めるには

●スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

自動開閉するには

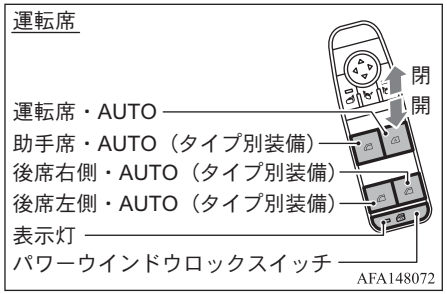
運転席、助手席（タイプ別装備）、後席（タイプ別装備）のスイッチは窓ガラスをワンタッチで自動開閉できます。

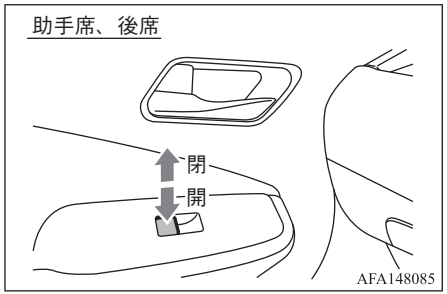
●スイッチを強く押すと全開します。
●スイッチを強く引き上げると全閉します。
●途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

●パワーウインドウロックスイッチを押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。
●スイッチを押し戻すとロックが解除されます。





⚠注意

タイマー機構

●パワースイッチの電源モードをOFFにした後でも約45秒間は窓ガラスを開閉することができます。ただし、ドアを開けると窓ガラスの開閉操作はできなくなります。

アドバイス

●運転中にパワーウィンドウが完全に閉まらない場合は、車速を遅くしてパワーウィンドウを閉めます。
●走行中、窓ガラスを1箇所だけ開けた際に耳を強く圧迫するような振動音（ウインドスロップ音）が発生した場合は、それ以外の窓ガラスをわずかに開けてください。

挟み込み防止機構

J17506500026

●運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。

アドバイス

●環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。
●挟み込み防止機構は、タイマー機構中も作動します

正常に作動しないとき

J17506600027

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、タイマー機構が正常に作

動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

1. プラグインハイブリッド EV システムを起動します。
2. スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
3. スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
4. 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

電動パノラマサンルーフ

タイプ別装備

J17506700028

パワースイッチの電源モードが ON のときに操作できます。

電動パノラマサンルーフについて

J17506800029

- 電動パノラマサンルーフには、下記の機能があります。
  - サンシェードの開閉（→P.6-44）
  - 電動パノラマサンルーフのチルトアップ（→P.6-44）
  - 電動パノラマサンルーフの前後開閉（→P.6-45）

サンシェードの開けかた、閉めかた

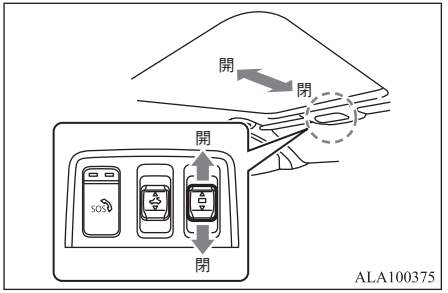
J17506900033

開けるには

- スイッチを「開」側に押すと、自動で全開します。

閉めるには

- スイッチを「閉」側に押すと、自動で全閉します。
- 途中で止めたいときは、再度スイッチを押します。



アドバイス

- サンシェードは電動パノラマサンルーフを開けるとき連動して開きます。
- 電動パノラマサンルーフが開いた状態でサンシェードのみ閉じることはできません。

タイマー機構

- パワースイッチの電源モードをOFFにした後でも約45秒間は窓ガラスを開閉することができます。ただし、ドアを開けると窓ガラスの開閉操作はできなくなります。

電動パノラマサンルーフのチルトアップのしかた

J17507000031

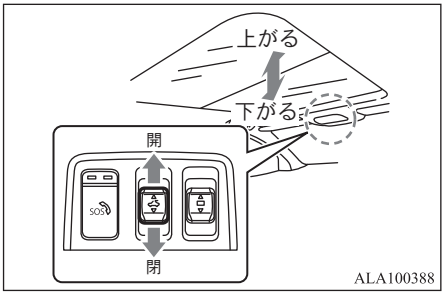
電動パノラマサンルーフが閉まっているときに操作できます。

チルトアップするには

●スイッチを、車両上方向に押すとチルトアップします。

閉めるには

●スイッチを「閉」側に押すと、自動で全閉します。
●途中で止めたいときは、スイッチを「閉」側または「開」側に押します。



アドバイス

●チルトアップしたまま、電動パノラマサンルーフの前後開閉はできません。

タイマー機構

アドバイス

●パワースイッチの電源モードをOFFにした後でも約45秒間は窓ガラスを開閉することができます。ただし、ドアを開けると窓ガラスの開閉操作はできなくなります。

電動パノラマサンルーフの開けかた、閉めかた

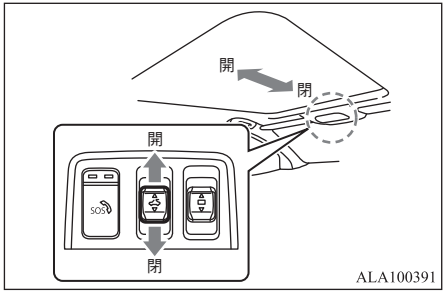
J17507100032

開けるには

●スイッチを「開」側に押すと、コンフォートモード位置まで開きます。
●さらにスイッチを「開」側に押すと、全開します。

閉めるには

●スイッチを「閉」側に押すと、自動で全閉します。
●途中で止めたいときは、スイッチを「閉」側または「開」側に押します。



アドバイス

●走行中、窓ガラスを1箇所だけ開けた際に耳を強く圧迫するような振動音（ウインドスロップ音）が発生した場合は、電動パノラマサンルーフをわずかに開けてください。

コンフォートモード

●電動パノラマサンルーフを開けたまま走行するときの位置です。
電動パノラマサンルーフを全開にして走行すると、風切音が大きくなる場合があります。走行するときは、コンフォートモードの位置でご使用ください。

タイマー機構

●パワースイッチの電源モードをOFFにした後でも約45秒間は窓ガラスを開閉することができます。ただし、ドアを開けると窓ガラスの開閉操作はできなくなります。

6

挟み込み防止機構

J17507200020

自動で電動パノラマサンルーフを閉めるときに、車体と電動パノラマサンルーフの間に異物の挟み込みを感知すると、電動パノラマサンルーフが停止し、自動的に電動パノラマサンルーフが数 cm 開きます。

⚠注意

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、電動パノラマサンルーフを自動で閉めることができないときは、電動パノラマサンルーフスイッチを閉方向に繰り返し押して閉めてください。

アドバイス

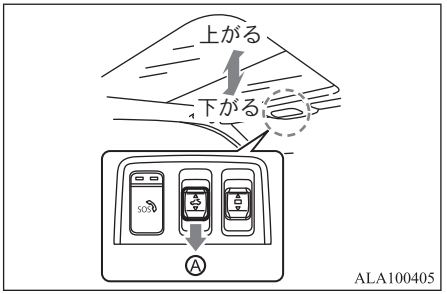
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が電動パノラマサンルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

正常に作動しないとき

J17507300034

電動パノラマサンルーフが正常に作動しないときは、以下の操作を行い初期設定し直してください。

1. 電動パノラマサンルーフをチルトアップ状態にします。
   電動パノラマサンルーフが動かなくなるまでスイッチをⒶ側に繰り返し押し、チルトアップ状態にします。



2. スイッチをⒶ側に押し続けます。
   サンシェードが全閉になるまでスイッチを押し続けます。
   電動パノラマサンルーフとサンシェードの両方が開いている場合、電動パノラマサンルーフが完全に閉じてから、サンシェードが閉まります。
3. 電動パノラマサンルーフがチルトアップし、サンシェードが全閉になったら初期設定は完了です。正常に作動するか確認します。
   正常に作動しないときは、早めに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

電動パノラマサンルーフの注意事項

J17507400035

⚠警告

- **走行中は顔や腕、物などを車外に出さない。**
  車外の物に当たる、または急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- **電動パノラマサンルーフを開閉するときは、手や首などを挟まないよう注意する。また、お子さまには操作させない。**
  重大な傷害につながるおそれがあります。
- **乗員の操作を含め電動パノラマサンルーフの開閉操作は運転者に責任があります。**
- **電動パノラマサンルーフを適切に使用するための警告と指示に従わないと、重傷を負ったり死亡する可能性があります。**

⚠注意

- **運転中は電動パノラマサンルーフの開閉操作を行わない。**
  前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。操作は信号待ちなどの停車中に行ってください。
- **ルーフに水や雪などがあるときは開けない。**
  突然の水や雪に驚き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- **電動パノラマサンルーフやその周辺に重いものを置かないでください。**
- **サンシェードが開閉しているときに、サンシェードの上に物（新聞、ハンカチなど）を置かないでください。**
  誤作動やサンシェードの損傷の原因になります。
- **日よけアームを手などで押さないでください。**
  変形する恐れがあります。誤作動やサンシェードの損傷が発生する可能性があります。
- **サンシェードのインレットポートに物を入れないでください。**
  誤作動を起こしたり、サンシェードが損傷したりする可能性があります。
- **アームレールに物を吊るさないでください。**
  誤作動を起こしたり、サンシェードが損傷したりする可能性があります。
- **サンシェードを無理に引っ張らないでください。**
  これを行うと、サンシェードが長くなる可能性があります。不適切な操作や日よけの損傷が発生する可能性があります。
- 降雪時、厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因となります。
- 開口部に腰を掛けたり、荷物を載せるなど、大きな力をかけないでください。ルーフが変形したり、電動パノラマサンルーフが破損したりするおそれがあります。

⚠注意

- 電動パノラマサンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- 車から離れるときや洗車するときは、盗難や故障などを防ぐため電動パノラマサンルーフを必ず閉めてください。
- スキーキャリアまたはルーフキャリアを装着しているとき、チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
- 電動パノラマサンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くと電動パノラマサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
- 雨が降った後や洗車後に開けるときは、車内に水が入るおそれがありますので電動パノラマサンルーフの水を拭き取ってください。
- 電動パノラマサンルーフの開閉は補機用バッテリー上がりを防ぐため、READY（走行可能）表示灯を点灯させてから行ってください。
- 正常に作動しないときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

充電リッド

J17507500023

充電リッドは運転席側の車両後方にあります。

充電リッドについて

J17507600037

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているとき、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使用した運転席ドアの施錠・解錠に連動して充電リッドが施錠・解錠されます。
  運転席ドアの施錠・解錠については、(→P.6-5) をお読みください。
- 充電リッドが解錠できないときは (→P.9-13) をお読みください。

⚠注意

- 走行前に必ず充電リッドが完全に閉じていることを確認してください。
- 完全に閉じていないまま自動洗車機を使用すると充電リッドが破損するおそれがあります。

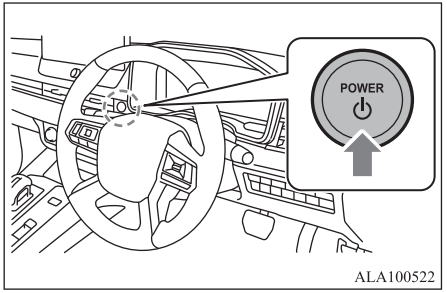
アドバイス

- 充電リッドが開いている状態でパワースイッチの電源モードを ON にすると、マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が表示されます。（充電コネクター接続中は表示されません）

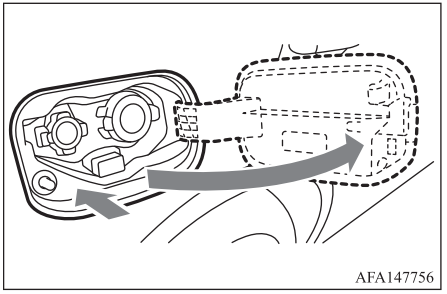
充電リッドの開けかた、閉めかた

J17511900028

1. シフトポジションを Ⓟ にし、電動パーキングブレーキを確実にかけます。
2. ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチの電源モードを OFF にします。



3. 運転席ドアを解錠した後、充電リッドの後方を奥まで押して充電リッドを開けます。



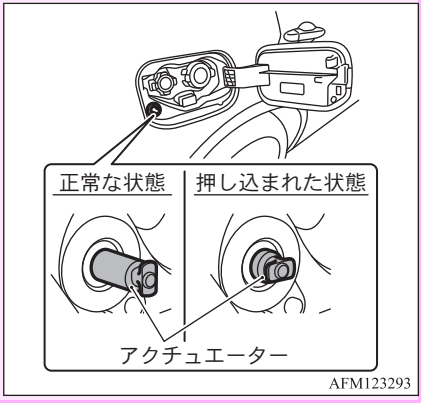
4. 閉めるときは、充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して充電リッドを閉じます。

⚠注意

- 次の条件がそろったとき、センタードアロック、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使用した運転席ドアの解錠に連動して充電リッドが解錠します。
  - READY（走行可能）表示灯が消灯しているとき
  - シフトポジションが Ⓟ のとき
- 車両の状態により、充電リッドを押してから、充電リッドが開くまでわずかに時間差がある場合がありますが異常ではありません。

⚠注意

- 万一、充電リッドが解錠できないときは、応急処置としてラゲッジルーム右側面のリッドを開けて解錠することができます。
  → 充電リッドが解錠できなくなったときは（P.9-13）
- 万一、充電リッドを閉じる前にアクチュエーターを押し込んでしまった場合、充電リッドを閉じても固定することができません。このようなときは、充電リッドを軽く閉じた後、充電リッドの後方をゆっくりと奥まで押し、その後ゆっくり手を離し、アクチュエーターを元の状態に戻してください。



フューエルリッド（燃料補給口）

J17507700025

燃料補給口は助手席側の車両後方にあります。

燃料の補給

J17507800039

燃料タンクの容量は約 53ℓ です。

エンジン型式	指定燃料
4B12	レギュラーガソリン

⚠注意

- **必ず指定のガソリンを補給してください。**
  JIS または揮発油の品質の確保に関する法規が定めたガソリン規格に適合している、「いい！スリー」や「バイオ・ガソリン」などのバイオ燃料混合ガソリンを使用することもできます。
- **軽油、粗悪ガソリン、高濃度アルコール混合燃料、水分除去剤や三菱自動車純正以外のガソリン添加剤を使用したり、水やその他の油脂類（薬品類）が混入すると次のような状態になるおそれがあります。**
  - エンジンの始動性悪化
  - ノッキングの発生

⚠注意

- エンジンの出力低下
- 排気制御システムの機能不良
- 燃料系部品の損傷による燃料漏れ

- **お車の使用状況によっては燃料タンク内の燃料が消費されず長期間滞留し、燃料の品質が変化し、エンジンや燃料系の部品に悪影響をおよぼす可能性があります。予防のため、次のことをお守りください。**
  - 3ヶ月以内に一度はバッテリーチャージモードを使用してエンジンを始動する。
    →CHARGE（バッテリーチャージ）モード（P.7-33）
  - 3ヶ月以内に一度は1回で20ℓ以上給油してください。燃料残量計の表示が半分以下になれば、確実に 20ℓ 以上給油可能となります。
    → 燃料残量計（P.5-4）

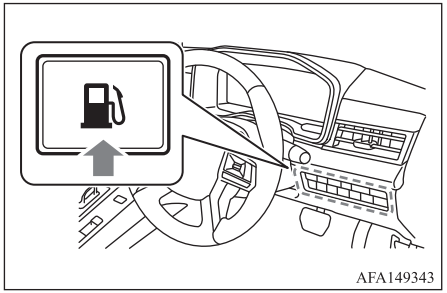
開けかた、閉めかた

J17507900030

⚠警告

- **給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。**
  継ぎ足しを繰り返すと、燃料があふれ出て火災に繋がるおそれがあります。特に低流量で継ぎ足しを繰り返すと、満タン容量以上に燃料が入ってしまうおそれがあります。

1. 給油する前に、パワースイッチを押してプラグインハイブリッド EV システムを停止させてください。
2. 運転席右下のフューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチを押します。

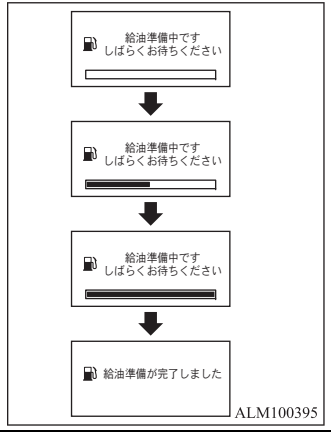


AFA149343

6

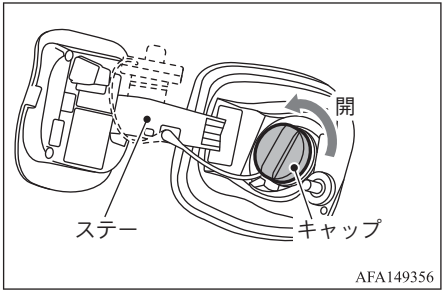
アドバイス

●フューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチを押すと、メーターの表示がつぎのとおり変わります。



3. 補給口から燃料が吹き返すのを防ぐために、燃料タンク内の圧力が自動的に開放されます。
4. フューエルキャップを開ける前に、インフォメーション画面に給油準備完了表示（→P.9-35）が表示されたことを確認してください。
   燃料タンク内の圧力が高い場合は、準備が完了するまでに数十秒かかる場合があります。
5. フューエルキャップのツマミを持ち、ゆっくり左に回して外します。

補給時、キャップはリッドのステーに置きます。



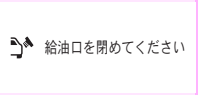
6. 閉めるときは、フューエルキャップをカチッと1回音が鳴るまで右に回して閉めます。
7. フューエルリッド（燃料補給口）をカチッと音がするまで押して閉じます。

⚠警告

●**キャップは確実に閉める。**
閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
●**三菱自動車純正品以外のキャップは使用しない。**
●**システムに異常があるときは、インフォメーション画面に次の警告が表示され、フューエルリッド（燃料補給口）は開けることができなくなります。**
できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

●フューエルリッド（燃料補給口）が開いたまま走行すると、インフォメーション画面に警告が表示されます。



●補機用バッテリーが上がっているとき、または電圧不足のときは、燃料タンク内の圧力を開放することができず、フューエルリッド（燃料補給口）を開けることができなくなります。
●燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
●万一、燃料給油口が解錠できないときは、応急処置としてラゲッジルーム左側面のリッドを開けて解錠することができます。
→　緊急時の燃料給油口の開けかた（P.9-12）

燃料補給時の注意事項

J17508000038

⚠警告

●**燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。**
• 必ずパワースイッチの電源モードをOFF にする

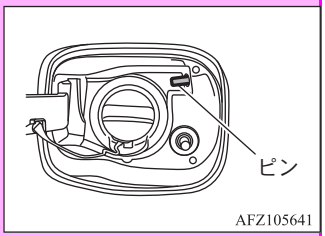
⚠警告

- タバコ、ライター、携帯電話などは使用しない

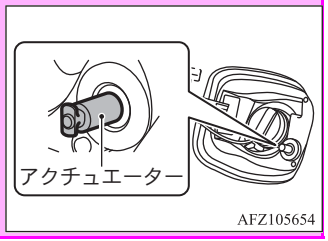
- **フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて、必ず身体の静電気を除去してください。静電気を帯びていると、放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。**
- **リッド（補給口）の開閉、フューエルキャップの取り付け、取り外しなど、給油操作は必ず一人で行い、補給口に他の人を近づけないでください。**
  複数で行うと他の人が帯電していた場合、気化した燃料に引火するおそれがあります。
- **給油と充電を同時に行わないでください。充電に伴う動作で静電気を帯びた場合、放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。**
- **給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中、シートに座るなどすると、再帯電するおそれがあります。**
- **急激にフューエルキャップを回さないでください。急激に回すと、燃料タンク内の圧力により、補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。**
- **フューエルキャップを緩めたときにシューッという音がしたときは、音がしなくなるまで待ってから、フューエルキャップをゆっくり回してください。**
- **気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。**

⚠警告

- **給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。**
- **補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。**
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと、燃料がこぼれるおそれがあります。
- **給油中はピンを押さないでください。補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。**



- **アクチュエーターを押してしまうと、フューエルリッド（燃料補給口）が閉められなくなります。もし、押してしまったときは、フューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチを押してください。**



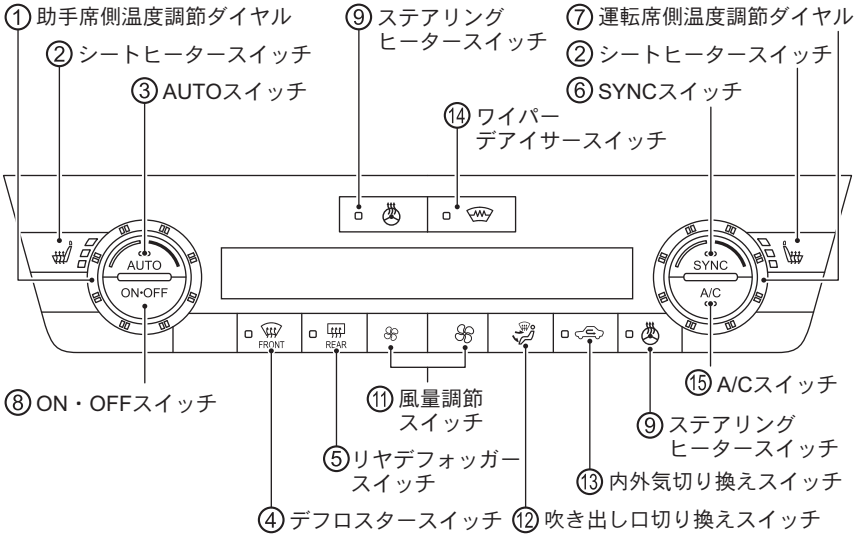
⚠警告

- **フューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチを押した後、30 分以内に給油を完了してください。**
  30 分経過すると、燃料タンク内の圧力を開放する機能が働かず、燃料が吹き返すおそれがあります。
  30 分経過した場合は、フューエルキャップとフューエルリッド（燃料補給口）を閉めて、再度フューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチを押してください。
- **フューエルキャップを閉めたときは、確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ、火災になるおそれがあります。**
- **燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色、しみ、ひび割れの原因になります。付着したときは、柔らかい布などで拭き取ってください。**
- **ガソリンスタンドに掲示されている注意事項をお守りください。**
- **給油方法についてご不明な点は、ガソリンスタンドの係員にご相談ください。**

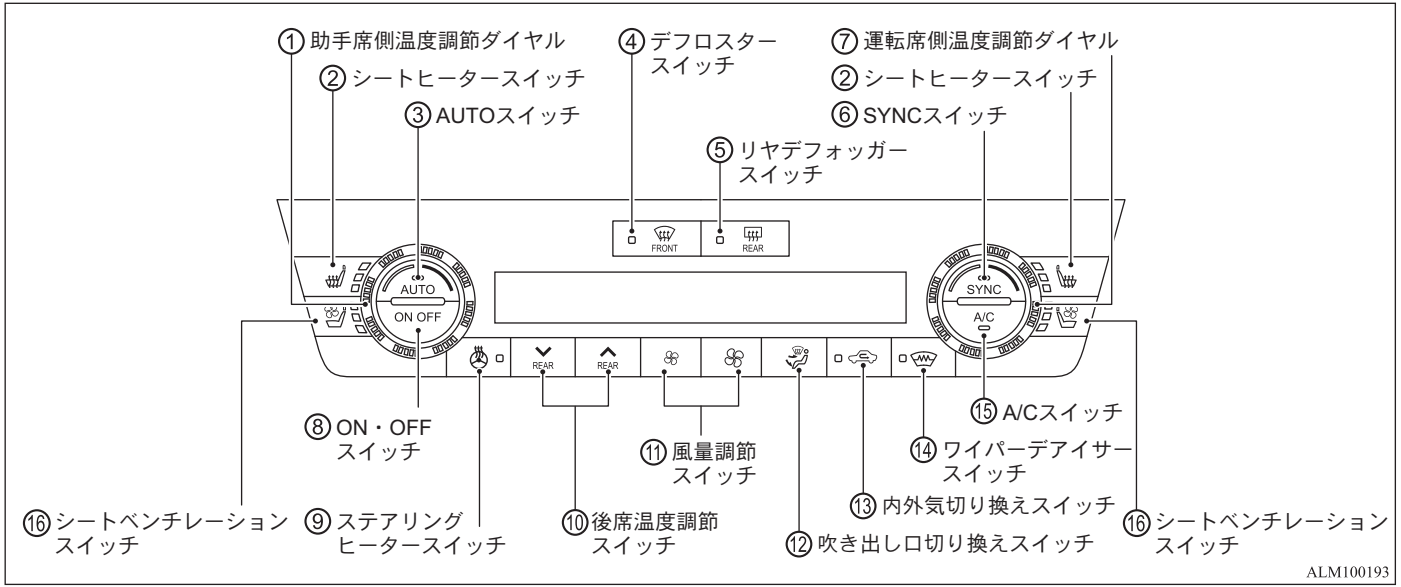
各スイッチの名称と機能

J17508500046

吹き出し口、風量の切り替えを自動制御して設定した温度に保ちます。また、内気循環／外気導入を自動制御に設定することで、内気循環／外気導入を自動制御します。パワースイッチの電源モードが ON で、READY（走行可能）表示灯が点灯していないときは送風のみとなります。



AFM119944



① **助手席側温度調節ダイヤル**
助手席側の設定温度を切り替えます。
左右独立モードが OFF のときは、運転席側で温度を調節すると助手席側も同時に温度調節します。

② **シートヒータースイッチ（→P.8-19）**
スイッチを押すごとに暖房 (強) ⇒暖房 (中) ⇒暖房 (弱) ⇒ OFF ⇒暖房 (強) の順に切り替わります。

③ **AUTO スイッチ**
自動制御に切り替えます。吹き出し口、風量調整、内外気切り替え、温度調整およびエアコンの ON・OFF を自動調整します。

④ **デフロスタースイッチ（→P.9-66）**
仕様によって位置が異なります。
フロントガラスのくもりが取れます。

⑤ **リヤデフォッガースイッチ（→P.9-67）**
仕様によって位置が異なります。
テールゲートガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し、霜やくもりが取れます。

⑥ **SYNC スイッチ**

タッチするごとに左右独立モードの ON ／ OFF が切り替わります。ON にすると、運転席と助手席の温度が同じになります。

⑦ **運転席側温度調節ダイヤル**
運転席側の設定温度を切り替えます。

⑧ **ON・OFF スイッチ**
オートエアコンの ON・OFF を切り替えます。

⑨ **ステアリングヒータースイッチ（→P.8-18）**
仕様によって位置が異なります。
ステアリングヒーターの ON・OFF を切り替えます。

⑩ **後席温度調節スイッチ**
後席用吹き出し口の設定温度を調節します。

⑪ **風量調節スイッチ**
風量を切り替えます。

⑫ **吹き出し口切り換えスイッチ（→P.6-58）**
吹き出し口を切り替えます。

⑬ **内外気切り換えスイッチ**
スイッチをタッチするごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。（内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。）

⑭ **ワイパーデアイサースイッチ（タイプ別装備）（→P.9-66）**
仕様によって位置が異なります。
ワイパーデアイサーの ON・OFF を切り替えます。

⑮ **A/C スイッチ**
冷房・除湿機能の ON・OFF を切り替えます。

⑯ **シートベンチレーションスイッチ（タイプ別装備）（→P.8-20）**
スイッチを押すごとに風量 (強) ⇒ 風量 (中) ⇒ 風量 (弱) ⇒ OFF ⇒ 風量 (強) の順に切り替わります。

⚠注意

- **窓のくもりを防止するため通常は外気導入で使用する。**
  長時間内気循環にしておくとウインドウガラスがくもりやすくなるため、ときどき外気導入に切り替えて換気してください。

アドバイス

- 暖房はエンジン冷却水の熱を利用しているので、暖房使用時はエンジンが始動します。ヒートポンプ付車は、駆動用バッテリーの電力を使用して暖房にすることができるので、エンジンが始動する頻度を下げることができます。

アドバイス

- EV プライオリティモードが作動しているときは、デフロスタースイッチを押したときを除き、エンジンは始動しません。このため、ヒートポンプ無車では暖房が効きません。暖房を効かせたいときは、EV プライオリティモードを解除してください。
  ヒートポンプ付車では、暖房効 −15°C 近くまで下がると、ヒートポンプが停止し暖房が使用できません。暖房を使用したいときは、EV プライオリティモードを解除してください。
  →EV（EV プライオリティ）モード (P.7-33)
- 外気温が低いとき、エアコンを作動させたままプラグインハイブリッド EV システムを起動すると、暖房のためエンジンがすぐに始動することがあります。このようなときはプラグインハイブリッド EV システムを起動する前に、パワースイッチの電源モードが ON の状態で EV プライオリティモードに切り替えることで、エンジンの始動を抑制することができます。
  →EV モードセレクタースイッチ (P.7-32)

アドバイス

- ECO モードが作動しているときは、エアコンの作動を抑制しているため、エアコンの効きが弱いと感じられることがあります。また、ECO モードが作動しているときは、エンジンの始動を抑制しているため、ヒートポンプ無車では暖房効果を得にくい場合があります。暖房の効きをよくしたいときは、ECO モードを停止してください。
- ECOモード作動時でもエアコンの作動を通常制御にすることができます。
  → エコ（P.5-36）
- 非常に寒いときに画面の動きが遅くなることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 設定温度表示灯の値は、マルチインフォメーションディスプレイの温度単位に連動して切り替わります。
  → 単位 / 言語（P.5-42）
- ヒートポンプ無車は、エンジン冷却水の温度が低いときに温度調整ダイヤルを操作しても送風温度はすぐには変わりません。
- 設定した温度に対して暑い、または寒いと感じるときに、快適になるよう調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 早く冷暖房したいときは、内気循環にすると効果的です。
- 手動操作後、AUTO スイッチを押すと、内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

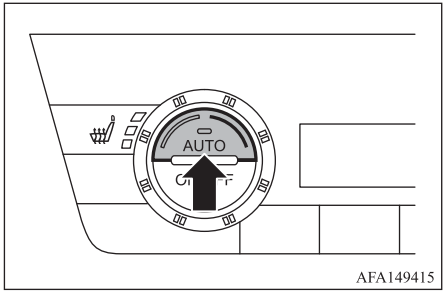
アドバイス

- 外気温が高いときにエアコンが作動していると、外気導入に切り替わらないことがあります。これはエアコンコンプレッサー保護のためであり、故障ではありません。
- 駆動用バッテリーの残量表示が0の場合、ダイヤルまたはスイッチを操作しても冷房効果を得られないことがあります。
  → 駆動用バッテリー残量表示（P.5-8）
- 燃料切れなどでエンジンが始動できない場合、ダイヤルまたはスイッチを操作しても暖房効果を得られないことがあります。
- 充電中にパワースイッチの電源モードを ON にするとエアコンを使用することができます。
  → 充電中の電装品の使いかた（P.3-21）

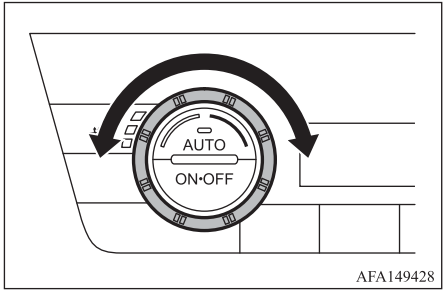
オートでの使いかた

J17508700022

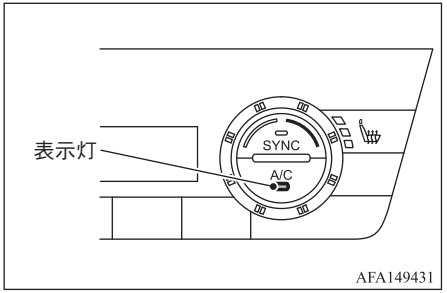
1. AUTO スイッチを押します。
   （スイッチの表示灯が点灯）



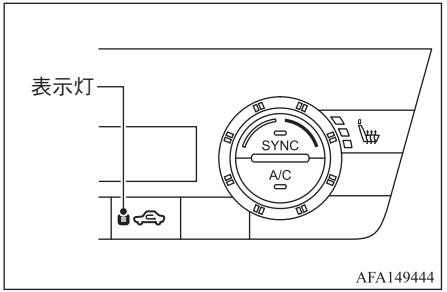
2. 温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。
   右回し：設定温度を上げる
   左回し：設定温度を下げる



3. A/C スイッチの表示灯が消灯しているときは、A/C スイッチを押します。(スイッチの表示灯が点灯)
   A/C スイッチ点灯時：冷房・除湿機能 ON



4. 内外気切り換えスイッチを約 10 秒間押し続けます。
スイッチの表示灯が点滅すると、自動制御モードに切り替わります。



⚠注意

- 内外気切り換えスイッチを約10秒間押し続けると、AUTO スイッチを押したときの内外気切り替えのモードを切り替えることができます。
スイッチの表示灯が 2 回点滅すると自動制御、5 回点滅すると手動制御で作動します。

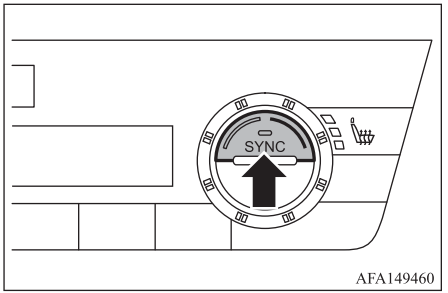
アドバイス

- オートで使用中に風量の調整または吹き出し口の切り替えを行うと AUTO スイッチの表示灯は消灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。
また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に内外気切り換えスイッチを押すと、マニュアルモードに切り替わります。(点灯の場合は内気循環、消灯の場合は外気導入の状態になります)
- パワースイッチの電源モードを OFF にし、再度パワースイッチの電源モードを ON にすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。

運転席と助手席それぞれの温度調節のしかた

J17508800023

- SYNCスイッチの表示灯が点灯しているときに SYNC スイッチを押す、助手席側の温度調節ダイヤルを操作する、または、後席温度調節スイッチ（タイプ別装備）を操作すると運転席側と助手席側と後席の温度を独立して調節できます。
このとき、SYNC 作動表示灯が消灯します。
- SYNC作動表示灯が消灯しているときに、SYNC スイッチを押すと助手席側と後席（タイプ別装備）の温度が運転席側の温度と同じになり、SYNC 作動表示灯が点灯します。

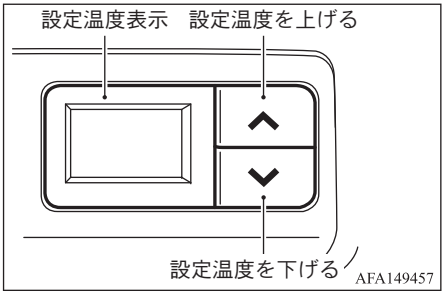


リヤ（セカンド）シートの温度調節のしかた

タイプ別装備

J17508900037

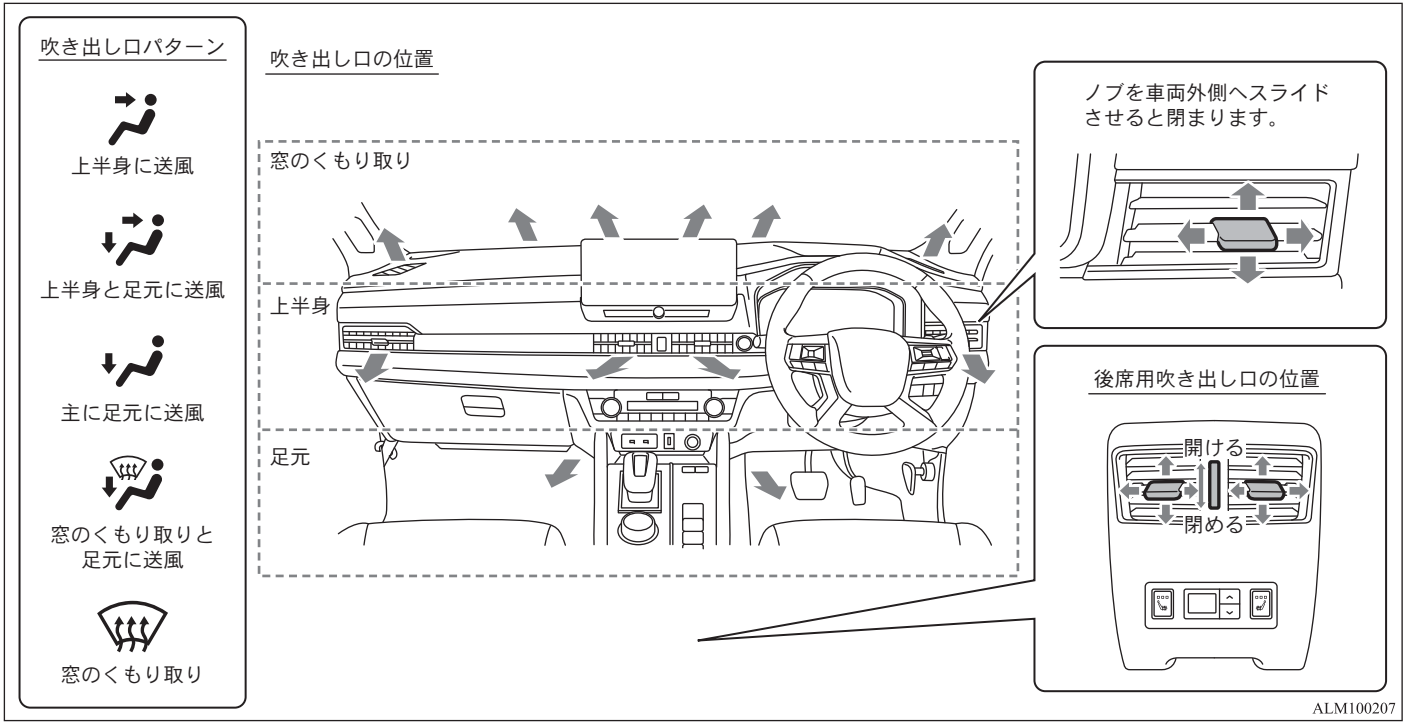
- フロアコンソール後面にあるコントロールスイッチで、リヤ（セカンド）シートへの設定温度を調節できます。



吹き出し口

J17509000035

吹き出し口切り換えスイッチまたはデフロスタースイッチを押して、使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。吹き出し口切り換えスイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。



アドバイス

- または を使用するときは、ウインドウガラスのくもりを防止するため、内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。

エアコンの上手な使いかた

J17509100023

長時間炎天下に駐車したときは

J17509200024

- 車室内の温度は大変高くなります。このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してからエアコンを作動させてください。

冷やしすぎに注意

J17509300025

- 長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので、少し涼しいと感じる温度に調整してください。

冷媒ガス量の点検を忘れずに

J17509400026

- 冷媒ガスが不足すると冷房、除湿効果が悪くなります。暑い季節になる前に三菱自動車販売会社で冷媒ガス量の点検を受けてください。

⚠注意

- **エアコンの冷媒ガスを充填する場合は、ボンネット内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合、エアコンコンプレッサーが故障するおそれがあります。**

アドバイス

- エアコン冷媒は、オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFO-1234yf(R1234yf)を使用していますが、この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い、ガスの大気放出を防止してください。

EV 航続可能距離を延ばすために

J17509500027

- エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため、過度に使用するとEV航続可能距離が短くなります。
- 冷やしすぎや暖めすぎにならないように、風量をこまめに絞り、さらに設定温度を控えめに調整してください。

エアコンを使うときに注意すること

J17509600028

エアコンに関する注意事項

J17509700029

⚠警告

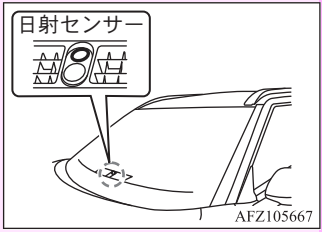
- **内気循環で長時間使用しない。**
  窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険ですので、一時的にご使用ください。

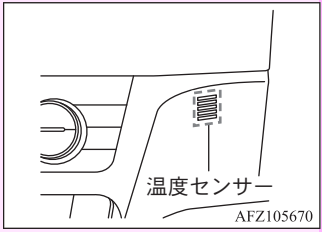
⚠注意

- **吹き出し風を長時間連続して身体にあてない。**
  特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間あたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- **デフロスタースイッチを ON にしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。**
  フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。
- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠注意

- フルオートエアコンの自動温度調節は、日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。





- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンエアフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、クリーンエアフィルターは定期的に交換してください。

交換時期：1年ごとまたは15,000km走行ごと

⚠注意

- クリーンエアフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコンシステムのオイル循環を切らさないために、ときどき A/C スイッチを ON にしてください。なお、外気温が 0°C 近くまで下がるとエアコンシステムが作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンの修理、メンテナンスは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が 0°C 近くまで下がると、A/C スイッチの表示灯が点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“ カチカチ ”、“ シュー ”、“ コツン ” などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

アドバイス

- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中または運転後などに車両の下に水が垂れることがあります。

エアコンのにおいについて

- エアコンシステムは、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

ヒートポンプシステムについて

- 降雪時など、外気温が低く湿度が高いときに暖房を使用すると、室外コンデンサに霜が付いて、暖房性能が低下することがあります。
- 室外コンデンサが着霜していると、充電中に霜取り運転のためにエアコンコンプレッサーが作動することがありますが、異常ではありません。
- 外気温が低いときや雪が降っているときなどは、ヒートポンプのみでは十分な暖房性能が得られない場合があります。その場合、暖房性能を得るため自動でエンジンがかかります。（EV プライオリティモードが作動している場合を除く）
- パワースイッチの電源モードがOFFのとき、エアコン機器のイニシャライズ作動音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

リモートエアコン

J17560900026

あらかじめ予約した時刻、または即座に空調を作動させて、乗車前に車室内の快適性向上、または視界確保を容易にする機能です。

リモートエアコンの設定のしかた

J17561000024

リモートエアコンの設定のしかたについては、スマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書（別冊）をお読みください。

オーディオの使いかた

J17510000022

安全運転のために

J17510100023

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞きください。

⚠警告

- **走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。**
  前方不注意となるおそれがあります。
- **音量を大きくしない。**
  大きすぎると車外の状況が分からないため、思わぬ事故の原因となります。

ラジオの受信について

J17510200024

- ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。

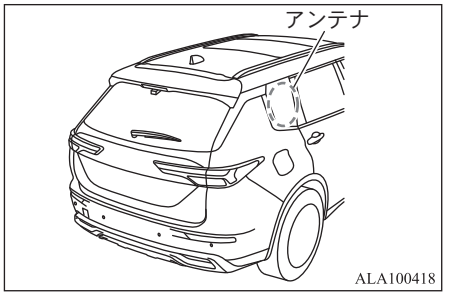
アドバイス

- オーディオを聞いているとき、車室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

ガラスアンテナについて

J17510300038

- アンテナ線は左右のリヤクォーターガラスの内側にあります。



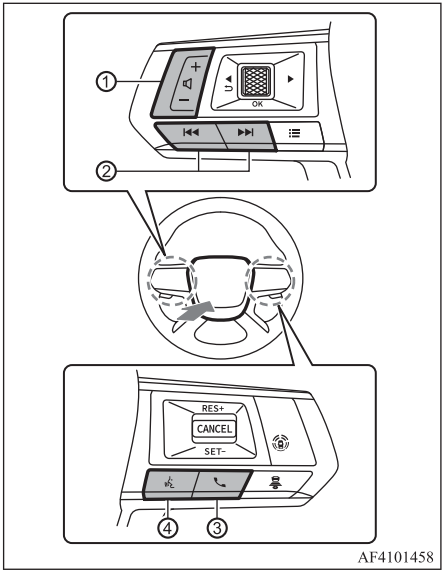
⚠注意

- リヤクォーターガラスを清掃するときは、アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると、受信感度が低下する原因となります。
  また、フィルムを貼り付ける際、カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

ステアリングスイッチ

J17510400039

スマートフォン連携ナビゲーションを操作することができます。



① **音量調節スイッチ**
音量を調節できます。
② **選曲／選局スイッチ**
曲や放送局などの切り替えができます。
③ **通話開始／終了スイッチ**
着信中に押すと電話を受けます。
通話中に押すと電話を切ります。
④ **音声操作スイッチ**
音声操作画面に切り替えます。

* 車両型式、オプションなどにより、使用できないスイッチもあります。

アドバイス

- 取り扱いについては、スマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 三菱自動車純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

起動する

パワースイッチ 7-2
ACC 電源オートオン / オフ機能 7-5

運転する

セレクターレバー 7-5
回生レベルセレクター（パドル式）..... 7-7
電動パーキングブレーキ 7-8
ブレーキオートホールド 7-10
発進 7-12
停車･駐車 7-14
ライトスイッチ 7-16

ランプをつける、ワイパーを使う

ヘッドライトレベリング 7-22
非常点滅灯スイッチ 7-23
フォグランプスイッチ 7-23
ワイパー･ウォッシャースイッチ 7-24

運転支援システム

イノベーティブペダル オペレーションモード 7-27
ドライブモードセレクター 7-29
EV モードセレクタースイッチ 7-32
エマージェンシーストップシグナルシステム [ESS] 7-34
S-AWC （Super-All wheel control）..... 7-35
S-AWC (Super-All wheel control) 車の扱いかた 7-36
アンチロックブレーキシステム [ABS] 7-37
アクティブスタビリティコントロール [ASC] 7-38
ヒルスタートアシスト [HSA] 7-40
ヒルディセントコントロール [HDC] 7-41
車両接近通報装置 [AVAS] 7-42
走行支援システム 7-44
マイパイロット（ナビリンク機能付）.....7-46
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 7-68
前方衝突予測警報 [PFCW] 7-73
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] 7-76
車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP] 7-85
後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付)[BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA] 7-90
後退時車両検知警報システム [RCTA] 7-98
ふらつき警報 [DAA] 7-101
標識認識システム [TSR] 7-103

カメラシステム

マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付）.....7-107
マルチアラウンドモニターに関する注意事項 7-117

パワースイッチ

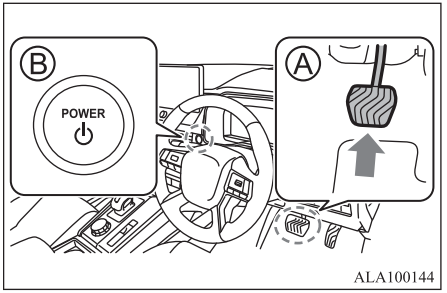
J17600100034

READY（走行可能）表示灯が点灯すると、走行できるようになります。

プラグインハイブリッドEVシステムの起動のしかた

J17600200035

1. 充電コネクターが車両に接続されていないことを確認します。
2. アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（→P.4-2）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。
3. 電動パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルⒶをしっかりと踏み込みながら、パワースイッチⒷを1回押します。
   メーター内のREADY（走行可能）表示灯が点滅から点灯に変わるまで、ブレーキを踏み続けてください。



5. メーター内のREADY（走行可能）表示灯が点滅から点灯に変わると、プラグインハイブリッドEVシステムの起動は完了し、走行できるようになります。

⚠警告

- **プラグインハイブリッドEVシステムを起動する前にペダルの位置を確認する。**
  ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠警告

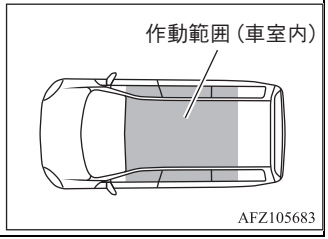
- **換気の悪い場所では、暖機運転をしたりプラグインハイブリッドEVシステムを長時間作動したままにしない。**
  排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **プラグインハイブリッドEVシステムを起動するときは、必ず運転席に座る。**
  運転席以外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- **セレクターレバーを操作した位置で保持したままパワースイッチを押さない。**
- **プラグインハイブリッドEVシステムの起動/停止を何度も繰り返さない**
  短時間のうちにプラグインハイブリッドEVシステムの起動/停止を繰り返すと、駆動用バッテリーの保護機能が作動して、プラグインハイブリッドEVシステムを起動できなくなることがあります。
  詳しくは、→プラグインハイブリッドEVシステムの起動や充電ができないときは（P.9-14）をお読みください。

アドバイス

- メーター内の READY（走行可能）表示灯が点灯する前にブレーキから足を離すと、システムは起動せず、READY（走行可能）表示灯は消灯します。
- キーレスオペレーションキー機能の ON・OFF を切り替えることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- プラグインハイブリッド EV システム起動前のブレーキペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ブレーキペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、プラグインハイブリッド EV システムが起動しません。ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- キーが作動範囲（車室内）にあるときに、プラグインハイブリッド EV システムを起動することができます。



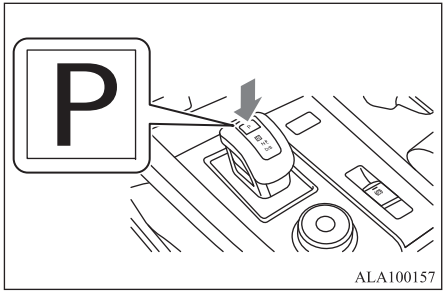
アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても、グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル周辺、ドアポケットまたはラゲッジルームなどにあるときは、プラグインハイブリッド EV システムの起動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても、ドアやドアガラスのすぐ近くにあるときは、プラグインハイブリッド EV システムの起動またはパワースイッチの電源モードの切り替えができることがあります。
- READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は、パワースイッチの電源モードをいったん OFF にし、約 10 秒以上待ってからパワースイッチを押してプラグインハイブリッド EV システムを起動してください。

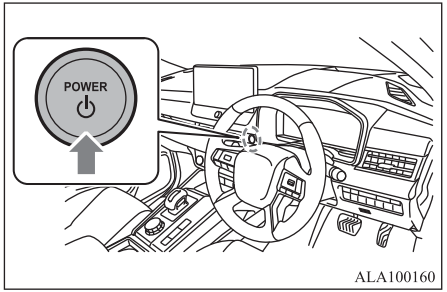
プラグインハイブリッド EV システム停止のしかた

J17600300036

1. ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。
2. セレクターレバーにある (P) スイッチを押し、シフトポジションを Ⓟ に切り替えます。
   → シフトポジションの切り替え方法（P.7-5）



3. ブレーキペダルを踏んだまま電動パーキングブレーキをかけます。
   → 電動パーキングブレーキのかけかた / 解除の仕方（P.7-8）
4. パワースイッチを押します。
   READY（走行可能）表示灯が消灯していることを確認したら、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。



⚠警告

- **パワースイッチの電源モードをOFFにするときは、電動パーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションがⓅであることを確認する。**
  車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

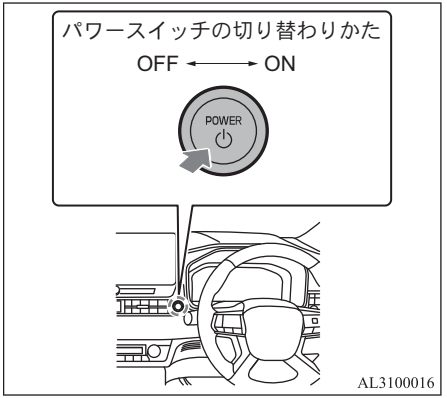
アドバイス

- パワースイッチの電源モードをOFFにしても、エンジンルーム内の温度が高ければ、冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  そのため、パワースイッチの電源モードをOFFにしてからも冷却ファンの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
  一定時間作動したあと、冷却ファンは自動的に停止します。
- プラグインハイブリッド EV システムを停止してから約 6 時間後に、車体下から作動音が数分間聞こえることがあります。これは燃料システムの漏れをチェックする音であり、異常ではありません。

パワースイッチの電源モードの切り替えかた

J17600400037

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、次のように電源モードが切り替わります。



モード	働き
OFF	スマートフォン連携ナビゲーションなどが使える位置（ACC 状態のとき） プラグインハイブリッド EV システムを停止する位置
ON	すべての電装品が使用できます。

⚠注意

- 補機用バッテリーあがりを防止するため、電装品（スマートフォン連携ナビゲーションやアクセサリーソケットなど）はプラグインハイブリッド EV システムを起動した状態でご使用ください。プラグインハイブリッド EV システムを起動しないときは、電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。

アドバイス

- ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、プラグインハイブリッド EV システムが起動してメーター内の READY（走行可能）表示灯が点灯します。
  → プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた（P.7-2）
- パワースイッチの電源モードがOFFの位置でも、ACC 状態のときはスマートフォン連携ナビゲーションなどの電装品を使うことができます。
  ACC 状態については、→ACC 電源オートオン/オフ機能（P.7-5）をお読みください。

プラグインハイブリッドEVシステムの非常停止のしかた

J17600500025

緊急時など、走行中に強制的にプラグインハイブリッド EV システムを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- パワースイッチをすばやく 3 回押す。
- パワースイッチを 2 秒以上押し続ける。

⚠警告

- **非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。**
  非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

ACC 電源オートオン / オフ機能

J17600600026

パワースイッチの電源モードがOFFのときでも、特定の条件で、スマートフォン連携ナビゲーションなどの一部の電装品が使える状態（ACC 状態）に自動で切り替わる機能です。プラグインハイブリッド EV システムの停止後や、パワースイッチの電源モードを ON にする前でも、スマートフォン連携ナビゲーションなどが使用できます。

ACC 電源オートオン / オフ機能について

J17600700027

- 次の場合、自動でACC状態に切り替わります。
  - キーレスオペレーションシステム機能で解錠したとき
  - プラグインハイブリッドEVシステムを停止したとき

ACC 状態を停止するには

- 次の場合、ACC 状態が完全に停止します。
  - ACC状態のまま何も操作せず約11分経過したとき
  - プラグインハイブリッドEVシステム停止後、キーレスオペレーションシステム機能で施錠してから約 2 分経過したとき

⚠注意

- 補機用バッテリーあがりを防止するため、電装品はプラグインハイブリッド EV システムを起動した状態でご使用ください。やむをえず使用するときは、長時間使用したり、同時に複数の電装品を使用しないでください。

セレクターレバー

J17600800031

メーター内の READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。セレクターレバーを操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

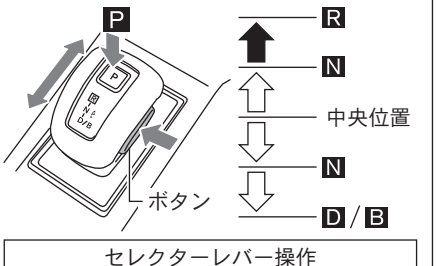
シフトポジションの切り替え方法

J17600900032

Ⓟ	セレクターレバーにある (P) スイッチを押します。
Ⓡ	ブレーキペダルを踏みながら、ボタンを押して車両前方へ 2 段階スライドさせます。
Ⓝ	Ⓟのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方、または車両後方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。 Ⓓ・Ⓑのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両前方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。 Ⓡのときは、ブレーキペダルを踏みながら車両後方に 1 段階スライドさせ、しばらく保持します。

Ⓓ	ブレーキペダルを踏みながら、車両後方に 2 段階スライドさせます。
B3 または B5	Ⓓのときに車両後方に 2 段階スライドさせると B3 に切り替わります。 もう一度車両後方に 2 段階スライドさせるとⒹに戻ります。 なお、B3 の状態から車両後方に 1 段階スライドさせると B5 に切り替わります。

セレクターレバーの動かし方



セレクターレバー操作	
➡	ボタンを押して操作します。
⇨	ボタンを押さずにそのまま操作します。

AL3100029

⚠警告

- ⒹまたはⓇにするときは、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わない。
- 車両から降りるときは、必ずシフトポジションをⓅにする。

⚠注意

- **セレクターレバーには物を掛けない。**
  車両が突然発進するなど、事故の原因になるおそれがあります。
- **シフトポジションをⓅにするときは、車が完全に停止してから行う。**
  急停止して怪我やをするおそれがあります。また車両の故障の原因になります。
- **走行中はシフトポジションをⓃにしない。**
- セレクターレバーを中央の位置以外で保持し続けないでください。故障の原因になります。

アドバイス

- セレクターレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。
- セレクターレバーが中央に無いときは、(P) スイッチを押してもⓅに切り替えられません。
- シフトポジションをⓇに切り替えるとブザーが鳴ります。

アドバイス

- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションはⓃに切り替わります。
  - 前進中にシフトポジションをⓇに切り替える
  - 後退中にシフトポジションをⒹに切り替える
- この車両にはオート P 機能（→P.7-7）がありますが、電制シフトが故障した場合は、シフトポジションがⓅ以外でパワースイッチの電源モードを OFF にしようとしても、ブザーが鳴り、パワースイッチの電源モードを OFF に切り替えられません。
  パワースイッチの電源モードを OFF にできないときは、次の操作を行ってください。
  (1) 停車して電動パーキングブレーキをかけます。
  (2) ブレーキペダルを踏み込みながらパワースイッチを押して、パワースイッチの電源モードを ON に切り替えます。
  (3) セレクターレバーにある (P) スイッチを押してⓅに切り替えます。
  (4) パワースイッチを押して、OFF に切り替えます。
- パワースイッチの電源モードが ON でも READY（走行可能）表示灯が点灯していないときは、Ⓓ・Ⓑ・Ⓡには切り替えられません。

アドバイス

- 以下の条件が重なったとき、シフトポジションが自動でⓅに切り替わる場合があります。
  - 運転席シートベルトを外したとき
  - 運転席ドアを開けたとき

各シフトポジションの機能

J17601000030

シフトポジション	働き
Ⓟ	駐車およびプラグインハイブリッド EV システムを起動するとき
Ⓡ	後退するとき
Ⓝ	動力が伝わらない状態
Ⓓ	通常走行するとき
Ⓑ	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なとき

⚠注意

- シフトポジションをⒹからⓇ、またはⓇからⒹに切り替えるときは、必ず停車してください。
- シフトポジションがⓃのままアクセルペダルを踏まないでください。意図せずポジションがⒹまたはⓇに変わると急発進するおそれがあります。

アドバイス

- シフトポジションをⓅに切り替えずにパワースイッチの電源モードを OFF にすると、自動的にシフトポジションがⓅに切り替わる場合があります。（オートP機能）
- シフトポジションがⒷのときは減速力を強くするため、エンジン回転数が高くなる場合があります。
  →ガソリンエンジン作動について（P.2-4）

⚠注意

- シフトポジションがⓅから切り替わらない場合は、以下を確認してください。
  - READY（走行可能）表示灯が点灯している
  - ブレーキペダルを踏んでいる
  - シートベルトを締めている
  - 運転席ドアが閉じている

回生レベルセレクター（パドル式）

J17601100028

回生レベルセレクター（パドル式）は、走行中アクセルペダルから足を離したときの回生ブレーキ力を、ステアリングに手を添えたまま素早く変更することができます。

回生レベルセレクター（パドル式）の使いかた

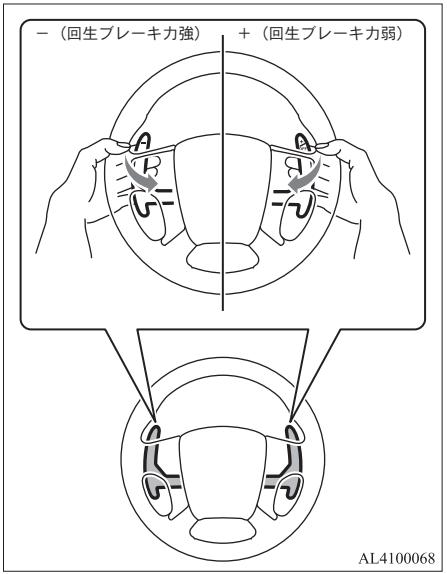
J17601200032

- 回生レベルセレクター（パドル式）を手前に引くことで、回生ブレーキの効き（駆動用バッテリーに充電する電気エネルギー量）を、カーブの手前や下り坂などの走行状況に合わせて調整できます。
- 回生ブレーキカは、B0（回生ブレーキカなし）から B5（回生ブレーキカ強）の 6 段階に切り替わります。

  B0 ～ B1 ：高速道路等の加減速の少ない走行では、アクセルペダルの踏み込み量を軽減できます。

  B2 ：シフトポジションが D のときと同じ減速力です。

  B3 ～ B5 ：市街地等の加減速の多い走行ではブレーキペダルへの踏み換え頻度を軽減できます。
- マイパイロット（ナビリンク機能付）起動中は回生ブレーキの操作ができません。ブザーが鳴ります。



⚠警告

- **ぬれた道路や凍結した道路では急激な回生ブレーキは避ける。**
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- セレクターレバーや回生レベルセレクター（パドル式）を操作して強い回生ブレーキが発生したときは、ブレーキランプが点灯します。
- 左右の回生レベルセレクター（パドル式）を同時に操作すると、回生ブレーキ力が変わらないことがあります。
- 回生レベルセレクター（パドル式）を連続して操作すると連続して切り替わります。
- POWERモードまたはTARMACモードを選択したときは、回生ブレーキ力は自動的に B5 に切り替わります。切り替わった後は、回生レベルセレクター（パドル式）でお好みの回生ブレーキ力に変更することができます。
- B3～B5のときは減速力を強くするため、エンジンが作動しエンジン回転数が高くなる場合があります。
  →ガソリンエンジン作動について(P.2-4)

回生ブレーキ力を弱くするときは

回生レベルセレクター（パドル式）の＋側を引くごとに 1 段ずつ回生ブレーキ力が弱くなります。

回生ブレーキ力を強くするときは

回生レベルセレクター（パドル式）の－側を引くごとに 1 段ずつ回生ブレーキ力が強くなります。

Ⓓの回生ブレーキ力(B2)に戻すときは

回生レベルセレクター（パドル式）の＋側を約 2 秒以上手前に引くとⒹの回生ブレーキ力に戻ります。

電動パーキングブレーキ

J17601300020

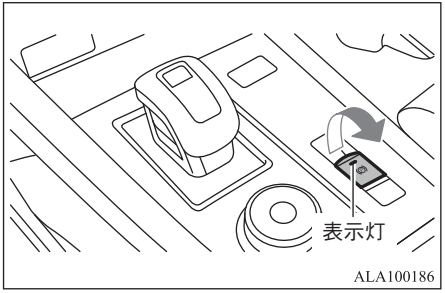
停車中や駐車時に使用するブレーキです。電動パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。電動パーキングブレーキスイッチで操作します。

電動パーキングブレーキのかけかた / 解除の仕方

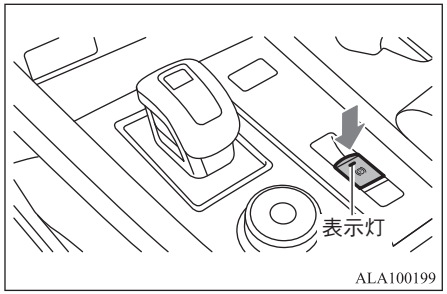
J17601400034

1. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
2. かけかた：電動パーキングブレーキスイッチを引き上げます。

スイッチを引き上げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が点灯し、メーター内の電動パーキングブレーキ警告灯Ⓟが点灯します。



3. 解除のしかた：電動パーキングブレーキスイッチを押し下げます。
スイッチを押し下げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキが解除されるとメーター内の電動パーキングブレーキ警告灯Ⓟが消灯します。



⚠警告

- **電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。**
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキオートホールドが作動しているときにシフトポジションをⓅにすると、電動パーキングブレーキがかかります。その他、ブレーキオートホールドについては（→P.7-10）をお読みください。
- 電動パーキングブレーキは、パワースイッチの電源モードが ON のときのみ解除できます。

自動解除のしかた

J17601600023

電動パーキングブレーキスイッチを操作しなくても、電動パーキングブレーキを解除することができます。渋滞や上り坂での発進に便利です。

- 電動パーキングブレーキがかかっている状態でシフトポジションをⒹまたはⓇにし、アクセルペダルをゆっくり踏んでください。
電動パーキングブレーキが解除され、メーター内の電動パーキングブレーキ警告灯Ⓟが消灯します。
- 電動パーキングブレーキの自動解除は、以下の条件を満たしている必要があります。
  - 運転席ドアが閉じている
  - プラグインハイブリッドEVシステムが起動している
  - シフトポジションがⒹまたはⓇのとき

電動パーキングブレーキに関する注意事項

J17601700024

⚠警告

- **電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さないで。**
  システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。約 1 分間経過してから再度操作してください。

⚠注意

- 寒冷時に駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけずにシフトポジションをⓅ位置に入れ、電動パーキングブレーキを解除したまま車輪の前後に適切な輪留めをしてください。寒冷時に電動パーキングブレーキをかけると、電動パーキングブレーキが凍結し、解除できなくなるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキが補機用バッテリーあがりや故障などで解除できなくなったときは、三菱自動車販売会社または JAF などのロードサービスに連絡してください。

アドバイス

- 電動パーキングブレーキをかけたり解除したりすると、車体下から作動音が聞こえることがありますが、これは異常ではありません。
- 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキをかける必要が生じたときは、電動パーキングブレーキスイッチを引き上げ続けてください。電動パーキングブレーキがかかります。スイッチから手を離すと、電動パーキングブレーキは解除されます。
- パワースイッチの電源モードが ON 以外のときに、電動パーキングブレーキスイッチを引くと、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯がしばらく点灯状態になることがあります。

ブレーキオートホールド

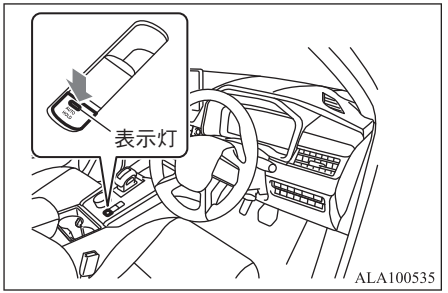
J17601800025

ブレーキオートホールド機能は、信号待ちなどで停車中にブレーキ力を保持する機能です。

ブレーキオートホールド機能について

J17601900039

- ブレーキオートホールド機能は、運転者のブレーキ操作によって停車した際に、ブレーキ力を保持する機能です。
  ブレーキ力が保持されているときにアクセルペダルを踏むと、ブレーキが解除され、発進することができます。



ブレーキオートホールド機能の作動について

J17602000037

ブレーキオートホールド機能をONにする

- パワースイッチの電源モードをONにし、ブレーキオートホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯します。
- ブレーキオートホールド機能は、次の条件が満たされたときのみ、メーター内のブレーキオートホールド表示灯（白色）が点灯し、待機状態になります。
  - 運転席シートベルトを着用している
  - シフトポジションがⓅ位置以外にある
  - 電動パーキングブレーキがかかっていない
  - 急な坂道の途中に停車していない

ブレーキオートホールド機能をOFFにする

- ブレーキオートホールド機能がONのとき、ブレーキオートホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が消灯しブレーキオートホールド機能がOFFになります。
- 停車中にブレーキオートホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかり踏んで、ブレーキオートホールドスイッチを押します。

⚠注意

- **ブレーキオートホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、ブレーキオートホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。**
  ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキオートホールド機能は、プラグインハイブリッドEVシステムをOFFにした時のON/OFF設定を記憶して次回起動時に反映します。

ブレーキオートホールド機能の使いかた

J17602100025

ブレーキ力を保持させる

ブレーキオートホールド機能が待機状態（メーター内のブレーキオートホールド表示灯が白色に点灯）のとき、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させると、ブレーキオートホールド機能によってブレーキ力が保持されます。
ブレーキ力が保持されているときは、メーター内のブレーキオートホールド表示灯が緑色に点灯します。

発進する

シフトポジションがⓅまたはⓃ位置以外にあり、ブレーキ力が保持されている状態でアクセルペダルを踏むと、保持されているブレーキ力が解除されて発進します。
ブレーキ力の保持が解除されると、メーター内のブレーキオートホールド表示灯が白色に点灯し、待機状態に戻ります。

アドバイス

- 急な坂道では、ブレーキオートホールドが作動開始するまでブレーキペダルを強く踏み込む必要があります。

ブレーキオートホールド機能使用時の注意事項

J17602200026

⚠警告

- **急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。**
  ブレーキオートホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。
- **ブレーキオートホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。**
  ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くと、警告音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
  警告メッセージ（→P.9-35）
- **次の場合はブレーキオートホールド機能を OFF にする。**
  - 洗車機を使用するとき
  - 車両にけん引されるとき
- **次の場合はシフトポジションをⓅ位置にして電動パーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。**
  - 駐車するとき
  - 人が乗降するとき
  - 荷物の積み下ろしをするとき

  車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。

⚠警告

- **ブレーキ力を保持しているときは、車両の停車状態を維持するため、作動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。**

⚠注意

- 次の場合は、システムに異常が発生しているおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき
  - ブレーキオートホールドスイッチを押してもスイッチの表示灯が点灯しないとき

アドバイス

- ブレーキオートホールド機能が ON でブレーキ力が保持されているときに、次の状態になると電動パーキングブレーキがかかり、ブレーキ力が解除されます。
  - ブレーキオートホールド機能によるブレーキ力の保持が3分以上継続されたとき
  - 運転席シートベルトを外したとき
  - パワースイッチの電源モードを OFF にしたとき
  - ブレーキオートホールド機能に不具合が生じたとき
  - シフトポジションをⓅ位置にしたとき

アドバイス

- 電動パーキングブレーキスイッチを引き上げたとき

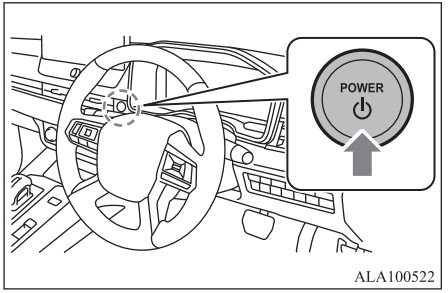
発進

J17602300027

発進のしかた

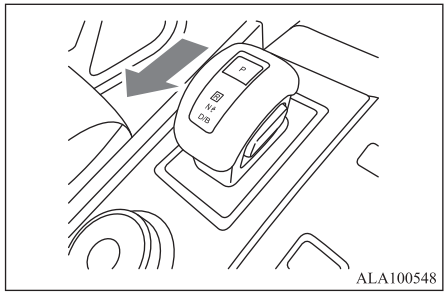
J17602400031

1. ブレーキペダルを踏んだまま、プラグインハイブリッド EV システムを起動します。
   →プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた（P.9-15）

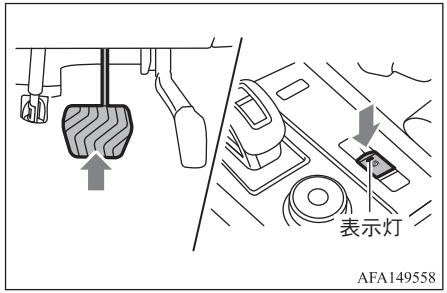


ALA100522

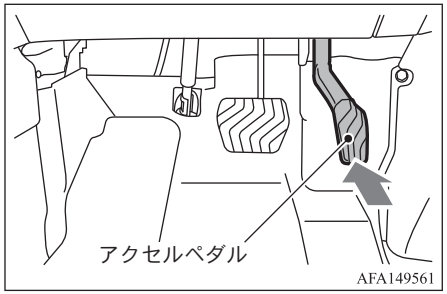
2. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクターレバーを車両後方に 2 段階スライドさせ、シフトポジションをⒹに切り替えます。
   → シフトポジションの切り替え方法（P.7-5）



3. 電動パーキングブレーキを解除します。
→ 電動パーキングブレーキのかけかた / 解除の仕方（P.7-8）



4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



⚠警告

- **発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクターレバーを操作しない。**
  急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- **停車中、シフトポジションがⓅ、Ⓝ以外のときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。**
  クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏むと、電動パーキングブレーキが解除されず、電動パーキングブレーキが故障するおそれがあります。

⚠注意

- EV　システムを起動するときは、セレクターレバーを操作しないでください。EV システム起動時、セレクターレバーが中央の位置以外にあると、シフトポジションを切り替えられない場合があります。

アドバイス

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト [HSA]（→P.7-40）が作動します。

走行のしかた

J17602500032

- シフトポジションをⒹにしたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
- 下り坂では、ガソリン車のエンジンブレーキの代わりに回生ブレーキ（→P.2-4）を併用して走行します。シフトポジションがⒹのときよりⒷのほうが、回生ブレーキの効きが強くなります。

速度が出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

- 回生ブレーキは、満充電時や低温時などにブレーキが弱くなることがあります。回生ブレーキが弱いときは、ブレーキペダルを踏んで減速してください。

⚠警告

- **下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。**
  ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。
- **走行中はシフトポジションをⓃに入れない。**
  回生ブレーキが作動しないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **坂道で駐停車するときは、ブレーキを踏んで車両を停止させる。**
  ブレーキを踏まずにアクセルペダル操作のみで車両を停止させ続けると、走行用モーターが過熱するおそれがあります。停車時にはアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。
- **イノベーティブペダル　オペレーションモードが ON のときは、アクセルペダルを離すことで、強めの減速度で減速するが、停車するためにはブレーキを踏む。**

⚠注意

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 上り坂でシフトポジションをⒹまたはⒷのまま故意に車両を後退させたり、下り坂でⓇのまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 冠水した道路を走行すると、プラグインハイブリッド EV システムが停止するだけでなく、漏電やショートなど故障の原因になります。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの充電量が高めのとき、高温、または低温になった場合は、ジェネレーターでエンジンを駆動することで回生電力を消費させます。
- 走行中にセレクターレバーにある (P) スイッチを押した場合は、操作が無効となります。（ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます。）

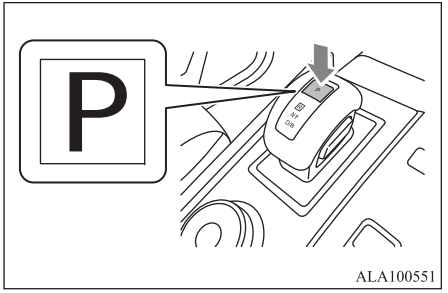
停車･駐車

J17602600020

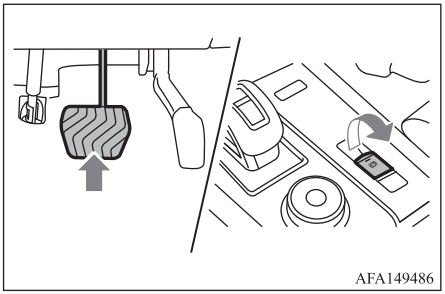
停車･駐車のしかた

J17602700034

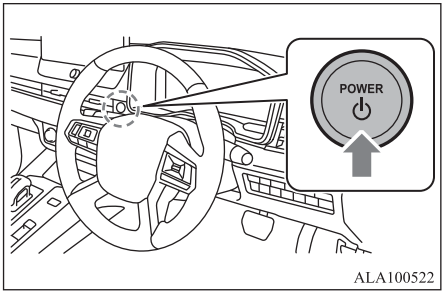
1. 停車するときは、シフトポジションはⒹまたはⒷのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. ブレーキペダルを踏んだままセレクターレバー上部の(P)スイッチを押し、シフトポジションをⓅに切り替えます。
   → シフトポジションの切り替え方法 (P.7-5)



3. そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだまま電動パーキングブレーキをかけます。
   → 電動パーキングブレーキのかけかた / 解除の仕方（P.7-8）



4. パワースイッチを押します。
メーター内の READY（走行可能）表示灯が消灯していることを確認してから、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。



⚠警告

- **駐車するときは、ガスライターなどに注意する。**
  操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。
- **停車中の空ぶかしはしない。**
  万一、シフトポジションがⓅ、Ⓝ以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、シフトポジションの位置を目で確認してください。
- **換気の悪い場所では、プラグインハイブリッド EV システムを作動させたままにしない。**
  排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **車から離れるときは、必ずシフトポジションをⓅにして、プラグインハイブリッド EV システムを停止する。**
  プラグインハイブリッド EV システムが作動したままで、シフトポジションがⓅ、Ⓝ以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- **枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐停車しない。**
  排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- **長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。**
- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

アドバイス

- パワースイッチの電源モードをOFFにしても、エンジンルーム内の温度が高ければ、冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  そのため、パワースイッチの電源モードをOFFにしてからも冷却ファンの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
  一定時間作動したあと、冷却ファンは自動的に停止します。

7

ライトスイッチ

J17602800035

ライトスイッチの使いかた

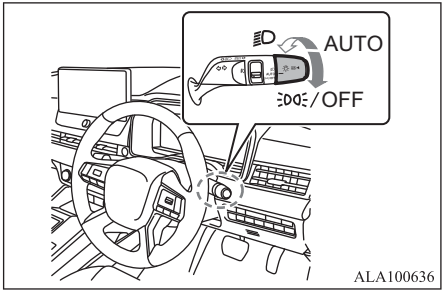
J17602900049

スイッチを回すと、次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
≡D	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
AUTO	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。
≡DC≡/OFF	停車時に≡DC≡/OFF の位置に回すと車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。 停車時に≡DC≡/OFF の位置で 1.5 秒以上保持すると、全ランプが消灯します。 走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯・消灯します。

●ランプが点灯しているときはメーター内のポジションランプ表示灯 ≡DC≡ が点灯します。

●ライトスイッチを操作するとメーターにスイッチ位置が表示されます。



⚠注意

●READY（走行可能）表示灯が点灯していないときは、長時間点灯させないでください。補機用バッテリーがあがるおそれがあります。

アドバイス

●通常時は AUTO の位置で使用してください。

アドバイス

●マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「オペレーションガイダンス」⇒「ライト」を選択すると、ライトスイッチを回したときにメーターに表示する機能の ON・OFF を切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
→ 画面カスタマイズ（P.5-41）

バッテリーセーバー

●READY（走行可能）表示灯が点灯時にランプを点灯したままパワースイッチの電源モードを OFF にすると、補機用バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。
- パワースイッチの電源モードを ON にする
- ライトスイッチを操作する

ヘッドライト消し忘れ警報

●パワースイッチの電源モードが ON 以外で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチが AUTO 以外にあるとブザーが鳴ります。

デイタイムランニングランプ

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が点灯時に、ライトスイッチが AUTO の位置で電動パーキングブレーキを解除すると車外の明るさに応じてLEDイルミネーションが点灯します。
- 周囲の車や歩行者などからの視認性を向上させます。
  - スイッチ位置を≡D◁≡/OFF、または≡Dの位置にすると、デイタイムランニングランプが減光し車幅灯として点灯します。

≡D◁≡/OFF の使いかた

J17603000034

- ライトスイッチは≡D◁≡/OFF の位置にしても手を離すと自動でAUTO位置に戻ります。
- ライトの点灯状態は次のとおりです。

ライトスイッチを≡D◁≡/OFF の位置に回したとき

- 停車時にライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回すと、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- 停車時にライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回しても、走行すると周囲の明るさに応じてヘッドライトが自動点灯します。
- 走行中にライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回すと、周囲が明るいときは車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。周囲が暗いときはライトスイッチを≡D◁≡/OFF の位置に回しても、点灯しているヘッドライトを消灯できません。（停車時のみ消灯可能です。）

ライトスイッチを≡D◁≡/OFF の位置に回して 1.5 秒以上保持したとき

- 停車時にライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回して 1.5 秒以上保持すると、全ライトが消灯します。
- 停車時にライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回して 1.5 秒以上保持しても、走行すると周囲が暗いときはヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
- 走行中にライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回して 1.5 秒以上保持しても、点灯しているライトを消灯できません。

アドバイス

- 次の操作をすると、AUTO（自動点灯･消灯）に戻ります。
  - 再度ライトスイッチを≡D◁≡/OFFの位置に回す

アドバイス

- ≡Dの位置にしてから AUTO の位置にする

AUTO（自動点灯･消灯）の使いかた

J17603100022

- パワースイッチの電源モードが OFF のときは消灯します。
- パワースイッチの電源モードが ON のときは次のように作動します。

周囲が明るいとき

- 停車中、走行中ともにヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯します。

周囲が暗いとき

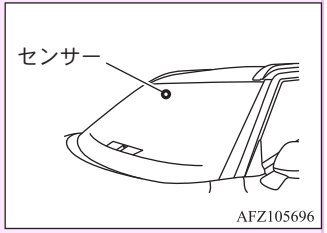
- 停車中、走行中ともにヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

⚠注意

- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

7

⚠注意



≡Dの使いかた

J17603200049

- ライトスイッチを≡Dの位置に合わせるとヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

自動点灯ライトの消灯のしかた（車両停車時）

J17603300037

ヘッドライトの消灯方法

- ライトスイッチを≡DOFF/OFF の位置に回すと、ヘッドライトが消灯します。

すべてのライトの消灯方法

- ライトスイッチを≡DOFF/OFF の位置に回して 1.5 秒以上保持すると、全ライトが消灯します。

アドバイス

- 自動点灯したヘッドライトは走行中に消灯できない仕様となっています。

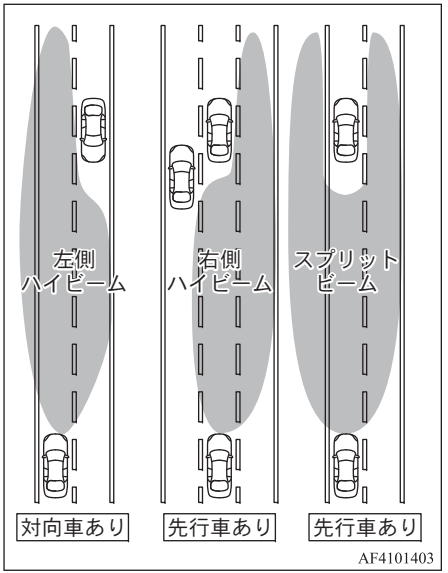
アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]/ オートマチックハイビーム [AHB]

J17619400020

アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]

タイプ別装備

先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。
約 30km/h 以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 25km/h 以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

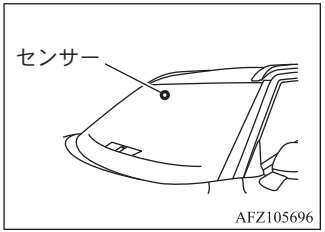


オートマチックハイビーム[AHB]

タイプ別装備

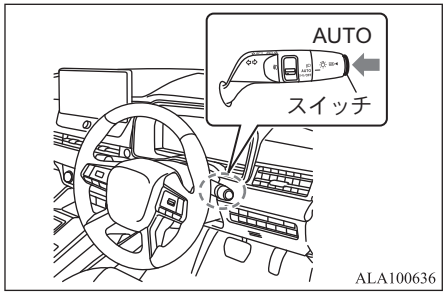
オートマチックハイビーム [AHB] は、センサーにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、自動的にヘッドライトの上向き（ハイビーム）または下向き（ロービーム）の切り換えを行います。

約 30km/h 以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約 25km/h 以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。



アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]/オートマチックハイビーム [AHB] を ON にする方法

- ライトスイッチがAUTOの位置でヘッドランプが点灯しているときにスイッチを押すと、ALH/AHB が ON になります。（メーター内のアダプティブ LED ヘッドライト [ALH] 表示灯 またはオートマチックハイビーム [AHB] 表示灯 が点灯）



ALH/AHB を OFF にする方法

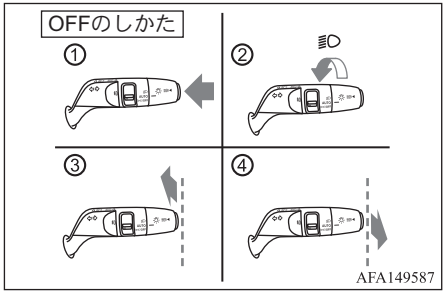
次のいずれかの操作をすると、ALH/AHB が OFF になります。

- ALH/AHB が制御中のとき

— スイッチを押す …①
— ライトスイッチを位置にする …②
— ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）…③
— ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）…④

- ALH/AHB が制御していないとき

— スイッチを押す …①
— ライトスイッチを位置にする …②
— ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）…③



⚠警告

- **システムを過信しない。**
  常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- **次のようなときは、ALH/AHB が正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。**
  - 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
  - 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
  - カメラの向きがずれているとき
  - 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき

7

⚠警告

- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないもののとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

⚠注意

- ALH/AHB が正しく作動しなかったり、作動中にメーター内に ALH 表示灯 または AHB 表示灯 が点灯しなかったりしたときは、ALH/AHB が故障しているおそれがあります。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  → アダプティブ LED ヘッドライト [ALH] 表示灯（P.9-32）
  → オートマチックハイビーム [AHB] 表示灯（P.9-32）

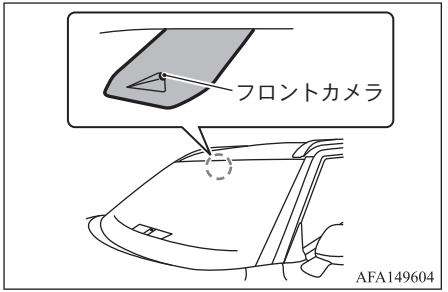
アドバイス

- ALH/AHB が ON でロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。
  （ALH/AHB は ON を維持）
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。
- 次のような原因で、照射範囲の切り替わるタイミングが変化することがあります。
  - 対向車または先行車のランプの明るさ
  - 対向車または先行車の向きや動き
  - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
  - 対向車または先行車が二輪車
  - 道路状況（カーブやこう配、路面状況など）
  - 乗車している人数や荷物の量

フロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を感知するためのカメラがあります。
ALH/AHB を正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリーやステッカーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。
  → フロントカメラの取り扱い（P.10-18）



アドバイス

- フロントガラスが汚れていたり、フロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、マルチインフォメーションディスプレイにヘッドランプ警告（→P.9-35）が表示されることがあります。
  カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。

ハイビーム（上向き）への切り替えかた

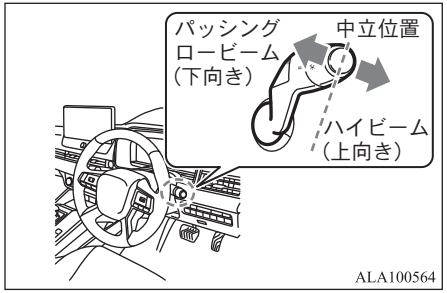
J17603500042

ライトスイッチが≡D位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチがAUTO位置のとき

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すとハイビームに切り替わります。
- ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。



⚠注意

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

アドバイス

- ハイビームに切り替えているときは、メーター内のヘッドライト上向き表示灯 が点灯します。
- ALH/AHB が ON のとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

方向指示器の使いかた

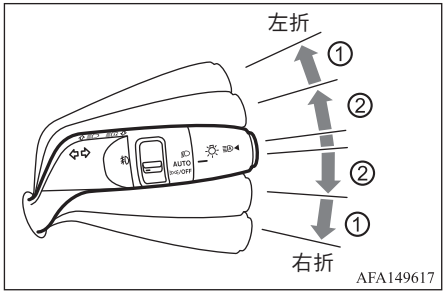
J17603600030

パワースイッチの電源モードが ON のとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。

コンフォートフラッシャー機能について

スイッチを②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離したときは 3 回点滅し消灯します。



⚠注意

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示器表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器の故障などが考えられますので、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  → 外装ランプが点灯しないときは (P.9-74)
- コンフォートフラッシャー機能をOFFにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

その他の機能について

J17603700031

カミングホームライト機能

- 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに、以下の操作を行うと、ヘッドランプが周囲を照らします。
  - パワースイッチの電源モードが ON 以外のとき、ヘッドランプおよび車幅灯が消灯している状態でライトスイッチを手前に1回引くごとに、ヘッドランプが約 30 秒間 (最大 120 秒間) 点灯したあと、消灯します。

ウェルカムライト機能

- ドアの解錠・施錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が一時的に点灯します。

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト / 照明」⇒「ウエルカムライト」を選択すると、ウェルカムライト機能の設定を変更することができます。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー) (P.5-14)
  → 車両設定 (P.5-37)

ヘッドライトレベリング

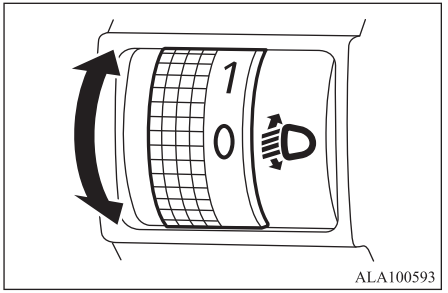
J17660000028

マニュアルタイプ

タイプ別装備

J17660100029

ヘッドライトの照らす方向 (光軸) は、乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。
人や荷物を乗せて、ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は、ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



乗員の人数や荷物の重さに応じて次の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物を降ろした後は、必ずダイヤルを "0" の位置に戻してください。

ダイヤル位置	前席乗車人数	後席乗車人数	ラゲッジルーム積載量
0	1	0	無し
0	2	0	無し
1	2	3	無し
2	2	3	最大積載時
3	1	0	最大積載時

オートタイプ

タイプ別装備

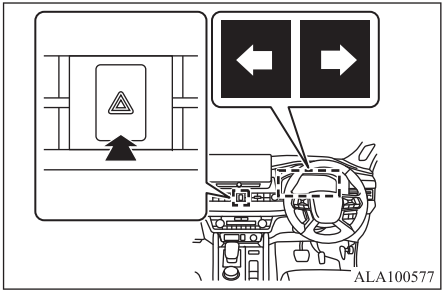
J17660200020

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて、ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
パワースイッチの電源モードが ON のときにヘッドライトが点灯すると、停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

非常点滅灯スイッチ

J17618700039

故障したときなど、やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



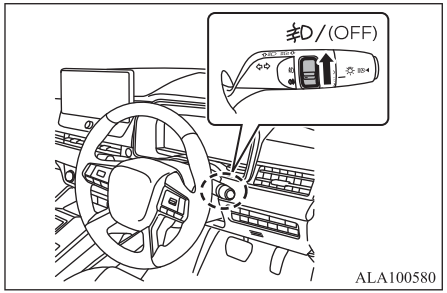
フォグランプスイッチ

J17603800029

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドライトの補助のために使用します。

フロントフォグランプの使いかた

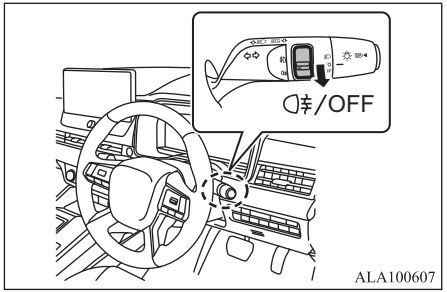
J17603900033



- ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているとき使用できます。
- スイッチを(OFF)の位置に合わせます。（スイッチから手を離すと自動的に中立位置に戻ります。）
- 消灯するときは、スイッチを再度操作します。
- フロントフォグランプが点灯しているときは、フロントフォグランプ表示灯 が点灯します。

リヤフォグランプの使いかた

J17618800030



- ヘッドランプまたはフロントフォグランプが点灯しているときに使用できます。
- スイッチを の位置に合わせます。（スイッチから手を離すと自動的に中立位置に戻ります。）
- 消灯するときは、スイッチを再度操作します。
- リヤフォグランプが点灯しているときは、リヤフォグランプ表示灯 が点灯します。

⚠警告

- **晴天時は使用しない。**
  後続車の視界を悪くするおそれがあります。

⚠注意

- **リヤフォグランプは霧、雨、雪などの視界が悪いときに使用する。**
- **降雪時には雪が積もる場合があるため、こまめにリヤフォグランプの雪を取り除いてください。**

ワイパー･ウォッシャースイッチ

J17604000028

パワースイッチの電源モードが ON のときに使用できます。

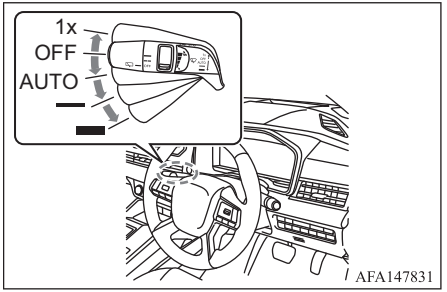
フロントワイパーの使いかた

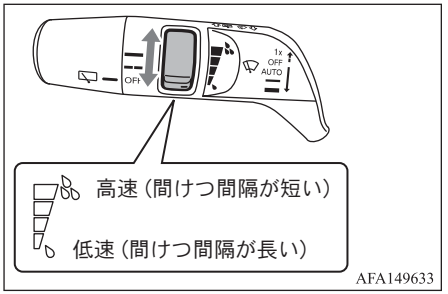
J17604100032

- スイッチを動かすと、次のように作動します。
- スイッチを操作するとメーターにスイッチ位置が表示されます。

スイッチ位置	作動
1x	スイッチを上げている間作動します。 手を離すと OFF に戻ります。
OFF	停止します。

スイッチ位置	作動
AUTO	自動制御で作動します。 スイッチを回し、雨滴感知のセンサー感度を調節します。 → 雨滴感知式ワイパーの使いかた（P.7-25）
▬	低速で連続して作動します。
▬	高速で連続して作動します。





アドバイス

- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「オペレーションガイダンス」⇒「ワイパー」⇒「フロント」を選択すると、ワイパースイッチを動かしたときにメーターに表示する機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー（P.5-14）
  → 画面カスタマイズ（P.5-41）
- メーターの車両設定により、ワイパーが間けつ作動の状態（「雨滴感知」が OFF）のときは、間けつ時間を調整できます。

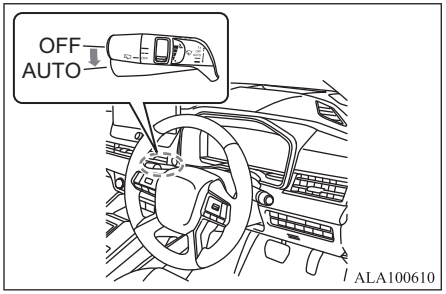
アドバイス

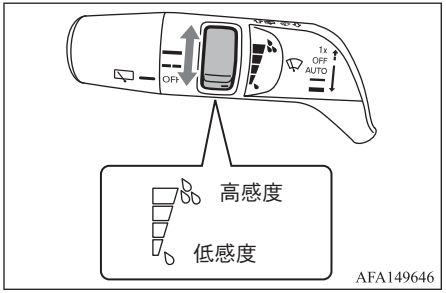
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「車速連動」を選択すると、間けつ作動時に間けつ時間を車速と連動させないように切り替えることができます。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）
- メーターの車両設定の「雨滴感知」が ON で、レバーが AUTO 位置のときに、次のような場合は、レインセンサーの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - 雨の程度が変化しているにもかかわらず、ワイパーが一定間隔作動しているとき
  - 雨が降っているにもかかわらず、ワイパーが動かないとき

雨滴感知式ワイパーの使いかた

J17604200033

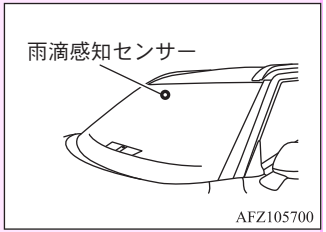
- スイッチ位置が AUTO のとき、雨滴感知センサーによって降雨を感知し、降雨量と車速に応じて作動（低速および高速）の調節を自動で行います。
- センサーの感度を調節するときは、スイッチを回します。
  - 高感度：雨滴感知センサーの感度が高くなります。
  - 低感度：雨滴感知センサーの感度が低くなります。





⚠注意

- パワースイッチの電源モードが ON でスイッチ位置を AUTO にしているとき、雨滴感知センサー上部のフロントガラスに手で触れたり、水分を含んだ布などを近づけたりするとワイパーが作動することがあります。ケガや、ワイパーの破損につながるおそれがありますので、注意してください。また、洗車時には、スイッチ位置を必ず OFF にしてください。



- 降雨時でも雨滴が雨滴感知センサーにあたらないと、雨滴感知センサーが降雨を検知しないためワイパーが作動しない場合があります。
- 雨滴感知センサーに泥、指紋、油膜、虫などが付着したり、排気ガスをあびたりするとワイパーが作動することがあります。また、夜間などは目視しづらいわずかな水滴も検知し、ワイパーが作動することがあります。
  降雨時以外はなるべくスイッチ位置を OFF にしてください。

⚠注意

- フロントガラスに撥水処理を施している場合は、施工していないときに比べ、雨滴が流れやすくなるため、雨滴感知センサーが降雨量が多いと感知してワイパーの作動回数が多くなる場合があります。
- ワイパーブレードの長さや形状が異なると、正常に作動しないことがあります。サイズにあった三菱自動車純正品をおすすめします。

アドバイス

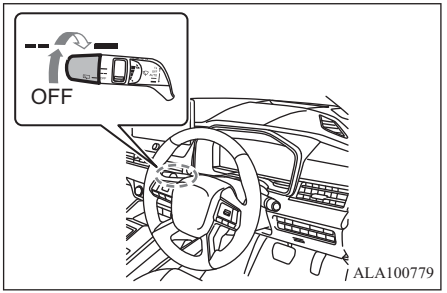
- パワースイッチの電源モードが ON のとき、スイッチ位置を AUTO にすると、1回ワイパーが作動し、その後は雨滴量に応じてワイパーが作動します。
- スイッチ位置をAUTOにしているとき､パワースイッチの電源モードを ON にすると、雨滴感知センサーが雨滴を検知した場合のみワイパーが作動します。
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「雨滴感知」を選択すると、自動制御（雨滴感知）を間けつ作動に切り替えることができます。
  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）

リヤワイパーの使いかた

J17604300034

スイッチを回すと、次のように作動します。
スイッチを操作するとメーターにスイッチ位置が表示されます。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
▬ ▬	間けつで作動します。
▬▬	低速で連続して作動します。



アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「オペレーションガイダンス」⇒「ワイパー」⇒「リヤ」を選択すると、ワイパースイッチを動かしたときにメーターに表示する機能のON・OFF を切り替えることができます。
設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
→ 画面カスタマイズ（P.5-41）

リバース連動機能

- フロントワイパー作動中にシフトポジションを Ⓡ にすると、リヤワイパーが間けつで作動します。
- リバース連動機能の設定を変更することができます。
  → 車両設定（P.5-37）

ウォッシャーの使いかた

J17604400022

フロントウォッシャー

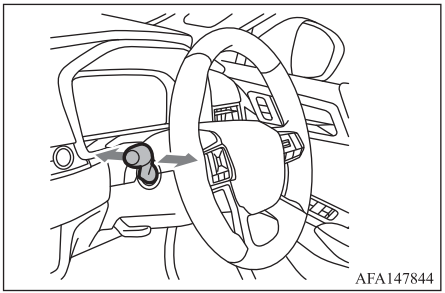
- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

リヤウォッシャー

- スイッチを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

ヘッドライトウォッシャー

- ヘッドライトが点灯しており、パワースイッチの電源モードがONの位置にある場合、以下の条件で作動します。
  - パワースイッチの電源モードがONになってから初めてフロントウォッシャーを作動させたとき。以降、フロントウォッシャーを10回作動させるごとに1度作動します。
  - スイッチを手前に引き続けたとき。



ワイパー･ウォッシャーを使うときの注意事項

J17604500023

⚠警告

- **寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。**
  寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間程度）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ワイパーゴムが凍結によりガラスに張り付いているときは、次の操作を行いガラスを温めてください。

⚠注意

- フロントガラス ： エアコンのデフロスタースイッチをONにするか、ワイパーデアイサー（タイプ別装備）を使用してください。
- リヤガラス ： リヤデフォッガーを使用してください。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 噴射方向がずれた場合は、目詰まりのおそれがあるため、三菱自動車販売会社にご相談ください。

イノベーティブペダル オペレーションモード

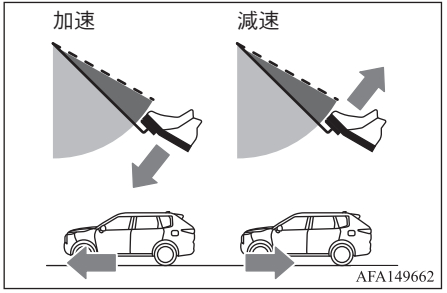
J17619500021

アクセルペダルの操作のみで、加速だけでなく回生ブレーキと摩擦ブレーキを最適に制御し、減速も行う機能です。ブレーキペダルへの踏み替え負荷を低減することができます。

イノベーティブペダル オペレーションモードについて

J17619600022

- イノベーティブペダル　オペレーションモードを ON にすると、回生ブレーキの効きを強くし、アクセルペダルの操作のみで速度調整することができます。



⚠警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  機能には限界があるため、状況に応じてブレーキペダルを踏んで、安全運転に心がけてください。

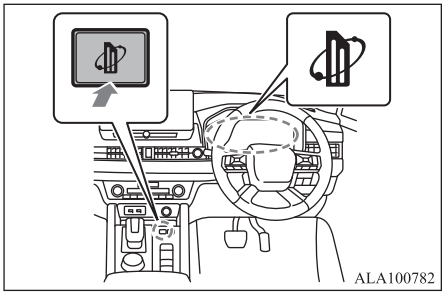
アドバイス

- イノベーティブペダル　オペレーションモードはアクセルペダルを離したときの減速度が従来の車より強いため、アクセルペダルを完全に離さずゆっくりと緩めることで、なめらかに減速することができます。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードで減速中にブレーキペダルが動くことがありますが、異常ではありません。

イノベーティブペダル オペレーションモードの使いかた

J17619700023

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、イノベーティブペダル オペレーションモードスイッチを押すごとに ON・OFF が切り替わります。（メーター内のイノベーティブペダル オペレーションモード表示灯に状態を表示します。）
  イノベーティブペダル オペレーションモード表示灯（→P.9-32）



アドバイス

- 一度パワースイッチの電源モードを OFF にしてから EV システムを再起動すると、イノベーティブペダル オペレーションモードは OFF になります。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードの ON・OFF を切り替えると、減速の度合いが変化します。

イノベーティブペダル オペレーションモードの作動について

J17619800024

走行～停車

- アクセルペダルの操作によって加速・減速の度合いを調整できます。

- 車速によって最大減速度が変わります。
- ガソリンエンジン車と同様にクリープが発生します。
- 停車時はブレーキを踏んでください。
- アクセルペダルを離しても減速度が足りないときは、ブレーキペダルを踏んでください。
- アクセルペダルを離した際、発生する減速度合いに応じて制動灯が点灯します。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードが ON のときも、ブレーキペダルを使用することができます。

イノベーティブペダル オペレーションモードに関する注意事項

J17619900025

⚠警告

- **メーターに「ペダルオペレーションモードシステムが使用できません　減速、停車する際はブレーキを踏んでください」と警告メッセージ（→P.9-35）が表示されたときは、ブレーキペダルを使用して減速する。**
- **減速中の減速度合いが足りない場合は、ただちにブレーキペダルを踏む。**
  車両が十分に減速せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- **過積載、急勾配、氷結路などの制動力が低下するときは、通常時の性能が発揮されない場合があるので、必要に応じてブレーキペダルを使用する。**
  イノベーティブペダル オペレーションモードによる減速の効果が十分に得られず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- イノベーティブペダル　オペレーションモードが ON のときは、イノベーティブペダル オペレーションモードが OFF のときと比べてアクセルペダルの特性が大きく異なるので、注意してください。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードが ON のときは、回生レベルセレクター（パドル式）は操作できません。メータ表示上はⒹになります。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードを ON にすると HDC は OFF になります。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードのスイッチを誤って操作しないように注意してください。

アドバイス

- **以下の場合、イノベーティブペダル オペレーションモードは作動しません。**

アドバイス

- 運転支援システム（マイパイロット（ナビリンク機能付）、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]）が作動しているときは、運転支援システムが優先されます

ドライブモードセレクター

J17605100026

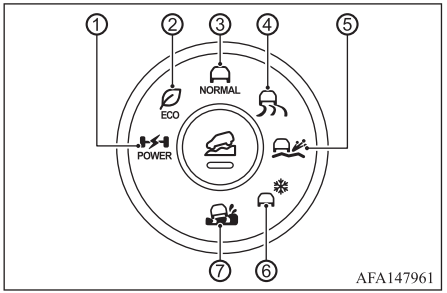
ドライブモードセレクターは、エンジン、トランスアクスル、ステアリング、4WD システム、AYC、ABS、ASC を統合制御するドライブモードを選択することにより、駆動性能および車両の旋回性能と安定性能を広範囲な走行条件で向上させる車両運動統合制御システムです。

ドライブモードセレクターの使いかた

J17605200030

- パワースイッチの電源モードが ON のときドライブモードセレクターを操作するとドライブモードが切り替わります。
- 走行条件に合わせて，次の中からドライブモードを選択することができます。

- ドライブモードを切り替えると、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示でドライブモードが表示されます。ドライブモードの表示は、数秒後に元の画面に戻ります。



① **POWER モード**
② **ECO モード**
③ **NORMAL モード**
④ **TARMAC モード**
⑤ **GRAVEL モード**
⑥ **SNOW モード**
⑦ **MUD モード**

ドライブモード	働き
POWER	力強く応答性の高い加速感を最大限に発揮するモード POWER モード選択中は、EV プライオリティモードは使用できません。 →EV（EV プライオリティ）モード（P.7-33） また、回生レベルが強くなります。 → 回生レベルセレクター（パドル式）（P.7-7）
ECO	エコロジカルで経済的な走行に適したモード
NORMAL	乾燥舗装路、ウェット路など通常使用するモード 走行状態に応じて適切なバランスで運転性能を制御します。

ドライブモード	働き
TARMAC	乾燥舗装路での走行に適したモード 俊敏な挙動による運転の楽しさを提供するモードです。 TARMAC モード選択中は、EV プライオリティモードは使用できません。 →EV（EV プライオリティ）モード（P.7-33） また、回生レベルが強くなります。 → 回生レベルセレクター（パドル式）（P.7-7）

ドライブモード	働き
GRAVEL	未舗装路やウェット路など、悪条件下での運転をサポートするモード (GRAVEL モード選択時は、マイパイロット（ナビリンク機能付)、レーダークルーズコントロールシステム [ACC]、車線逸脱防止支援機能 [LDP] や、後側方衝突防止支援システム [ABSA] は使用できません) マイパイロット（ナビリンク機能付）→ マイパイロット（ナビリンク機能付）(P.7-46) → レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の作動（P.7-50） → 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85） → 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90）

ドライブモード	働き
SNOW	主に雪道での走行に適したモード 滑りやすい路面で安定性が向上します。 (SNOW モード選択時は、マイパイロット（ナビリンク機能付)、レーダークルーズコントロールシステム [ACC]、車線逸脱防止支援機能 [LDP] や、後側方衝突防止支援システム [ABSA] は使用できません) マイパイロット（ナビリンク機能付）→ マイパイロット（ナビリンク機能付）(P.7-46) → レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の作動（P.7-50） → 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85） → 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90）

ドライブモード	働き
MUD	悪路、砂地、深い雪道走行など大きな駆動力が必要なときに使用するモード (MUD モード選択時は、マイパイロット（ナビリンク機能付)、レーダークルーズコントロールシステム [ACC]、車線逸脱防止支援機能 [LDP] や、後側方衝突防止支援システム [ABSA] は使用できません) マイパイロット（ナビリンク機能付）→ マイパイロット（ナビリンク機能付）(P.7-46) → レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の作動（P.7-50） → 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85） → 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90）

アドバイス

- パワースイッチの電源モードをOFFにする前に NORMAL 以外のドライブモードを選択していても、パワースイッチの電源モードを再度 ON にしたときは、ドライブモードは、NORMAL になります。
- ドライブモードは走行中、停車中ともに切り替えることができます。

EV モードセレクタースイッチ

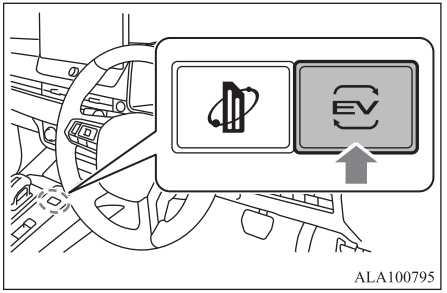
J17605300028

EV モードセレクタースイッチを押すごとに、EV モードを切り替えることができます。

EV モードの切り替えかた

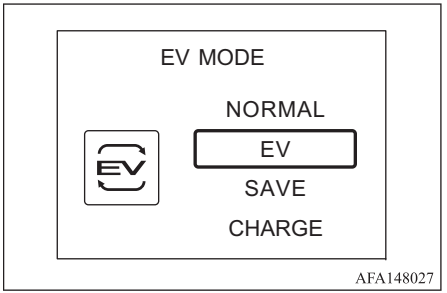
J17605400032

1. パワースイッチの電源モードがONのとき、EV モードセレクタースイッチを押すごとに次の順でモードが切り替わります。
「NORMAL」(ノーマルモード)⇒「EV」(EV プライオリティモード)⇒「SAVE」(バッテリーセーブモード)⇒「CHARGE」(バッテリーチャージモード)⇒「NORMAL」(ノーマルモード)



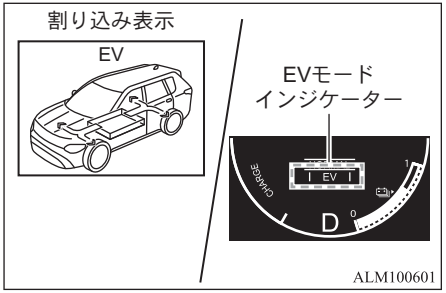
ALA100795

2. EV モードセレクタースイッチを押すと、マルチインフォメーションディスプレイに EV モードが表示されます。モードを選択して約 2 秒間待機すると、モードが確定します。



AFA148027

3. 選択されたモードがマルチインフォメーションディスプレイに数秒間割り込み表示され、EVモードインジケーターが切り替わります。



ALM100601

アドバイス

- お車や走行状況により、使用できないモードがあります。使用できないモードは、文字がグレーで表示されます。
- 使用できないモードを選択すると、使用できない理由がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

NORMAL（ノーマル）モード

J17605500020

通常の走行時に使用します。モーターとエンジン両方をバランスよく使用します。

- パワースイッチの電源モードをONにするたびに、EV モードは「NORMAL」になります。

EV（EV プライオリティ）モード

J17605600034

住宅街など騒音や排気ガスに配慮する必要がある場所で、できるだけエンジンを始動させずに走行したいときに使用します。

- パワースイッチの電源モードが ON のときに EV モードセレクタースイッチを押して「EV」を選択します。アクセルペダルを荒く踏み込んだとしても、できるだけ EV モードで走行することができます。

アドバイス

- ドライブモードセレクターで　POWER モードまたは TARMAC モードを選択中は、EV プライオリティモードは使用できません。
  → ドライブモードセレクター（P.7-29）
- 駆動用バッテリーが低温または高温になり、プラグインハイブリッド EV システムの保護機能が働いた場合、EV プライオリティモードは使用できません。
  → 酷暑時の注意事項と対処方法（P.2-11）
  → 極寒時の注意事項と対処方法（P.2-12）
- EV プライオリティモードで走行中、アクセルペダルを深く踏み込んでエンジンが始動したときは、急加速することがあります。

アドバイス

- 次のようなときは、エンジンが始動したとしても EV プライオリティモードが継続されます。
  - アクセルペダルを深く踏み込んだとき
  - アクセルペダルを繰り返し荒く操作したとき
  - デフロスタースイッチを押したとき
  - 高車速（モーター走行可能速度域を超える）で走行したとき。

  その他、車両の状態によっては EV プライオリティモードであってもエンジンが始動することがあります。
- 外気温が低いとき、エアコンを作動させたままプラグインハイブリッド EV システムを起動すると、暖房のためエンジンがすぐに始動することがあります。このようなときは、プラグインハイブリッド EV システムを起動する前に、パワースイッチの電源モードが ON の状態で EV プライオリティモードに切り替えることで、エンジンの始動を抑制することができます。
- EV プライオリティモードの作動中は、アクセルペダル操作への反応が鈍くなることがあります。

アドバイス

- 駆動用バッテリーの劣化や外気温の低下によって、EV プライオリティモード中のモーター出力が低下する場合があります。そのような場合は、モーター出力を確保するため、EV プライオリティモードを解除してエンジンを始動してください。

CHARGE（バッテリーチャージ）モード

J17605700035

アクセサリーコンセントを活用するときや、目的地で電力を使うため駆動用バッテリーの残量を増やしたいときに使用します。また、前もってバッテリーチャージモードで駆動用バッテリーの残量を増やしておくことで長い登り坂を快適に走行することができます。

- パワースイッチの電源モードが ON のときに EV モードセレクタースイッチを押して「CHARGE」を選択します。バッテリーチャージモードにするとエンジンが始動し、走行中にバッテリーを満充電近くまで充電することができます。

⚠警告

- **バッテリーチャージモードに切り替えると停車中でもエンジンが始動するので、駐停車状態で車庫や雪が積もった場所などでは、使用しない。**
  排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。必ず換気の良い場所で使用してください。
- **枯草や紙など燃えやすいものの近くでは、車を止めてバッテリーチャージモードを使用しない。**
  排気管が高温になっているため、火災になるおそれがあります。

⚠注意

- **車両前方をふさぐようなものを置いたまま、バッテリーチャージモードを使用しない。**

アドバイス

- 駆動用バッテリーが低温のときは、モードを選択できない場合があります。
- 駆動用バッテリーの残量やプラグインハイブリッド EV システムの制御状態によっては、バッテリーチャージモードを選択してもエンジンが始動しない場合があります。
- 駆動用バッテリーの状態、走行状態、使用環境により満充電近くまでの充電時間が長くなる場合があります。

アドバイス

- けん引走行中は、バッテリーチャージモードを使用しても駆動用バッテリーの残量が増えない場合があります。
- 充電量が高くなるとエンジンが停止することがあります。
- バッテリーチャージモードは、ガソリンを使って発電するため、燃費が悪化します。環境へ配慮したご使用をおすすめします。
- 駐停車中にバッテリーチャージモードを使用してエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条例に触れ罰則を受けるおそれがあります。
  駐停車中の使用については、関係する自治体に確認してから使用してください。また、エンジンが始動した場合、ガソリンを消費するため燃料切れを起こさないよう注意してください。

SAVE（バッテリーセーブ）モード

J17605800023

目的地で EV 走行したいときや駆動用バッテリーの電力を使うなど、駆動用バッテリーの残量を維持したいときに使用します。高速走行時に駆動用バッテリーの電力消費を抑えることもできます。

- パワースイッチの電源モードが ON のときに EV モードセレクタースイッチを押して「SAVE」を選択します。バッテリーセーブモードにしたときの駆動用バッテリー残量を維持するようにエンジンが始動し、シリーズ走行またはパラレル走行します。

アドバイス

- 駆動用バッテリーが低温のときは、モードを選択できない場合があります。
- 停車中や走行中に、エンジンが停止することがあります。
- 駆動用バッテリーの残量やプラグインハイブリッド EV システムの制御状態によっては、バッテリーセーブモードを選択してもエンジンが始動しない場合があります。

エマージェンシーストップシグナルシステム [ESS]

J17605900024

ESS : Emergency Stop Signal system

エマージェンシーストップシグナルシステム [ESS] は、急ブレーキ時に、制動灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし、追突の可能性を低減させる装置です。

ESS について

J17606000022

- 緊急制動信号システムの作動条件
  次の条件がそろったときに作動します。
  - 車速が約 50km/h 以上のとき
  - ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度やアンチロックブレーキシステム (ABS) の作動状況から、システムが急ブレーキだと判断したとき

- 緊急制動信号システムの作動停止条件
  次のいずれかの条件で作動を停止します。
  - ブレーキペダルから足を離したとき
  - 非常点滅灯スイッチを押したとき
  - 車両減速度や ABS の作動状況から、システムが急ブレーキではないと判断したとき

アドバイス

- アンチロックブレーキシステム警告またはアクティブスタビリティコントロール警告が表示されているときは、緊急制動信号システムが作動しないことがあります。

S-AWC （Super-All wheel control）

J17606100023

S-AWC は、ツインモーター 4WD、AYC、ABS、ASC を統合制御することにより駆動性能および車両の旋回性能と安定性能を広範囲な走行条件で向上させる車両運動統合制御システムです。

S-AWC とは

J17606200024

ツインモーター 4WD

- ドライバー操作に応じて、前後輪それぞれに設けられたモーターが、前後輪間の駆動力配分をコントロールし、加速や減速時の車両安定性能や、燃費性能を向上させるシステムです。

AYC: Active Yaw Control system

- AYC はヨーコントロール機能を持ち、ブレーキを制御することで、左右輪間の駆動 / 制動力配分をコントロールするシステムです。
  - ヨーコントロール機能
    ヨーコントロール機能は、素早くハンドルを操作したときや滑りやすい路面でハンドル操作したときなどに、ブレーキ力を制御し車両の旋回する力（ヨーモーメ ント）をコントロールすることで、車両の旋回性能と安定性能を向上させる機能です。

⚠警告

- **ブレーキ力の制御は車両の停止性能を向上させる制御ではない。**
  周囲の安全に十分注意して走行してください。
- **S-AWC を過信しない。**
  S-AWC が作動した状態でも車両の安全確保には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。

⚠注意

- 同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、4WD システム異常の警告が表示されることがあります。

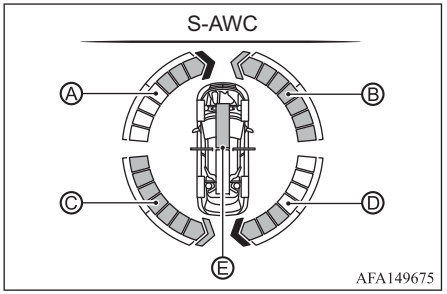
S-AWC 作動表示

J17606300038

マルチインフォメーションディスプレイに S-AWC の作動状態を表示させることができます。
表示させるときはマルチインフォメーションディスプレイスイッチを押して画面を切り替えます。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）

ヨーコントロール機能制御表示

ヨーモーメントの強さをバーグラフで表示します。



Ⓐ、Ⓓ：右回転のヨーモーメント
Ⓑ、Ⓒ：左回転のヨーモーメント

トルク配分機能制御表示

前後輪間のトルク配分をメーター内のⒺにバーグラフで表示します。
グラフ上部（青色部）の面積が大きいときは、フロントモーターのトルクが大きい状態であり、小さいときはリヤモーターのトルクが大きい状態になります。

⚠注意

- **運転中に S-AWC 作動画面を見るときは必要最小限にとどめる。**
  画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

ピークホールド表示機能

ヨーモーメントは作動後 5 秒間ホールドされます。

S-AWC (Super-All wheel control) 車の扱いかた

J17606400026

S-AWC (Super-All wheel control) 車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。
S-AWC (Super-All wheel control) 車特有の取り扱いかたを十分理解し、正しい運転をしてください。

走行するとき

J17606500027

- オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。
  - 河川などの水中走行はしない
  - 砂地、ぬかるみなど、車輪が空転しやすいところでの連続走行はしない
  - 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない
- 運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセルおよびブレーキペダルなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

⚠注意

- **砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避ける。**
  タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり、重大な故障の原因となるおそれがあります。

アドバイス

- S-AWC (Super-All wheel control) 車は、2WD 車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

アドバイス

- ぬかるみ、砂地または新雪などからの脱出時に、アクセルペダルを踏み込んでもASCの働きによりプラグインハイブリッド EV システムの出力が上がらないことがあります。このようなときは、ドライブモードセレクターでドライブモードを「MUD」に切り替え、ASCを一時的にOFFにすると駆動輪が回転しやすくなり、脱出に効果的な場合があります。
→ASCの停止のしかた（P.7-39）

タイヤについて

J17606600028

- タイヤの交換は4輪とも同時に行い必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の機構を破損するおそれがあります。
冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。
タイヤ交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行のしかた

J17606700029

雪道、凍結路の走行

- 道路状況に合わせドライブモードを「SNOW」にして、ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。
- 4輪とも冬用タイヤに交換することをおすすめします。
- 急ブレーキを避け、車間距離を十分にとり、回生ブレーキを使用してください。

⚠警告

- **急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはしない。**
タイヤがスリップしたり、横滑りや尻振りなどをおこし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

悪路、砂地、深い雪道の走行

- ドライブモードを「MUD」にして、ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。
また、アクセルを一定に保ち低速で走行してください。

アンチロックブレーキシステム [ABS]

J17606800020

ABS : Anti-lock Brake System
ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABS について

J17606900021

急ブレーキを踏まなければならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。

- ABS が作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これは ABS の正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- パワースイッチの電源モードを ON にしたときや、プラグインハイブリッド EVシステム起動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABS は低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約 10km/h 以下では作動しません。

⚠警告

- **カーブの手前では十分に減速する。**
  ABS はあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABS の付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。

⚠警告

- **でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。**
  ABS はブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しやすくするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABS の付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控え、車間距離を十分にとって運転してください。
- **タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを 4 輪に装着する。**
  ABS は各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外では ABS が正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- 次のような場合は、ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので、速度は控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき

アドバイス

- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
- 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール、工事用の鉄板、白線の上、段差を乗り越えるときなど、車輪が滑りやすい状況では車輪のロックを防止するため急制動以外でも ABS が作動することがあります

アクティブスタビリティコントロール [ASC]

J17607000029

ASC：Active Stability Control
ASC は、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

ASC の機能について

J17607100020

- ASC のシステムには次の機能があります。
  - スタビリティコントロール機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。

- トラクションコントロール機能（TCS）：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、走行用モーターの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
- グリップコントロール機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
- アンチロックブレーキシステム機能：ABS（→P.7-37）

⚠警告

- **滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。**
  この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。ASC の作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- **次の場合、メーター内のアクティブスタビリティコントロール[ASC]警告灯が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。**
  - サスペンション、タイヤ、ブレーキ、ステアリング、エンジン関係部品などを純正品以外に交換したり、改造したとき

⚠警告

- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- **ASC 付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。**

アドバイス

- ASC 作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

ASC の作動について

J17607200021

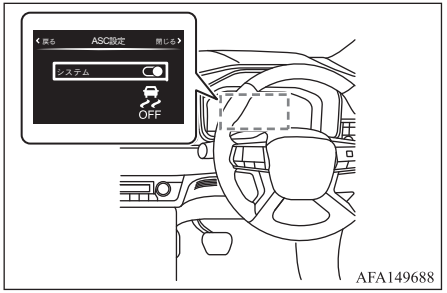
- ASC の作動と警告灯
  - ASC　が作動しているときは、メーター内のアクティブスタビリティコントロール [ASC] 警告灯が点滅します。
  - トラクションコントロール機能（TCS）／グリップコントロールのみが作動しているときもアクティブスタビリティコントロール [ASC] 警告灯が点滅します。アクティブスタビリティコントロール [ASC] 警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- 次の場合、アクティブスタビリティコントロール[ASC]警告灯が点灯することがあります。一度パワースイッチの電源モードを OFF にしプラグインハイブリッド EV システムを起動するとアクティブスタビリティコントロール [ASC] 警告灯は消灯します。
  - 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき。
  - 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき。

ASC の停止のしかた

J17607300035

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「ASC」⇒「システム」を選択すると、ASC 機能の ON・OFF を切り替えられます。
  設定の詳細については、ASC をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  →ASC 設定（P.5-31）
- ASC機能をOFFに切り替えると、ASCが停止し、アクティブスタビリティコントロール [ASC] OFF 表示灯が点灯します。

● 再度、ASC を使用（ON）するときは、ASC 機能を ON に切り替えます。アクティブスタビリティコントロール [ASC] OFF 表示灯が消灯し、ASC が ON になります。



7

⚠注意

- **安全のため、ASC を OFF にする操作は停車しているときに行う。**
- **通常走行時は必ず ASC を ON にする。**
- **必要なとき以外は ASC を OFF しない。**
  ぬかるみなどからの脱出時にASCをOFFした場合、脱出後はすみやかに ASC を ON にしてください。

⚠注意

- **ASC を OFF にした状態で、アクセルペダルを過度に踏み込んでタイヤを空転させ続けない。**
  アクセルペダルを過度に踏み込んでタイヤを空転させ続けると、オーバーヒートやトランスアクスルおよびその他部品の故障により、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ぬかるみ、砂地または新雪などからの脱出時に、アクセルペダルを踏み込んでも ASC の働きによりプラグインハイブリッド EV システムの出力が上がらないことがあります。
  このようなときはドライブモードセレクターでドライブモードを「MUD」に切り替え、ASC を一時的に OFF にすると駆動輪が回転しやすくなり、脱出に効果的な場合があります。
- ASC 機能を OFF にすると、ASC のすべての機能と次の機能が停止します。(ABS およびグリップコントロール機能を除く)
  - マイパイロット（ナビリンク機能付）（→（P.7-46）
  - 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（→P.7-68）
  - 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（→P.7-76）
  - 前方衝突予測警報 [PFCW]（→P.7-73）
  - 車線逸脱防止支援機能 [LDP]（→P.7-85）

アドバイス

- パワースイッチの電源モードを ON にするたびに、ASC は ON になります。
- ASC が作動すると車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- パワースイッチの電源モードを ON にしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- ASC を OFF しても車両挙動に応じて、ASC が作動する場合があります。

ヒルスタートアシスト [HSA]

J17607400023

HSA : Hill Start Assist
ヒルスタートアシスト [HSA] は、上り坂での発進を補助するシステムです。

HSA について

J17607500024

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。

- シフトポジションがⓅ、Ⓝ以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約 2 秒間ブレーキ力を保持します。
- HSA は、次の条件がそろったときに作動します。
  - プラグインハイブリッドEVシステムが起動している
  - シフトポジションが、Ⓟ、Ⓝ以外に入れてある
  - ブレーキペダルを踏んで、車両が完全に停止している
  - 電動パーキングブレーキを解除している

⚠警告

- **HSA の機能を過信しない。**
  凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転に心がけてください。
- **坂道での駐停車に HSA を使用しない。**
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **停車するときは、ブレーキペダルを踏み続ける。**
  この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションをⓅにして、電動パーキングブレーキをかけてください。

ヒルディセントコントロール [HDC]

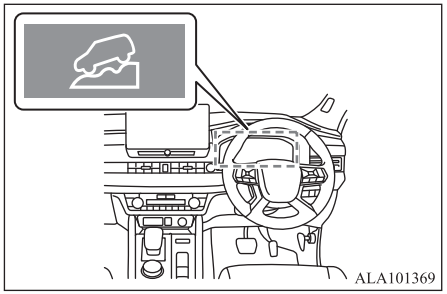
J17607600025

HDC : Hill Descent Control
ヒルディセントコントロール [HDC] は、急な下り坂や滑りやすい路面を下るときの走行を補助するシステムです。

HDC の機能について

J17607700039

- HDC は、回生ブレーキだけでは十分な減速ができないような急な下り坂や、オフロードのような滑りやすい路面を下るとき、一定の低車速を保ち、下り坂での走行を補助するシステムです。
- マルチインフォメーションディスプレイを「ヒルディセントコントロール」に切り替えると、HDC の作動を画面で確認することができます。
  詳しくは、→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）をお読みください。



⚠警告

- **HDC の機能を過信しない。**
  極端に急な下り坂、凍結路、泥状の下り坂では必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。一定の速度を保持できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- システムが作動しているとき、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

HDC の作動について

J17607800027

- HDC は、次の条件が満たされたときのみ作動することができます。
  - HDC スイッチを押して ON にしている

- シフトポジションがⓅまたはⓃ以外に入っている
- 車速が約 25km/h 以下
- アクセルペダルとブレーキペダルを踏んでいないとき

HDC を ON にしていても、条件が満たされていないときは HDC 表示灯（→P.9-32）が点滅し、システムが作動しません。

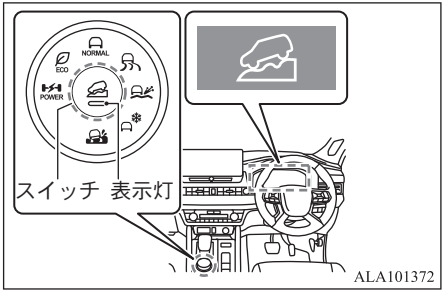
⚠注意

- 長時間連続使用するとシステム温度が上昇し、一時的に作動が停止します。このとき、HDC 表示灯が点滅します。
- アクティブスタビリティコントロール [ASC] 警告灯が点灯しているときは、HDC は作動しません。

HDC の使いかた

J17607900031

- スイッチを押すと HDC が ON になり、スイッチの表示灯が点灯し、メーター内の HDC 表示灯が点灯または点滅します。
- メーター内の HDC 表示灯が点滅しているときは、作動条件を満たしていないため HDC が作動しません。
- HDC で走行しているときは、アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作で車速を変更することができます。
- HDCをOFFにするときは、もう一度スイッチを押します。



アドバイス

- アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏むと、HDC は作動を停止します。ペダルから足を離すとシステムが再び作動するので、車速を調節することができます。
- HDC スイッチを ON にしても表示灯が点滅または点灯しないときは、システムの異常が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- イノベーティブペダル　オペレーションモードが ON のときは HDC スイッチを押しても HDC を ON にすることができません。
- HDC を ON にしているときにイノベーティブペダル オペレーションモードを ON にすると HDC は OFF になります。

アドバイス

- HDC が作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

車両接近通報装置 [AVAS]

J17608000026

AVAS は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。

車両接近通報装置 [AVAS] について

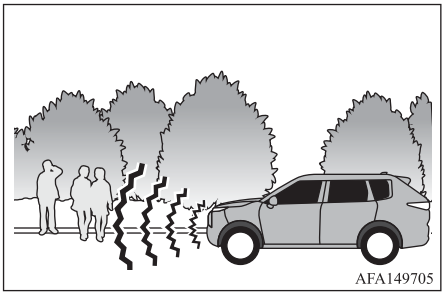
J17608100030

AVAS は、エンジンが作動していない状態で、メーター内の READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、次の場合に作動します。

- 発進時、車速が 30km/h 以下のとき
- 減速時、車速が25km/h以下になったとき
- シフトポジションがⓇのとき

AVAS の故障について

● システムに異常があると、メーター内の車両接近通報装置 [AVAS] 警告灯が点灯します。
車両接近通報装置 [AVAS] 警告灯（→P.9-21）



⚠警告

● **AVAS の音が聞こえないときは、三菱自動車販売会社で点検する。**
AVAS の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションをⓇにし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

● **AVAS が鳴っていても、歩行者には特に注意する。**
歩行者は車両の接近や発進に気付かずに，事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

アドバイス

● 次の条件がそろうと運転者が降車時にプラグインハイブリッド EV システムが作動していることを知らせるため、パワースイッチの電源モードを OFF にするまで AVAS が作動し続けます。
  • シフトポジションがⓅのとき
  • READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき
  • 運転席シートベルトが非装着のとき
  • 運転席ドアが開いているとき
● パワースイッチの電源モードを OFF にすると AVAS は停止します。

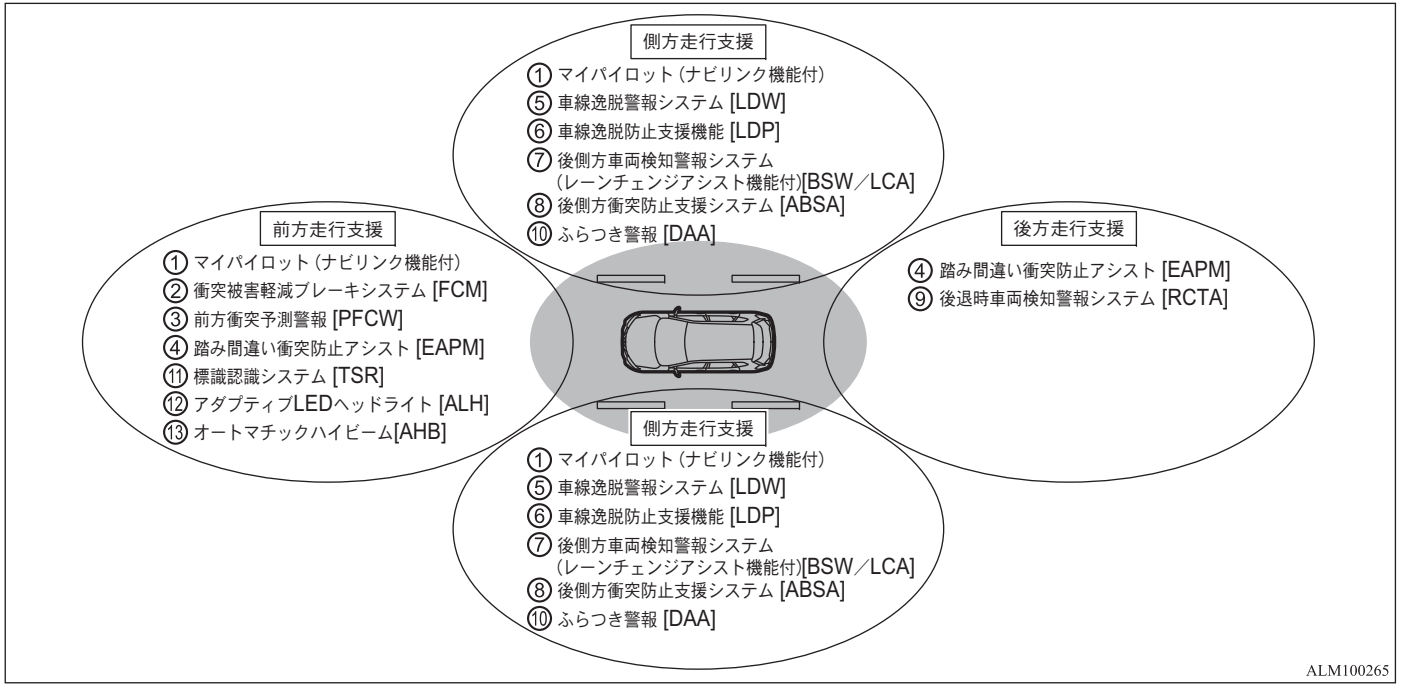
走行支援システム

J17608200028

各種センサーによって事故の危険を検知して運転者に知らせるとともに、できる限り事故被害を予防・回避・軽減できるよう支援する安全技術です。

走行支援システムについて

J17608300032



① **マイパイロット（ナビリンク機能付）**
前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを制御することで運転操作の負担を減らします。（→P.7-46）

② **衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]**
前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。（→P.7-68）

③ **前方衝突予測警報 [PFCW]**
前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報します。（→P.7-73）

④ **踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]**
アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違えやブレーキ操作が遅れたとき、音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。（→P.7-76）

⑤ **車線逸脱警報システム [LDW]**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報します。（→P.7-85）

⑥ **車線逸脱防止支援機能 [LDP]**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、車線内に戻す操作を支援します。（→P.7-85）

⑦ **後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付　) [BSW/LCA]**
車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報します。（→P.7-90）

⑧ **後側方衝突防止支援システム [ABSA]**
隣車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両をもとの車線内に戻すよう支援します。（→P.7-90）

⑨ **後退時車両検知警報システム [RCTA]**
後退時に後方を横切ろうとする車両があるとき、警報します。（→P.7-98）

⑩ **ふらつき警報 [DAA]**
ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、音と表示により運転者に休憩を促します。（→P.7-101）

⑪ **標識認識システム [TSR]**
走行中に検知した進入禁止標識、一時停止標識、および最高速度標識の情報をマルチインフォメーションディスプレイとヘッドアップディスプレイに表示し、運転者にお知らせする機能です。（→P.7-103）

⑫ **アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]**
先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。（→P.7-18）

⑬ **オートマチックハイビーム [AHB]**
オートマチックハイビーム [AHB] は、センサーにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、自動的にヘッドライトの上向き（ハイビーム）または下向き（ロービーム）の切り換えを行います。（→P.7-18）

⚠警告

- **走行支援の各機能は、運転者の安全運転を前提としたシステムであり、運転操作の負担や衝突被害を軽減することを目的としています。システムの検知性能・制御性能には限界があるため、これらのシステムに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。**

アドバイス

- 三菱自動車純正用品のトレーラーヒッチハーネスを装着してトレーラーをけん引時、下記機能は自動で OFF になります。
  - 踏み間違い衝突防止アシスト　[EAPM]（後退時）
  - 後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]
  - 後側方衝突防止支援システム [ABSA]
  - 後退時車両検知警報システム [RCTA]
  - パーキングセンサ（リヤセンサーによる警告）

マイパイロット（ナビリンク機能付）

J17608400033

マイパイロット（ナビリンク機能付）は、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ

J17608500034

⚠警告

- **運転者は交通法規を遵守し、安全な速度で走行する責任があります。**
  運転者は走行している道路の制限速度を確認し、設定車速を適切に設定し、安全運転に心がけてください。

⚠警告

- **高速道路や自動車専用道路で使用する。**
  マイパイロット（ナビリンク機能付）は、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **マイパイロット（ナビリンク機能付）の性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。**
  自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカーに近づくことがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
  レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。
- **手放し運転を行うことはできない。**
  運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。
- **停止中の車両には反応しない。**
  料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては減速しません。十分注意してください。

マイパイロット（ナビリンク機能付）について

J17608600022

●マイパイロット（ナビリンク機能付）のシステムには次の機能があります。

レーダークルーズコントロールシステム [ACC]

ACC : Adaptive Cruise Control system

●先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（約 30km/h 以上）を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
●先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、ACC は停止した状態を保持します。
●先行車が発進したときは、ステアリングスイッチの RES+ スイッチ（上押し）を押すか、ゆっくりと軽くアクセルペダルを踏むと停止状態を解除し、再び ACC による追従走行を開始します。
●先行車を検出していない場合は運転者がセットした車速で定速走行します。（約 30km/h 以下では前方に車両がいない場合使用できません。）

→ レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の作動（P.7-50）

車線維持支援機能 [LKA]

LKA : Lane Keep Assist

●車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。（約 50km/h 以下では前方に車両がいる場合に作動できます。）

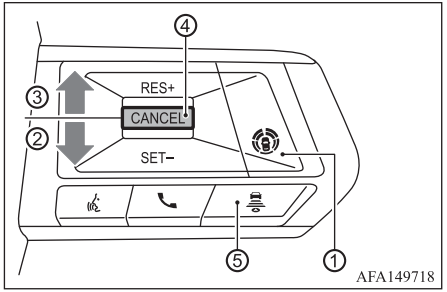
→ 車線維持支援機能 [LKA] の作動（P.7-60）

アドバイス

●アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができる定速制御機能については、（→P.7-65）をお読みください。
●ACC による追従走行を再開するために、アクセルペダルを踏み込む際は、先行車に注意してゆっくりと軽く踏み込んで下さい。

ステアリングスイッチ（マイパイロット（ナビリンク機能付））

J17608700036



① **マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ**
- マイパイロット（ナビリンク機能付）の ON・OFF ができます。

② **SET- スイッチ（下押し）**
-SET- スイッチを押したときの車速でマイパイロット（ナビリンク機能付）を開始できます。
- 設定速度を下げることができます。

③ **RES+ スイッチ（上押し）**
- マイパイロット（ナビリンク機能付）を解除後、解除前の設定速度で再び開始することができます。
- 設定速度を上げることができます。

④ **CANCEL スイッチ**

- マイパイロット（ナビリンク機能付）の解除ができます。

⑤ **車間設定スイッチ**

- 車間設定を「長」「中」「短」の 3 段階に切り替えることができます。

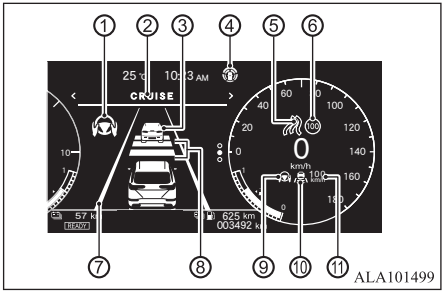
アドバイス

- マイパイロット（ナビリンク機能付）の制御を開始すると、後側方衝突防止支援システム [ABSA]、車線逸脱防止支援機能 [LDP] も同時に ON になります。
  詳しくは、→ 後側方衝突防止支援システム [ABSA] について（P.7-91）、→LDP について（P.7-87）をお読みください。
- FCM を OFF にしていても、マイパイロット（ナビリンク機能付）の制御を開始すると、ON になります。
  詳しくは、(→P.7-69) をお読みください。

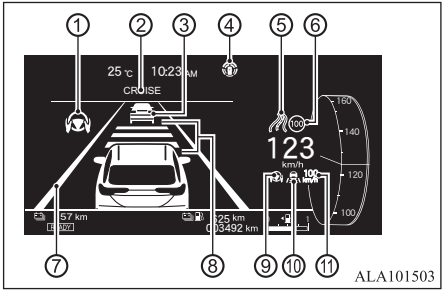
マルチインフォメーションディスプレイ

J17608800037

クラシック表示



エンハンス表示



① **車線維持支援機能 [LKA] 作動表示**

- LKA 作動中は緑色に点灯

② **マイパイロット（ナビリンク機能付）作動表示**

- マイパイロット（ナビリンク機能付）作動中は緑色に点灯

③ **先行車検出表示**

- 先行車検出有り：表示
- 先行車検出無し：非表示

④ **マイパイロット（ナビリンク機能付）作動灯**

- マイパイロット（ナビリンク機能付）ON：白色に点灯
- マイパイロット（ナビリンク機能付）作動開始：緑色に点灯

⑤ **ルート減速支援表示**

- ルート減速支援機能作動時は表示

⑥ **最高速度標識検知表示**

- 標識認識システム [TSR] で検出された速度標識を表示
- 運転者への操作支援を表示

⑦ **車線検出表示**

- 車線検出有り：緑色に点灯
- 車線検出無し：灰色に点灯

⑧ **車間設定表示**

- 車間距離の設定状況を表示

⑨ **車線維持支援機能 [LKA] 作動灯／警告灯**

- LKA 作動中は緑色に点灯

⑩ **車速制御作動灯／警告灯**

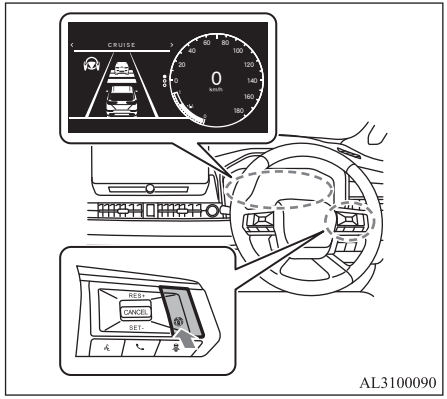
- 定車間制御中：緑色に点灯
- 定速制御中：先行車アイコンが非表示

⑪ **設定車速表示**
- 設定車速を表示

マイパイロット（ナビリンク機能付）の使いかた

J17608900038

1. マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㉔を押します。
・マイパイロット（ナビリンク機能付）が ON になります。
・マルチインフォメーションディスプレイとヘッドアップディスプレイにマイパイロット（ナビリンク機能付）の状態が表示されます。

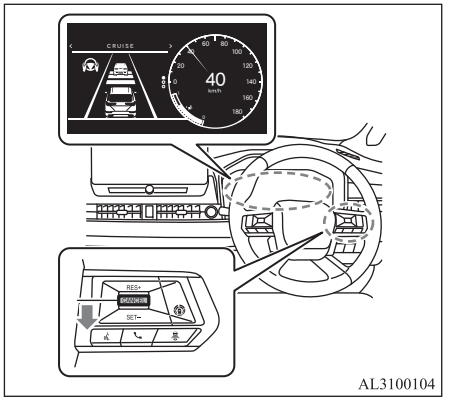


AL3100090

アドバイス

- マイパイロット（ナビリンク機能付）には次の機能があります。
→ レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の作動（P.7-50）
→ 車線維持支援機能 [LKA] の作動（P.7-60）
- マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㉔を約 1.5 秒押し続けると、定速制御機能に切り替わります。
→ 定速制御機能について（P.7-65）
- 車間設定は、プラグインハイブリッド EV システムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- プラグインハイブリッド EV システムを停止するとマイパイロット（ナビリンク機能付）は OFF になります。

2. 設定したい速度まで加速または減速します。
3. SET- スイッチ（下押し）を押します。
・スイッチを押したときの速度が設定速度になり、マイパイロット（ナビリンク機能付）の制御が開始します。
（車速約30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定速度は 30km/h になります。）
マイパイロット（ナビリンク機能付）作動灯、マイパイロット（ナビリンク機能付）作動表示が緑色で点灯します。



AL3100104

アドバイス

- 次の場合は、マイパイロット（ナビリンク機能付）の制御を開始することができません。（設定車速表示が約 2 秒間点滅します。）

AFZ105713

・運転席、助手席、後席、またはテールゲートのいずれかのドアが開いているとき

アドバイス

- 運転席シートベルトを着用していないとき
- 車速が約 30km/h を下回っていて、先行車両を検出していないとき
- シフトポジションがⒹまたはⒷ以外のとき（Ⓑのときにセットすると自動的にⒹに切り替わります）
- 電動パーキングブレーキが作動しているとき
- ブレーキを踏んでいるとき
- ASC を OFF にしたとき
- ASC/TCS が作動したとき
- タイヤが空転したとき
- 滑りやすい道路を走行しているとき
- ドライブモードが SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードのとき
- レーダーセンサー部が汚れているとき
- レーダーセンサーの信号が一時的に遮断されたとき

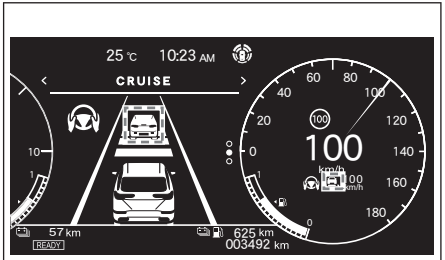
7

レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の作動

J17609000036

先行車を検出しているとき

- 運転者がセットした車速(約30km/h以上) を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車検出表示が点灯し、車速制御作動灯が定車間制御表示（緑）で点灯します。



ALA101516

警告

- **運転者は周囲の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルを操作する。**
  車速･車間制御機能で停止した後、前方に車両が割り込んできた場合、位置や車両の向きによっては検出することができず、先行車が発進すると自車も動きだし割り込んできた車両に接近するおそれがあります。

アドバイス

- ACC で自車が停止したとき、停止した状態を保持するまでは周囲に注意してください。
- 車間設定スイッチにより、車間を設定することができます。
  → 車間距離設定の変更のしかた (P.7-57)
- ACC の制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。
- 車両停止保持状態のときに、RES+ スイッチ（上押し）を押すと、約 3 秒間は発進待機状態になります。(車両停止保持状態が解除されます)
- ACCにより自車が停止した後、約3分を経過すると、解除音とともに電動パーキングブレーキが作動し、ACC は解除されます。

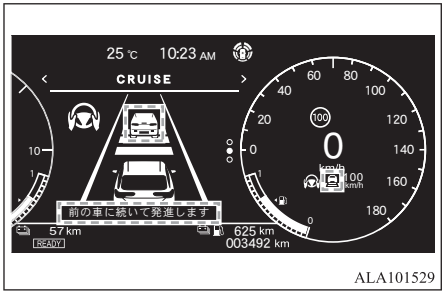
アドバイス

- 次の条件では「RES+ で発進します」とメッセージが表示され、停止した状態を保持します。
  - 約 30 秒を超えて停止したとき
  - 前方にパーキングセンサーもしくはフロントカメラで障害物を検出したとき
  - 割り込み車両を検出したとき
  - 歩行者を検知したとき
  - 信号機を検知したとき
  - ブレーキ操作をしたとき
  - 車線幅の狭い道路を検知したとき
  - パーキングセンサーが適切に作動していないとき（→P.9-35）
  - ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えないとき
  - ナビゲーションシステムとフロントカメラにより、ナビゲーションの道路種別と走行している道路の種別が一致しないと判定したとき

先行車が停止したとき

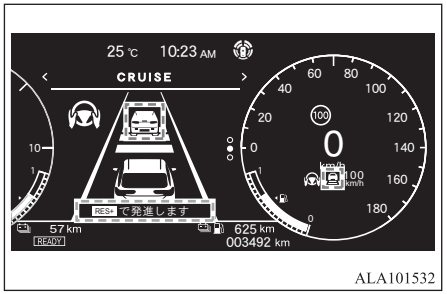
- ACC で走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、ACC は停止した状態を保持します。
  （停止した状態を保持しているときは、「前の車に続いて発進します」と表示します）

高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。その後、先行車が約 30 秒の間に発進すると追従走行を再開します。
ナビゲーションシステムで高速道路や自動車専用道路と判定されなかった場合には、先行車が約 3 秒の間に発進すると追従走行を再開します。



先行車が発進したとき

- ACC で停止状態を保持しているときに先行車が発進したときは、RES+ スイッチ（上押し）を押すか、ゆっくりと軽くアクセルペダルを踏むと停止状態は解除され、再び ACC による追従走行を開始します。

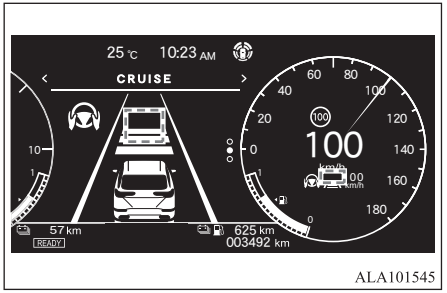


アドバイス

- ACC による追従走行を再開するために、アクセルペダルを踏み込む際は、先行車に注意してゆっくりと軽く踏み込んで下さい。

先行車を検出していないとき

- 運転者が設定した速度で、定速走行します。先行車検出表示が消灯し、車速制御作動灯の先行車アイコンが非表示になります。



ALA101545

アドバイス

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行している場合は、停止保持中に先行車を検出しなくなると、ACC は解除されます。

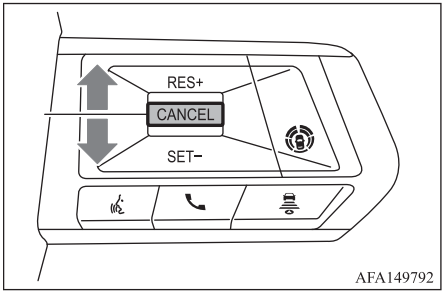
7

設定車速の変更のしかた

J17609100024

設定車速は 1km/h または 5km/h きざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+ スイッチ（上押し）を押します。
  - 短く押すと 1km/h きざみで上がります
  - 長く押すと 5km/h きざみで上がります
- 設定車速を下げたいときは、SET- スイッチ（下押し）を押します。
  - 短く押すと 1km/h きざみで下がります
  - 長く押すと 5km/h きざみで下がります



AFA149792

アドバイス

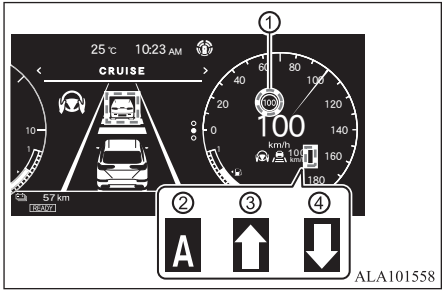
- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、RES+ スイッチ（上押し）を押して、設定車速を上げても加速しません。このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はマルチインフォメーションディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

制限速度支援機能について

J17609200038

標識認識システム [TSR] により、新しい最高速度標識を検出した場合、新しい速度を自動または、手動で設定車速に反映することができます。

- 次の場合は作動を開始します。
  - 検出した制限速度が 30km 以上のとき
  - マルチインフォメーションディスプレイで制限速度支援機能が「手動」、または「自動」に設定されているとき



ALA101558

① 標識認識システム [TSR]（赤枠）：標識認識システム [TSR] により、検出された最高速度標識を表示します。反映される最高速度標識（緑枠）：新たに検出された最高速度標識が設定車速に反映可能な場合、速度標識表示の枠が緑色で表示されます。

② A：オートモード (自動) の作動状態を示します。
③ ↑:マニュアルモード (手動) が ON で、検出された最高速度標識が現在走行している速度よりも高い場合、「↑」が表示されます。
④ ↓:マニュアルモード (手動) が ON で、検出された最高速度標識が現在走行している速度よりも低い場合、「↓」が表示されます。

⚠警告

● 制限速度支援機能の性能には限界があります。
工事や悪天候などで一時的な最高速度標識を検出できなかったり、走行している道路と並行な道路にある最高速度標識を誤って検出してしまうことがあります。運転者は常に周囲の状況を確認し、適切な速度に設定してください。

⚠警告

● 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の最高速度標識）標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。（実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）このため、オートモード (自動) では実際の最高速度と異なる速度が設定車速に自動で反映されることがあります。

アドバイス

● 次のような道路標識は検知しません。
・補助標識（時間帯、区間の終わりなど）付きの標識

制限速度支援機能の作動

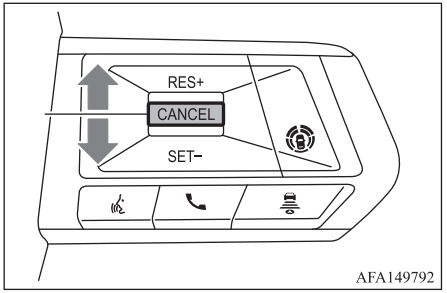
J17609300026

オートモード（自動）選択時

● 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行している場合に、新しい最高速度標識を検出した速度を設定車速に反映します。

マニュアルモード（手動）選択時

● 新しく検出された最高速度標識を反映させるには、RES+ スイッチ（上押し）、または SET- スイッチ（下押し）を押します。
● RES+ スイッチ（上押し）、または SET －スイッチ（下押し）を押さない場合、速度標識支援表示（↑ ↓）は約 10 秒後に消灯します。
（表示している矢印とは反対の RES+ ／ SET －スイッチを押すと、速度標識支援表示（↑ ↓）はすぐに消灯します）
● 制限速度支援機能は、速度標識が検出されていない場合は作動しません。



アドバイス

- 次のような場合は、標識認識システム [TSR] が最高速度標識を検出しても、設定車速に反映されない場合があります。
  - ナビゲーションシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
  - 標識認識システム [TSR]（タイプ別装備）が適切に作動していないとき（→P.7-103）
  - システムを OFF に設定しているとき
  - ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えないとき
  - ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき
  - 高速道路、または自動車専用道路の出口に近づいたとき

アドバイス

- 自車の路線と並行する路線があるとき（インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなど本線から出る路線）
- 自車の路線と並行する側道の両車線に最高速度標識が表示され、それぞれが異なる制限速度を検出しているとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- ナビゲーションシステムとフロントカメラにより、ナビゲーションの道路種別と走行している道路の種別が一致しないと判定したとき

- 次の場合は設定速度へ反映されません。
  - 検知していた制限速度の標識より速い制限速度の標識を検知した時、すでに新しく検知した制限速度より速い速度に設定していたとき
  - 検知していた制限速度の標識より遅い制限速度の標識を検知した時、すでに新しく検知した制限速度より遅い速度に設定していたとき

制限速度支援機能の ON・OFF のしかた

J17609400030

マニュアルモード（手動）

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「制限速度支援」⇒「手動」を選択すると、制限速度支援機能をマニュアルモード（手動）に設定できます。

オートモード（自動）

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「制限速度支援」⇒「自動」を選択すると、制限速度支援機能をオートモード（自動）に設定できます。

- システムの作動を停止するときは、「OFF」を選択してください。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 運転支援（P.5-28）

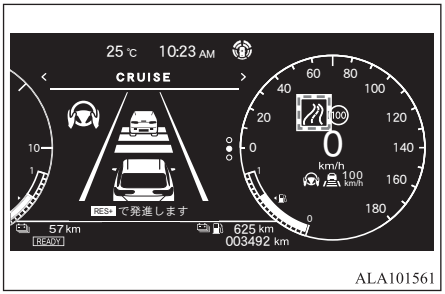
アドバイス

- 制限速度支援の設定は、プラグインハイブリッド EV システムを再起動しても維持されます。

ルート減速支援機能について

J17609500031

高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行中にナビゲーションシステムの地図データを利用して、カーブ・出口・料金所などの道路形状に合わせて車速を調節します。カーブ･出口･料金所などを通過後は設定車速まで加速し、走行します。



ALA101561

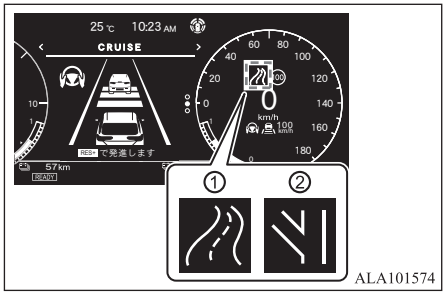
警告

- **ルート減速支援機能の性能には限界があります。**
  ルート減速支援機能は、すべての走行状況、交通環境、天候、路面状況で作動するわけではありません。運転者は周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
- **ルート減速支援機能は、車両のブレーキにより走行を止める機能ではありません。**
  減速が必要なときは必ず運転者が自ら適切なブレーキ操作を行ってください。

ルート減速支援機能の作動

J17609600032

- カーブや高速道路の出口・料金所などでシステムが作動したときに、ルート減速支援機能が表示されます。



ALA101574

① カーブ
② 高速道路の出口・料金所
（高速道路や自動車専用道路など限定された道路）

アドバイス

- 次のような状況では、ルート減速支援機能が適切に作動しない場合があります。路面状況や交通環境に応じてアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。
  - ナビゲーションシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
  - ナビゲーションシステムが推奨するルートを走行していないとき
  - ナビゲーションシステムが新しいルートを探索しているとき
  - ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えないとき

7

アドバイス

- ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行しているとき
- 車線の分岐･合流のある道路、または交差点付近を走行しているとき
- 悪天候のとき（雨、霧、雪、強風など）や、道路状況の悪い場所を走行しているとき
- ナビゲーションシステムとフロントカメラにより、ナビゲーションの道路種別と、走行している道路の種別が一致しないと判定したとき

●アクセルを踏み込んでいる場合、ルート減速支援機能を行いません。
●マイパイロット（ナビリンク機能付）の車速･車間制御機能の設定や、先行車を検出状態によっては、システムが作動しない場合もあります。

ルート減速支援機能のON・OFFのしかた

J17609700033

●マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「ルート連動減速」を選択すると、ルート減速支援機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援をお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
→ 運転支援（P.5-28）

アドバイス

●ルート減速支援機能の設定は、プラグインハイブリッド EV システムを再起動しても維持されます。

一時的に加速、減速をしたいとき

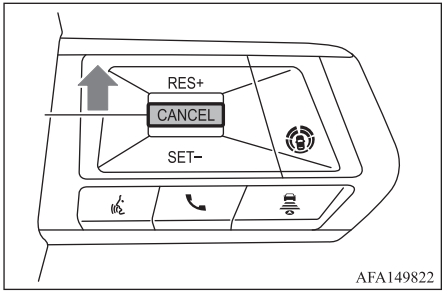
J17609800021

加速したいとき

●アクセルペダルを踏むと、加速します。
●アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

●ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
●解除前の設定速度で再びセットしたいときは、RES+ スイッチ（上押し）を押します。



アドバイス

●アクセルペダルを踏んでいるときは、ACCによるブレーキ制御も接近警報も行いません。
●通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

アドバイス

- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET- スイッチ（下押し）で設定速度を下げた場合などで設定速度より実際の速度の方が高くなったときは、設定速度表示が点滅します。

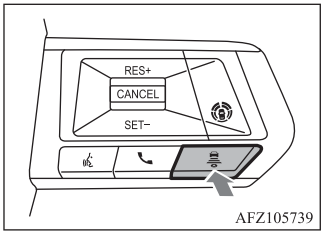
AFZ105713

車間距離設定の変更のしかた

J17609900035

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。ACC 制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

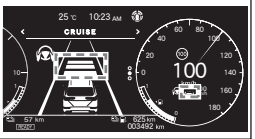
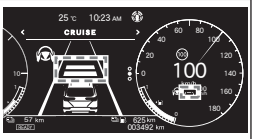
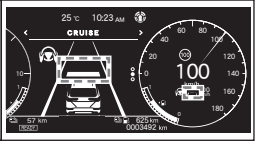
- 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



AFZ105739

アドバイス

- 車間距離は車速に応じて変わり、速度が高いほど長くなります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

ALM100412

- 車間設定は、プラグインハイブリッド EV システムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

割り込み検知

J17610000023

- 自車に近い位置に他車が割り込んできたときは、警告音とともに先行車検出表示が点滅し、運転者にお知らせします。

アドバイス

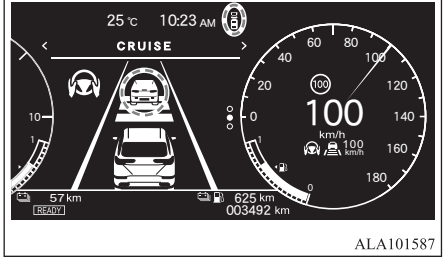
- 隣のレーンを走行する車両が近づいたとき、自車が走行する車線に割り込む前に割り込み検知をすることがあります。これは事前に注意喚起を促すものであって故障ではありません。

接近警報

J17610100037

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとマルチインフォメーションディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

●先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが鳴ります。さらに車間距離が近くなると、ブザーとマルチインフォメーションディスプレイの接近警報表示が点滅します。



ALA101587

7

アドバイス

- 接近警報が頻繁に作動するような状況では、ACC を使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
  - 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
  - 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
  - 他車が至近距離に割り込んできたとき
  - 停車状態か徐行運転の車が接近したとき
  - アクセルを踏んでいるとき

アドバイス

- 料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては接近警報は作動しません。

追い越し時加速機能

J17610200025

- 70km/h 以上で ACC 制御中、先行車が設定車速以下のとき、方向指示器を右折側に操作すると、車両が加速し先行車を追い越す準備を始めます。
- 運転者がステアリングを操作し、追い越すために車線を変更したときに先行車を検出した場合は、運転者がセットした車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車を検出しなかった場合は運転者がセットした車速で定速走行します。

アドバイス

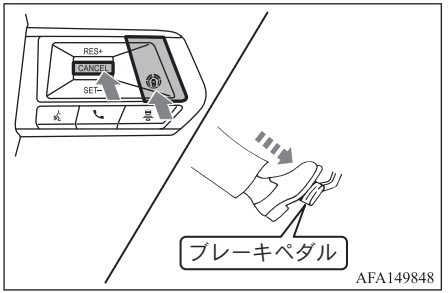
- 方向指示器を右折側に操作し、車両が加速しているときに先行車との距離が近づきすぎると加速は停止し、設定してある車間距離に戻ります。
- 次の場合は追い越し時加速機能が解除されます。
  - ブレーキを踏んだとき
  - CANCEL スイッチを押したとき

レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の解除のしかた

J17610300026

次のいずれかの操作でACCが解除されます。

- CANCEL スイッチを押す
- マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む
  （ACC により、自車が停止状態を保持しているときを除く）



AFA149848

⚠警告

●車から離れるときは、必ずマイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㊙を押して、マイパイロット（ナビリンク機能付）を OFF にし、シフトポジションをⓅに入れ、プラグインハイブリッド EV システムを停止する。

レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の自動解除

J17610400030

●次の場合は、解除音とともにACCが解除されます。
- •運転席、助手席、後席、またはテールゲートのいずれかのドアを開けたとき
- •運転席のシートベルトを解除したとき
- •ACCにより自車が停止後、約3分が経過したとき
- •シフトポジションをⒹまたはⒷ以外にしたとき
- •電動パーキングブレーキをかけたとき
- •FCM が作動したとき
- •ASC を OFF にしたとき
- •ASC が作動したとき
- •ドライブモードを SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードにしたとき
- •タイヤが空転したとき
- •周辺の電波源の影響を受けているとき

●次の場合は「フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください」と表示され、作動が停止します。
- •レーダーセンサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき
  システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、プラグインハイブリッドEVシステムを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再起動し、再びシステムを ON にしてください。
- •道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
  システムを再び作動させる場合は、上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。

⚠注意

●ACC により自車が停止状態を保持中に運転席ドアを開けたとき、電動パーキングブレーキが正常に作動しなかった場合は「ブレーキペダルを 踏んでください」と警告メッセージが表示されます。

アドバイス

●ACC により自車が停止状態を保持しているとき、次の条件により、ACC が解除されると電動パーキングブレーキが作動します。
- •運転席、助手席、後席、またはテールゲートのいずれかのドアを開けたとき
- •運転席のシートベルトを解除したとき
- •ACC により自車が停止後、約 3 分が経過したとき
- •シフトポジションをⒹまたはⒷ以外にしたとき
- •ASC を OFF にしたとき
- •ACC に異常があるとき
- •CANCEL スイッチを押したとき
- •マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㊙を押したとき
- •ドライブモードを SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードにしたとき

レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の故障について

J17610500031

- システムに異常があると、警告音とともにマルチインフォメーションディスプレイ内に車速制御警告灯（オレンジ）、および車線維持支援機能 [LKA] 警告灯（オレンジ）が点灯し、警告が表示され、システムが停止します。
  車速制御警告灯（→P.7-48）
  車線維持支援機能　[LKA]　警告灯（→P.7-48）
  マイパイロット（ナビリンク機能付）（アダプティブクルーズコントロール [ACC]）警告メッセージ（→P.9-62）

ALA101590

⚠注意

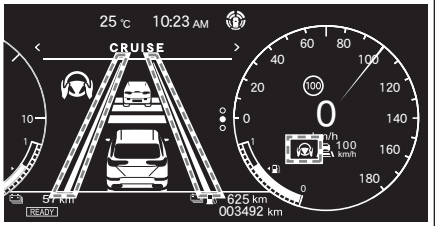
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

車線維持支援機能[LKA]の作動

J17610700033

車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。

- LKA は、次の条件を満たすとき作動することができます。
  - レーダークルーズコントロールシステム [ACC] の制御が開始しているとき
  - 両側のレーンマーカーを検出しているとき
    レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。
  - 車速が約 50km/h 以上のとき
  - 車速が約 50km/h 以下では、先行車を検出しているとき
  - 運転者がハンドルを持っているとき
  - 車線の中央を走行しているとき
  - 方向指示器が動作していないとき
  - ワイパーが高速で作動していないとき
- LKA が作動すると、ブザーが鳴るとともに LKA 作動灯、LKA 作動表示、車線検出表示が緑色になります。



ALA101604

アドバイス

- LKA 作動中に走行車線の右側、もしくは左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音とともに車線検出表示がオレンジ色に点滅します。
- 定速制御機能で走行中は LKA を作動することができません。→ 定速制御機能について（P.7-65）
- LKA 作動中、車速が約 50km/h 以下で先行車がいなくなっても、しばらくは LKA 制御を継続する場合があります。

車線維持支援機能 [LKA] の ON・OFF のしかた

J17610800034

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「ハンドル支援」を選択すると、LKA の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 運転支援（P.5-28）

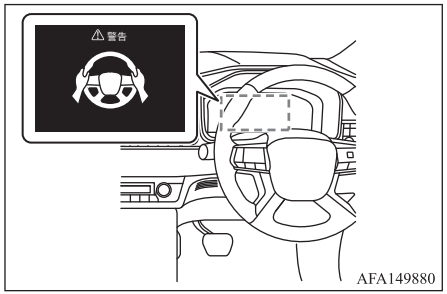
アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイの車両情報画面がクルーズ画面のときは、ステアリングにあるダイヤルスイッチを押すと LKA の設定画面が表示されます。
- LKA の ON・OFF 設定はプラグインハイブリッド EV システムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。
- 定速制御機能で走行中は LKA を ON にすることができません。→ 定速制御機能について（P.7-65）

手放し警告について

J17610900035

- 運転者がハンドルを持っていない、または操作していない場合、マルチインフォメーションディスプレイに手放し警告が表示されます。



⚠警告

- **手放し運転を行うことはできません。**
  運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

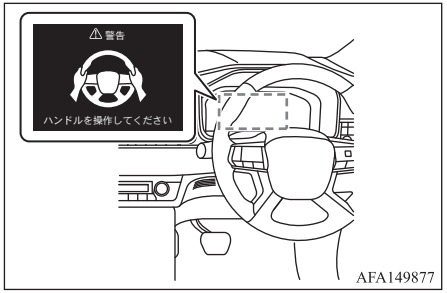
アドバイス

- 次のときは手放し警告が出ることがあります。
  - ハンドルの接合部を握る
  - 手袋をしてハンドルを操作する

アドバイス

- 手放し警告により LKA が解除された場合、再び運転者がハンドル操作すると手放し警告は消灯し、マイパイロット（ナビリンク機能付）を解除し再度セットすることで車線維持支援を再開できます。
- 運転者のハンドル操作が検出されない場合、緊急警報音が鳴るとともにマルチインフォメーションディスプレイに「ハンドルを操作してください」と表示されます。

- マルチインフォメーションディスプレイに手放し警告が表示されているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告が点滅します。
- 手放し警告が点滅中、運転者のハンドル操作が検出されない状態が継続すると、LKA 解除警告音とともに LKA は解除されます。



車線維持支援機能[LKA]の一時待機について

J17611000020

運転操作による一時待機

- 方向指示器を作動させたときは、LKA が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
- LKA 作動灯、LKA 作動表示、車線検出表示が灰色になります。

システムによる一時待機

- 次の場合は、ブザーが鳴り LKA が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
  - 両側の車線を検出しなくなったとき
  - 車速が約 50km/h 以下で、先行車を検出しなくなったとき
- LKA 作動灯、LKA 作動表示、車線検出表示が灰色になります。

アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路など限定された道路を走行中、車速が約 50km/h 以下で先行車を検出しなくなった場合、両側の白線を検出しているときは LKA を継続する場合があります。

車線維持支援機能[LKA]の自動解除

J17611100034

- 次の場合は、警告メッセージが表示され、LKA が解除されます。
  - ワイパーを高速で作動させたとき
  - 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）

マイパイロット（ナビリンク機能付）（LKA）警告メッセージ（→P.9-64）

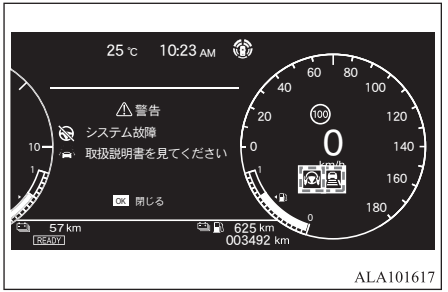
アドバイス

- LKA によるステアリング制御は、運転者のハンドル操作によりいつでも修正することができます。

車線維持支援機能[LKA]の故障について

J17611200035

- システムに異常があると、警告音とともにマルチインフォメーションディスプレイに車速制御警告灯（オレンジ）、および車線維持支援機能 [LKA] 警告灯（オレンジ）が点灯し、警告が表示され、システムが停止します。
  車速制御警告灯（→P.7-48）
  車線維持支援機能 [LKA] 警告灯（→P.7-48）
  マイパイロット（ナビリンク機能付）（LKA）警告メッセージ（→P.9-64）



ALA101617

⚠注意

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッドEVシステムを停止してから再起動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

マイパイロット（ナビリンク機能付）に関する注意事項

J17611400037

⚠警告

- **マイパイロット（ナビリンク機能付）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。**
  先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転に心がけてください。
- **マイパイロット（ナビリンク機能付）の性能には限界があります。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、マイパイロット（ナビリンク機能付）を使用しないでください。**

⚠警告

- 急カーブや曲がりくねった道
  マイパイロット（ナビリンク機能付）は直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、車線中央付近を維持できなくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 急勾配の坂道
  停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 急な下り坂
  設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
- 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
  ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 道路構造物（壁、ガードレール、ポール、縁石など）と、レーンマーカーが極端に近い道
  道路構造物に接近し思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- **次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない、またはレーンマーカーが検出できない場合があり、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでマイパイロット（ナビリンク機能付）を使用しないでください。**
  - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
  - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
  - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき

⚠警告

- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
- 雪、氷、泥、ビニール袋などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 定速走行が困難なとき
- 先行車が複雑な形状のとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 停車した車・低速走行車に接近したとき
- 道路上に歩行者がいるとき
- 道路上に障害物が落ちているとき
- 同じ車線に対向車がいるとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 先行車のテールランプが点灯していないとき
- わだちがある道を走行しているとき

●次のような状況ではマイパイロット（ナビリンク機能付）は正しく機能しません。マイパイロット（ナビリンク機能付）を使用しないでください。

- タイヤの空気圧が適正ではないとき
- 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき

⚠警告

- カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
- 極端に重い荷物を積んでいるとき
- けん引しているとき

●外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

●下り坂などで急激な加速が発生した場合にはキャンセルされる場合があります。

アドバイス

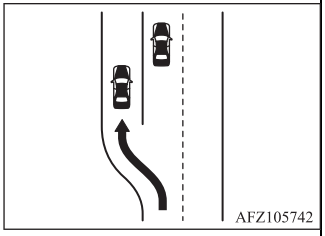
● マイパイロット（ナビリンク機能付）を正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサーおよびその周辺のお手入れを行ってください。

→フロントカメラの取り扱い（P.10-18）
→　　レーダーセンサーの取り扱い（P.10-17）

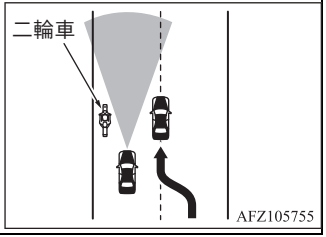
レーダークルーズコントロールシステム[ACC]について

アドバイス

● 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でACCによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



●近距離ではレーダーセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。



アドバイス

- レーダーセンサーの汚れを判定する機能を備えておりますが万全ではありません。
  状況によってはレーダーセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、レーダーセンサーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。
  なお、汚れを判定した場合は、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] は解除されます。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。
  また、一時的に先行車を検出できず、先行車に近づく場合があります。

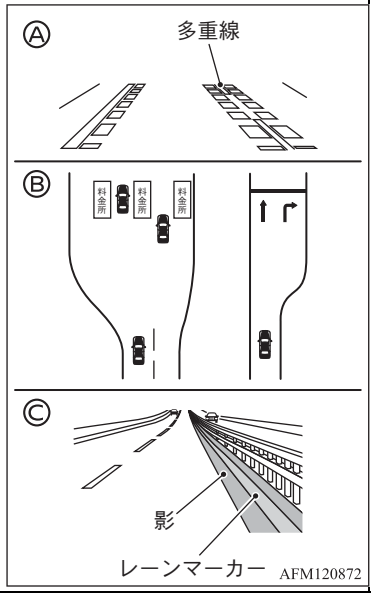
車線維持支援機能 [LKA] について

- LKA 起動時に低速走行を行う際、区画線の状態によっては、一時待機状態への移行頻度が他の車速帯と異なる場合があります。

アドバイス

- 次のような状況ではレーンマーカーを正しく検出できず、適切なハンドル制御が行えない場合があります。
  - レーンマーカーが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
  - レーンマーカーが路面の色と似ており見えにくいとき
  - レーンマーカーが多重に描かれているとき Ⓐ
  - 消されたレーンマーカーが、まだ薄く残っているとき
  - 料金所や交差点手前などでレーンマーカーがない、またはレーンマーカーが大きく変化しているとき Ⓑ
  - 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
  - 停止禁止部分または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
  - 濡れている、または水たまりがある路面を走行しているとき
  - 工事などで車線内に複数のレーンマーカーがある道を走行しているとき
  - 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき Ⓒ
  - 合流、分岐路を走行しているとき

アドバイス



定速制御機能について

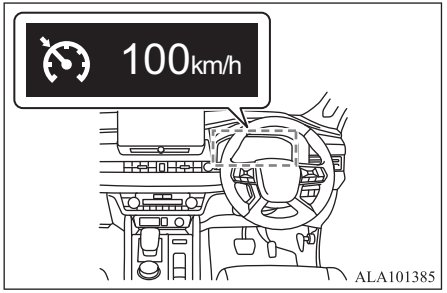
J17611500038

定速制御機能を使用すると、シフトポジションがⒹまたはⒷのとき（Ⓑのときにセットすると自動的にⒹに切り替わります）、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。（車線維持支援機能 [LKA] や車間制御は行い

ません。）約 30km/h 以上で任意の速度にセットできます。

定速制御機能表示

● マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを ON にすると点灯し、システムの作動状態を色で表示します。セットすると設定した速度を表示します。
- 白色：
  マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを 1.5 秒以上押し、システムが ON になると表示します。
- 緑色：
  車速を設定すると表示します。
- オレンジ色（警告灯）：
  システムが故障すると表示します。



⚠警告

● **定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。**
定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。

● **次の状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。**
- 交通量の多い道や急カーブのある道
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
- 急な下り坂
- 風の強い地域

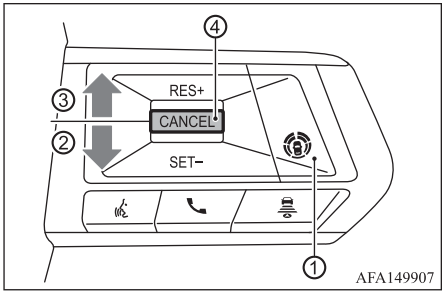
⚠注意

● 定速制御機能表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車してプラグインハイブリッド EV システムを一旦停止し、再起動してから再度定速制御機能をセットしてください。プラグインハイブリッド EV システムを再起動後もセットできない、または定速制御機能表示がオレンジ色に点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

● 定速制御機能使用時は、車線維持支援機能 [LKA] を行いません。

ステアリングスイッチ（定速制御機能）



① **マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ**
— 定速制御機能の ON・OFF ができます。

② **SET- スイッチ（下押し）**
— スイッチを押したときの車速で定速制御機能をセットできます。
— 設定車速を下げることができます。

③ **RES+ スイッチ（上押し）**

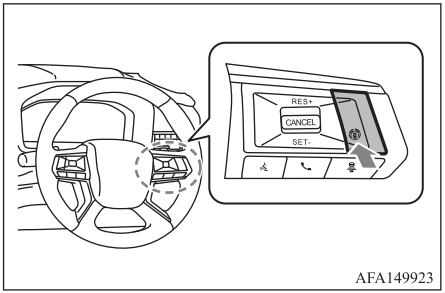
— 定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
— 設定速度を上げることができます。

④ **CANCEL スイッチ**
— 定速制御機能の解除ができます。

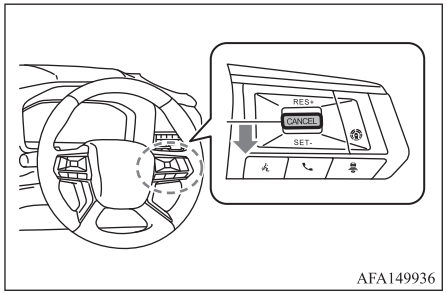
定速走行のしかた

J17611600026

1. ハンドルにあるマイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㊙を 1.5 秒以上押して定速制御機能を ON（待機状態）にします。
マルチインフォメーションディスプレイに定速制御機能表示が点灯します。



2. 設定したい速度まで加速または減速します。
3. SET- スイッチ（下押し）を押します。
SET- スイッチ（下押し）を押したときの車速で定速走行を開始します。



アドバイス

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

設定車速の変更のしかた

J17611700027

設定車速は 1km/h または 5km/h きざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+ スイッチ（上押し）を押します。
  - 短く押すと 1km/h きざみで上がります
  - 長く押すと 5km/h きざみで上がります
- 設定車速を下げたいときは、SET- スイッチ（下押し）を押します。
  - 短く押すと 1km/h きざみで下がります
  - 長く押すと 5km/h きざみで下がります

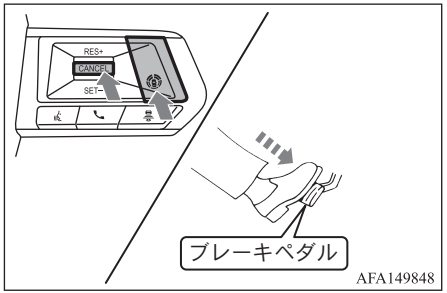
→ ステアリングスイッチ（定速制御機能）（P.7-65）

定速走行の解除のしかた

J17611800028

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCEL スイッチを押す
- マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチ㊙を押す
- ブレーキペダルを踏む



⚠注意

- CANCEL　スイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+スイッチ（上押し）を押します。（車速が約 30km/h 以上のとき戻せます。）
- 次の場合は、解除音とともに制御が解除されます。
  - 速度が約 25km/h 以下になったとき
  - ASC/TCS が作動したとき
  - タイヤが空転したとき
  - シフトポジションを Ⓓ または Ⓑ 以外にしたとき
  - 電動パーキングブレーキをかけたとき
  - ASC をオフにしたとき
  - システムに異常があるとき
  - ドライブモードを SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードにしたとき

衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]

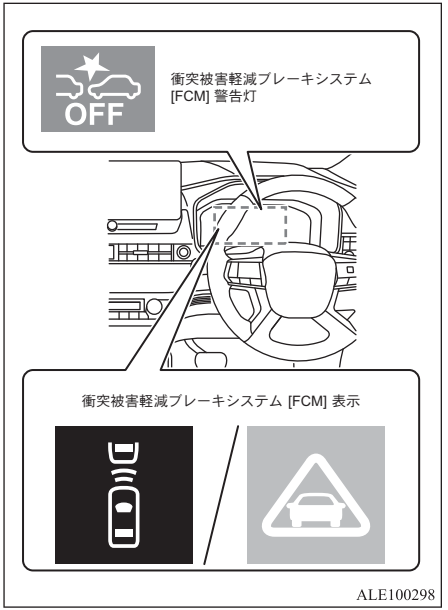
J17611900032

FCM：Forward Collision Mitigation system

FCM は、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示

J17612000030



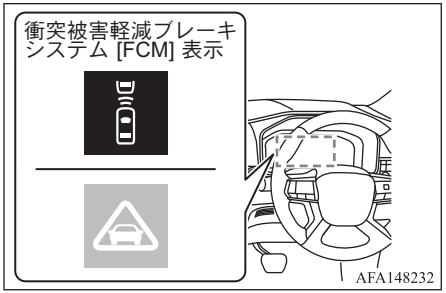
⚠警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  FCM は、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。
- システムの作動確認をお客様自身が行わないでください。状況によっては、システムが作動しなかったり車両が止まりきれず重大な事故につながるおそれがあります。

FCM について

J17612100031

- フロントガラス上部のフロントカメラおよび車両前部のレーダーセンサーにより、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知します。
- 車速約 10km/h から作動します。
  歩行者・人が乗車している自転車には車速約 10 ～ 80km/h の範囲で作動します。
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにマルチインフォメーションディスプレイの FCM 表示（接近警報表示）が黄色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、マルチインフォメーションディスプレイの FCM 表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）とともに、やや強いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。



- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
  - アクセルペダルを強く踏み込んだとき
  - ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
  - 前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約 2 秒後にブレーキが解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、FCM の作動が遅れる、または作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- マルチインフォメーションディスプレイを「走行支援」および「マイパイロット」に切り替えると、FCM の作動状態をマルチインフォメーションディスプレイ内で確認することができます。
  詳しくは、マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（→P.5-14）をお読みください。

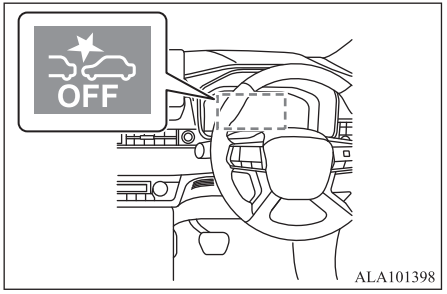
FCM の停止のしかた

J17612200032

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「緊急支援」⇒「前方衝突防止支援」を選択すると、FCM 機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。

マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（→P.5-14）
運転支援（→P.5-28）

- 機能を OFF にすると、システムが停止します。
（衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 警告灯が点灯）



アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイの設定で機能を OFF にしても、プラグインハイブリッド EV システムを再起動すると ON に切り替わります。
- FCM を OFF にすると、PFCW も連動して OFF になります。
→ 前方衝突予測警報 [PFCW]（P.7-73）
- 走行中はFCMをOFFする操作を行えません。

アドバイス

- マイパイロットの制御開始により、安全を確保するためFCMは自動的にONになります。
また、マイパイロットの制御終了後にドライバーが最後に設定した状態へ自動に復帰します。

FCM に関する注意事項

J17612300020

アドバイス

- 次のような障害物は検知しません。
  - 子供などの背の低い人、動物
  - 対向車両
  - 道路構造物 (ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
  - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
  - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
  - 前方を横切って通過する車両
  - 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者、人が乗車している自転車が検知できないことがあります。

アドバイス

- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- カメラ前方のフロントガラスに油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- カメラ前方のフロントガラスが砂塵、雨、雪、霧、吹雪などで汚れているとき
- カメラ前方のフロントガラスが砂塵、雨、雪、霧、吹雪などでくもっているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
- 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者、人が乗車している自転車が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき

アドバイス

- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合 (自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- 前方の車両、歩行者、人が乗車している自転車が急に大きく動いたとき
- 起動してから約 15 秒間
- カメラの視界がさえぎられているとき (フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 車速約 80km/h 以上で走行中は、停止した車両を検知しません。

● 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。

- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合

アドバイス

- 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合 (周りの風景が水たまりに映りこむなど)
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。

- 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者、人が乗車している自転車
- 車高の低い車両
- 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者、自転車
- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者、人が乗車している自転車
- 後端面積が小さい車両 (空荷のトラックなど)
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両 (二輪車など)
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

アドバイス

- ショッピングカート、ベビーカー、自転車などを押している歩行者
- 白っぽい衣装の歩行者、白っぽい衣装の人が乗車している自転車

● 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。

- 複数の対象物同士が近接している場合
- 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

● 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

● 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。

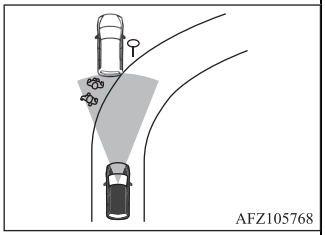
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 勾配のある路面を走行しているとき
- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき

アドバイス

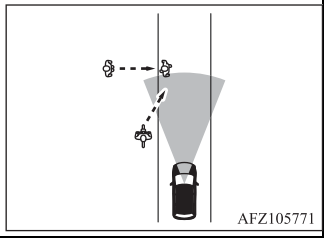
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）

● 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。

- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、自転車、人が乗車している自転車、オートバイ、車両など）



- 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者・人が乗車している自転車
- 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出したり、近づく歩行者や人が乗車している自転車



アドバイス

- 路面上にある物（線路、格子、鉄板、マンホール、鉄格子など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線にある物（歩行者、車両など）
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる物（歩行者、自転車、車両など）
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）
- 路面または壁面の模様･ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、電柱や電線、看板）、道路脇の木や建物、照明や影などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ･位置などと似通っている場合

FCM の作動が停止するとき

J17612400021

● 次の場合、メーター内の FCM 警告灯 OFF が点灯し、作動が停止します。

- FCM の設定を OFF にしたとき
- ASC を OFF にしたとき（メーターの表示のみ作動します。）
- 周辺の電波源の影響を受けているとき

停止したときの状態が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

● 次の場合、メーター内の FCM 警告灯 OFF が点灯し、システムが一時的に作動しなくなります。

- フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
- フロントガラスがくもりなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
  フロントガラスがくもっているときはデフロスタースイッチ（→P.9-66）を ON にしてくもりを取り除いてください
- フロントガラスの凍結などで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- 前方からの強い光により、 カメラが前方を認識できなくなったとき
- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
  （室内の温度が下がると、作動を復帰します。）
  停止したときの状態が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。

- システムに異常があると、メーター内の FCM 警告灯 が点灯するとともに、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
  警告灯（→P.9-21）
  警告メッセージ（→P.9-35）
- 次の場合、メーター内の FCM 警告灯 が点灯するとともに、マルチインフォメーションディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、システムが自動的に停止します。
  - 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
    上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッドEVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、プラグインハイブリッドEVシステムを再起動してください。
  - 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき
    （例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
    上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。

⚠注意

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。フロントカメラの取り扱いについては、（→P.10-18）をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。
  上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  警告灯（→P.9-21）

アドバイス

- 夜間、ライトを付けずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、メーター内の FCM 警告灯 が点灯する場合があります。

前方衝突予測警報 [PFCW]

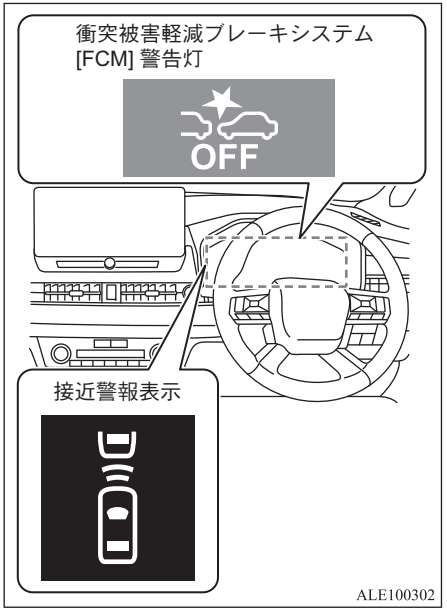
J17612500035

PFCW : Predictive Forward Collision Warning

前方を走行する 2 台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関する表示

J17612600036



⚠警告

- **前方衝突予測警報 [PFCW] は前方を走行する 2 台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行いますが、衝突を回避する機能はありません。**

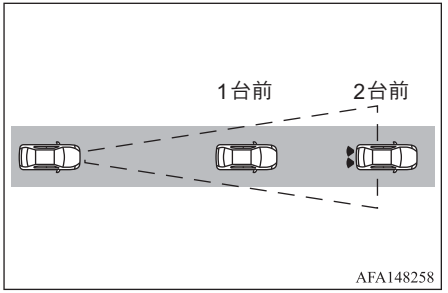
⚠警告

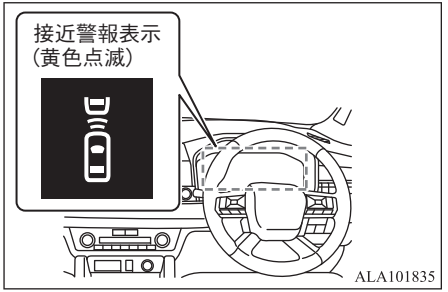
- **前方衝突予測警報 [PFCW] は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。**
  前方の車両との車間距離、周囲の状態に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

前方衝突予測警報[PFCW]について

J17612700037

- 前方衝突予測警報 [PFCW] は車速が約 10km/h 以上で作動します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサーにより前方の 2 台前の車両との距離を計測します。
- 自車の回避操作が必要と判断すると、マルチインフォメーションディスプレイの接近警報表示が黄色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。





アドバイス

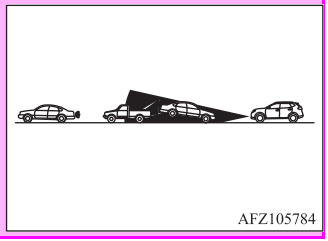
- 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] の ON・OFF を切り替えると、前方衝突予測警報 [PFCW] も連動して ON・OFF されます。
  → 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] (P.7-68)

前方衝突予測警報[PFCW]に関する注意事項

J17612800025

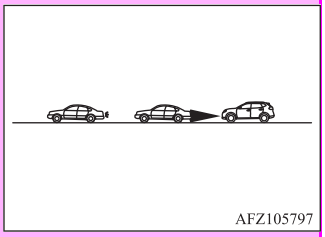
⚠警告

- **次のような障害物は検知しません。**
  - 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
  - 対向車両
  - 前方を横切って通過する車両
- **次のような場合は、前方の 2 台前の車両を検知できないことがあります。**
  - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
  - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
  - 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
  - トンネル内を走行しているとき
  - 前方の車両がけん引を行っているとき

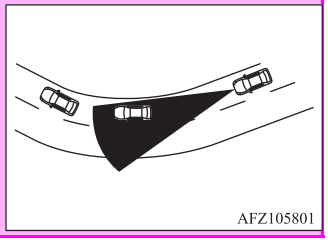

AFZ105784

⚠警告

- 前方の車両との距離が極端に近いとき

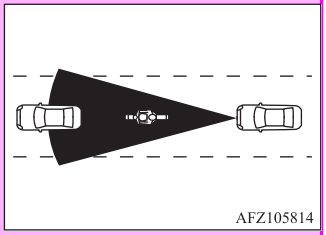

AFZ105797

- 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき


AFZ105801

⚠警告

- **前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、前方衝突予測警報 [PFCW] により警報を行わないことがあります。**


AFZ105814

- **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

前方衝突予測警報[PFCW]の作動が停止するとき

J17612900039

- 次の場合、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 警告灯 OFF が点灯し、作動が停止します。
  - 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] の設定を OFF にしたとき
  - 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] が異常により作動を停止したとき

7

- 次の場合、衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]警告灯 が点灯するとともにマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示され、システムが一時的に作動しなくなります。
  → 警告メッセージ（P.9-35）
  - 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
  - 周辺の電波源の影響を受けているとき
  - 構造物や橋など制限された道を運転するとき（長い橋、砂漠、雪原、長い壁など）

  停止したときの状態が改善されるとシステムは作動を再開します。
  上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッドEVシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、プラグインハイブリッドEVシステムを再起動してください。
- 次の場合、衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]警告灯 が点灯するとともにマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示され、システムが停止します。
  → 警告メッセージ（P.9-35）
  - 前方衝突予測警報 [PFCW] に異常があるとき

  上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッドEVシステムを停止してから再起動してください。

⚠注意

- 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] をON にできない、または警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  警告灯（→P.9-21）
- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからプラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（→P.10-17）をお読みください。

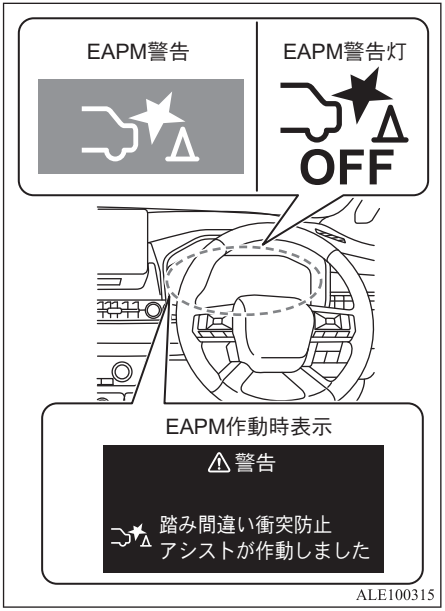
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]

J17613000037

EAPM：Emergency Assist for Pedal Misapplication
EAPM は、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

システムに関連する表示

J17613100038



⚠警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  EAPM は、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

EAPM について

J17613200039

前進時

- フロントガラス上部のフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたセンサーにより、進行方向の障害物を検知します。

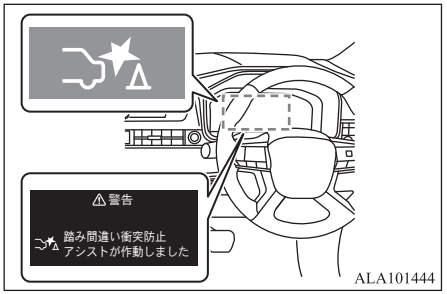
後退時

- リヤバンパーに取り付けられたセンサーにより、進行方向の障害物を検知します。

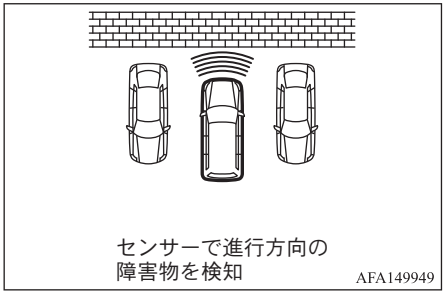
EAPM には、2 つの機能があります。

低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約 6 秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約 6 秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約 0 ～ 25km/h の範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約 0 ～ 15km/h の範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と EAPM 警告の点滅、マルチインフォメーションディスプレイの表示、およびスマートフォン連携ナビゲーション画面の赤枠表示によって運転者に警告します。
  警告メッセージ（→P.9-35）



ALA101444

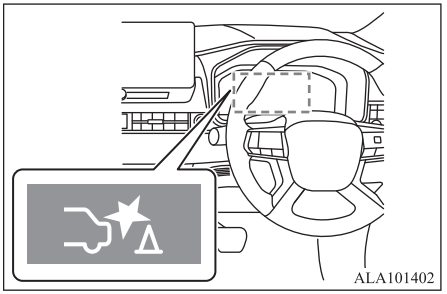

センサーで進行方向の
障害物を検知
AFA149949

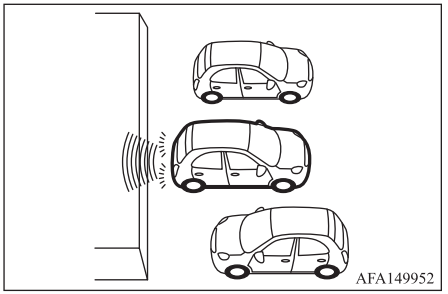
⚠警告

- **故意にアクセルペダルを踏み込まない。**
  低速加速抑制機能は、アクセルペダルを深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、ブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約 2 ～ 15km/h の範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と EAPM 警告の点滅、およびスマートフォン連携ナビゲーション画面の赤枠表示によって運転者に警告します。


ALA101402


AFA149952

アドバイス

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき･しないとき

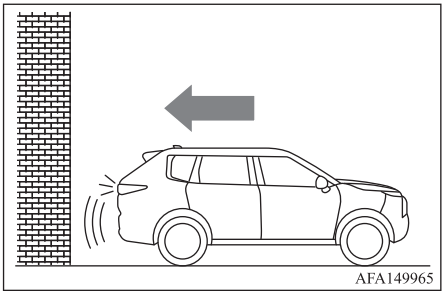
J17613300027

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と警告灯が点滅、およびマルチインフォメー

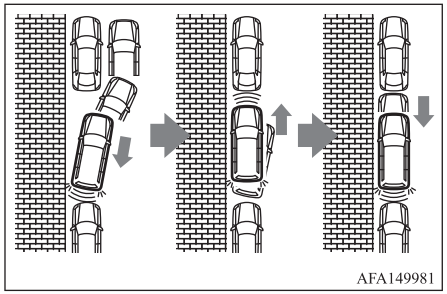
ションディスプレイに警告を表示し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。
  アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

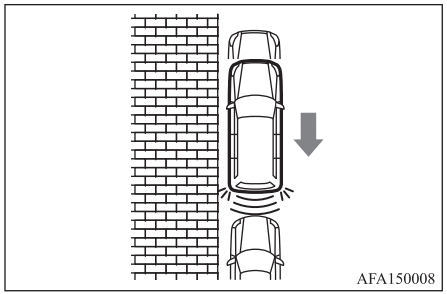


縦列駐車をするとき

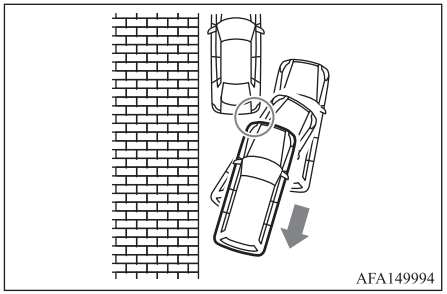
シフトポジションをⒹからⓇ、またはⓇからⒹに切り替えたときは、セレクターレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。



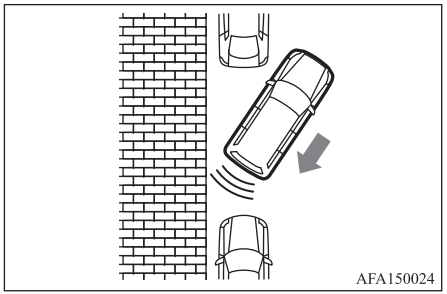
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



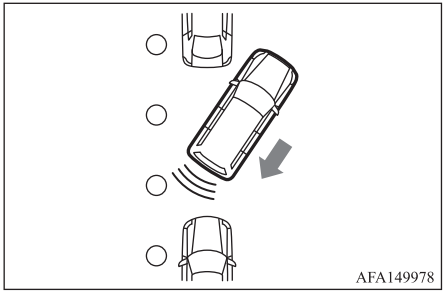
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。



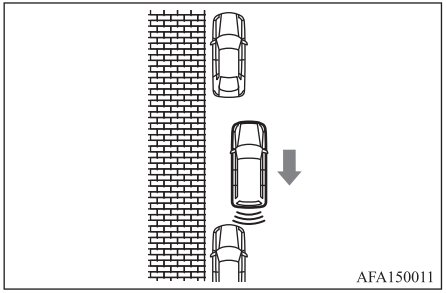
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。

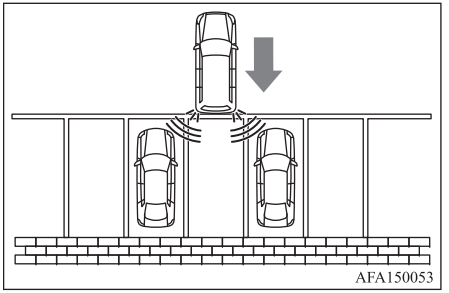


●他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

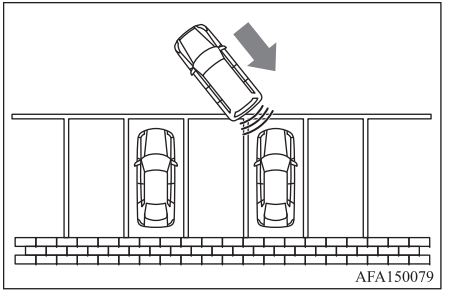


並列駐車をするとき

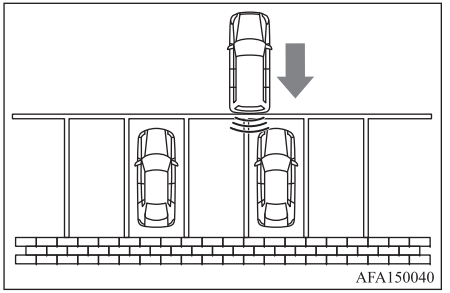
●狭いスペースに進入するときに作動することがあります。



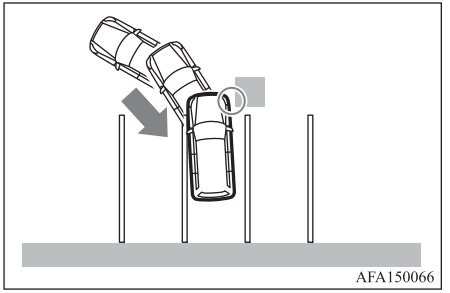
●他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。



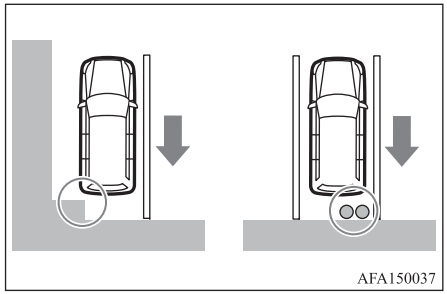
●他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

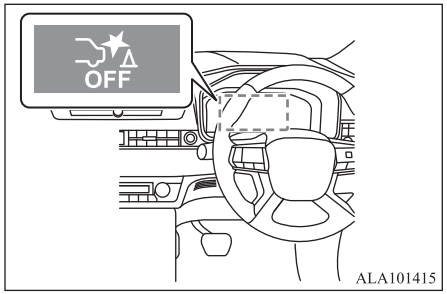


●後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



●壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。





EAPM の停止のしかた

J17613400031

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「緊急支援」⇒「踏み間違い衝突防止アシスト」を選択すると、EAPM の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（→P.5-14）
  運転支援（→P.5-28）
- 機能を OFF にすると、システムが停止します。
  （EAPM 警告灯が点灯）

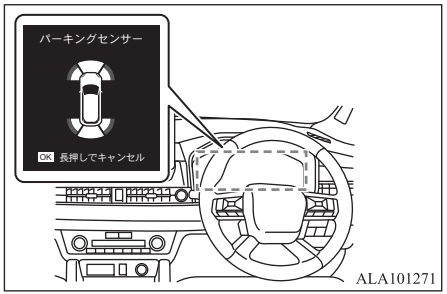
アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイの設定で機能を OFF にしても、プラグインハイブリッド EV システムを再起動すると ON に切り替わります。
- 三菱自動車純正用品のトレーラーヒッチハーネスを装着してトレーラーをけん引時、EAPM（後退時）は自動で OFF になります。
  * マルチインフォメーションディスプレイの機能 ON/OFF 設定は自動で切り替わりません。

EAPM（後退時）を一時停止する

J17613500032

- シフトポジションがⓇかつパーキングセンサー表示中にテアリングスイッチのダイヤルスイッチや⮌スイッチを押すと EAPM（後退時）を一時停止することができます。
  * 下の状態のときシステムは自動的に作動を再開します。
  - シフトポジションをⓅまたはⓃにしたとき
  - 約 12km/h 以上で走行したとき
  - プラグインハイブリットEVシステムを再起動したとき



EAPM に関する注意事項

J17613600046

⚠警告

- **次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、EAPM を OFF にする。**
  - トレーラーなどに積載するとき
  - 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
  - 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
    （車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります）
- **センサーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。**
  - 雨、雪、氷、汚れなどがセンサーに付着しているとき
  - 周囲で大きな音が鳴っているとき
  - 周囲に超音波を発するものがあるとき
  - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
  - くさび形の障害物
- **センサーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。**
  - 地面から高い位置に存在する障害物
  - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
  - センサーまたはその周辺の温度が極端に高い、または低いとき

⚠警告

- 進行方向側のセンサーが初めて物体を検出した場合（シフト操作により進行方向を切り替えた、物体が車両側面から入り込んだ等）で、その物体が車両に近傍にある場合は、ブレーキ作動開始が遅くなるまたは、作動しない場合があります。
- **センサーは次のような障害物は検知しないことがあります。**
  - 障害物が動いていたり、小さいとき
  - 背の低い障害物
  - 車両の幅以下の障害物
  - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - バンパーに非常に近い障害物（後部は 30cm 未満）
  - 急に進行方向に現れた障害物
- **センサーは次のような場合は誤作動することがあります。**
  - 周囲に草が生い茂っているとき
  - 車両側面の近くに壁があるとき
  - 路面上に段差や突起物、マンホール、鉄格子などがあるとき
  - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
  - 車両感応センサーや他車のセンサーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
  - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
  - 炎天下や寒冷時

⚠警告

- 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- 急な坂道があるとき
- 縁石などがあるとき
- タイヤ止めブロックがあるとき
- 他の車両やトレーラーをけん引しているとき
- 障害物の周辺が雪、泥、草などでおおわれているとき
- 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- 壁、料金所の設備、幅が狭いトンネル、駐車場のゲートなどの構造物
- けん引するとき
- ヒッチメンバーを装着して他の車両をけん引するとき
- 純正以外の部品 (字光式ナンバープレートやナンバープレートリムなど) を取り付けたときに、部品の凹凸形状やノイズなどにより、正常に作動できない場合があります。
- **フロントカメラは次のような障害物は検知しません。**
  - 子供などの背の低い人、動物、自転車
  - 対向車両
  - 道路構造物 (ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)

⚠警告

- **フロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。**
  - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
  - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
  - 前方を横切って通過する車両
  - 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- **フロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。**
  - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
  - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき

⚠警告

  - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - カーブを走行しているとき
  - 勾配の変化があるところを走行しているとき
  - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
  - 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
  - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合 (自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
  - 起動してから約 15 秒間
  - カメラの視界がさえぎられているとき (フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
  - カメラの向きがずれているとき
- **フロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
  - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
  - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合

⚠警告

  - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合 (周りの風景が水たまりに映りこむなど)
  - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
  - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- **以下の対象物にはフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
  - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
  - 車高の低い車両
  - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
  - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
  - 前方の至近距離に割り込んだ車両
  - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
  - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
  - 後端面積が小さい車両 (空荷のトラックなど)
  - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
  - 四輪車以外の車両（二輪車など）
  - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

⚠警告

- **フロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。**
  - 複数の対象物同士が近接している場合
  - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- **ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。**
- **車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。**
  低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。
- **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

⚠注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- **システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。**
  車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。

⚠注意

- **アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。**

⚠注意

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
  - 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
  - 勾配が急な坂道を走行しているとき
  - 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
  - 滑りやすい路面を走行しているとき
  - ハンドルを大きく切って旋回しているとき
  - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
  - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
  - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
  - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
  - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき

⚠注意

- 車両が傾いているとき (後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 動いている物体に対しては EAPM は作動しません。

アドバイス

低速加速抑制機能について

- センサーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しないことがあります。
- フロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約 6 秒後に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。

アドバイス

- 車速が約 15km/h 以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約 25km/h 以上）
- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- シフトポジションがⒹ（Ⓑ）、Ⓡ以外のとき
- トラクションコントロール機能（TCS）が作動しているとき
- タイヤが空転しているとき
- 勾配が急な坂道を走行しているとき

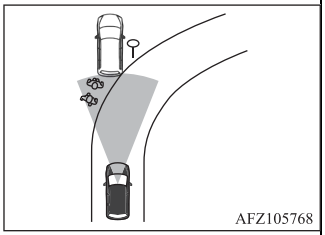
● 路面または壁面の模様･ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、電柱や電線、看板）、道路脇の木や建物、照明や影などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ･位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。

● 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。

● 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。

アドバイス

- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板、マンホール、鉄格子など）
- 駐車場内にある物（梁など）

低速衝突軽減ブレーキ機能について

● 次の場合は作動しません。
- 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
- シフトポジションがⒹ（Ⓑ）、Ⓡ以外のとき

● 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。

EAPM の作動が停止するとき

J17613700021

● 次の場合、メーター内の EAPM 警告灯 OFF が点灯し、作動が停止します。
- ASC を OFF にしたとき

● システムに異常があると、メーター内の EAPM 警告灯 OFF が点灯するとともに、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告メッセージ（→P.9-35）

⚠注意

● システムを正しく作動させるためにパーキングセンサーはいつもきれいにしておいてください。パーキングセンサーの取り扱いについては、（→P.10-20）をお読みください。

● EAPM 警告灯 OFF が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]

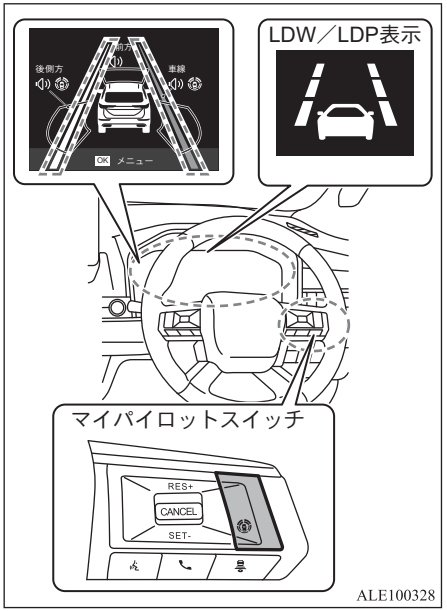
J17613800035

LDW：Lane Departure Warning、LDP：Lane Departure Prevention

LDW は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。
LDP は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ

J17613900036



⚠警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  LDW ／ LDP は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。
- **カメラには限界があるため、機能を過信しない。**
  道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

LDW について

J17614000034

- フロントガラス上部のフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- つぎの条件がすべて成立すると、システムが作動します。
  - 車速が約 60km/h 以上のとき
  - 方向指示レバーを操作していないとき
  - 非常点滅灯が作動していないとき
  - 自車の左右にあるレーンマーカーが認識できている環境のとき
  - システムが ON のとき
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ステアリングが振動するとともにヘッドアップディスプレイ（タイプ別装備）の LDW 表示とマルチインフォメーションディスプレイの LDW 表示がオレンジ色に点滅します。

  レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

アドバイス

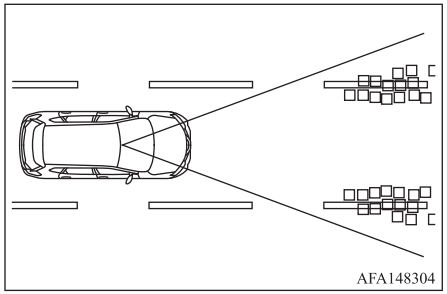
- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。
  （方向指示器を解除したあと、約 2 秒間は警報を行いません。）
- マルチインフォメーションディスプレイを「走行支援」に切り替えると、LDW の作動状態をマルチインフォメーションディスプレイ内で確認することができます。
  詳しくは、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 運転支援（P.5-28）

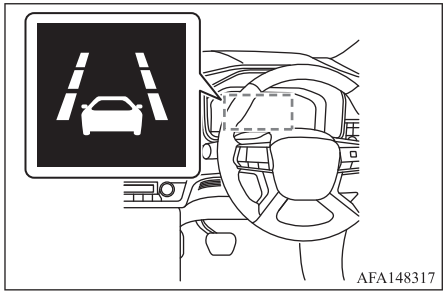
LDP について

J17614100035

- フロントガラス上部のフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- つぎの条件がすべて成立すると、システムが作動します。
  - 車速が約 60km/h 以上のとき
  - 方向指示レバーを操作していないとき
  - 非常点滅灯が作動していないとき
  - 自車の左右にあるレーンマーカーが認識できている環境のとき
  - システムが ON のとき
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ステアリングの振動、警報音とともにマルチインフォメーションディスプレイの LDP 表示がオレンジ色に点滅します。（警報音は、マイパイロット（ナビリンク機能付）の車線維持支援機能 [LKA] 作動時のみ鳴ります）
  同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。

  レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。





⚠警告

- **つぎのときはシステムが作動しません。**
  - 急ハンドル時
  - ブレーキペダルを踏んだとき
  - 車線を変えるために必要なだけハンドルを回転させたとき
  - LDP システム操作の間、車両を加速したとき

⚠警告

- ACC の接近警報が表示されたとき
- ハザードランプ作動してるとき
- 高速でカーブを曲がるとき
- **建築地帯等の交通整理で既にあるレーンマーカーを横断するときシステムが作動する場合があります。**

アドバイス

- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報もブレーキ制御も行いません。
  （方向指示器を解除したあと、約 2 秒間は作動しません。）
- マルチインフォメーションディスプレイを「走行支援」に切り替えると、LDP の作動状態をマルチインフォメーションディスプレイ内で確認することができます。
  詳しくは運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 運転支援（P.5-28）

ON・OFF のしかた

J17614200036

LDW

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「車線逸脱」⇒「車線逸脱警報」を選択すると、LDW 機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 運転支援（P.5-28）

アドバイス

- LDW の設定は、プラグインハイブリッド EV システムを再起動しても維持されます。

LDP

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「車線逸脱」⇒「車線逸脱防止支援」を ON にしているとき、マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを押すとシステムが ON になります。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 運転支援（P.5-28）

アドバイス

- プラグインハイブリッド EV システムを停止すると LDP は OFF になります。
- マイパイロット（ナビリンク機能付）の車線維持支援機能 [LKA] が ON になると、LDP も連動して ON になります。
- マルチインフォメーションディスプレイの ON・OFF 設定は、プラグインハイブリッド EV システムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

LDW／LDPに関する注意事項

J17614300024

⚠警告

- **次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、LDP を使用しないでください。**
  - 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
  - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
  - 急なカーブ、急な上り坂･下り坂が繰り返されるとき

⚠警告

- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- 車線の幅が狭い道路を走行するとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき

- **次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。**
  - 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
  - 急なカーブのある道路を走行するとき
  - 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
  - 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
  - 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
  - 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき

⚠警告

- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドライトの明るさが不十分なときやヘッドライトの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 連続していないレーンマーカーがある道路を走行したとき
- 複数の平行したレーンマーカーがある道路を走行したとき

作動が停止するとき

J17614400038

LDW

- 炎天下に駐車したときなど、車両が高温状況のときは、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されるとともに、LDW 表示が点滅または消灯し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、作動を復帰します。）
- システムに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
  警告メッセージ（→P.9-35）

LDP

- 次の場合は、ブザーが鳴るとともにマルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。
  警告メッセージ：「作動範囲外のため現在使用できません」
  - ASC を OFF にしたとき
  - ドライブモードを SNOW モード、GRAVEL モード、MUD モードにしたとき
    警告メッセージ：「滑りやすい路面のため現在使用できません」
  - ASC/TCS が作動したとき
  - タイヤの空転を検出したとき
    システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度マイパイロット（ナビリンク機能付）を OFF にし、再度 LDP を ON にしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、室内が高温状況のときは、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってから再びシステムを ON にしてください。
- システムに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されるとともに、LDP 表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。
  警告メッセージ（→P.9-35）

⚠注意

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。フロントカメラの取り扱いについては、（→P.10-18）をお読みください。
- マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。
  上記の操作をしても警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付)[BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]

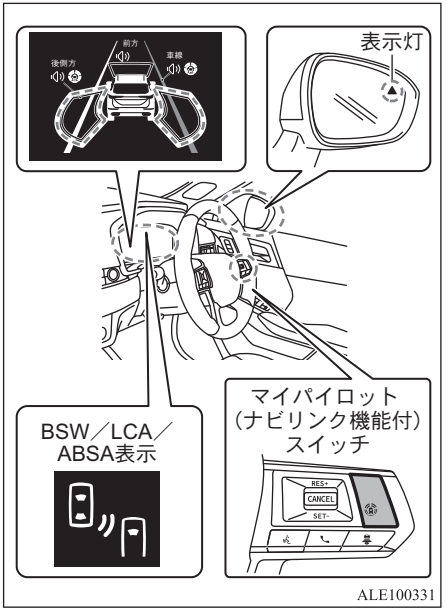
J17614500039

BSW；Blind Spot Warning、LCA：Lane Change Assist、ABSA：Active Blind Spot Assist

BSW/LCA は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。ABSA は、隣車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両をもとの車線内に戻す方向に力を発生させ、隣接車両との接触を回避するよう支援します。

システムに関連する表示

J17614600030



⚠警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] および後側方衝突防止支援システム [ABSA] は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。
- **レーダーセンサーおよびカメラには限界があるため、機能を過信しない。**
  道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] について

J17614700031

- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約 10km/h 以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。

- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音（ブザー）とともにマルチインフォメーションディスプレイの BSW/LCA 表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。
  また、隣接車線の後方から、自車に接近している車両をセンサーが検知したときにも、同様に運転者に危険を知らせます。（レーンチェンジアシスト機能）

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。

アドバイス

- ドアミラー鏡面の表示灯はパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。
- マルチインフォメーションディスプレイを「運転支援」に切り替えると、BSW/LCA) の作動状態をマルチインフォメーションディスプレイ内で確認することができます。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）

後側方衝突防止支援システム [ABSA] について

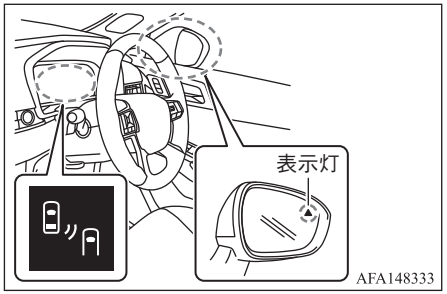
J17614800032

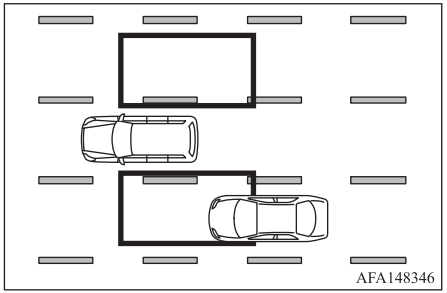
- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。また、ルームミラー上方に取り付けられたカメラを使用し、走行している車線のレーンマーカーを検知します。
- 約 60km/h 以上で走行中に隣車線の車両を検知しているとき、検知している側のレーンマーカーに自車両が接近すると、警報音（ブザー）とともにマルチインフォメーションディスプレイの ABSA 表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。同時にブレーキを制御し、車両をもとの車線に戻す方向に制御力を短時間発生させ、自車両をもとの車線に戻す操作を促します。

レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。





アドバイス

- あらかじめ表示灯が点灯した状態で自車両がレーンマーカーに接近すると、警報とブレーキ制御の両方が作動します。
  ただし、自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、ABSA は作動しません。
- ABSA は、車線逸脱防止支援機能 [LDP] よりも先に作動します。

アドバイス

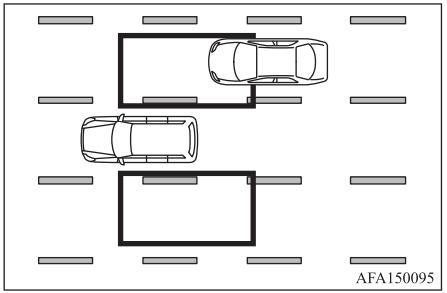
- マルチインフォメーションディスプレイを「運転支援」に切り替えると、ABSA の作動状態をマルチインフォメーションディスプレイ内で確認することができます。
  詳しくは、→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）をお読みください。

作動するとき･しないとき

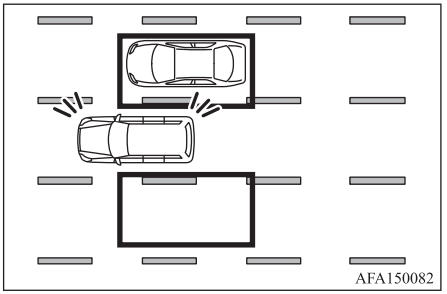
J17614900020

後方から車両が接近してくるとき

- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。



- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



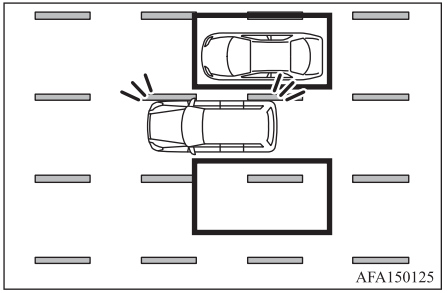
⚠注意

- **車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。**
  自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

アドバイス

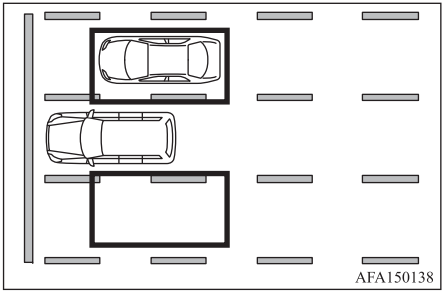
- 自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、ABSA は作動しません。

- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



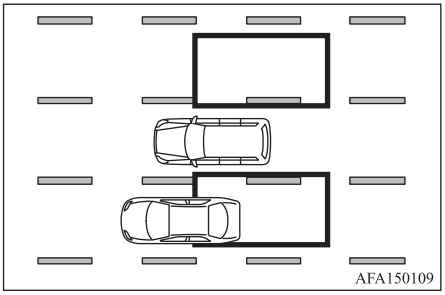
発進するとき

- 停車状態から検知範囲に居続ける車両は検知できないことがあります。

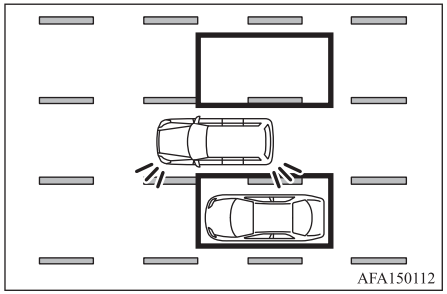


他の車両を追い越すとき

- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に2秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



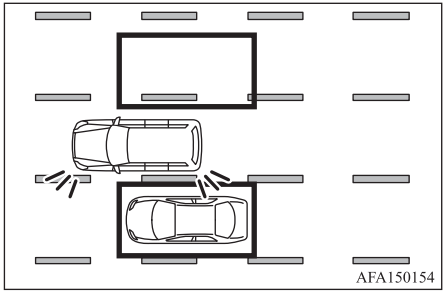
- 車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



アドバイス

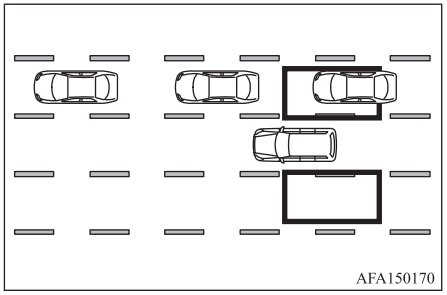
- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。

- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
  同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



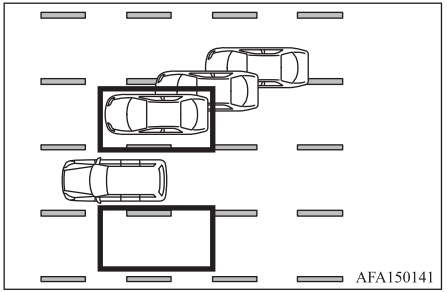
他の車両に追い越されるとき

- 複数の車両に連続して追い越されるとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、1 台目の車両以外が検出されないことがあります。

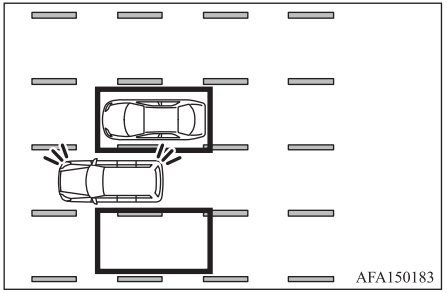


他の車線から車両が接近してきたとき

●車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



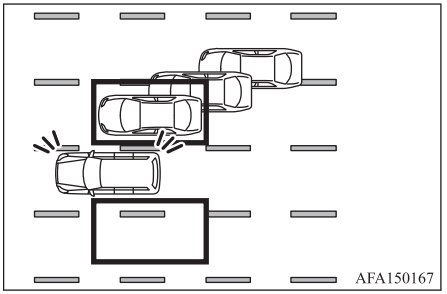
●車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



アドバイス

●自車両とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。

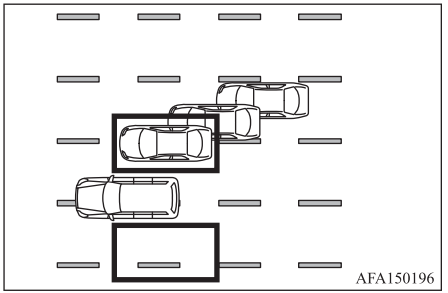
●車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



自車両がレーンマーカーの上を走行しているとき

●検知範囲に車両が入ってもABSAは作動しません。

この場合、BSW/LCA のみが作動します。



後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA] の使いかた

J17615000031

後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「後側方車両検知」⇒「後側方車両検知警報」を選択すると、BSW/LCA 機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 運転支援（P.5-28）

後側方衝突防止支援システム [ABSA]

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「後側方車両検知」⇒「後側方衝突防止支援」を ON にしているとき、マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを押すとシステムが ON になります。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 運転支援（P.5-28）

アドバイス

- マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを押すと、車線逸脱防止支援機能 [LDP] の ON・OFF を同時に切り替えることができます。
- ABSA がアクティブ状態の時、BSW/LCA は自動的に ON になります。
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「後側方車両検知」⇒「後側方衝突防止支援」で OFF にすると、ABSA だけを OFF にできます。

アドバイス

- 三菱自動車純正用品のトレーラーヒッチハーネスを装着してトレーラーをけん引時、BSW/LCA、ABSA は自動で OFF になります。
  * マルチインフォメーションディスプレイの機能 ON/OFF 設定は自動で切り替わりません。
- プラグインハイブリッド EV システムを停止すると ABSA は OFF になります。
- マルチインフォメーションディスプレイの ON・OFF 設定は、プラグインハイブリッド EV システムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]/ 後側方衝突防止支援システム [ABSA] に関する注意事項

J17615100045

⚠警告

- **次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので後側方衝突防止支援システム [ABSA] を使用しないでください。**
  • 悪天候（雨、雪、霧など）のとき

⚠警告

- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 急なカーブ、急な上り坂･下り坂が繰り返されるとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- 車線の幅が狭い道路を走行するとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
- 純正部品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき

● 他の車両をけん引するときは、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。

● 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。

- 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
- 停車状態から検知範囲に居続ける車両
- 後方から速い速度で接近してくる車両
- 自車両が速い速度で追い越した車両
- 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両

● 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。

- 強い光（太陽光など）を受けているとき

⚠警告

- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがセンサー周辺に付着しているとき
- レーダーセンサー周辺にステッカー (透明なステッカーを含む) を貼り付けたとき
- レーダーセンサー周辺に純正品以外のアクセサリーを取り付けたとき
- レーダーセンサー周辺を追加塗装したとき

● 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。

- 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり･汚れ･雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
- 急なカーブのある道路を走行するとき
- 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき

⚠警告

- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御したりする場合があります）
- 車線の分岐･合流のある道路を走行したとき
- 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、フロントカメラの検出範囲が遮られるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

⚠注意

● センサーは次のような障害物は検知しません。

- 歩行者、自転車、動物など
- 対向車

● 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

アドバイス

- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣の車線にいる車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2 つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- 次の場合はブレーキ制御を行いません。
  - ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - 素早いハンドル操作を行ったとき
  - マイパイロット（ナビリンク機能付）、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]、前方衝突予測警報[PFCW]の接近警報が鳴っているとき
  - 衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]が作動しているとき
  - 非常点滅表示灯を作動させているとき
  - カーブ路でスピードを出して走行しているとき
- ブレーキ制御しているとき、運転者がアクセルペダルを踏み増すとブレーキ制御を中止します。

後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] の作動が停止するとき

J17615200033

- 次の場合はマルチインフォメーションディスプレイに「サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
  - センサーが汚れているとき
  - センサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。警告メッセージ（→P.9-35）

後側方衝突防止支援システム [ABSA]の作動が停止するとき

J17615300034

- 次の場合はブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイに「作動範囲外のため 現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
  - ASC を OFF にしたとき
  - ドライブモードを SNOW モード、GRAVEL モード、MUD モードにしたとき
- 次の場合はブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイに「滑りやすい路面のため 現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
  - ABS または ASC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき

システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度マイパイロット（ナビリンク機能付）スイッチを OFF にし、再度 ABSA を ON にしてください。

- 炎天下に駐車したときなど、室内が高温状況のときは、ブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってから再びシステムを ON にしてください。
- 次の場合はブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイに「サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。

- レーダーセンサー周辺が汚れているとき
- レーダーセンサー周辺に雨、雪、氷などが付着しているとき

● システムに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイの ABSA 表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。

⚠注意

● センサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。

● センサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車しセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからプラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。センサーの取り扱いについては、(→P.10-17) をお読みください。

● マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。
プラグインハイブリッド EV システム再起動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

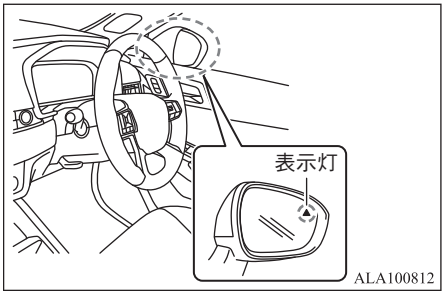
後退時車両検知警報システム [RCTA]

J17615400035

RCTA: Rear Cross Traffic Alert
RCTA は、後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報と表示によって注意を促します。

システムに関連する表示

J17615500036



⚠警告

● **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
RCTA は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

後退時車両検知警報システム [RCTA] について

J17615600037

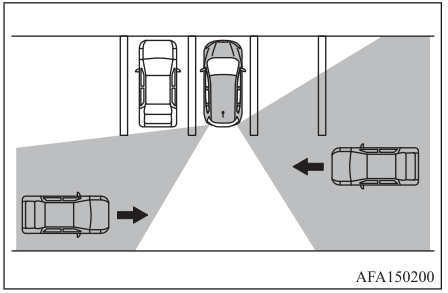
● 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。

● シフトポジションがⓇで、車速約 8km/h 以下のとき作動します。

● レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音（ブザー）とともに、検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点滅し、スマートフォン連携ナビゲーション画面に黄枠でお知らせします。

検知範囲について

● レーダーセンサーは、約 20m 先から近づいてくる車両を検知します。



アドバイス

- ドアミラー鏡面の表示灯はパワースイッチの電源モードをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。

後退時車両検知警報システム [RCTA] の使いかた

J17615700038

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「後退時車両検知警報システム」を選択すると、RCTA 機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → 運転支援（P.5-28）

アドバイス

- 設定は、プラグインハイブリッド EV システムを再起動しても維持されます。

アドバイス

- 三菱自動車純正用品のトレーラーヒッチハーネスを装着してトレーラーをけん引時、RCTA は自動で OFF になります。
  * マルチインフォメーションディスプレイの機能 ON/OFF 設定は自動で切り替わりません。

後退時車両検知警報システム [RCTA] に関する注意事項

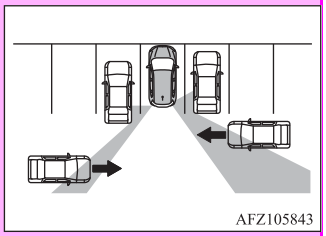
J17615800026

⚠警告

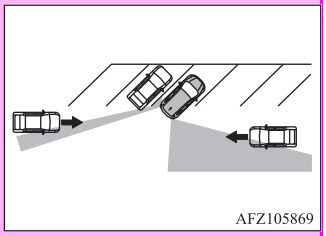
- **他の車両をけん引するときは、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。**
- **後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。**
  - 歩行者、自転車、動物など
  - 約 30km/h 以上の速度で通過する車両
  - 約 8km/h 以下の速度で通過する車両
- **次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。**

⚠警告

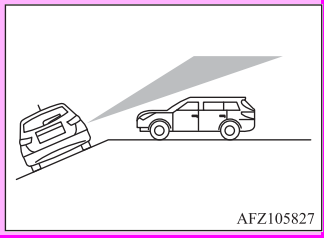
- 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき

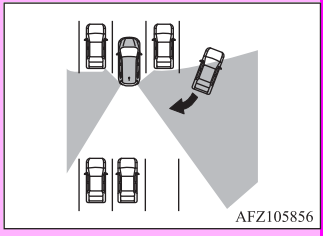


- 傾斜した地面に駐車しているとき

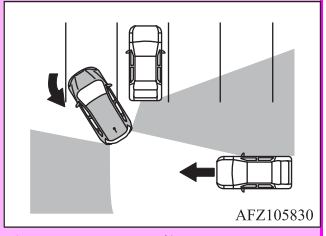


⚠警告

- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき



- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- レーダーセンサー周辺にステッカー (透明なステッカーを含む) を貼り付けたとき
- レーダーセンサー周辺に金属類を取り付けたとき
- レーダーセンサー周辺に純正品以外のアクセサリーを取り付けたとき

⚠警告

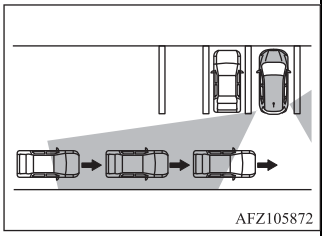
- レーダーセンサー周辺を追加塗装したとき
- 水しぶきがあがっているとき

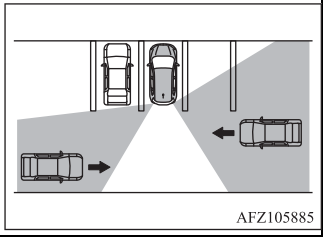
● レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。

● 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

アドバイス

● 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2 台目以降に対して警報が作動しない場合があります。





後退時車両検知警報システム [RCTA] の作動が停止するとき

J17615900027

- 次の場合はマルチインフォメーションディスプレイに「サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。（ブロッケージ状態）
  - レーダーセンサ周辺に雨、雪、氷、汚れが付着しているとき
  - レーダーセンサ周辺がステッカーや金属類などで覆われているとき
  - 強雨、霧、水しぶき、雪、跳ねた泥などがレーダーの照射を遮るとき
- システムに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。警告メッセージ（→P.9-35）

⚠注意

- レーダーセンサー周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからプラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（→P.10-17）をお読みください。

⚠注意

- マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。
  プラグインハイブリッド EV システム再起動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ふらつき警報 [DAA]

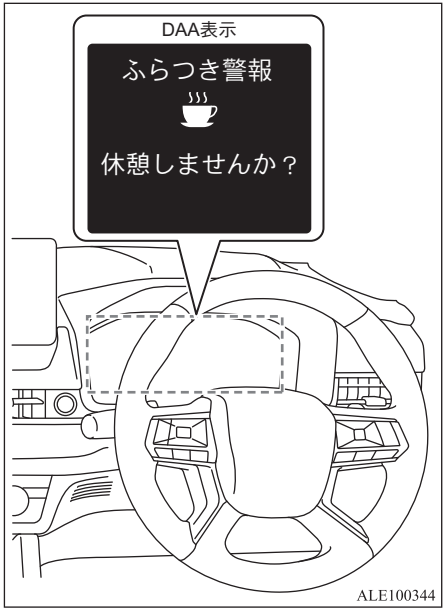
J17616000038

DAA : Driver Attention Alert

DAA は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、マルチインフォメーションディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

システムに関連する表示

J17616100039



⚠警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

DAA について

J17616200027

●車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音とともにマルチインフォメーションディスプレイに「休憩しませんか？」と警告メッセージを表示します。
警告メッセージ（→P.9-35）

DAA の停止のしかた

J17616300031

●マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「ドライバーモニター」⇒「ふらつき警報」を選択すると、DAA の ON・OFF を切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援をお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
→ 運転支援（P.5-28）

アドバイス

●マルチインフォメーションディスプレイの設定で機能を OFF にしても、プラグインハイブリッド EV システムを再起動すると ON に切り替わります。

アドバイス

●マイパイロット（ナビリンク機能付）作動中は、DAA のシステムは OFF になります。
→ マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46）

DAA の作動が停止するとき

J17616400029

●システムに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。
警告メッセージ（→P.9-35）

⚠注意

●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。
●再起動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

DAA に関する注意事項

J17616500020

⚠注意

●次のような場合は、DAA の検知が遅れたり、検知できないことがあります。

⚠注意

・ひどい道路状況（凹凸のある路面やポットホールなど）のとき
・強い横風のとき
・コーナリングスピードが高速　または急加速をするとき
・頻繁に車線変更や車速を変えるとき

●次のような場合は、DAA は検知できません。

・車速が約 60km/h 未満
・システムが検知できないほど軽微な不注意のとき
・物を落としたときなど、瞬間的なよそ見をしたとき
・車線維持支援機能 [LKA] が作動中のとき

7

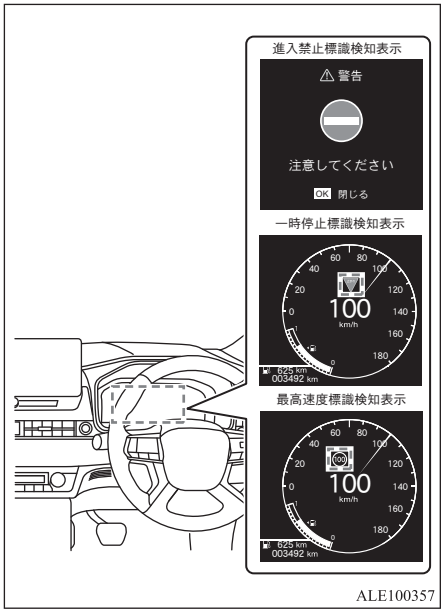
標識認識システム [TSR]

J17616600034

TSR : Traffic Sign Recognition
フロントガラス上部にあるフロントカメラにより標識を検知し、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

システムに関連する表示 (TSR)

J17616700035



ALE100357

⚠警告

- **走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。**
  TSR は、運転者の安全運転をサポートする機能です。
  TSR には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
  運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

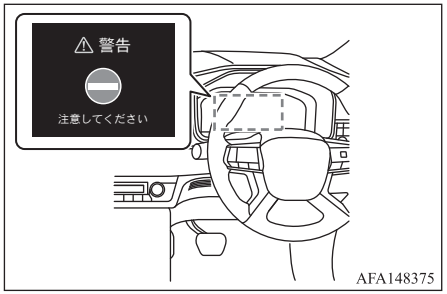
TSR について

J17616800036

- TSR には次の機能があります。

進入禁止標識検知

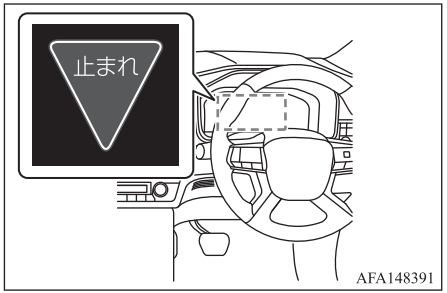
- 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイに警告表示します。
- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警告音が鳴ります。



AFA148375

一時停止標識検知

- 前方の一時停止標識を検知した場合には、ヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイに表示します。



AFA148391

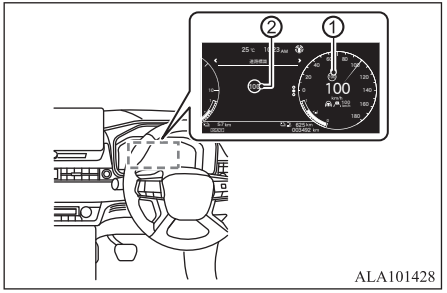
アドバイス

- 次のような道路標識は検知しません。

アドバイス

・補助標識（時間帯、区間の終わりなど）付きの標識

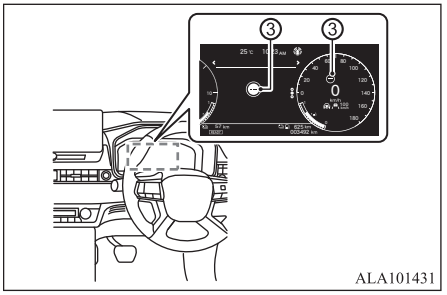
最高速度標識検知



●スマートフォン連携ナビゲーションに最高速度標識のデータがあり、最高速度標識を検知した場合には、マルチインフォメーションディスプレイ①、走行支援グループ② 、ヘッドアップディスプレイに表示されます。
→ 走行支援グループ（P.5-24）

●次の場合は、最高速度標識の表示が切り替わります。
・表示中の最高速度と異なる最高速度標識を検知したとき

●次の場合は、最高速度標識の表示を終了し③が表示されます。



・最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
・右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき

●最高速度標識を検知できない場合は③が表示されます。

進入禁止標識検知 / 一時停止標識検知の停止のしかた

J17616900037

マルチインフォメーションディスプレイ

●マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「進入禁止標識」を選択すると、進入禁止標識検知 / 一時停止標識検知の ON・OFF を切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援をお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
→ 運転支援（P.5-28）

アドバイス

●プラグインハイブリッド EV システムを再起動しても設定は維持されます。

ヘッドアップディスプレイ

●マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「ヘッドアップディスプレイ」⇒「表示項目選択」⇒「道路標識」を選択すると、TSR の ON・OFF を切り替えることができます。
設定の詳細については、ヘッドアップディスプレイをお読みください。
→ マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
→ヘッドアップディスプレイ (P.5-35)

アドバイス

- ヘッドアップディスプレイの進入禁止標識検知 / 一時停止標識検知の設定は、ヘッドアップディスプレイの最高速度標識検知の設定と連動しています。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）(P.5-14)
  → ヘッドアップディスプレイ (P.5-35)

最高速度標識検知の停止のしかた

J17617000035

マルチインフォメーションディスプレイ

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「道路標識」を選択すると、最高速度標識検知機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー) (P.5-14)
  → 運転支援 (P.5-28)

アドバイス

- 最高速度標識検知の設定は、プラグインハイブリッド EV システムを再起動しても維持されます。

ヘッドアップディスプレイ

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「ヘッドアップディスプレイ」⇒「表示項目選択」⇒「道路標識」を選択すると、TSR の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、ヘッドアップディスプレイをお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは(メインメニュー) (P.5-14)
  →ヘッドアップディスプレイ (P.5-35)

アドバイス

- ヘッドアップディスプレイの最高速度標識検知の設定は、ヘッドアップディスプレイの進入禁止標識検知 / 一時停止標識検知の設定と連動しています。

最高速度標識検知が停止するとき

J17617100023

- 強い直射日光 (40 ℃以上) があたるところに駐車して車内が高温のときに、プラグインハイブリッド EV システムを起動したとき、マルチインフォメーションディスプレイに警告 (→P.9-35) が表示されます。
- TSR が故障したとき、マルチインフォメーションディスプレイにシステム故障警告 (→P.9-35) が表示されたとき

TSR に関する注意事項

J17617200037

⚠警告

- **次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できないことがあります。**
  - 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
  - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界がさえぎられているとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき

⚠警告

- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 隣を走る車で視界がさえぎられているとき
- 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
- 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
- 標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
- 夜間で標識に自車のヘッドライトの光が届きにくい位置にあるとき
- 標識が色あせたり、折れ曲がっているとき
- 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
- 標識が泥、雪、または霜などで覆われたとき
- 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
- 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき

⚠警告

- 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
- 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
- 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
- カメラの向きがずれているとき
- 起動してから約 15 秒間は標識を検知しません

● **次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）**

- 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
- 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など）

⚠警告

- 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）

- コントラストが低い電光標識
- 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3 桁の標識など）
- 標識の近傍に補助標識（区間の始まり、終わり、曜日、時間など）があるとき
- 工事などの通行規制区間に標識があるとき
- ナビゲーションシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
- ナビゲーションシステムが推奨するルートを走行していないとき
- ナビゲーションシステムが新しいルートを検索しているとき
- ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えないとき
- ナビゲーションシステムの地図に無い道路を走行しているとき

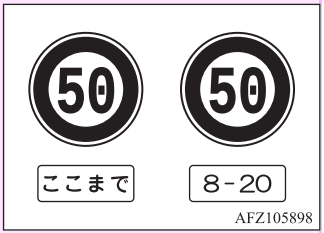
7

⚠警告

- **車両前方に交通標識がない場合でも、TSR システムに交通標識が表示される場合があります。**
- **状況によっては、TSR がスマートフォン連携ナビゲーションとは異なる交通標識を表示する場合があります。**

⚠注意

- **TSR は、運転者の安全運転をサポートする機能です。**
  TSR には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる表示をしたりする場合があります。
  運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。
- **標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。**



AFZ105898

⚠注意

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。フロントカメラの取り扱いについては、（→P.10-18）をお読みください。

アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付）

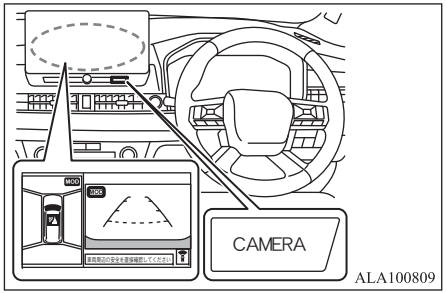
J17617300025

マルチアラウンドモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

マルチアラウンドモニターについて

J17617400039

- マルチアラウンドモニターは、スマートフォン連携ナビゲーション画面に表示されます。
- パワースイッチの電源モードがONのときに、スマートフォン連携ナビゲーションのCAMERAスイッチを押すか、シフトポジションをⓇにするとスマートフォン連携ナビゲーション画面に表示します。



ALA100809

⚠警告

- **マルチアラウンドモニターの機能を過信しない。**
  マルチアラウンドモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、バードアイビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。

⚠警告

- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
  マルチアラウンドモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

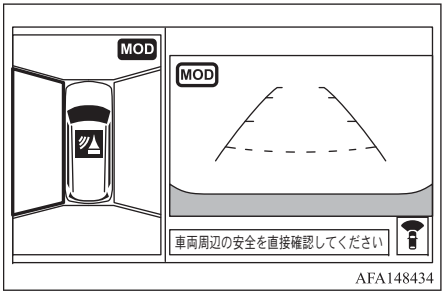
アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定⚙」⇒「運転支援」⇒「パーキングセンサー」⇒「移動物検知」を選択すると移動物検知機能の ON・OFF を切り替えることができます。
  設定の詳細については、運転支援をお読みください。
  → 運転支援（P.5-28）

マルチアラウンドモニターの使いかた

J17617500030

- シフトポジションをⓇにするとマルチアラウンドモニターが ON になり、バードアイビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。シフトポジションをⓇから他の位置にすると、マルチアラウンドモニターが OFF になります。
- シフトポジションがⒹまたはⒷのときに、センサーが障害物を検知したときはマルチアラウンドモニターが ON になり、バードアイビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。障害物の検知がなくなると、マルチアラウンドモニターは OFF になります。
- カメラスイッチを押すとマルチアラウンドモニターが ON になり、バードアイビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。



AFA148434

⚠警告

- **ドアミラーを格納した状態で使用しない。**
  適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、テールゲートが確実に閉まっているか確認してください。

アドバイス

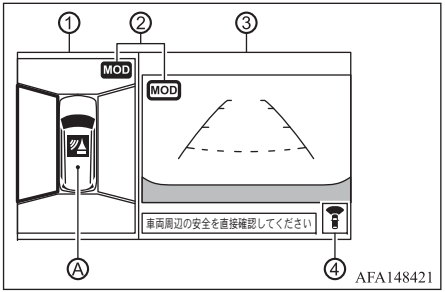
- マルチアラウンドモニターは画面を切り替えることができます。
  画面の切り替えについては次の項をお読みください。
  → 画面の切り替えかた（P.7-117）
- 右側画面にフロントビューが表示されているときにシフトポジションをⓇにすると、リヤビューに切り替わります。シフトポジションをⓇから他の位置にすると、再度、フロントビューに切り替わります。
- 取り扱いについては、スマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。

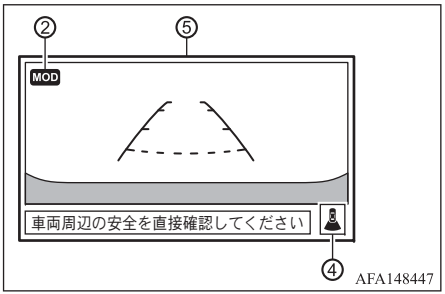
3 分タイマー機能

- カメラスイッチを押してマルチアラウンドモニターを表示させてから、約 3 分後にマルチアラウンドモニターの表示が消える機能です。シフトポジションがⓇ以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中にカメラスイッチを押したり、パーキングセンサーまたは移動物検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。）

画面の見かた

J17617600031





①左側画面

●バードアイビューまたはサイドビューを表示します。

②移動物検知機能作動状態アイコン

●どちらのビューで移動物検知機能が作動するかを表します。
- MOD：移動物検知機能が作動します
- MOD：移動物検知機能が作動しません

③右側画面

●シフトポジションがⓇのときはリヤビューを、Ⓡ以外のときはフロントビューを表示します。

④方向指示アイコン

●画面の映している方向を表します。
- 🚗：リヤビュー表示
- 🚙：フロントビュー表示

⑤全画面表示リヤビュー画面

●車両の後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。

アドバイス

●パワースイッチの電源モードを ON にしてから初めてマルチアラウンドモニターを表示したときに、アイコンⒶの色と点滅（約 3 秒間）で、パーキングセンサーの作動状況を表します。
- 緑色に点滅：パーキングセンサー ON
- 灰色に点滅：パーキングセンサー OFF（パーキングセンサーを OFF にした直後も点滅します。）

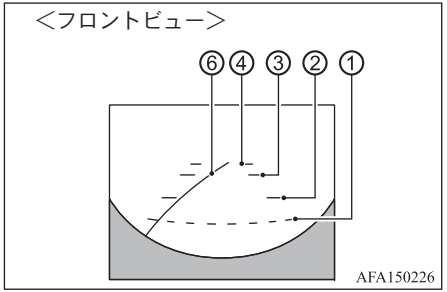
●表示しているビューで映している範囲でのみ移動物検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

画面表示の種類について

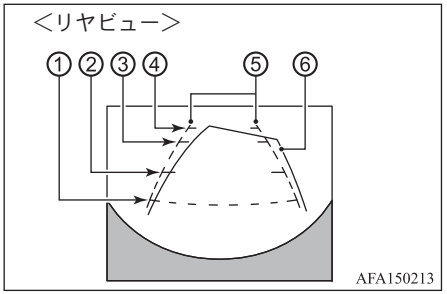
J17617700032

フロントビュー／リヤビュー

●車両の前方／後方の映像をマルチアラウンドモニター右側画面に表示します。



7



距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。
  - ①赤色：約 0.5m
  - ②黄色：約 1m
  - ③緑色：約 2m
  - ④緑色：約 3m

⑤車幅目安ライン

- 車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動します。リヤビューの予想進路線は、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。
- フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

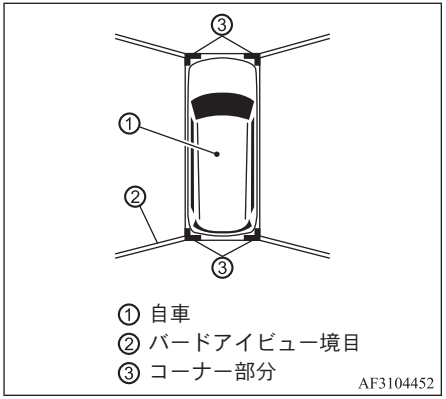
⚠警告

- **リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。**

⚠注意

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約 90 度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約 90 度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

バードアイビュー



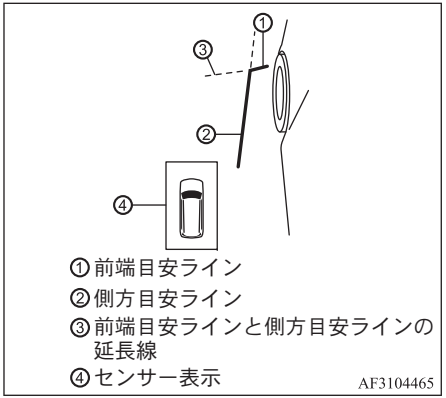
- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をマルチアラウンドモニター左側画面に表示します。
- 自車①は、自車位置を示しています。バードアイビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。カメラでは撮影できない領域バードアイビュー境目②は、黒色で表示されます。
- パワースイッチの電源モードをONにし、バードアイビューを表示すると、バードアイビュー境目②は、約 3 秒間黄色で強調表示されます。

●パーキングセンサー（フロント / リヤ）が OFF のとき、検知しないコーナー部分③は赤色で表示されます。

⚠警告

- **ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、バードアイビューは障害物を実際より遠く映します。**
- **囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。**
- **カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。**
- **バードアイビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。**
- **路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。**

サイドビュー



●車両の左側前輪付近から前方を、マルチアラウンドモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

●モニターには車幅と車両の前輪を示す目安ラインが表示されます。
—①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。
—②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
—③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、緑色の破線で表示します。

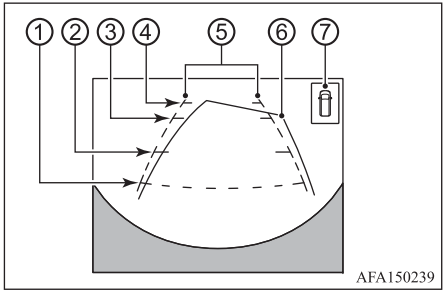
センサー表示

●④センサー表示はセンサーが障害物を検知すると、表示されます。

⚠注意

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

リヤビュー（全画面表示）



●車両の後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。

距離目安ライン

●車体からの距離の目安を表示します。
- ①赤色：約 0.5m
- ②黄色：約 1m
- ③緑色：約 2m
- ④緑色：約 3m

⑤車幅目安ライン

●車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

●運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。

⑦センサー表示

●センサーが障害物を検知すると表示します。

⚠警告

●リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

⚠注意

●リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた映像です。
●雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
●リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

画質調整のしかた

J17617800033

スマートフォン連携ナビゲーションで次の操作をすると、マルチアラウンドモニター画面の画質を調整することができます。
「メニュー」⇒「設定」⇒「カメラ」

アドバイス

●スマートフォン連携ナビゲーションの操作方法は、別冊のスマートフォン連携ナビゲーション取扱説明書の「ご使用前の確認と設定」の章をお読みください。

項目 1	項目 2	機能
画質調整	明るさ	●「+」、「−」をタッチして明るさを調整します。
	コントラスト	●「+」、「−」をタッチしてコントラストを調整します。
	色合い	●「+」、「−」をタッチして色合いを調整します。
	色の濃さ	●「+」、「−」をタッチして色の濃さを調整します。
	黒レベル	●「+」、「−」をタッチして黒レベルを調整します。

移動物検知機能 [MOD] について

J17617900021

●車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。
●車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。

●バードアイビューにMOD表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。
●移動物検知機能は以下の条件のとき、MODが表示されている画面で作動します。
・シフトポジションがⓅまたはⓃで停車しているときに、バードアイビュー側で作動します。
・シフトポジションがⒹで車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
・シフトポジションがⓇで車速約8km/h 以下のときに、リヤビューで表示します。

⚠注意

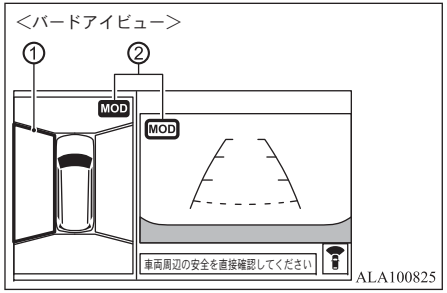
●車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

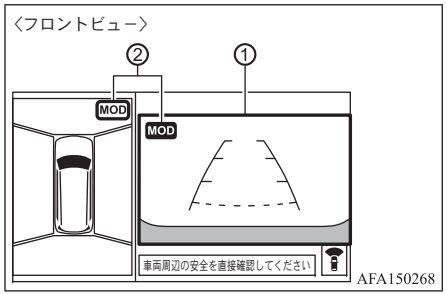
アドバイス

●サイドビューには移動物検知機能がないため、MODアイコンを表示しません。

画面の見かた

J17618000032





①移動物検知表示

●移動物検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②移動物検知機能作動状態アイコン

●移動物検知機能を作動させる側の画面のアイコンを緑色で表示します。
・MOD：移動物検知機能が作動します
・MOD：移動物検知機能が作動しません

アドバイス

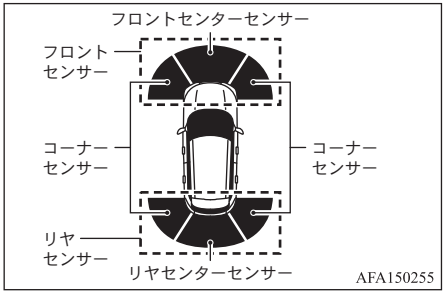
●以下の場合には移動物検知機能は作動しません。
・車速やシフトポジションの位置が移動物検知機能の作動条件から外れている場合
・バードアイビューによる移動物検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
・リヤビューによる移動物検知機能作動中でテールゲートが開いている場合
●バードアイビューによる移動物検知機能作動中で電動格納ミラーが作動していると、誤検知する場合があります。
●移動物検知機能は、夜間、正しく認識できない場合があります。

7

パーキングセンサー（フロント / リヤ）について

J17618100033

- シフトポジションがⒹまたはⒷで車速約 10km/h 以下のときに、パーキングセンサーが障害物を検知した場合は、センサー表示とブザーでお知らせします。
- シフトポジションがⓇで車速約 10km/h 以下のときに、パーキングセンサーが障害物を検知した場合は、センサー表示とブザーでお知らせします。
- センサー表示はバードアイビュー、サイドビュー、リヤビュー (全画面表示) またはフロントビュー (全画面表示) 画面に表示されます。



⚠警告

- **バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、誤検知する場合があります。**
- **適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。また、タイヤサイズの違いにより正常に作動できない場合があります。**
- **純正以外の部品 (字光式ナンバープレートやナンバープレートリムなど) を取り付けたときに、部品の凹凸形状やノイズなどにより、正常に作動できない場合があります。**
- **気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはパーキングセンサーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、パーキングセンサーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。**
- **他の車両をけん引するときは、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。**
- **次のような障害物には作動しません。**
  - 背の低い障害物
  - 幅の狭い障害物
  - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - センサーに非常に近い障害物
  - 急に進行方向に現れた障害物
- **次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。**
  - 地面から高い位置に存在する障害物

⚠警告

  - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- **パーキングセンサーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。また、異常を検出した場合は、マルチインフォメーションディスプレイに「現在ソナーが使用できません」と警告が表示されることがあります。**
  → **警告メッセージ（P.9-35）**
  - 雨、雪、氷、汚れなどがセンサーに付着しているとき
  - 周囲で大きな音が鳴っているとき
  - 周囲に超音波を発するものがあるとき
  - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
  - くさび形の障害物
  - 地面から高い位置に存在する障害物
  - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
  - センサーまたはその周辺の温度が極端に高い、または低いとき
  - 進行方向側のセンサーが初めて物体を検出した場合（シフト操作により進行方向を切り替えた、物体が車両側面から入り込んだ等）で、その物体が車両に近傍にある場合は、ブレーキ作動開始が遅くなるまたは、作動しない場合があります。
  - 背の低い障害物
  - 車両の幅以下の障害物

⚠警告

- 針金、金網、ロープなどの細い障害物
- バンパーに非常に近い障害物（後部は 30cm 未満）
- 急に進行方向に現れた障害物
- 周囲に草が生い茂っているとき
- 車両側面の近くに壁があるとき
- 路面上に段差や突起物、マンホール、鉄格子などがあるとき
- 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- 車両感応センサーや他車のセンサーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 炎天下や寒冷時
- 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- 急な坂道があるとき
- 縁石などがあるとき
- タイヤ止めブロックがあるとき
- 他の車両やトレーラーをけん引しているとき
- 障害物の周辺が雪、泥、草などでおおわれているとき
- 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- 壁、料金所の設備、幅が狭いトンネル、駐車場のゲートなどの構造物
- けん引するとき

⚠警告

- ヒッチメンバーを装着して他の車両をけん引するとき
- 純正以外の部品 (字光式ナンバープレートやナンバープレートリムなど) を取り付けたときに、部品の凹凸形状やノイズなどにより、正常に作動できない場合があります。

● 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

● センサー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもパーキングセンサーが検知しないことがあります。(氷が解ければ、正常に復帰します)

● センサーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、純正品以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。

アドバイス

● システムを正しく作動させるためにセンサーはいつもきれいにしておいてください。センサーの取り扱いについては、(→P.10-20) をお読みください。

コーナーセンサー

障害物までの距離（目安）	60 ～ 50cm	50 ～ 30cm	30cm 以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ …	ピピピピピ …	ピー

フロントセンターセンサー

障害物までの距離（目安）	100 ～ 50cm	50 ～ 30cm	30cm 以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ …	ピピピピピ …	ピー

リヤセンターセンサー

障害物までの距離（目安）	150 ～ 50cm	50 ～ 30cm	30cm 以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ …	ピピピピピ …	ピー

センサー表示色

- センサー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。センサーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

センサーの音量

- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「パーキングセンサー」⇒「センサー音量」を選択すると、センサー（ブザー）の音量を設定できます。

ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が遠ざかった場合は断続音が消え、センサー表示のみとなります。
- 障害物を検知しているときは、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチでセンサーの音が OFF になります。

パーキングセンサー（フロント / リヤ）OFF

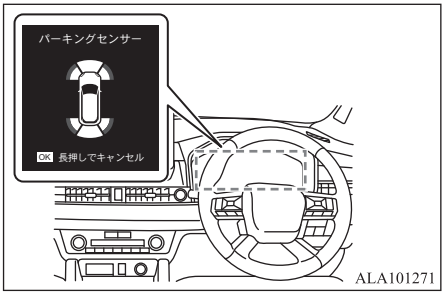
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「パーキングセンサー」⇒「前方センサー」を選択すると、フロントセンサーの ON・OFF を設定できます。
- マルチインフォメーションディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「パーキングセンサー」⇒「後方センサー」を選択すると、リヤセンサーの ON・OFF を設定できます。

アドバイス

- 三菱自動車純正用品のトレーラーヒッチハーネスを装着してトレーラーをけん引時、パーキングセンサー（リヤセンサーによる警告）は自動で OFF になります。
  * マルチインフォメーションディスプレイの機能 ON/OFF 設定は自動で OFF に切り替わります。

パーキングセンサーを一時停止する

- シフトポジションがⓇかつパーキングセンサー表示中にステアリングスイッチのダイヤルスイッチや↩スイッチを押すと、パーキングセンサーを一時停止する事ができます。
  * 以下の状態のときシステムは自動的に作動を再開します。
  - シフトポジションをⓅまたはⓃにしたとき
  - 約 12km/h 以上で走行したとき
  - プラグインハイブリッドEVシステムを再起動したとき



パーキングセンサー（フロント）によるカメラ画面の自動表示機能

- シフトポジションがⒹかつ車速約 10km/h 以下でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はマルチアラウンドモニター画面を自動で表示します。
- 障害物がなくなると、マルチアラウンドモニターは OFF になります。
- カメラスイッチを操作して画面を表示させた場合には、障害物がなくなっても自動で OFF になりません。

パーキングセンサーの作動が停止するとき

- システムが異常があるとき、もしくはソナーセンサーが一時的に異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
  → 警告メッセージ（P.9-35）

画面の切り替えかた

J17618200034

スイッチを押すたびに、次の通り表示が切り替わります。

シフトポジションがⓇのとき

バードアイビュー／リヤビュー表示→サイドビュー／リヤビュー表示

シフトポジションがⓇ以外のとき

バードアイビュー／フロントビュー表示→サイドビュー／フロントビュー表示→フロントビュー表示→ OFF

アドバイス

- 右側画面がフロントビュー表示のときにシフトポジションをⓇにすると、右側画面はリヤビュー表示に切り替わります。
  シフトポジションをⓇ以外にすると、右側画面はフロントビュー表示に切り替わります。
- 車速が約 10km/h 以上のときにスイッチを押すと左側画面にサイドビューのみ表示させることができます。
- フロントビュー表示は車速が約 10km/h 以上になると表示されなくなります。
- 表示の切り替わり時は、映像の表示が遅れることがあります。

マルチアラウンドモニターに関する注意事項

J17618300022

⚠警告

- **カメラはフロントグリル下部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けないでください。字光式ナンバープレートやナンバープレートリムを装着すると、フロントビューおよびリヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。**

⚠警告

- **距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。**
- **目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。**
- **サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とバードアイビューが不適切に表示されることがあります。**
- **上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。**
- **フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。**

⚠注意

- カメラに雨、雪、氷、汚れなどが付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
  → フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い（P.10-18）
  → リアビューカメラの取り扱い（P.10-19）
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取ったあと、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

アドバイス

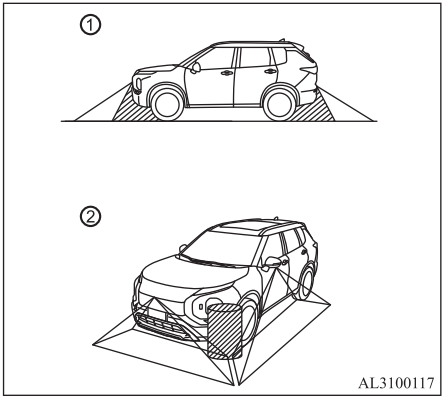
- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広くなっています。
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。マルチアラウンドモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。

アドバイス

- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出ることがありますが、異常ではありません。
- マルチアラウンドモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがありますが、異常ではありません。
- バードアイビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- バードアイビューの画像は、4 つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
  - 立体物が倒れこんで見える
  - 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
  - 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
  - 各カメラ画像の明るさが違う

映し出す範囲

J17618400036



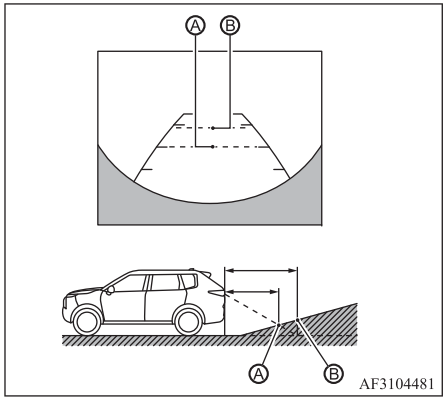
●特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。バードアイビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

映像と実際の路面との誤差

J17618500037

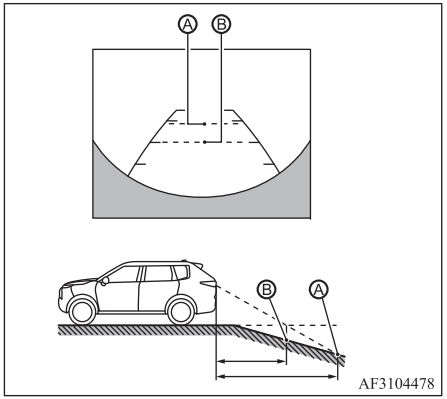
●フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき



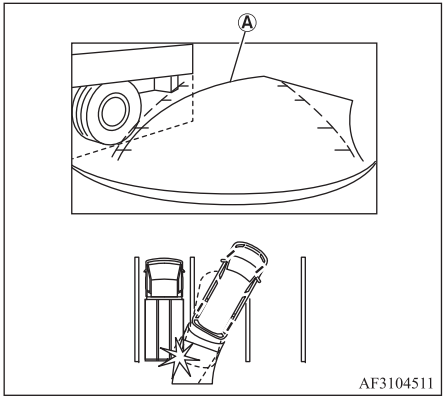
●距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が 1m と表示されていても、実際に 1m の距離にあるのは、位置Ⓑです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき

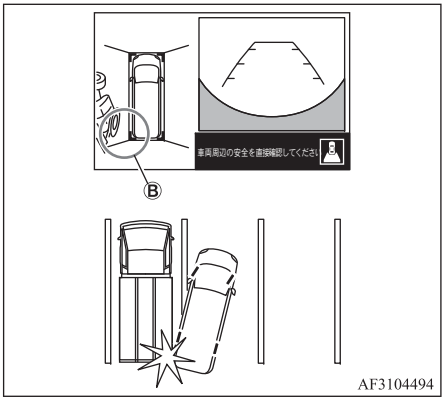


●距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が 1m と表示されていても、実際に 1m の距離にあるのは、位置Ⓑです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

立体物が近くにあるとき

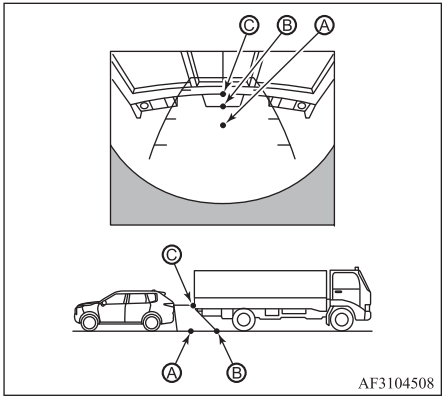


- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例 1: 予想進路線Ⓐは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



- 例2:表示されているバードアイビュー
  Ⓑでは、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。

立体物に接近するとき



- Ⓒの位置はⒷの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はⒶの位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出し ている場合は、Ⓐの位置まで下がるとぶつかることがあります。

7

室内装備

室内灯

室内灯 8-2
マップ&ルームランプ（フロント）／パーソナルランプ 8-2
ルームランプ 8-3
ラゲッジルームランプ / テールゲートランプ 8-3
フットランプ 8-4

収納装備

グローブボックス 8-4
車検証入れ 8-5
フロアコンソールボックス 8-5
ラゲッジアンダーボックス（5 人乗り車）..... 8-5
ラゲッジアンダーボックス（7 人乗り車）..... 8-6
サングラスホルダー 8-6
ドリンクホルダー / ボトルホルダー 8-7

その他の室内装備

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）..... 8-8
ステアリングヒーター 8-18
シートヒーター 8-19
シートベンチレーション 8-20
アクセサリーソケット（DC12V）..... 8-20
充電用 USB ポート 8-21
ワイヤレス充電器 8-22
アクセサリーコンセント 8-23
フロアマット 8-26
サンバイザー／バニティミラー（照明付き）..... 8-27
カードホルダー 8-27
ロールサンシェード 8-28
アシストグリップ／コートハンガー 8-28
ラゲッジフック 8-29

室内灯

J17705900038

⚠注意

- プラグインハイブリッド EV システムが停止しているときは、室内灯を長時間点灯させないでください。補機用バッテリーがあがるおそれがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイで室内灯（フロント、リヤ、ラゲッジのルームランプおよびテールゲートランプ）の自動点灯機能の ON・OFF を設定することができます。「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト / 照明」⇒「自動室内灯」を OFF にすると、下記の自動点灯機能が OFF になります。
  - ドアを開けると点灯する機能（フロント・リヤ）
  - テールゲートを開けると点灯する機能（ラゲッジ・テールゲート）
  - パワースイッチの電源モードを OFF にすると点灯する機能
  - キーレスオペレーション機能を使って解錠すると点灯する機能

  設定の詳細については、車両設定をお読みください。
  → マルチインフォメーションディスプレイとは（メインメニュー）（P.5-14）
  → 車両設定（P.5-37）

アドバイス

バッテリーセーバー

- 補機用バッテリーあがりを防止するため、フロント、リヤのルームランプ、マップランプおよびテールゲートランプは 10 分以上点灯し続けると消灯します。
- 自動的に消灯した後、パワースイッチを操作したり、ドア、テールゲートの開閉やキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

マップ＆ルームランプ（フロント）／パーソナルランプ

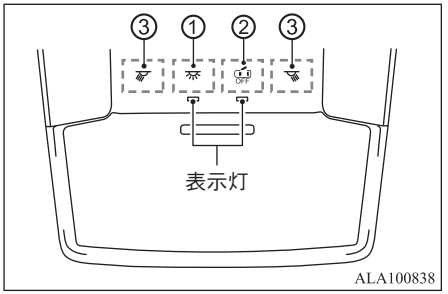
タイプ別装備

J17700100022

マップランプ / ルームランプ（フロント）の使いかた

J17714100023

- 次のように点灯・消灯します。



スイッチ	点灯・消灯のしかた
①	スイッチをタッチすると、スイッチの表示灯が点灯し、ルームランプが常時点灯します。もう一度タッチすると、スイッチの表示灯とルームランプが消灯します。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
②	ドア連動の ON/OFF を切り替えます。 ●ドア連動が ON の場合（スイッチの表示灯が消灯している状態） いずれかのドアを開けるとルームランプが点灯し、閉じると約 20 秒後に消灯します。ただし、次のようなときはすぐに消灯します。 •パワースイッチの電源モードを ON にしたとき •キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき •キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき ●ドア連動が OFF の場合 （スイッチの表示灯が点灯している状態） ドアを開けてもルームランプは点灯しません。
③	スイッチをタッチするごとに点灯･消灯します。

アドバイス

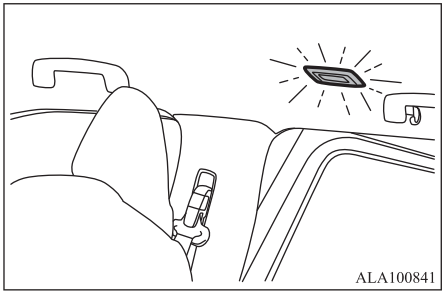
●ドアが閉まっているときにパワースイッチの電源モードを OFF にすると点灯し、約 20 秒後に消灯します。

パーソナルランプの使いかた

タイプ別装備

J17700400038

●レンズをタッチするごとに点灯・消灯します。



ルームランプ

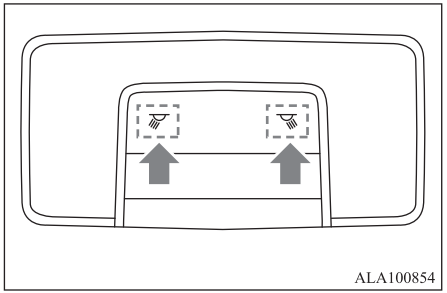
J17700500026

ルームランプ（リヤ）の使いかた

タイプ別装備

J17700600030

●スイッチをタッチするごとに点灯・消灯します。



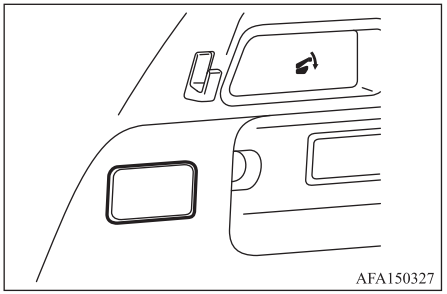
アドバイス

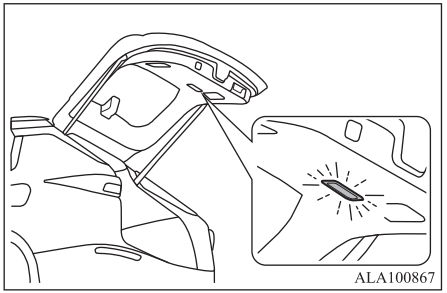
●ドアが閉まっているときにパワースイッチの電源モードを OFF にすると点灯し、約 20 秒後に消灯します。

ラゲッジルームランプ / テールゲートランプ

J17713700022

●テールゲートを開くと点灯し、閉じると消灯します。





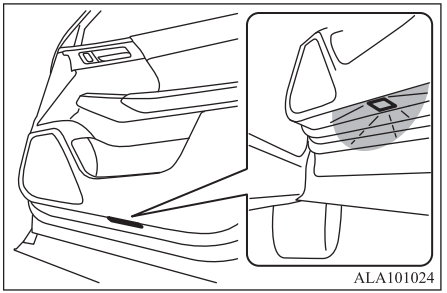
⚠注意

- マルチインフォメーションディスプレイで室内灯の自動点灯機能をOFFにしていると、テールゲートを開けた状態でも点灯しません。
  → 車両設定（P.5-37）

フットランプ

J17713800023

- ドアを開けると点灯し、閉じると消灯します。



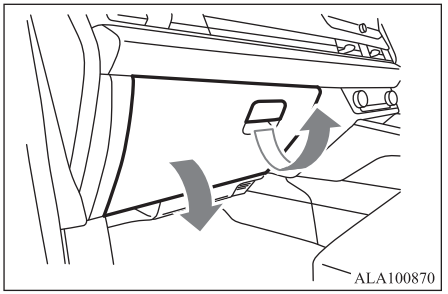
グローブボックス

J17701100032

グローブボックスの使いかた

J17701200046

- レバーを引くと開きます。



⚠注意

- **グローブボックスを開けたまま走行しない。**
  走行中に収納したものが飛び出したり、開いたふたが身体に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。**
  ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

アドバイス

- ライトスイッチが⇄D位置のとき、またはライトスイッチがAUTO位置でランプ類が点灯しているときにグローブボックス内のランプが点灯します。

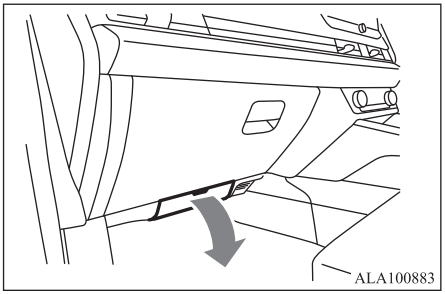
車検証入れ

J17714600028

車検証入れの使いかた

J17714700029

- フタを手前に引いて開けます。



⚠注意

- **車検証入れを開けたまま走行しない。**
  走行中に収納したものが飛び出したり、開いたふたが身体に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。

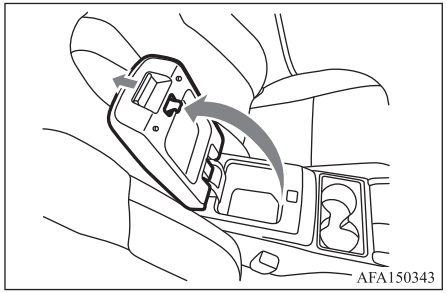
フロアコンソールボックス

J17701300021

フロアコンソールボックスの使いかた

J17701400022

- レバーを引きながらフタを開けます。
- フタはアームレストとしても使用できます。



⚠注意

- **フロアコンソールボックスを開けたままにしない。**
  開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

ラゲッジアンダーボックス(5人乗り車)

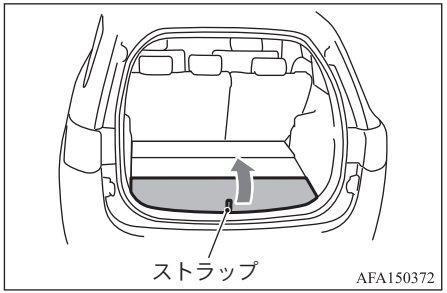
J17701500023

ラゲッジフロアボードの下にラゲッジアンダーボックスがあります。

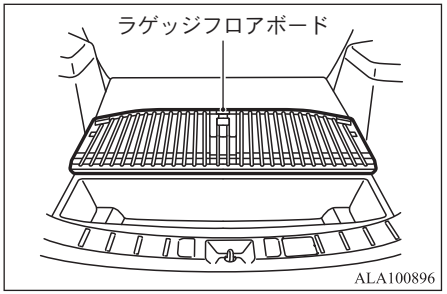
ラゲッジアンダーボックスについて

J17701600037

- 手前側のラゲッジアンダーボックスを使用するときは、ストラップを引き上げます。
- 奥側のボックスを使用するときは、ラゲッジフロアボードをシート側に倒します。



8



ラゲッジアンダーボックス（7 人乗り車）

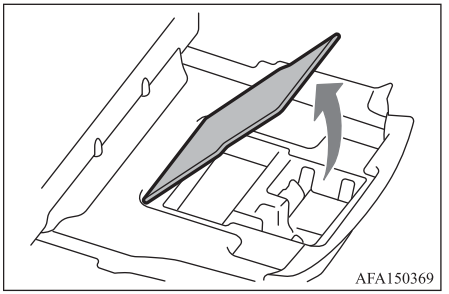
J17701700025

ラゲッジフロアボードの下にラゲッジアンダーボックスがあります。

ラゲッジアンダーボックスについて

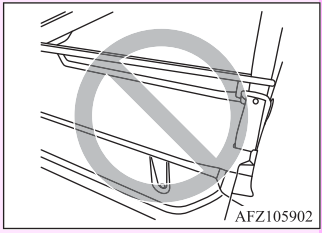
J17701800026

- ラゲッジアンダーボックスを使用するときは、ラゲッジフロアボードを引き上げます。



⚠注意

- サードシート格納時、空いたスペースに荷物を収納しないでください。サードシート使用時に荷物が破損するおそれがあります。



サングラスホルダー

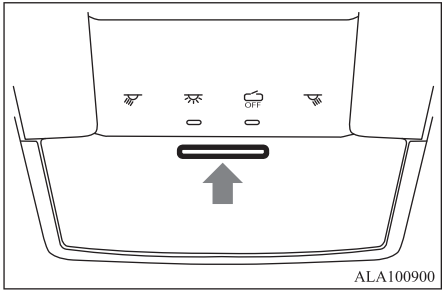
J17701900027

サングラスなどを収納できます。

サングラスホルダーの使いかた

J17702000038

- リッドを押すと開きます。
- 閉めるときはロックするまで押します。



⚠注意

- **サングラス以外の重いものを入れない。**
  落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- サングラスの形状によっては収納できない場合がありますので、確かめてからご使用ください。

8

ドリンクホルダー / ボトルホルダー

J17713300028

⚠警告

- **車内に水をかけたり、飲み物などをこぼしたりしない。**
  スイッチ類、配線や電気部品にかかると、故障や車両火災の原因になります。
  万一、飲み物などをこぼした場合は、可能な限り水分を取り除き、すみやかに三菱自動車販売会社にご相談ください。

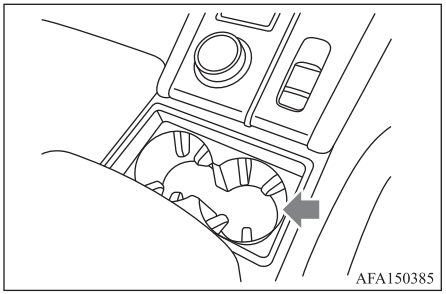
⚠注意

- **走行中は、飲み物を出し入れしない。**
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **熱い飲み物を置かない。**
  走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれると、やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用ドリンクホルダー

J17713400029

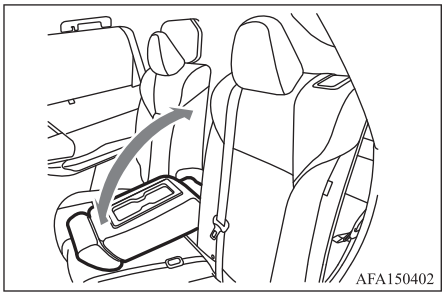
- フロアコンソールにドリンクホルダーがあります。
- リッドを押すと開きます。



リヤ（セカンド）シート用ドリンクホルダー

J17713500020

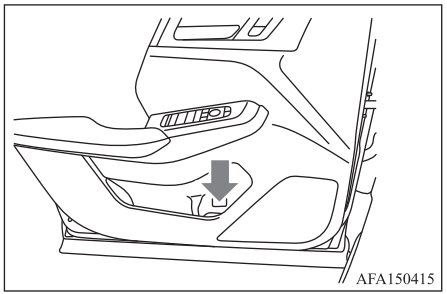
- アームレストを倒すとドリンクホルダーがあります。
  → アームレストの使いかた（P.6-31）



ボトルホルダー

J17714200024

- ペットボトルなどを入れることができます。



⚠注意

- カップや飲料缶を収納しないでください。
- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ、形状によっては収納できないことがあります。

8

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）

タイプ別装備

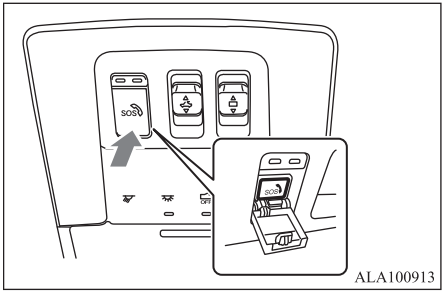
J17702800023

SOS スイッチを押すことで SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始できます。また、事故発生時（運転席＆助手席 SRS エアバッグ、SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグ、運転席 SRS ニーエアバッグ展開時）には自動で SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始します。

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）

J17702900037

- パワースイッチの電源モードが ON のとき、SOS スイッチを押すと、SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始できます。
- 事故発生時（運転席＆助手席 SRS エアバッグ、SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグ、運転席 SRS ニーエアバッグ展開時）には自動で SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始します。
- SOS スイッチは、マップランプ周辺にあります。



アドバイス

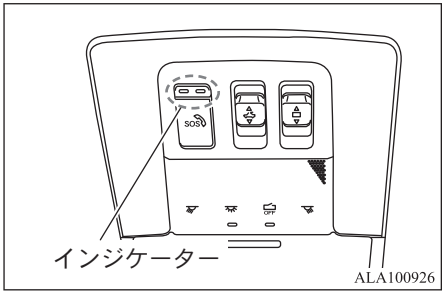
- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）とは、急病・犯罪・事故などの緊急時に警察・消防・医療機関への連絡を補助するサービスです。
- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）のサービス提供は、（株）日本緊急通報サービスからのものです。
- 三菱自動車販売会社でサービスのお申し込みと、車両側での初期設定が完了していないと、SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を利用することができません。

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）の使いかた

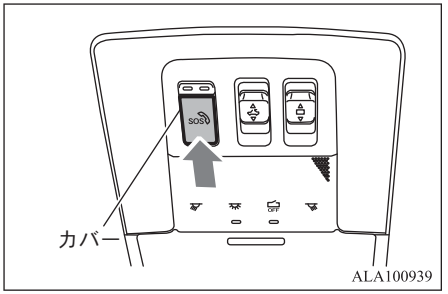
J17703000035

1. パワースイッチの電源モードを ON にします。

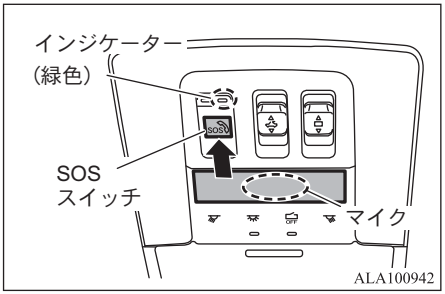
SOS スイッチのインジケーターが赤色・緑色ともに点灯し、約 5 秒後に緑色のみ点灯を続けます。



2. SOS スイッチのカバーを押して開きます。



3. SOS スイッチを約 1 秒間押します。緑色のインジケーターが点滅し、オペレータに繋がります。



4. SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）サービスのオペレータと通話します。

状況に応じてオペレータからの折り返し、もしくは公共機関（警察・消防・医療機関）からの通話着信があります。着信時は自動で音声接続します。
通話が終了したら、カバーを戻し、ロックするまで押します。

⚠注意

- 以下の場合は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - パワースイッチの電源モードをONにしても、インジケーターが赤色・緑色共に点灯状態にならないとき
  - インジケーターが赤色・緑色共に点灯してから約5秒後、赤色のインジケーターのみ点灯しているとき
- インジケーターが赤色・緑色共に消灯している場合は、電波環境のよい場所まで車を移動させてください。

アドバイス

- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）サービスのオペレータや公共機関との通話中は、車両側から通話を終了させることはできません。

SOS スイッチのインジケーターについて

J17703100023

- SOS スイッチには、システムの状態を表すインジケーターがあります。

インジケーターの点灯パターン		システム状態	説明・対処方法
赤色	緑色		
 （消灯）	 （消灯）	システム OFF サービスエリア外	●システムが OFF の状態です。 ●パワースイッチの電源モードをONにすると電源が入ります。パワースイッチの電源モードを ON にしても、インジケーターが赤色・緑色共に点灯状態にならないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●電波環境が悪く、SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始できない状態です。車を電波環境のよい場所へ移動させてください。
 （点灯）	 （点灯）	システム ON 通知	●システムが ON になったことを知らせます。 ●システムが ON になると、約 5 秒間点灯します。 ●初期設定が完了していないと点灯を続けます。
 （消灯）	 （点灯）	SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）開始可能	●SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始できる状態です。
 （消灯）	 （点滅）	SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）利用中	●オペレータと通話中の状態です。
 （点灯）	 （消灯）	システム異常 SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）サービス契約なし	●システム異常または SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）サービス契約がなく、サービスを正常に提供できない状態です。すみやかにサービスの利用契約期限をご確認いただき、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）に関する注意事項

J17703200037

⚠警告

- **SOS スイッチを押すときは、安全な場所に停車してから行う。**
  走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項（P.4-5）をお読みください。**

⚠注意

- SOS スイッチの赤色のインジケーターのみ点灯する場合は、システムに異常があるか、サービスの契約期限が切れています。契約期限をご確認いただき、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 補機用バッテリーあがりにつながるため、SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）利用中は安全を確認したうえでプラグインハイブリッド EV システムを停止せずにご使用ください。
- 通話中は、マップランプにあるマイクに向かって話してください。

⚠注意

- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）は、携帯電話と同様のデータ網を使用しています。圏外エリア（トンネル内、地下駐車場など）や電波の届きにくい場所（山間部）では利用できない場合があります。
- 救急車両は車両位置／車種／車体色／登録ナンバーをもとに現場の通報車両を特定します。元の車体色がわからなくなるほど塗り替えをしてしまっていると、救急車両の到着が遅れる場合があります。
- システムを利用する前に　MITSUBISHI CONNECT の契約が必要です。
- システムを利用する前に車側で初期設定が必要です。サービス契約後は三菱自動車販売会社で初期設定を完了してください。
- 車の登録ナンバーを変更するときは MITSUBISHI CONNECT の登録情報を変更してください。SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）利用時、会員登録上の車のナンバーと実際の車のナンバーが一致しない場合、救急隊員の到着が遅れることがあります。
- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）サービス契約中に車を手放す場合は、MITSUBISHI CONNECT の退会を行ってください。

アドバイス

- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）は、国内でのみ利用できます。
- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）は、MITSUBISHI CONNECT を申し込みいただくことで利用できます。
- SOS スイッチの赤色のインジケーターが点灯していても、SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）を開始することができます。ただし、発生している異常によっては、音声通話や救急車両の案内を正常に行えないことがあります。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）開始後は通話のキャンセルはできません。いたずらや機能確認など、緊急の場合以外でSOSスイッチを押さないでください。
- SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）は車載された通信機を使用するため、お客さまの携帯電話がなくても利用できます。
- 通話中の音声は、ボリュームを変更することができません。

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）に関するライセンス

J17706000023

本システムは、オープンソースを使用したソフトウェアを実装しています。

ソフト	ライセンス	条文
Boost C++ Libraries - boost	Boost Software License 1.0	Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the “Software”) to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following: The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor. THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
JsonCpp	MIT	Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

ソフト	ライセンス	条文
The ASN.1 Compiler	BSD-3-Clause	Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
MQTT	EPL/EDL	THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS ECLIPSE PUBLIC LICENSE (“AGREEMENT”). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT’S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT. 1. DEFINITIONS “Contribution” means: a) in the case of the initial Contributor, the initial content Distributed under this Agreement, and b) in the case of each subsequent Contributor: i) changes to the Program, and ii) additions to the Program; where such changes and/or additions to the Program originate from and are Distributed by that particular Contributor. A Contribution “originates” from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor’s behalf. Contributions do not include changes or additions to the Program that are not Modified Works.

ソフト	ライセンス	条文
MQTT	EPL/EDL	“Contributor” means any person or entity that Distributes the Program. “Licensed Patents” mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program. “Program” means the Contributions Distributed in accordance with this Agreement. “Recipient” means anyone who receives the Program under this Agreement or any Secondary License (as applicable), including Contributors. “Derivative Works” shall mean any work, whether in Source Code or other form, that is based on (or derived from) the Program and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. “Modified Works” shall mean any work in Source Code or other form that results from an addition to, deletion from, or modification of the contents of the Program, including, for purposes of clarity any new file in Source Code form that contains any contents of the Program. Modified Works shall not include works that contain only declarations, interfaces, types, classes, structures, or files of the Program solely in each case in order to link to, bind by name, or subclass the Program or Modified Works thereof. “Distribute” means the acts of a) distributing or b) making available in any manner that enables the transfer of a copy. “Source Code” means the form of a Program preferred for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files. “Secondary License” means either the GNU General Public License, Version 2.0, or any later versions of that license, including any exceptions or additional permissions as identified by the initial Contributor. 2.GRANT OF RIGHTS a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, Distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such Derivative Works.

ソフト	ライセンス	条文
MQTT	EPL/EDL	b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in Source Code or other form. This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder. c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to Distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program. d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement. e) Notwithstanding the terms of any Secondary License, no Contributor makes additional grants to any Recipient (other than those set forth in this Agreement) as a result of such Recipient's receipt of the Program under the terms of a Secondary License (if permitted under the terms of Section 3). 3. REQUIREMENTS 3.1 If a Contributor Distributes the Program in any form, then: a) the Program must also be made available as Source Code, in accordance with section 3.2, and the Contributor must accompany the Program with a statement that the Source Code for the Program is available under this Agreement, and informs Recipients how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange; and b) the Contributor may Distribute the Program under a license different than this Agreement, provided that such license: i) effectively disclaims on behalf of all other Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose; ii) effectively excludes on behalf of all other Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits; iii) does not attempt to limit or alter the recipients' rights in the Source Code under section 3.2; and iv) requires any subsequent distribution of the Program by any party to be under a license that satisfies the requirements of this section 3.

ソフト	ライセンス	条文
MQTT	EPL/EDL	3.2 When the Program is Distributed as Source Code: a) it must be made available under this Agreement, or if the Program (i) is combined with other material in a separate file or files made available under a Secondary License, and (ii) the initial Contributor attached to the Source Code the notice described in Exhibit A of this Agreement, then the Program may be made available under the terms of such Secondary Licenses, and b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program. 3.3 Contributors may not remove or alter any copyright, patent, trademark, attribution notices, disclaimers of warranty, or limitations of liability ('notices') contained within the Program from any copy of the Program which they Distribute, provided that Contributors may add their own appropriate notices. 4. COMMERCIAL DISTRIBUTION Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense. For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

ソフト	ライセンス	条文
MQTT	EPL/EDL	5. NO WARRANTY EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, AND TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations. 6. DISCLAIMER OF LIABILITY EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, AND TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. 7. GENERAL If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable. If Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient’s patent(s), then such Recipient’s rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed. All Recipient’s rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient’s rights under this Agreement terminate, Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient’s obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

ソフト	ライセンス	条文
MQTT	EPL/EDL	Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time. No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement. The Eclipse Foundation is the initial Agreement Steward. The Eclipse Foundation may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be Distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to Distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved. Nothing in this Agreement is intended to be enforceable by any entity that is not a Contributor or Recipient. No third-party beneficiary rights are created under this Agreement. Exhibit A – Form of Secondary Licenses Notice “This Source Code may also be made available under the following Secondary Licenses when the conditions for such availability set forth in the Eclipse Public License, v. 2.0 are satisfied: {name license(s), version(s), and exceptions or additional permissions here}.” Simply including a copy of this Agreement, including this Exhibit A is not sufficient to license the Source Code under Secondary Licenses.If it is not possible or desirable to put the notice in a particular file, then You may include the notice in a location (such as a LICENSE file in a relevant directory) where a recipient would be likely to look for such a notice.You may add additional accurate notices of copyright ownership.

8

ステアリングヒーター

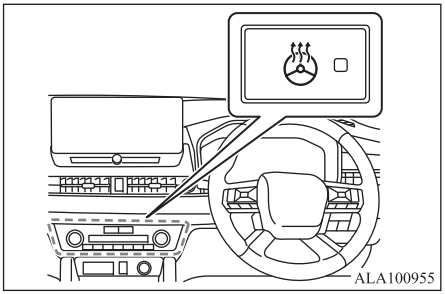
J17703300038

ハンドルを温めます。READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたときに使えます。

ステアリングヒーターの使いかた

J17703400039

- スイッチを押すと約 30 分間作動します。
  （スイッチの表示灯が点灯）
- 作動中は、ハンドルの表面温度が約 20°C を超える温度を保ちます。
- 作動中にスイッチを押すと作動が停止します。
  （スイッチの表示灯が消灯）



⚠注意

- 水、ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ハンドルの温度が約 20°C 以上のときは、スイッチを押してもステアリングヒーターは作動しません。

シートヒーター

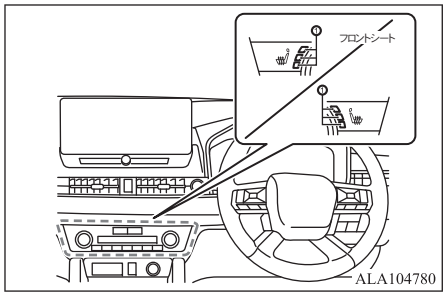
J17703500030

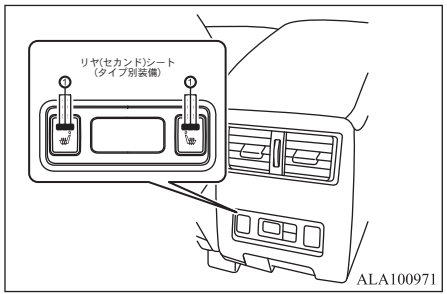
フロントシートまたはリヤ (セカンド) シート（タイプ別装備）を温めます。READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたとき（フロントシートのみ）に使えます。

シートヒーターの使いかた

J17703600031

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードが ON のとき（フロントシートのみ）にスイッチを押すとヒーターが作動し、スイッチ内の表示灯①が点灯します。





表示灯	シートヒーターの作動
3 つ点灯	暖房（強）
2 つ点灯	暖房（中）
1 つ点灯	暖房（弱）

- スイッチを押すごとに暖房（強）⇒暖房（中）⇒暖房（弱）⇒ OFF ⇒暖房（強）の順に切り替わります。

⚠注意

- **長時間の連続使用はしない。**
  低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- **硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。**
- 過熱するおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。
- 暖房（強）は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら暖房（弱）または OFF にしてください。

8

⚠注意

- シートの温度により自動的にヒーターのON と OFF を切り替えますが、スイッチがオンになっている限りインジケータランプは点灯したままになります。
- 車内が暖まっているとき、または車を離れるときは、必ずシートヒーターを OFF にしてください。
- 補機用バッテリーあがりを防止するため、READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたときに使用してください。

シートベンチレーション

タイプ別装備

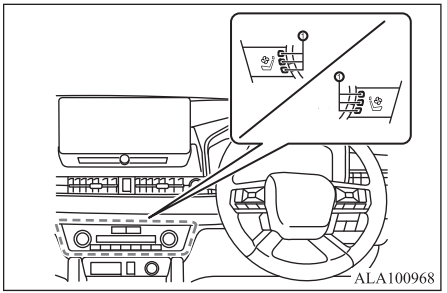
J17713900024

シートに装備されたファンで換気する事によりシート表面の通気をよくします。READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたときに使えます。

シートベンチレーションの使いかた

J17714000022

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードが ON のときに、スイッチを押すとベンチレーションが作動し、スイッチ内の表示灯①が点灯します。



表示灯	ベンチレーションの作動
3 つ点灯	強
2 つ点灯	中
1 つ点灯	弱

- スイッチを押すごとに強⇒中⇒弱⇒OFF ⇒強の順に切り替わります。

⚠注意

- **硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。**
- 通気を妨げるおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せないでください。また、シートカバーは使用しないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。
- 補機用バッテリーあがりを防止するため、READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたときに使用してください。

アクセサリーソケット（DC12V）

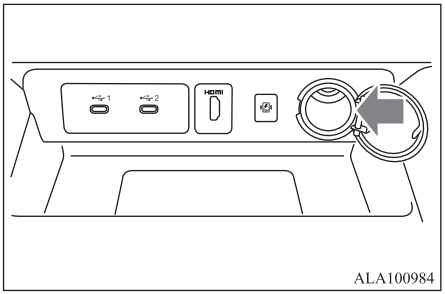
J17703700029

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。パワースイッチの電源モードが ON または OFF（ACC 状態）のとき使えます。

アクセサリーソケットの使いかた

J17703800033

- アクセサリーソケットはインストルメントパネルにあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源を OFF にするか、パワースイッチの電源モードを OFF にしてください。



⚠警告

- **アクセサリーソケットを使うときは、次のことを守る。**
  アクセサリーソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
  - 2 マタソケットなどでタコ足配線をしない
  - 消費電力 120W 以下のものを使用する
  - 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入する
  - 使用中や使用後はソケットやプラグに注意する
  - シガーライターをソケットに差し込まない
  - ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない

⚠注意

- 補機用バッテリーあがりを防止するため、プラグインハイブリッド EV システムが起動した状態で使用してください。また、長時間使用したり、エアコン、ヘッドライト、リヤデフォッガーなどを同時に使用したりしないでください。

アドバイス

- アクセサリーコンセントと同時に使用することができます。
  →アクセサリーコンセント（P.8-23）

充電用 USB ポート

タイプ別装備

J17703900021

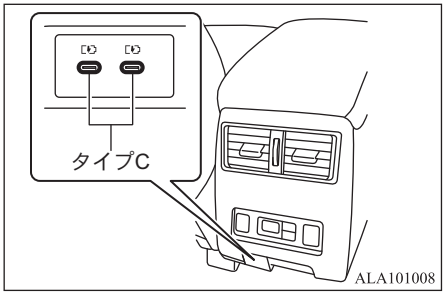
充電用USBポートはモバイル機器などの充電専用です。パワースイッチの電源モードが ON または OFF（ACC 状態）のとき使えます。

充電用USBポートの使いかた

J17704000032

モバイル機器を充電するのに便利な充電用 USB ポートが用意されています。

- 充電用 USB ポートはフロアコンソールボックス後ろ側にあります。
- 容量は以下の通りです。
  - タイプ C：5V（ボルト）、3A（アンペア）、15W（ワット）



⚠警告

- **SRS エアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**
  SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **充電用 USB ポートを使用するときは、次のことを守る。**
  充電用 USB ポートの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
  - 複数の充電用 USB ポートを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
  - 消費電力以下のものを使用する
  - ケーブルはしっかり奥まで挿入する

⚠警告

- ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
- ソケットの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

⚠注意

- **モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。**
  運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 補機用バッテリーあがりを防止するため、プラグインハイブリッド EV システムが起動した状態で使用してください。

ワイヤレス充電器

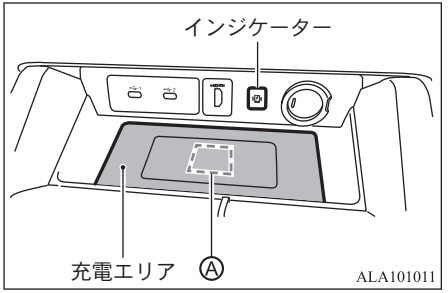
J17704100033

ワイヤレス充電器はQi対応スマートフォンの充電専用です。パワースイッチの電源モードが ON のとき使えます。

ワイヤレス充電器の使いかた

J17704200034

- ワイヤレス充電器はセンターコンソールにあります。
- スマートフォンを充電エリア内に置くと充電が始まります。
  （インジケーターがオレンジ色に点灯）



- スマートフォンを置くときは、スマートフォンの受電部分が Qi ロゴⒶの上にくるように置いてください。
- 充電が完了するとインジケーターが緑色に点灯します。（すべての機種について作動の保証はいたしません。）

⚠警告

- **充電エリアとスマートフォンの間に金属物を置かない。**
  車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- **植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、→ 心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項（P.4-5）をお読みください。**

⚠警告

- **充電中はスマートフォンに布などをかぶせない。**
  車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
- **スマートフォンが濡れた状態で充電しない。**
  故障、火災または感電のおそれがあります。
- **金属物やキー（キーレスオペレーションキー）、メモリードライブなどを充電エリア内に置かない。**
- **充電エリアに水や飲物などの液体をこぼさないように注意する。**
  故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠注意

- 充電エリアにほこりや汚れが付着した状態で使用しない。
- 充電エリアの表面を叩かない。
- 充電エリアの清掃にはグリース、オイル、アルコールを使用しない。
- 充電エリアとスマートフォンの間に磁気カードや、クレジットカードなどを置かないでください。カードのデータが破損する可能性があります。
- スマートフォンのケースやアクセサリーによっては充電に影響を及ぼす可能性があるため、充電を行う前に取り外してください。

⚠注意

- 充電する前にスマートフォンのバイブレーション機能を OFF にしてください。
- 充電中にスマートフォンが温まり、ワイヤレス充電器の保護機能により充電が停止する場合がありますが、故障ではありません。スマートフォンが冷えてから充電を再開してください。

アドバイス

- 誤作動が発生したり、充電が停止したりすると、インジケーターがオレンジ色で 8 秒間点滅後消灯します。
- 充電位置はスマートフォンによって異なる場合があります。
- 充電中に電波障害が発生した場合は充電が停止します。充電が停止したときは、スマートフォンの受電部分がQiロゴⒶの上にくるように置きなおしてください。
- キーレスオペレーションキーと車両が通信をしているときは充電を停止します。
- スマートフォンにUSBケーブルが接続されていると、インジケーターがオレンジ色に点灯、または点滅する場合がありますが、充電は開始されません。
- スマートフォンの種類によっては、充電が完了してもインジケーターがオレンジ色に点灯したままになる場合があります。

アクセサリーコンセント

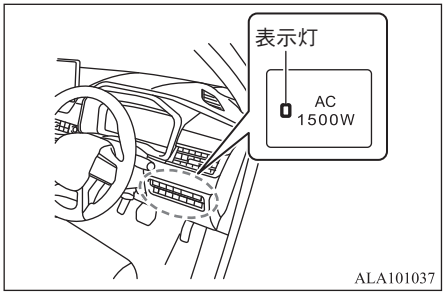
J17714300025

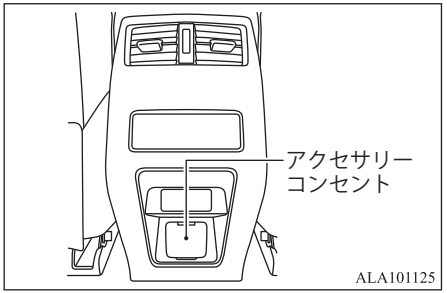
プラグインハイブリッド EV システムが起動しているときに家庭用電気製品の電源として使用できます。

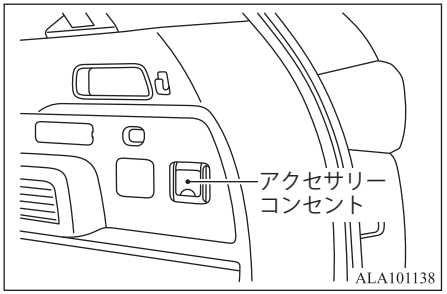
アクセサリーコンセントの使いかた

J17714400026

- アクセサリーコンセントスイッチはインストルメントパネルにあります。アクセサリーコンセントスイッチを押すと表示灯が点灯して、使用可能な状態になります。スイッチをもう一度押すと、表示灯が消灯します。
- アクセサリーコンセントはフロアコンソールボックスとラゲッジルームにあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 必ず、AC100Vで消費電力が1500W以下の電気製品を使用してください。







アクセサリーコンセントに関する注意事項

J17714500027

⚠警告

- **アクセサリーコンセントを使用して、電気自動車やプラグインハイブリッド車への普通充電は絶対に行わない。また、アクセサリーコンセントと家屋内の電力線や配電盤をつなぐことは絶対にしない。**
  感電や故障につながるおそれがあります。
- **濡れた手でプラグの抜き差しをしない。**
  感電するおそれがあります。
- **プラグを抜くときは、ケーブル部を引っ張って抜かない。**
  電源コードが損傷するおそれがあります。必ずプラグ部を持ってまっすぐ抜いてください。
- **アクセサリーコンセントの改造や分解、修理などは絶対にしない。**
- **走行中に電気製品を使用する場合は、ラゲッジフックなどを使用して確実に固定する。**
  急ブレーキ、急旋回などのときに電気製品が飛び出して運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  → ラゲッジフック（P.8-29）
- **窓を閉めたまま蒸気が出る電気製品を使用しない。**
  蒸気により視界が悪くなり、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- **駐停車中に電気製品を使用するときは、次のことを守る。また、駐停車するときは（→P.7-14）も併せて読む。**
  - 電動パーキングブレーキスイッチを押して、電動パーキングブレーキを確実にかけ、メーター内のシフトポジション表示灯にⓅが点灯していることを確認してください。
    無意識にセレクターレバーを動かしたり、アクセルペダルの踏み込みにより、不用意な発進など、重大な事故につながるおそれがあります。
    また、誤ってセレクターレバーが押されないよう、電気製品の電源コードや延長ケーブルの配置に注意してください。
  - 車庫や雪が積もって排気ガスが滞留するおそれのある場所などでは、使用しないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります
  - 車外で使用する場合は、雨や雪でアクセサリーコンセントが濡れないように注意してください。感電のおそれがあります
- **夜間に照明などの光を出すものを使用しない。**
  視認性が低下し、運転に支障が出るおそれがあります。
- **アクセサリーコンセントに飲み物などをこぼしたりしない。**
  感電、発煙や発火のおそれがあります。

⚠警告

- **お子さまには、アクセサリーコンセントをさわらせない。**
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **冷却ファンに手や衣服などを近づけない。**
  アクセサリーコンセントを使用しているときは、エンジンルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。
- **落雷のおそれがある場合はアクセサリーコンセントを使用しない。**
- **医療機器の使用は、絶対に避ける。**

⚠注意

- **排気管の後方に立たない。**
  - アクセサリーコンセントを使用しているときは、状況によりエンジンが自動で始動するため、排気熱によりやけどをするおそれがあります
- 電気製品のプラグを差し込むときは、まっすぐに根元まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱によりアクセサリーコンセントが損傷するおそれがあります。
- ストーブなどの熱器具を車内で使用しないでください。熱により内装品などが溶けたり、焼けたりするおそれがあります。
- 故障した電気製品を使用しないでください。アクセサリーコンセントが使用できなくなるおそれがあります。

⚠注意

- 2 つのアクセサリーコンセントを同時に使用するときは、消費電力の合計が 1500W を超えないようにしてください。
- アクセサリーコンセントにプラグアダプターなどを取り付けて使用しないでください。また、分岐用コンセントを取り付けて、複数の電気製品を使用しないでください。
- プラグをアクセサリーコンセントに差し込んだときに、ゆるみやがたつきがあるときは、三菱自動車販売会社でアクセサリーコンセントを交換してください。
- アクセサリーコンセントを使用しているときは、車から離れないでください。また、給油や洗車をしないでください。
- 振動や熱などに弱い電気製品を車内で使用しないでください。強い直射日光にさらされると車内が高温になるため、電気製品が故障するおそれがあります。
- 車両にボデーカバーを掛けた状態でアクセサリーコンセントを使用しないでください。
- 窓、ドアやテールゲートを閉める際、電源コードをはさまないように注意してください。
- アクセサリーコンセントを使わないときは、アクセサリーコンセントスイッチを OFF にして、プラグを抜き取りフタを閉めてください。コンセントにたまったほこりにより、ショートするおそれがあります。

アドバイス

- アクセサリーソケットと同時に使用することができます。
  →　アクセサリーソケット（DC12V）（P.8-20）
- アクセサリーコンセントを使用しているときは、荷室付近から冷却ファンなどの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 駆動用バッテリーの残量表示が0のとき、アクセサリーコンセントの給電が停止することがあります。
- 次の場合は電気製品が正常に作動しなかったり、給電が停止することがあります。このとき、作動音がすることがありますが、異常ではありません。
  - 消費電力が 1500W を超える電気製品を使用したとき
  - 車内が高温または低温のとき

アドバイス

- アクセサリーコンセントが使用できないときや、給電が停止して自動で復帰しないときは、次の手順にしたがってください。
  1. 電気製品のプラグを抜きます。
  2. READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。点灯していない場合は、プラグインハイブリッド EV システムを起動して、再度、READY（走行可能）表示灯を点灯させます。
  3. 車内が高温または低温の場合は、エアコンで適温に調整します。
  4. アクセサリーコンセントスイッチを ON にします。
  5. スイッチ内の表示灯が点灯したことを確認して、電気製品のプラグを差し込みます。
- 消費電力が1500W以下でも次のような電気製品は正常に作動しないことがあります。また、駆動用バッテリーの状態によっては、使用できる電力が変化することがありますので注意してください。
  - 瞬間的に大きな電流が流れる電気製品
  - 精密なデータを測定するような電気製品
  - 水平に設置しないと正常に作動しない電気製品
  - 極めて安定した動作が必要な電気製品
  - タイマー設定など、連続した出力を必要とする電気製品

アドバイス

- 駆動用バッテリーなどの状態によっては、駆動用バッテリーの残量表示が 0 でなくても、アクセサリーコンセントの出力が断たれ、電気製品の電源が切れることがありますので注意してください。
- 使用する電気製品によっては、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。
- アクセサリーコンセントの電圧は、市販のテスターでは正確に測定できません。電圧の測定が必要な場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 使用する電気製品に付属の取扱説明書やラベルも合わせてお読みください。
- 駆動用バッテリーの残量が少なくなると、自動的にエンジンが始動し充電を行います。駐停車中にエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条例に触れ罰則を受けるおそれがあります。駐停車中の使用については、関係する自治体に確認してから使用してください。また、エンジンが始動した場合、ガソリンを消費するため、燃料切れを起こさないよう注意してください。
- 電源周波数について
  - 工場出荷時、車両の電源周波数は 50Hz に設定されています
  - 電源周波数の切り替え (50/60Hz) のある製品を使用する場合は、車両の電源周波数に合わせておいてください
  - 車両の電源周波数を切り替えたい場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください

フロアマット

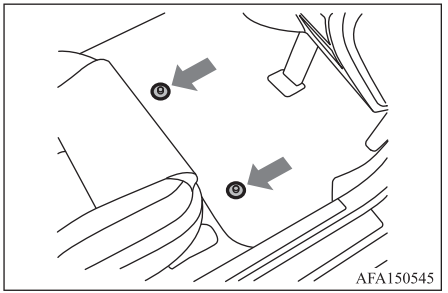
J17704600025

この車（年式）専用のフロアマットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

J17704700026

- 運転席の床面には三菱自動車純正フロアマット用の固定クリップが付いています。
- フロアマットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。



⚠警告

- **運転席のフロアマットは必ず固定クリップで固定する。**
  フロアマットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬ速度が出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **運転席にフロアマットを敷くときは、次のことを守る。**
  - 三菱自動車純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
  - フロアマットでペダルを覆わない
  - フロアマットを重ねて敷かない
  - 運転席専用のフロアマットを使用する
  - フロアマットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- **運転する前にフロアマットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。**
- **運転に支障がないことを確認する。**
  運転する前、パワースイッチの電源モードが OFF の状態でセレクターレバーがⓅのとき、各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認してください。
- **タバコの火種をフロアマットなどに落とさない。**
  火災につながるおそれがあります。

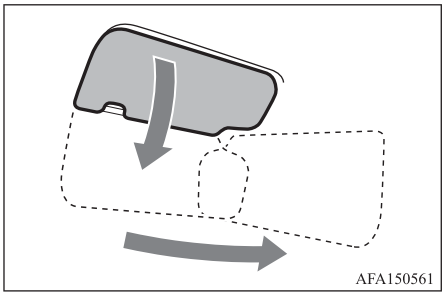
サンバイザー／バニティミラー（照明付き）

J17704800027

サンバイザーの使いかた

J17704900028

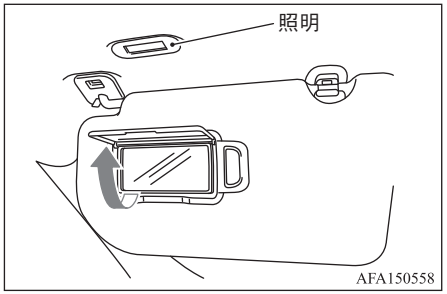
- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



バニティミラー（照明付き）の使いかた

J17705000026

- サンバイザー裏側に照明付きのバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げて、カバーを開けて使います。



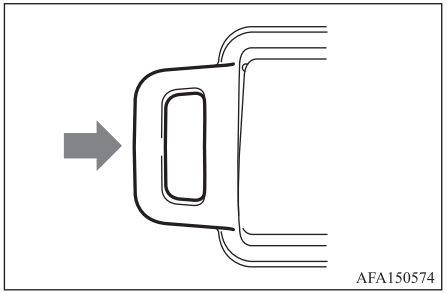
カードホルダー

J17705100027

カードホルダーの使いかた

J17705200028

- サンバイザーの裏側にカードホルダーが付いています。



8

⚠注意

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

ロールサンシェード

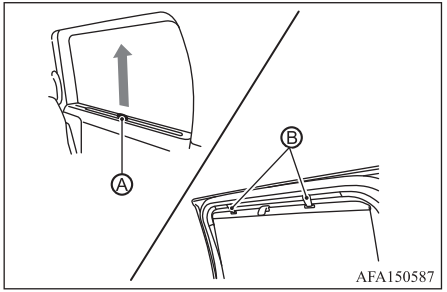
タイプ別装備

J17705300029

ロールサンシェードの使いかた

J17705400033

- 後席ドアの窓ガラス内側にあります。
- ノブⒶをもって持ち上げ、フックⒷに上端部の穴を通して固定します。
- 収納するときは、フックⒷから上端部の穴を外して巻き取ります。



⚠注意

- **ご使用の際はまっすぐ上に引き上げてください。それ以外の向きに引くと破損するおそれがあります。**
- **引き出しおよび収納の際は、ノブⒶから手を離さないでください。離すとサンシェードが急激に巻き取られて指を窓ガラスとサンシェードの間に挟まれ、ケガをするおそれがあります。**
- **ロールサンシェード使用時は窓ガラスを開けて走行しないでください。風でサンシェードが外れてけがをしたり、シェード部分にしわができたりするおそれがあります。**

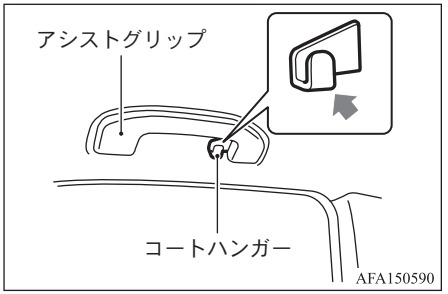
アシストグリップ／コートハンガー

J17705500021

アシストグリップ／コートハンガーの使いかた

J17705600022

- 後席シート左右にはコートハンガーが付いています。



⚠警告

- **コートフックには、アクセサリーなどを取り付けたりしない。また、服を掛けるときはハンガーを使用せずに直接コートフックに掛ける。**

⚠注意

- **アシストグリップに手を掛けて乗り降りしない。**
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- コートハンガーには 1kg 以上の物をかけないでください。

8

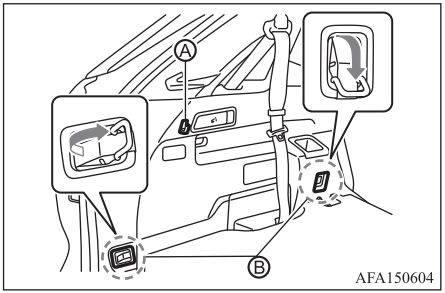
ラゲッジフック

J17705700023

ラゲッジフックの使いかた

J17705800037

- 荷室の側面にフックがあります。
- 荷物の固定用としてご使用ください。



⚠注意

- **室内にはシートの高さ以上に荷物を積まず、荷物は確実に固定する。**
  後方の確認ができなくなったり、急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **3kgⒶまたは 20kgⒷ以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。**
- 炎天下などで車内が高温のときは、荷物をかけたままにしないでください。

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは 9-2
発炎筒 9-3
けん引について 9-3

緊急時の対処方法

パンクしたときは 9-6
ドアが開かないときは 9-11
燃料給油口が解錠できなくなったときは 9-12
充電リッドが解錠できなくなったときは 9-13
充電コネクターロックが解除できなくなったときは 9-14
プラグインハイブリッド EV システムの起動や
充電ができないときは 9-14
キーレスオペレーションキーで起動できないときは 9-15
補機用バッテリーがあがったときは 9-17
警告灯がついたときは 9-21
表示灯がついたときは 9-32
警告メッセージが表示されたときは 9-34
警報音（ブザー）が鳴ったときは 9-65
窓ガラスがくもったときは 9-66
オーバーヒートしたときは 9-67
雪道やぬかるみにはまったときは 9-69
水没したときは 9-69
ヒューズが切れたときは 9-70
外装ランプが点灯しないときは 9-74

故障したときは

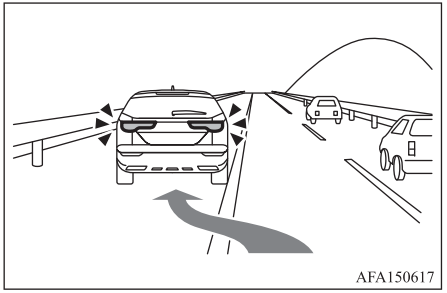
J17800100023

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

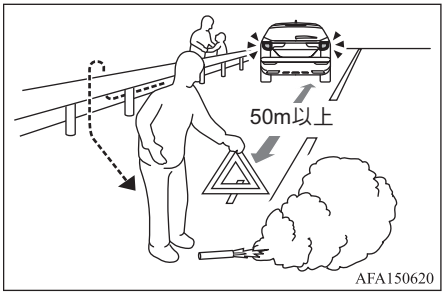
故障したときの対処のしかた

J17800200037

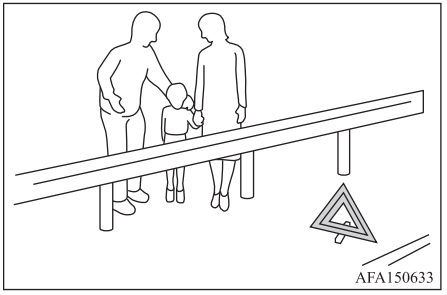
1. 非常点滅灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
   路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。



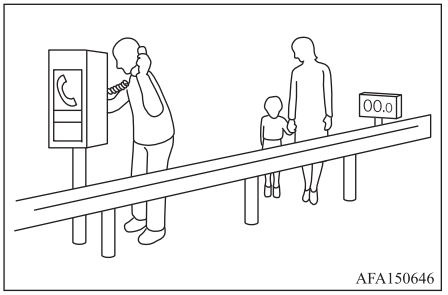
2. 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の 50m 以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。
   → 発炎筒（P.9-3）



3. 運転者もガードレールの外側などに避難します。
   避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないように注意してください。



4. 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



⚠警告

- **発炎筒はトンネル内では使用しない。**
  煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅灯をご使用ください。

⚠注意

- **走行中にメーター内の READY（走行可能）表示灯が消灯したときは、慎重に運転する。**
  故障によりメーター内の READY（走行可能）表示灯が消灯すると、ブレーキや電動パワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなるので慎重に運転してください。
- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務付けられています。

⚠注意

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

発炎筒

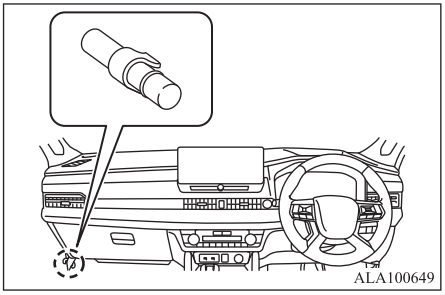
J17800300025

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

発炎筒の使いかた

J17800400039

- 発炎筒は助手席足元部のホルダーに備え付けてあります。
- 使い方は発炎筒に記載されていますのであらかじめよく読んでおいてください。



⚠警告

- **お子さまには触らせない。**
  いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- **可燃物の近くで使用しない。**
  引火するおそれがあります。
- **点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。**
  やけどをするおそれがあります。
- **トンネル内では使用しない。**
  煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅灯をご使用ください。

⚠注意

- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。

けん引について

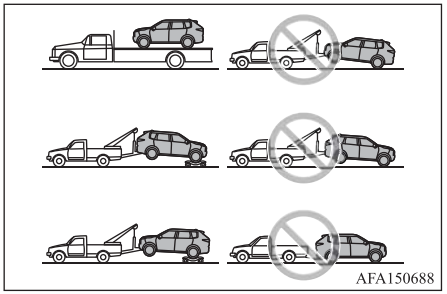
J17800500027

けん引が必要なときは、三菱自動車販売会社または JAF などのロードサービスに依頼してください。やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

J17800600031

- 車両が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、4 輪を持ち上げてください。
- やむをえず 4 輪接地の状態でけん引されるときは、シフトポジションをⓃに入れて行ってください。
- この車両は、オート P 機能（→P.7-7）により、パワースイッチの電源モードが OFF のときはシフトポジションをⓅから他のシフトポジションに切り替えることができません。そのため、補機バッテリーあがりなどでパワースイッチの電源モードが OFF から切り替えられないときは、4 輪接地の状態でけん引できません。
- 4 輪接地でけん引してもらうときは、速度 30km/h 以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



⚠警告

- **車輪を接地してのけん引はしない。**
  モーターやトランスアクスルなどが損傷するおそれがあります。

⚠注意

- **車体つり上げ式のレッカー車でのけん引はしないでください。バンパーや車体が破損するおそれがあります。**
- **トレーラーヒッチメンバを使用してけん引するときはエレクトリックテールゲートを OFF にしてください。**
  → エレクトリックテールゲートの使いかた（P.6-12）

⚠注意

- けん引中は、イノベーティブペダル オペレーションモード、マイパイロット（ナビリンク機能付）、踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] を OFF にする。

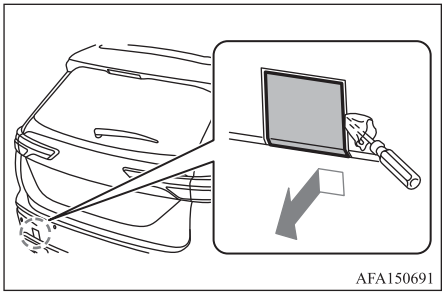
故障車をけん引するとき

J17800700029

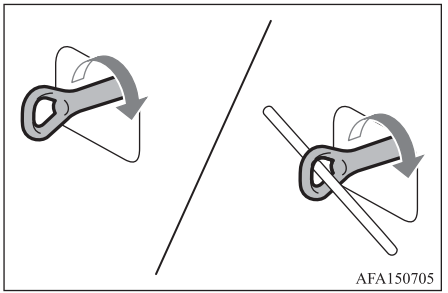
⚠注意

- **けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると、車体が破損することがあります。**
- **自車より重い故障車をけん引しないでください。車両重量については車載の自動車検査証をご参照ください。**
- **安全のためにけん引するときの速度は 30km/h 以下、けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度、距離を超えると車両の故障の原因になります。**

1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、リヤバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



2. 金属の固い棒などを使用して、けん引フックを取り付けます。



3. けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。
   その他は（→P.9-5）と同じ要領で行ってください。

やむをえず4輪接地でけん引されるときは

J17800800033

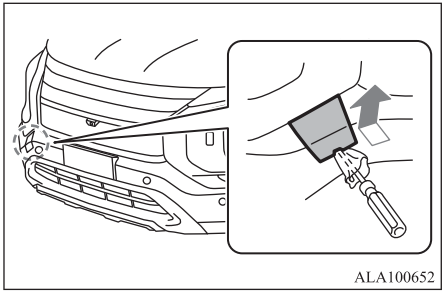
⚠警告

- **4輪接地でけん引されるときは、パワースイッチの電源モードを OFF にしない。**
  この車両はオート P 機能（→P.7-7）により、パワースイッチの電源モードが OFF のときはシフトポジションを Ⓟ から Ⓝ に切り替えることができません。また、けん引中はパワースイッチの電源モードを OFF にしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

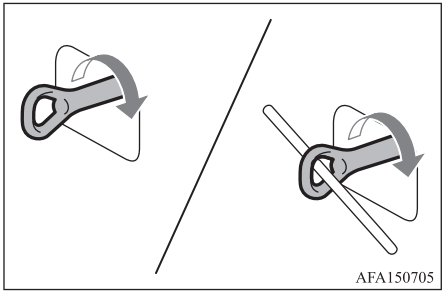
⚠注意

- 4輪接地の状態でけん引されるときは、プラグインハイブリッド EV システムを起動するかパワースイッチの電源モードを ON にしてシフトポジションを Ⓝ にした状態で行ってください。パワースイッチの電源モードが OFF のときは、オート P 機能によりシフトポジションを Ⓝ に切り替えられないため、けん引することができません。
  オート P 機能（→P.7-7 ）

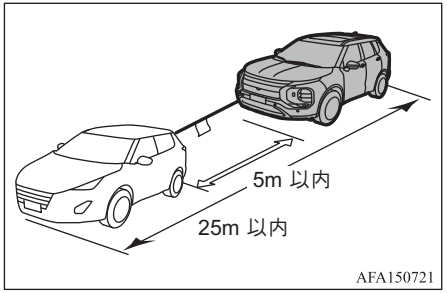
1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



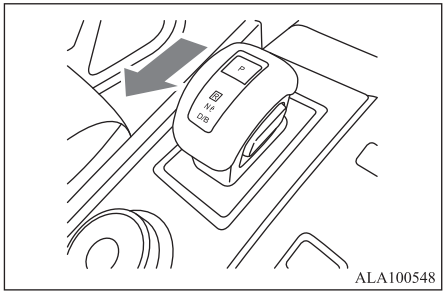
2. 金属の固い棒などを使用して、けん引フックを取り付けます。



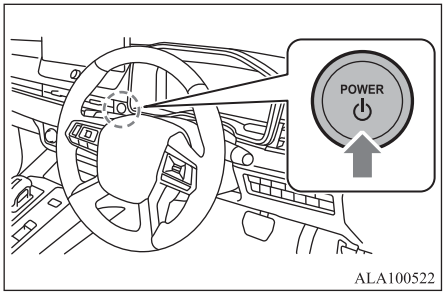
3. 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に 30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。
   ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



4. プラグインハイブリッド EV システムを起動しシフトポジションを Ⓝ に入れ、電動パーキングブレーキを解除します。



5. プラグインハイブリッド EV システムを起動できないときはパワースイッチの電源モードを ON にし、シフトポジションを Ⓝ にしてください。



⚠注意

- **プラグインハイブリッド EV システムが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなるので注意する。**
- **けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。**
  フック部が破損するおそれがあります。
- **長い下り坂ではけん引しない。**
  ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

アドバイス

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

J17800900021

この車両にはスペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。
タイヤがパンクしたときは、パンクタイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

J17801000029

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- シフトポジションをⓅにする。
- 電動パーキングブレーキをかける。
- パワースイッチの電源モードを　OFF にする。
- 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置く。
  →　故障したときの対処のしかた（P.9-2）
- 人や荷物を降ろす。
- 工具、パンクタイヤ応急修理キットを取り出す。
  → 工具、パンクタイヤ応急修理キットの格納場所（P.10-3）
- 次の場合はパンクタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。三菱自動車販売会社またはJAFなどに連絡してください。
  - 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
  - タイヤサイド部が損傷を受けたとき
  - ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールから外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
  - タイヤが 2 本以上パンクしているとき
  - 修理剤の有効期限が切れているとき

⚠注意

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにパンクタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

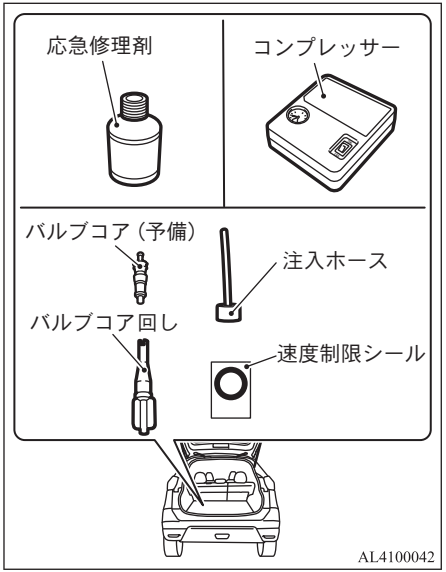
アドバイス

- パンクタイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

パンクタイヤ応急修理キットについて

J17801100033

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、パンクタイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- パンクタイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに三菱自動車販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



応急修理のしかた

J17801200034

修理剤の注入

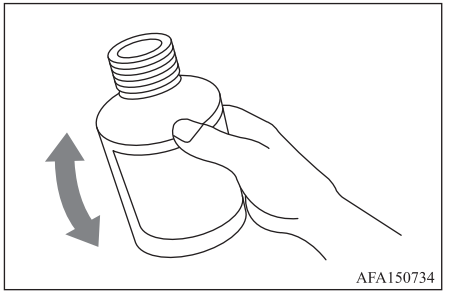
⚠注意

- **バルブコアは慎重に取り外す。**
  外すときにタイヤに空気が残っていると、コアが飛び出すおそれがあります。

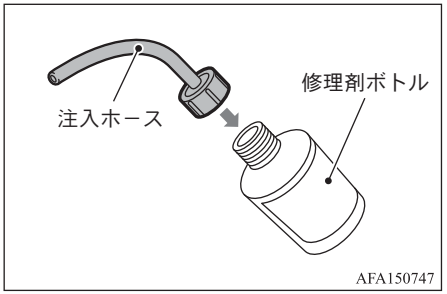
アドバイス

- 修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前によく振ってください。注入ホースをねじ込んだあとに修理剤ボトルを振ると、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 修理剤は衣服などに付着すると取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- 寒冷時には修理剤の粘度が高くなり、注入作業がしにくくなります。その場合、車内などで温めると注入作業がしやすくなります。

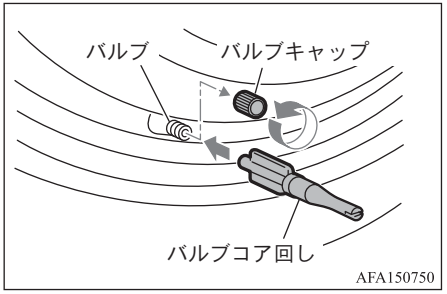
1. 修理剤ボトルとエアコンプレッサーを取り出し、修理剤ボトルをよく振ります。



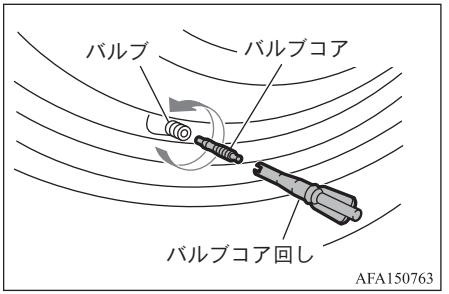
2. 修理剤ボトルの内ぶたを付けたまま注入ホースをねじ込みます。
（注入ホースをねじ込むと内ぶたが破れます。）



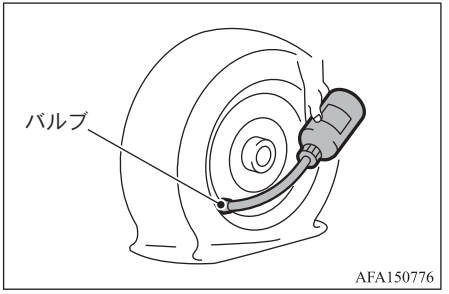
3. パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを外し、ビニール袋に入っているバルブコア回しの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。



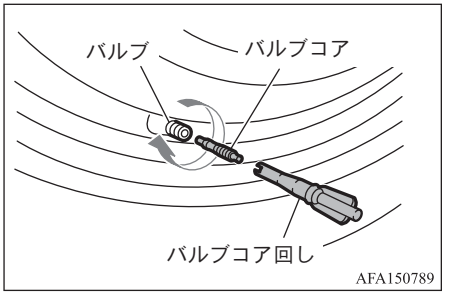
4. バルブコア回しでバルブコアを回し、取り外します。



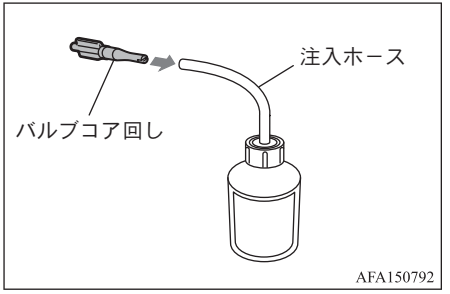
5. 注入ホースをバルブに差し込みます。その後、修理剤ボトルをさかさまにして持ち、修理剤がすべてタイヤ内に注入できるまで何回も圧迫します。



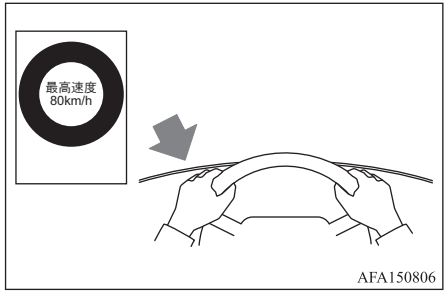
6. 注入し終わったら、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコア回しを使ってバルブコアをバルブにしっかりとねじ込みます。



7. 注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。



8. 速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。



⚠注意

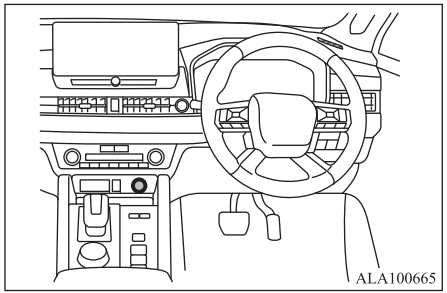
- **ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。**
  SRS エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピー ドメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

アドバイス

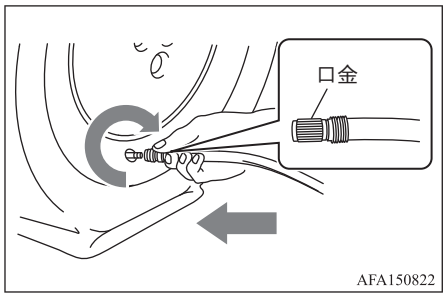
- バルブコアは汚れないようにきれいに保管してください。
- 空になった修理剤ボトルは、タイヤ交換または恒久修理のときに修理剤の回収に使いますので、捨てずに三菱自動車販売会社または修理業者までお持ちください。

エアの注入

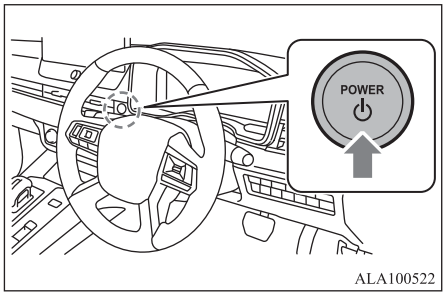
1. コンプレッサーの電源コードを取り出し、プラグをアクセサリーソケットに差し込みます。
   → アクセサリーソケット（DC12V）（P.8-20）



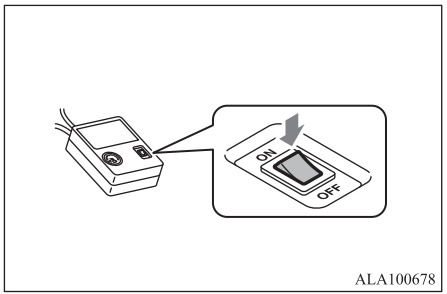
2. エアコンプレッサーのホースの口金をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。



3. プラグインハイブリッド EV システムのパワースイッチの電源モードを ON にします。



4. エアコンプレッサーのスイッチを ON にし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。



5. 指定空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にし、電源プラグをアクセサリーソケットから抜きます。

6. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

10 分以内に指定空気圧まで昇圧できない場合

10 分以内に指定空気圧まで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。三菱自動車販売会社または JAF などに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

ホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

⚠注意

- **空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあるため、やけどしないように注意する。**
- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10 分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

アドバイス

- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示してあります。
- 車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

点検走行

1. ただちに走行を始め、10 分間または 5km 程度走行してください。80km/h 以下の速度で注意深く運転してください。
2. 走行後、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

130kPa 未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF などのロードサー ビスに連絡してください。

130kPa 以上指定空気圧未満の場合

エアコンプレッサーのスイッチを ON にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF などのロードサービスに連絡 してください。
JAF の連絡先 … 別冊のメンテナンスノート「三菱サービスネット」をお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに三菱自動車販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

⚠注意

- **走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。**
- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、三菱自動車販売会社または修理業者で点検を受けてください。

パンクタイヤ応急修理キットの注意事項

J17801300022

⚠注意

パンクタイヤ応急修理キットについて

- **パンクタイヤ応急修理キットは、搭載車両専用のため、他の車には使用しない。**
- **パンクタイヤ応急修理キットは、自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しない。**
- **パンクタイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。**
- **分解、改造などは絶対にしない。**
- **コンプレッサーに衝撃を与えない。**
  故障の原因となります。
- **お子さまが誤って手を触れないように注意する。**

修理剤について

- **修理剤を口に入れない。**
  修理剤を飲み込むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- **万一目や皮膚に付着した場合は、 水でよく洗い流す。**
  それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

パンクタイヤ応急修理キットについて

- パンクタイヤ応急修理キットは、必ず三菱自動車純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

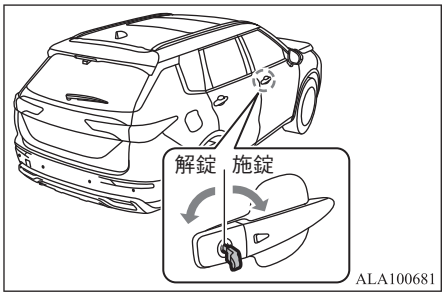
J17801400023

キーの電池が切れたときや、補機用バッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

内蔵キー（エマージェンシーキー）でのドアの開けかた

J17801500037

運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両後方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両前方に内蔵キーを回します。

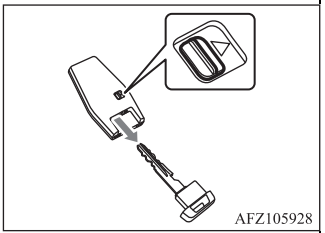


⚠注意

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして、キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。（→ キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換（P.10-13））
- エマージェンシーキーを使用した後は、必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。
- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のため運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

アドバイス

- 内蔵キーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。



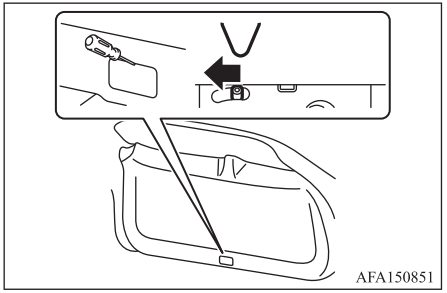
- 運転席ドアのキーを使って施錠・解錠したときは、運転席ドアのみ施錠・解錠します。

緊急時のテールゲートの開けかた

J17801600025

補機用バッテリーあがりなどにより、テールゲートを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- テールゲートの車室内側にあるインサイドリリースレバーのカバーを開けます。
- レバーを矢印の方向に、マイナスドライバーなどを差し込んで動かして解錠し、テールゲートを持ち上げます。



⚠警告

- **通常はインサイドリリースレバーのカバーを閉じておく。**
  カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり、テールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- テールゲートオープナースイッチなどの故障につながるおそれがあるため、この操作をしたときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

燃料給油口が解錠できなくなったときは

J17801700026

万一、燃料給油口が解錠できなくなったときは、次の操作をしてください。

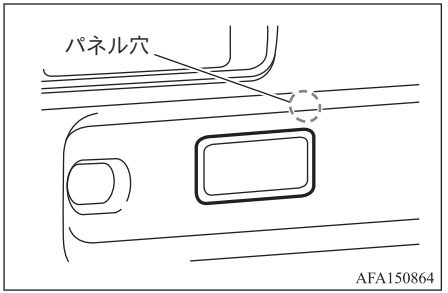
緊急時の燃料給油口の開けかた

J17801800027

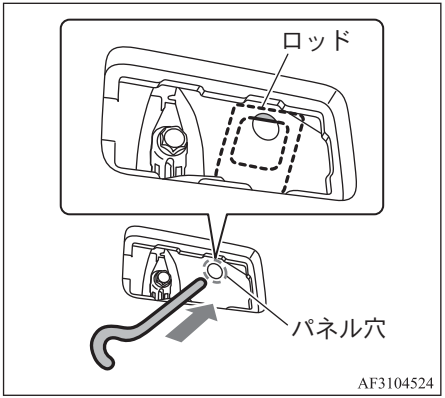
⚠警告

- **この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。**
  この操作をしたときは、フューエルキャップを急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力が自動的に解放されないため、フューエルキャップを急激に回すと、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。

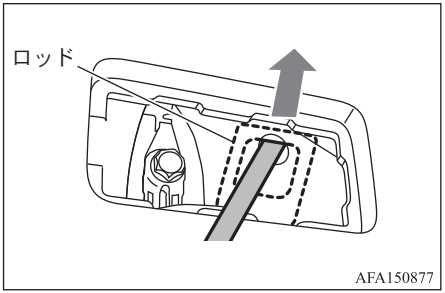
1. ラゲッジルーム左側面にあるリッドの切り欠きに、先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでリッドを外します。
   パネル穴の位置を確認します。



2. パネルの奥を下からのぞき込みます。
   パネル穴の奥に見える黄色のロッドの穴に車載工具を差します。



3. 差し込んだ車載工具で黄色のロッドを引き上げると燃料給油口のリッドが解錠します。



⚠注意

- ロッドを操作した後はラゲッジルームのリッドを閉じておいてください。開けたままにすると、荷物などがロッドに当たり、フューエルリッド（燃料補給口）が開くおそれがあります。

アドバイス

- この操作をしたときは、インフォメーション画面に次の警告が表示されます。

給油口を閉めてください

つぎの状態になると、警告表示は消えます。
  - フューエルリッド（燃料補給口）を閉めた状態で数十秒走行したとき
  - ロッドを操作して約 30 分経過したとき
- フューエルフィラーリッドオープナーなどの故障につながるおそれがあるため、この操作をしたときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

充電リッドが解錠できなくなったときは

J17801900028

万一、充電リッドが解錠できなくなったときは、次の操作をしてください。

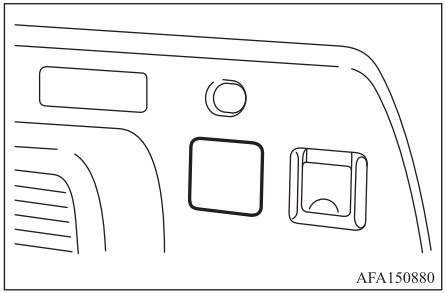
緊急時の充電リッドの開けかた

J17802000026

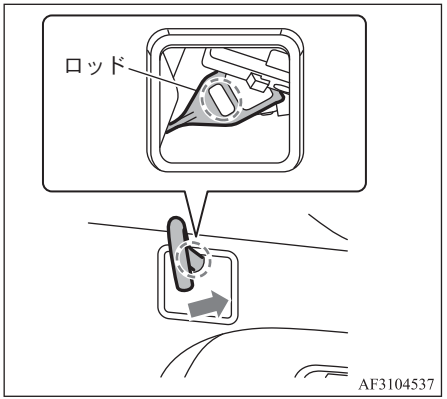
⚠注意

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- 充電リッドオープナーなどの故障につながるおそれがあるため、この操作をしたときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

1. ラゲッジルーム右側面にあるリッドの切り欠きに、先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでリッドを外します。



2. 車載工具などを差し込んで黄色いロッドを矢印の方向に引くと、充電リッドを解錠できます。



充電コネクターロックが解除できなくなったときは

J17802100027

万一、充電コネクターロックが解除できなくなったときは、次の操作をしてください。

9

緊急時の充電コネクターロックの解除のしかた

J17802200028

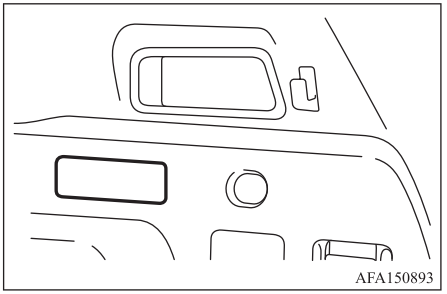
⚠注意

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。

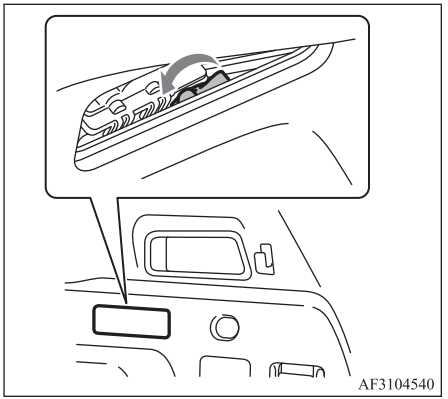
⚠注意

- 充電コネクターロック機構などの故障につながるおそれがあるため、この操作をしたときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

1. ラゲッジルーム右側面にあるリッドの切り欠きに、先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでリッドを外します。



2. リッド切り欠きの下側から見える白色のダイヤルを反時計回りに約 12 回転することで普通充電コネクターが解錠されます。



アドバイス

- 緊急時のコネクターロック解除後は復帰操作として、充電コネクタ ― ロックの解除のしかた (→P.3-12) の操作を実施した上で次回充電コネクターを差し込んでください。

プラグインハイブリッド EV システムの起動や充電ができないときは

J17802300029

プラグインハイブリッド EV システムが起動できないときや充電できないとき、パワースイッチの電源モードを ON にし

てマルチインフォメーションディスプレイの READY(走行可能) 表示灯を確認してください。充電ができない場合は、READY(走行可能) 表示灯を確認する前にプラグインハイブリッド EV システムの起動操作を行ってください。→ プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた（P.7-2）

READY(走行可能) 表示灯の点滅が継続している場合、駆動用バッテリーの保護機能が一時的に作動している可能性があります。このような時は次の復帰操作をお試しください。

復帰操作のしかた

J17802400033

1. 何も操作せず、3 分間待機します。
2. 充電コネクターが接続されている場合は、充電コネクターを抜きます。
3. プラグインハイブリッド EV システムを起動します。（→P.7-2）
   - 走行する場合は、プラグインハイブリッド EV システムを起動し、走行可能 (READY) 表示灯が点灯することを確認してください。
   - 充電する場合は、充電リッドを開けて充電コネクターを接続し、充電ロインジケータが緑色に点滅することを確認してください。（→P.6-48）

   プラグインハイブリッド EV システムが起動しない、または充電が開始されないときは、再度手順 1 ～手順 2 の作業を行ってください。
   何度試しても復帰できないときは、三菱自動車販売会社にご連絡下さい。
4. 10 分以上経つまでは、なるべくプラグインハイブリッド EV システムを停止したり、充電を停止したりしないようにしてください。

キーレスオペレーションキーで起動できないときは

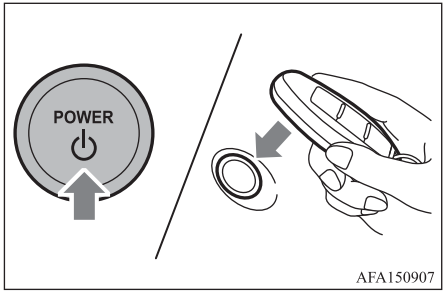
J17802500021

キー（キーレスオペレーションキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でプラグインハイブリッド EV システムを起動してください。

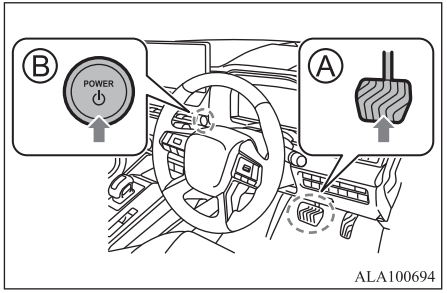
プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた

J17802600035

1. パワースイッチを押してから、キーのロゴマークの裏面をパワースイッチに接触させます。（ブザーが “ ピピッ ” と鳴ります。）



2. ブザーが鳴ってから 10 秒以内に、ブレーキペダルⒶをしっかりと踏み込みながら、パワースイッチⒷを押します。



⚠注意

- 左記の手順でプラグインハイブリッド EV システムを起動できない場合は、早めに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

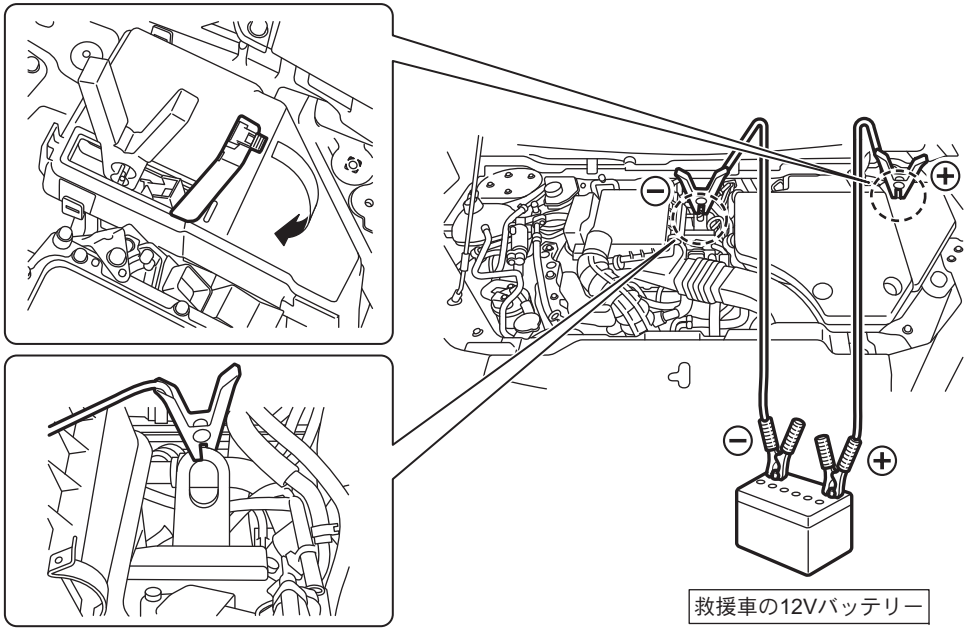
アドバイス

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（エマージェンシーキー）（→（P.9-11）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
  → キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換（P.10-13）

補機用バッテリーがあがったときは

J17802700036

補機用バッテリーがあがり、パワースイッチの電源モードを ON にできなくなったときは、救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで起動してください。
→エンジンルーム内の配置図 (P.10-4)



ALM100249

⚠警告

- 補機用バッテリーに関する注意事項は「補機用バッテリー」(→ P.10-14) を参照してください。

⚠注意

- 救援車は必ず 12V で、自車と同容量以上のバッテリーを装着している車に依頼してください。
- モバイルバッテリー、ジャンプスターターを含むポータブル電源は機種によって電圧が安定しない場合があるため、使用しないでください。プラグインハイブリッド EV システムが起動できなくなるおそれがあります。
- ブースターケーブルは、補機用バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  また、破損や腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- 駆動用バッテリーを充電したままの状態で、補機用バッテリーにブースターケーブルを接続しないでください。車両または充電機器が破損するおそれがあります。

⚠注意

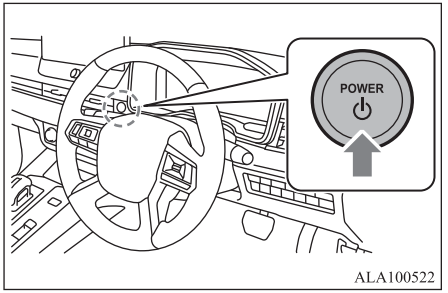
- 補機用バッテリーを外してもパワースイッチの電源モードの状態を記憶しています。救援車とブースターケーブルで接続したときは、電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。
  補機用バッテリーが上がる前の電源モードの状態が分からない場合は、十分注意をしてください。
- シフトポジションがⓅの状態で補機用バッテリーが上がった場合は、Ⓟから他のポジションへの切り替えができないことがあります。その場合は、前輪が固定されているため、前輪を持ち上げないと車両を移動することができません。

ジャンプスタートのしかた

J17802800037

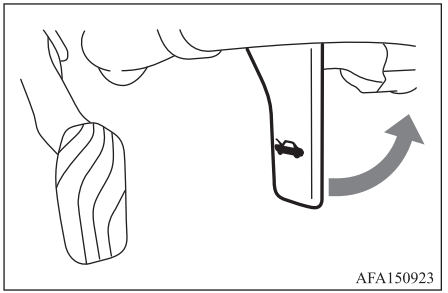
1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車がマニュアル車の場合はシフトレバーをⓃ、オートマチック車の場合はシフトポジションをⓅに入れます。救援車と自車の電動パーキングブレーキを確実にかけ、エンジンを止めます。
4. 自車のパワースイッチの電源モードを OFF にします。

→ パワースイッチの電源モードの切り替えかた (P.7-4)

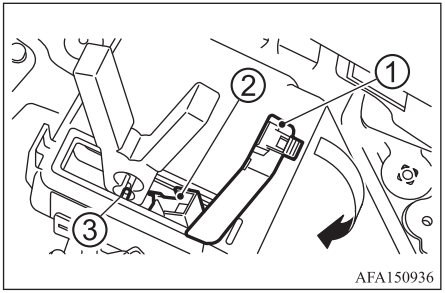


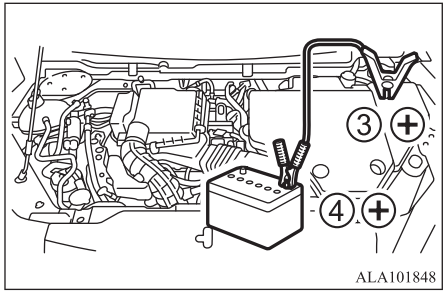
ALA100522

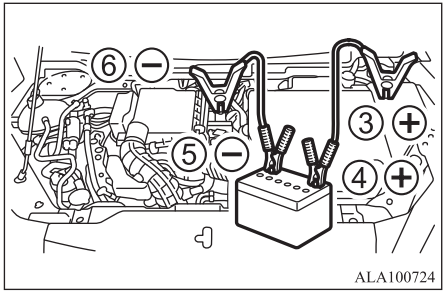
5. 自車の運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。
   → ボンネットの開けかた、閉めかた (P.10-5)


AFA150923

6. ヒューズボックスの蓋①を開ける。



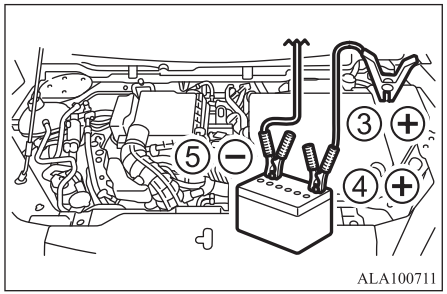




⚠注意

- 取り外し、取り付けるときは、ツメが他部品に引っかからないように気をつけてください。引っかかるとツメが破損するおそれがあります。

7. 自車のヒューズボックス内の救援用端子カバー②をツメを押しながら開けます。
8. ブースターケーブルを自車のヒューズボックスの（＋）端子③に接続します。
9. 手順 8 で接続したケーブルの反対側④を救援車のバッテリーの（＋）端子に接続します。
10. もう1本のブースターケーブル⑤を救援車のバッテリーの（－）端子に接続します。



11. 手順 10 で接続したケーブルの反対側⑥を自車の車体（手順 8 で接続した位置から離れた未塗装の金属部）（→P.9-17）に接続します。
12. 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
13. プラグインハイブリッド EV システムを起動します。
    → プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた（P.7-2）
    プラグインハイブリッド EV システムが起動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。
    プラグインハイブリッド EV システムが起動しないときは、三菱自動車販売会社へご連絡ください。
14. シフトポジションがⓅ以外のすべてに切り替わることを確認します。
15. 最寄りの三菱自動車販売会社で補機用バッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- **ブースターケーブルを接続するときは、必ず次のことをお守りください。**
  火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発し、やけどや重大な障害につながるおそれがあります。
  - ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない
  - バッテリー付近で喫煙したり、マッチやライターなどを使用しない
  - ブースターケーブルは正しい順番、位置に接続する
  - ブースターケーブルの（+）と（−）端子を接触させない
  - ブースターケーブルを自車補機用バッテリーの（−）端子に直接つながない

⚠注意

- **ブースターケーブルの接続時は、救援車のエンジンを止める。**
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて、ケガをするおそれがあります。
- **ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意する。**
- **ブースターケーブルは、確実に接続する。**
  プラグインハイブリッド EV システム起動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。

⚠注意

- **冷却ファンやベルトに注意する。**
  ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。
- **ブースターケーブルは、バッテリーの（＋）と（−）端子を正しく接続してください。**
  逆に接続すると、車の電装品が故障するおそれがあります。
- **指定された位置以外へのブースターケーブルの接続は故障の原因となります。**

⚠注意

- 押しがけによる起動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- プラグインハイブリッド EV システムが起動できない場合には、再度、キー（キーレスオペレーションキー）のドア施錠スイッチかドアハンドルのスイッチを押して、全ドアをロックし、120 秒以上待機してからプラグインハイブリッド EV システムを起動してください。
  何度試しても復帰できない場合は、三菱自動車販売会社にご連絡下さい。
- 補機用バッテリーがあがると、パワースイッチの電源モードの ON・OFF ができなくなります。補機用バッテリーを充電するときは、必ず三菱自動車販売会社に依頼してください。

⚠注意

- プラグインハイブリッド EV システムを起動するときは、ヘッドランプやエアコンなどは OFF にしてください。
- プラグインハイブリッド EV システムが起動しても、しばらくエアコンやオーディオを使用しないでください。

警告灯がついたときは

J17802900038

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	故障警告灯（MIL）	●正常なときは、パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、プラグインハイブリッド EV システムが起動すると消灯します。 ●プラグインハイブリッドEVシステムが作動しているとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。	●点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社に連絡してください。
	補機用バッテリー充電警告灯	●正常なときはパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、プラグインハイブリッド EV システムを起動すると消灯します。 ●補機用バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	●点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社に連絡してください。 ⚠注意 ●**補機用バッテリー充電警告灯が点灯したまま走行しない。** 補機用バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	アンチロックブレーキシステム [ABS] 警告灯	●正常なときは、パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、ABS のシステムに異常があると点灯し続けます。 ●補機用バッテリーが電圧不足のときにプラグインハイブリッド EV システムを起動すると、警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。	●パワースイッチの電源モードを ON にしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 **⚠注意** ●ABS 警告灯が点灯したときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。
	電動パーキングブレーキ警告灯	●正常な時はパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 ●電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点灯または点滅します。	●電動パーキングブレーキを解除しても点灯または点滅が続くときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社に連絡してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキシステム警告灯	●正常なときはパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 •電動パーキングブレーキシステムに異常があるとき •ブレーキシステムに異常があるとき ●滑りやすい坂道や急な坂道など電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動くと点灯します。	●点灯し続けるとき、または点灯しないときは、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●走行中に警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停止し、三菱自動車販売会社に連絡してください。 ●警告灯が点灯しているときに駐車するときは、平らな場所に車を止め、シフトポジションをⓅにして輪止めをしてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキ警告灯	●正常なときは、パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 •ブレーキ液が不足しているとき •ブレーキシステムに異常があるとき	●走行中にブレーキ警告灯が点灯した場合は、車両を停止し、以下の確認を行ってください。 •ブレーキ液量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足してる場合は、ブレーキ液を補充し三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●ブレーキ液量が正常で ABS 警告灯 と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 **⚠警告** ●**ブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。** ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	シートベルト非着用警告灯	●フロントシートベルト非着用警告灯はパワースイッチの電源モードが ON のとき、前席の乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。 ●リヤシートベルト非着用警告灯はパワースイッチの電源モードが ON のとき、リヤ（セカンド）シート / サードシートにシートベルトを着用していない席があると約 75 秒間点灯します。 ●リヤシートベルト非着用警告灯は停車中にリヤドアの開閉をしたとき、リヤ（セカンド）シート / サードシートにシートベルトを着用していない席があると約 75 秒間点灯します。 ●リヤシートベルト非着用警告灯は、リヤ（セカンド）シート / サードシートの乗員が着用しているシートベルトを外すと約 95 秒間点灯します。 ●運転席および助手席の乗員がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約 15km/h 以上）、警告灯が点滅します。 ●走行中に（約 15km/h 以上）リヤ（セカンド）シート / サードシートの乗員が着用していたシートベルトを外すと、警告灯が約 95 秒間点滅します。	●シートベルトを着用してください。 **⚠警告** ●**走行中は全員がシートベルトを着用する。** 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 ●**警告灯の上にステッカーなどを貼ったりしない。** **アドバイス** ●リヤ（セカンド）シート / サードシートに乗員がいないときにもリヤシートベルト非着用警告灯は点灯します。 前席の乗員がシートベルトを着用している状態で、リヤシートベルト非着用警告音（シートベルト非装着ウォーニング）が鳴っていないときは、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すとリヤシートベルト非装着警告灯を消すことができます。 ●助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
		●停車中、リヤ（セカンド）シート / サード シートの乗員が着用しているシートベル トを外した後にリヤドアの開閉をすることなく走行を開始すると（約 15km/h 以上）、警告灯が約 95 秒間点滅します。 **フロントシートベルト非着用警告音（シートベルト非着用ウォーニング）** ●前席の乗員がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約 15km/h 以上）、約 95 秒間ブザーが鳴ります。 **リヤシートベルト非着用警告音（シートベルト非着用ウォーニング）** ●走行中、リヤ （セカンド）シート / サードシートの乗員が着用しているシートベルトを外すと約 95 秒間ブザーが鳴ります。 ●停車中、リヤ（セカンド）シート / サード シートの乗員が着用しているシートベル トを外した後にリヤドアの開閉をすることなく走行を開始すると（約 15km/h 以上）、約 95 秒間ブザーが鳴ります。	●停車してリヤドアを開閉するまで、走行を開始した時点のシートベルトの着用状態（着用しているシートベルトの数）を記憶しています。マルチインフォメーションディスプレイに表示される（緑席）の数と、車両が記憶しているシートベルト着用の数が一致すると、マルチインフォメーションディスプレイの表示は消えます。 ●停車中にパワースイッチの電源モードが ON の状態でリヤドアを開閉した場合、後席用シートベルト非着用警告システムはリセットされ、パワースイッチの電源モードを ON にしたときの制御に変わります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	SRS エアバッグ警告灯	●正常なときは、パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、SRS エアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。	⚠警告 ●**パワースイッチの電源モードを ON にしても点灯しないとき、または点灯を続けるときは、放置したまま走行しない。** 万一のとき SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	アクティブスタビリティコントロール [ASC] 警告灯	●正常なときは、パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、ASC が作動すると点滅します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、ASC、ヒルスタートアシスト [HSA] の電子制御システムに異常があると点灯し続けます。	●点灯したときは ASC、HSA の作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 → アクティブスタビリティコントロール [ASC]（P.7-38） → ヒルスタートアシスト [HSA]（P.7-40）
	プラグインハイブリッド EV システム警告灯	●正常なときはパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●プラグインハイブリッドEVシステムに異常があると点灯します。	●点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社に連絡してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	●プラグインハイブリッドEVシステム起動中、エンジンオイルの圧力が低下すると 警告を表示します。	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社に連絡してください。 ⚠注意 ●**油圧警告灯が点灯したまま走行しない。** エンジンオイルが不足したまま運転したり、エンジンオイルの量が正規であっても警告表示したままで運転するとエンジンが焼き付き、破損するおそれがあります。 エンジンを破損するおそれがあります。
	電制シフト警告灯	●パワースイッチの電源モードがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●マルチインフォメーションディスプレイ内にメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	電動パワーステアリング警告灯	●正常なときは、パワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、プラグインハイブリッド EV システムが起動すると消灯します。 ●プラグインハイブリッドEVシステムが作動しているとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。 **⚠注意** ●ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。 **アドバイス** ●すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがありますが、異常ではありません。
	マスターウォーニング	●マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。	●同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。 警告メッセージ（→P.9-34）

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	手放し警告灯	●マイパイロット（ナビリンク機能付）で車線維持支援機能 [LKA] を行っているとき、ハンドルを持っていないまたはハンドル操作が検出されないと点灯します。 ●手放し警告灯が点灯しているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告灯が点滅し、LKA は解除されます。 ●マイパイロット（ナビリンク機能付）の車線維持支援機能 [LKA] システムに異常があると点灯します。	●速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告灯は消灯し、LKA が復帰します。 ●ハンドル操作をしても警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
	車両接近通報装置 [AVAS] 警告灯	●AVAS に異常があると点灯します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けて ください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	燃料残量警告灯	●燃料が約 6ℓ 以下になると、黄色に点灯します。	●燃料がほとんどありません。ただちに指定の燃料を補給してください。 ⚠注意 ●**この車は、燃料切れになると、発電が必要な状況においてもエンジンがかからず、次のような性能低下が生じます。** •走行性能が低下する（駆動用バッテリーのエネルギーしか走行に使えないため） •ヒーターが効かない（ヒートポンプ無車） •ヒーターが効きにくくなる（ヒートポンプ付車） •触媒装置が異常高温となり損傷するおそれがある
	衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 警告灯	●次の場合は点灯します。 •FCM を OFF にしているとき •フロントガラスのセンサー部に汚れ、雨、雪、氷などが付着しているとき •悪天候 (雨、雪、砂嵐など) のとき •前方車両や対向車が路上の水や雪、砂などを巻き上げて走行しているとき	●FCM を ON にしてください。 ●FCM が作動できる状態になると表示は消えて、FCM 機能は自動的に再開します。表示が消えない場合はセンサーの異常の可能性がありますので、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] 警告灯	●パワースイッチの電源モードをONにすると点灯し、プラグインハイブリッドEV システムが起動すると消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、EAPM を OFF にすると点灯します。	●EAPM を ON にすると消灯します。 ●EAPMをONにしても点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

表示灯がついたときは

J17803000036

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、次の説明をお読みください。メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	●非常点滅灯スイッチを押すと左右同時に点滅します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。	●方向指示器のランプとメーター内の方向指示器表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器の故障などが考えられますので、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 → 方向指示器の使いかた（P.7-21） → 外装ランプが点灯しないときは（P.9-74）
	ヘッドライト上向き表示灯	●ヘッドライトのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	→ ハイビーム（上向き）への切り替えかた（P.7-21）
	ヘッドライト下向き表示灯	●ヘッドライトのロービーム（下向き）を点灯させると点灯します。	→ ライトスイッチの使いかた（P.7-16）

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ポジションランプ表示灯	●車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	→ ライトスイッチの使いかた（P.7-16）
	READY（走行可能）表示灯	●走行が可能な状態になると点灯します。（走行中も点灯し続けます。） ●プラグインハイブリッド EV システム起動時、走行が可能な状態になるまで点滅します。	→ プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた（P.7-2）
	フロントフォグランプ表示灯	●フロントフォグランプを点灯させると点灯します。	→ フロントフォグランプの使いかた（P.7-23）
	リヤフォグランプ表示灯	●リヤフォグランプを点灯させると点灯します。	→ リヤフォグランプの使いかた（P.7-23）
	アダプティブ LED ヘッドライト [ALH] 表示灯	●ALH を ON にすると点灯します。	→ アダプティブ LED ヘッドライト [ALH]/オートマチックハイビーム [AHB] を ON にする方法（P.7-18）
	オートハイビーム [AHB] 表示灯	●AHB を ON にすると点灯します。	
	イノベーティブペダル オペレーションモード表示灯	●イノベーティブペダル オペレーションモードを ON にすると点灯します。	→ イノベーティブペダル オペレーションモード（P.7-27）
	アクティブスタビリティコントロール [ASC] OFF 表示灯	●パワースイッチの電源モードをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●パワースイッチの電源モードがONのとき、ASC を OFF にすると点灯します。	→ アクティブスタビリティコントロール [ASC]（P.7-38）

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキオートホールド表示灯（白色 / 緑色）	●ブレーキオートホールドが作動しているときに点灯します。	→ ブレーキオートホールド（P.7-10）
	充電表示灯	●普通充電ケーブルまたは急速充電ケーブルが接続されると点灯します。その後充電または V2H 充放電が開始されると点滅します。 ●充電が完了すると消灯します。充電が完了したあとにパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯します。 ●停電時に車両から V2H 機器に電源供給した場合、充電表示灯が点滅します。	●急速充電が正常に終了しなかった場合でも、プラグインハイブリッド EV システムを起動することはできます。 → 充電トラブルシューティングガイド（P.3-24）
	ヒルディセントコントロール [HDC] 表示灯	●正常な時はパワースイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ●HDC の作動中は点灯します。 ●HDC を ON にしても、作動条件を満たしていない場合は点滅します。	→ ヒルディセントコントロール [HDC]（P.7-41）

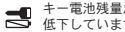
9 警告メッセージが表示されたときは

J17803100037

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明･対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告メッセージ

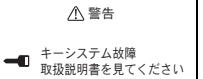
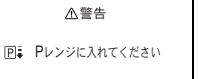
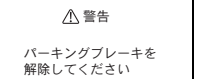
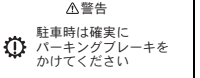
J17803200041

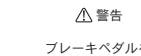
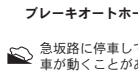
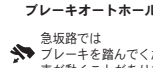
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	プラグインハイブリッド EV システム起動操作表示	●キーレスオペレーションキーを持って車室内に入ると表示します。	●ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押してください。プラグインハイブリッド EV システムが起動します。 **アドバイス** ●次の場合、表示が消えます。 •プラグインハイブリッド EV システムを起動したとき •リモコン機能、またはドアハンドルのスイッチでドアを施錠したとき
	キーレスオペレーションキー非作動時プラグインハイブリッド EV システム起動表示	●キーレスオペレーションキーの電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。	●パワースイッチを押してから、キーレスオペレーションキーのロゴマークの裏面をパワースイッチに接触させてください。 → キーレスオペレーションキーで起動できないときは (P.9-15)
	キーレスオペレーションキー電池切れ表示	●キーレスオペレーションキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。	●新しい電池に交換してください。 → キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換 (P.10-13) **アドバイス** ●パワースイッチの電源モードを ON 以外にすると表示が消えます。

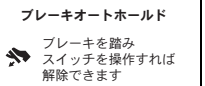
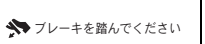
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	キーレスオペレーションキー持ち出し警告	●パワースイッチの電源モードが ON のとき、キーレスオペレーションキーが車外に持ち出されると表示します。 ●次のときにパワースイッチの電源モードを切り替えようとすると表示します。 •キーレスオペレーションキーを携帯していないとき •携帯しているキーレスオペレーションキーの電池が切れているとき •登録されていないキーレスオペレーションキーを携帯しているとき	●キーレスオペレーションキーが車外に持ち出されていないか確認してください。 ●キーレスオペレーションキーを携帯してください。 ●新しい電池に交換してください。 → キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換 (P.10-13) ●自車のキーレスオペレーションキーであることを確認してください。 ●プラグインハイブリッド EV システムを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。 •パワースイッチをすばやく 3 回押す •パワースイッチを 2 秒以上押し続ける
	ドア開き警告	●ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。	●ドアを確実に閉めてください。 アドバイス ●走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

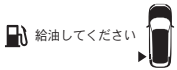
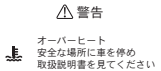
9

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	シートベルト警告	●パワースイッチの電源モードが ON のとき、後席にシートベルトを着用していない席があると、シートベルトを着用していない席を赤色で表示します。 ●停車中にリヤドアの開閉をしたとき、後席にシートベルトを着用していない席があると、シートベルトを着用していない席を赤色で表示します。 ●リヤ（セカンド）シート / サードシートの乗員が着用していたシートベルトを外すと、警告を表示します。 ●シートベルトを着用している席は緑色で表示されます。	●シートベルトを着用してください。 **⚠警告** ●**走行中は全員がシートベルトを着用する。** 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 **アドバイス** ●後席に乗員がいないときにもシートベルト警告は表示します。 リヤシートベルト非着用警告音（シートベルト非着用ウォーニング）が鳴っていないときは、ステアリングスイッチのダイヤルスイッチを押すと表示を消すことができます。 シートベルトを外した後にリヤドアの開閉をすることなく走行を開始すると (約 15km/h 以上)、再度警告を表示します。 ●停車してリヤドアを開閉するまで、走行を開始した時点のシートベルトの着用状態（着用しているシートベルトの数）を記憶しています。マルチインフォメーションディスプレイに表示される（緑席）の数と、車両が記憶しているシートベルト着用の数が一致すると、マルチインフォメーションディスプレイの表示は消えます。 ●停車中にパワースイッチの電源モードが ON の状態でリヤドアを開閉した場合、後席用シートベルト非着用警告システムはリセットされ、パワースイッチの電源モードを ON にしたときの制御に変わります。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	キーシステム警告	●キーシステムに異常があると表示します。	●三菱自動車販売会社にご連絡ください。プラグインハイブリッド EV システムが起動できないことやパワースイッチの電源モードが切り替わらないことがあります。
	Ⓟ戻し忘れ警告	●シフトポジションがⓅ以外で、運転席ドアを開けたときに点灯します。	●シフトポジションをⓅに切り替えてください。
	電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告	●電動パーキングブレーキをかけ、運転席ドアが開いた状態でアクセルペダルを踏み、発進すると表示します。	●運転席ドアを閉めてください。 ●すみやかに電動パーキングブレーキを解除してください。
	パーキングロック異常表示	●パーキングロックユニットに何らかの異常が発生し、電動パーキングブレーキをかけないとプラグインハイブリッド EV システムを停止できない状態のときに表示します。	●ただちに安全で平坦な場所に電動パーキングブレーキをかけて停車し、三菱自動車販売会社へご連絡ください。 →電動パーキングブレーキ（P.7-8）

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	電動パーキングブレーキ警告	●急な坂道などで電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動くと表示し、ブザーが鳴ります。 ●電動パーキングブレーキがかかった状態で、ブレーキペダルを踏まずに電動パーキングブレーキスイッチを押した場合に表示します。	●すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ●解除する場合は、ブレーキペダルを踏んでから電動パーキングブレーキスイッチを押し下げてください。 → 電動パーキングブレーキ（P.7-8）
	ブレーキペダル警告	●ブレーキオートホールドやマイパイロット（ナビリンク機能付）を使用して、坂道などで停車状態の保持をしているときに車両が動き出すと、ブレーキペダルを踏むまで警告音とともに表示します。	●ブレーキペダルを踏んで車を停止させてください。
	急坂路注意表示	●ブレーキオートホールド、マイパイロット（ナビリンク機能付）を使用して急坂路に停車したときに表示します。	●車が動くことがありますので注意してください。
	急坂路操作表示	●ブレーキオートホールド、マイパイロット（ナビリンク機能付）を使用して急坂路に停車に一定時間以上しており、電動パーキングブレーキに切り替わる前に表示します。	●車が動く可能性がありますのですみやかにブレーキペダルを踏んでください。

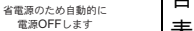
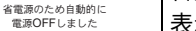
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	ブレーキオートホールドスイッチ解除操作表示	●ブレーキオートホールド作動中、ブレーキペダルを踏まずにブレーキオートホールドスイッチを押したときに表示します。	●ブレーキペダルを踏んでからブレーキオートホールドスイッチを押してください。 →ブレーキオートホールド（P.7-10）
	ずり下がり防止警告表示	●ブレーキオートホールド中またはレーダークルーズコントロールシステム [ACC] によるブレーキオートホールド中に車両が動いた場合に表示します。	●すみやかにブレーキペダルを踏んでください。

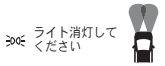
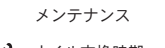
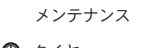
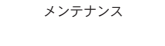
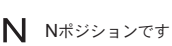
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	燃料残量警告表示	●燃料が少なくなると表示します。	●燃料が約 6ℓ 以下になると、インフォメーション画面が燃料残量警告表示の割り込み表示に切り替わり、燃料残量表示の ⛽ が黄色に点灯します。 インフォメーション画面の燃料残量警告表示は数秒後に元の画面に戻ります。 燃料がほとんどありません。ただちに指定の燃料を補給してください。 ⚠注意 ●**燃料残量警告表示が出た場合には、ただちに燃料を補給するようにしてください。** この車は、燃料切れになると、発電が必要な状況においてもエンジンがかからず、次のような性能低下が生じます。 •走行性能が低下する（駆動用バッテリーのエネルギーしか走行に使えないため） •ヒーターが効かない（ヒートポンプ無車） •ヒーターが効きにくくなる（ヒートポンプ付車） •触媒装置が異常高温となり損傷するおそれがある
	オーバーヒート警告	●エンジン冷却水の温度が異常に高くなると表示します。	●表示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。 → オーバーヒートしたときは（P.9-67） ⚠注意 ●**表示したまま走行をしない。** そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
⚠警告 シャシー制御 システム故障 取扱説明書を見てください	シャシー制御表示	●シャシー制御のシステムに異常があると表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
⚠警告 踏み間違い衝突防止 アシストが作動しました	踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] 作動時表示	●EAPM が作動すると表示します。	●進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルの踏み間違えとシステムが判断したときに作動します。 → 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（P.7-76）
⚠警告 ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	●LED ヘッドライトに異常があると表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
⚠警告 システム故障 取扱説明書を見てください	システム故障警告	●マイパイロット（ナビリンク機能付）、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]、踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]、後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]、後側方衝突防止支援システム [ABSA]、車線逸脱警報システム [LDW]、車線逸脱防止支援機能 [LDP]、前方衝突予測警報 [PFCW]、後退時車両検知警報システム [RCTA]、標識認識システム [TSR] が故障すると表示します。	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。 ●再起動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 → マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46） → 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） → 前方衝突予測警報 [PFCW]（P.7-73） → 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（P.7-76） → 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90） → 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85） → 後退時車両検知警報システム [RCTA]（P.7-98） → 標識認識システム [TSR]（P.7-103）

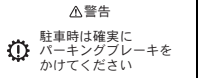
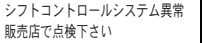
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
⚠ 警告 システム故障 取扱説明書を見てください	ふらつき警報 [DAA] システム異常警告	●ふらつき警報 [DAA] に異常があると表示します。	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから再起動してください。 ●再起動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 → ふらつき警報 [DAA]（P.7-101）
センサー故障 取扱説明書を見てください	パーキングセンサーシステム異常警告 A	●パーキングセンサーシステムが故障した時に表示します。	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止します。スマートフォン連携ナビゲーションの電源が完全に OFF になったことを確認してから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。 ●再起動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。 通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 → パーキングセンサー（フロント / リヤ）について（P.7-114） → 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（P.7-76）

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
現在ソナーが使用できません	パーキングセンサーシステム異常警告 B	●一時的にソナー (パーキングセンサーシステムのセンサー部分) が異常を検知して使用できない状態になると表示します。	●しばらく時間を置いたり、センサー表面に付着した汚れや泥、氷、水滴などを取り除いてください。 ●踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] で、障害物の検知ができないことがあります。 ●上記の対処後もメッセージを表示するときは、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。再起動後もメッセージが消えない場合は、システムもしくはセンサーの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 → パーキングセンサー（フロント / リヤ）について（P.7-114） → 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]（P.7-76）
ふらつき警報 休憩しませんか？	ふらつき警報 [DAA] 表示	●運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。	●表示・非表示の設定ができます。 → ふらつき警報 [DAA]（P.7-101）
⚠警告 注意してください	進入禁止標識検知表示	●前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合はマルチインフォメーションディスプレイ、ヘッドアップディスプレイに警告表示します。	●表示・非表示の設定ができます。 →TSR について（P.7-103）

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	最高速度標識検知表示	●前方の最高速度標識を検知した場合には、マルチインフォメーションディスプレイ、ヘッドアップディスプレイおよび走行支援グループに表示されます。	●表示・非表示の設定ができます。 →TSR について（P.7-103）
	一時停止標識検知	●前方の一時停止標識を検知した場合には、ヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイに表示します。	●表示・非表示の設定ができます。 →TSR について（P.7-103）
	自動電源 OFF 表示 A	●プラグインハイブリッド EV システムが停止している状態で、パワースイッチの電源モードを ON にしたましばらくすると表示します。	●そのままパワースイッチの電源モードを切り替えないと、省エネのためパワースイッチの電源モードが OFF になります。
	自動電源 OFF 表示 B	●プラグインハイブリッド EV システムが停止している状態で、パワースイッチの電源モードを ON にしたまま時間が経過し、パワースイッチの電源モードが自動で OFF になったときに表示します。	

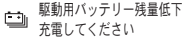
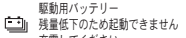
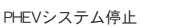
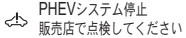
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	ライト消し忘れ警告	●パワースイッチの電源モードが ON 以外のときにライトスイッチを AUTO 以外の位置に動かし、運転席ドアを開けるとブザーが鳴ります。	●ライトスイッチを AUTO にしてください。
	オイル / オイルフィルター交換表示	●設定したオイル / オイルフィルター交換距離に達すると表示します。	●オイル / オイルフィルター交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 → メンテナンス（P.5-40）
	タイヤ交換表示	●設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。	●タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 → メンテナンス（P.5-40）
	メンテナンス距離表示	●オイル / オイルフィルター、タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。	●その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。 → メンテナンス（P.5-40）
	凍結注意アラーム表示	●外気温が3℃以下になったことを知らせます。	●表示・非表示の設定ができます。 設定（→P.5-30）
	走行時間アラーム表示	●設定した時間まで連続走行したことを知らせます。	●任意の時間に設定ができます。 設定（→P.5-30）
	N ポジション表示	●シフトポジションがⓃの状態でアクセルペダルが踏み込まれていると表示します。	●発進するときは、シフトポジションがⒹ／Ⓑまたは Ⓡであることをポジションインジケーターで確認してからアクセルペダルを踏み込んでください。 → セレクターレバー（P.7-5）

9

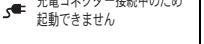
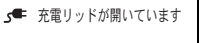
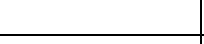
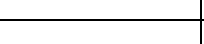
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	電制シフト警告A	●電制シフトに異常が発生したときに表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●駐車するときは、電動パーキングブレーキを確実にかけてください。電動パーキングブレーキをかけていないと、パワースイッチの電源モードを OFF にできないことがあります。 ●パワースイッチの電源モードを OFF にできないときは、次の操作を行ってください。 •(1) 停車して電動パーキングブレーキをかけます。 •(2) ブレーキペダルを踏み込みながらパワースイッチを押して、パワースイッチの電源モードを ON に切り替えます。 •(3)セレクターレバーにある(P)スイッチを押して Ⓟ に切り替えます。 •(4) パワースイッチを押して、OFF に切り替えます。
	電制シフト警告B	●電制シフトに異常が発生したときに表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ●シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクターレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ●駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけて、セレクターレバーにある (P) スイッチを押し、Ⓟ に切り替わったことを確認してください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
⚠警告 シフトレバーの位置を確認してください	シフトポジション警告	●電制シフトに異常が発生したときに表示します。	●セレクターレバーが中央の位置にあるか確認してください。 ●シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクターレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。
⚠警告 4WD 4WDシステム異常 取扱説明書を見てください	4WD システム警告	●4WD システムに異常が発生したときに表示します。	●4WD システムに異常が発生しているため、前後輪の駆動力配分が正しくできない状態になっています。高速走行をせず、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
走行出力制限中	出力制限警告	●トランスアクスルが高温のため、安全装置が作動しているときに表示します。	●出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ●トランスアクスルの温度が下がると出力制限が解除されます。
駆動用バッテリー低温 EVモードを 現在使用できません 駆動用バッテリー低温 EVモードが キャンセルされました	EV モード警告 A	●駆動用バッテリーの温度が低下し、EV プライオリティモードが使用できない、またはキャンセルされた場合に表示します。	●システムが暖機を必要と判断しているため、EV プライオリティモードを使用できません。 ●駆動用バッテリー温度と連動して表示します。 → 極寒時の注意事項と対処方法（P.2-12）
駆動用バッテリー残量低下のため EVモードを現在使用できません 駆動用バッテリー残量低下のため EVモードがキャンセルされました	EV モード警告 B	●駆動用バッテリーの残量が少なくなり、EV プライオリティモードが使用できない、またはキャンセルされた場合に表示します。	●チャージモードで走行するなど、駆動用バッテリー残量を増やしてから EV プライオリティモードを選択してください。 →EV モードセレクタースイッチ（P.7-32）

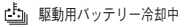
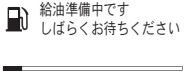
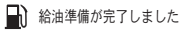
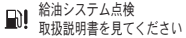
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
クルーズコントロール作動のためEVモードを現在使用できません クルーズコントロール作動のためEVモードがキャンセルされました	EV モード警告C	●マイパイロット（ナビリンク機能付）が選択され、モーター走行可能速度以上で走行している場合に表示します。	●車速がモーター走行可能速度域になると、EV プライオリティモードを使用可能になります。
EVモードを現在使用できません EVモードがキャンセルされました	EV モード警告D	●プラグインハイブリッド EV システムの保護機能が働いている、または外気温が非常に低い、満充電付近の減速時など、EV プライオリティモードの作動条件から外れていると表示します。	●システムの判断により EV プライオリティモードを使用できません。 ●作動条件を満たすと表示が消えるので、そのときに EV プライオリティモードを選択してください。 →EV モードセレクタースイッチ（P.7-32）
SAVE/CHARGEモード一時使用できません SAVE/CHARGEモードキャンセルされました	SAVE/CHARGE警告	●SAVE（バッテリーセーブ）/CHARGE（バッテリーチャージ）モードの作動条件から外れていると表示します。	●システムの判断により SAVE（バッテリーセーブ）/CHARGE（バッテリーチャージ）モードを使用できません。 （エンジン冷却水の温度が高いとき、燃料が少ないとき、電池が低温のとき） ●作動条件を満たすと表示が消えるので、そのときに SAVE（バッテリーセーブ）/CHARGE（バッテリーチャージ）モードを選択してください。 →EV モードセレクタースイッチ（P.7-32）

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	駆動用バッテリー充電警告 A	●エンジン故障やガソリンが不足してエンジンが作動できない場合に外部充電等で充電した電力で EV 走行を継続し、駆動用バッテリーの残量が減って走行停止するおそれがある場合に表示します。	●駆動用バッテリーの充電が必要です。 → 充電する（P.3-14） ●燃料残量警告灯が点滅しているときはすみやかに給油してください。
	駆動用バッテリー充電警告 B	●駆動用バッテリーの残量が極端に少なく、プラグインハイブリッド EV システムを起動できない場合に表示します。	●駆動用バッテリーの充電が必要です。 → 充電する（P.3-14）
	駆動用バッテリー熱暴走警告 A	●走行中、駆動用バッテリーに異常発生し、熱暴走にいたる危険を検知した時に表示します。	●すみやかに安全な場所停車し、車外に退避してから三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	駆動用バッテリー熱暴走警告 B	●停車中、駆動用バッテリーに異常発生し、熱暴走にいたる危険を検知した時に表示します。	●すみやかに車外に退避し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	PHEV システム警告 A	●停車中、プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、プラグインハイブリッド EV システムが停止しているときに表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

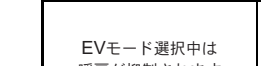
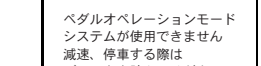
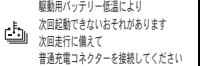
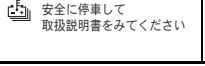
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
PHEVシステム故障 次回起動できません	PHEV システム警告 B	●プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、プラグインハイブリッド EV システムが再起動できないときに表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
PHEVシステム故障 走行制限中 販売店で点検してください	PHEV システム警告 C	●プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社にご連絡ください。
PHEVシステム停止 安全に停車してください	PHEV システム警告 D	●走行中、プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、プラグインハイブリッド EV システムが停止しているときに表示します。	●すみやかに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
PHEVシステム停止 パーキングブレーキをかけてください	PHEV システム警告 E	●停車中、プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、プラグインハイブリッド EV システムが停止しているときに表示します。	●すみやかに電動パーキングブレーキをかけ、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
PHEVシステム故障 販売店で点検してください	PHEV システム警告 F	●プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、プラグインハイブリッド EV システムが停止せず、大きな出力が制限されていない時に表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

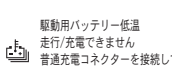
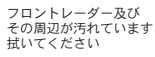
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	PHEV システム警告 G	●走行中、プラグインハイブリッド EV システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	●すみやかに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	充電コネクター取り外し警告	●車両に充電コネクターが接続された状態で、プラグインハイブリッド EV システムを起動（パワースイッチの電源モードを ON）しようとしたときに表示します。	●充電コネクターを取り外してからプラグインハイブリッド EV システムを起動してください。
	充電リッド開表示	●充電リッドが開いているときに表示します。	●走行前にシフトポジションを(P)にしてから、充電リッドを閉めてください。
	充電器異常警告	●充電器に異常が検出されたため、充電が停止したときに表示します。	●充電器の状態を確認し、必要に応じて充電器に記載された連絡先に連絡してください。
	充電システム異常警告	●車両または充電ケーブルに異常が検出されたため、充電が停止したときに表示します。	●すぐに充電を中断し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
	充電開始不能警告	●シフトポジションが(P)以外、またはパワースイッチの電源モードが OFF になってない状態で充電を開始すると表示されます。	●シフトポジションを(P)にし、パワースイッチの電源モードを OFF にしてから充電してください。

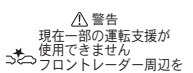
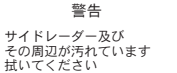
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
充電停止しました	充電停止警告	●普通充電の場合 •充電ケーブルの接続不良、アース接続不良、停電または漏電により充電が中断された場合に表示します。 ●急速充電の場合 •お客さまの操作での中断、一定時間経過で中断された場合に表示します。 •接続不良または停電により充電を中断した場合に表示します。 •車両または急速充電器側での何らかの異常が発生したため、充電を中断した場合に表示します。	●普通充電の場合 •充電ケーブルを正しく接続してください。 → 普通充電のしかた（P.3-6） •コンセントのアース線が断線または接続されていません。コンセントのアース状態をご確認ください。コントロールボックスのインジケーターを確認してください。 → 普通充電のしかた（P.3-15） •停電により充電が中断されたときは、電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。 •漏電遮断機が作動していないか確認してください。 ●急速充電の場合 •充電ケーブルを正しく接続してください。 → 急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた（P.3-17） •停電により充電が中断されたときは、電気の復旧後、再度充電開始操作を行ってください。 •マルチインフォメーションディスプレイまたは急速充電器側の画面に警告表示が出ている場合、その表示に従い処置してください。
充電完了しました	充電完了表示	●駆動用バッテリーの充電が完了したときに表示します。	●→ 充電について（P.3-6）
満充電になりました 電装品使用のため 充電を継続します	充電継続表示	●満充電まで充電ができ、正常に終了したが、エアコン等の電装品が作動しているため、充電が継続していると表示します。	-

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	駆動用バッテリー冷却中表示	●普通充電・急速充電・V2H中に駆動用バッテリーを冷却しているときに表示します。	-
	駆動用バッテリー暖房中表示	●普通充電中に駆動用バッテリーを暖房しているときに表示します。	-
	給油準備表示	●フューエルリッド（燃料補給口）を開ける準備をしているときに表示します。	●準備が完了するまでお待ちください。（→P.6-49）
	給油準備完了表示	●フューエルリッド（燃料補給口）を開ける準備が完了し、フューエルリッド（燃料補給口）が開いたときに表示します。	●給油を開始できます。（→P.6-49）
	給油システム異常警告	●給油システムに何らかの異常が検出されると表示します。	●すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
	燃料メンテナンス警告 A	●約 3ヶ月間一度も 20ℓ 以上の給油をしていない。燃料タンク内に燃料が長期間滞留している場合など、お車の使用状況によっては頻繁に表示されることがあります。	●1 回で 20ℓ 以上給油してください。給油すると警告表示は消えます。燃料残量計の表示が半分になれば、確実に 20ℓ 以上給油可能となります。 ●燃料の残量が多くて給油できないときは、普通充電や急速充電をせず車を使用してください。

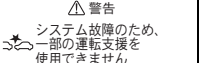
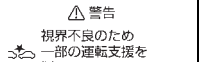
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
給油口を閉めてください	フューエルリッド開警告	●フューエルリッド（燃料補給口）が開いたままのとき表示されます。	●フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してから、フューエルリッド（燃料補給口）を閉めてください。（→P.6-49）
古い燃料を消費しています 一度に20L以上給油すると エンジンを停止できます	燃料メンテナンス警告 B	●約3ヶ月間燃料が1回に約20ℓ以上給油されていないと、エンジンや燃料系部品のメンテナンスのため READY（走行可能）表示灯が点灯している間エンジンが自動的に始動されますが、故障ではありません。燃料タンク内に燃料が長期間滞留している場合など、お車の使用状況によっては頻繁に表示されることがあります。	●1 回で 20ℓ 以上給油してください。警告とバッテリーチャージモード表示画面は消え、メンテナンスのためにエンジンが自動的に始動することはなくなります。燃料残量計の表示が半分になれば、確実に 20ℓ 以上給油可能となります。 ●燃料の残量が多くて給油できないときは、普通充電や急速充電をせず車を使用してください。
消費電力が大きいと 充電中でも駆動用バッテリー残量が 減ることがあります	充電中エアコン ON 表示	●充電中にパワースイッチの電源モードを ON にして、エアコンをつけたときに表示します。	●充電しながら電装品の使用ができます。 → 充電中の電装品の使いかた（P.3-21） ただしエアコン等の電力消費により、充電中でもバッテリー残量が減ることがあります。
駆動用バッテリー残量低下のため エアコンを現在使用できません	エアコン使用不可警告	●駆動用バッテリーの残量が低いとき、EV モードでエアコンが使用できないときに表示します。	●駆動用バッテリーの残量を十分に充電すると、再度エアコンが使用できます。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	エアコン再使用可能表示	●「バッテリー残量が少ないためエアコンを現在使用できません」表示が出ている状態で駆動用バッテリーが十分に充電され、再度エアコンが使用できる状態になったとき表示されます。	●エアコンが再使用できます。
	暖房能力低下表示	●充電中にパワースイッチの電源モードを ON にして、エアコンをつけたとき表示されます。	●充電中はエンジンをかけられないため、低外気温では暖房能力が不足する場合があります。
	暖房抑制表示	●エアコンの暖房を使用中に EV プライオリティモードに設定したとき表示します。	●暖房を効かせたいときは、EV プライオリティーモードを解除してください。 →EV モードセレクタースイッチ（P.7-32）
	イノベーティブペダル オペレーションモード使用不可警告	●イノベーティブペダル オペレーションモードが使用できない時に表示します。	●減速、停車する際はブレーキを踏んでください。
	駆動用バッテリー低温警告 A	●駆動用バッテリーの温度が低下すると表示します。	●普通充電コネクターを接続し、日中、気温が上がるのを待ってから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。
	駆動用バッテリー低温警告 B	●走行中、駆動用バッテリーの温度が極端に低いときに表示します。	●安全な場所に停車してください。駐車後は、日中、気温が上がるのを待ってから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	駆動用バッテリー低温警告 C	●停車中、駆動用バッテリーの温度が極端に低い（-30 ℃以下）ときに表示します。	●普通充電コネクターを接続し、日中、気温が上がるのを待ってから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。
	フロントレーダーシステム停止警告	●車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 •→ マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46） •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW] （P.7-73） ●次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。 •長い橋を走行しているとき •砂地や雪原を走行しているとき •長い壁の近くを走行しているとき	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。 ●停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	フロントレーダーシステム停止警告	●車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW] （P.7-73）	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。 ●停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。
	サイドレーダーシステム停止警告	●車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 •→ 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ／後側方衝突防止支援システム [ABSA]（P.7-90） •→ 後退時車両検知警報システム [RCTA] （P.7-98）	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、プラグインハイブリッド EV システムを再始動してください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
作動範囲外のため 現在使用できません	作動範囲外警告	●次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 •→ マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46） •後側方衝突防止支援システム [ABSA]（→P.7-90） •車線逸脱防止支援機能 [LDP]（→P.7-85） ●ASC を OFF にしたとき ●ドライブモードを SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードにしたとき	●停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、再び ON にしてください。
滑りやすい路面のため 現在使用できません	スリップ警告	●次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 •マイパイロット（ナビリンク機能付）（→P.7-46） •後側方衝突防止支援システム [ABSA]（→P.7-90） •車線逸脱防止支援機能 [LDP]（→P.7-85） ●ABS または ASC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき	●停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、再び ON にしてください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 故障警告	●衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] が故障すると表示します。	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してから、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。 ●再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW] （P.7-73）
	衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 視界不良警告	●悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いときに表示します。	●悪天候時には衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] は作動しません。 ●状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW] （P.7-73）

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
カメラが高温のため 現在使用できません	カメラ高温警告	●炎天下に駐車したときなど、フロントカメラが高温になり、次のシステムが停止すると表示します。 •→ マイパイロット（ナビリンク機能付）（P.7-46） •後側方衝突防止支援システム [ABSA]（→P.7-90） •→ 車線逸脱警報システム [LDW] ／車線逸脱防止支援機能 [LDP]（P.7-85） •→ 標識認識システム [TSR]（P.7-103）	●停止したシステムを再び作動させる場合は、フロントカメラ周辺の温度が下がってから、再び ON にしてください。
⚠ 警告 カメラが高温のため 一部の運転支援を 制限しています		●カメラおよびカメラ周辺の温度が高いときに表示します。	●室内の温度が下がるとシステムは自動的に作動を再開します。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW]（P.7-73）
⚠ 警告 現在一部の運転支援が 使用できません 前方カメラ周辺のガラスを 拭いてください	カメラ視界不良警告	●雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラス凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったときに表示します。 ●夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したときに表示します。	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してからカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除き、プラグインハイブリッド EV システムを再始動してください。 ●停止したときの状態が改善されると、システムは作動を再開します。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW]（P.7-73）

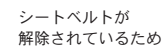
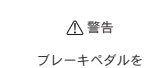
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
⚠警告 ASC OFFのため 一部の運転支援を 制限しています	ASC OFF 警告	●ASC を OFF にしたときに表示します。	●ASCをOFFにしたときは衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] は作動しません。 ●前方衝突予測警報 [PFCW] は作動します。
⚠警告 電波障害のため 一部の運転支援を 制限しています	衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 電波障害警告	●放送局など周辺の電波源により影響を受けているときに表示します。	●周辺の電波源による影響を受けているときは衝突被害軽減ブレーキは作動しません。 ●状態が改善されると、システムは作動を再開します。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW] （P.7-73）
⚠警告 現在一部の運転支援を 制限しています	衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 作動制限警告	●衝突被害軽減ブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき表示します。 →FCM の作動が停止するとき（P.7-72） ●けん引されているときに表示します。	●安全な場所に停車し、一度パワースイッチの電源モードを OFF にしてから再始動してください。 ●けん引されているときは衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] は作動しません。 ●状況が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。 •→ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]（P.7-68） •→ 前方衝突予測警報 [PFCW] （P.7-73）

マイパイロット（ナビリンク機能付）（アダプティブクルーズコントロール [ACC]）警告メッセージ

J17803300026

9

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
作動範囲外のため 現在使用できません	●ASC を OFF にしたとき ●ドライブモードを SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードにしたとき	●ASC が OFF の場合は ACC は使用することができません。 ●ドライブモードが SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モードのときは SNOW モード、MUD モード、GRAVAL モード以外にしてください。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
	●電動パーキングブレーキが作動したとき	●電動パーキングブレーキが作動しているときはACCは使用することができません。
	●運転席のシートベルトを解除したとき	●運転席のシートベルトが解除されている場合はACCは使用することができません。
	●システム故障	●安全な場所に停車して、プラグインハイブリッド EV システムを一旦停止して再起動し、再びシステムを ON にしてください。
	●ACC により車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき	●速やかにブレーキを踏んでください。
	●車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき	●安全な場所に停車し、一度プラグインハイブリッド EV システムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、プラグインハイブリッド EV システムを再起動してください。 → レーダーセンサーの取り扱い（P.10-17）
	●ASC ／ TCS が作動したとき ●タイヤの空転を検出したとき	●ASC ／ TCS が作動する、またはタイヤが空転するような状況では ACC は使用できません。

マイパイロット（ナビリンク機能付）（車線維持支援機能 [LKA]）警告メッセージ

J17803400027

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	●走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき （雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）	●再び LKA を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でマイパイロット（ナビリンク機能付）を解除し、再度セットしてください。
悪天候のため 現在使用できません	●ワイパーを高速で作動させたとき	●ワイパーの高速動作を解除してください。その後、マイパイロット（ナビリンク機能付）を再度セット、もしくは LKA スイッチを押してください。
カメラが認識できないため 現在使用できません	●雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき	●状況が改善すると、マイパイロット（ナビリンク機能付）を使用することができます。 ●警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、プラグインハイブリッド EV システムを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。
カメラが高温のため 現在使用できません	●カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	●室内の温度が下がるとマイパイロット（ナビリンク機能付）を使用することができます。
⚠警告 システム故障 取扱説明書を見てください	●システム故障	●安全な場所に停車して、プラグインハイブリッド EV システムを一旦停止して再起動し、再びシステムを ON にしてください。
⚠警告 	●ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないときに表示します。 •表示（赤）により警告します。	●すみやかにハンドルを持って操作してください。 ●運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 ハンドルを操作してください	●表示による警告後、運転者がハンドルを操作しないときに表示します。 •音、表示（赤）、および短時間のブレーキ制御で段階的に警告します。	●すみやかにハンドルを持って操作してください。 ●運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

警報音（ブザー）が鳴ったときは

J17803500031

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ …（数秒間）	ドアハンドルのスイッチを押したとき	READY（走行可能）表示灯が点灯していないか キーレスオペレーションキーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーレスオペレーションキーのドア施錠スイッチを押したとき	READY（走行可能）表示灯が点灯していないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ（3 回）	ドアを閉めたとき	READY（走行可能）表示灯が点灯したまま、キーレスオペレーションキーが車外に持ち出されていないか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピッピピッピピッ（3 回）	ドアを閉めたとき	READY（走行可能）表示灯が点灯したまま、キーレスオペレーションキーが車外に持ち出されていないか
	ピピッピピッ …（繰り返し）	運転席ドアを開けたとき	シフトポジションがⓅ以外で、READY（走行可能）表示灯が点灯したままになっていないか

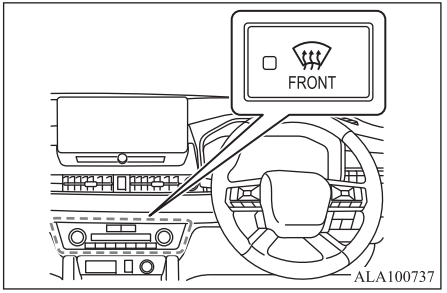
窓ガラスがくもったときは

J17803600029

フロントガラスのくもりの取りかた

J17803700033

- パワースイッチの電源モードが ON のとき使えます。
- デフロスタースイッチを押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
  （スイッチの表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すと止まります。
  （スイッチの表示灯が消灯）



⚠注意

- **安全のため、ウインドウガラスのくもりや霜は早めに取り除いて視界確保に努める。**
- **デフロスタースイッチを ON にしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。**
  フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。
- デフロスタースイッチを ON にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

アドバイス

- エアコンが OFF のとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも作動します。
- デフロスタースイッチを押すと、EV プライオリティモード作動中でも視界を確保するためにエンジンが始動することがあります。

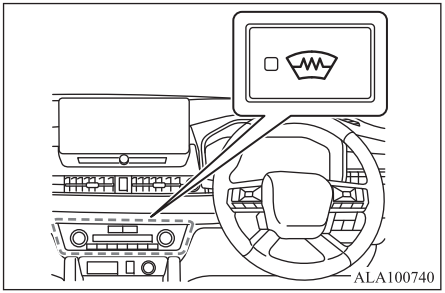
ワイパーデアイサー

タイプ別装備

J17803800034

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたときに使えます。
- フロントガラスを温めて、ガラス下端にたまった雪を取り除きやすくします。ワイパーデアイサースイッチを押すと、外気温に応じて最長 10 分間作動します。
  （ワイパーデアイサースイッチの表示灯が点灯）

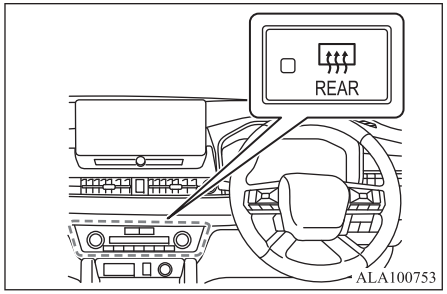
●止めるときは、もう一度スイッチを押します。
（ワイパーデアイサースイッチの表示灯が消灯）



テールゲートガラスのくもりの取りかた

J17803900035

●READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、または充電中にパワースイッチの電源モードを ON にしたときに使えます。
●リヤデフォッガースイッチを押すと約 20 分間作動し、テールゲートガラスの熱線が暖まります。
（リヤデフォッガースイッチの表示灯が点灯）
●止めるときは、もう一度スイッチを押します。
（リヤデフォッガースイッチの表示灯が消灯）



⚠注意

●連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いため補機用バッテリーあがりの原因になります。
●テールゲートガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
●ガラスにたまった雪はこまめに取り除き、視界を確保してください。

アドバイス

●リヤデフォッガースイッチを押すと、ヒーテッドドアミラーも同時に作動します。

オーバーヒートしたときは

J17804000020

マルチインフォメーションディスプレイにオーバーヒート警告（→P.9-35）が表示されたときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

J17804100021

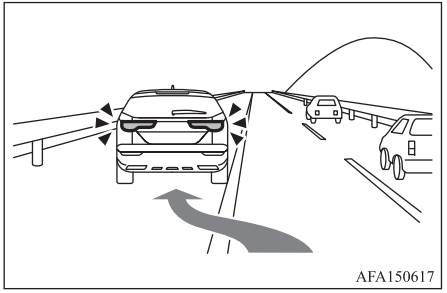
⚠警告

●**ボンネットを開けるときは十分に注意する。**
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
●**蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
プラグインハイブリッド EV システムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
●**エンジンが十分に冷えていないときは、リザーバータンクのキャップを外さない。**
蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

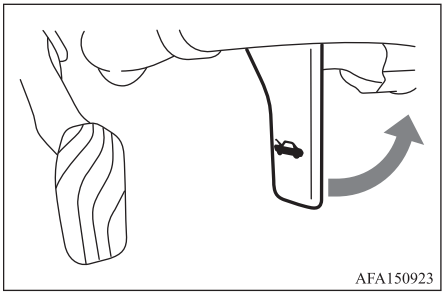
⚠警告

- **オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。**
  そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

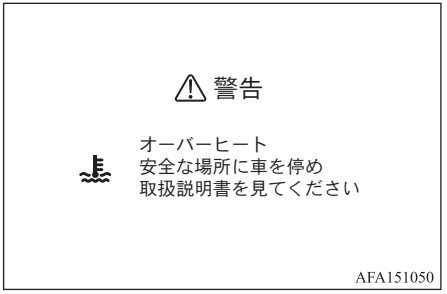
1. ただちに安全な場所に停車します。
   → 故障したときの対処のしかた (P.9-2)



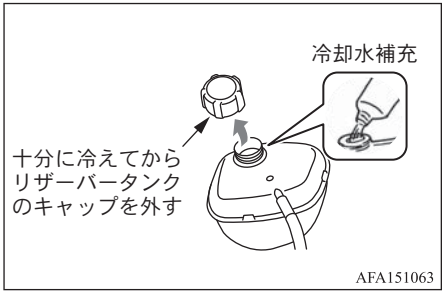
2. プラグインハイブリッド EV システムを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
   万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにプラグインハイブリッド EV システムを停止し、自然冷却してください。



3. マルチインフォメーションディスプレイのオーバーヒート警告が消えたら、プラグインハイブリッド EV システムを停止させしばらく待ちます。
   エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



4. 冷却水が不足しているときは、エンジン冷却水用のリザーバータンクに冷却水を補充してください。
   →エンジンルーム内の配置図 (P.10-4)
   補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



5. 走行中、再度マルチインフォメーションディスプレイにオーバーヒート警告が表示されたら、手順 1 ～手順 4 の作業を繰り返し行ってください。

6. 早めに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

9

⚠注意

- リザーバータンクに冷却水を補充するときはMAXライン以上に補充しないでください。

雪道やぬかるみにはまったときは

J17804200022

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

J17804300036

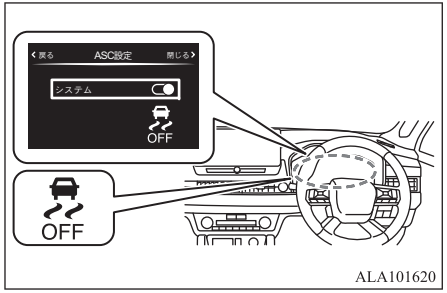
⚠警告

- **周囲の安全を必ず確認する。**
  周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- **必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。**
  急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

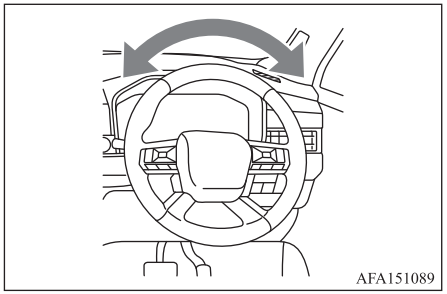
⚠注意

- **脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。**
  ぬかるみなどにはまったときは、むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み、かえって脱出しにくくなります。
  アクセルペダルを過度に踏み込んでタイヤを空転させ続けると、オーバーヒートやトランスアクスルおよびその他部品の故障により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. アクティブスタビリティコントロールを OFF にします。
   →ASC の停止のしかた（P.7-39）



2. 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
   必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。



3. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
   周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

⚠注意

- 数回試しても脱出できないときは、三菱自動車販売会社または JAF などのロードサービスに連絡してください。

水没したときは

J17804400024

水没したときの対処のしかた

J17804500025

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアを開けられるかどうか試してください。ドアが開いたら車外に出てください。
- ドアが開かなかった場合、パワーウインドウのスイッチを押し窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- パワーウインドウスイッチを押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
  - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
  - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。
    （車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）

⚠警告

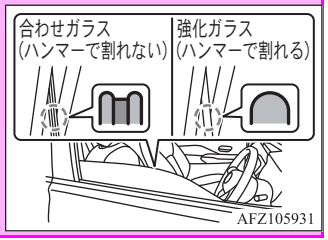
- **着座位置、乗員の体格などによっては、窓から車外へ脱出できないことがあります。**

⚠警告

- **フロントウインドシールドガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。リヤドア・テールゲート(バックドア)のガラスは強化ガラスのため、ハンマーで割ることができます。**
- **フロントドアガラスは合わせガラスの場合と、強化ガラスの場合がありますので、事前に確認しておいてください。**

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2 枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



⚠注意

- 緊急脱出用ハンマーは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。使い方は緊急脱出用ハンマーに添付の取扱説明書に従ってください。

ヒューズが切れたときは

J17804600026

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

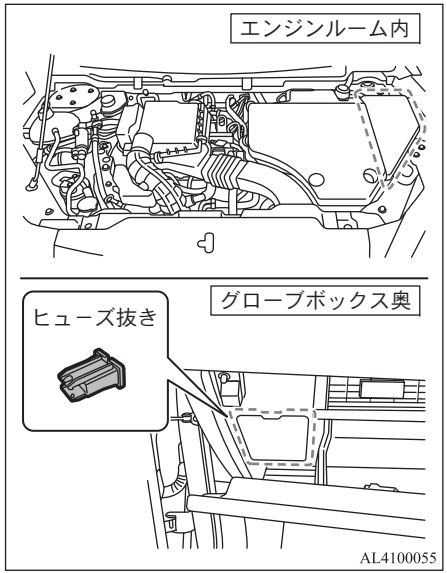
ヒューズボックスの位置

J17804700030

- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
  - エンジンルーム内
  - グローブボックス奥
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側またはヒューズボックス付近に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

- グローブボックス奥のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



ヒューズの点検･交換のしかた（エンジンルーム内）

J17804800044

⚠警告

- **高電圧部位、サービスプラグ、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わない。**
  重大な傷害を受けるおそれがあります。

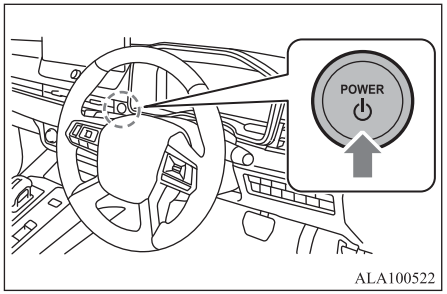
⚠警告

- **規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。**
  電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

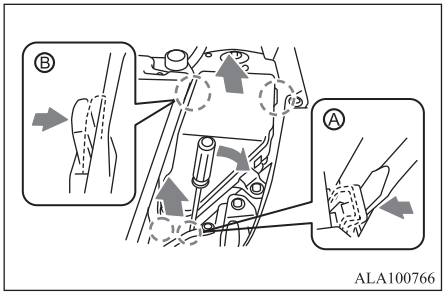
⚠注意

- 取り外し、取り付けるときは、ツメが他部品に引っかからないように気をつけてください。引っかかるとツメが破損するおそれがあります。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

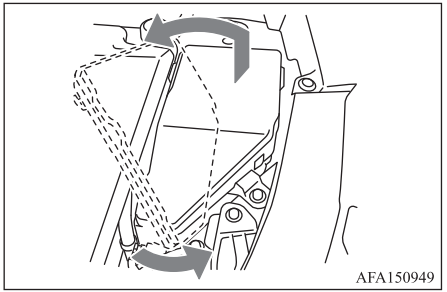
1. パワースイッチの電源モードを OFF にし、ボンネットを開けます。
   → ボンネットの開けかた、閉めかた（P.10-5）



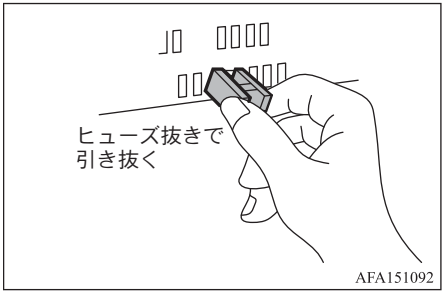
2. 次の要領でヒューズボックスのカバーを取り外します。
   (1) 車両前方の 2 つのツメを内側へ押しながらカバーを少し浮かせます。ツメⒶが押しにくい場合は、マイナスドライバーや車載工具など先の細い工具を使ってください。
   (2) 車両後方の 2 つのツメを内側へ押しながらカバーを少し浮かせます。このとき、ツメⒷがＥＶユニットカバーに引っかからないよう、ツメⒷを押したままカバーを持ち上げます。



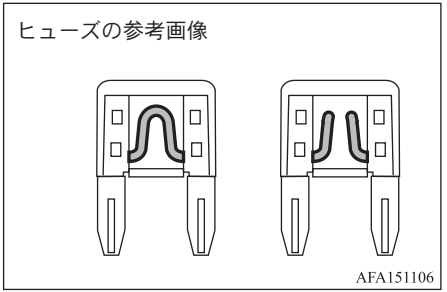
3. カバー全体を少し持ち上げ、カバー前端部を中心に、後方をさらに持ち上げながら、EV ユニットカバー側へ反時計回りにゆっくり回転させカバーを取り出します。
   取り付けるときは、手順 3 の逆の手順を実施した後、カバー全体をカチッと音がするまで押し下げて、4 つのツメを確実に固定します。



4. ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
   ヒューズ抜き（→P.9-70）



5. ヒューズが切れていないか点検します。
   切れているときは新しいヒューズと交換します。



ヒューズの点検･交換のしかた（グローブボックス奥）

J17804900032

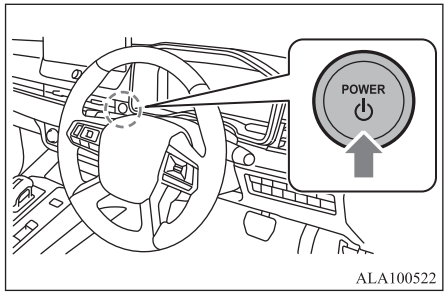
⚠警告

- **規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。**
  電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

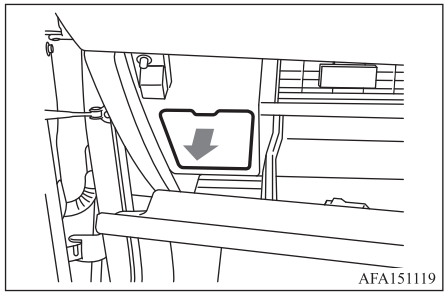
⚠注意

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

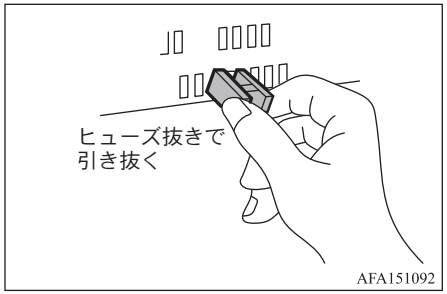
1. パワースイッチの電源モードを　OFF にします。



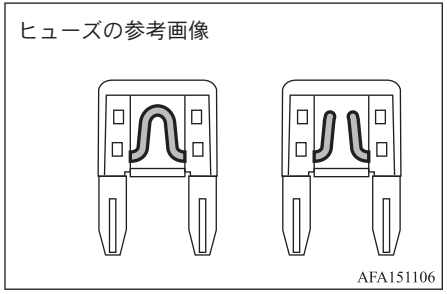
2. グローブボックスを開け、内側のプレートを外します。



3. ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き（→P.9-70）



4. ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。



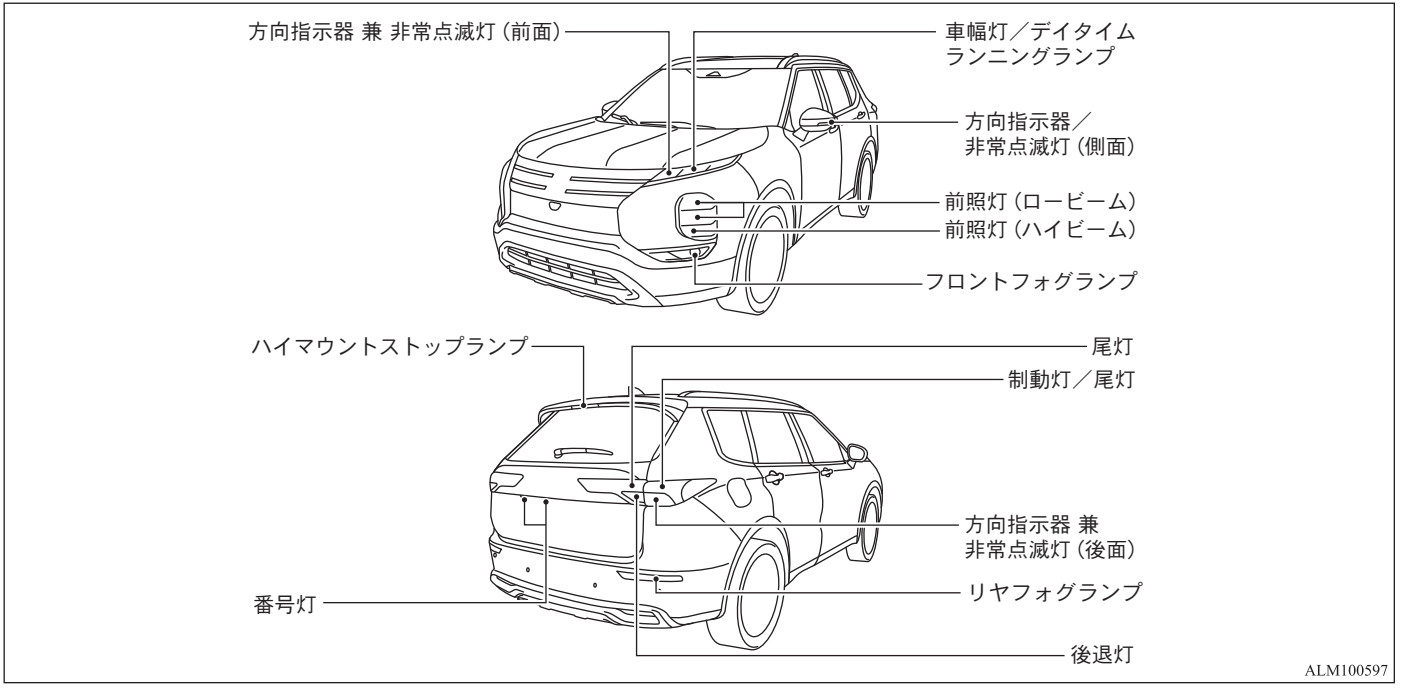
外装ランプが点灯しないときは

J17812800027

外装ランプは LED を使用しています。外装ランプが点灯しないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各電球（バルブ）の位置

J17812900028



⚠注意

- **バルブを交換するときは、必ず同じバルブ型式、同じ W（ワット）数、同じバルブ色のものを使用してください。**
  異なるバルブを装着すると、点灯しないなどの故障や車両火災の原因につながるおそれがあります。

- **市販の LED バルブを取付けないでください。**
  走行装置やランプが正常に動作しなくなるなど、車両に悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドライト内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

メンテナンス

メンテナンスの前に
点検整備について 10-2

工具･ジャッキ
工具･ジャッキについて 10-2

点検と整備
エンジンルーム 10-4
ウォッシャー液の補給 10-6
寒冷時の取り扱い 10-7
タイヤ 10-9
冬用タイヤ･タイヤチェーン 10-11
ワイパー 10-12
キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換 10-13
補機用バッテリー 10-14
エンジンオイル 10-14

清掃･お手入れ
外装のお手入れ 10-15
内装のお手入れ 10-20

サービスデータ
点検値／交換油脂類 10-23
車両仕様 10-26
イベントデータレコーダ（EDR） 10-28
車両状態記録機能 10-29
電波認証 10-30
ソフトウェア 10-30

点検整備について

J17900100024

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

J17900200025

- **日常点検**
  走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
  いつもと違うことに気がついたら三菱自動車販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水もれ、油もれなど）
- **定期点検**
  1 年ごとに実施する点検です。12 か月点検および 24 か月点検があります。
- **その他の点検**
  新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

⚠警告

- **点検、整備をするときは必ず車両から充電ケーブルを取り外し、パワースイッチの電源モードがOFFになっていることを確認する。**
- **点検、整備をするときは必ず車両が安全な状態であることを確認する。**

→ 点検･整備をするときは（P.2-7）

アドバイス

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

車検、点検整備のとき

J17900300026

- 車検、点検整備については、三菱自動車販売会社にご相談ください。

検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について

- フロントガラスにあるフロントカメラを避け、車室内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
  フロントカメラ（→P.10-18）

工具･ジャッキについて

J17900400030

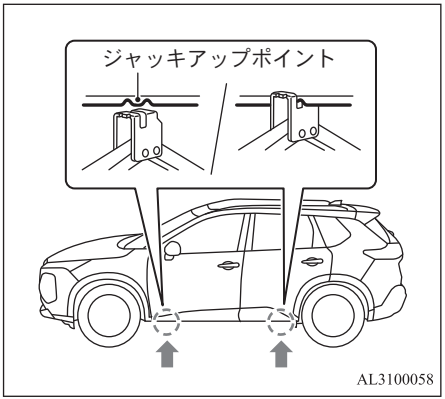
この車両には、ジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。
詳しくは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

ジャッキアップポイント

J17912400024

⚠注意

- 注意事項およびジャッキに付属されている取扱説明書を必ずお読みの上、正しく使用してください。
- ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使用しないでください。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。



工具、パンクタイヤ応急修理キットの格納場所

J17900500028

- 工具・パンクタイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
  → 応急修理する前に（P.9-6）
  → パンクタイヤ応急修理キットについて（P.9-7）

⚠注意

- **工具、パンクタイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に格納する。**
  車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（→P.9-3）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

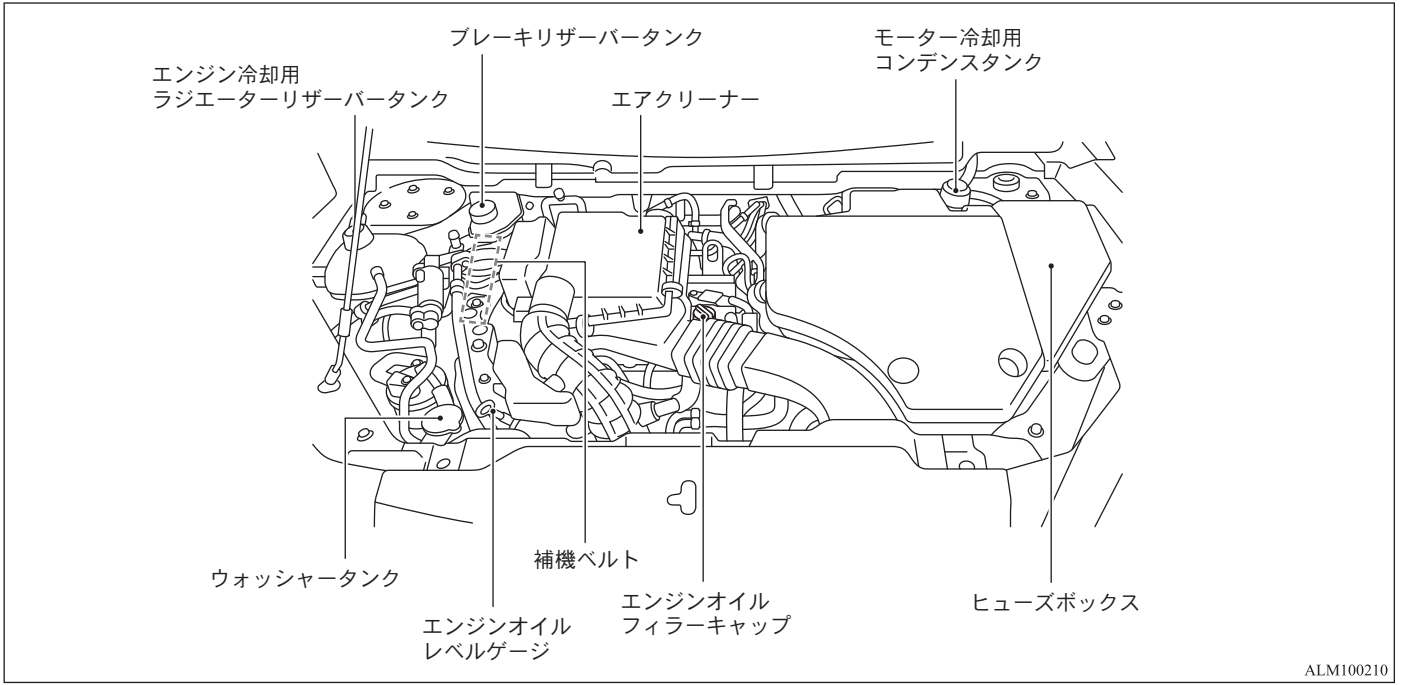
エンジンルーム

J17900600029

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、電動パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図

J17900700033



⚠警告

- **エンジンルーム内では高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し、分解などは絶対に行わない。**
  感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については、三菱自動車販売会社へ依頼してください。
  → プラグインハイブリッド EV システム車について（P.2-2）
- **点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。**
  故障や車両火災につながるおそれがあります。
- **点検、整備をするときは必ず車両が安全な状態であることを確認する。**
  → 点検･整備をするときは（P.2-7）

⚠注意

- **エンジン回転中はエンジンルームに手を入れない。**
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。

⚠注意

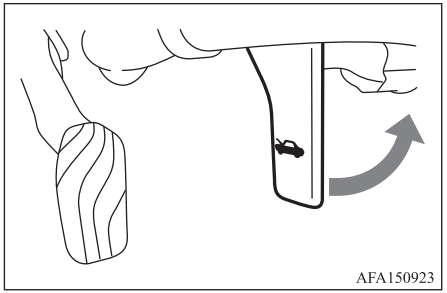
- **点検をするときはエンジンルーム各部が十分冷えてから点検する。**
  エンジンルーム内の部品には高温になるものがあるので、やけどをするおそれがあります。
  これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。
- **エンジンルーム内で作業する場合は、安全のためにパワースイッチの電源モードを OFF にする。**
  冷却ファンはエンジンが回転していなくても自動的に回り出すことがあります。
- **通常はリザーバータンクのキャップおよび、モーター冷却用コンデンスタンクのキャップを外さない。**
  冷却水には圧力がかかっているため、冷却水の温度が高いときにキャップを外すと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。
- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーが損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

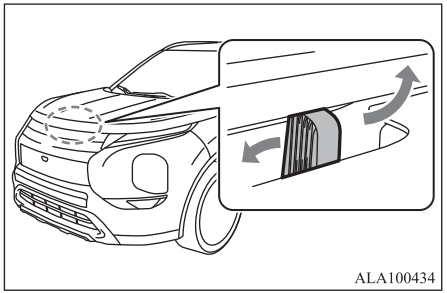
J17900800034

1. 運転席の右下にあるボンネットオープナーを引きます。

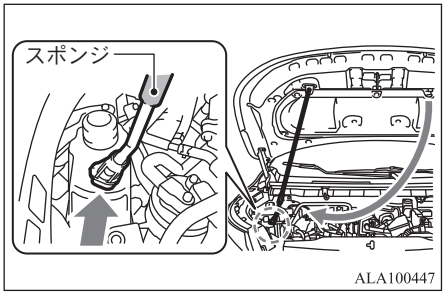
ボンネットが少し浮き上がります。



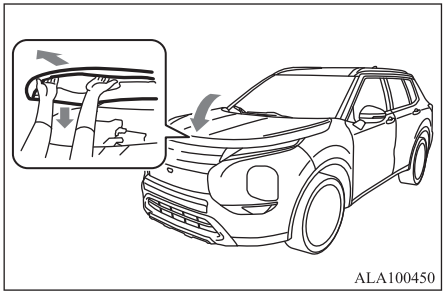
2. ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



3. ステーをフックから外し、車体の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。
   ステーを持つときはスポンジ部分を持ってください。



4. 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを 20cm ～ 30cm の高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとしないでください。



⚠警告

- **走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。**
  ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
  やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。プラグインハイブリッド EV システムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。

⚠注意

- **ステーは必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けるとステーが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。**
- **ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。**
- **ラジエーターなどの高温部には触れない。**
  やけどをするおそれがあります。
- **ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。**
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

⚠注意

- 高電圧部品が駆動している状態でボンネットを開けたとき、ピピピッと音が鳴ります。

ウォッシャー液の補給

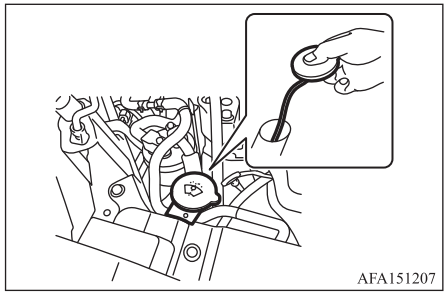
J17900900022

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

J17901000020

- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- ウォッシャー液が減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



⚠注意

- **ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。**
  出火するおそれがあります。
- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

アドバイス

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- 三菱自動車純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
  ウォッシャータンク容量（→P.10-23）

寒冷時の取り扱い

J17901100021

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

J17901200035

冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
50%	約 -35 ℃

- 冷却水を補充・交換するときは、三菱自動車純正スーパーロングライフクーラントプレミアム（50% 希釈品）をお使いください。
  交換油脂類（→P.10-23）

⚠注意

- 冷却水は工場出荷時に50％にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- リザーバータンク、およびコンデンスタンクに冷却水を補充するときはMAXライン以上に補充しないでください。

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4 輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった三菱自動車純正品をおすすめします。

ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

運転する前に

J17901300023

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使用して、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。

- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品が破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

⚠警告

- **ルーフに積もった雪は落とす。**
  窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドウなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。
- ワイパーゴムが凍結によりガラスに張り付いているときは、次の操作を行いガラスを温めてください。
  - フロントガラス： エアコンのデフロスタースイッチを ON にするか、ワイパーデアイサー（タイプ別装備）を使用してください。
  - リヤガラス： リヤデフォッガーを使用してください。

⚠注意

- **駆動用バッテリーの温度が低いほど回生ブレーキの効きが弱くなり、極寒時では効かなくなる場合があります。**

アドバイス

- 外気温が低く、エンジン冷却水温が低いときは、暖房性能を確保するためエンジン回転数が上昇することがあります。

雪道の走行のしかた

J17901400024

滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
  → タイヤチェーンについて（P.10-11）

走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。時々確認して雪を取り除いてください。

駐車するときの注意

- シフトポジションをⓅにして、電動パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。電動パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと、プラグインハイブリッド EV システムの冷えすぎを防ぐことができます。

タイヤ

J17901500025

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。日常的に点検を行ってください。

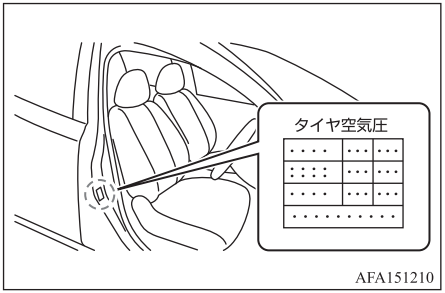
タイヤの点検項目

J17901600026

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。
詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。

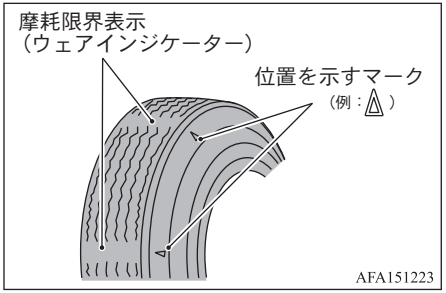


タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
  バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- **使用開始後 5 ～ 7 年を目安に必ず点検する。**
  タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については三菱自動車販売会社へご相談ください。
- **指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。**
- **必ず同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **ホイールは、リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも、車体に干渉するため使えないときがあります。**

アドバイス

- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約 1 割程度上がることがあります。

タイヤ･ロードホイールを交換するときは

J17901700027

- タイヤ交換をするときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4 輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。

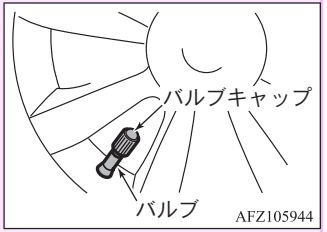
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

⚠注意

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。**
  不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは､4 輪とも同時期に行い､必ず指定サイズで同一の銘柄､パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。**
  特に S-AWC (Super-All wheel control) 車は、径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、ASC システムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
  - 摩耗差の大きいタイヤの装着
  - 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
  - サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限がありますので、交換するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは三菱自動車純正品を使用してください。三菱自動車純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。



- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、113N・m（11kg・m）です。

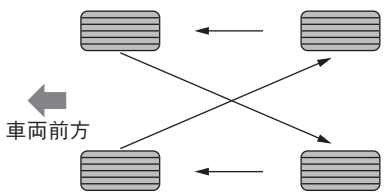
タイヤローテーションのしかた

J17901800028

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約 5,000km ごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。

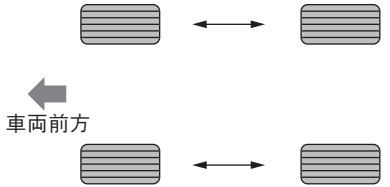
10

回転方向を示す矢印が付いていない場合



AFA151236

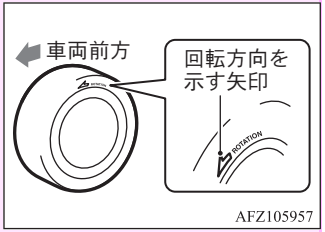
回転方向を示す矢印が付いている場合



AFA151249

⚠注意

- **タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは、4 輪で前後ローテーションを行う。**
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。



AFZ105957

- **著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。**
  車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。
- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、三菱自動車販売会社にご相談ください。

冬用タイヤ･タイヤチェーン

J17901900029

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

J17902000027

冬用タイヤを装着するときは、4 輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

⚠注意

- **タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。**
  ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

タイヤチェーンについて

J17902100028

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、パワースイッチの電源モードを OFF にして作業してください。

- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

⚠注意

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD 機構に無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパー

J17902200029

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

J17902300033

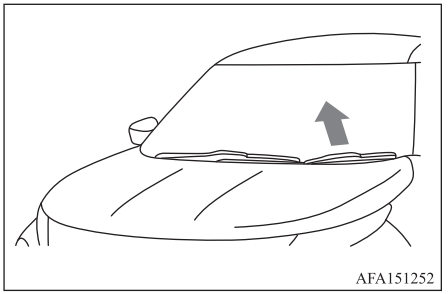
⚠注意

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

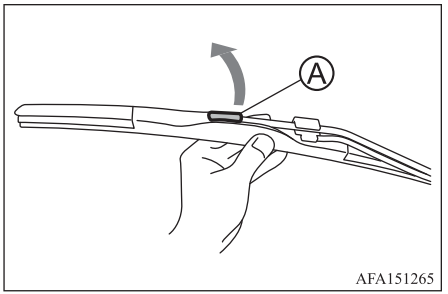
アドバイス

- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ワイパーゴムの交換のしかたは、別冊のメンテナンスノートの「簡単な点検整備」をお読みください。

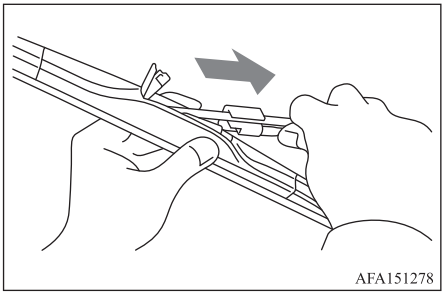
1. ワイパーアームを起こし、ワイパーブレードを少し傾けます。



2. ワイパーブレードのストッパーⒶを開きます。



3. ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。



4. 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。

キー（キーレスオペレーションキー）の電池交換

J17902400021

キーのスイッチを押しても作動しないときや作動表示灯（→P.6-2）が点滅しないときは、電池の消耗が考えられます。次の手順に沿って、電池を交換してください。

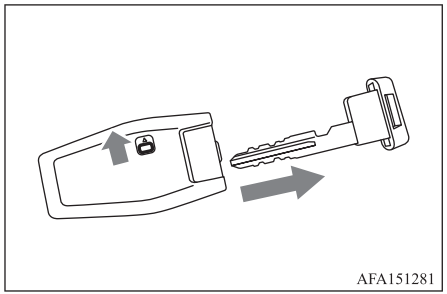
⚠警告

- **電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。**

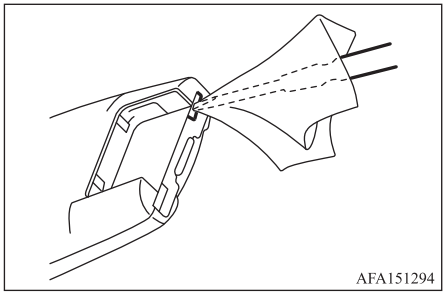
⚠注意

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、キーレスオペレーションシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。

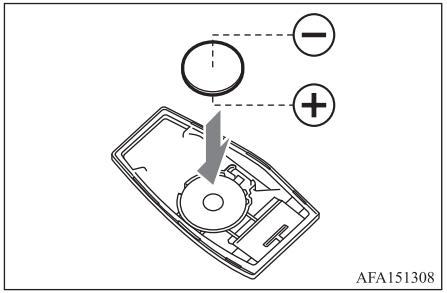
1. ロックノブを矢印の方向に押しながら、内蔵キー（エマージェンシーキー）を引き抜きます。



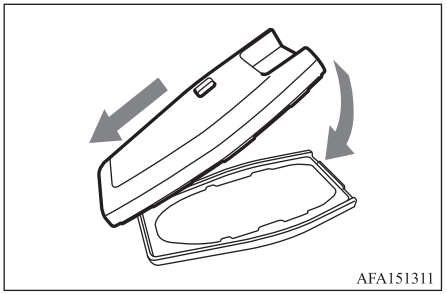
2. すき間に先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでひねり、ケースを開きます。



3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+ 極を下にして取り付けてください。）
使用電池：CR2032



4. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



補機用バッテリー

J17902500022

補機用バッテリーのメンテナンスについては、三菱自動車販売会社にご相談ください。

補機用バッテリーに関する注意事項

J17902600023

⚠警告

- **補機用バッテリーは自分で充電しない。**
  補機用バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。充電するときは、必ず三菱自動車販売会社に依頼してください。

⚠警告

- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**
  バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

- **補機用バッテリーの(+)側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
  接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、補機用バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **補機用バッテリーの型式が同じでも、お車に正しく取り付けられないことがあります。**
  補機用バッテリーを交換するときは、三菱自動車販売会社に依頼してください。

⚠注意

- 補機用バッテリーを外したときは、エンジンを強制運転するための制御タイマーがリセットされる可能性があります。リセット後にエンジンが始動しない状態が続くと燃料噴射装置が目詰まりを起こす可能性があるため、バッテリーチャージモードに切り替えてエンジンを始動させてください。ただし、駆動用バッテリーが満充電付近の場合はバッテリーチャージモードに切り替えてもエンジンを始動できない場合があります。その場合は、駆動用バッテリー残量が減ってからもう一度バッテリーチャージモードに切り替えてください。
  →EVモードセレクタースイッチ(P.7-32)

エンジンオイル

J17902700024

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。
また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ（→P.10-23）をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

J17902800025

⚠注意

- **オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。**
  オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが吹き出し火災の原因になるおそれがあります。
- **エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉める。**
  走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。
- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンオイルは通常走行でも、走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は、補給してください。
- エンジンの性能や寿命、始動性に大きく影響しますので、補給するときは必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。

外装のお手入れ

J17902900026

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

J17903000037

- 自動洗車機で洗車するときは、ドアミラーを格納してください。
  →ドアミラーの格納のしかた(P.6-40)
- 充電リッドおよびフューエルリッド（燃料補給口）が確実にしまっていることを確認してください。
  → 充電リッド（P.6-47）
  → フューエルリッド（燃料補給口）(P.6-49)
- 高圧洗浄機で洗車するときは、高圧ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
  - ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
  - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
  - ほこり、汚れがひどいとき

⚠注意

- **洗車のときはパワースイッチの電源モードを OFF にする。**

⚠注意

- **駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしない。**
  火災、感電の原因となります。
- **洗車をする前には、充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認する。**
  リッドが開いていると充電装置に水がかかり、火災、感電の原因となります。
- **下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。**
- **エンジンルーム内に水をかけない。**
  プラグインハイブリッド EV システムの起動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。
- **洗車をする前にワイパースイッチを OFF にする。**
  AUTO のままでフロントガラスに水がかかると、ワイパーが自動作動して手や指などをはさんだり、ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。

⚠注意

- **ケミカル用品などは用途により使い分ける。**
  用途にあった物をお使いください。また、ランプ類にコーティング剤などのケミカル類を付着させると、ひび割れが発生し、ランプ内部へ水が浸入する原因になりますので、絶対に避けてください。

  万一、付着したときは、すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などで拭き取った後、多量の水で洗い流してください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
  パワーユニットの不調や故障の原因になります。
- 外装の金属面には表面加工をされているものがあります。塗装の損傷やムラになることがあるため、コンパウンド（研磨剤）などで強く擦らないでください。

水洗いするときは

J17903100025

1. 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
2. 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
3. はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠注意

- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車機を使うときは

J17903200026

- ドアミラーを格納してください。
  → ドアミラー（P.6-40）
- 充電リッドおよびフューエルリッド（燃料補給口）が確実にしまっていることを確認してください。
  → 充電リッド（P.6-47）
  → フューエルリッド（燃料補給口）（P.6-49）
- 自動洗車機を使用するとき、予期しない作動を防ぐために、衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]と踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] を OFF にしてください。
  →FCM の停止のしかた（P.7-69）
  →EAPM の停止のしかた（P.7-81）
- 高圧洗浄機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

⚠注意

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、アンテナのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。シール部が変形、破損するおそれがあります。

ワックスをかけるときは

J17903300027

●ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

1. 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
2. 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

●コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。三菱自動車純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

●塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。

⚠注意

●コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
●カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

アルミホイールのお手入れ

J17903400028

●中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。三菱自動車純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

●変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
- 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
- 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
- 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
- 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

軽い補修のしかた

J17903500029

●塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

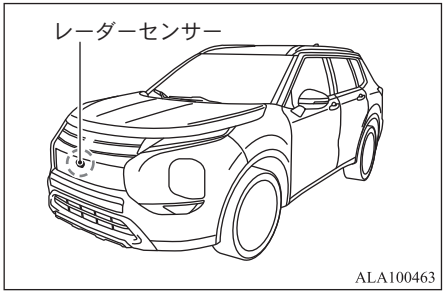
レーダーセンサーの取り扱い

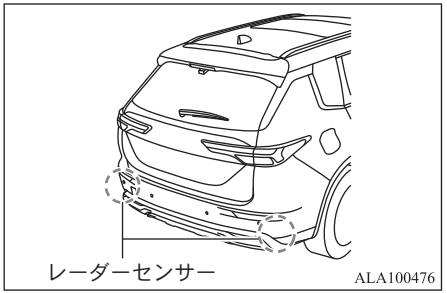
J17903600033

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

●レーダーセンサー周辺部はいつもきれいにしておいてください。
●強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、センサーから十分に離して使用してください。レーダーセンサーを損傷するおそれがあります。
●レーダーセンサー周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでレーダーセンサー周辺が破損、変形したときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
●レーダーセンサー周辺にステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、純正品以外のアクセサリーなどを取り付けたり、塗料を塗ったりしないでください。誤作動の原因になります。

- バンパーを改造、脱着したり、塗装しないでください。バンパーを改造したり塗装する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。



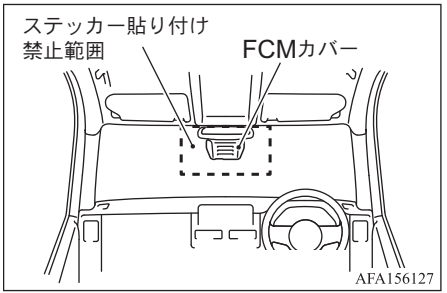


フロントカメラの取り扱い

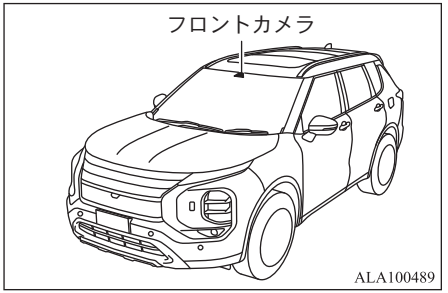
J17903700034

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。



- カメラおよび FCM カバー付近のフロントガラスにステッカーや赤外線カットフィルムなどを貼らないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が破損、変形した場合、ガラスにひび割れがある場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。



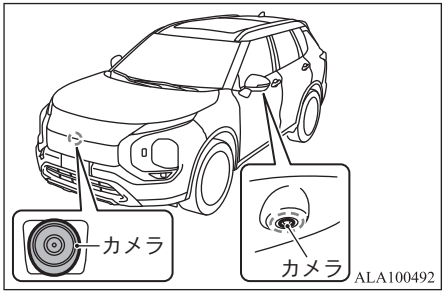
フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い

J17903800035

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。

●カメラ周辺部に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



⚠警告

●カメラ部に強い衝撃を与えない。
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠注意

●カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
●カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

⚠注意

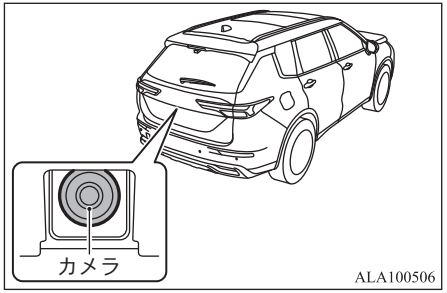
●カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

リヤビューカメラの取り扱い

J17903900036

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

●カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
●光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリーを取り付けないでください。
●カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



⚠警告

●カメラ部に強い衝撃を与えない。
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠注意

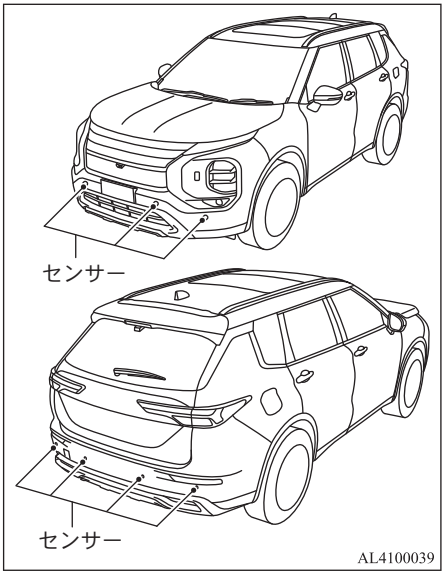
●カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布でふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
●カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像への影響が出ることがあります。
●カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

センサーの取り扱い

J17904000034

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- センサーはいつもきれいにしておいてください。
  汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、センサーから十分に離して使用してください。センサーを損傷するおそれがあります。
- センサーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またセンサーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでセンサーの取り付け部が破損、変形した場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- センサーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、純正品以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



内装のお手入れ

J17904100022

内装のお手入れについて

J17904200023

⚠注意

- **見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは、手袋などを使用して、手にけがをしないよう注意する。**

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。変色の原因になったり、インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み、視界の妨げになるおそれがあります。また、各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ、割れの原因になります。また、各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認の上、使用してください。
- ブラシ、合成繊維類、固い布、乾いた布やウェットティッシュは使用しないでください。使用すると表面を傷つけたり、変色するおそれがあります。
- 液体芳香剤は、こぼれないよう容器を確実に固定してください。また、インストルメントパネルの上やランプ類、メーターの近くには置かないでください。含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色、ひび割れを起こすおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

J17904300024

- 電気掃除機でほこりを取り除き、三菱自動車純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアマットを取り外したときは、敷き直すときにフロアマットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
  → フロアマット（P.8-26）

布、ビニールレザーの汚れ取り

J17904400025

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、三菱自動車純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

本革シートのお手入れ

タイプ別装備

J17904500026

通常のお手入れ

- ガーゼなど柔らかい布でふきます。

水溶性の汚れを取るとき

- 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

油性の汚れを取るとき

1. ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度 2 ～ 3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
2. 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- 本革シートは、直射日光により変色、変質することがあるため、日よけに心がけてください。
- 本革シートが水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

アドバイス

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、三菱自動車販売会社にご相談ください。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

J17904600027

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
  硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。

⚠注意

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

J17904700028

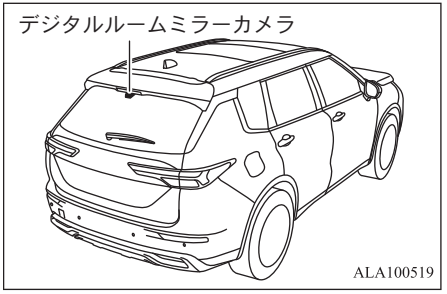
- テールゲートガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

デジタルルームミラー(フレームレス) のお手入れ

タイプ別装備

J17912900029

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっと拭いてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部を拭かないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布で拭いてから乾いた柔らかい布で拭いてください。
- カメラ前方のテールゲートガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。



- カメラ前方のテールゲートガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
→外観リヤ（P.1-2）
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が破損、変形した場合、ガラスにひび割れがある場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

シートベルトのお手入れ

J17904800029

1. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤の 2.5% 水溶液を含ませます。
2. ベルトを軽く叩くようにして汚れを拭き取ります。またリングに汚れが付着している場合は、この汚れを拭き取ってください。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤を拭き取ります。
4. お手入れのために引き出したベルトを巻き取らせる前に、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

⚠注意

- ベルトやリングが汚れている場合や、ベルトがスムーズに巻き取られなくなってきたときに、清掃を実施してください。

点検値／交換油脂類

J17904900020

点火プラグ

J17905000028

● 点火プラグの点検、交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

点検値

J17905100029

項目		点検値
補機ベルト（ベルトの中央部を約 100N(約 10kgf) の力で押す）		22.0mm 以下
ブレーキペダル *1	遊び	8mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約 500N（50kg）で踏んだとき	100mm 以上

*1 :ブレーキが正常に作動しないときは、必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、三菱自動車販売会社にご相談ください。

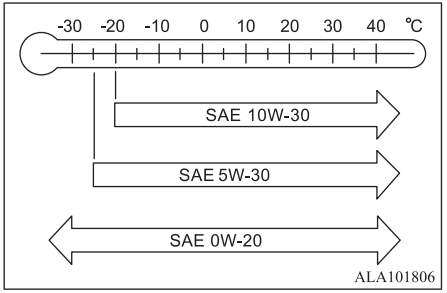
交換油脂類

J17905200033

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。
指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

項目	規定量 (ℓ) *1		指定銘柄	ILSAC 規格	SAE 粘度 *2
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換			
エンジンオイル	4.4	4.7	三菱自動車純正ダイヤクイーン SP	GF-6A	0W-20
					5W-30
			三菱自動車純正ダイヤクイーン SN	GF-5	10W-30

*1：規定量は目安です。
*2：粘度は外気温に応じたものを使用してください。



⚠注意

- ダイヤクイーンSP 0W-20は、上記表の使用銘柄の中では最も省燃費性に優れたオイルです。

⚠注意

- 悪路や山道、登降坂路の走行、短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。
- 生産終了などの理由により，該当するオイルが入手できなくなる場合があります。その場合は該当するオイルより上のグレードのオイルが使用可能となります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。
グレード：API 規格 SN または SP をお使いください。ILSAC マークのついたものをお勧めします。

10

APIマーク

ILSACマーク

AFA151382

粘度:SAE規格0W-20をご使用ください。

項目		適用	規定量 (ℓ) *1	指定銘柄
エンジン冷却水	ヒートポンプ無車	全車	8.3 *2	三菱自動車純正 スーパーロングライフクーラントプレミアム *3
	ヒートポンプ付車		8.8 *2	
モーター冷却水		全車	4.7 *4	
フロントモーターオイル		全車	2.4	三菱自動車純正 CVTF-J4+
トランスアクスルオイル		フロント	2.47	三菱自動車純正 ATF SPIII *5
		リヤ	0.85	
ブレーキフルード		全車	–	三菱自動車純正 ブレーキフルードスーパー 4（DOT4）
ウォッシャー液		ヘッドランプ ウォッシャーあり	3.5	三菱自動車純正ウインドウォッシャー液 *6
		ヘッドランプ ウォッシャーなし	2.5	

*1：規定量は目安です。
*2：リザーバータンクの MAX レベル容量（0.8ℓ）を含みます。

*3：市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、必ず三菱自動車純正スーパーロングライフクーラントプレミアムをご使用ください。
*4：コンデンスタンクの MAX レベル容量（0.52ℓ）を含みます。
*5：トランスアクスルオイルは、指定の純正 ATF を必ずご使用ください。それ以外のオイルを使用すると、トランスアクスルが故障するおそれがあります。
*6：外気温に応じて濃度を調節してください。

車両仕様

J17905300021

充電システム仕様

J17905400035

普通充電システム	定格電圧	AC200V（単相）	AC100V（単相）*3
	定格周波数	50Hz/60Hz	
	最大定格電流	15A *1	10A *3
	最大消費電力	3.0kVA *1*2	1.0kVA *3
	充電モード	IEC61851-1 Mode 2/Case B *1 Mode 3/Case C *2	
急速充電システム	準拠規格	CHAdeMO	
	最大入力電流	105A	
共通	IP 等級	IP44: 充電コネクターが接続されている状態のとき IP55: 充電リッドを閉じて走行している状態のとき	

*1：純正コントロールボックス付き充電ケーブル使用時
*2：公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器使用時
普通充電器の一部は、OUTLANDER に対応していないことがあります。

*3： 過去に三菱自動車でご購入された 100V 充電ケーブルをご使用の場合

電球（バルブ）の容量

J17905500036

電球		電球のタイプ
前照灯（ヘッドライト）	ロービーム	LED *
	ハイビーム	LED *
前部霧灯（フロントフォグランプ）		LED *
車幅灯		LED *
番号灯		LED *
制動灯		LED *
尾灯		LED *
ハイマウントストップランプ		LED *
後退灯		LED *
後部霧灯（リヤフォグランプ）		LED *
方向指示器 兼 非常点滅灯	前面	LED *
	側面	LED *
	後面	LED *

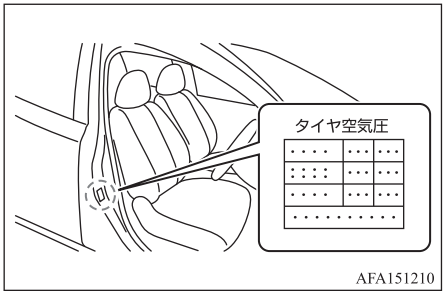
*：電球が点灯しないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

タイヤ･ロードホイールサイズ

J17905600024

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D	インセット
235/60R18 103H	18X7 1/2J	114.3mm（5 穴）	35mm
255/45R20 101W	20X8J		

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



イベントデータレコーダ（EDR）

J17905700025

車両データの記録･蓄積について

J17905800026

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。
以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

アドバイス

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

SRS エアバッグシステム

SRS エアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録･蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

マイパイロット（ナビリンク機能付）システム

マイパイロット（ナビリンク機能付）システムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- マイパイロット（ナビリンク機能付）の作動に関する情報
- マイパイロット（ナビリンク機能付）の故障診断情報
- フロントカメラの画像情報

データの扱いについて

J17905900027

三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は、コンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・品質の向上・研究開発を目的として取得・利用することがあります。

- 車両の当該データ記録時の使用者の同意がある場合
- 警察/裁判所/政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

なお、次の場合を除き、取得したデータを前述以外の第三者へ開示または提供することはありません。

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態記録機能

J17906000025

車両データの記録について

J17906100026

三菱車には、車両を制御するためコンピューターが複数装備されており、車両の制御や操作に関するデータなどを記録しています。

記録されるデータ

J17906200027

- エンジン / 電気モーター回転数や車速など、車両の状態
- アクセルペダル / ブレーキペダルなどの操作状況
- 車両運転時の環境情報
- 各車載コンピューターの制御に関する情報
- 各車載コンピューターの故障診断情報 記録されるデータの項目は、車両型式、グレードやオプションなどにより異なります。また、使用条件などにより、データが記録されない場合もあります。
  なお、コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

データの取り扱いについて

J17906300028

三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は、コンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・品質の向上・研究開発を目的として取得・利用することがあります。

- 車両の当該データ記録時の使用者の同意がある場合
- 警察/裁判所/政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

なお、次の場合を除き、取得したデータを前述以外の第三者へ開示または提供することはありません。

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

電波認証

J17906400029

フロントレーダーセンサー

J17906500020

R 202 -LSG060

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
202-LSG060
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

R 219 -210017

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
219-210017
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

サイドレーダーセンサー

J17906600034

R 219 -230007

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
219-230007
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効になります)

テレマティクスコントロールユニット (TCU)

J17906900024

T ADF19 -0030018
R 018 -190135

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
ADF19 -0030018
018 -190135
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

ソフトウェア

J17912800028

ソフトウェアに関する重要なお知らせ本製品のソフトウェアライセンスについて
This product includes open-source software components licensed under the Apache License, Version 2.0. We have made certain modifications to the original software.

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License. "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted

to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Numerics

3ゾーン独立温度コントロール式フルオートエアコン 6-52

A

A/C（エアコン）
エアコンを使うときに注意すること... 6-59
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 3 ゾーン独立温度コントロール式フルオートエアコン ... 6-52
吹き出し口 6-58
ABS（アンチロックブレーキシステム）... 7-37
ACC電源オートオン/オフ機能 7-5
ASC（アクティブスタビリティコントロール）..... 7-38

D

DAA（ふらつき警報）..... 7-101

E

ECOモード
エコドライブレポート 5-46
EDR（イベントデータレコーダ）.... 10-28
ESS（エマージェンシーストップシグナルシステム）..... 7-34
EVプライオリティモード..... 7-33
EVモードセレクタースイッチ 7-32

F

FCM（衝突被害軽減ブレーキシステム）... 7-68

H

HDC（ヒルディセントコントロール）..... 7-41
HSA（ヒルスタートアシスト）..... 7-40

I

ISOFIXチャイルドシート用取付金具..... 4-25

L

LDP（車線逸脱防止支援機能）..... 7-85
LDW（車線逸脱警報システム）..... 7-85

M

My MITSUBISHI CONNECT..... 2-15

O

ODO（オドメーター）..... 5-5

S

S-AWC（Super-All wheel control）... 7-35
S-AWC (Super-All wheel control)車の扱いかた..... 7-36
S-AWC作動表示..... 7-36
SOSコール（エアバッグ展開時自動通報機能付）..... 8-8
SRS エアバッグ 4-11
SRS エアバッグ警告灯 5-10, 5-11

T

TCS（トラクションコントロール機能）... 7-38
TSR（標識認識システム）..... 7-103

V

V2H充電/V2H給電..... 3-15

W

W数（電球の容量）..... 10-27

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ア

アームレスト 6-31
アウターミラー（ドアミラー） 6-40
アクセサリーコンセント 8-23
アクセサリーソケット（DC12V） 8-20
アクティブスタビリティコントロール [ASC]
ASC 7-38
ASC OFF 表示灯 5-12, 5-13
ASC 警告灯 5-10, 5-11, 9-21
アシストグリップ 8-28
アラーム（キーレスオペレーションキー） 9-65
アルミホイールのお手入れ 10-17
アンサーバック機能 6-3
アンチロックブレーキシステム [ABS]
ABS 7-37
ABS 警告灯 5-10, 5-11, 9-21

イ

一時停止標識検知 7-103
移動物検知機能 [MOD] 7-112
イノベーティブペダル オペレーションモード 7-27
イベントデータレコーダ（EDR） ... 10-28
今すぐ充電スイッチ 3-10
イモビライザー（盗難防止装置） 4-27
イラスト目次
インストルメントパネル 1-5
運転席まわり 1-4
外観フロント 1-1
外観リヤ 1-2
車室内 1-3
インナーミラー（ルームミラー） 6-34

ウ

ウィンカー（方向指示器） 7-21
ウインドウガラス（パワーウインドウ） ... 6-42
植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）などの医療用電気機器を使用している方は 2-9
ウェルカムライト 7-22
ウォーニング（警告灯） ... 5-10, 5-11, 9-21
ウォッシャー
ウォッシャー液（規定量） 10-23
ウォッシャー液の補給 10-6
ウォッシャースイッチ 7-26
ウォッシャーの噴霧状態点検 ..... M
動けなくなったときは 9-2
運転するときに注意すること 4-3
運転席スイッチ（テールゲート） 6-13
運転前の準備 4-2

エ

エアコン
エアコンの上手な使いかた 6-59
エアコンを使うときに注意すること ... 6-59
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 3 ゾーン独立温度コントロール式フルオートエアコン ... 6-52
吹き出し口 6-58
エアバッグシステム
SRS エアバッグ 4-11
SRS エアバッグ警告灯 5-10, 5-11
SRS カーテンエアバッグ 4-16
SRS サイドエアバッグ 4-15
運転席 SRS ニーエアバッグ 4-17
運転席 & 助手席 SRS エアバッグ 4-13
エネルギーモニター 5-19
エマージェンシーストップシグナルシステム [ESS] 7-34
エレクトリックテールゲート 6-11
正常に作動しないとき 6-17
エレクトリックテールゲートメインスイッチ 6-12
エンジン
エンジンオイル 10-14, 10-23
エンジンオイル量の点検・補給 ..... M
エンジンルーム 10-4

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

エンジンルームから蒸気が出ているとき 9-67
フード（ボンネット） 10-5
エンジン型式 ..... S
エンジンのかかり具合、異音点検 ..... M
エンジンの定速、加速の状態点検 ..... M

オ

オーディオ
オーディオの使い方 6-61
ステアリングスイッチ 6-62
オートマチックハイビーム[AHB] ... 7-18
オートライトコントロール（フロントワイパー連動） 7-17
オーバーヒート 9-67
オイル 10-23
応急修理する前に 9-6
お子さまを乗せるときに注意すること ... 4-18
オドメーター 5-5
音声操作表示 5-47

カ

カードホルダー 8-27
外気温計 5-8
回生ブレーキ 2-4
回生レベルセレクター（パドル式） 7-7
外装のお手入れ 10-15
カギ 6-2
各種設定画面 5-30
ガソリン 6-49
カミングホームライト 7-22
カメラ
フロントカメラ 10-18
フロントビュー／サイドビューカメラ 10-18
リヤビューカメラ 10-19
ガラスアンテナ 6-61
寒冷時の取り扱い 10-7

キ

キーレスオペレーションキー
エマージェンシーキー 9-11
機能・使いかた 6-2
電池が切れたとき 9-15
電池交換のしかた 10-13
キー連動室内照明 8-3
キー連動室内照明システム 6-3
起動しない 9-14, 9-15
起動のしかた 7-2
急速充電 3-17, 3-19

ク

クイックリファレンス
エアコン 1-21
セレクターレバー周り 1-17
パワースイッチ 1-13
ハンドル周りのスイッチ 1-15
プラグインハイブリッド EV システム 1-6
便利な機能 1-23
ライトスイッチ 1-13
ワイパー・ウォッシャースイッチ. 1-12
空気圧（タイヤ） 10-28
駆動用バッテリー 2-6
駆動用バッテリー残量表示 5-8
くもり取り
デフロスタースイッチ 9-66
リヤデフォッガースイッチ 9-67
クラクション（ホーン） 6-34
クリアランスランプ（車幅灯）
スイッチ 7-16
電球（バルブ）容量 10-27
グリップコントロール機能 7-38
車のお手入れ 10-15
グローブボックス 8-4

ケ

警告灯 5-10, 5-11

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

警告灯がついたときは 9-21
警告メッセージ 9-35
警告メッセージが表示されたときは..... 9-34
警報音(ブザー)が鳴ったときは..... 9-65
けん引について 9-3

コ

コートハンガー 8-28
工具 10-3
後側方車両検知警報システム(レーンチェンジアシスト機能付)[BSW/LCA]
後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付)[BSW/LCA] 7-90
後側方衝突防止支援システム [ABSA]
後側方衝突防止支援システム [ABSA].. 7-90
後退時車両検知警報システム [RCTA]..... 7-98
後退灯
電球（バルブ）容量..... 10-27
後部霧灯(リヤフォグランプ)
スイッチ..... 7-23
電球（バルブ）容量..... 10-27
酷暑時の注意事項と対処方法 2-11
故障警告灯(MIL)..... 5-10, 5-11, 9-21
故障したときは 9-2
極寒時の注意事項と対処方法..... 2-12

サ

サードシート 6-32
サービスデータ(車両仕様) 10-26
最高速度標識検知..... 7-103
サイドミラー(ドアミラー) 6-40
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン 6-52
サングラスホルダー 8-6
サンシェード 6-44
サンバイザー 8-27

シ

シート
お手入れ 10-21
サードシート 6-32
シートヒーター 8-19
シートベンチレーション 8-20
チャイルドシート..... 4-20
ドライバーメモリーセッティング..... 6-25
フロントシート（パワーシート）6-22
フロントシート（マニュアルシート）. 6-24
リヤ（セカンド）シート 6-28
シートヒーター 8-19
シートベルト
シートベルトについて 4-7
シートベルトの着用のしかた 4-8
シートベルトの注意事項 4-9
シートベルト非着用警告灯 5-10, 5-11, 9-21
シートベンチレーション..... 8-20
事故が起きたときは..... 2-8
室内灯 8-2
車線逸脱警報システム[LDW]
LDW 7-85
車線逸脱防止支援機能[LDP]..... 7-88
LDP 7-85
ジャッキ..... 10-2
車幅灯
スイッチ..... 7-16
電球（バルブ）容量..... 10-27
車両型式..... S
車両重量..... S
車両仕様..... 10-26
車両状態記録機能 10-29
車両情報画面..... 5-15
車両寸法..... S
車両接近通報装置[AVAS] 7-42
ジャンプスタートのしかた 9-18

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

充電
急速充電 3-17, 3-19
充電ができない 3-24
充電ケーブル（コントロールボックス付） 3-6
充電コネクターロック 3-11
充電中の電装品の使いかた 3-21
充電トラブルシューティングガイド ... 3-24
充電に関する装備 3-6
充電に関する注意事項 3-2
充電の種類 3-14
充電リッド 3-9
充電警告灯 5-10, 5-11, 9-21
充電コネクターロックの解除のしかた ... 9-14
充電情報 5-46
充電用USBポート 8-21
充電リッド 6-47
開かない 9-13
乗車定員 ..... S
衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]
FCM 7-68
FCM 警告灯 5-10, 5-11, 9-21
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項 4-5
進入禁止標識検知 7-103

ス

スイッチの操作
ヒルディセントコントロール [HDC] スイッチ 7-42
EV プライオリティモードスイッチ 7-33
今すぐ充電スイッチ 3-10
運転席スイッチ（テールゲート） 6-13
エレクトリックテールゲートクローズアンドロックスイッチ 6-15
エレクトリックテールゲートクローズスイッチ 6-14
エレクトリックテールゲートメインスイッチ 6-12
シートヒータースイッチ 8-19
シートベンチレーションスイッチ 8-20
ステアリングスイッチ（オーディオ） 6-62
ステアリングスイッチ（マイパイロット（ナビリンク機能付）） 7-47
ステアリングスイッチ（マルチインフォメーションディスプレイ） .. 5-26
ステアリングヒータースイッチ .. 8-18
テールゲートオープナースイッチ 6-9, 6-14
デフロスタースイッチ 9-66
電動パノラマサンルーフスイッチ 6-44
ドアスイッチ（ドアハンドルのスイッチ） 6-5
ドアミラースイッチ 6-40
ドアロックスイッチ 6-7
ドライブモードスイッチ 7-29
パワーウインドウスイッチ 6-42
パワースイッチ 7-2
ヒルディセントコントロール [HDC] スイッチ 7-42
ブレーキオートホールドスイッチ 7-10
フロントフォグランプスイッチ .. 7-23
ヘッドアップディスプレイスイッチ ... 5-50
方向指示器スイッチ 7-21
メーター照度調整スイッチ 5-52
ライトスイッチ 7-16
リヤデフォッガースイッチ 9-67
リヤフォグランプスイッチ 7-23
ワイパー・ウォッシャースイッチ 7-24
水没したときは 9-69
ステアリング（ハンドル） 6-34
ステアリングスイッチ
オーディオ 6-62
ショートカットメニュー 5-26
マイパイロット（ナビリンク機能付） 7-47
マルチインフォメーションディスプレイ 5-26
ステアリングヒーター 8-18

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

スピードメーター 5-4
スペアタイヤ..... 10-3
スモールランプ(車幅灯)
スイッチ..... 7-16
電球（バルブ）容量..... 10-27

セ

制動灯
電球（バルブ）容量..... 10-27
セキュリティーアラーム..... 4-27
設定(メーター) 5-30
セレクターレバー 7-5
センサー
センサーの取り扱い..... 10-20
パーキングセンサー（フロント / リヤ）7-114
センサー(ハンズフリーセンサー) .. 6-14
洗車のしかた..... 10-15
前照灯(ヘッドライト)
スイッチ..... 7-16
電球（バルブ）容量..... 10-27
前部霧灯(フォグランプ)
スイッチ..... 7-23
電球（バルブ）容量..... 10-27
フォグランプ表示灯..... 5-12, 5-13
前方衝突予測警報[PFCW]
前方衝突予測警報 [PFCW]..... 7-73

ソ

走行距離(トリップメーター) 5-15
走行支援機能画面 5-49
走行支援グループ..... 5-24
運転支援 5-24
クルーズ（CRUISE）..... 5-24
走行支援システム..... 7-44
走行支援システム表示..... 5-50
走行のしかた 7-13

タ

タイマーアラーム..... 5-30
タイマー機構 6-3, 6-5, 6-7
タイマー充電 3-21
タイヤ
アルミホイールのお手入れ 10-17
タイヤ・ホイールを交換するとき..... 10-10
タイヤ・ロードホイールサイズ 10-28
タイヤチェーン 10-11
タイヤについて 7-37
タイヤの位置交換（ローテーション）. 10-10
タイヤの空気圧 10-9, 10-28
タイヤの点検項目 10-9
パンク 9-6
パンクタイヤ応急修理キット..... 9-7
冬用タイヤ 10-11
正しい運転姿勢について..... 4-2

チ

チャイルドシート 4-20
チャイルドシート適合表..... 4-21
チャイルドプルーフ..... 6-8
着信表示..... 5-47
駐車のしかた..... 7-14
チルトアップ..... 6-44
チルトステアリング..... 6-34

ツ

通話表示..... 5-47

テ

テールゲート
開かない..... 9-12
エレクトリックテールゲート 6-11
エレクトリックテールゲートクローズアンドロックスイッチ 6-15
エレクトリックテールゲートクローズスイッチ..... 6-14
テールゲート..... 6-9
テールゲートイージークローザー 6-16
テールゲートオープナースイッチ .....

11

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

6-14
停止位置メモリー機能の設定 6-17
ハンズフリーセンサー 6-14
テールゲートイージークローザー .. 6-16
テールゲートガラスのくもりの取りかた 9-67
テールランプ(尾灯)
スイッチ 7-16
テールランプ表示灯 5-12, 5-13
電球（バルブ）容量 10-27
定期点検 ..... M
停止位置メモリー機能 6-17
設定 6-17
停止のしかた 7-3
停車のしかた 7-14
低速加速抑制機能 7-77
低速衝突軽減ブレーキ機能 7-77
定速制御機能(アダプティブクルーズコントロール[ACC]) 7-65
デジタルスピードメーター 5-4
デフロスタースイッチ 9-66
電球(バルブ)容量 10-27
点検整備について 10-2
点検値／交換油脂類 10-23
電池交換のしかた 10-13
電動格納式ドアミラー 6-40
電動パーキングブレーキ
電動パーキングブレーキ 7-8
電動パーキングブレーキ警告灯 . 5-10, 5-11
電動パーキングブレーキ注意事項 7-10
電動パノラマサンルーフ 6-44
サンシェード 6-44
チルトアップ 6-44
電動パノラマサンルーフが正常に作動しないとき 6-46
電動パノラマサンルーフの開閉 .. 6-45
電動パワーステアリング警告灯 5-10, 5-11
電波認証 10-30
電費情報表示 5-15

ト

ドア
テールゲート 6-9
ドア 6-5
ドアが開かないときは 9-11
ドアスイッチ（ドアハンドルのスイッチ） 6-5
ドアロックスイッチ 6-7
ドアを室内から開けられないとき（チャイルドプルーフ） 6-8
ドアミラー 6-40
ドアを室内から開けられないとき(チャイルドプルーフ) 6-8
灯火装置(ランプ)の点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検 ..... M
時計 5-7
ドライバーメモリーセッティング .. 6-25
ドライブコンピュータ 5-15
ドライブモード
ドライブモードインジケーター 5-7
ドライブモードセレクター 7-29
トラクションコントロール機能[TCS] 7-38
トラブルがおきたときは
オーバーヒートしたときは 9-67
キーレスオペレーションキーで起動できないときは 9-14, 9-15
警告灯がついたときは 9-21
警告メッセージが表示されたときは... 9-34
警報音（ブザー）が鳴ったときは 9-65
充電ができないときは 9-14
水没したときは 9-69
ドアが開かないときは 9-11
パンクしたときは 9-6
ヒューズが切れたときは 9-70
表示灯がついたときは 9-32
補機用バッテリーがあがったときは... 9-17

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

窓ガラスがくもったときは..... 9-66
雪道やぬかるみにはまったときは..... 9-69
トランスアクスルオイル(規定量) 10-23
トリップメーター(走行距離) 5-15

ナ

内装のお手入れ..... 10-20
ナンバー灯(番号灯)
スイッチ..... 7-16
電球（バルブ）容量..... 10-27

ニ

日常点検..... M

ネ

燃費情報表示..... 5-15
燃費を良くするためのポイント..... 2-14
燃料
燃料残量計 5-4
燃料タンク容量..... 6-49
燃料補給口 6-49
燃料給油口
開かない..... 9-12
燃料残量警告灯 5-10, 5-11, 9-21

ハ

パーキングセンサー
パーキングセンサー 5-45
パーキングセンサー設定..... 5-30
パーキングセンサー(フロント/リヤ) 7-114
パーキングブレーキ(電動パーキングブレーキ) 7-8
パーソナルディスプレイ 5-8
パーソナルランプ..... 8-3
排気量..... S
ハイマウントストップランプ
電球（バルブ）容量 10-27
挟み込み防止機構
電動パノラマサンルーフ 6-46
パワーウインドウ..... 6-43
発炎筒 9-3
バックミラー(ルームミラー) 6-34
発進 7-12
バッテリー
バッテリーについて 3-5
補機用バッテリーがあがったときは... 9-17
リチウムイオンバッテリー 2-6
バッテリーセーバー
ヘッドライト..... 7-16
ルームランプ（リヤ）..... 8-3
バニティミラー 8-27
バルブ(電球)容量 10-27
パワーウインドウ
挟み込み防止機構 6-43
パワーウインドウ 6-42
パワーウインドウが正常に作動しないとき 6-43
パワーシート..... 6-22
パワースイッチ 7-2
パワースイッチの電源モードの切り替えかた 7-4
パワーステアリング警告灯.... 5-10, 5-11
パワーメーター 5-6
パンクしたときは 9-6
番号灯
スイッチ..... 7-16
電球（バルブ）容量..... 10-27
ハンズフリーセンサー 6-14
ハンドル..... 6-34

ヒ

ヒーテッドドアミラー 6-41
非常停止のしかた 7-5
非常点滅灯
電球（バルブ）容量..... 10-27
非常点滅灯スイッチ..... 7-23

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

尾灯
スイッチ 7-16
電球（バルブ）容量 10-27
ヒューズ 9-70
ヒューズが切れたときは 9-70
標識認識システム[TSR]
TSR 7-103
TSR に関する注意事項 7-105
一時停止標識検知 7-103
最高速度標識検知 7-103
進入禁止標識検知 7-103
表示灯 5-12, 5-13
表示灯がついたときは 9-32
ヒルスタートアシスト[HSA] 7-40
ヒルディセントコントロール[HDC]
HDC 7-41
HDC スイッチ 7-42
HDC 表示灯 5-12, 5-13

フ

ブースターケーブルのつなぎかた .. 9-17
フード（ボンネット） 10-5
吹き出し口 6-58
普通充電 3-15
普通充電ケーブル 3-6
踏み間違い衝突防止アシスト[EAPM]
低速加速抑制機能 7-77
低速衝突軽減ブレーキ機能 7-77
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] 警告灯 5-10
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] . 7-76
フューエルメーター（燃料残量計） 5-4
フューエルリッド（燃料補給口）
フューエルリッド（燃料補給口）オープンスイッチ 6-49
フューエルリッド（燃料補給口） . 6-49
冬用タイヤ・タイヤチェーン 10-11
プラグインハイブリッドEVシステム
燃費を良くするためのポイント .. 2-14
パワースイッチ 7-2
復帰操作のしかた 9-14
プラグインハイブリッド EV システム車で事故が起きたときの注意事項 2-8
プラグインハイブリッド EV システム車について 2-2
プラグインハイブリッド EV システムの起動のしかた 7-2
プラグインハイブリッド EV システムの停止のしかた 7-3
プラグインハイブリッド EV システムの非常停止のしかた 7-5
プラグインハイブリッド EV システムを起動できないときは 9-15
ふらつき警報[DAA] 7-101
ブレーキ液量の点検・補給 ..... M
ブレーキオートホールド
ブレーキオートホールド 7-10
ブレーキオートホールド表示灯 . 5-12, 5-13
ブレーキ警告灯（赤色表示） 5-10, 5-11
ブレーキシステム警告灯 5-10, 5-11
ブレーキの効き点検 ..... M
ブレーキペダルの踏みしろ ..... M, 10-23
フロアコンソールボックス 8-5
フロアマット 8-26
フロントカメラ 10-18
フロントガラスのくもりの取りかた 9-66
フロントフォグランプ
スイッチ 7-23
電球（バルブ）容量 10-27
フロントフォグランプ表示灯 5-12, 5-13
フロントモーターオイル（規定量） 10-23

ヘ

ヘッドアップディスプレイ
一時停止標識表示 5-49
警告メッセージ 5-50
最高速度標識表示 5-49
車線逸脱警報システム [LDW] 5-50

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

車速表示..... 5-49
進入禁止標識検知 5-49
走行支援システム表示 5-50
ナビゲーションシステム表示 5-49
ヘッドアップディスプレイスイッチ ... 5-50
マイパイロット（ナビリンク機能付）.. 5-50
ヘッドアップディスプレイの調整のしかた..... 5-52
ヘッドライト
自動点灯ライトの消灯のしかた（車両停車時）..... 7-18
スイッチ..... 7-16
電球（バルブ）容量..... 10-27
ヘッドライト上向き表示灯 5-12, 5-13
ヘッドライトレベリング 7-22
ヘッドランプの点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検 ..... M
ヘッドレスト
サードシート 6-34
フロントシート..... 6-25
リヤ（セカンド）シート 6-30

ホ

ホーム 5-15
ホーンの鳴らしかた..... 6-34
ホイールサイズ..... 10-28
ホイールナットレンチ..... 10-2
方向指示器
スイッチ 7-21
電球（バルブ）容量 10-27
方向指示表示灯 5-12, 5-13
方向指示器の点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検 ..... M
補機ベルト..... 10-23
補機用バッテリー..... 10-14
ポジションインジケーター 5-7
ポジションランプ（車幅灯）
スイッチ 7-16
電球（バルブ）容量 10-27
ボンネット（フード）..... 10-5

マ

マイパイロット（ナビリンク機能付）
ステアリングスイッチ..... 7-47
マイパイロット（ナビリンク機能付）. 7-46
マイパイロット表示 5-50
マスターウォーニング... 5-10, 5-11, 9-21
窓ガラスがくもったときは 9-66
マニュアルシート..... 6-24
マルチアラウンドモニター
移動物検知機能 [MOD]..... 7-112
パーキングセンサー（フロント / リヤ）について..... 7-114
マルチアラウンドモニター..... 7-107
マルチアラウンドモニターに関する注意事項 7-117
マルチインフォメーションディスプレイ
各種設定画面..... 5-30
警告メッセージ..... 9-35
車両情報..... 5-19
車両情報画面..... 5-15
ステアリングスイッチ 5-26
ホーム 5-15
マルチインフォメーションディスプレイ（ショートカットメニュー）. 5-26
マルチインフォメーションディスプレイ 5-14

ミ

ミラー
デジタルルームミラー(フレームレス) 6-35
ドアミラー 6-40
バニティミラー 8-27

メ

メーター
オドメーター..... 5-5
各種設定画面..... 5-30
警告灯 5-10, 5-11, 9-21
車両情報画面..... 5-15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

パワーメーター 5-6
表示灯 5-12, 5-13
マルチインフォメーションディスプレイ 5-14
マルチインフォメーションディスプレイ（ショートカットメニュー）.. 5-26
メーター 5-2, 5-3
メーターの明るさの調節のしかた 5-52
メンテナンス設定 5-30

ユ

油圧警告灯 5-10, 5-11, 9-21
雪道の走行のしかた 10-8
雪道やぬかるみにはまったときは .. 9-69

ラ

ライトスイッチ 7-16
ラゲッジアンダーボックス 8-5, 8-6
ラゲッジフック 8-29
ランプ（室内照明）
ルームランプ（リヤ） 8-3

リ

リチウムイオンバッテリー 2-6
リモートエアコン 6-61
リモコンによる施錠・解錠 6-7
リヤ（セカンド）シート 6-28
リヤデフォッガースイッチ 9-67
リヤビューカメラ 10-19
リヤフォグランプ
スイッチ 7-23
電球（バルブ）容量 10-27
リヤワイパースイッチ 7-26

ル

ルームミラー 6-34
ルームランプ
ルームランプ（リヤ） 8-3
ルームランプ（リヤ） 8-3

レ

レーダークルーズコントロールシステム [ACC]
ステアリングスイッチ 7-47
レーダークルーズコントロールシステムの解除のしかた 7-58
レーダークルーズコントロールシステム [ACC] 7-50
レーダーセンサー 10-17
冷却水
寒冷地の取り扱い 10-7
規定量 10-23
冷却水量の点検・補給 ..... M
レバー（セレクターレバー） 7-5

ロ

ロードホイール
お手入れ 10-17
交換 10-10
サイズ 10-28
ロールサンシェード 8-28
路上で故障したときは 9-2
ロックノブ 6-8

ワ

ワイパー
ワイパー・ウォッシャースイッチ 7-24
ワイパーブレードの交換 10-12
ワイヤレス充電器 8-22
ワックスをかけるときは 10-17

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は、厳しい検査に合格し、その品質が保証されています。
  また、三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために、点検や交換の際は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外の物を使用すると、故障などの原因になることがあります。
- 純正品にはGENUINE PARTSと記載してあります。

事故が起きたときは！

あわてずに次の処置をしてください。

- **続発事故の防止**
  他の交通の妨げにならないような安全な場所（路肩、空地など）に車を止め、プラグインハイブリッドEVシステムを停止します。その他に感電防止などの処置も必要です。
  詳しくは「プラグインハイブリッドEVシステム：万一、事故が起きたときは」をお読みください。→P.2-8
- **負傷者の救護**
  負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。
  この場合、特に頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- **警察への届け出**
  事故が発生した場所、状況および負傷者数や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。
- **相手方の確認とメモ**
  相手方の氏名、住所、電話番号を確認し、事故の状況をメモします。
- **ご購入された販売会社と保険会社への連絡**
- **医師の診断を受ける**
  外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けてください。後になってから後遺症が出るおそれがあります。

万一に備えて

安心のため、自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。